

公共事業の事業評価書

(国営土地改良事業等の事前評価)

令和 8 年 8 月

農林水産省

1 政策評価の対象とした政策

令和８年度に事業着工を要求する次の事業地区を対象として、評価（事前評価）を実施した。

事業名	事前評価実施地区数
国営かんがい排水事業	7
国営総合農地防災事業	1
直轄地すべり対策事業	1
独立行政法人水資源機構事業	1
合 計	10

なお、具体の地区名は以下のとおりである。

（国営かんがい排水事業）

札内川流域（北海道）、かぶらがわにき 鎭川二期（群馬県）、ひみ 氷見（富山県）、

てんりゅうがわりゅうにき 天竜川下流二期（静岡県）、なんきようすいにき 南紀用水二期（和歌山県）、うわばにき 上場二期（佐賀県）、

やつかんがわにき 駅館川二期（大分県）

（国営総合農地防災事業）

よしだがりゅういき 吉田川流域（宮城県）

（直轄地すべり対策事業）

いなふね 稲舟（石川県）

（独立行政法人水資源機構事業）

あいちようすい 愛知用水（愛知県）

2 政策評価を担当した部局及びこれを実施した時期

本評価は、農林水産省農村振興局において、令和８年４月から８月までの間に実施した。

3 政策評価の観点	本評価に当たっては、必要性、効率性、有効性等の観点から総合的に評価を行った。 事業地区ごとの評価の観点は、地区別評価結果（別添 1）に添付しているチェックリスト及びチェックリスト判定基準表（参考資料 1）に示すとおりである。
4 政策効果の把握の手法及びその結果	政策効果については、「土地改良事業の費用対効果分析に関する基本指針について（平成 19 年 3 月 28 日付け 18 農振第 1596 号農林水産省農村振興局長通知）」等に基づき、事業特性に応じて総費用総便益手法による費用対効果分析を行うことなどにより定量的に把握した。また、「農業農村整備事業等における新規地区採択時の評価手法の明確化について（平成 14 年 12 月 18 日付け 14 農振第 1828 号農林水産省農村振興局長通知）」に基づき、事業の必要性、効率性、有効性、実施環境等の項目について確認することにより、総合的に把握した。 その結果は、地区別評価結果（別添 1）に示すとおりである。
5 学識経験を有する者の知見の活用に関する事項	費用対効果分析手法やチェックリストの評価方式・評価項目などについては、食料・農業・農村政策審議会農業農村振興整備部会に諮り、評価手法の妥当性・透明性・客観性の確保を図っている。 また、本評価結果の作成に当たっては、評価結果の客観性及び透明性の確保を図るため、地方農政局、国土交通省北海道開発局及び独立行政法人水資源機構において、学識経験者等から構成される技術検討会を設置し、各委員の専門的見地からの意見を聴取した結果、いずれの地区とも適切に評価されているとの意見を得ている。技術検討会の委員名簿は別添 2 のとおりである。
6 政策評価を行う過程において使用した資料その他の情報に関する事項	本評価を行う過程において使用した資料は、地区別評価結果及びチェックリスト判定基準表（参考資料 1）及び事業の効用等に関する説明資料（参考資料 2）である。地区別評価結果は、農林水産本省のホームページにおいて公表している。技術検討会の議事概要は、地方農政局、国土交通省北海道開発局及び独立行政法人水資源機構のホームページにおいて公表している。 また、本評価に関する問合せ先及びホームページアドレスは別添 3 に示すとおりである。 なお、それぞれの事業計画は土地改良法等に基づく手続を経て決定される。
7 政策評価の結果	本評価の対象とした全ての事業地区において、事業の必要性、効率性、有効性等が認められるとともに、土地改良法や事業実施要綱等で定められている地区採択の必須条件を満たしている。

(別添 1)

地区別評価結果

— 目 次 —

【国営かんがい排水事業】

(北海道)

札内川流域

(農林水産省)

鎚川二期

氷見

天竜川下流二期

南紀用水二期

上場二期

駅館川二期

【国営総合農地防災事業】

(農林水産省)

吉田川流域

【直轄地すべり対策事業】

(農林水産省)

稲舟

【独立行政法人水資源機構事業】

愛知用水

国営かんがい排水事業

さつないがわりゅういき
札内川流域地区

事業の概要

本事業は、北海道帯広市、河西郡中札内村、同郡更別村及び中川郡幕別町に位置する 30,277ha の畑作地帯において、農業用水の安定供給と維持管理の軽減を図り、農業生産性の向上及び農業経営の安定に資するため、頭首工及び用水路の整備を行うものである。

事業の目的・必要性

本地区では、小麦、ばれいしょ、豆類、てんさい、だいこん、えだまめ、にんじん等を組み合わせた畑作経営のほか、飼料作物を栽培し乳用牛を飼養する酪農経営が展開されており、園芸作物の生産拡大等による産地収益力の向上を目指している。

地区内の農業用水は、国営札内川第一土地改良事業（平成2年度～平成21年度）等で整備された用水施設により配水されているが、近年の営農の変化に伴い水需要が変化しているとともに、地区内の一部では、用水施設が未整備であるため、農業用水は降雨に依存しており、農業生産性が低く営農上の支障となっている。

また、地区内の用水施設は、老朽化等により、施設の維持管理に多大な費用と労力を要している。

さらに、頭首工は必要な耐震性を有しておらず、大規模地震により損壊した場合に地域に甚大な被害を及ぼすおそれがある。

このため、本事業では、水需要の変化に対応した用水再編により畑地かんがい用水を確保するとともに、用水施設の改修と頭首工の耐震化を一体的に行い、併せて関連事業において用水路を新設することにより、農業用水の安定供給と維持管理の軽減を図り、農業生産性の向上及び農業経営の安定に資するものである。

事業の効率性

・総費用総便益比の算定

区 分	算定式	数 値	備 考
総費用(現在価値化)	①＝②＋③	159,751百万円	
当該事業による費用	②	62,937百万円	当該事業費100,600百万円
関連事業による費用、資産価額、再整備費	③	96,814百万円	
評価期間（当該事業の工事期間＋40年）	④	60年	工事期間 令和9～28年度
総便益額(現在価値化)	⑤	203,861百万円	
総費用総便益比	⑥＝⑤÷①	1.27	

- （注1）総費用とは当該地域内において効果を発揮する一連の施設に係る費用であり、評価期間中の施設の資産価額、整備費等である。
- （注2）百万円単位で四捨五入しているため、数値は算定結果と合わない場合がある。
- （注3）数値は土地改良法に基づく手続を経て確定するため、現時点では暫定値である。

・年効果額（便益額）

本事業の実施により、用水施設の機能が維持向上されることによって、事業を実施しなかった場合と比較して、年間 11,065 百万円相当の事業効果が見込まれ、農業経営の安定が図られる。

作物生産効果	5,731 百万円
品質向上効果	455 百万円
営農経費節減効果	3,602 百万円
維持管理費節減効果	△47 百万円
その他の効果（災害時の復旧対策費軽減効果）	0 百万円
その他の効果（国産農産物安定供給効果）	1,325 百万円
計	11,065 百万円

（注）百万円単位で四捨五入しているため、数値は算定結果と合わない場合がある。

日程・手続

令和 8 年度から、土地改良法に基づく土地改良事業計画の概要の公告等の手続が開始される予定。

事業に対する決議

令和 8 年 1 月 30 日の国営かんがい排水事業札内川流域地区促進期成会において、事業着手要求について決議された。

その他

・事業推進体制

令和 6 年 9 月 30 日に国営かんがい排水事業札内川流域地区促進期成会を設立。（構成：帯広市、中札内村、更別村、幕別町、受益者）

・維持管理体制

令和 8 年 3 月 19 日に地区推進検討委員会を開催し、維持管理体制について合意。（管理者：帯広市、中札内村、更別村、幕別町）

・営農支援体制

令和 5 年 8 月 22 日設立の国営かんがい排水事業札内川流域地区営農検討会（構成：帯広市、中札内村、更別村、幕別町、帯広大正農業協同組合、中札内村農業協同組合、更別村農業協同組合、幕別町農業協同組合、札内農業協同組合、十勝農業改良普及センター、帯広開発建設部、受益者代表）において、営農支援を行っていく。

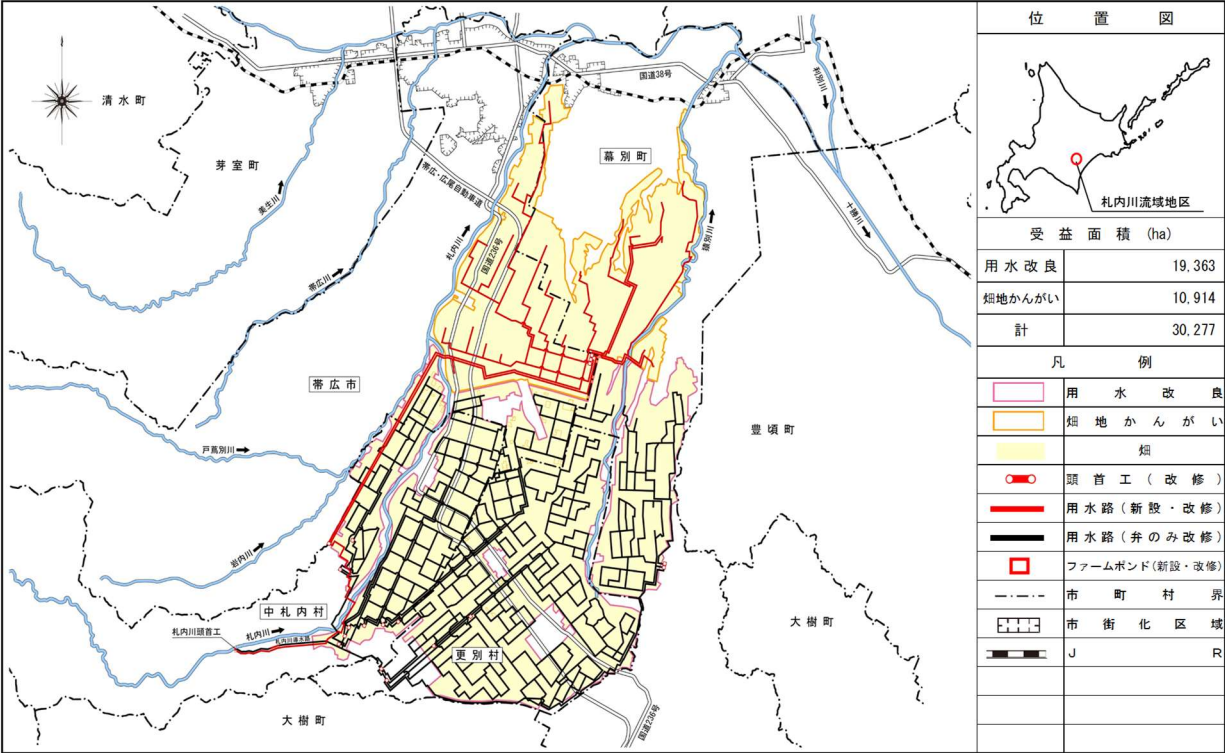
評価担当部局

農村振興局水資源課

概要図

1	受益面積	30,277ha		
2	受益者数	803人		
3	主要工事計画	工種	数量	事業費
	頭首工（改修） 用水路（新設、改修）	頭首工（改修）	1 か所	2,043百万円
		用水路（新設、改修）	27条 206.4km	98,557百万円
4	国営総事業費	100,600百万円		

札内川流域地区 概要図



令和9年度新規地区採択チェックリスト

(1)国営かんがい排水事業

(局名:北海道開発局)(地区名:札内川流域^{さつないがわがわういき})

1 必須事項

項目	評価の内容	判定
1 事業の必要性が明確であること。 (必要性)	・農業生産性の向上、農業生産の維持・増大、消費者の需要に即した農業生産の推進、農業構造の改善、農業生産活動の継続的な実施等の観点から、当該事業を必要とすること。	☐
2 技術的可能性が確実であること。	・地形、地質、水利状況等からみて、当該事業の施行が技術的に可能であること。	☐
3 事業の効率性が十分見込まれること。 (効率性)	・当該事業のすべての効用がそのすべての費用を償うこと。	☐
4 受益者負担の可能性が十分であること。 (公平性)	・当該事業の費用に係る受益農家の負担が、農業経営の状況からみて、負担能力の限度を超えることとはならないこと。	☐
5 環境との調和に配慮していること。	・当該事業が環境との調和に配慮したものであること。	☐
6 事業の採択要件を満たしていること。	・事業実施要綱・要領に規定された事業内容、採択基準の要件に適合していること。	☐

項目を満たしている場合は「○」とする。

項目欄の（ ）には、主として考えられる観点を記述している。

令和9年度新規地区採択チェックリスト

(1) 国営かんがい排水事業

(局名: 北海道開発局)(地区名: 札内川流域^{さつないがわりゅういき})

2 優先配慮事項

【効率性・有効性】

評価項目			評価指標	単位	評価結果	評価
大項目	中項目	小項目				
効率性	事業の経済性・効率性		①事業費の経済性・効率性の確保 ②コスト縮減についての具体的配慮	—	○ ○	A
有効性	食料安全保障の確保	農業生産性の維持・向上	土地生産性及び労働生産性の維持・向上効果額（受益面積当たり）	千円/ha・年	321.7	B
			スマート農業技術等の導入	—	A	A
		産地収益力の向上	①麦・大豆等の生産量の増加率 ②園芸作物の生産額の増加率	% %	△1.0 24.0	A
	農業の持続的発展	望ましい農業構造の確立	担い手への農地利用集積率	%	95.3	A
		農地の確保・有効利用	①耕地利用率 ②作付率の増加ポイント	% %	100.0 0.0	A
		農業生産基盤の保全管理	緊急性を踏まえた更新等整備	—	A	A
			施設の健全度評価を踏まえた更新等整備	—	A	A
			施設の重要度評価を踏まえた更新等整備	—	A	A
			重要度の高い国営造成施設における耐震化	—	A	A
	農村の振興	地域経済への波及効果	他産業への経済波及効果額（受益面積当たり）	千円/ha・年	599	B
		農業の高付加価値化	農業の高付加価値化	—	A	A
	多面的機能の発揮	地域の共同活動	多面的機能支払交付金等の取組	—	A	A
	環境と調和のとれた食料システムの確立	みどりの食料システム戦略に係る取組	「みどりの食料システム戦略」に係る取組の検討状況	—	A	A
		生態系・景観への配慮	①環境情報協議会等の意見を踏まえた生態系及び景観への配慮 ②地域住民の参加や地域住民との合意形成への取組 ③維持管理、費用負担、モニタリング体制等の調整状況	—	a a a	A

【事業の実施環境等】

評価項目			評価指標	単位	評価結果	評価
大項目	中項目	小項目				
事業の実施環境等	連携管理保全計画（水土里ビジョン）の策定		連携管理保全計画（水土里ビジョン）の策定状況	—	—	—
	関係計画との連携		①関係都道府県や市町村の農業振興計画と本事業との整合性 ②関係都道府県や市町村の国土強靱化地域計画と本事業との整合性 ③地域計画と本事業との整合性 ④地域における開発計画と本事業との整合性 ⑤関係計画における関連事業等への位置付け	—	a a a a —	A
	関係機関との協議		①河川管理者との協議(予備)の状況 ②漁協との協議（予備）の状況 ③その他着工前に重要な協議(予備)の状況	—	a — a	A
	関連事業との調整		①事業主体から概略構想(関連事業調書)の提出 ②共同事業(事業内容、事業費、アロケーション等)の事前了解	—	a a	A
	地元合意		①事業実施に対する受益農家の同意状況 ②事業実施に対する関係市町村の同意状況 ③事業推進協議会から着工要望の提出 ④維持管理方法と費用負担に関する予定管理者との合意 ⑤事業に伴う土地利用規制の周知状況	—	a a a a a	A
	営農推進体制・環境		①営農部局との連携 ②営農推進組織等(営農支援体制)の設立状況 ③農産物の流通・販売基盤の整備状況 ④需要に応じた生産の取組状況 ⑤フラッグシップ輸出産地又は輸出事業計画（GFPグローバル産地計画）の対象となる作物の営農計画への位置付け状況	—	a a a a a	A
	ストック効果の最大化		ストック効果の最大化に向けた事業の効率性・有効性等の確保	%	89	A

令和9年度新規地区採択チェックリスト

(1)国営かんがい排水事業

(局名:北海道開発局)(地区名:さつないがわりゅういき札内川流域)

3 特定監視項目(国営かんがい排水事業)

項目	評価の内容	判定
1 地質状況	・地質状況に基づいた施設計画としている。	☐
2 受益面積	・最近年の面積を把握している。	☐

項目を満たしている場合は「○」とする。

国営かんがい排水事業

かぶらがわ
鍋川二期地区

事業の概要

本事業は、群馬県の南西部に位置する高崎市、藤岡市、富岡市、甘楽郡下仁田町及び同郡甘楽町にまたがる 1,216ha の農業地帯において、農業用水の安定供給、農業水利施設の維持管理の費用と労力の軽減及び国土資源の保全を図るため、老朽化が進行している施設の改修及び耐震化のための整備を一体的に行うものである。

事業の目的・必要性

本地区の営農は、水稻、小麦のほか、ねぎ、なす等の園芸作物を組み合わせた農業経営、ねぎ、なす等の園芸作物及びこんにゃくいもの専作による農業経営、飼料作物を栽培し乳用牛を飼養する酪農経営が展開されている。

本地区の基幹的な農業水利施設は、国営鍋川土地改良事業(昭和 33 年度～昭和 46 年度)により整備されたが、経年的な施設の劣化により貯水池、頭首工及び幹線水路のコンクリートの摩耗やひび割れ、頭首工及び貯水池のゲート設備の動作に不具合が生じるなど、農業用水の安定供給に支障を来すとともに、施設の維持管理に多大な労力と費用を要している。

また、地区内の貯水池や頭首工及び水路橋の一部は必要な耐震性を有していないことから、大規模地震が発生し施設が損壊した場合には、農業用水の安定供給や地域に甚大な被害を及ぼすおそれがある。

このため、本事業では老朽化が進行している施設の改修と併せて、必要な耐震性を有していない施設の耐震化のための整備を行うことにより、農業用水の安定供給、施設の維持管理の費用と労力の軽減及び国土資源の保全を図り、農業生産性の維持及び農業経営の安定に資することを目的とする。

事業の効率性

・総費用総便益比の算定

区 分	算定式	数 値	備 考
総費用(現在価値化)	①＝②＋③	24,575百万円	
当該事業による費用	②	10,474百万円	当該事業費14,700百万円
関連事業による費用、資産価額、再整備費	③	14,101百万円	
評価期間（当該事業の工事期間＋40年）	④	55年	工事期間 令和 9 ～23年度
総便益額(現在価値化)	⑤	30,828百万円	
総費用総便益比	⑥＝⑤÷①	1.25	

（注 1）総費用とは当該地域内において効果を発揮する一連の施設に係る費用であり、評価期間中の施設の資産価額、整備費等である。

（注 2）百万円単位で四捨五入しているため、数値は算定結果と合わない場合がある。

（注 3）数値は土地改良法に基づく手続を経て確定するため、現時点では暫定値である。

- ・年効果額（便益額）

本事業の実施により、用水施設の機能が維持されることによって、事業を実施しなかった場合と比較して、年間 1,422 百万円相当の事業効果が見込まれ、農業経営の安定が図られる。

作物生産効果	997 百万円
品質向上効果	320 百万円
営農経費節減効果	39 百万円
維持管理費節減効果	△ 61 百万円
地域用水効果	4 百万円
その他の効果（災害時の復旧対策費軽減効果）	4 百万円
その他の効果（国産農産物安定供給効果）	121 百万円
計	1,422 百万円

（注）百万円単位で四捨五入しているため、数値は算定結果と合わない場合がある。

日程・手続

令和 8 年度から、土地改良法に基づく土地改良事業計画の概要公告等の手続きが開始される予定である。

事業に対する決議

令和 8 年 7 月に鎭川地区国営土地改良事業等推進協議会総会において、国営事業の事業着工要求について議決された。

その他

- ・事業推進体制

平成 29 年 8 月 29 日に、鎭川地区国営土地改良事業等推進協議会を設立し、事業を推進（構成：高崎市、藤岡市、富岡市、甘楽郡下仁田町、同郡甘楽町、鎭川土地改良区、甘楽多野用水土地改良区）

- ・維持管理体制

既存施設の改修を行う事業であることから、現在の管理者が引き続き管理することで了解を得ている。

- ・営農支援体制

国、群馬県、高崎市、藤岡市、富岡市、甘楽郡下仁田町、甘楽郡甘楽町、関係 JA、鎭川土地改良区、甘楽多野用水土地改良区、受益農家から構成される鎭川地区営農検討委員会において、営農支援体制を整備

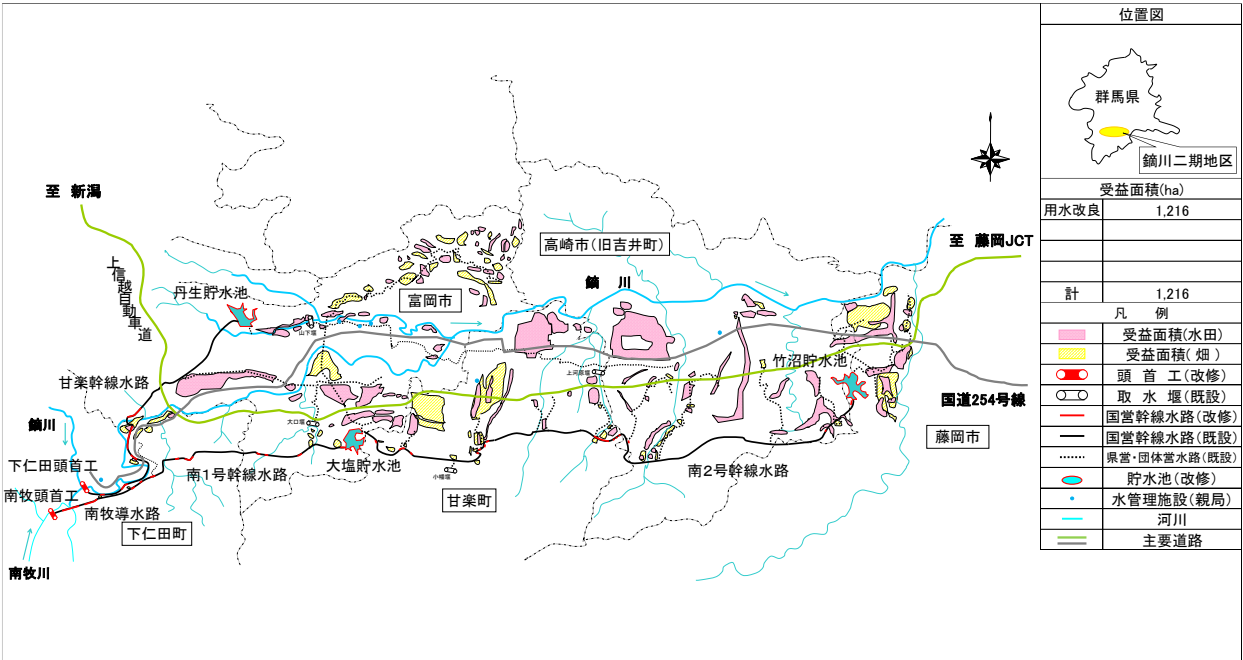
評価担当部局

農村振興局水資源課

概要図

1	受益面積	1,216ha		
2	受益者数	3,788人		
3	主要工事計画	工種	数量	事業費
		貯水池（改修）	3 か所	6,720百万円
		頭首工（改修）	2 か所	1,660百万円
		用水路（改修）	10.3km	6,130百万円
		水管理施設（新設）	一式	190百万円
4	国営総事業費	14,700百万円		

鑓川二期地区 概要図



令和9年度新規地区採択チェックリスト

(1)国営かんがい排水事業

(局名:関東農政局)(地区名: 錦川二期地区)

1 必須事項

項目	評価の内容	判定
1 事業の必要性が明確であること。 (必要性)	・農業生産性の向上、農業生産の維持・増大、消費者の需要に即した農業生産の推進、農業構造の改善、農業生産活動の継続的な実施等の観点から、当該事業を必要とすること。	☐
2 技術的可能性が確実であること。	・地形、地質、水利状況等からみて、当該事業の施行が技術的に可能であること。	☐
3 事業の効率性が十分見込まれること。 (効率性)	・当該事業のすべての効用がそのすべての費用を償うこと。	☐
4 受益者負担の可能性が十分であること。 (公平性)	・当該事業の費用に係る受益農家の負担が、農業経営の状況からみて、負担能力の限度を超えることとはならないこと。	☐
5 環境との調和に配慮していること。	・当該事業が環境との調和に配慮したものであること。	☐
6 事業の採択要件を満たしていること。	・事業実施要綱・要領に規定された事業内容、採択基準の要件に適合していること。	☐

項目を満たしている場合は「○」とする。

項目欄の（ ）には、主として考えられる観点を記述している。

令和9年度新規地区採択チェックリスト

(1) 国営かんがい排水事業

(局名: 関東農政局)(地区名: 鎭川二期地区)

2 優先配慮事項

【効率性・有効性】

評価項目			評価指標	単位	評価結果	評価
大項目	中項目	小項目				
効率性	事業の経済性・効率性		①事業費の経済性・効率性の確保 ②コスト縮減についての具体的配慮	—	○ ○	A
有効性	食料安全保障の確保	農業生産性の維持・向上	土地生産性及び労働生産性の維持・向上効果額（受益面積当たり）	千円/ha・年	1,064	A
			スマート農業技術等の導入	—	A	A
		産地収益力の向上	①麦・大豆等の生産量の増加率 ②園芸作物の生産額の増加率	% %	40.7 7.1	A
	農業の持続的発展	望ましい農業構造の確立	担い手への農地利用集積率	%	26.2	B
		農地の確保・有効利用	①耕地利用率 ②作付率の増加ポイント	% %	108.5 8.3	A
			緊急性を踏まえた更新等整備	—	A	A
		農業生産基盤の保全管理	施設の健全度評価を踏まえた更新等整備	—	A	A
			施設の重要度評価を踏まえた更新等整備	—	A	A
			重要度の高い国営造成施設における耐震化	—	A	A
	農村の振興	地域経済への波及効果	他産業への経済波及効果額（受益面積当たり）	千円/ha・年	2,486	A
		農業の高付加価値化	農業の高付加価値化	—	A	A
	多面的機能の発揮	地域の共同活動	多面的機能支払交付金等の取組	—	A	A
	環境と調和のとれた食料システムの確立	みどりの食料システム戦略に係る取組	「みどりの食料システム戦略」に係る取組の検討状況	—	A	A
		生態系・景観への配慮	①環境情報協議会等の意見を踏まえた生態系及び景観への配慮 ②地域住民の参加や地域住民との合意形成への取組 ③維持管理、費用負担、モニタリング体制等の調整状況	—	a a a	A

【事業の実施環境等】

評価項目			評価指標	単位	評価結果	評価
大項目	中項目	小項目				
事業の実施環境等	連携管理保全計画（水土里ビジョン）の策定		連携管理保全計画（水土里ビジョン）の策定状況	—	A	A
	関係計画との連携		①関係都道府県や市町村の農業振興計画と本事業との整合性 ②関係都道府県や市町村の国土強靱化地域計画と本事業との整合性 ③地域計画と本事業との整合性 ④地域における開発計画と本事業との整合性 ⑤関係計画における関連事業等への位置付け	—	a a a a —	A
	関係機関との協議		①河川管理者との協議（予備）の状況 ②漁協との協議（予備）の状況 ③その他着工前に重要な協議（予備）の状況	—	a a —	A
	関連事業との調整		①事業主体から概略構想（関連事業調書）の提出 ②共同事業（事業内容、事業費、アロケーション等）の事前了解	—	— a	A
	地元合意		①事業実施に対する受益農家の同意状況 ②事業実施に対する関係市町村の同意状況 ③事業推進協議会から着工要望の提出 ④維持管理方法と費用負担に関する予定管理者との合意 ⑤事業に伴う土地利用規制の周知状況	—	a a a a a	A
	営農推進体制・環境		①営農部局との連携 ②営農推進組織等（営農支援体制）の設立状況 ③農産物の流通・販売基盤の整備状況 ④需要に応じた生産の取組状況 ⑤フラッグシップ輸出産地又は輸出事業計画（GFPグローバル産地計画）の対象となる作物の営農計画への位置付け状況	—	a a a a a	A
	ストック効果の最大化		ストック効果の最大化に向けた事業の効率性・有効性等の確保	%	94.7	A

令和9年度新規地区採択チェックリスト

(1)国営かんがい排水事業

(局名:関東農政局)(地区名:鎭川二期地区)

3 特定監視項目(国営かんがい排水事業)

項目	評価の内容	判定
1 地質状況	・地質状況に基づいた施設計画としている。	☐
2 受益面積	・最近年の面積を把握している。	☐

項目を満たしている場合は「○」とする。

国営かんがい排水事業 氷見地区

事業の概要

本事業は、富山県の北西部に位置する氷見市の 588ha の水田地帯において、排水施設の維持管理の費用と労力及び農作物、農用地等の湛水被害の軽減を図るため、耐震化のための整備と一体的な更新等を行うものである。

事業の目的・必要性

本地区の営農は、水稻、大麦、ハトムギのほか、マコモタケ及びぶどうを組み合わせた農業経営が展開されている。

本地区の基幹的な農業水利施設である十二町潟排水機場は、国営氷見土地改良事業（昭和 52 年度～平成 4 年度）により造成されたが、必要な耐震性を有していないことから、大規模地震が発生し施設が損壊した場合には、地域に甚大な被害を及ぼすおそれがあるとともに、経年的な施設の劣化により、翼角制御装置の不具合に伴うポンプの緊急停止など、排水機能の維持に支障を来しているため、施設の維持管理に多大な費用と労力を要している。また、近年の豪雨の増加に対し、排水能力が不足し、湛水被害が生じている。

このため、本事業では、十二町潟排水機場の耐震化のための整備と一体的な更新を行うとともに、豪雨災害対策のための整備を行うことにより、施設の長寿命化、維持管理の費用と労力及び湛水被害の軽減を図り、農業生産性の維持及び農業経営の安定に資するものである。

事業の効率性

・ 総費用総便益比の算定

区 分	算定式	数 値	備 考
総費用(現在価値化)	①＝②＋③	18, 151百万円	
当該事業による費用	②	9, 117百万円	当該事業費12, 000百万円
関連事業による費用、資産価額、再整備費	③	9, 033百万円	
評価期間（当該事業の工事期間＋40年）	④	52年	工事期間 令和9～20年度
総便益額(現在価値化)	⑤	35, 508百万円	
総費用総便益比	⑥＝⑤÷①	1. 95	

- （注 1）総費用とは当該地域内において効果を発揮する一連の施設に係る費用を、評価年度における価値で評価した額である。
- （注 2）百万円単位で四捨五入しているため、数値は算定結果と合わない場合がある。
- （注 3）数値は土地改良法に基づく手続を経て確定するため、現時点では暫定値である。

・ 年効果額（便益額）

本事業及び関連事業の実施により、排水施設の機能が維持されることによって、事業を実施しなかった場合と比較し、年間 1, 641 百万円相当の事業効果が見込まれ、農業経営の安定が図られる。

作物生産効果	95 百万円
営農経費節減効果	50 百万円
維持管理費節減効果	△30 百万円
災害防止効果	1,499 百万円
その他の効果（災害時の復旧対策費軽減効果）	5 百万円
その他の効果（国産農産物安定供給効果）	21 百万円
計	1,641 百万円

（注）百万円単位で四捨五入しているため、数値は算定結果と合わない場合がある。

日程・手続

令和８年度から、土地改良法に基づく土地改良事業計画の概要の公告等の手続きが開始される予定である。

事業に対する決議

令和８年３月１９日に開催した氷見市土地改良区総代会において令和９年度事業着手要望について決議された。

令和８年６月８日に関係市及び氷見市土地改良区等からなる氷見地区国営土地改良事業推進協議会総会において、令和９年度事業着手要望について決議された。

その他

・事業推進体制

令和６年１０月１日に氷見地区国営土地改良事業推進協議会を設立し、事業を推進（構成：氷見市、氷見市土地改良区、氷見市農業協同組合）。

・維持管理体制

管理者である氷見市土地改良区が引き続き管理することを令和７年１２月１２日に個別に確認し合意。

・営農支援体制

富山県、氷見市、氷見市土地改良区、氷見市農業協同組合及び受益者代表で構成される「氷見地区国営土地改良事業営農検討部会」において営農支援体制を整備。

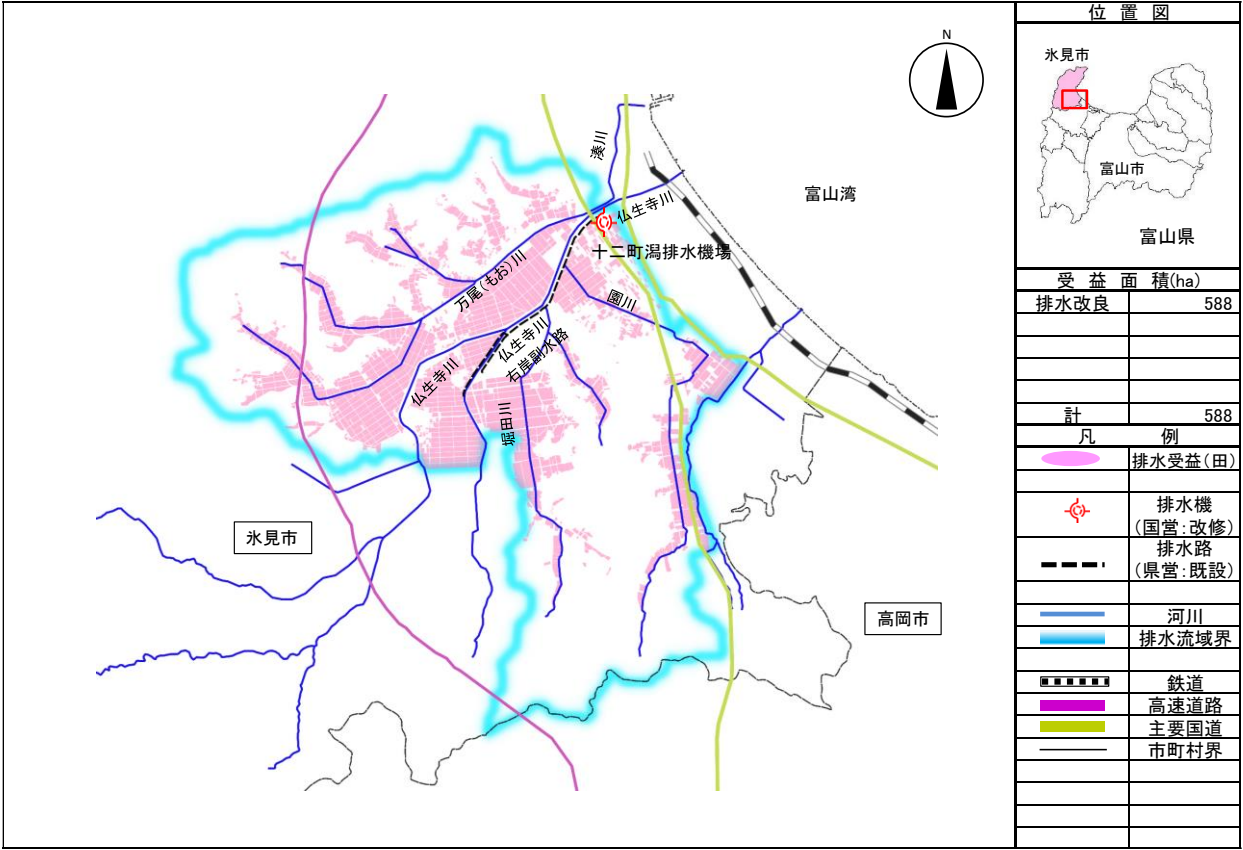
評価担当部局

農村振興局水資源課

概要図

1 受益面積	588ha		
2 受益者数	2,093人		
3 主要工事計画	工種	数量	事業費
	排水機場（改修）	1 か所	12,000百万円
4 国営総事業費	12,000百万円		

氷見地区 概要図



令和9年度新規地区採択チェックリスト

(1)国営かんがい排水事業

(局名： 北陸農政局)(地区名： 氷見)

1 必須事項

項目	評価の内容	判定
1 事業の必要性が明確であること。 (必要性)	・農業生産性の向上、農業生産の維持・増大、消費者の需要に即した農業生産の推進、農業構造の改善、農業生産活動の継続的な実施等の観点から、当該事業を必要とすること。	☐
2 技術的可能性が確実であること。	・地形、地質、水利状況等からみて、当該事業の施行が技術的に可能であること。	☐
3 事業の効率性が十分見込まれること。 (効率性)	・当該事業のすべての効用がそのすべての費用を償うこと。	☐
4 受益者負担の可能性が十分であること。 (公平性)	・当該事業の費用に係る受益農家の負担が、農業経営の状況からみて、負担能力の限度を超えることとはならないこと。	☐
5 環境との調和に配慮していること。	・当該事業が環境との調和に配慮したものであること。	☐
6 事業の採択要件を満たしていること。	・事業実施要綱・要領に規定された事業内容、採択基準の要件に適合していること。	☐

項目を満たしている場合は「○」とする。

項目欄の（ ）には、主として考えられる観点を記述している。

令和9年度新規地区採択チェックリスト

(1) 国営かんがい排水事業

(局名： 北陸農政局)(地区名： 氷見)

2 優先配慮事項

【効率性・有効性】

評価項目			評価指標	単位	評価結果	評価
大項目	中項目	小項目				
効率性	事業の経済性・効率性		①事業費の経済性・効率性の確保 ②コスト縮減についての具体的配慮	—	○ ○	A
有効性	食料安全保障の確保	農業生産性の維持・向上	土地生産性及び労働生産性の維持・向上効果額（受益面積当たり）	千円 /ha・年	197	B
			スマート農業技術等の導入	—	A	A
		産地収益力の向上	①麦・大豆等の生産量の増加率 ②園芸作物の生産額の増加率	% %	26.1 133.3	A
	農業の持続的発展	望ましい農業構造の確立	担い手への農地利用集積率	%	73.7	A
			①耕地利用率 ②作付率の増加ポイント	% %	96.3 6.2	A
		農業生産基盤の保全管理	緊急性を踏まえた更新等整備	—	A	A
			施設の健全度評価を踏まえた更新等整備	—	A	A
			施設の重要度評価を踏まえた更新等整備	—	A	A
			重要度の高い国営造成施設における耐震化	—	A	A
	農村の振興	地域経済への波及効果	他産業への経済波及効果額（受益面積当たり）	千円 /ha・年	431	B
		農業の高付加価値化	農業の高付加価値化	—	A	A
	多面的機能の発揮	地域の共同活動	多面的機能支払交付金等の取組	—	A	A
	環境と調和のとれた食料システムの確立	みどりの食料システム戦略に係る取組	「みどりの食料システム戦略」に係る取組の検討状況	—	A	A
		生態系・景観への配慮	①環境情報協議会等の意見を踏まえた生態系及び景観への配慮 ②地域住民の参加や地域住民との合意形成への取組 ③維持管理、費用負担、モニタリング体制等の調整状況	—	a a a	A

【事業の実施環境等】

評価項目			評価指標	単位	評価結果	評価
大項目	中項目	小項目				
事業の実施環境等	連携管理保全計画（水土里ビジョン）の策定		連携管理保全計画（水土里ビジョン）の策定状況	—	A	A
	関係計画との連携		①関係都道府県や市町村の農業振興計画と本事業との整合性 ②関係都道府県や市町村の国土強靱化地域計画と本事業との整合性 ③地域計画と本事業との整合性 ④地域における開発計画と本事業との整合性 ⑤関係計画における関連事業等への位置付け	—	a a a a —	A
	関係機関との協議		①河川管理者との協議（予備）の状況 ②漁協との協議（予備）の状況 ③その他着工前に重要な協議（予備）の状況	—	a — —	A
	関連事業との調整		①事業主体から概略構想（関連事業調書）の提出 ②共同事業（事業内容、事業費、アロケーション等）の事前了解	—	— —	—
	地元合意		①事業実施に対する受益農家の同意状況 ②事業実施に対する関係市町村の同意状況 ③事業推進協議会から着工要望の提出 ④維持管理方法と費用負担に関する予定管理者との合意 ⑤事業に伴う土地利用規制の周知状況	—	a a a a a	A
	営農推進体制・環境		①営農部局との連携 ②営農推進組織等（営農支援体制）の設立状況 ③農産物の流通・販売基盤の整備状況 ④需要に応じた生産の取組状況 ⑤フラッグシップ輸出産地又は輸出事業計画（GFPグローバル産地計画）の対象となる作物の営農計画への位置付け状況	—	a a a a —	A
	ストック効果の最大化		ストック効果の最大化に向けた事業の効率性・有効性等の確保	%	88.9	A

令和9年度新規地区採択チェックリスト

(1)国営かんがい排水事業

(局名： 北陸農政局)(地区名： 氷見)

3 特定監視項目(国営かんがい排水事業、土地改良施設突発事故防止事業)

項目	評価の内容	判定
1 地質状況	・地質状況に基づいた施設計画としている。	☐
2 受益面積	・最近年の面積を把握している。	☐

項目を満たしている場合は「○」とする。

てんりゅうがわかりゅうにき

国営かんがい排水事業 天竜川下流二期地区

事業の概要

本事業は、静岡県^{はままつし いわたし ふくろいし しゅうちぐんもりまち}の西部に位置し、浜松市、磐田市、袋井市及び周智郡森町にまたがる 7,450ha の農業地帯において、農業用水の安定供給及び施設の維持管理の費用等の軽減を図るため、老朽化した施設の改修にあわせて省エネルギー化に資する対策を行うとともに、必要な耐震性を有していない施設の耐震化のための整備を行うものである。

事業の目的・必要性

本地区の営農は、水稻、小麦、大豆のほか、かんしょ、たまねぎ等の園芸作物を組み合わせた農業経営、かんしょ、たまねぎ等の園芸作物及び茶の専作による農業経営が展開されている。

本地区の基幹的な農業水利施設は、国営天竜川下流土地改良事業(昭和 42 年度～昭和 59 年度)等により整備されたが、経年的な施設の劣化により、用水路においてはコンクリート構造物のひび割れや摩耗が生じているなど、農業用水の安定供給に支障を来しているとともに、施設の維持管理に多大な費用と労力を要している。加えて、複数の揚水機を用いた配水に伴うエネルギー使用量が多い水利形態により、施設の維持管理に多大な費用を要している。また、ダム、取水工及び用水路の一部は必要な耐震性を有していないことから、大規模地震が発生し施設が損壊した場合には、地域に甚大な被害を及ぼすおそれがある。

このため、本事業では、老朽化した施設の改修にあわせて省エネルギー化に資する対策を行うとともに、必要な耐震性を有していない施設の耐震化のための整備を行うことにより、農業用水の安定供給及び施設の維持管理の費用と労力の軽減を図り、もって農業生産性の向上及び農業経営の安定に資するものである。

事業の効率性

・総費用総便益比の算定

区 分	算定式	数 値	備 考
総費用(現在価値化)	①＝②＋③	100,570百万円	
当該事業による費用	②	37,600百万円	当該事業費60,000百万円
関連事業による費用、資産価額、再整備費	③	62,971百万円	
評価期間（当該事業の工事期間＋40年）	④	59年	工事期間 令和 9 ～27年度
総便益額(現在価値化)	⑤	120,939百万円	
総費用総便益比	⑥＝⑤÷①	1.20	

（注 1）総費用とは当該地域内において効果を発揮する一連の施設に係る費用であり、評価期間中の施設の資産価額、整備費等である。

（注 2）百万円単位で四捨五入しているため、数値は算定結果と合わない場合がある。

（注 3）数値は土地改良法に基づく手続を経て確定するため、現時点では暫定値である。

- ・年効果額（便益額）

本事業の実施により、用水施設の機能が維持向上されることによって、事業を実施しなかった場合と比較して、年間 5,494 百万円相当の事業効果が見込まれ、農業経営の安定が図られる。

作物生産効果	4,495 百万円
品質向上効果	395 百万円
営農経費節減効果	△41 百万円
維持管理費節減効果	△207 百万円
地域用水効果	19 百万円
その他の効果（災害時の復旧対策費軽減効果）	172 百万円
その他の効果（国産農産物安定供給効果）	661 百万円
計	5,494 百万円

（注）百万円単位で四捨五入しているため、数値は算定結果と合わない場合がある。

日程・手続

令和 8 年度から、土地改良法に基づく土地改良事業計画の概要の公告等の手続きが開始される予定である。

事業に対する決議

令和 8 年 3 月 11 日に開催した豊笠土地改良区総代会、令和 8 年 3 月 13 日に開催された寺谷用水土地改良区総代会、令和 8 年 3 月 17 日に開催された磐田用水東部土地改良区総代会、令和 8 年 3 月 18 日に開催された浜松土地改良区総代会、及び令和 8 年 3 月 24 日に開催された磐田原土地改良区総代会において、令和 9 年度事業着手要望について決議された。

令和 8 年 6 月 2 日に関係機関からなる天竜川下流用水協議会において、国営事業の事業着工要求について決議された。

その他

- ・事業推進体制

平成 5 年 5 月 28 日に天竜川下流用水協議会を設立し、事業を推進（構成：静岡県浜松市、磐田市、袋井市、森町、浜松土地改良区、寺谷用水土地改良区、磐田用水東部土地改良区、磐田原土地改良区、豊笠土地改良区）

- ・維持管理体制

既存施設の改修を行う事業であることから、現在の管理者である静岡県、磐田市、袋井市、浜松土地改良区、寺谷用水土地改良区、磐田用水東部土地改良区、磐田原土地改良区、豊笠土地改良区が引き続き管理することを令和 4 年 10 月に確認し合意。

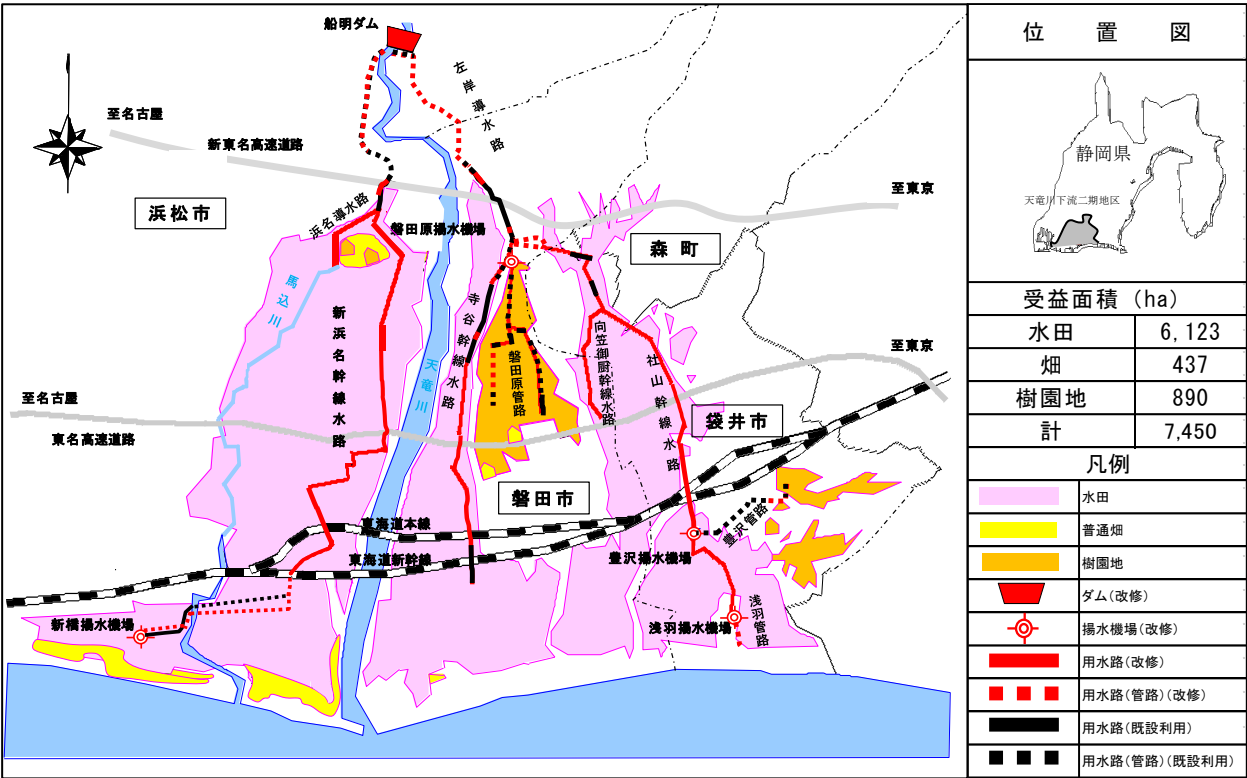
- ・営農支援体制

静岡県、浜松市、磐田市、袋井市、森町、浜松土地改良区、寺谷用水土地改良区、磐田用水東部土地改良区、磐田原土地改良区、豊笠土地改良区、遠州中央農業協同組合、とぴあ浜松農業協同組合及び受益者代表で構成される「天竜川下流二期地区 営農計画検討委員会」において営農支援体制を整備。

概要図

1	受益面積	7,450ha		
2	受益者数	19,389人		
3	主要工事計画	工種	数量	事業費
		ダム(改修)	1か所	128百万円
		取水工(改修)	1か所	1,157百万円
		揚水機場(改修)	4か所	4,415百万円
		用水路(改修)	76.0km	52,154百万円
		水管理施設(改修)	一式	2,146百万円
4	国営総事業費	60,000百万円		

天竜川下流二期地区概要図



令和9年度新規地区採択チェックリスト

(1)国営かんがい排水事業

(局名:関東農政局)(地区名:天竜川下流二期地区)

1. 必須事項

項目	評価の内容	判定
1 事業の必要性が明確であること。 (必要性)	・農業生産性の向上、農業生産の維持・増大、消費者の需要に即した農業生産の推進、農業構造の改善、農業生産活動の継続的な実施等の観点から、当該事業を必要とすること。	☐
2 技術的可能性が確実であること。	・地形、地質、水利状況等からみて、当該事業の施行が技術的に可能であること。	☐
3 事業の効率性が十分見込まれること。 (効率性)	・当該事業のすべての効用がそのすべての費用を償うこと。	☐
4 受益者負担の可能性が十分であること。 (公平性)	・当該事業の費用に係る受益農家の負担が、農業経営の状況からみて、負担能力の限度を超えることとはならないこと。	☐
5 環境との調和に配慮していること。	・当該事業が環境との調和に配慮したものであること。	☐
6 事業の採択要件を満たしていること。	・事業実施要綱・要領に規定された事業内容、採択基準の要件に適合していること。	☐

項目を満たしている場合は「○」とする。

項目欄の（ ）には、主として考えられる観点を記述している。

令和9年度新規地区採択チェックリスト

(1) 国営かんがい排水事業

(局名: 関東農政局)(地区名: 天竜川下流二期地区)

2. 優先配慮事項

【効率性・有効性】

評価項目			評価指標	単位	評価結果	評価
大項目	中項目	小項目				
効率性	事業の経済性・効率性		①事業費の経済性・効率性の確保 ②コスト縮減についての具体的配慮	—	○ ○	A
有効性	食料安全保障の確保	農業生産性の維持・向上	土地生産性及び労働生産性の維持・向上効果額（受益面積当たり）	千円/ha・年	623	A
			スマート農業技術等の導入	—	A	A
		産地収益力の向上	①麦・大豆等の生産量の増加率	%	31.2	A
			②園芸作物の生産額の増加率	%	9.3	
	農業の持続的発展	望ましい農業構造の確立	担い手への農地利用集積率	%	48.3	A
			①耕地利用率 ②作付率の増加ポイント	% %	101.3 2.8	A
		農業生産基盤の保全管理	緊急性を踏まえた更新等整備	—	A	A
			施設の健全度評価を踏まえた更新等整備	—	A	A
			施設の重要度評価を踏まえた更新等整備	—	A	A
			重要度の高い国営造成施設における耐震化	—	A	A
	農村の振興	地域経済への波及効果	他産業への経済波及効果額（受益面積当たり）	千円/ha・年	1,460	A
		農業の高付加価値化	農業の高付加価値化	—	A	A
	多面的機能の発揮	地域の共同活動	多面的機能支払交付金等の取組	—	A	A
	環境と調和のとれた食料システムの確立	みどりの食料システム戦略に係る取組	「みどりの食料システム戦略」に係る取組の検討状況	—	A	A
		生態系・景観への配慮	①環境情報協議会等の意見を踏まえた生態系及び景観への配慮 ②地域住民の参加や地域住民との合意形成への取組 ③維持管理、費用負担、モニタリング体制等の調整状況	—	a a a	A

【事業の実施環境等】

評価項目			評価指標	単位	評価結果	評価
大項目	中項目	小項目				
事業の実施環境等	連携管理保全計画（水土里ビジョン）の策定		連携管理保全計画（水土里ビジョン）の策定状況	—	A	A
	関係計画との連携		①関係都道府県や市町村の農業振興計画と本事業との整合性 ②関係都道府県や市町村の国土強靱化地域計画と本事業との整合性 ③地域計画と本事業との整合性 ④地域における開発計画と本事業との整合性 ⑤関係計画における関連事業等への位置付け	—	a a a a —	A
	関係機関との協議		①河川管理者との協議（予備）の状況 ②漁協との協議（予備）の状況 ③その他着工前に重要な協議（予備）の状況	—	a — a	A
	関連事業との調整		①事業主体から概略構想（関連事業調書）の提出 ②共同事業（事業内容、事業費、アロケーション等）の事前了解	—	— a	A
	地元合意		①事業実施に対する受益農家の同意状況 ②事業実施に対する関係市町村の同意状況 ③事業推進協議会から着工要望の提出 ④維持管理方法と費用負担に関する予定管理者との合意 ⑤事業に伴う土地利用規制の周知状況	—	a a a a a	A
	営農推進体制・環境		①営農部局との連携 ②営農推進組織等（営農支援体制）の設立状況 ③農産物の流通・販売基盤の整備状況 ④需要に応じた生産の取組状況 ⑤フラッグシップ輸出産地又は輸出事業計画（GFPグローバル産地計画）の対象となる作物の営農計画への位置付け状況	—	a a a a a	A
	ストック効果の最大化		ストック効果の最大化に向けた事業の効率性・有効性等の確保	%	100	A

令和9年度新規地区採択チェックリスト

(1)国営かんがい排水事業

(局名:関東農政局)(地区名:天竜川下流二期地区)

3. 特定監視項目（国営かんがい排水事業、土地改良施設突発事故防止事業）

項目	評価の内容	判定
1. 地質状況	・地質状況に基づいた施設計画としている。	☐
2. 受益面積	・最近年の面積を把握している。	☐

項目を満たしている場合は「○」とする。

国営かんがい排水事業 南紀用水二期地区

事業の概要

本事業は、和歌山県の南西部に位置し、田辺市及び日高郡みなべ町にまたがる 1,428ha の農業地帯において、農業用水の安定供給及び農業水利施設の維持管理の費用と労力の軽減を図るため、老朽化が進行している施設の改修と併せて、水需要の変化に対応するための整備、利水機能及び洪水調節機能の強化に資する整備等を行うものである。

事業の目的・必要性

本地区の営農は、うめ専作を主体とし、かんきつ類やうすいえんどうを組み合わせた農業経営及びスターチス専作による農業経営が展開されている。

本地区の基幹的な農業水利施設は、国営南紀用水土地改良事業（昭和 48 年度～平成 7 年度）等により造成されたが、営農状況の変化等に伴う水需要の変化が生じているとともに、経年的な施設の劣化により、貯水池、頭首工及び用水路ではコンクリート構造物のひび割れや漏水等が発生するなど、農業用水の安定供給に支障を来しており、施設の維持管理に多大な費用と労力を要している。

また、島ノ瀬ダム管理所等は必要な耐震性能を有していないことから、大規模地震が発生し損壊した場合には、地域に甚大な被害を及ぼすおそれがある。

さらに、本地区の水源であり、治水協定を締結している島ノ瀬ダムでは、紀伊半島大水害等により大量の土砂が流入し、利水容量の確保に支障を来している。

加えて、地区内の一部では、農業用水を主に降雨に依存しており、農業生産性が低く、営農に支障を来している。

このため、本事業では、水需要の変化に対応するための施設を整備するとともに、老朽化が進行している施設の改修及び耐震化並びに利水機能の確保及び洪水調節機能の強化に資する島ノ瀬ダムの堆砂対策を一体的に行い、さらに、関連事業において揚水機場及び用水路を新設することにより、農業用水の安定供給及び維持管理の費用と労力の軽減を図り、農業生産性の向上及び農業経営の安定に資するものである。

事業の効率性

・総費用総便益比の算定

区 分	算定式	数 値	備 考
総費用（現在価値化）	①＝②＋③	38,620百万円	
当該事業による費用	②	11,805百万円	当該事業費15,500百万円
関連事業による費用、資産価額、再整備費	③	26,815百万円	
評価期間（当該事業の工事期間＋40年）	④	49年	工事期間 令和9～17年度
総便益額（現在価値化）	⑤	49,889百万円	
総費用総便益比	⑥＝⑤÷①	1.29	

（注 1）総費用とは当該地域内において効果を発揮する一連の施設に係る費用であり、評価期間

中の施設の資産価額、整備費等である。

(注2) 百万円単位で四捨五入しているため、数値は算定結果と合わない場合がある。

(注3) 数値は土地改良法に基づく手続を経て確定するため、現時点では暫定値である。

・年効果額（便益額）

本事業及び関連事業の実施により、用水施設の機能が維持向上されることによって、事業を実施しなかった場合と比較して、年間 2,351 百万円相当の事業効果が見込まれ、農業経営の安定が図られる。

作物生産効果	1,151 百万円
品質向上効果	401 百万円
営農経費節減効果	643 百万円
維持管理費節減効果	△25 百万円
農業労働環境改善効果	78 百万円
地域用水効果	31 百万円
その他の効果（洪水調節機能効果（農業用ダム））	5 百万円
その他の効果（国産農産物安定供給効果）	68 百万円
計	2,351 百万円

(注) 百万円単位で四捨五入しているため、数値は算定結果と合わない場合がある。

日程・手続

令和8年度から、土地改良法に基づく土地改良事業計画の概要の公告等の手続が開始される予定である。

事業に対する決議

令和8年3月14日の南紀用水土地改良区総代会において、令和9年度事業着工について決議された。

令和8年3月30日に南紀用水地区事業推進協議会において、令和9年度事業着工について決議された。

その他

・事業推進体制

平成28年4月1日に南紀用水地区事業推進協議会を設立し、事業を推進（構成：田辺市、みなべ町、南紀用水土地改良区）

・維持管理体制

平成8年4月1日に、管理方法書において国営南紀用水土地改良事業で造成した土地改良財産の維持管理について合意（管理者：南紀用水土地改良区）

令和6年11月7日に、南紀用水地区畑地かんがい施設活用検討部会において、維持管理体制について合意（管理者：南紀用水二期事業で造成等される施設は南紀用水土地改良区）

・営農支援体制

和歌山県、田辺市、みなべ町、南紀用水土地改良区、和歌山県農業協同組合、地元農家代表から構成される南紀用水地区営農検討部会において、営農支援体制を整備

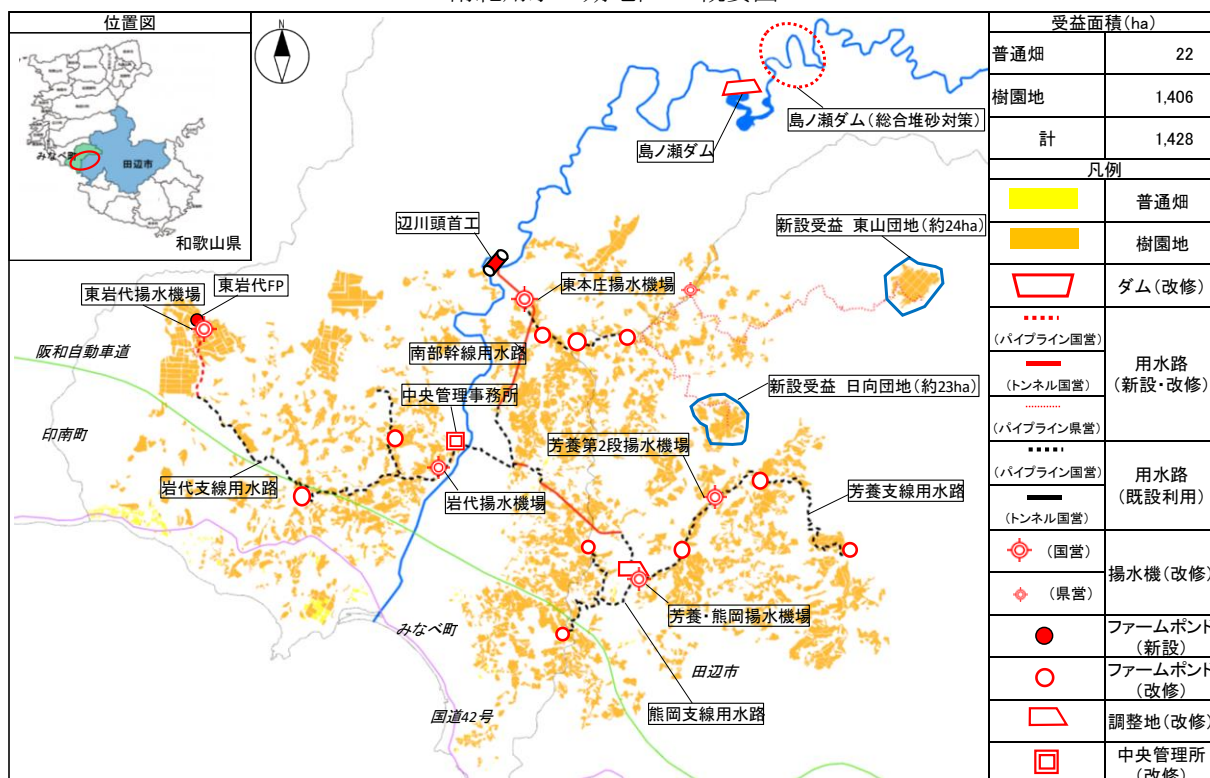
評価担当部局

農村振興局水資源課

概要図

1	受益面積	1,428ha		
2	受益者数	1,364人		
3	主要工事計画	工種	数量	事業費
		ダム（改修）	1 か所	4,663百万円
		頭首工（改修）	1 か所	95百万円
		揚水機場（改修）	5 か所	6,349百万円
		用水路（新設・改修）	5.9km	2,224百万円
		水管理施設（改修）	一式	2,169百万円
4	国営総事業費	15,500百万円		

南紀用水二期地区 概要図



令和9年度新規地区採択チェックリスト

(1)国営かんがい排水事業

(局名：近畿農政局) (地区名：南紀用水二期^{なんきようすいにき})

1 必須事項

項目	評価の内容	判定
1 事業の必要性が明確であること。 (必要性)	・農業生産性の向上、農業生産の維持・増大、消費者の需要に即した農業生産の推進、農業構造の改善、農業生産活動の継続的な実施等の観点から、当該事業を必要とすること。	☐
2 技術的可能性が確実であること。	・地形、地質、水利状況等からみて、当該事業の施行が技術的に可能であること。	☐
3 事業の効率性が十分見込まれること。 (効率性)	・当該事業のすべての効用がそのすべての費用を償うこと。	☐
4 受益者負担の可能性が十分であること。 (公平性)	・当該事業の費用に係る受益農家の負担が、農業経営の状況からみて、負担能力の限度を超えることとはならないこと。	☐
5 環境との調和に配慮していること。	・当該事業が環境との調和に配慮したものであること。	☐
6 事業の採択要件を満たしていること。	・事業実施要綱・要領に規定された事業内容、採択基準の要件に適合していること。	☐

項目を満たしている場合は「○」とする。

項目欄の（ ）には、主として考えられる観点を記述している。

令和9年度新規地区採択チェックリスト

(1) 国営かんがい排水事業

(局名：近畿農政局) (地区名：南紀用水二期^{なんきようすいにき})

2 優先配慮事項

【効率性・有効性】

評価項目			評価指標	単位	評価結果	評価
大項目	中項目	小項目				
効率性	事業の経済性・効率性		①事業費の経済性・効率性の確保 ②コスト縮減についての具体的配慮	—	○ ○	A
有効性	食料安全保障の確保	農業生産性の維持・向上	土地生産性及び労働生産性の維持・向上効果額（受益面積当たり）	千円 /ha・年	1,520	A
			スマート農業技術等の導入	—	A	A
		産地収益力の向上	①麦・大豆等の生産量の増加率 ②園芸作物の生産額の増加率	% %	0.0 0.6	B
	農業の持続的発展	望ましい農業構造の確立	担い手への農地利用集積率	%	46.1	A
		農地の確保・有効利用	①耕地利用率 ②作付率の増加ポイント	% %	100.0 0.0	B
			緊急性を踏まえた更新等整備	—	A	A
		農業生産基盤の保全管理	施設の健全度評価を踏まえた更新等整備	—	A	A
			施設の重要度評価を踏まえた更新等整備	—	A	A
			重要度の高い国営造成施設における耐震化	—	A	A
	農村の振興	地域経済への波及効果	他産業への経済波及効果額（受益面積当たり）	千円 /ha・年	1,658	A
		農業の高付加価値化	農業の高付加価値化	—	A	A
	多面的機能の発揮	地域の共同活動	多面的機能支払交付金等の取組	—	A	A
	環境と調和のとれた食料システムの確立	みどりの食料システム戦略に係る取組	「みどりの食料システム戦略」に係る取組の検討状況	—	A	A
		生態系・景観への配慮	①環境情報協議会等の意見を踏まえた生態系及び景観への配慮 ②地域住民の参加や地域住民との合意形成への取組 ③維持管理、費用負担及びモニタリング体制等の調整状況	—	a a a	A

【事業の実施環境等】

評価項目			評価指標	単位	評価結果	評価
大項目	中項目	小項目				
事業の実施環境等	連携管理保全計画（水土里ビジョン）の策定		連携管理保全計画（水土里ビジョン）の策定状況	—	A	A
	関係計画との連携		①関係都道府県や市町村の農業振興計画と本事業との整合性 ②関係都道府県や市町村の国土強靱化地域計画と本事業との整合性 ③地域計画と本事業との整合性 ④地域における開発計画と本事業との整合性 ⑤関係計画における関連事業等への位置付け	—	a a a a —	A
	関係機関との協議		①河川管理者との協議（予備）の状況 ②漁協との協議（予備）の状況 ③その他着工前に重要な協議（予備）の状況	—	a a a	A
	関連事業との調整		①事業主体から概略構想（関連事業調書）の提出 ②共同事業（事業内容、事業費、アロケーション等）の事前了解	—	a —	A
	地元合意		①事業実施に対する受益農家の同意状況 ②事業実施に対する関係市町村の同意状況 ③事業推進協議会から着工要望の提出 ④維持管理方法と費用負担に関する予定管理者との合意 ⑤事業に伴う土地利用規制の周知状況	—	a a a a a	A
	営農推進体制・環境		①営農部局との連携 ②営農推進組織等（営農支援体制）の設立状況 ③農産物の流通・販売基盤の整備状況 ④需要に応じた生産の取組状況 ⑤フラッグシップ輸出産地又は輸出事業計画（GFPグローバル産地計画）の対象となる作物の営農計画への位置付け状況	—	a a a a a	A
	ストック効果の最大化		ストック効果の最大化に向けた事業の効率性・有効性等の確保	%	89.4	A

令和9年度新規地区採択チェックリスト

(1)国営かんがい排水事業

(局名：近畿農政局) (地区名：南紀用水二期^{なんきようすいにき})

3 特定監視項目（国営かんがい排水事業）

項目	評価の内容	判定
1 地質状況	・地質状況に基づいた施設計画としている。	☐
2 受益面積	・最近年の面積を把握している。	☐

項目を満たしている場合は「○」とする。

国営かんがい排水事業 うわばにき 上場二期地区

事業の概要

本事業は、佐賀県の北西部、玄界灘に面した東松浦半島の標高 100～200m の波状形卓上台地である上場台地周辺に位置し、唐津市及び東松浦郡玄海町にまたがる 3,202ha の農業地帯において、農業用水の安定供給及び農業水利施設の維持管理の費用と労力の軽減を図るため、老朽化が進行している施設の改修及び省エネルギー化等に対応した用水施設の整備を行うものである。

事業の目的・必要性

本地区の営農は、水稻、大麦のほか、たまねぎ、キャベツ等の園芸作物、茶等の工芸農作物を組み合わせた農業経営、みかんの専作による農業経営及び飼料作物を栽培し肉用牛を飼育する畜産による農業経営が展開されている。

本地区の基幹的な農業水利施設は、国営上場土地改良事業（昭和 48 年度～平成 4 年度）及び国営上場（二期）土地改良事業（平成 2 年度～平成 17 年度）により造成されたが、経年的な施設の劣化のため、ダムの洪水吐きのひび割れ、揚水機のポンプ設備の動作不良、用水路の漏水、水管理施設の機器の不具合が生じるなど、農業用水の安定供給に支障を来している。加えて、複数の揚水機を用いた配水に伴うエネルギー使用量が多い水利形態等により、施設の維持管理に多額の費用と労力を要している。

このため、本事業では老朽化した農業水利施設の改修及び省エネルギー化等に対応した用水施設の整備を行うことにより、農業用水の安定供給並びに施設の維持管理の費用及び労力の軽減を図り、農業生産性の向上及び農業経営の安定に資するものである。

事業の効率性

・総費用総便益比の算定

区 分	算定式	数 値	備 考
総費用（現在価値化）	①＝②＋③	101,933百万円	
当該事業による費用	②	16,121百万円	当該事業費22,000百万円
関連事業による費用、資産価額、再整備費	③	85,812百万円	
評価期間（当該事業の工事期間＋40年）	④	50年	工事期間 令和9～18年度
総便益額（現在価値化）	⑤	128,908百万円	
総費用総便益比	⑥＝⑤÷①	1.26	

（注 1）総費用とは当該地域内において効果を発揮する一連の施設に係る費用であり、評価期間中の施設の資産価額、整備費等である。

（注 2）百万円単位で四捨五入しているため、数値は算定結果と合わない場合がある。

（注 3）数値は土地改良法に基づく手続を経て確定するため、現時点では暫定値である。

・年効果額（便益額）

本事業の実施により、用水施設の機能が維持向上されることによって、事業を実施しなかった場合と比較して、年間 6,285 百万円相当の事業効果が見込まれ、農業経営の安定が図られる。

作物生産効果	4,551 百万円
品質向上効果	1,616 百万円
営農経費節減効果	131 百万円
維持管理費節減効果	△562 百万円
地域用水効果	22 百万円
その他の効果（洪水調整機能効果（農業用ダム））	50 百万円
その他の効果（国産農産物安定供給効果）	476 百万円
計	6,285 百万円

（注）百万円単位で四捨五入しているため、数値は算定結果と合わない場合がある。

日程・手続

令和 8 年度から、土地改良法に基づく土地改良事業計画の概要の公告等の手続きが開始される予定である。

事業に対する決議

- ・令和 8 年 2 月 16 日に唐津市、玄海町及び上場土地改良区等からなる上場地区土地改良事業推進協議会総会において、令和 9 年度事業着工要望について決議された。
- ・令和 8 年 3 月 25 日に開催された上場土地改良区総代会において、令和 9 年度事業着工要望について決議された。

その他

・事業推進体制

令和 3 年 5 月 18 日に上場地区土地改良事業推進協議会を設立し事業計画を推進。（構成：唐津市、玄海町、佐賀県、各市町の農業委員会、唐津農業協同組合及び上場土地改良区）

・維持管理体制

令和 7 年 2 月 5 日に、上場地区土地改良事業促進協議会施設整備検討部会において、維持管理体制が合意。（管理者：基幹施設（松浦川揚水機場他 5 機場、後川内ダム他 4 ダム、水管理施設）は市町、その他の施設は上場土地改良区）

・営農支援体制

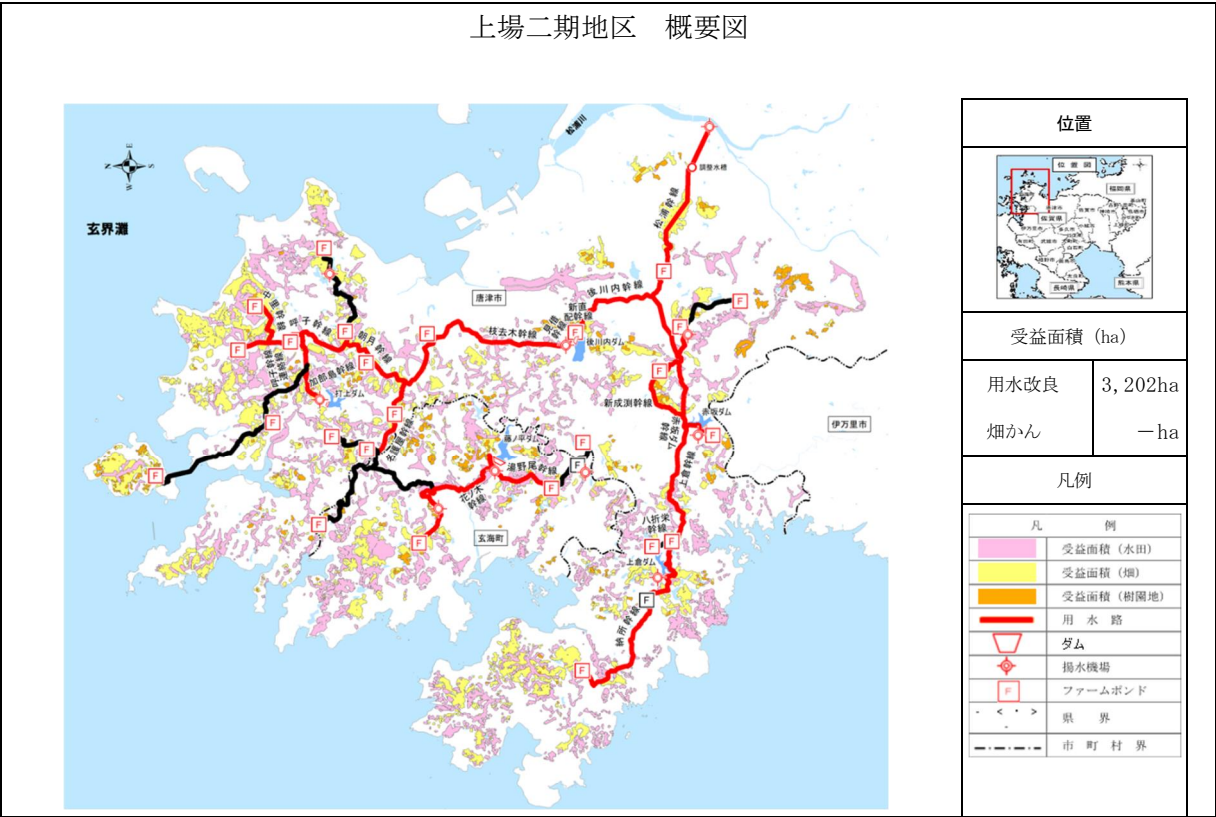
唐津市、玄海町、唐津農業協同組合、上場土地改良区及び地元農家代表で構成される上場地区土地改良事業推進協議会営農検討部会において、営農支援体制を整備。

評価担当部局

農村振興局水資源課

概要図

1	受益面積	3, 202ha		
2	受益者数	5, 597人		
3	主要工事計画	工種	数量	事業費
		ダム（改修）	5 か所	2, 637百万円
		揚水機場（改修）	10か所	9, 989百万円
		用水路（改修）	一式	7, 339百万円
		水管理施設（改修）	一式	2, 035百万円
4	国営総事業費	22, 000百万円		



令和9年度新規地区採択チェックリスト

(1)国営かんがい排水事業

(局名:九州農政局)(地区名:上場二期地区)

1 必須事項

項目	評価の内容	判定
1 事業の必要性が明確であること。 (必要性)	・農業生産性の向上、農業生産の維持・増大、消費者の需要に即した農業生産の推進、農業構造の改善、農業生産活動の継続的な実施等の観点から、当該事業を必要とすること。	☐
2 技術的可能性が確実であること。	・地形、地質、水利状況等からみて、当該事業の施行が技術的に可能であること。	☐
3 事業の効率性が十分見込まれること。 (効率性)	・当該事業のすべての効用がそのすべての費用を償うこと。	☐
4 受益者負担の可能性が十分であること。 (公平性)	・当該事業の費用に係る受益農家の負担が、農業経営の状況からみて、負担能力の限度を超えることとはならないこと。	☐
5 環境との調和に配慮していること。	・当該事業が環境との調和に配慮したものであること。	☐
6 事業の採択要件を満たしていること。	・事業実施要綱・要領に規定された事業内容、採択基準の要件に適合していること。	☐

項目を満たしている場合は「○」とする。

項目欄の（ ）には、主として考えられる観点を記述している。

令和9年度新規地区採択チェックリスト

(1) 国営かんがい排水事業

(局名:九州農政局)(地区名:上場二期地区)

2 優先配慮事項

【効率性・有効性】

評価項目			評価指標	単位	評価結果	評価
大項目	中項目	小項目				
効率性	事業の経済性・効率性		①事業費の経済性・効率性の確保 ②コスト縮減についての具体的配慮	—	○ ○	A
有効性	食料安全保障の確保	農業生産性の維持・向上	土地生産性及び労働生産性の維持・向上効果額（受益面積当たり）	千円/ha・年	1,792	A
			スマート農業技術等の導入	—	A	A
		産地収益力の向上	①麦・大豆等の生産量の増加率 ②園芸作物の生産額の増加率	% %	10.2 19.1	B
	農業の持続的発展	望ましい農業構造の確立	担い手への農地利用集積率	%	55.4	B
		農地の確保・有効利用	①耕地利用率 ②作付率の増加ポイント	% %	108.9 13.2	A
			農業生産基盤の保全管理	—	A	A
			緊急性を踏まえた更新等整備	—	A	A
			施設の健全度評価を踏まえた更新等整備	—	A	A
			施設の重要度評価を踏まえた更新等整備	—	A	A
			重要度の高い国営造成施設における耐震化	—	A	A
	農村の振興	地域経済への波及効果	他産業への経済波及効果額（受益面積当たり）	千円/ha・年	4,243	A
		農業の高付加価値化	農業の高付加価値化	—	A	A
	多面的機能の発揮	地域の共同活動	多面的機能支払交付金等の取組	—	A	A
	環境と調和のとれた食料システムの確立	みどりの食料システム戦略に係る取組	「みどりの食料システム戦略」に係る取組の検討状況	—	A	A
		生態系・景観への配慮	①環境情報協議会等の意見を踏まえた生態系及び景観への配慮 ②地域住民の参加や地域住民との合意形成への取組 ③維持管理、費用負担、モニタリング体制等の調整状況	—	a a a	A

【事業の実施環境等】

評価項目			評価指標	単位	評価結果	評価
大項目	中項目	小項目				
事業の実施環境等	連携管理保全計画（水土里ビジョン）の策定		連携管理保全計画（水土里ビジョン）の策定状況	—	A	A
	関係計画との連携		①関係都道府県や市町村の農業振興計画と本事業との整合性 ②関係都道府県や市町村の国土強靱化地域計画と本事業との整合性 ③地域計画と本事業との整合性 ④地域における開発計画と本事業との整合性 ⑤関係計画における関連事業等への位置付け	—	a a a a —	A
	関係機関との協議		①河川管理者との協議（予備）の状況 ②漁協との協議（予備）の状況 ③その他着工前に重要な協議（予備）の状況	—	a — a	A
	関連事業との調整		①事業主体から概略構想（関連事業調書）の提出 ②共同事業（事業内容、事業費、アロケーション等）の事前了解	—	— —	—
	地元合意		①事業実施に対する受益農家の同意状況 ②事業実施に対する関係市町村の同意状況 ③事業推進協議会から着工要望の提出 ④維持管理方法と費用負担に関する予定管理者との合意 ⑤事業に伴う土地利用規制の周知状況	—	a a a a a	A
	営農推進体制・環境		①営農部局との連携 ②営農推進組織等（営農支援体制）の設立状況 ③農産物の流通・販売基盤の整備状況 ④需要に応じた生産の取組状況 ⑤フラッグシップ輸出産地又は輸出事業計画（GFPグローバル産地計画）の対象となる作物の営農計画への位置付け状況	—	a a a a —	A
	ストック効果の最大化		ストック効果の最大化に向けた事業の効率性・有効性等の確保	%	88.9	A

令和9年度新規地区採択チェックリスト

(1)国営かんがい排水事業

(局名:九州農政局)(地区名:上場二期地区)

3 特定監視項目(国営かんがい排水事業、土地改良施設突発事故防止事業)

項目	評価の内容	判定
1 地質状況	・地質状況に基づいた施設計画としている。	☐
2 受益面積	・最近年の面積を把握している。	☒

項目を満たしている場合は「○」とする。

国営かんがい排水事業

やっかんがわ に き
駅館川二期地区

事業の概要

本事業は、大分県の北部に位置する宇佐市の 5,488ha の農業地帯において、農業用水の安定供給、農業水利施設の維持管理の費用と労力の軽減及び水管理の合理化を図るため、老朽化が進行している施設の改修に併せて、需要主導型の水利システムへの再編等を行うものである。

事業の目的・必要性

本地区の営農は、水稻、大麦、大豆のほか、ねぎ、きゅうり等の園芸作物を組み合わせた農業経営、ぶどう等の園芸作物及び茶の専作による農業経営が展開されており、駅館川から供給される用水をフル活用し、土地利用型農業の生産性向上や園芸作物の生産拡大による生産者の所得向上と次世代型農業の実現を目指している。

本地区の基幹的な農業水利施設は、国営駅館川土地改良事業（昭和 39 年度～昭和 54 年度）により造成されたが、経年的な施設の劣化により、ダムの鋼構造物の腐食や放流施設の漏水、用水路等のコンクリート構造物のひび割れ等が生じているほか、用水配分の不均衡により、地区の一部で用水不足が生じているなど、農業用水の安定供給に支障を来しているとともに、施設の維持管理及びほ場の水管理作業に多大な費用と労力を要している。また、ダム、一部の用水路は必要な耐震性を有していないことから、大規模地震が発生し、これらの施設が損壊した場合には、地域に甚大な被害を及ぼすおそれがある。

このため、本事業では、老朽化が進行している農業水利施設の改修、需要主導型の水利システムへの再編及び耐震化のための整備を一体的に行い、併せて関連事業で区画整理等を実施することにより、農業用水の安定供給、維持管理の費用と労力の軽減及び水管理の合理化を図り、もって農業生産性の向上、農業構造の改善及び農地集積の促進に資するものである。

事業の効率性

・総費用総便益比の算定

区 分	算定式	数 値	備 考
総費用(現在価値化)	= +	87,926百万円	
当該事業による費用		26,973百万円	当該事業費46,400百万円
関連事業による費用、資産価額、再整備費		60,953百万円	
評価期間（当該事業の工事期間 + 40年）		56年	工事期間 令和 9 ～ 24年度
総便益額(現在価値化)		103,492百万円	
総費用総便益比	= ÷	1.17	

（注 1）総費用とは当該地域内において効果を発揮する一連の施設に係る費用であり、評価期間中の施設の資産価額、整備費等である。

（注 2）百万円単位で四捨五入しているため、数値は算定結果と合わない場合がある。

（注 3）数値は土地改良法に基づく手続を経て確定するため、現時点では暫定値である。

・年効果額（便益額）

本事業及び関連事業の実施により、用水施設の機能が維持向上されることによって、事業を実施しなかった場合と比較して、年間 4,993 百万円相当の事業効果が見込まれ、農業経営の安定が図られる。

作物生産効果	3,749 百万円
品質向上効果	371 百万円
営農経費節減効果	11 百万円
維持管理費節減効果	89 百万円
地域用水効果	10 百万円
一般交通等経費節減効果	5 百万円
地籍確定効果	0 百万円
都市・農村交流促進効果	257 百万円
その他の効果（災害時の復旧対策費軽減効果）	9 百万円
その他の効果（洪水調節機能効果）	16 百万円
その他の効果（国産農産物安定供給効果）	654 百万円
計	4,993 百万円

（注）百万円単位で四捨五入しているため、数値は算定結果と合わない場合がある。

日程・手続

令和 8 年度から、土地改良法に基づく土地改良事業計画の概要の公告等の手続きが開始される予定である。

事業に対する決議

令和 8 年 3 月 19 日開催の院内土地改良区総代会、令和 8 年 3 月 23 日開催の宇佐土地改良区総代会、令和 8 年 3 月 30 日開催の安心院土地改良区総代会において、国営かんがい排水事業「駅館川二期地区」の事業着工について決議された。

また、令和 8 年 5 月 25 日開催の関係市及び各土地改良区等からなる国営かんがい排水事業駅館川二期地区推進協議会の総会において、国営かんがい排水事業「駅館川二期地区」の事業着工について決議された。

その他

・事業推進体制

令和元年 8 月 9 日に国営かんがい排水事業地区調査「駅館川地区」推進協議会を設立し、事業を推進。（構成：大分県、宇佐市、大分県農業協同組合、駅館川土地改良区連合、宇佐土地改良区、安心院土地改良区、院内土地改良区、大分県農業農村振興公社）

・維持管理体制

令和5年3月30日開催の国営かんがい排水事業地区調査「駅館川地区」推進協議会総会において、維持管理体制について合意。（管理者：ダム等の基幹施設は宇佐市、その他施設は、駅館川土地改良区連合及び宇佐土地改良区）

・営農支援体制

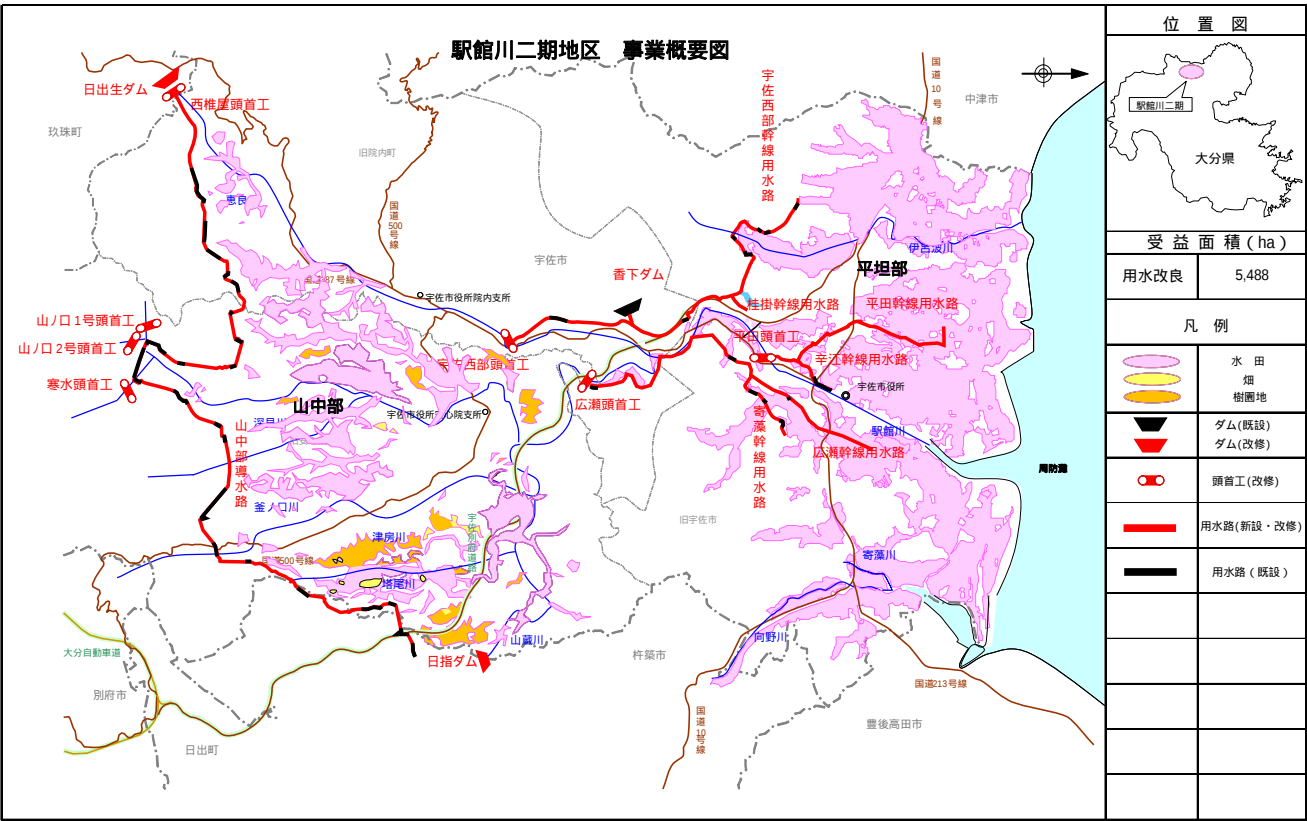
大分県北部振興局、大分県農業協同組合、駅館川土地改良区連合、宇佐土地改良区、安心院土地改良区、院内土地改良区、大分県農業農村振興公社、宇佐市農業再生協議会、宇佐市及び農業者代表から構成される国営かんがい排水事業「駅館川二期地区」推進協議会営農検討部会において営農支援体制を整備。

評価担当部局

農村振興局水資源課

概要図

1	受益面積	5,488ha		
2	受益者数	7,897人		
3	主要工事計画	工種	数量	事業費
		ダム（改修）	2 箇所	14,650百万円
		頭首工（改修）	7 箇所	2,600百万円
		用水路（新設・改修）	50.4km	25,805百万円
		水管理施設（改修）	一式	3,345百万円
4	国営総事業費	46,400百万円		



令和9年度新規地区採択チェックリスト

(1)国営かんがい排水事業

やっかんがわにき
(局名:九州農政局)(地区名:駅館川二期)

1 必須事項

項目	評価の内容	判定
1 事業の必要性が明確であること。 (必要性)	・農業生産性の向上、農業生産の維持・増大、消費者の需要に即した農業生産の推進、農業構造の改善、農業生産活動の継続的な実施等の観点から、当該事業を必要とすること。	☐
2 技術的可能性が確実であること。	・地形、地質、水利状況等からみて、当該事業の施行が技術的に可能であること。	☐
3 事業の効率性が十分見込まれること。 (効率性)	・当該事業のすべての効用がそのすべての費用を償うこと。	☐
4 受益者負担の可能性が十分であること。 (公平性)	・当該事業の費用に係る受益農家の負担が、農業経営の状況からみて、負担能力の限度を超えることとはならないこと。	☐
5 環境との調和に配慮していること。	・当該事業が環境との調和に配慮したものであること。	☐
6 事業の採択要件を満たしていること。	・事業実施要綱・要領に規定された事業内容、採択基準の要件に適合していること。	☐

項目を満たしている場合は「○」とする。

項目欄の()には、主として考えられる観点を記述している。

令和9年度新規地区採択チェックリスト

(1) 国営かんがい排水事業

やっかんがわにき
(局名:九州農政局) (地区名: 駅館川二期)

2 優先配慮事項

【効率性・有効性】

評価項目			評価指標	単位	評価結果	評価
大項目	中項目	小項目				
効率性	事業の経済性・効率性		事業費の経済性・効率性の確保 コスト縮減についての具体的配慮	-	○ ○	A
有効性	食料安全保障の確保	農業生産性の維持・向上	土地生産性及び労働生産性の維持・向上効果額（受益面積当たり）	千円 /ha・年	737	A
			スマート農業技術等の導入	-	A	A
		産地収益力の向上	麦・大豆等の生産量の増加率 園芸作物の生産額の増加率	% %	21.7 26.4	A
	農業の持続的発展	望ましい農業構造の確立	担い手への農地利用集積率	%	69.7	B
		農地の確保・有効利用	耕地利用率 作付率の増加ポイント	% %	141.9 13.3	A
		農業生産基盤の保全管理	緊急性を踏まえた更新等整備	-	A	A
			施設の健全度評価を踏まえた更新等整備	-	A	A
			施設の重要度評価を踏まえた更新等整備	-	A	A
			重要度の高い国営造成施設における耐震化	-	A	A
	農村の振興	地域経済への波及効果	他産業への経済波及効果額（受益面積当たり）	千円 /ha・年	2,198	A
		農業の高付加価値化	農業の高付加価値化	-	A	A
	多面的機能の発揮	地域の共同活動	多面的機能支払交付金等の取組	-	A	A

【事業の実施環境等】

評価項目			評価指標	単位	評価結果	評価
大項目	中項目	小項目				
	環境と調和のとれた食料システムの確立	みどりの食料システム戦略に係る取組	「みどりの食料システム戦略」に係る取組の検討状況	—	A	A
		生態系・景観への配慮	①環境情報協議会等の意見を踏まえた生態系及び景観への配慮 ②地域住民の参加や地域住民との合意形成への取組 ③維持管理、費用負担及びモニタリング体制等の調整状況	—	a a a	A
事業の実施環境等	連携管理保全計画（水土里ビジョン）の策定		連携管理保全計画（水土里ビジョン）の策定状況	—	A	A
	関係計画との連携		①関係都道府県や市町村の農業振興計画と本事業との整合性 ②関係都道府県や市町村の国土強靱化地域計画と本事業との整合性 ③地域計画と本事業の整合性 ④地域における開発計画と本事業との整合性 ⑤関係計画における関連事業等への位置づけ	—	a a a a a	A
	関係機関との協議		①河川管理者との協議（予備）の状況 ②漁協との協議（予備）の状況 ③その他着工前に重要な協議（予備）の状況	—	a a a	A
	関連事業との調整		①事業主体から概略構想（関連事業調書）の提出 ②共同事業（事業内容、事業費、アロケーション等）の事前了解	—	a —	A
	地元合意		①事業実施に対する受益農家の同意状況 ②事業実施に対する関係市町村の同意状況 ③事業推進協議会から着工要望の提出 ④維持管理方法と費用負担に関する予定管理者との合意 ⑤事業に伴う土地利用規制の周知状況	—	a a a a a	A
	営農推進体制・環境		①営農部局との連携 ②営農推進組織等（営農支援体制）の設立状況 ③農産物の流通・販売基盤の整備状況 ④需要に応じた生産の取組状況 ⑤フラッグシップ輸出産地又は輸出事業計画（GFPグローバル産地計画）の対象となる作物の営農計画への位置付け状況	—	a a a a a	A
	ストック効果の最大化		ストック効果の最大化に向けた事業の効率性・有効性等の確保	%	94.7	A

令和9年度新規地区採択チェックリスト

(1)国営かんがい排水事業

やっかんがわにき
(局名:九州農政局)(地区名:駅館川二期)

3 特定監視項目（国営かんがい排水事業）

項目	評価の内容	判定
1 地質状況	・地質状況に基づいた施設計画としている。	☐
2 受益面積	・最近年の面積を把握している。	☐

項目を満たしている場合は「○」とする。

国営総合農地防災事業

よしだがわりゅういき
吉田川流域地区

事業の概要

本事業は、宮城県の中央部に位置する東松島市、大崎市、宮城郡松島町、黒川郡大和町及び同郡大郷町の4,436haの農業地帯において、排水能力を向上することにより、豪雨災害の防止及び農業経営の安定を図るため、地区内の排水機、排水路の改修等を行うものである。

事業の目的・必要性

本地区の営農は、水稻を中心に、小麦、大豆のほか、ねぎ等の野菜、飼料作物等を組み合わせた農業経営が展開されている。

本地区の農業水利施設は、県営湛水防除事業等により整備されたが、近年の豪雨の増加により、施設の排水能力不足が顕著となったため、広域的な湛水被害が生じている。

このため、本事業では、地区内の排水機、排水路の改修等を行うとともに、併せて関連事業において排水機の改修等を行い、排水能力を向上することにより、豪雨災害の防止及び農業経営の安定を図り、もって国土の保全に資するものである。

事業の効率性

・総費用総便益比の算定

区 分	算定式	数 値	備 考
総費用(現在価値化)	①＝②＋③	77,735百万円	
当該事業による費用	②	43,562百万円	当該事業費70,000百万円
関連事業による費用、資産価額、再整備費	③	34,173百万円	
評価期間（当該事業の工事期間＋40年）	④	60年	工事期間 令和9～28年度
総便益額(現在価値化)	⑤	315,463百万円	
総費用総便益比	⑥＝⑤÷①	4.05	

（注1）総費用とは当該地域内において効果を発揮する一連の施設に係る費用であり、評価期間中の施設の資産価額、整備費等である。

（注2）百万円単位で四捨五入しているため、数値は算定結果と合わない場合がある。

（注3）数値は土地改良法に基づく手続を経て確定するため、現時点では暫定値である。

・年効果額（便益額）

本事業及び関連事業の実施により、排水施設の機能が維持向上されることによって、事業を実施しなかった場合と比較して、年間15,662百万円相当の事業効果が見込まれ、農業経営の安定が図られる。

作物生産効果	782 百万円
営農経費節減効果	468 百万円
維持管理費節減効果	△108 百万円

災害防止効果	14,361 百万円
その他の効果（国産農産物安定供給効果）	159 百万円
計	15,662 百万円

（注）百万円単位で四捨五入しているため、数値は算定結果と合わない場合がある。

日程・手続

令和 8 年度から、土地改良法に基づく土地改良事業計画の概要の公告等の手続きが開始される予定である。

事業に対する決議

吉田川流域土地改良事業促進協議会（令和 8 年 4 月 27 日開催）において、令和 9 年度事業着工について決議された。

その他

・事業推進体制

令和 5 年 3 月 16 日に吉田川流域土地改良事業促進協議会を設立し、流域治水の取組みと併せて事業を推進。

（構成：東松島市、大崎市、富谷市、松島町、大郷町、大和町、色麻町、大衡村、富谷北部土地改良区、金洗堰土地改良区、大和町土地改良区、鶴田川沿岸土地改良区、美里東部土地改良区、鳴瀬土地改良区）

・維持管理体制

令和 6 年 6 月 6 日に開催された、吉田川流域土地改良事業促進協議会において、排水機場群の財産権は市町が所有し、操作は当該市町から操作委託を受けた土地改良区が一元的に行う維持管理体制について合意。

・営農支援体制

令和 5 年 6 月 19 日に吉田川流域土地改良事業促進協議会の下部組織として営農検討部会を設置し、営農支援体制を整備。

（構成：東松島市、大崎市、富谷市、松島町、大郷町、大和町、色麻町、大衡村、富谷北部土地改良区、金洗堰土地改良区、大和町土地改良区、鶴田川沿岸土地改良区、美里東部土地改良区、鳴瀬土地改良区、受益農家代表、県農村振興課、県仙台地方振興事務所農業農村整備部、県東部地方振興事務所農業農村整備部、県北部地方振興事務所農業農村整備部、県仙台普及センター、県美里普及センター、県石巻普及センター、J A 仙台、J A 新みやぎ、J A いしのまき）

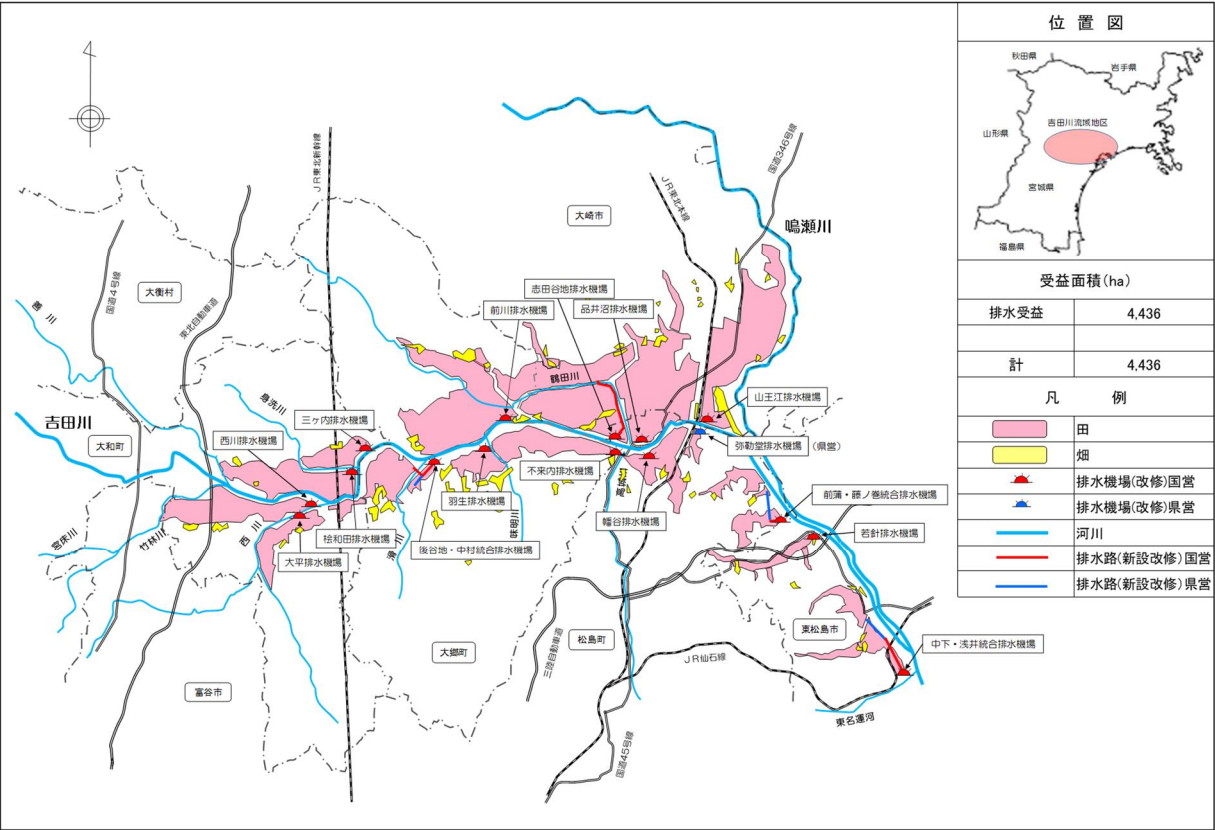
評価担当部局

農村振興局防災課

概要図

1	受益面積	4,436ha		
2	受益者数	3,717人		
3	主要工事計画	工種	数量	事業費
		排水機場（改修）	15か所	62,605百万円
		排水路（新設）	0.5km	1,113百万円
		排水路（改修）	3.8km	5,124百万円
		排水管理施設（新設）	一式	1,158百万円
4	国営総事業費	70,000百万円		

吉田川流域地区 概要図



令和9年度新規地区採択チェックリスト

(4)国営総合農地防災事業

(局名:東北農政局)(地区名:吉田川流域)

1 必須事項

項目	評価の内容	判定
1 事業の必要性が明確であること。(必要性)	・農業生産性の向上、農業生産の維持・増大、消費者の需要に即した農業生産の推進、農業構造の改善、農業生産活動の継続的な実施等の観点から、当該事業を必要とすること。	☐
2 技術的可能性が確実であること。	・地形、地質、水利状況等からみて、当該事業の施行が技術的に可能であること。	☐
3 事業の効率性が十分見込まれること。(効率性)	・当該事業のすべての効用がそのすべての費用を償うこと。	☐
4 受益者負担の可能性が十分であること。(公平性)	・当該事業の費用に係る受益農家の負担が、農業経営の状況からみて負担能力の限度を超えることとならないこと。	☐
5 環境との調和に配慮していること。	・当該事業が環境との調和に配慮したものであること。	☐
6 事業の採択要件を満たしていること。	・事業実施要綱・要領等に規定された事業内容、採択基準の要件に適合していること。	☐

項目を満たしている場合は「○」とする。

項目欄の()には、主として考えられる観点を記述している。

令和9年度新規地区採択チェックリスト

(4) 国営総合農地防災事業

(局名: 東北農政局)(地区名: 吉田川流域)

2 優先配慮事項

【効率性・有効性】

評価項目			評価指標	単位	評価結果	評価
大項目	中項目	小項目				
効率性	事業の経済性・効率性		①事業費の経済性・効率性の確保 ②コスト縮減についての具体的配慮	—	○ ○	A
有効性	食料安全保障の確保	農業生産性の維持・向上	土地生産性及び労働生産性の維持・向上効果額（受益面積当たり）	千円 /ha・年	258	B
	農業の持続的発展	望ましい農業構造の確立	担い手への農地利用集積率	%	68.8	A
		農地の確保・有効利用	①耕地利用率 ②作付率の増加ポイント	% %	104.6 2.4	A
		農業生産基盤の保全管理	災害防止効果額（農業）（受益面積当たり）	千円 /ha・年	2,277	A
			重要度の高い国営造成施設における耐震化	—	—	—
	農村の振興	農村の生活環境の整備	災害防止効果額（一般資産＋公共資産）（受益面積当たり）	千円 /ha・年	960	A
		地域経済への波及効果	他産業への経済波及効果額（受益面積当たり）	千円 /ha・年	447	B
		農業の高付加価値化	農業の高付加価値化	—	A	A
	多面的機能の発揮	地域の共同活動	多面的機能支払交付金等の取組	—	A	A
	環境と調和のとれた食料システムの確立	生態系・景観への配慮	①環境情報協議会等の意見を踏まえた生態系及び景観への配慮 ②地域住民の参加や地域住民との合意形成への取組 ③維持管理、費用負担、モニタリング体制等の調整状況	—	a a a	A

【事業の実施環境等】

評価項目			評価指標	単位	評価結果	評価
大項目	中項目	小項目				
事業の実施環境等	関係計画との連携		①関係都道府県や市町村の農業振興計画と本事業との整合性 ②関係都道府県や市町村の国土強靱化地域計画と本事業との整合性 ③関係都道府県や市町村の地域防災計画等と本事業との整合性 ④地域における開発計画と本事業との整合性 ⑤地域計画と本事業との整合性 ⑥連携管理保全計画（水土里ビジョン）の策定 ⑦関係計画における関連事業等への位置付け	—	a a a a b a —	A
	関係機関との協議		①河川管理者との協議（予備）の状況 ②漁協との協議（予備）の状況 ③その他着工前に重要な協議（予備）の状況	—	a — a	A
	関連事業との調整		①事業主体から概略構想（関連事業調書）の提出 ②共同事業（事業内容、事業費、アロケーション等）の事前了解	—	a —	A
	地元合意		①事業実施に対する受益農家の同意状況 ②事業実施に対する関係市町村の同意状況 ③事業推進協議会から着工要望の提出 ④維持管理方法と費用負担に関する予定管理者との合意	—	a a a a	A
	営農推進体制・環境		①営農部局との連携 ②営農推進組織等（営農支援体制）の設立状況 ③農産物の流通・販売基盤の整備状況 ④需要に応じた生産の取組状況 ⑤フラッグシップ輸出産地又は輸出事業計画（GFPグローバル産地計画）の対象となる作物の営農計画への位置付け状況	—	a a a a a	A
	緊急性	災害発生時の影響	①広範囲に影響を及ぼすこととなる機能低下した土地改良施設が存在 ②基幹土地改良施設やライフラインとの共用施設が存在 ③防災上重要な施設の存在や災害発生時の地域社会への影響	—	○ — ○	B
		被害の発生頻度	過去10年間の被害発生頻度	—	B	B
	ストック効果の最大化		ストック効果の最大化に向けた事業の効率性・有効性等の確保	%	73	B

令和9年度新規地区採択チェックリスト

(4)国営総合農地防災事業

(局名:東北農政局)(地区名:吉田川流域)

3 特定監視項目

項目	評価の内容	判定
1 地質状況	・地質状況に基づいた施設計画としている。	

項目を満たしている場合は「○」とする。

直轄地すべり対策事業 いなぶね 稲舟地区

事業の概要

本事業は、石川県能登半島北西部の輪島市^{わじま}に位置する農地地すべり防止区域「稲舟地区」において、令和6年能登半島地震の影響を受けて石川県から代行要請があったことから、特定災害復旧事業により緊急的な対策工事を実施しているが、今後想定される地震や豪雨に伴う農地地すべりの再滑動による被害を未然に防止するため、特定災害復旧事業と一体的に、地すべり等防止法に基づく地すべり防止区域を対象とした、大規模かつ高度な技術を要する長期的・安定的な対策工事を実施するものである。

事業の目的・必要性

本地区では、世界農業遺産認定地域の一部として「能登米」をはじめとする米のブランド化が進められるなど、地域特性を生かした水稻中心の営農が展開されている。また、本地区北側を通る国道は農村と市街地を結ぶ基幹的な道路であり、その沿線には「つなぐ棚田遺産」や国の名勝に指定されている「白米千枚田」などが位置し、地域農業および農村振興において重要な役割を果たしている。

本地区では、大正初期から昭和中期にかけて集中豪雨に伴う地すべりが発生し、さらに平成19年能登半島地震においても地すべり被害が生じた。このため、県営地すべり対策事業「稲舟地区」（昭和44年度～昭和47年度）及び「輪島東部地区」（平成19年度～平成26年度）により、地すべり防止施設の整備が実施された。

しかしながら、令和6年能登半島地震により再び大規模な地すべりが発生し、農地、集落及び周辺道路等に甚大な被害が生じた。これを受け、石川県からの要請に基づき、国による特定災害復旧事業「稲舟地区」（令和5～8年度予定）に着手し、緊急的な対策を実施しているところである。

引き続き、本事業により大規模かつ高度な技術を要する長期的・安定的な地すべり対策を速やかに実施し、将来想定される地震や豪雨による地すべり災害を未然に防止することで、地区内の農地・農業用施設等の農業生産基盤、並びに住宅・公共施設等の生活基盤を保全し、もって地域農業の維持・継続、国土の保全及び民生の安定に資するものである。

事業の効率性

・総費用総便益比の算定

区 分	算定式	数 値	備 考
総費用(現在価値化)	①＝②＋③	6,415百万円	
当該事業による費用	②	4,294百万円	当該事業費5,100百万円
関連事業による費用、資産価額、再整備費	③	2,121百万円	
評価期間（当該事業の工事期間＋50年）	④	53年	工事期間 令和9～11年度
総便益額(現在価値化)	⑤	16,882百万円	
総費用総便益比	⑥＝⑤÷①	2.63	

（注1）総費用とは当該地域内において効果を発揮する一連の施設に係る費用であり、評価期間中の施設の資産価額、整備費等である。

(注 2) 百万円単位で四捨五入しているため、数値は算定結果と合わない場合がある。

(注 3) 数値は地すべり等防止法に基づく法手続きを経て確定するため、現時点での暫定値である。

・年効果額（便益額）

本事業の実施により、地すべり防止施設の機能が維持向上されることによって、事業を実施しなかった場合と比較して、年間 804 百万円相当の事業効果が見込まれ、農業経営の安定が図られる。

農業資産被害軽減効果	33 百万円
農作物の被害軽減効果	0 百万円
一般資産被害軽減効果	162 百万円
公共施設等被害軽減効果	608 百万円
計	804 百万円

(注) 百万円単位で四捨五入しているため、数値は算定結果と合わない場合がある。

日程・手続

令和 8 年度から、地すべり等防止法第 9 条に基づく地すべり防止工事基本計画書「稲舟地区」の変更手続が開始される予定。

事業に対する決議

特定災害復旧事業では令和 6 年 3 月 1 日に石川県知事から北陸農政局長へ国への代行事業による災害復旧等工事の要請書が提出された。

本事業の着工に当たっては、令和 7 年 12 月に石川県に対して、特定災害復旧事業と一体的に対策を実施する旨、説明し了解を得ている。

その他

・維持管理体制

令和 8 年 6 月 18 日に、地すべり等防止法による法定受託事務としての維持管理体制について合意（管理者：石川県）

・営農支援体制

輪島市及び地域の営農団体との協働により、災害からの早期復旧を図りつつ、営農支援体制を整備。

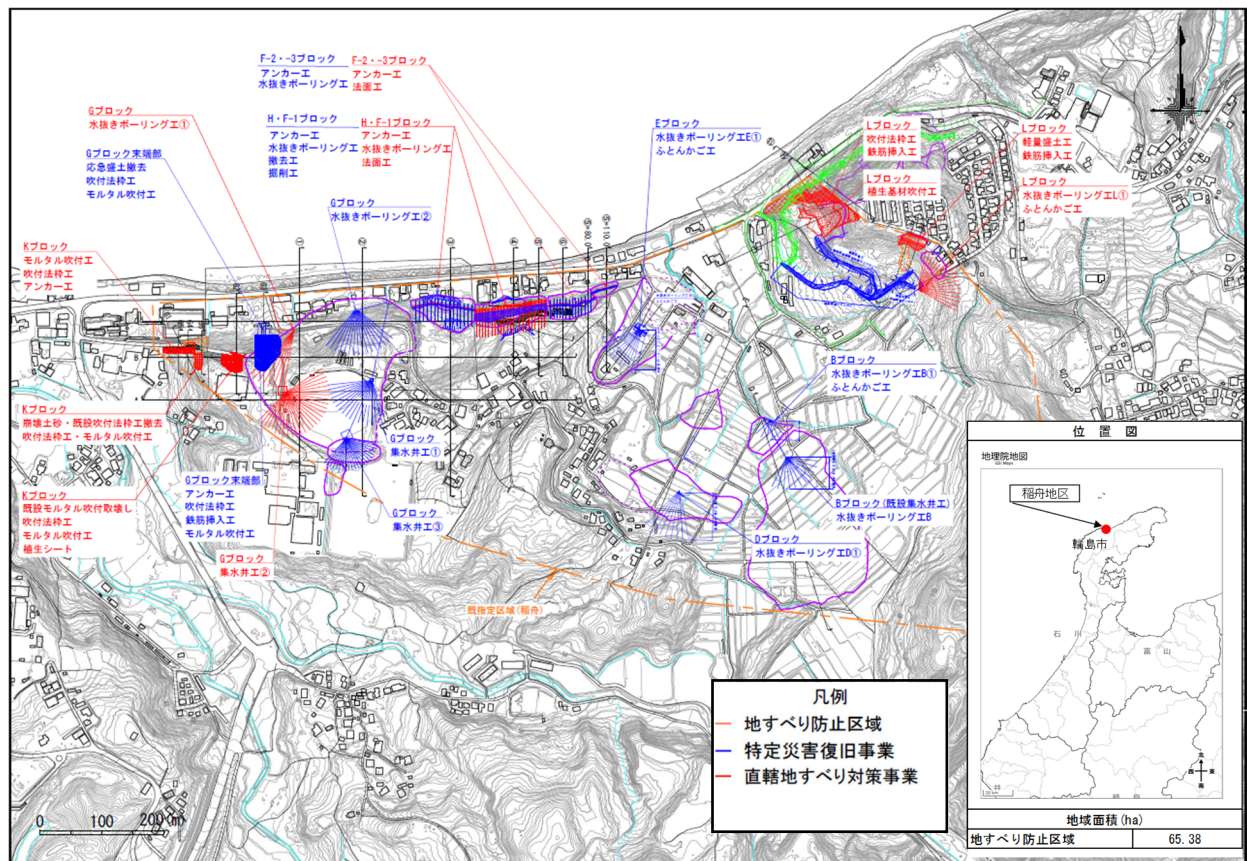
評価担当部局

農村振興局防災課

概要図

1. 地すべり防止地域	65.38ha		
2. 関係戸数	24戸		
3. 主要工事計画	工種	数量	事業費
	水抜きボーリング工（新設）	一式	382百万円
	集水井工（新設）	一式	359百万円
	アンカー工（新設）	一式	2,650百万円
	法面工（新設）	一式	1,197百万円
	付帯工（新設）	一式	512百万円
4. 国営総事業費	5,100百万円		

稲舟地区 概要図



令和9年度新規地区採択チェックリスト

(5) 直轄地すべり対策事業

(局名：北陸農政局) (地区名：稲舟^{いなぶね})

1. 必須事項

項 目	評価の内容	判定
1 事業の必要性が明確であること。(必要性)	・農業生産の維持及び農業経営の安定を図り、併せて国土の保全及び民生の安定に資するため、当該事業を必要とすること。	☐
2 技術的可能性が確実であること。	・地形、地質等からみて、当該事業の施行が技術的に可能であること。	☐
3 事業の効率性が十分見込まれること。(効率性)	・定量的及び定性的評価を行った結果から総合的に評価して、当該事業による効果が十分見込まれること。	☐
4 地すべり等防止法及び事業実施要綱等に適合していること。	・地すべり等防止法及び事業実施要綱等に規定されている要件を満たすこと。	☐

項目を満たしている場合は「○」とする。

項目欄の()には、主として考えられる観点を記述している。

令和9年度新規地区採択チェックリスト

(5) 直轄地すべり対策事業

(局名：北陸農政局) (地区名：稲舟^{いなぶね})

2. 優先配慮事項

【効率性・有効性】

評価項目			評価指標	単位	評価結果	評価
大項目	中項目	小項目				
効率性	事業の経済性・効率性		①事業費の経済性・効率性の確保 ②コスト縮減についての具体的配慮	—	○ ○	A
有効性	食料の安定供給の確保	農業生産性の維持・向上	保全対象面積のうち農地面積	ha／地区	10.5	B
	農業の持続的発展	農業生産基盤の保全・管理	事業費に対する農業効果(農地、農業用施設、農作物の被害軽減)の割合	%	19.2	B
	農村の振興	農村の生活環境の整備	事業費に対する農業外効果(一般公共施設等、山林・林道、家屋等の被害軽減)の割合	%	244.0	B
			保全対象となる人家戸数	戸／地区	24	B
	多面的機能の発揮	地域の共同活動	多面的機能支払交付金等の取組	—	B	B
		国土の保全	①環境保全に関するアンケートの実施 ②農地の遊休化や耕作放棄化の問題についての話し合い等の実施	—	○ ○	A
	環境と調和のとれた食料システムの確立	生態系・景観への配慮	①環境情報協議会等の意見を踏まえた生態系及び景観への配慮 ②地域住民の参加や地域住民との合意形成への取組 ③維持管理、費用負担、モニタリング体制等の調整状況	—	c — a	B

【事業の実施環境等】

評価項目			評価指標	単位	評価結果	評価
大項目	中項目	小項目				
事業の実施環境等	関係計画との連携		①関係都道府県や市町村の国土強靱化地域計画と本事業との整合性 ②関係都道府県や市町村の地域防災計画等と本事業との整合性 ③地域における開発計画と本事業との整合性	—	a a a	A
	関係機関との協議		着工前に重要な協議(予備)の状況	—	A	A
	関連事業との調整		①事業主体から概略構想(関連事業調書)の提出 ②共同事業(事業内容、事業費、アロケーション等)の事前了解	—	— —	—
	地元合意		①事業実施に対する知事の同意状況 ②事業実施に対する関係市町村長の同意状況 ③事業推進協議会等から着工要望の提出 ④維持管理方法と費用負担に関する予定管理者との合意	—	a a — a	A
	緊急性	地すべりの兆候	①農地や傾斜地の法面の変状 ②道路や家屋等の構造物の変状 ③地表移動量調査による累積変位 ④地中移動量調査による累積変位	—	○ ○ ○ ○	A
		被害の発生履歴	過去の地すべり被害の発生履歴	—	A	A
		災害発生時の影響	①農地への重大な被害が想定 ②人家、災害弱者関連施設等が存在 ③災害発生時の地域社会への影響	—	○ ○ ○	A
	ストック効果の最大化		ストック効果の最大化に向けた事業の効率性・有効性等の確保	%	50	B

独立行政法人水資源機構事業 愛知用水地区

事業の概要

本事業は、愛知県尾張東部及びこれに続く知多半島一帯の農業地帯に位置する愛知県名古屋、瀬戸市、半田市、刈谷市、豊田市、犬山市、常滑市、小牧市、東海市、大府市、知多市、知立市、尾張旭市、豊明市、日進市、みよし市、長久手市、愛知郡東郷町、丹羽郡大口町、同郡扶桑町、知多郡阿久比町、同郡東浦町、同郡南知多町、同郡美浜町、同郡武豊町の 11,060ha において、農業用水の安定供給、農業水利施設の維持管理の費用と労力の軽減を図るため、耐震性能が不足している施設の補強と老朽化が進行している施設の改修を行うものである。

事業の目的・必要性

本地区では、米、小麦等の土地利用型作物とたまねぎ、キャベツ、みかん等の多様な野菜、果実等を組み合わせた農業経営が行われている。

本地区の基幹的な農業水利施設は、愛知用水公団営愛知用水事業（昭和 30 年度～昭和 36 年度）により造成された後、水資源開発公団営愛知用水二期事業（昭和 58 年度～平成 18 年度）、水資源機構営愛知用水三好支線水路緊急対策（平成 30 年度～令和 4 年度）により改修が実施されている。

本地区は、「南海トラフ地震防災対策推進地域」に指定されており、南海トラフ巨大地震の発生リスクが高く、大規模地震による施設の損壊や断水に備える必要があり、東海道新幹線や国道等と交差しているサイホン施設のほか、二次災害危険度の高い幹線水路、支線水路において、耐震性能不足が確認されていることから対策が急務となっている。

また、急激な地下水位上昇とサイドドレーンの機能低下に伴う開水路駆体の浮上や、水管橋、支線水路の経年的な劣化による漏水、揚水機場の電気設備及び機械設備の経年的な劣化による故障や不具合が増加しており、農業用水の安定供給に支障を来す事象も発生しており、早急に対策を行う必要がある。

本事業では、農業水利施設等の地震対策及び老朽化対策を行うことにより、農業用水の安定供給と施設の維持管理の費用及び労力の軽減を図り、農業生産性の維持及び農業経営の安定を図るものである。

事業の効率性

・総費用総便益比の算定

区 分	算定式	数 値	備 考
総費用(現在価値化)	①＝②＋③	224,037百万円	
当該事業による費用	②	23,025百万円	当該事業費33,644百万円
関連事業による費用、資産価額、再整備費	③	201,012百万円	
評価期間（当該事業の工事期間＋40年）	④	58年	工事期間 令和 9～26年度
総便益額(現在価値化)	⑤	261,575百万円	
総費用総便益比	⑥＝⑤÷①	1.16	

(注1) 総費用とは当該地域内において効果を発揮する一連の施設に係る費用であり、評価期間中の施設の資産価額、整備費等である。

(注2) 百万円単位で四捨五入しているため、数値は算定結果と合わない場合がある。

(注3) 数値は土地改良法に基づく手続を経て確定するため、現時点では暫定値である。

・年効果額（便益額）

本事業及び関連事業の実施により、用水施設の機能が維持向上されることによって、事業を実施しなかった場合と比較して、年間 12,329 百万円相当の事業効果が見込まれ、農業経営の安定が図られる。

作物生産効果	8,641 百万円
品質向上効果	1,372 百万円
営農経費節減効果	△180 百万円
維持管理費節減効果	△349 百万円
景観・環境保全効果	241 百万円
その他の効果（災害時の復旧対策費軽減効果）	674 百万円
その他の効果（洪水調節機能効果（農業用ダム））	600 百万円
その他の効果（国産農産物安定供給効果）	1,329 百万円
計	12,329 百万円

(注) 百万円単位で四捨五入しているため、数値は算定結果と合わない場合がある。

日程・手続

令和8年度から、独立行政法人水資源機構法に基づく事業実施計画の認可申請手続を開始する予定である。

事業に対する決議

関係機関で構成された「愛知用水事業推進協議会総会」を令和7年5月16日に開催し、事業実施に対する関係市町の同意を得た。また、令和8年3月19日 愛知用水土地改良区及び3月24日 入鹿用水土地改良区の総代会において、事業の着工について説明し了解を得た。

その他

・事業推進体制

関係機関で構成される従前の「愛知用水利水者連絡協議会」を令和5年7月に「愛知用水事業推進協議会」に名称変更し、事業を推進。

（構成：関係市町、愛知用水土地改良区ほか2土地改良区、上工水利水団体）

・維持管理体制

機構の直営及び、入鹿用水土地改良区、愛知用水土地改良区との委託協定により引き続き管理。

（管理者：水資源機構、入鹿用水土地改良区、愛知用水土地改良区）

・ 営農支援体制

令和４年３月２２日に「愛知用水地区営農検討会」を設立し、営農支援体制を整備。（構成：愛知県、岐阜県、関係市町、８農業協同組合、愛知用水土地改良区ほか２土地改良区、水資源機構、農業者代表）

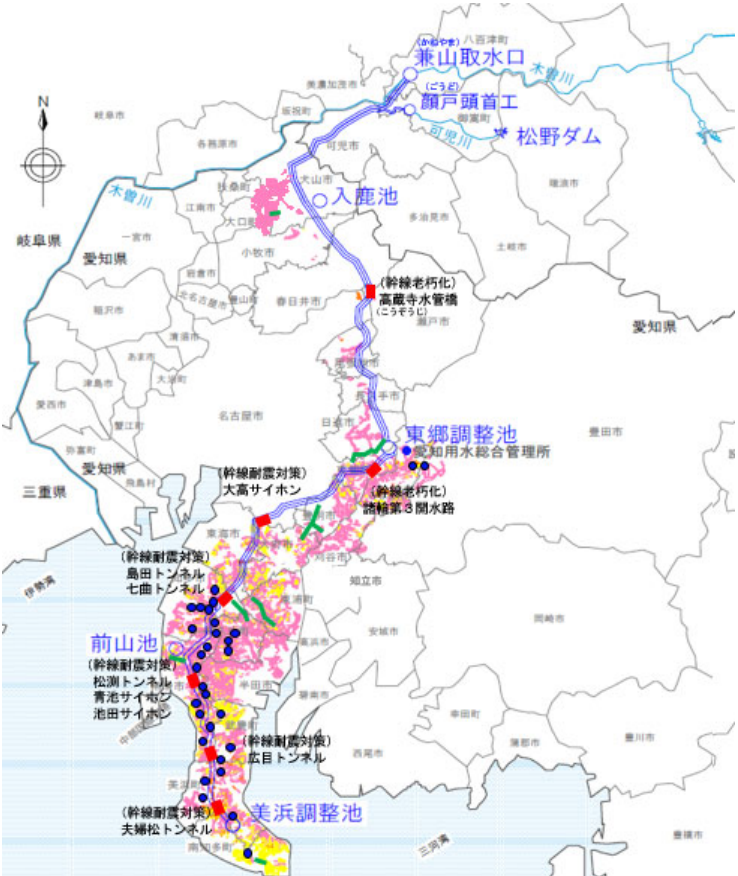
評価担当部局

農村振興局水資源課

概要図

1	受益面積	11,060ha		
2	受益者数	31,172人		
3	主要工事計画	工種	数量	事業費
		幹線水路地震対策（改修）	1.9km	5,907百万円
		支線水路地震対策（改修）	1.3km	665百万円
		幹線水路老朽化対策（改修）	0.8km	2,011百万円
		支線水路老朽化対策（改修）	16.7km	10,677百万円
		揚水機場老朽化対策（改修）	32か所	14,384百万円
4	機構営総事業費	農水負担事業費		33,644 百万円

愛知用水地区 概要図



位置	
受益面積 (ha)	
水田	7,122
普通畑	3,711
樹園地	227
計	11,060
凡例	
	受益地(水田)
	受益地(畑)
	受益地(樹園地)
	幹線水路
	幹線水路(整備対象区間)
	支線水路(地震対策1.3km)
	支線水路(老朽化対策16.7km)
	揚水機場(32か所)

令和9年度新規地区採択チェックリスト

(7)独立行政法人水資源機構事業

(局名:独立行政法人水資源機構)(地区名:^{あいちようすい}愛知用水地区)

1 必須事項

項目	評価の内容	判定
1 事業の必要性が明確であること。 (必要性)	・農業生産性の向上、農業生産の維持・増大、消費者の需要に即した農業生産の推進、農業構造の改善、農業生産活動の継続的な実施等の観点から、当該事業を必要とすること。	☐
2 技術的可能性が確実であること。	・地形、地質、水利状況等からみて、当該事業の施行が技術的に可能であること。	☐
3 事業の効率性が十分見込まれること。 (効率性)	・当該事業のすべての効用がそのすべての費用を償うこと。	☐
4 受益者負担の可能性が十分であること。 (公平性)	・当該事業の費用に係る受益農家の負担が、農業経営の状況からみて、負担能力の限度を超えることとはならないこと。	☐
5 環境との調和に配慮していること。	・当該事業が環境との調和に配慮したものであること。	☐
6 事業の採択要件を満たしていること。	・事業実施要綱・要領に規定された事業内容、採択基準の要件に適合していること。	☐

項目を満たしている場合は「○」とする。

項目欄の（ ）には、主として考えられる観点を記述している。

令和9年度新規地区採択チェックリスト

(7)独立行政法人水資源機構事業

(局名:独立行政法人水資源機構)(地区名:愛知^{あいち}用水^{ようすい}地区)

2 優先配慮事項

【効率性・有効性】

評価項目			評価指標	単位	評価結果	評価
大項目	中項目	小項目				
効率性	事業の経済性・効率性		①事業費の経済性・効率性の確保 ②コスト縮減についての具体的配慮	—	○ ○	A
有効性	食料安全保障の確保	農業生産性の維持・向上	土地生産性及び労働生産性の維持・向上効果額（受益面積当たり）	千円 /ha・年	858	A
			スマート農業技術等の導入	—	A	A
		産地収益力の向上	①麦・大豆等の生産量の増加率 ②園芸作物の生産額の増加率	% %	10.1 0.7	B
	農業の持続的発展	望ましい農業構造の確立	担い手への農地利用集積率	%	37.0	B
		農地の確保・有効利用	①耕地利用率 ②作付率の増加ポイント	% %	112.7 0.5	A
		農業生産基盤の保全管理	緊急性を踏まえた更新等整備	—	A	A
			施設の健全度評価を踏まえた更新等整備	—	A	A
			施設の重要度評価を踏まえた更新等整備	—	A	A
			重要度の高い国営造成施設における耐震化	—	A	A
	農村の振興	地域経済への波及効果	他産業への経済波及効果額（受益面積当たり）	千円 /ha・年	1,772	A
		農業の高付加価値化	農業の高付加価値化	—	A	A
	多面的機能の発揮	地域の共同活動	多面的機能支払交付金等の取組	—	A	A
	環境と調和のとれた食料システムの確立	みどりの食料システム戦略に係る取組	「みどりの食料システム戦略」に係る取組の検討状況	—	A	A
		生態系・景観への配慮	①環境情報協議会等の意見を踏まえた生態系及び景観への配慮 ②地域住民の参加や地域住民との合意形成への取組 ③維持管理、費用負担、モニタリング体制等の調整状況	—	a a a	A

【事業の実施環境等】

評価項目			評価指標	単位	評価結果	評価
大項目	中項目	小項目				
事業の実施環境等	連携管理保全計画（水土里ビジョン）の策定		連携管理保全計画（水土里ビジョン）の策定状況	—	A	A
	関係計画との連携		①関係都道府県や市町村の農業振興計画と本事業との整合性 ②関係都道府県や市町村の国土強靱化地域計画と本事業との整合性 ③地域計画と本事業との整合性 ④地域における開発計画と本事業との整合性 ⑤関係計画における関連事業等への位置付け	—	a a a a —	A
	関係機関との協議		①河川管理者との協議（予備）の状況 ②漁協との協議（予備）の状況 ③その他着工前に重要な協議（予備）の状況	—	a — b	B
	関連事業との調整		①事業主体から概略構想（関連事業調書）の提出 ②共同事業（事業内容、事業費、アロケーション等）の事前了解	—	— a	A
	地元合意		①事業実施に対する受益農家の同意状況 ②事業実施に対する関係市町村の同意状況 ③事業推進協議会から着工要望の提出 ④維持管理方法と費用負担に関する予定管理者との合意 ⑤事業に伴う土地利用規制の周知状況	—	a a a a b	B
	営農推進体制・環境		①営農部局との連携 ②営農推進組織等（営農支援体制）の設立状況 ③農産物の流通・販売基盤の整備状況 ④需要に応じた生産の取組状況 ⑤フラッグシップ輸出産地又は輸出事業計画（GFPグローバル産地計画）の対象となる作物の営農計画への位置付け状況	—	a a a a —	A
	ストック効果の最大化		ストック効果の最大化に向けた事業の効率性・有効性等の確保	%	88.9	A

令和9年度新規地区採択チェックリスト

(7)独立行政法人水資源機構事業

(局名:独立行政法人水資源機構)(地区名:^{あいちようすい}愛知用水地区)

3 特定監視項目

項目	評価の内容	判定
1 地質状況	・地質状況に基づいた施設計画としている。	☐
2 受益面積	・最近年の面積を把握している。	☐

項目を満たしている場合は「○」とする。

地方農政局等における技術検討会委員名簿

■ 国土交通省北海道開発局

氏 名	専門分野	所 属	備考
きたむろ 北室 かず子	広報・出版	フリーライター・編集者	
みやけ 三宅 俊輔	農業経済	帯広畜産大学環境農学研究部門 准教授	
やまもと 山本 忠男	農業工学	北海道大学大学院農学研究院 准教授	
よしひら 義平 たいき	農学	酪農学園大学農食環境学群 教授	

■ 東北農政局

氏 名	専門分野	所 属	備考
いいた 飯田 俊彰	農業水利	立正大学地球環境科学部 教授	委員長
しまたに 島谷 留美子	地域づくり	株式会社 東北地域環境研究室 専務取締役	
すがわら 菅原 あやこ	農業生産	有限会社 ファーム菅久 常務取締役	
すみた 角田 つよし	農業経済	東北大学大学院農学研究科 教授	
ちば 千葉 かつみ	農業土木	宮城大学事業構想学群 教授	

■ 関東農政局

氏 名	専門分野	所 属	備考
いしい 石井 敦	農業土木	筑波大学生命環境系 教授	委員長
たけだ 竹田 まり	農業経済	東洋大学食環境科学部 教授	
にしわき 西脇 淳子	環境	東京農工大学大学院農学研究院 准教授	
ほりこし 堀越 ともこ	マスコミ	株式会社 日本農業新聞論説委員室 論説委員	

■ 北陸農政局

氏 名	専門分野	所 属	備考
かみさわ 上澤 せいこ	農村計画	一般社団法人 朝日町観光協会	委員長
たきもと 瀧本 ひろし	農業土木	石川県立大学生物資源環境学部 教授	
ねぎし 根岸 むつひと	経営	新潟大学経済科学部 准教授	
はまの 浜野 つよし	マスコミ	株式会社 北國新聞社 地域ビジネス局 出版部長	
まつもと 松本 けいこ	環境	甲武信ユネスコエコパーク推進協議会 監事	

■近畿農政局

氏 名	専門分野	所 属	備考
いわま けんじ 岩間 憲治	環境	滋賀県立大学環境科学部 准教授	委員長
かわむら ゆきこ 川村 幸子	消費者	京都府生活協同組合連合会 理事	
さいとう あけみ 齋藤 朱未	農村計画	同志社女子大学生生活科学部 教授	
ひさの しゅうじ 久野 秀二	経済	京都大学大学院経済学研究科 教授	
ふじはら まさゆき 藤原 正幸	農業土木	京都大学大学院農学研究科 教授	

■九州農政局

氏 名	専門分野	所 属	備考
いそだ ひろし 磯田 宏	農業経済	九州大学 名誉教授	委員長
しのぎ よしゆき 凌 祥之	農業土木	九州大学大学院農学研究院 学術特任教員	
みやぞの ゆきよ 宮園 由紀代	消費生活	特定非営利活動法人 熊本消費者協会 理事	
やすい ひでし 安井 秀	農学	九州大学大学院農学研究院 教授	
ゆげ こずえ 弓削 こずえ	農村環境	佐賀大学農学部 教授	

■独立行政法人水資源機構

氏 名	専門分野	所 属	備考
かわさと たけし 河郷 文史	マスコミ	株式会社 中日新聞社論説室 論説委員	委員長
とくだ ひろみ 徳田 博美	農業経済	名古屋大学 名誉教授	
ひらまつ けん 平松 研	農業土木	岐阜大学応用生物科学部 教授	
ますだ みちこ 増田 理子	環境	名古屋工業大学工学部 教授	
やまもと ちか 山本 千夏	地域振興	特定非営利活動法人 グラウンドワーク東海 副理事長	

(五十音順、敬称略)

別添 3

お問合せ先及びホームページアドレス

事業名	お問合せ先	
	事業主管課	担当班
国営かんがい排水事業（農林水産省）	水資源課	広域水利第1班（内線5594）
国営かんがい排水事業（北海道）	水資源課	広域水利第2班（内線5595）
国営総合農地防災事業	防災課	広域防災班（内線5662）
直轄地すべり対策事業	防災課	広域防災班（内線5662）
独立行政法人水資源機構事業	水資源課	水資源機構業務班（内線5410）

TEL 03-3502-8111（代表）

ホームページアドレス <http://www.maff.go.jp/j/nousin/noukei/index.html>

(参考資料 1)

チェックリスト判定基準表

令和 8 年 3 月

- (1) 国営かんがい排水事業
 (2) 土地改良施設突発事故復旧・防止事業（直轄）のうち土地改良施設事故防止事業
 (7) 独立行政法人水資源機構事業

【必須事項】

項 目	判 定 基 準
1 事業の必要性が明確であること。 (必要性)	・地域農業の振興方向が明確であり、その阻害要因の解消のために本事業を実施する必要性が認められること。
2 技術的可能性が確実であること。	・地形、地質、水利状況等からみて、当該事業の施行が技術的に可能であること。
3 事業の効率性が十分見込まれること。 (効率性)	・総費用総便益比 ≥ 1.0
4 受益者負担の可能性が十分であること。 (公平性)	・総所得償還率 ≤ 0.2 または 増加所得償還率 ≤ 0.4
5 環境との調和に配慮していること。	・当該事業が、田園環境整備マスタープランを踏まえているとともに、専門家等と意見交換を行い、環境（生態系、景観等）との調和に配慮したものであること。
6 事業の採択要件を満たしていること。	・事業実施要綱・要領に規定された事業内容、採択基準の要件に適合していること。

項目欄の（ ）には、主として考えられる観点を記述している。

チェックリスト判定基準表

(1) 国営かんがい排水事業

(2) 土地改良施設突発事故復旧・防止事業（直轄）のうち土地改良施設事故防止事業

(7) 独立行政法人水資源機構事業

【優先配慮事項】

評価項目			評価指標及び判定基準	
大	中項目	小項目	A	B
効率性	事業の経済性・効率性		①単位当たり事業費が類似条件の近傍他地区等との比較から概ね妥当であると認められる。 ②コスト削減を図る計画となっている。 （例）施工方法の見直し、新技術の導入、資源の活用、共同工事等について該当する項目の数により判断。 A：2項目、B：1項目、－：該当なし	
有効性	食料安全保障の確保	農業生産性の維持・向上	○土地生産性及び労働生産性の維持・向上効果額（受益面積当たり） 地域農業の生産性及び農業経営の維持・向上による効果額（千円/ha・年） ＝（作物生産効果+品質向上効果+営農経費節減効果+維持管理費節減効果+営農に係る走行経費節減効果）（千円）/受益面積（ha） 【注；効果項目は年効果額：千円】	
			水田主体地区：400 千円/ha・年以上 畑主体地区：350 千円/ha・年以上	水田主体地区：400 千円/ha・年未満 畑主体地区：350 千円/ha・年未満
			○スマート農業技術等の導入 受益地内において、スマート農業技術等の導入に対応した基盤整備に取り組む予定がある。 （例）遠隔監視・制御システム、分水ゲートの自動化（電動化含む）、調整水槽・配水槽、パイプライン、自動給水栓、地下水位制御システム、自動走行農機等の導入に資する整備（耕区間移動通路、ターン農道、農地の大区画化、農道の拡幅、用排水路の管路化、RTK-GNSS 基準局、情報通信環境の整備、小型農機に対応した畑・樹園地の基盤整備）、維持管理の省力化整備（農地や法面の勾配修正・緩傾斜化、幅広の畦畔、法面の被覆）等 A：予定がある B：予定がない －：該当なし（土地改良施設事故防止事業地区）	

評価項目			評価指標及び判定基準	
大	中項目	小項目	A	B
有効性	食料安全保障の確保	産地収益力の向上	①麦・大豆等の増加率 麦・大豆等 ^{※1} の生産量の増加率(%) = (麦・大豆等の計画生産量－麦・大豆等の現況生産量 ^{※3}) / 麦・大豆等の現況生産量 × 100 ②園芸作物の増加率 園芸作物 ^{※2} の生産額の増加率(%) = (園芸作物の計画生産額－園芸作物の現況生産額 ^{※3}) / 園芸作物の現況生産額 × 100 ※1：麦・大豆等とは、経営所得安定対策等実施要綱Ⅳ第1の1(2)の畑作物の直接支払交付金(ゲタ対策)の対象作物である小麦・二条大麦・六条大麦・はだか麦・大豆・てん菜・でん粉原料用ばれいしょ・そば・なたねを指す。 ※2：園芸作物とは、野菜・果樹・花きを指す。 ※3：麦・大豆等の現況生産量や園芸作物の現況生産額が0となる場合の判定は「皆増」とする。	
			① 30%以上 または、 ② 20%以上	① 30%未満 かつ、 ② 20%未満
	農業の持続的発展	望ましい農業構造の確立	○担い手への農地利用集積率 ①担い手への計画農地利用集積率(%) = 集積計画における担い手への集積面積(ha) / 受益面積(ha) × 100 ②担い手への現況農地利用集積率(%) (集積計画を作成しない地区) = 関係市町村の担い手への集積面積(ha) / 関係市町村の耕地面積(ha) × 100 ー：該当なし(土地改良施設事故防止事業地区)	
			① 90%以上 ② 90%以上または都道府県の平均以上	① 90%未満 ② 90%未満かつ都道府県の平均未満
		農地の確保・有効利用	○耕地利用率の向上、作付面積の拡大 ①耕地利用率(%) = 作物の計画作付延べ面積(ha) / 耕地面積(ha) × 100 ②作付率の増加ポイント(%) = 計画作付率(%) - 現況作付率(%) ※耕地利用率においては、永年性作物・牧草の作付面積を除いて算定 ※豪雪地帯及び特別豪雪地帯では、耕地利用率を本地利用率(施設野菜を作付する地区にあつては建ぺい率も考慮)と読み替えて判定。 本地利用率(%) = 作物の計画作付延べ面積(ha) / 本地面積(ha) × 100 ー：該当なし(土地改良施設事故防止事業地区)	
			①耕地利用率 101%以上(豪雪地帯及び特別豪雪地帯は都道府県平均以上) または、 ②作付率の増加ポイント 11%以上	①耕地利用率 101%未満(豪雪地帯及び特別豪雪地帯は都道府県平均未満) かつ、 ②作付率の増加ポイント 11%未満

評価項目			評価指標及び判定基準	
大	中項目	小項目	A	B
有効性	農業の持続的発展	農業生産基盤の保全管理	○緊急性を踏まえた更新等整備 A：不測の事態が発生しており、事後保全を行う、又は不測の事態が発生する予兆がある B：不測の事態が発生していない －：該当なし（施設の更新等整備を行わない地区）	
			○施設の健全度評価を踏まえた更新等整備 A：長寿命化対策を行う B：長寿命化対策を行わない －：該当なし（施設の更新等整備を行わない地区及び健全度が高く、長寿命化対策の必要がない地区）	
			○施設の重要度評価を踏まえた更新等整備 A：更新等整備を行う地区に重要度の高い（A以上）施設を含む B：更新等整備を行う地区に重要度の高い（A以上）施設を含まない －：該当なし（施設の更新等整備を行わない地区）	
			○重要度の高い（AA種またはA種）国営造成施設における耐震化 A：耐震化対策を行う B：耐震化対策を行わない －：該当なし（耐震化対策を行う必要のない施設の整備地区又は国営造成施設以外を対象とする地区）	
	農村の振興	地域経済への波及効果	○他産業への経済波及効果額（受益面積当たり） 受益面積当たり他産業への経済波及効果額（千円/ha・年） ＝農業生産増加粗収益額（千円）/受益面積（ha）×（産業連関表の逆行列係数の列和） ※農業生産増加粗収益額とは、作物生産効果における増加粗収益額であり、更新整備による作物生産量の維持分を含む	
			水田主体地区：1,040 千円/ha・年以上 畑主体地区：970 千円/ha・年以上	水田主体地区：1,040 千円/ha・年未満 畑主体地区：970 千円/ha・年未満
		農業の高付加価値化	○農業の高付加価値化 地域において、農業の高付加価値化や6次産業化に向けた取組（加工・販売、ブランド化、環境保全型農業等）が行われているか。 A：行われている、B：行われていない、 －：該当なし（土地改良施設事故防止事業地区）	
	多面的機能の発揮	地域の共同活動	○多面的機能支払交付金等の取組 地域において、多面的機能支払交付金や中山間地域等直接支払交付金、環境保全型農業直接支払交付金を活用し、農地、農業水利施設の維持管理等の取組が行われているか。 A：行われている、B：行われていない、 －：該当なし（土地改良施設事故防止事業地区）	

評価項目			評価指標及び判定基準	
大	中項目	小項目	A	B
有効性	環境と調和のとれた食料システムの確立	みどりの食料システム戦略に係る取組	○「みどりの食料システム戦略」に係る取組の検討状況 ①再生可能エネルギーの活用 ・農業水利施設維持管理への再生可能エネルギーの活用（小水力、太陽光、風力等発電施設の整備） ②省エネルギー化 ・農業水利施設維持管理の省エネルギー化（用排水機場の高効率化、施設の集約・再編、遠隔監視・制御システム等） ③地区内における環境負荷低減事業活動※の促進 ・化学肥料・化学農薬の施用・使用抑制（農地の大区画化等による労働生産性向上を通じた環境保全型農業の展開、有機農業の農区設定等） ・温室効果ガスの排出削減（農地の大区画化等によるスマート農業実装、排水改良等による中干し期間延長等） ※「環境負荷低減事業活動」とは、環境と調和のとれた食料システムの確立のための環境負荷低減事業活動の促進等に関する法律（令和4年法律第37号）第2条第4項に規定する事業活動 ④地区内におけるその他の取組 ・土層改良における土壌への炭素貯留（バイオ炭の施用等） ・管理所等建築物の木造化 等 A：①～④のいずれかに取り組む B：①～④のいずれにも取り組まない －：該当なし（土地改良施設事故防止事業地区）	
		生態系・景観への配慮	①環境情報協議会等の意見を踏まえた生態系及び景観への配慮 ②生態系及び景観に配慮した計画について、地域住民の参加や地域住民との合意形成 ③環境配慮対策工を行った施設等が機能を十分に発揮するための維持管理、景観の保全を目的とした維持管理、費用負担、モニタリング体制等の調整状況について、評価点（a：3点、b：2点、c：1点）の合計値により判断。 A：9点、B：6～8点、C：5点以下 （3指標のうち1指標が「－」の場合は、A：6点、B：4～5点、C：3点以下） （3指標のうち2指標が「－」の場合は、A：3点、B：2点、C：1点） ① a：踏まえている b：検討中 c：踏まえていない ② a：図っている b：検討中 c：図っていない －：該当なし ③ a：調整済 b：調整中 c：未調整 －：該当なし	
事業の実施環境等	連携管理保全計画（水土里ビジョン）の策定		○連携管理保全計画（水土里ビジョン）の策定状況 地区内の全域又は一部の地域において、連携管理保全計画（水土里ビジョン）が策定されている。 A：策定している又は策定する見込みがある B：策定する見込みがない －：関係土地改良区がない	

評価項目			評価指標及び判定基準	
大	中項目	小項目	A	B
事業の実施環境等	関係計画との連携		①関係都道府県や市町村の農業振興計画と本事業との整合性 ②関係都道府県や市町村の国土強靱化地域計画と本事業との整合性 ③地域計画と本事業との整合性 ④地域における開発計画と本事業との整合性 ⑤関係計画における関連事業等への位置付け について、評価点（a：3点、b：2点、c：1点）の合計値により判断。 A：14点以上、B：10～13点、C：9点以下 （5指標のうち1指標が「－」の場合は、A：12点、B：8～11点、C：7点以下 （5指標のうち2指標が「－」の場合は、A：9点、B：6～8点、C：5点以下） ①a：図られている b：図られる見込みがある c：図られていない ②a：図られている b：図られる見込みがある c：図られていない ③a：図られている b：図られる見込みがある c：図られていない －：該当なし（土地改良施設事故防止事業地区） ④a：図られている b：図られる見込みがある c：図られていない ⑤a：以下のいずれかの計画に位置付けられている －：以下のいずれの計画にも位置付けられていない ・事業実施計画又は所得確保計画（中山間地域所得確保対策実施要領第3又は第4に定める計画） ・産地推進計画（水田農業高収益化推進計画の策定について別紙第3に定める計画） ・生産方式革新実施計画（スマート農業技術の活用の促進に関する法律第7条第1項に定める計画）	
	関係機関との協議		①河川管理者との協議（予備）が合意に達しているか ②漁協との協議（予備）が合意に達しているか ③施設所有者、文化財管理者等関係者、道路管理者等との着工前に重要な協議（予備）が合意に達しているか について、評価点（a：3点、b：2点、c：1点）の合計値により判断。 A：9点、B：6～8点、C：5点以下、－：該当なし （3指標のうち1指標が「－」の場合は、A：6点、B：4～5点、C：3点以下） （3指標のうち2指標が「－」の場合は、A：3点、B：2点、C：1点） ①a：協議了 b：協議中 c：未協議 －：該当なし ②a：協議了 b：協議中 c：未協議 －：該当なし ③a：協議了 b：多くが協議中 c：多くが未協議 －：該当なし	
	関連事業との調整		①事業主体から概略構想（関連事業調書）の提出 ②共同事業（事業内容、事業費、アロケーション等）の事前了解 について、評価点（a：3点、b：2点、c：1点）の合計値により判断。 A：6点、B：4～5点、C：3点以下、－：該当なし （①または②が「－」の場合は、A：3点、B：2点、C：1点） ①a：提出済 b：提出予定 c：未提出 －：該当なし ②a：協議了 b：協議中 c：未協議 －：該当なし	

評価項目			評価指標及び判定基準	
大	中項目	小項目	A	B
事業の実施環境等	地元合意		①事業実施に対する受益農家の同意状況（土地改良区総代会の議決等の状況） ②事業実施に対する関係市町村の同意状況（事業推進協議会の議決等の状況） ③事業推進協議会等から着工要望の提出の有無 ④施設の予定管理者と維持管理の方法及び費用についての打ち合わせを行い、合意に達しているか ⑤事業に伴う土地利用規制（農業振興地域の整備に関する法律及び農地法に基づく規制）の周知状況 について、評価点（a：3点、b：2点、c：1点）の合計値により判断。 A：15点、B：10～14点、C：9点以下 （5指標のうち1指標が「－」の場合は、A：12点、B：8～11点、C：7点以下） （5指標のうち2指標が「－」の場合は、A：9点、B：6～8点、C：5点以下） ① a：同意済 b：同意予定 c：未同意 ② a：同意済 b：同意予定 c：未同意 ③ a：提出済 b：提出予定 c：未提出 ー：該当なし（土地改良施設事故防止事業地区） ④ a：合意済 b：調整中 c：未調整 ⑤ a：説明済 b：説明予定 c：未実施 ー：該当なし（独立行政法人水資源機構事業のうち防災事業地区、土地改良施設事故防止事業地区）	
	営農推進体制・環境		①関係都道府県、市町村、農協等の営農部局と連携して、営農の現状や将来ビジョンを把握しているか。 ②受益農家、農協、普及センター等を含めた営農検討組織など、営農支援（検討）体制が整備されているか。 ③受益地内で生産される農産物の流通・販売に関する基盤が整備されているか。 ※流通・販売に関する基盤とは、近隣の市場、直売所、食品加工場や遠方の市場等へ輸送する場合の高速道路等 ④受益地内で生産される主要な農産物について、市場のニーズに基づいた生産、流通業者や実需者との契約に基づく生産等、JA等の関係機関や認定農業者等の担い手が需要に応じた生産に取り組んでいるか。 ⑤フラッグシップ輸出産地又は輸出事業計画（GFP グローバル産地計画）の対象となる作物が営農計画に位置付けられているか。 について、評価点の合計値（a：3点、b：2点、c：1点）の合計値により判断。 A：14点以上、B：10～13点、C：9点以下 （5指標のうち1指標が「－」の場合は、A：12点、B：8～11点、C：7点以下） （5指標のうち2指標が「－」の場合は、A：9点、B：6～8点、C：5点以下） ① a：把握済 b：調整中 c：把握していない ② a：設置済 b：設置予定 c：未設置 ー：該当なし（土地改良施設事故防止事業地区） ③ a：整備済 b：整備予定 c：未整備 ④ a：取り組んでいる b：取り組む予定 c：取り組む予定なし ⑤ a：位置付けられている、もしくは位置付け予定 ー：位置付けの予定なし	
	ストック効果の最大化		○ストック効果の最大化に向けた事業の効率性・有効性等の確保 効率性、有効性、事業の実施環境等に関する評価項目におけるA評価の割合 ※関係機関との協議、地元合意に関する評価項目及び該当なし「－」とした評価項目は除く。 A：8割以上、B：5割以上、C：5割未満	

※評価指標が定量的なものに関しては、0以下はランク外（－）

チェックリスト判定基準表

- (1) 国営かんがい排水事業
- (2) 土地改良施設突発事故復旧・防止事業（直轄）のうち土地改良施設事故防止事業
- (7) 独立行政法人水資源機構事業

【特定監視項目】

評価の内容		判定基準
地質状況	・地質状況に基づいた施設計画としている。	・地質状況を把握するための必要な調査を行い、仮設等を見込んだ施設計画としている。 ※新たな基礎工事を伴わない場合は「－：該当なし」とする。
受益面積	・最近年の面積を把握している。	・地元意向等を確認のうえ、一定地域を定めるとともに、台帳等により最近年の面積を把握している。

チェックリスト判定基準表
(4) 国営総合農地防災事業

【必須事項】

項 目	判 定 基 準
1 事業の必要性が明確であること。 (必要性)	・地域農業発展の阻害要因が明確であり、その解消のために本事業を実施する必要性が認められること。
2 技術的可能性が確実であること。	・地形、地質、水利状況等からみて、当該事業の施行が技術的に可能であること。
3 事業の効率性が十分見込まれること。 (効率性)	・総費用総便益比 ≥ 1.0
4 受益者負担の可能性が十分であること。 (公平性)	・総所得償還率 ≤ 0.2 または 増加所得償還率 ≤ 0.4
5 環境との調和に配慮していること。	・当該事業が、田園環境整備マスタープランを踏まえているとともに、専門家等と意見交換を行い、環境（生態系、景観等）との調和に配慮したものであること。
6 事業の採択要件を満たしていること。	・事業実施要綱・要領に規定された事業内容、採択基準の要件に適合していること。

項目欄の（ ）には、主として考えられる観点を記述している。

チェックリスト判定基準表
(4) 国営総合農地防災事業

【優先配慮事項】

評価項目			評価指標及び判定基準	
大	中項目	小項目	A	B
効率性	事業の経済性・効率性		①単位当たり事業費が類似条件の近傍他地区等との比較から概ね妥当であると認められる。 ②コスト縮減を図る計画となっている。 （例）施工方法の見直し、新技術の導入、資源の活用、共同工事等について、該当する項目の数により判断。 A：2項目、B：1項目、－：該当なし	
	有効性	食料安全保障の確保 農業生産性の維持・向上	○土地生産性及び労働生産性の維持・向上効果額（受益面積当たり） 地域農業の生産性及び農業経営の向上による効果額（千円/ha・年） ＝（作物生産効果+品質向上効果+営農経費節減効果+維持管理費節減効果+営農に係る走行経費節減効果）（千円）/受益面積（ha） 【注；効果項目は年効果額：千円】 ※畑主体では作物生産効果は除く －：該当なし（ため池の整備に係る事業実施地区）	
水田主体地区：450 千円/ha・年以上 畑主体地区：350 千円/ha・年以上			水田主体地区：450 千円/ha・年未満 畑主体地区：350 千円/ha・年未満	
農業の持続的発展	望ましい農業構造の確立	○担い手への農地利用集積率 担い手への現況農地利用集積率（％） ＝関係市町村の担い手への利用集積面積（ha）/関係市町村の農地面積（ha）×100 －：該当なし（土地改良法第 87 条の 4 の規定に基づき実施する地区）		
		90%以上または都道府県の平均以上	90%未満かつ都道府県の平均未満	
	農地の確保・有効利用	○耕地利用率の向上、作付面積の拡大 ①耕地利用率（％）＝作物の計画作付延べ面積（ha）/耕地面積（ha）×100 ②作付率の増加ポイント（％）＝計画作付率（％）－現況作付率（％） ※耕地利用率においては、永年性作物・牧草の作付面積を除いて算定 ※豪雪地帯及び特別豪雪地帯では、耕地利用率を本地利用率（施設野菜を作付する地区にあっては建ぺい率も考慮）と読み替えて判定。 本地利用率（％）＝作物の計画作付延べ面積（ha）/本地面積（ha）×100 －：該当なし（土地改良法第 87 条の 4 の規定に基づき実施する地区）		
①耕地利用率 101%以上(豪雪地帯及び特別豪雪地帯は都道府県平均以上) または、 ②作付率の増加ポイント 11%以上		①耕地利用率 101%未満(豪雪地帯及び特別豪雪地帯は都道府県平均未満) かつ、 ②作付率の増加ポイント 11%未満		

評価項目			評価指標及び判定基準	
大	中項目	小項目	A	B
有効性	農業の持続的発展	農業生産基盤の保全管理	○災害防止効果額（農業関係）（受益面積当たり） 災害防止効果額（農業関係）（千円/ha・年） ＝災害防止効果（農業関係）（千円）/受益面積（ha） ※畑主体では作物生産効果を加える 【注；効果項目は年効果額：千円】	
			水田主体地区：310 千円/ha・年以上 畑主体地区：110 千円/ha・年以上	水田主体地区：310 千円/ha・年未満 畑主体地区：110 千円/ha・年未満
			○重要度の高い（AA種またはA種）国営造成施設における耐震化 A：耐震化対策を行う B：耐震化対策を行わない ー：該当なし（耐震化対策を行う必要のない施設の整備地区又は国営造成施設以外を対象とする地区）	
		農村の生活環境の整備	○災害防止効果額（一般資産＋公共資産）（受益面積当たり） 災害防止効果額（一般資産＋公共資産）（千円/ha・年） ＝災害防止効果（一般関係）（千円）/受益面積（ha） 【注；効果項目は年効果額：千円】	
	農村の振興	地域経済への波及効果	○他産業への経済波及効果額（受益面積当たり） 受益面積当たり他産業への経済波及効果額（千円/ha・年） ＝農業生産増加粗収益額（千円）/受益面積（ha）×（産業連関表の逆行列係数の列和） ※農業生産増加粗収益額とは、作物生産効果における増加粗収益額であり、更新整備による作物生産量の維持分を含む ー：該当なし（ため池の整備に係る事業実施地区）	
			1,260 千円/ha・年以上	1,260 千円/ha・年未満
		農業の高付加価値化	○農業の高付加価値化 地域において農業の高付加価値化や6次産業化に向けた取組（加工・販売、ブランド化、環境保全型農業等）が行われている。 A：行われている、B：行われていない ー：該当なし（土地改良法第87条の4の規定に基づき実施する地区）	
		多面的機能の発揮	○多面的機能支払交付金等の取組 地域において、多面的機能支払交付金や中山間地域等直接支払交付金、環境保全型農業直接支払交付金を活用し、農地、農業水利施設の維持管理等の取組が行われているか。 A：行われている、B：行われていない ー：該当なし（土地改良法第87条の4の規定に基づき実施する地区）	

評価項目			評価指標及び判定基準	
大	中項目	小項目	A	B
有効性	環境と調和のとれた食料システムの確立	生態系・景観への配慮	①環境情報協議会等の意見を踏まえた生態系及び景観への配慮 ②生態系及び景観に配慮した計画について、地域住民の参加や地域住民との合意形成 ③環境配慮対策工を行った施設等が機能を十分に発揮するための維持管理、景観の保全を目的とした維持管理、費用負担及びモニタリング体制等の調整状況について、評価点（a：3点、b：2点、c：1点）の合計値により判断。 A：9点、B：6～8点、C：5点以下 （3指標のうち1指標が「－」の場合は、A：6点、B：4～5点、C：3点以下） （3指標のうち2指標が「－」の場合は、A：3点、B：2点、C：1点） ①a：踏まえている b：検討中 c：踏まえていない ②a：図っている b：検討中 c：図っていない －：該当なし ③a：調整済 b：調整中 c：未調整 －：該当なし	
事業の実施環境等	関係計画との連携		①関係都道府県や市町村の農業振興計画と本事業との整合性 ②関係都道府県や市町村の国土強靱化地域計画と本事業との整合性 ③関係都道府県や市町村の地域防災計画等と本事業との整合性 ④地域における開発計画と本事業との整合性 ⑤地域計画と本事業との整合性 ⑥地区内の全域又は一部の地域において、連携管理保全計画（水土里ビジョン）が策定されている ⑦関係計画における関連事業等への位置付けについて、評価点（a：3点、b：2点、c：1点）の合計値より判断。 A：18点以上、B：14～17点、C：13点以下 （7指標のうち1指標が「－」の場合は、A：15点以上、B：12～14点、C：11点以下） （7指標のうち2指標が「－」の場合は、A：13点以上、B：9～12点、C：8点以下） （7指標のうち3指標が「－」の場合は、A：11点以上、B：8～10点、C：7点以下） ①a：図られている b：図られる見込みがある c：図られていない ②a：図られている b：図られる見込みがある c：図られていない ③a：図られている b：図られる見込みがある c：図られていない ④a：図られている b：図られる見込みがある c：図られていない ⑤a：図られている b：図られる見込みがある c：図られていない －：該当なし（土地改良法第87条の4の規定に基づき実施する地区） ⑥a：策定している又は策定する見込みがある b：策定する見込みがない －：関係する土地改良区がない ⑦a：以下の計画に位置付けられている －：以下の計画に位置付けられていない ・事業実施計画又は所得確保計画（中山間地域所得確保対策実施要領第3又は第4に定める計画）	
	関係機関との協議		①河川管理者との協議（予備）が合意に達しているか ②漁協との協議（予備）が合意に達しているか ③施設所有者、文化財管理者等関係者、道路管理者等との着工前に重要な協議（予備）が合意に達しているか について、評価点（a：3点、b：2点、c：1点）の合計値により判断。 A：9点、B：6～8点、C：5点以下、－：該当なし （3指標のうち1指標が「－」の場合は、A：6点、B：4～5点、C：3点以下） （3指標のうち2指標が「－」の場合は、A：3点、B：2点、C：1点） ①a：協議了 b：協議中 c：未協議 －：該当なし ②a：協議了 b：協議中 c：未協議 －：該当なし ③a：協議了 b：多くが協議中 c：多くが未協議 －：該当なし	

評価項目			評価指標及び判定基準	
大	中項目	小項目	A	B
事業の実施環境等	関連事業との調整		①事業主体から概略構想（関連事業調書）の提出 ②共同事業（事業内容、事業費、アロケーション等）の事前了解 について、評価点（a：3点、b：2点、c：1点）の合計値により判断。 A：6点、B：4～5点、C：3点以下、－：該当なし （①または②が「－」の場合は、A：3点、B：2点、C：1点） ①a：提出済 b：提出予定 c：未提出 －：該当なし ②a：協議了 b：協議中 c：未協議 －：該当なし	
	地元合意		①事業実施に対する受益農家の同意状況（土地改良区総代会の議決等の状況） ②事業実施に対する関係市町村の同意状況（事業推進協議会の議決等の状況） ③事業推進協議会等から着工要望の提出の有無 ④施設の予定管理者と維持管理の方法及び費用についての打ち合わせを行い、合意に達しているか について、評価点（a：3点、b：2点、c：1点）の合計値により判断。 A：12点、B：8～11点、C：7点以下 ①a：同意済 b：同意予定 c：未同意 ②a：同意済 b：同意予定 c：未同意 ③a：提出済 b：提出予定 c：未提出 ④a：合意済 b：調整中 c：未調整	
	営農推進体制・環境		①関係都道府県、市町村、農協等の営農部局と連携して、営農の現状や将来ビジョンを把握しているか。 ②受益農家、農協、普及センター等を含めた営農検討組織など、営農支援（検討）体制が整備されているか。 ③受益地内で生産される農産物の流通・販売に関する基盤が整備されているか。 ※流通・販売に関する基盤とは、近隣の市場、直売所、食品加工場や遠方の市場等へ輸送する場合の高速道路等 ④受益地内で生産される主要な農産物について、市場のニーズに基づいた生産、流通業者や実需者との契約に基づく生産等、JA等の関係機関や認定農業者等の担い手が需要に応じた生産に取り組んでいるか。 ⑤フラッグシップ輸出産地又は輸出事業計画（GFP グローバル産地計画）の対象となる作物が営農計画に位置付けられているか。 について、評価点の合計値（a：3点、b：2点、c：1点）の合計値により判断。 A：14点以上、B：10～13点、C：9点以下 （5指標のうち1指標が「－」の場合は、A：12点、B：8～11点、C：7点以下） （5指標のうち2指標が「－」の場合は、A：9点、B：6～8点、C：5点以下） ①a：把握済 b：調整中 c：把握していない ②a：設置済 b：設置予定 c：未設置 －：該当なし（土地改良法第87条の4の規定に基づき実施する地区） ③a：整備済 b：整備予定 c：未整備 ④a：取り組んでいる b：取り組む予定 c：取り組む予定なし ⑤a：位置付けられている、もしくは位置付け予定 －：位置付けの予定なし	

評価項目			評価指標及び判定基準	
大	中項目	小項目	A	B
事業の実施環境等	緊急性	災害発生時の影響	①広範囲に影響を及ぼすこととなる機能低下した土地改良施設が存在する。 ②事業の対象施設として基幹土地改良施設（ダム、頭首工等）やライフラインとの共用施設が存在する。 ③公共施設等の防災上重要な施設（学校や医療機関等）が地区内に存在し、災害発生時に地域社会への影響（ライフラインや交通等）が想定される。 について、該当する項目の数により判断。 A：3項目、B：2項目、C：1項目以下	
		被害の発生頻度	過去10年間の被害発生頻度 A：被害がほぼ毎年発生 B：被害が複数年発生 C：被害が発生 ー：該当なし	
	ストック効果の最大化		○ストック効果の最大化に向けた事業の効率性・有効性等の確保 効率性、有効性、事業の実施環境等に関する評価項目におけるA評価の割合 ※関係機関との協議、地元合意に関する評価項目及び該当なし「ー」とした評価項目は除く。 A：8割以上、B：5割以上、C：5割未満	

※評価指標が定量的なものに関しては、0以下はランク外（-）

チェックリスト判定基準表
(4) 国営総合農地防災事業

【特定監視項目】

評価の内容		判 定 基 準
地質状況	・地質状況に基づいた施設計画としている。	・地質状況を把握するための必要な調査を行い、仮設等を見込んだ施設計画としている。

チェックリスト判定基準表
(5) 直轄地すべり対策事業

【必須事項】

項 目	判 定 基 準
1 事業の必要性が明確であること。 (必要性)	・農地及び農業用施設等に対する地すべり被害を防止し、農業生産性の維持、国土の保全及び民生の安定に資することが認められること。
2 技術的可能性が確実であること。	・地形、地質等からみて、当該事業の施行が技術的に可能であること。
3 事業の効率性が十分見込まれること。 (効率性)	・地すべり防止工事基本計画書における費用の概算額と効果で判断して、効果が十分であること。 (総費用総便益比 ≥ 1.0)
4 地すべり等防止法及び事業実施要綱等に適合していること。	・農村振興局所管の地すべり防止区域で、次の地すべり防止工事の直轄要件のいずれかを満たしていること。 ・工事の規模が著しく大であるとき。 ・工事が高度の技術を必要とするとき。 ・工事が高度の機械力を使用して実施する必要があるとき。 ・工事が都府県の区域の境界に係るとき。

項目欄の（ ）には、主として考えられる観点を記述している。

チェックリスト判定基準表
(5) 直轄地すべり対策事業

【優先配慮事項】

評価項目			評価指標及び判定基準	
大	中項目	小項目	A	B
効率性	事業の経済性・効率性		①単位当たり事業費が類似条件の近傍他地区等との比較から概ね妥当であると認められる。 ②コスト縮減を図る計画となっている。 （例）施工方法の見直し、新技術の導入、資源の活用、共同工事等について、該当する項目の数により判断。 A：2項目、B：1項目、－：該当なし	
	有効性	食料安全保障の確保	農業生産性の維持・向上	○保全対象面積のうち農地面積（一地区当たり） 保全対象面積のうち農地面積（ha／地区） ＝地すべり地域及び地域外被害想定地域における農地面積（ha） 310ha 以上310ha 未満
農業の持続的発展			農業生産基盤の保全・管理	○事業費に対する農業効果の割合 事業費に対する農業効果（農地・農業用施設・農作物の被害軽減）の割合（％） ＝（直接的な被害軽減効果（農業関係）＋間接的な被害軽減効果（農業関係））／総費用×100 110%以上110%未満
農村の振興		農村の生活環境の整備	○事業費に対する農業外効果の割合 事業費に対する農業外効果（一般公共施設等の被害軽減+山林・林道の被害軽減+家屋等の被害軽減）の割合（％） ＝（直接的な被害軽減効果（一般関係）＋間接的な被害軽減効果（一般関係））／総費用×100 260%以上260%未満	
			○保全対象となる人家戸数（一地区当たり） 保全対象となる人家戸数（戸／地区） ＝地すべり地域及び地域外被害想定地域における人家戸数（戸） 290 戸以上290 戸未満	
			多面的機能の発揮	地域共同活動
国土の保全		①工事の実施について環境保全に関するアンケート等を実施している。 ②農地の遊休化や耕作放棄化の問題について地域で話し合い（行政・住民合同会議等）がもたれている。 について、該当する項目の数により判断。 A：2項目、B：1項目、－：該当なし		

評価項目			評価指標及び判定基準	
大	中項目	小項目	A	B
有効性	環境と調和のとれた食料システムの確立	生態系・景観への配慮	①環境情報協議会等の意見を踏まえた生態系及び景観への配慮 ②生態系及び景観に配慮した計画について、地域住民の参加や地域住民との合意形成 ③環境配慮対策工を行った施設等が機能を十分に発揮するための維持管理、景観の保全を目的とした維持管理、費用負担及びモニタリング体制等の調整状況について、評価点（a：3点、b：2点、c：1点）の合計値により判断。 A：9点、B：6～8点、C：5点以下 （3指標のうち1指標が「－」の場合は、A：6点、B：4～5点、C：3点以下） （3指標のうち2指標が「－」の場合は、A：3点、B：2点、C：1点） ①a：踏まえている b：検討中 c：踏まえていない ②a：図っている b：検討中 c：図っていない －：該当なし ③a：調整済 b：調整中 c：未調整 －：該当なし	
事業の実施環境等	関係計画との連携		①関係都道府県や市町村の国土強靱化地域計画と本事業との整合性 ②関係都道府県や市町村の地域防災計画等と本事業との整合性 ③地域における開発計画と本事業との整合性 について、評価点（a：3点、b：2点、c：1点）の合計値により判断。 A：9点、B：6～8点、C：5点以下 ①a：図られている b：図られる見込みがある c：図られていない ②a：図られている b：図られる見込みがある c：図られていない ③a：図られている b：図られる見込みがある c：図られていない	
	関係機関との協議		施設所有者、文化財管理者等関係者、道路管理者等との着工前に重要な協議（予備）が合意に達しているか A：協議了 B：多くが協議中 C：多くが未協議 －：該当なし	
	関連事業との調整		①事業主体から概略構想（関連事業調書）の提出 ②共同事業（事業内容、事業費、アロケーション等）の事前了解 について、評価点（a：3点、b：2点、c：1点）の合計値により判断。 A：6点、B：4～5点、C：3点以下、－：該当なし （①または②が「－」の場合は、A：3点、B：2点、C：1点） ①a：提出済 b：提出予定 c：未提出 －：該当なし ②a：協議了 b：協議中 c：未協議 －：該当なし	
	地元合意		①事業実施に対する知事の同意状況 ②事業実施に対する関係市町村長の同意状況 ③事業推進協議会等から着工要望の提出の有無 ④施設の予定管理者と維持管理の方法及び費用についての打ち合わせを行い、合意に達しているか について、評価点（a：3点、b：2点、c：1点）の合計値により判断。 A：12点、B：8～11点、C：7点以下 ①a：同意済 b：同意予定 c：未同意 ②a：同意済 b：同意予定 c：未同意 ③a：提出済 b：提出予定 c：未提出 ④a：合意済 b：調整中 c：未調整	

評価項目			評価指標及び判定基準	
大	中項目	小項目	A	B
事業の実施環境等	緊急性	地すべりの兆候	①現地踏査により農地や傾斜地の法面に変状がある。 ②現地踏査により道路や家屋等の構造物に変状がある。 ③地表移動量調査（GPS等）により累積変位がある。 ④地中移動量調査（孔内傾斜計等）により累積変位がある。 について、該当する項目の数により判断。 A：4～3項目、B：2項目、C：1項目、－：該当なし	
		被害の発生履歴	過去の地すべり被害の発生履歴 A：直近5年以内に被害が発生 B：過去10年以内に被害が発生 C：過去20年以内に被害が発生 －：該当なし	
		災害発生時の影響	①農地への重大な被害が想定される。 ②防護区域に人家、災害弱者関連施設等が存在する。 ③災害発生時に地域社会への影響（ライフラインや交通等）が想定される。 について、該当する項目の数により判断。 A：3項目、B：2項目、C：1項目、－：該当なし	
	ストック効果の最大化		○ストック効果の最大化に向けた事業の効率性・有効性等の確保 効率性、有効性、事業の実施環境等に関する評価項目におけるA評価の割合 ※関係機関との協議、地元合意に関する評価項目及び該当なし「－」とした評価項目は除く。 A：8割以上、B：5割以上、C：5割未満	

※評価指標が定量的なものに関しては、0以下はランク外（-）

事業の効用等に関する説明資料

令和 8 年 8 月

— 目 次 —

【国営かんがい排水事業】

（北海道）

札内川流域

（農林水産省）

鎚川二期

氷見

天竜川下流二期

南紀用水二期

上場二期

駅館川二期

【国営総合農地防災事業】

（農林水産省）

吉田川流域

【直轄地すべり対策事業】

（農林水産省）

稲舟

【独立行政法人水資源機構事業】

愛知用水

札内川流域地区の事業の効用に関する説明資料

1 総費用総便益比の算定

(1) 総費用総便益比の総括

(単位：千円)

区 分	算定式	数 値
総費用（現在価値化）	①＝②＋③	159,750,893
当該事業による費用	②	62,936,695
関連事業による費用、資産価額、再整備費	③	96,814,198
評価期間（当該事業の工事期間＋40年）	④	60年
社会的割引率		4%
総便益額（現在価値化）	⑤	203,861,498
総費用総便益比	⑥＝⑤÷①	1.27
感度分析結果	総費用（＋10％～△10％）	1.20～1.36
	総便益（△10％～＋10％）	1.19～1.35
	社会的割引率	4% 2% 1%
		1.27 1.69 2.01

(2) 総費用の総括

(単位：千円)

区分	資産価額 （事業着工 時点） ①	当該事業に よる費用 ②	関連事業に よる費用 ③	再整備費 ④	資産価額 （評価期間 終了時点） ⑤	総費用 ⑥＝①＋②＋ ③＋④－⑤
国営造成施設	53,271,965	62,936,695	—	33,356,715	7,188,822	142,376,553
県営造成施設	3,740,412	—	10,674,167	4,778,701	1,818,940	17,374,340
その他造成施設	—	—	—	—	—	—
合 計	57,012,377	62,936,695	10,674,167	38,135,416	9,007,762	159,750,893

※各造成施設の詳細については「札内川流域地区の事業の効用に関する詳細」を参照

(3) 年総効果額、総便益額の総括

(単位：千円)

区 分 効果項目	年総効果 （便益）額	総便益額	効果の要因
食料の安定供給の確保に関する効果			
作物生産効果	5,730,834	100,318,169	用水施設の整備を実施した場合と実施しなかった場合での作物生産量が 増減する効果
品質向上効果	455,395	6,814,698	用水施設の整備を実施した場合と実施しなかった場合での生産物の価格 が維持、向上する効果
営農経費節減効果	3,601,611	72,299,239	用水施設の整備を実施した場合と実施しなかった場合での営農経費が増 減する効果
維持管理費節減効果	△47,476	△983,182	用水施設の整備を実施した場合と実施しなかった場合での施設の維持管 理費が増減する効果

その他の効果			
災害時の復旧対策費軽減効果	24	381	耐震整備を実施した場合と実施しなかった場合での大規模地震の発生に伴う被害が軽減する効果
国産農産物安定供給効果	1,324,979	25,412,193	用水施設の整備により農業生産性の向上や営農条件等の改善が図られ、国産農産物の安定供給に寄与する効果
合 計	11,065,367	203,861,498	

※総便益の算定の詳細については「札内川流域地区の事業の効用に関する詳細」を参照

2 年効果額の算定方法

(1) 作物生産効果

○効果の考え方

事業を実施した場合（事業ありせば）と実施しなかった場合（事業なかりせば）の作物生産量の比較により年効果額を算定した。

○対象作物

札内川流域地区の事業の効用に関する詳細のとおり

○年効果額算定式

$$\text{年効果額} = \text{単収増加年効果額}^{\ast 1} + \text{作付増減年効果額}^{\ast 2}$$

$$\ast 1 \quad \text{単収増加年効果額} = \text{作付面積} \times (\text{事業ありせば単収} - \text{事業なかりせば単収}) \times \text{単価} \times \text{単収増加の純益率}$$

$$\ast 2 \quad \text{作付増減年効果額} = (\text{事業ありせば作付面積} - \text{事業なかりせば作付面積}) \times \text{単収} \times \text{単価} \times \text{作付増減の純益率}$$

○年効果額の算定

(単位：千円)

区 分	作付面積 (ha)		増加粗収益額	年効果額
	現況	計画		
新設整備	25,429	25,429	4,064,073	2,853,898
更新整備	19,363	19,363	5,164,750	2,876,936
合 計			9,228,823	5,730,834

※作物生産効果における作物毎の詳細については「札内川流域地区の事業の効用に関する詳細」を参照

- ・作付面積：各作物の作付面積は以下のとおり

「現況作付面積」・関係市町村の作付実績に基づき決定した。

「計画作付面積」・新設整備では、関係市町村、JAの農業振興計画や関係者の意向を踏まえ決定した。

・更新整備では、現況施設のもとで作物生産量が維持される面積であり、現

況＝計画とした。

- ・単収：増加粗収益額の算定に用いる各作物の単収については以下のとおり
「事業なかりせば単収」・新設整備では現況単収であり、農林水産統計等による最近５か年の平均単収により算定した。
・更新整備では、用水機能の喪失時の単収であり、現況単収に効果要因別の失われる増収率分を減じて算定した。
「事業ありせば単収」・新設整備では計画単収であり、現況単収に畑地かんがいによる増収量を加えて算定した。
・更新整備では現況単収であり、農林水産統計等による最近５か年の平均単収により算定した。
「効果算定対象単収」・事業ありせば単収と事業なかりせば単収の差である。
(作付増においては、地域の計画単収、作付減においては地域の現況単収である。)
- ・生産物単価：ＪＡ聞き取りによる最近５か年の販売価格に消費者物価指数を反映した価格を用いた。
- ・純益率：「土地改良事業の費用対効果分析に必要な諸係数について」による標準値等を用いた。

(２) 品質向上効果

○効果の考え方

事業を実施した場合(事業ありせば)と実施しなかった場合(事業なかりせば)の生産物価格の比較により年効果額を算定した。

○対象作物

札内川流域地区の事業の効用に関する詳細のとおり

○年効果額算定式

年効果額 ＝ (事業ありせば作物単価－事業なかりせば作物単価) × 効果発生量

○年効果額の算定

(単位：千円)

区分	効果発生要因		年効果額
	単価向上	商品化率向上	
新設整備	339,349	—	339,349
更新整備	116,046	—	116,046
合計	455,395	—	455,395

※品質向上効果における作物毎の詳細については「札内川流域地区の事業の効用に関する詳細」を参照。

- ・効果対象数量：作物生産効果における作付面積、単収から算定された生産量。
- ・生産物単価：新設整備では「現況単価」はＪＡ聞き取りによる最近５か年の販売価格に消費者物価指数を反映した価格を用いた。「事業ありせば単価」は、試験事例における単価向上率を考慮し決定した。
更新整備では「現況単価」はＪＡ聞き取りによる最近５か年の販売価格に消費者物価指数を反映した価格を用いた。「事業なかりせば単価」は、試験事例における単価向上率を考慮し決定した。

(3) 営農経費節減効果

○効果の考え方

事業を実施した場合(事業ありせば)と実施しなかった場合(事業なかりせば)の労働費、機械経費、その他の生産資材費について比較し、それらの営農経費の増減から年効果額を算定した。

○対象作物

札内川流域地区の事業の効用に関する詳細のとおり

○年効果額算定式

年効果額 = (事業なかりせば単位面積当たり営農経費 - 事業ありせば単位面積当たり営農経費) × 効果発生面積

○年効果額の算定

(単位：千円)

区分	事業なかりせば①	事業ありせば②	年効果額 ③＝①－②
新設整備	現況営農経費	計画営農経費	893,304
更新整備	事業なかりせば営農経費	現況営農経費	2,708,307
合 計			3,601,611

※営農経費節減効果における作物毎の営農経費の詳細については「札内川流域地区の事業の効用に関する詳細」を参照

- ・ 現況営農経費：地域の現在の営農経費であり、地区内の実態調査等を基に算定した。
- ・ 計画営農経費：想定される事業により増減した地域の営農経費であり、地域の農業関係機関の指導方針を反映し算定した。
- ・ 事業なかりせば営農経費：地域の水利施設の機能が失われた場合に想定される水管理作業に係る経費、防除用水確保による経費及びほ場内作業に係る経費を考慮し算定した。

(4) 維持管理費節減効果

○効果の考え方

事業を実施した場合(事業ありせば)と実施しなかった場合(事業なかりせば)を比較し、施設の維持管理費の増減をもって年効果額を算定した。

○対象施設

総費用に計上した、当該事業（関連事業）及び受益地内で一体的に効用を発揮している全ての土地改良施設

○年効果額算定式

年効果額 = 事業なかりせば維持管理費 - 事業ありせば維持管理費

○年効果額の算定

(単位：千円)

区分	新設	現況維持管理費①	事業ありせば維持管理費②	年効果額 ③＝①－②
	更新	事業なかりせば維持管理費①	現況維持管理費②	
新設整備		42,911	53,939	△11,028
更新整備		6,463	42,911	△36,448
合 計				△47,476

- ・事業なかりせば維持管理費：現況施設の維持管理費を基に、施設の機能を失った場合に想定される安全管理等に最低限必要な維持管理費を算定した。
- ・事業ありせば維持管理費：現況施設の維持管理費を基に、本事業の実施により見込まれる維持管理費の増減を考慮し算定した。
- ・現況維持管理費：現況施設の維持管理費に基づき算定した。

(５) その他の効果(災害時の復旧対策費軽減効果)

○効果の考え方

事業を実施した場合（事業ありせば）と実施しなかった場合（事業なかりせば）を比較し、大規模地震の発生に伴う被害が防止又は軽減される年効果額を算定した。

○対象資産

農業用施設

○年効果額算定式

年効果額 ＝ 事業なかりせば想定される復旧対策費用の軽減に係る総効果額 × 還元率

○年効果額の算定

(単位：千円)

区分	総効果額 ①	割引率	効果算定期間 (年)	還元率 ②	年効果額 ③＝①×②
新設整備	532	0.04	60	0.0442	24

- ・総効果額：復旧対策費に地震発生確率を乗じた割引後の年別効果額の総計値
- ・還元率：総効果額を効果算定期間における年効果額に換算するための係数

(６) その他の効果(国産農産物安定供給効果)

○効果の考え方

国産農産物の安定供給に対して国民が感じる安心感の効果であるため、一般国民に対してWTP (Willingness To Pay：支払意思額) を尋ねることで、その価値を直接的に評価する手法であるCVM (Contingent Valuation Method：仮想市場法) により年効果額を算定した。

○対象作物

作物生産効果算定作物のうち、食料生産に係るもの

○年効果額算定式

$$\text{年効果額} = \text{年増加粗収益額} \times \text{単位食料生産額当たり効果額（原単位）} \\ + \text{年増加供給熱量} \times \text{単位供給熱量当たり効果額（原単位）}$$

○年効果額の算定

（単位：千円）

区 分	増加粗収益額 ①	増加供給熱量 （千 kcal）②	単位食料生産 額当たり効果 額（円/千円） ③	単位供給熱量 当たり効果額 （円/千 kcal） ④	当該土地改良 事業における 年効果額 ⑤＝①×③＋ ②×④
新設整備	4,064,073	24,731,926	49	9.9	443,986
更新整備	5,164,750	63,426,283	49	9.9	880,993
合 計	9,228,823	88,158,209			1,324,979

増加粗収益額、増加供給熱量：作物生産効果の算定過程で整理した結果を用いて、事業ありせばと事業なかりせばにおける増加粗収益額及び増加供給熱量を整理した。

単位食料生産額当たり効果額、単位供給熱量当たり効果額：一般国民に対し国産農産物の安定供給についてWTPを尋ねるCVMにより、年効果額の算定に用いる単位食料生産額当たり効果額（原単位）は49円/千円、単位供給熱量当たり効果額（原単位）は9.9円/千kcalとした。

3 評価に使用した資料

【共通】

- ・農林水産省農村振興局整備部（監修）〔改訂版〕「新たな土地改良の効果算定マニュアル」大成出版社（平成27年9月5日第2版第1刷）
- ・土地改良事業の費用対効果分析マニュアルの制定について（平成19年3月28日付け18農振第1597号農林水産省農村振興局企画部長通知（最終改正：令和7年4月2日））
- ・「国産農産物安定供給効果」について（平成27年3月27日付け26農振第2072号農林水産省農村振興局整備部長通知（令和5年4月3日一部改正））
- ・土地改良事業の費用対効果分析に必要な諸係数について（平成19年3月28日付け18農振第1598号農林水産省農村振興局企画部長通知（令和7年4月1日一部改正））
- ・土地改良事業の費用対効果分析に必要な諸係数等について（令和7年4月1日付け農林水産省農村振興局整備部土地改良企画課課長補佐（事業効果班）事務連絡）
- ・土地改良事業の感度分析について（平成31年4月1日付け30農振第3976号農林水産省農村振興局整備部長通知（最終改正：令和6年4月1日））

【費用】

- ・当該事業費及び関連事業費に係る一般に公表されていない諸元については、北海道開発局帯広開発建設部調べ

【便益】

- ・農林水産省北海道農政事務所（令和元年～令和５年）「北海道農林水産統計年報」北海道農林統計協会
- ・効果算定に必要な各種諸元については、北海道開発局帯広開発建設部調べ

札内川流域地区の事業の効用に関する詳細

1 (2) 総費用の総括ー1

(単位：千円)

区分	施設名 (又は工種)	資産価額 (事業着工時点) ①	当該事業による 費用 ②	関連事業による 費用 ③	再整備費 ④	資産価額 (評価期間終了時点) ⑤	総費用 ⑥=①+②+③ +④-⑤
国 営 造 成 施 設	札内川ダム	8,367,333	-	-	1,594,650	1,118,520	8,843,463
	札内川頭首工	297,976	1,319,252	-	572,656	72,273	2,117,611
	札内川導水路	4,492,622	1,985,323	-	1,550,666	236,645	7,791,966
	元更別送水路	1,783,857	5,492	-	1,169,274	21,818	2,936,805
	更生送水幹線用水路	1,023,873	11,465	-	605,298	12,940	1,627,696
	幕別送水幹線用水路	3,400,854	71,973	-	2,636,780	52,718	6,056,889
	勢雄送水幹線用水路	1,531,882	6,388	-	300,671	20,580	1,818,361
	戸蔭送水幹線用水路	1,261,015	24,132	-	543,263	37,449	1,790,961
	上札内ファームpond	285,029	-	-	155,837	2,988	437,878
	元札内ファームpond	442,548	-	-	240,523	4,611	678,460
	南常盤ファームpond	196,036	-	-	125,149	2,496	318,689
	栄ファームpond	347,288	-	-	246,351	4,598	589,041
	幸福ファームpond	248,349	-	-	188,000	3,304	433,045
	豊栄ファームpond	301,952	-	-	189,070	3,733	487,289
	中里ファームpond	144,986	-	-	120,723	2,206	263,503
	更生ファームpond	172,891	-	-	67,802	4,523	236,170
	弘和ファームpond	269,680	-	-	182,947	3,299	449,328
	上更別ファームpond	1,139,884	-	-	92,784	6,189	1,226,479
	東栄ファームpond	117,995	-	-	78,879	5,284	191,590
	勢雄ファームpond	184,846	-	-	81,998	5,488	261,356
	新札内ファームpond	103,636	-	-	55,064	3,729	154,971
	戸蔭ファームpond	69,488	-	-	41,801	2,809	108,480
	上札内第1号配水幹線用水路	812,904	9,212	-	382,997	7,407	1,197,706
	上札内第2号配水幹線用水路	122,334	1,122	-	73,009	1,453	195,012
	上札内第3号配水幹線用水路	97,789	945	-	58,514	1,153	156,095
	上札内第4号配水幹線用水路	37,063	1,536	-	28,156	555	66,200
	上札内第5号配水幹線用水路	36,229	590	-	21,650	439	58,030
	上札内第6号配水幹線用水路	141,275	1,536	-	76,106	1,561	217,356
	南常盤第1号配水幹線用水路	1,524,705	37,143	-	935,805	19,135	2,478,518
	南常盤第2号配水幹線用水路	24,681	177	-	12,079	241	36,696
	南常盤第3号配水幹線用水路	23,485	354	-	17,500	387	40,952

札内川流域地区の事業の効用に関する詳細

1 (2) 総費用の総括－2

(単位：千円)

区分	施設名 (又は工種)	資産価額 (事業着工時点) ①	当該事業による 費用 ②	関連事業による 費用 ③	再整備費 ④	資産価額 (評価期間終了時点) ⑤	総費用 ⑥＝①＋②＋③ ＋④－⑤
国営造成施設	南常盤第4号配水幹線用水路	13,624	590	－	10,474	207	24,481
	南常盤第5号配水幹線用水路	30,162	354	－	14,918	326	45,108
	南常盤第6号配水幹線用水路	31,783	354	－	24,066	474	55,729
	南常盤第7号配水幹線用水路	48,336	945	－	36,568	754	85,095
	南常盤第8号配水幹線用水路	18,716	590	－	14,162	306	33,162
	南常盤第9号配水幹線用水路	20,378	590	－	15,453	325	36,096
	南常盤第10号配水幹線用水路	121,526	1,299	－	77,859	1,593	199,091
	元札内第1号配水幹線用水路	1,149,372	29,939	－	740,857	14,965	1,905,203
	元札内第2号配水幹線用水路	45,484	1,122	－	34,428	648	80,386
	元札内第3号配水幹線用水路	216,872	1,476	－	128,021	2,385	343,984
	元札内第4号配水幹線用水路	17,106	354	－	12,853	266	30,047
	元札内第5号配水幹線用水路	27,590	590	－	18,810	386	46,604
	元札内第6号配水幹線用水路	87,118	1,830	－	65,740	1,315	153,373
	元札内第7号配水幹線用水路	48,528	1,122	－	36,051	720	84,981
	元札内第8号配水幹線用水路	303,663	3,602	－	194,535	3,874	497,926
	元札内第9号配水幹線用水路	26,563	590	－	20,064	401	46,816
	元札内第10号配水幹線用水路	22,752	590	－	17,076	365	40,053
	栄第1号配水幹線用水路	1,286,833	32,252	－	798,011	16,847	2,100,249
	栄第2号配水幹線用水路	102,230	1,079	－	54,299	1,108	156,500
	栄第3号配水幹線用水路	106,775	1,646	－	58,127	1,267	165,281
	栄第4号配水幹線用水路	48,734	171	－	29,155	547	77,513
	栄第5号配水幹線用水路	92,383	1,079	－	63,520	1,317	155,665
	栄第6号配水幹線用水路	44,427	738	－	23,928	511	68,582
	豊栄第1号配水幹線用水路	997,929	46,164	－	600,698	13,730	1,631,061
	豊栄第2号配水幹線用水路	586,084	15,558	－	363,106	7,678	957,070
	豊栄第3号配水幹線用水路	52,559	1,079	－	33,459	706	86,391
	豊栄第4号配水幹線用水路	35,769	568	－	25,480	527	61,290
	豊栄第5号配水幹線用水路	59,439	909	－	37,776	781	97,343
	豊栄第6号配水幹線用水路	313,298	6,928	－	194,585	4,019	510,792
	豊栄第7号配水幹線用水路	309,231	5,337	－	201,116	4,162	511,522
	豊栄第8号配水幹線用水路	26,595	340	－	16,760	365	43,330
	豊栄第9号配水幹線用水路	12,485	171	－	7,910	167	20,399
	幸福第1号配水幹線用水路	1,200,448	54,542	－	728,485	16,003	1,967,472
	幸福第2号配水幹線用水路	652,292	11,247	－	427,170	8,809	1,081,900

札内川流域地区の事業の効用に関する詳細

1 (2) 総費用の総括－3

(単位：千円)

区分	施設名 (又は工種)	資産価額 (事業着工時点) ①	当該事業による 費用 ②	関連事業による 費用 ③	再整備費 ④	資産価額 (評価期間終了時点) ⑤	総費用 ⑥=①+②+③ +④-⑤
国 営 造 成 施 設	幸福第3号配水幹線用水路	21,707	164	-	16,243	344	37,770
	幸福第4号配水幹線用水路	52,591	1,092	-	39,883	828	92,738
	幸福第5号配水幹線用水路	25,917	327	-	19,522	404	45,362
	幸福第6号配水幹線用水路	148,671	3,767	-	137,657	2,750	287,345
	幸福第7号配水幹線用水路	78,862	3,330	-	60,209	1,337	141,064
	幸福第8号配水幹線用水路	16,224	327	-	12,182	267	28,466
	弘和第1号配水幹線用水路	898,720	10,447	-	647,330	13,075	1,543,422
	弘和第2号配水幹線用水路	39,084	683	-	37,674	754	76,687
	弘和第3号配水幹線用水路	23,849	683	-	20,817	443	44,906
	弘和第4号配水幹線用水路	29,668	840	-	28,611	625	58,494
	弘和第5号配水幹線用水路	2,413	158	-	2,041	47	4,565
	弘和第6号配水幹線用水路	26,321	840	-	25,402	558	52,005
	弘和第7号配水幹線用水路	16,379	315	-	15,609	346	31,957
	弘和第8号配水幹線用水路	8,267	158	-	7,869	180	16,114
	弘和第9号配水幹線用水路	50,369	2,152	-	49,369	1,053	100,837
	弘和第10号配水幹線用水路	3,253	158	-	3,147	75	6,483
	弘和第11号配水幹線用水路	5,475	158	-	5,360	112	10,881
	中里第1号配水幹線用水路	1,263,963	26,098	-	1,040,308	21,447	2,308,922
	中里第2号配水幹線用水路	32,478	303	-	31,430	626	63,585
	中里第3号配水幹線用水路	14,164	606	-	13,693	318	28,145
	中里第4号配水幹線用水路	31,537	1,262	-	30,815	666	62,948
	中里第5号配水幹線用水路	21,037	303	-	20,328	417	41,251
	中里第6号配水幹線用水路	13,644	303	-	13,246	277	26,916
	中里第7号配水幹線用水路	18,229	303	-	17,672	363	35,841
	中里第8号配水幹線用水路	4,329	303	-	4,246	103	8,775
	中里第9号配水幹線用水路	17,538	303	-	17,082	343	34,580
	中里第10号配水幹線用水路	14,312	152	-	13,731	289	27,906
	中里第11号配水幹線用水路	6,763	152	-	6,502	145	13,272
	中里第12号配水幹線用水路	13,853	303	-	13,430	282	27,304
	中里第13号配水幹線用水路	45,857	1,111	-	44,652	923	90,697
	中里第14号配水幹線用水路	17,550	505	-	17,054	363	34,746
	更生第1号配水幹線用水路	1,144,473	5,351	-	220,528	15,415	1,354,937
	更生第2号配水幹線用水路	86,822	959	-	36,584	2,584	121,781

札内川流域地区の事業の効用に関する詳細

1 (2) 総費用の総括－4

(単位：千円)

区分	施設名 (又は工種)	資産価額 (事業着工時点) ①	当該事業による 費用 ②	関連事業による 費用 ③	再整備費 ④	資産価額 (評価期間終了時点) ⑤	総費用 ⑥＝①＋②＋③ ＋④－⑤
国営造成施設	更生第3号配水幹線用水路	10,882	303	－	4,596	339	15,442
	更生第4号配水幹線用水路	27,392	656	－	11,349	842	38,555
	更生第5号配水幹線用水路	42,908	656	－	18,054	1,268	60,350
	更生第6号配水幹線用水路	664,038	6,007	－	278,021	19,594	928,472
	更生第7号配水幹線用水路	120,974	1,918	－	52,427	3,708	171,611
	更生第8号配水幹線用水路	90,489	808	－	39,612	2,768	128,141
	更生第9号配水幹線用水路	13,748	152	－	6,023	425	19,498
	上更別第1号配水幹線用水路	957,293	15,144	－	389,537	27,528	1,334,446
	上更別第2号配水幹線用水路	82,144	1,262	－	32,495	2,294	113,607
	上更別第3号配水幹線用水路	43,794	146	－	17,039	1,183	59,796
	上更別第4号配水幹線用水路	46,670	485	－	18,280	1,282	64,153
	上更別第5号配水幹線用水路	69,361	1,068	－	27,087	1,953	95,563
	上更別第6号配水幹線用水路	21,913	291	－	7,829	573	29,460
	上更別第7号配水幹線用水路	21,598	146	－	8,061	566	29,239
	上更別第8号配水幹線用水路	807,556	7,329	－	353,385	24,698	1,143,572
	上更別第9号配水幹線用水路	60,320	777	－	26,459	1,868	85,688
	上更別第10号配水幹線用水路	33,310	291	－	14,504	1,031	47,074
	上更別第11号配水幹線用水路	16,441	146	－	7,187	510	23,264
	上更別第12号配水幹線用水路	33,443	485	－	14,637	1,047	47,518
	上更別第13号配水幹線用水路	15,816	146	－	6,953	488	22,427
	上更別第14号配水幹線用水路	9,011	146	－	3,951	288	12,820
	上更別第15号配水幹線用水路	42,030	485	－	18,455	1,289	59,681
	上更別第16号配水幹線用水路	45,758	631	－	20,088	1,417	65,060
	東栄第1号配水幹線用水路	3,032,567	28,227	－	622,236	43,377	3,639,653
	東栄第2号配水幹線用水路	42,301	874	－	17,796	1,285	59,686
	東栄第3号配水幹線用水路	39,589	710	－	16,579	1,197	55,681
	東栄第4号配水幹線用水路	16,641	327	－	7,109	506	23,571
	東栄第5号配水幹線用水路	30,489	546	－	13,194	931	43,298
	東栄第6号配水幹線用水路	24,386	164	－	10,486	737	34,299
	東栄第7号配水幹線用水路	36,317	164	－	15,909	1,095	51,295
	東栄第8号配水幹線用水路	23,691	327	－	10,199	723	33,494
	東栄第9号配水幹線用水路	27,611	327	－	11,569	827	38,680
	東栄第10号配水幹線用水路	661,454	6,497	－	289,219	20,063	937,107

札内川流域地区の事業の効用に関する詳細

1 (2) 総費用の総括－5

(単位：千円)

区分	施設名 (又は工種)	資産価額 (事業着工時点) ①	当該事業による 費用 ②	関連事業による 費用 ③	再整備費 ④	資産価額 (評価期間終了時点) ⑤	総費用 ⑥=①+②+③ +④-⑤
国営造成施設	東栄第11号配水幹線用水路	20,138	164	-	8,796	619	28,479
	東栄第12号配水幹線用水路	21,513	164	-	9,437	654	30,460
	東栄第13号配水幹線用水路	5,155	164	-	2,266	174	7,411
	東栄第14号配水幹線用水路	11,287	164	-	4,948	350	16,049
	東栄第15号配水幹線用水路	7,829	164	-	3,432	249	11,176
	東栄第16号配水幹線用水路	22,877	164	-	10,020	698	32,363
	勢雄第1号配水幹線用水路	1,225,709	41,473	-	522,729	37,269	1,752,642
	勢雄第2号配水幹線用水路	36,359	315	-	16,055	1,150	51,579
	勢雄第3号配水幹線用水路	17,153	315	-	7,602	557	24,513
	勢雄第4号配水幹線用水路	23,260	525	-	10,331	755	33,361
	勢雄第5号配水幹線用水路	228,750	3,202	-	101,388	7,106	326,234
	勢雄第6号配水幹線用水路	11,872	158	-	5,325	382	16,973
	勢雄第7号配水幹線用水路	346,469	3,045	-	152,148	10,516	491,146
	勢雄第8号配水幹線用水路	147,700	2,047	-	64,835	4,668	209,914
	勢雄第9号配水幹線用水路	8,290	158	-	3,664	275	11,837
	勢雄第10号配水幹線用水路	221,879	2,835	-	99,063	6,939	316,838
	勢雄第11号配水幹線用水路	7,304	158	-	3,255	236	10,481
	新札内第1号配水幹線用水路	829,957	8,006	-	326,443	22,771	1,141,635
	新札内第2号配水幹線用水路	12,222	340	-	5,539	397	17,704
	新札内第3号配水幹線用水路	28,918	340	-	12,331	860	40,729
	新札内第4号配水幹線用水路	34,973	340	-	15,654	1,103	49,864
	新札内第5号配水幹線用水路	12,170	171	-	5,416	394	17,363
	新札内第6号配水幹線用水路	75,523	1,079	-	30,171	2,133	104,640
	新札内第7号配水幹線用水路	11,663	171	-	4,950	378	16,406
	戸蔭第1号配水幹線用水路	1,010,704	22,009	-	417,274	29,657	1,420,330
	戸蔭第2号配水幹線用水路	42,417	656	-	18,287	1,291	60,069
	戸蔭第3号配水幹線用水路	45,411	505	-	19,946	1,398	64,464
	戸蔭第4号配水幹線用水路	42,496	808	-	18,799	1,340	60,763
	戸蔭第5号配水幹線用水路	130,213	3,584	-	45,328	3,349	175,776
	戸蔭第6号配水幹線用水路	46,454	505	-	20,499	1,488	65,970
	戸蔭第7号配水幹線用水路	17,477	505	-	7,849	571	25,260
	水管理制御設備	0	385,356	-	38,654	6,395	417,615
	西札内導水路	-	7,690,051	-	1,160,214	471,667	8,378,598

札内川流域地区の事業の効用に関する詳細

1 (2) 総費用の総括－6

(単位：千円)

区分	施設名 (又は工種)	資産価額 (事業着工時点) ①	当該事業による 費用 ②	関連事業による 費用 ③	再整備費 ④	資産価額 (評価期間終了時点) ⑤	総費用 ⑥=①+②+③ +④-⑤
国 営 造 成 施 設	帯広幕別送水路	-	8,947,078	-	1,403,157	713,132	9,637,103
	愛国ファームpond	-	684,365	-	116,721	55,145	745,941
	大正ファームpond	-	721,511	-	113,931	87,889	747,553
	古舞ファームpond	-	1,092,455	-	185,338	81,280	1,196,513
	猿別ファームpond	-	752,738	-	112,562	92,732	772,568
	愛国第1配水幹線用水路	-	2,958,829	-	498,391	235,549	3,221,671
	愛国第2配水幹線用水路	-	3,959,744	-	490,358	308,693	4,141,409
	愛国第3配水幹線用水路	-	1,331,507	-	184,709	116,250	1,399,966
	愛国第4配水幹線用水路	-	242,458	-	37,870	23,825	256,503
	愛国第5配水幹線用水路	-	671,673	-	85,315	53,717	703,271
	大正第1配水幹線用水路	-	1,400,235	-	228,596	176,385	1,452,446
	大正第2配水幹線用水路	-	1,690,492	-	266,147	205,396	1,751,243
	大正第3配水幹線用水路	-	1,471,722	-	236,451	182,467	1,525,706
	大正第4配水幹線用水路	-	58,060	-	8,734	6,742	60,052
	大正第5配水幹線用水路	-	75,731	-	10,949	8,453	78,227
	大正第6配水幹線用水路	-	196,315	-	31,120	24,018	203,417
	古舞第1配水幹線用水路	-	7,034,580	-	1,132,080	496,619	7,670,041
	古舞第2配水幹線用水路	-	5,688,435	-	871,507	547,944	6,011,998
	古舞第3配水幹線用水路	-	144,089	-	19,416	12,214	151,291
	古舞第4配水幹線用水路	-	1,222,031	-	189,117	118,920	1,292,228
	古舞第5配水幹線用水路	-	551,037	-	88,971	55,947	584,061
	古舞第6配水幹線用水路	-	1,052,767	-	165,593	104,136	1,114,224
	古舞第7配水幹線用水路	-	882,055	-	118,882	74,797	926,140
	古舞第8配水幹線用水路	-	142,439	-	17,518	11,027	148,930
	猿別第1配水幹線用水路	-	270,763	-	42,668	35,151	278,280
	猿別第2配水幹線用水路	-	1,999,908	-	283,011	233,241	2,049,678
	猿別第3配水幹線用水路	-	4,081,343	-	430,197	354,864	4,156,676
	猿別第4配水幹線用水路	-	1,146,926	-	109,254	90,157	1,166,023
	猿別第5配水幹線用水路	-	451,826	-	73,431	60,499	464,758
	計	53,271,965	62,936,695	-	33,356,715	7,188,822	142,376,553

札内川流域地区の事業の効用に関する詳細

1 (2) 総費用の総括ー7

(単位：千円)

区分	施設名 (又は工種)	資産価額 (事業着工時点) ①	当該事業による 費用 ②	関連事業による 費用 ③	再整備費 ④	資産価額 (評価期間終了時点) ⑤	総費用 ⑥=①+②+③ +④-⑤
道 営 造 成 施 設	札内川右岸地区_支線用水路	265,219	-	-	272,890	49,741	488,368
	札内川右岸地区_散水機	0	-	-	49,922	3,926	45,996
	更別西南_支線用水路	139,033	-	-	160,436	28,265	271,204
	更別西南_散水機	0	-	-	11,812	929	10,883
	札内川右岸二期_支線用水路	318,444	-	-	321,177	59,165	580,456
	更別東雄_支線用水路	165,614	-	-	186,302	33,234	318,682
	更別東雄_散水機	0	-	-	12,922	1,016	11,906
	南幕別地区_支線用水路	621,811	-	-	404,140	12,236	1,013,715
	南幕別地区_散水機	0	-	-	95,638	7,521	88,117
	美川地区_支線用水路	326,495	-	-	197,309	7,278	516,526
	美川地区_散水機	0	-	-	118,024	9,282	108,742
	更南地区_支線用水路	450,068	-	-	251,119	11,403	689,784
	更南地区_散水機	0	-	-	12,479	981	11,498
	札内川左岸地区_支線用水路	350,104	-	-	159,916	10,908	499,112
	札内川左岸地区_散水機	0	-	-	54,736	4,305	50,431
	勢雄地区_支線用水路	248,214	-	-	101,628	9,475	340,367
	勢雄地区_散水機	0	-	-	12,483	982	11,501
	大正南地区_支線用水路	320,973	-	-	143,740	10,425	454,288
	大正南地区_散水機	0	-	-	132,379	10,411	121,968
	大正中島地区_支線用水路	489,692	-	-	151,872	21,023	620,541
	大正中島地区_散水機	11,372	-	-	35,742	2,811	44,303
	中里地区_支線用水路	19,161	-	-	5,517	860	23,818
	中里地区_散水機	14,212	-	-	35,731	2,810	47,133
	愛国支線用水路	-	-	895,110	142,651	110,524	927,237
	大正支線用水路	-	-	945,070	152,508	134,770	962,808
	古舞支線用水路	-	-	2,395,489	386,559	299,309	2,482,739
	猿別支線用水路	-	-	838,338	135,281	127,587	846,032
	愛国支線用水路(ほ場施設)	-	-	1,350,347	249,274	191,772	1,407,849
	大正支線用水路(ほ場施設)	-	-	1,017,518	187,833	164,980	1,040,371
	古舞支線用水路(ほ場施設)	-	-	2,202,519	406,585	312,796	2,296,308
	猿別支線用水路(ほ場施設)	-	-	1,029,776	190,096	178,215	1,041,657
	計	3,740,412	-	10,674,167	4,778,701	1,818,940	17,374,340
合 計		57,012,377	62,936,695	10,674,167	38,135,416	9,007,762	159,750,893

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

札内川流域地区の事業の効用に関する詳細
1 (3) 総便益額算出表-1

評価 期間	年度	割引 率(1 割引率) ¹⁾	経 過 年 (t)	作物生産効果							品質向上効果							営農経費節減効果							維持管理費節減効果									
				更新分に 係る効果		新設及び機能向上 に係る効果		計			更新分に 係る効果		新設及び機能向上 に係る効果		計			更新分に 係る効果		新設及び機能向上 に係る効果		計			更新分に 係る効果		新設及び機能向上 に係る効果		計					
				年効果額 (千円) (2)	年効果額 (千円) (3)	効果発 生割合 (%) (4)	年発生 効果額 (千円) (5)=3×4	年効果額 (千円) (6)=2+5	同 左 割引後 (千円) (7)=6/①	年効果額 (千円) (2)	年効果額 (千円) (3)	効果発 生割合 (%) (4)	年発生 効果額 (千円) (5)=3×4	年効果額 (千円) (6)=2+5	同 左 割引後 (千円) (7)=6/①	年効果額 (千円) (2)	年効果額 (千円) (3)	効果発 生割合 (%) (4)	年発生 効果額 (千円) (5)=3×4	年効果額 (千円) (6)=2+5	同 左 割引後 (千円) (7)=6/①	年効果額 (千円) (2)	年効果額 (千円) (3)	効果発 生割合 (%) (4)	年発生 効果額 (千円) (5)=3×4	年効果額 (千円) (6)=2+5	同 左 割引後 (千円) (7)=6/①	年効果額 (千円) (2)	年効果額 (千円) (3)	効果発 生割合 (%) (4)	年発生 効果額 (千円) (5)=3×4	年効果額 (千円) (6)=2+5	同 左 割引後 (千円) (7)=6/①	
				①	②	③	④	⑤=3×4	⑥=2+5	⑦=6/①	⑧	⑨	⑩	⑪=3×4	⑫=2+5	⑬=6/①	⑭	⑮	⑯	⑰=3×4	⑱=2+5	⑲=6/①	⑳	㉑	㉒	㉓=3×4	㉔=2+5	㉕=6/①	㉖	㉗	㉘	㉙=3×4	㉚=2+5	㉛=6/①
1	R8	1.0000																																
1	R9	1.0400	1	2,876,936	2,853,898	-	-	2,876,936	2,766,285	116,046	339,349	-	-	116,046	111,583	2,708,307	893,304	-	-	2,708,307	2,604,141	△36,448	△11,028	-	-	△36,448	△35,046							
2	R10	1.0816	2	2,876,936	2,853,898	-	-	2,876,936	2,659,889	116,046	339,349	-	-	116,046	107,291	2,708,307	893,304	-	-	2,708,307	2,503,982	△36,448	△11,028	1.1	△ 121	△36,569	△33,810							
3	R11	1.1249	3	2,876,936	2,853,898	-	-	2,876,936	2,557,504	116,046	339,349	-	-	116,046	103,161	2,708,307	893,304	-	-	2,708,307	2,407,598	△36,448	△11,028	2.1	△ 232	△36,680	△32,607							
4	R12	1.1699	4	2,876,936	2,853,898	-	-	2,876,936	2,459,130	116,046	339,349	-	-	116,046	99,193	2,708,307	893,304	-	-	2,708,307	2,314,990	△36,448	△11,028	6.3	△ 695	△37,143	△31,749							
5	R13	1.2167	5	2,876,936	2,853,898	-	-	2,876,936	2,364,540	116,046	339,349	-	-	116,046	95,378	2,708,307	893,304	-	-	2,708,307	2,225,945	△36,448	△11,028	11.5	△ 1,268	△37,716	△30,999							
6	R14	1.2653	6	2,876,936	2,853,898	-	-	2,876,936	2,273,718	116,046	339,349	-	-	116,046	91,714	2,708,307	893,304	-	-	2,708,307	2,140,447	△36,448	△11,028	16.7	△ 1,842	△38,290	△30,262							
7	R15	1.3159	7	2,876,936	2,853,898	-	-	2,876,936	2,186,288	116,046	339,349	-	-	116,046	88,188	2,708,307	893,304	-	-	2,708,307	2,058,140	△36,448	△11,028	21.3	△ 2,349	△38,797	△29,483							
8	R16	1.3686	8	2,876,936	2,853,898	-	-	2,876,936	2,102,101	116,046	339,349	-	-	116,046	84,792	2,708,307	893,304	-	-	2,708,307	1,978,889	△36,448	△11,028	26.0	△ 2,867	△39,315	△28,726							
9	R17	1.4233	9	2,876,936	2,853,898	-	-	2,876,936	2,021,314	116,046	339,349	-	-	116,046	81,533	2,708,307	893,304	-	-	2,708,307	1,902,836	△36,448	△11,028	31.6	△ 3,485	△39,933	△28,057							
10	R18	1.4802	10	2,876,936	2,853,898	-	-	2,876,936	1,943,613	116,046	339,349	-	-	116,046	78,399	2,708,307	893,304	-	-	2,708,307	1,829,690	△36,448	△11,028	36.0	△ 3,970	△40,418	△27,306							
11	R19	1.5395	11	2,876,936	2,853,898	2.0	57,078	2,934,014	1,905,823	116,046	339,349	2.0	6,787	122,833	79,788	2,708,307	893,304	2.0	17,866	2,726,173	1,770,817	△36,448	△11,028	44.5	△ 4,907	△41,355	△26,863							
12	R20	1.6010	12	2,876,936	2,853,898	8.1	231,166	3,108,102	1,941,350	116,046	339,349	8.1	27,487	143,533	89,652	2,708,307	893,304	8.1	72,358	2,780,665	1,736,830	△36,448	△11,028	53.0	△ 5,845	△42,293	△26,417							
13	R21	1.6651	13	2,876,936	2,853,898	37.9	1,081,627	3,958,563	2,377,373	116,046	339,349	37.9	128,613	244,659	146,934	2,708,307	893,304	37.9	338,562	3,046,869	1,829,841	△36,448	△11,028	61.7	△ 6,804	△43,252	△25,976							
14	R22	1.7317	14	2,876,936	2,853,898	55.4	1,581,059	4,457,995	2,574,346	116,046	339,349	55.4	187,999	304,045	175,576	2,708,307	893,304	55.4	494,890	3,203,197	1,849,741	△36,448	△11,028	69.5	△ 7,664	△44,112	△25,473							
15	R23	1.8009	15	2,876,936	2,853,898	61.9	1,766,563	4,643,499	2,578,432	116,046	339,349	61.9	210,057	326,103	181,078	2,708,307	893,304	61.9	552,955	3,261,262	1,810,907	△36,448	△11,028	79.1	△ 8,723	△45,171	△25,082							
16	R24	1.8730	16	2,876,936	2,853,898	85.2	2,431,521	5,308,457	2,834,200	116,046	339,349	85.2	289,125	405,171	216,322	2,708,307	893,304	85.2	761,095	3,469,402	1,852,324	△36,448	△11,028	88.9	△ 9,804	△46,252	△24,694							
17	R25	1.9479	17	2,876,936	2,853,898	96.0	2,739,742	5,616,678	2,883,453	116,046	339,349	96.0	325,775	441,821	226,819	2,708,307	893,304	96.0	857,572	3,565,879	1,830,627	△36,448	△11,028	97.6	△ 10,763	△47,211	△24,237							
18	R26	2.0258	18	2,876,936	2,853,898	97.6	2,785,404	5,662,340	2,795,113	116,046	339,349	97.6	331,205	447,251	220,777	2,708,307	893,304	97.6	871,865	3,580,172	1,767,288	△36,448	△11,028	98.6	△ 10,874	△47,322	△23,360							
19	R27	2.1068	19	2,876,936	2,853,898	99.3	2,833,921	5,710,857	2,710,678	116,046	339,349	99.3	336,974	453,020	215,028	2,708,307	893,304	99.3	887,051	3,595,358	1,706,549	△36,448	△11,028	99.5	△ 10,973	△47,421	△22,509							
20	R28	2.1911	20	2,876,936	2,853,898	100.0	2,853,898	5,730,834	2,615,505	116,046	339,349	100.0	339,349	455,395	207,839	2,708,307	893,304	100.0	893,304	3,601,611	1,643,746	△36,448	△11,028	100.0	△ 11,028	△47,476	△21,668							
21	R29	2.2788	21	2,876,936	2,853,898	100.0	2,853,898	5,730,834	2,514,847	116,046	339,349	100.0	339,349	455,395	199,840	2,708,307	893,304	100.0	893,304	3,601,611	1,580,486	△36,448	△11,028	100.0	△ 11,028	△47,476	△20,834							
22	R30	2.3699	22	2,876,936	2,853,898	100.0	2,853,898	5,730,834	2,418,175	116,046	339,349	100.0	339,349	455,395	192,158	2,708,307	893,304	100.0	893,304	3,601,611	1,519,731	△36,448	△11,028	100.0	△ 11,028	△47,476	△20,033							
23	R31	2.4647	23	2,876,936	2,853,898	100.0	2,853,898	5,730,834	2,325,165	116,046	339,349	100.0	339,349	455,395	184,767	2,708,307	893,304	100.0	893,304	3,601,611	1,461,278	△36,448	△11,028	100.0	△ 11,028	△47,476	△19,262							
24	R32	2.5633	24	2,876,936	2,853,898	100.0	2,853,898	5,730,834	2,235,725	116,046	339,349	100.0	339,349	455,395	177,660	2,708,307	893,304	100.0	893,304	3,601,611	1,405,068	△36,448	△11,028	100.0	△ 11,028	△47,476	△18,521							
25	R33	2.6658	25	2,876,936	2,853,898	100.0	2,853,898	5,730,834	2,149,761	116,046	339,349	100.0	339,349	455,395	170,829	2,708,307	893,304	100.0	893,304	3,601,611	1,351,043	△36,448	△11,028	100.0	△ 11,028	△47,476	△17,809							
26	R34	2.7725	26	2,876,936	2,853,898	100.0	2,853,898	5,730,834	2,067,028	116,046	339,349	100.0	339,349	455,395	164,254	2,708,307	893,304	100.0	893,304	3,601,611	1,299,048	△36,448	△11,028	100.0	△ 11,028	△47,476	△17,124							
27	R35	2.8834	27	2,876,936	2,853,898	100.0	2,853,898	5,730,834	1,987,527	116,046	339,349	100.0	339,349	455,395	157,937	2,708,307	893,304	100.0	893,304	3,601,611	1,249,085	△36,448	△11,028	100.0	△ 11,028	△47,476	△16,465							
28	R36	2.9987	28	2,876,936	2,853,898	100.0	2,853,898	5,730,834	1,911,106	116,046	339,349	100.0	339,349	455,395	151,864	2,708,307	893,304	100.0	893,304	3,601,611	1,201,057	△36,448	△11,028	100.0	△ 11,028	△47,476	△15,832							
29	R37	3.1187	29	2,876,936	2,853,898	100.0	2,853,898	5,730,834	1,837,571	116,046	339,349	100.0	339,349	455,395	146,021	2,708,307	893,304	100.0																

札内川流域地区の事業の効用に関する詳細
2 (4) 総便益額算出表-2

評価 期間	年度	割引率(1+割引率) ¹ ①	経過年 (t)	災害時の復旧対策費軽減効果							国産農産物安定供給効果							割引後 効果額 合計 (千円)	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
				更新分に 係る効果	新設及び機能向上分 に係る効果				計	更新分に 係る効果	新設及び機能向上分 に係る効果				計																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
				年効果額 (千円) ②	年効果額 (千円) ③	効果発生割合 (%) ④	年発生効果額 (千円) ⑤=③×④	年効果額 (千円) ⑥=②+⑤		同 左 割引後 (千円) ⑦=⑥/①	年効果額 (千円) ②	年効果額 (千円) ③	効果発生割合 (%) ④	年発生効果額 (千円) ⑤=③×④		年効果額 (千円) ⑥=②+⑤	同 左 割引後 (千円) ⑦=⑥/①																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	R8	1.0000																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							

※経過年は評価年からの年数

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

札内川流域地区の事業の効用に関する詳細
 2（1） 作物生産効果－1

作物名	新設・更新	作付面積			効果要因	単 収				生産増減量 ③＝ ①×② ÷100	生産物 単価 ④	増加粗 収益額 ⑤＝ ③×④	純 益 率 ⑥	年効果額 ⑦＝ ⑤×⑥
		現況	計画	効果発生面積 ①		事業 なかりせば 単収	事業 ありせば 単収	増収率	効果算定 対象 単収 ②					
小麦	新設	ha 8,160	ha 8,160	ha 3,916	単収増 (肥効促進用水)	kg/10a 614	kg/10a 669	% 9	kg/10a 55	t 2,153.8	千円/t 57	千円 122,767	% 87	千円 106,807
					小計	－	－	－	－	2,153.8	－	122,767	－	106,807
	更新	4,244	4,244	4,244	単収増 (肥効促進用水)	563	614	9	51	2,164.4	57	123,371	87	107,333
					小計	－	－	－	－	2,164.4	－	123,371	－	107,333
					小麦計	－	－	－	－	4,318.2	－	246,138	－	214,140
					大豆計	－	－	－	－	4,318.2	－	246,138	－	214,140
大豆	新設	1,737	1,737	1,136	単収増 (湿润かんがい)	290	365	26	75	852.0	150	127,800	88	112,464
					小計	－	－	－	－	852.0	－	127,800	－	112,464
	更新	601	601	601	単収増 (湿润かんがい)	230	290	26	60	360.6	150	54,090	88	47,599
					小計	－	－	－	－	360.6	－	54,090	－	47,599
					大豆計	－	－	－	－	1,212.6	－	181,890	－	160,063
					小豆計	－	－	－	－	1,212.6	－	181,890	－	160,063
小豆	新設	2,135	2,135	854	単収増 (湿润かんがい)	255	321	26	66	563.6	408	229,949	78	179,360
					小計	－	－	－	－	563.6	－	229,949	－	179,360
	更新	1,281	1,281	1,281	単収増 (湿润かんがい)	202	255	26	53	678.9	408	276,991	78	216,053
					小計	－	－	－	－	678.9	－	276,991	－	216,053
					小豆計	－	－	－	－	1,242.5	－	506,940	－	395,413
					大豆計	－	－	－	－	1,242.5	－	506,940	－	395,413
いんげん	新設	1,108	1,108	112	単収増 (湿润かんがい)	212	267	26	55	61.6	371	22,854	75	17,141
					小計	－	－	－	－	61.6	－	22,854	－	17,141
	更新	996	996	996	単収増 (湿润かんがい)	168	212	26	44	438.2	371	162,572	75	121,929
					小計	－	－	－	－	438.2	－	162,572	－	121,929
					いんげん計	－	－	－	－	499.8	－	185,426	－	139,070
					大豆計	－	－	－	－	499.8	－	185,426	－	139,070

札内川流域地区の事業の効用に関する詳細
2 (1) 作物生産効果－2

作物名	新設・更新	作付面積			効果要因	単 収				生産増減量 ③＝ ①×② ÷100	生産物 単価 ④	増加粗 収益額 ⑤＝ ③×④	純 益 率 ⑥	年効果額 ⑦＝ ⑤×⑥
		現況	計画	効果発生面積 ①		事業 なかりせば 単収	事業 ありせば 単収	増収率	効果算定 対象 単収 ②					
ばれいしょ (生食用)	新設	ha 2,267	ha 2,306	ha 1,363 39	単収増 (湿潤かんがい)	kg/10a 3,678	kg/10a 4,781	% 30	kg/10a 1,103	t 15,033.9	千円/t 77	千円 1,157,610	% 92	千円 1,065,001
					作付増	－	－	－	4,781	1,864.6	77	143,574	31	44,508
					小計	－	－	－	－	16,898.5	－	1,301,184	－	1,109,509
	更新	904	904	904	単収増 (湿潤かんがい)	2,829	3,678	30	849	7,675.0	77	590,975	92	543,697
					小計	－	－	－	－	7,675.0	－	590,975	－	543,697
					ばれいしょ(生食用)計	－	－	－	－	24,573.5	－	1,892,159	－	1,653,206
ばれいしょ (加工用)	新設	1,918	1,986	644 19 49	単収増 (湿潤かんがい)	3,678	4,781	30	1,103	7,103.3	40	284,132	92	261,401
					作付増－1	－	－	－	4,781	908.4	40	36,336	31	11,264
					作付増－2	－	－	－	3,678	1,802.2	40	72,088	31	22,347
					小計	－	－	－	－	9,813.9	－	392,556	－	295,012
	更新	1,274	1,274	1,274	単収増 (湿潤かんがい)	2,829	3,678	30	849	10,816.3	40	432,652	92	398,040
					小計	－	－	－	－	10,816.3	－	432,652	－	398,040
					ばれいしょ(加工用)計	－	－	－	－	20,630.2	－	825,208	－	693,052
ばれいしょ (澱原用)	新設	1,648	1,591	194 △57	単収増 (湿潤かんがい)	3,678	4,781	30	1,103	2,139.8	17	36,377	87	31,648
					作付減	－	－	－	3,678	△ 2,096.5	17	△ 35,641	－	－
					小計	－	－	－	－	43.3	－	736	－	31,648
	更新	1,397	1,397	1,397	単収増 (湿潤かんがい)	2,829	3,678	30	849	11,860.5	17	201,629	87	175,417
					小計	－	－	－	－	11,860.5	－	201,629	－	175,417
					ばれいしょ(澱原用)計	－	－	－	－	11,903.8	－	202,365	－	207,065
スイートコーン	新設	254	301	97 47	単収増 (湿潤かんがい)	1,158	1,459	26	301	292.0	47	13,724	91	12,489
					作付増	－	－	－	1,459	685.7	47	32,228	17	5,479
					小計	－	－	－	－	977.7	－	45,952	－	17,968
	更新	157	157	157	単収増 (湿潤かんがい)	919	1,158	26	239	375.2	47	17,634	91	16,047
					小計	－	－	－	－	375.2	－	17,634	－	16,047
					スイートコーン計	－	－	－	－	1,352.9	－	63,586	－	34,015

札内川流域地区の事業の効用に関する詳細
2 (1) 作物生産効果－3

作物名	新設・更新	作付面積			効果要因	単 収				生産増減量 ③＝ ①×② ÷100	生産物 単価 ④	増加粗 収益額 ⑤＝ ③×④	純 益 率 ⑥	年効果額 ⑦＝ ⑤×⑥
		現況	計画	効果発生 面積 ①		事業 なかりせば 単収	事業 ありせば 単収	増収率	効果算定 対象 単収 ②					
えだまめ	新設	ha 584	ha 614	ha 10	単収増 (湿潤かんがい)	kg/10a 485	kg/10a 611	% 26	kg/10a 126	t 12.6	千円/t 235	千円 2,961	% 91	千円 2,695
				1	作付増-1	－	－	－	611	6.1	235	1,434	17	244
				29	作付増-2	－	－	－	485	140.7	235	33,065	17	5,621
					小計	－	－	－	－	159.4	－	37,460	－	8,560
	更新	574	574	574	単収増 (湿潤かんがい)	385	485	26	100	574.0	235	134,890	91	122,750
					小計	－	－	－	－	574.0	－	134,890	－	122,750
					えだまめ計	－	－	－	－	733.4	－	172,350	－	131,310
レタス	新設	78	117	78	単収増 (湿潤かんがい)	3,198	3,966	24	768	599.0	128	76,672	91	69,772
				39	作付増	－	－	－	3,966	1,546.7	128	197,978	16	31,676
					小計	－	－	－	－	2,145.7	－	274,650	－	101,448
					レタス計	－	－	－	－	2,145.7	－	274,650	－	101,448
だいこん	新設	678	763	390	単収増 (湿潤かんがい)	4,486	5,383	20	897	3,498.3	50	174,915	90	157,424
				85	作付増	－	－	－	5,383	4,575.6	50	228,780	12	27,454
					小計	－	－	－	－	8,073.9	－	403,695	－	184,878
	更新	288	288	288	単収増 (湿潤かんがい)	3,738	4,486	20	748	2,154.2	50	107,710	90	96,939
					小計	－	－	－	－	2,154.2	－	107,710	－	96,939
にんじん					だいこん計	－	－	－	－	10,228.1	－	511,405	－	281,817
	新設	471	525	209	単収増 (湿潤かんがい)	3,625	4,205	16	580	1,212.2	57	69,095	90	62,186
				54	作付増	－	－	－	4,205	2,270.7	57	129,430	12	15,532
					小計	－	－	－	－	3,482.9	－	198,525	－	77,718
	更新	262	262	262	単収増 (湿潤かんがい)	3,125	3,625	16	500	1,310.0	57	74,670	90	67,203
					小計	－	－	－	－	1,310.0	－	74,670	－	67,203
ながいも					にんじん計	－	－	－	－	4,792.9	－	273,195	－	144,921
	新設	342	405	290	単収増 (湿潤かんがい)	3,987	4,585	15	598	1,734.2	215	372,853	90	335,568
				63	作付増	－	－	－	4,585	2,888.6	215	621,049	12	74,526
					小計	－	－	－	－	4,622.8	－	993,902	－	410,094
	更新	52	52	52	単収増 (湿潤かんがい)	3,467	3,987	15	520	270.4	215	58,136	90	52,322
					小計	－	－	－	－	270.4	－	58,136	－	52,322
					ながいも計	－	－	－	－	4,893.2	－	1,052,038	－	462,416

札内川流域地区の事業の効用に関する詳細
 2（1） 作物生産効果－4

作物名	新設・更新	作付面積			効果要因	単 収				生産増減量 ③＝ ①×② ÷100	生産物 単価 ④	増加粗 収益額 ⑤＝ ③×④	純 益 率 ⑥	年効果額 ⑦＝ ⑤×⑥
		現況	計画	効果発生面積 ①		事業 なかりせば 単収	事業 ありせば 単収	増収率	効果算定 対象 単収 ②					
てんさい	新設	ha 4,049	ha 3,681	ha 1,274 △290 △78	単収増 (湿潤かんがい)	kg/10a 7,292	kg/10a 8,823	% 21	kg/10a 1,531	t 19,504.9	千円/t 12	千円 234,059	% 86	千円 201,291
					作付減-1	-	-	-	7,292	△ 21,147.0	12	△ 253,762	-	-
					作付減-2	-	-	-	7,292	△ 5,688.0	12	△ 68,254	-	-
					小計	-	-	-	-	△ 7,330.1	-	△ 87,957	-	201,291
	更新	2,485	2,485	2,485	単収増 (湿潤かんがい)	6,026	7,292	21	1,266	31,460.1	12	377,521	86	324,668
					小計	-	-	-	-	31,460.1	-	377,521	-	324,668
					てんさい計	-	-	-	-	24,130.0	-	289,564	-	525,959
青刈りとうもろこし	更新	1,211	1,211	1,211	単収増 (湿潤かんがい)	4,477	5,820	30	1,343	16,263.7 (10,842.5)	-	-	-	-
					小計	-	-	-	-	10,842.5	109	1,181,833	23	271,822
					青刈りとうもろこし計	-	-	-	-	10,842.5	-	1,181,833	-	271,822
牧草	更新	3,637	3,637	3,637	単収増 (肥培かんがい)	2,881	3,745	30	864	31,423.7 (12,569.5)	-	-	-	-
					小計	-	-	-	-	12,569.5	109	1,370,076	23	315,117
					牧草計	-	-	-	-	12,569.5	-	1,370,076	-	315,117
新設		25,429	25,429									4,064,073		2,853,898
更新		19,363	19,363									5,164,750		2,876,936
合計												9,228,823		5,730,834

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

増収率は、「新たな土地改良の効果算定マニュアル」、北海道内における試験結果を基に整理した。

※「生産増減量」欄の()は生乳換算値。青刈りとうもろこしは1.5kgで生乳1kg、牧草は2.5kgで生乳1kgとして換算

札内川流域地区の事業の効用に関する詳細

2 (2) 品質向上効果

作物名	効果要因	効果対象数量		生産物単価			単価向上額		年効果額		
		更新	新設	事業なかりせば	現況	事業ありせば	現況－事業なかりせば	事業ありせば－現況	現況－事業なかりせば	事業ありせば－現況	計
		①	②	③	④	⑤	⑥=④-③	⑦=⑤-④	⑧=①×⑥	⑨=②×⑦	⑩=⑧+⑨
ばれいしょ (生食用)	湿潤かんがい①	t 25,574	t -	千円/t 75	千円/t 77	千円/t 77	千円/t 2	千円/t -	千円 51,148	千円 -	千円 51,148
	湿潤かんがい②	-	65,165	77	77	79	-	2	-	130,330	130,330
だいこん	湿潤かんがい①	10,765	-	47	50	50	3	-	32,295	-	32,295
	湿潤かんがい②	-	20,994	50	50	53	-	3	-	62,982	62,982
にんじん	湿潤かんがい①	8,188	-	55	57	57	2	-	16,376	-	16,376
	湿潤かんがい②	-	8,788	57	57	60	-	3	-	26,364	26,364
ながいも	湿潤かんがい①	1,803	-	206	215	215	9	-	16,227	-	16,227
	湿潤かんがい②	-	13,297	215	215	224	-	9	-	119,673	119,673
新設										339,349	339,349
更新									116,046		116,046
合計											455,395

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

※効果要因の湿潤かんがい①は用水改良、湿潤かんがい②は畑地かんがいにおける年効果額を算定する欄

札内川流域地区の事業の効用に関する詳細
2 (3) 営農経費節減効果－1

作物名	ha当たり営農経費				ha当たり 経費 ⑤＝（①－②） ＋ （③－④）	効果発生 面積 ⑥	年効果額 ⑦＝⑤×⑥
	新設		更新				
	現況営農経費 ①	事業ありせば （計画）営農経費 ②	事業なかりせば 営農経費 ③	事業ありせば （現況）営農経費 ④			
	円	円	円	円	円	ha	千円
小麦 （畑地かんがい①）	519, 141	450, 623	－	－	68, 518	74	5, 070
小麦 （畑地かんがい②）	519, 141	452, 822	－	－	66, 319	3, 842	254, 798
小麦 （用水改良）	－	－	519, 141	450, 623	68, 518	4, 244	290, 790
大豆 （畑地かんがい①）	455, 161	461, 933	－	－	△ 6, 772	10	△ 68
大豆 （畑地かんがい②）	455, 161	453, 269	－	－	1, 892	1, 126	2, 130
大豆 （用水改良①）	－	－	455, 161	461, 933	△ 6, 772	580	△ 3, 928
大豆 （用水改良②）	－	－	455, 161	378, 997	76, 164	21	1, 599
小豆 （用水改良①）	－	－	495, 772	476, 019	19, 753	1, 235	24, 395
小豆 （用水改良②）	－	－	495, 772	393, 083	102, 689	46	4, 724

札内川流域地区の事業の効用に関する詳細
2 (3) 営農経費節減効果－2

作物名	ha当たり営農経費				ha当たり 経費 ⑤＝（①－②） ＋ （③－④）	効果発生 面積 ⑥	年効果額 ⑦＝⑤×⑥
	新設		更新				
	現況営農経費 ①	事業ありせば （計画）営農経費 ②	事業なかりせば 営農経費 ③	事業ありせば （現況）営農経費 ④			
	円	円	円	円	円	ha	千円
いんげん （用水改良①）	—	—	483, 106	489, 878	△ 6, 772	961	△ 6, 508
いんげん （用水改良②）	—	—	483, 106	406, 942	76, 164	35	2, 666
ばれいしょ（生食用） （畑地かんがい①）	998, 522	879, 298	—	—	119, 224	16	1, 908
ばれいしょ（生食用） （畑地かんがい②）	998, 522	870, 634	—	—	127, 888	1, 386	177, 253
ばれいしょ（生食用） （用水改良①）	—	—	998, 522	879, 298	119, 224	872	103, 963
ばれいしょ（生食用） （用水改良②）	—	—	998, 522	796, 362	202, 160	32	6, 469
ばれいしょ（加工用） （畑地かんがい①）	998, 522	879, 298	—	—	119, 224	24	2, 861
ばれいしょ（加工用） （畑地かんがい②）	998, 522	870, 634	—	—	127, 888	639	81, 720
ばれいしょ（加工用） （用水改良①）	—	—	998, 522	879, 298	119, 224	1, 229	146, 526
ばれいしょ（加工用） （用水改良②）	—	—	998, 522	796, 362	202, 160	45	9, 097

札内川流域地区の事業の効用に関する詳細
2 (3) 営農経費節減効果－3

作物名	ha当たり営農経費				ha当たり 経費 ⑤ = (①-②) + (③-④)	効果発生 面積 ⑥	年効果額 ⑦=⑤×⑥
	新設		更新				
	現況営農経費 ①	事業ありせば (計画) 営農経費 ②	事業なかりせば 営農経費 ③	事業ありせば (現況) 営農経費 ④			
	円	円	円	円	円	ha	千円
ばれいしょ（澁原用） （畑地かんがい①）	711,367	628,928	—	—	82,439	25	2,061
ばれいしょ（澁原用） （畑地かんがい②）	711,367	610,135	—	—	101,232	169	17,108
ばれいしょ（澁原用） （用水改良①）	—	—	711,367	628,928	82,439	1,347	111,045
ばれいしょ（澁原用） （用水改良②）	—	—	711,367	525,201	186,166	50	9,308
スイートコーン （畑地かんがい①）	496,704	526,466	—	—	△ 29,762	3	△ 89
スイートコーン （畑地かんがい②）	496,704	510,806	—	—	△ 14,102	141	△ 1,988
スイートコーン （用水改良①）	—	—	496,704	526,466	△ 29,762	151	△ 4,494
スイートコーン （用水改良②）	—	—	496,704	430,536	66,168	6	397
えだまめ （畑地かんがい）	716,833	697,080	—	—	19,753	11	217
えだまめ （用水改良①）	—	—	716,833	697,080	19,753	554	10,943
えだまめ （用水改良②）	—	—	716,833	614,144	102,689	20	2,054
レタス （畑地かんがい）	3,059,054	3,016,336	—	—	42,718	117	4,998

札内川流域地区の事業の効用に関する詳細
2 (3) 営農経費節減効果－4

作物名	ha当たり営農経費				ha当たり 経費 ⑤＝（①－②） ＋ （③－④）	効果発生 面積 ⑥	年効果額 ⑦＝⑤×⑥
	新設		更新				
	現況営農経費 ①	事業ありせば （計画）営農経費 ②	事業なかりせば 営農経費 ③	事業ありせば （現況）営農経費 ④			
	円	円	円	円	円	ha	千円
だいこん （畑地かんがい①）	1,246,596	1,240,418	－	－	6,178	5	31
だいこん （畑地かんがい②）	1,246,596	1,221,625	－	－	24,971	470	11,736
だいこん （用水改良①）	－	－	1,246,596	1,240,418	6,178	278	1,717
だいこん （用水改良②）	－	－	1,246,596	1,130,205	116,391	10	1,164
にんじん （畑地かんがい①）	657,045	624,341	－	－	32,704	5	164
にんじん （畑地かんがい②）	657,045	605,548	－	－	51,497	258	13,286
にんじん （用水改良①）	－	－	657,045	624,341	32,704	253	8,274
にんじん （用水改良②）	－	－	657,045	520,614	136,431	9	1,228
ながいも （畑地かんがい①）	5,493,480	5,397,246	－	－	96,234	1	96
ながいも （畑地かんがい②）	5,493,480	5,386,917	－	－	106,563	352	37,510
ながいも （用水改良①）	－	－	5,493,480	5,397,246	96,234	50	4,812
ながいも （用水改良②）	－	－	5,493,480	5,301,316	192,164	2	384

札内川流域地区の事業の効用に関する詳細
2 (3) 営農経費節減効果－5

作物名	ha当たり営農経費				ha当たり 経費 ⑤= (①-②) + (③-④)	効果発生 面積 ⑥	年効果額 ⑦=⑤×⑥
	新設		更新				
	現況営農経費 ①	事業ありせば (計画) 営農経費 ②	事業なかりせば 営農経費 ③	事業ありせば (現況) 営農経費 ④			
	円	円	円	円	円	ha	千円
てんさい（移植栽培） （畑地かんがい①）	1, 240, 615	1, 062, 021	—	—	178, 594	15	2, 679
てんさい（移植栽培） （畑地かんがい②）	1, 240, 615	1, 043, 228	—	—	197, 387	452	89, 219
てんさい（移植栽培） （用水改良①）	—	—	1, 240, 615	1, 062, 021	178, 594	927	165, 557
てんさい（移植栽培） （用水改良②）	—	—	1, 240, 615	958, 294	282, 321	34	9, 599
てんさい（直播栽培） （畑地かんがい①）	910, 474	682, 144	—	—	228, 330	27	6, 165
てんさい（直播栽培） （畑地かんがい②）	910, 474	674, 014	—	—	236, 460	780	184, 439
てんさい（直播栽培） （用水改良①）	—	—	910, 474	682, 144	228, 330	1, 470	335, 645
てんさい（直播栽培） （用水改良②）	—	—	910, 474	627, 200	283, 274	54	15, 297

札内川流域地区の事業の効用に関する詳細
2 (3) 営農経費節減効果ー6

作物名	ha当たり営農経費				ha当たり 経費 ⑤ = (①-②) + (③-④)	効果発生 面積 ⑥	年効果額 ⑦=⑤×⑥
	新設		更新				
	現況営農経費 ①	事業ありせば (計画) 営農経費 ②	事業なかりせば 営農経費 ③	事業ありせば (現況) 営農経費 ④			
	円	円	円	円	円	ha	千円
青刈りとうもろこし (用水改良①)	-	-	723, 272	671, 660	51, 612	1, 211	62, 502
牧草 (更新) (用水改良①)	-	-	801, 698	693, 140	108, 558	606	65, 786
牧草 (乾草) (用水改良①)	-	-	469, 841	237, 296	232, 545	(61)	14, 185
牧草 (サイレージ) (用水改良①)	-	-	650, 816	283, 615	367, 201	3, 576	1, 313, 111
新設							893, 304
更新							2, 708, 307
合計							3, 601, 611

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

※牧草(更新)の効果発生面積における()は、牧草(乾草)及び牧草(サイレージ)の内数であることを表す。

■効果要因は以下のとおり。

- ・小麦、大豆、小豆、いんげん、ばれいしょ(生食用)、ばれいしょ(加工用)、ばれいしょ(澱原用)、スイートコーン、えだまめ、レタス、だいこん、にんじん、ながいも、てんさい(移植栽培)、てんさい(直播栽培)(畑地かんがい、新設:現況→計画)
用水施設の整備に伴い、用水管理にかかる経費が増加。防除用水を自宅より運搬する経費が減少。
- ・小麦、大豆、小豆、いんげん、ばれいしょ(生食用)、ばれいしょ(加工用)、ばれいしょ(澱原用)、スイートコーン、えだまめ、だいこん、にんじん、ながいも、てんさい(移植栽培)、てんさい(直播栽培)、青刈りとうもろこし(用水改良、更新:事業ありせば→事業なかりせば)
用水施設の機能が喪失した場合を想定し、用水管理にかかる経費が減少。防除用水を自宅より運搬する経費が増加。
- ・牧草(用水改良、更新:事業ありせば→事業なかりせば)
用水施設の機能が喪失した場合を想定し、用水管理にかかる経費の減少。堆肥及び尿散布にかかる経費が増加。

令和 9 年度新規地区採択チェックリスト

(1) 国営かんがい排水事業

(局名：北海道開発局) (地区名：札内川^{さつないがわりゅういき}流域)

3. 特定監視項目

1. 地質状況
・地質状況に基づいた施設計画としている。
現地調査及び既存資料の地質柱状図を確認し、地質状況に基づいた施設計画としている。

2. 受益面積
・最近年の面積を把握している。
本事業では、国営札内川第一土地改良事業及び国営札内川第二土地改良事業における受益面積を基に、農業委員会が保有する農地台帳から一定地域及び地目を確認し、土地登記簿及び図測により令和 7 年 3 月時点で受益面積を把握している。

鎚川二期地区の事業の効用に関する説明資料

1 総費用総便益比の算定

(1) 総費用総便益比の総括

(単位：千円)

区 分		算定式	数 値		
総費用（現在価値化）		①＝②＋③	24,574,999		
	当該事業による費用	②	10,473,976		
	関連事業による費用、資産価額、再整備費	③	14,101,023		
評価期間（当該事業の工事期間＋40年）		④	55年		
社会的割引率			4%		
総便益額（現在価値化）		⑤	30,827,968		
総費用総便益比		⑥＝⑤÷①	1.25		
感度分析結果	総費用（＋10％～△10％）		1.18～1.33		
	総便益（△10％～＋10％）		1.15～1.35		
	社会的割引率		4%	2%	1%
			1.25	1.50	1.72

(2) 総費用の総括

(単位：千円)

区分	資産価額 (事業着工 時点) ①	当該事業に よる費用 ②	関連事業に よる費用 ③	再整備費 ④	資産価額 (評価期間 終了時点) ⑤	総費用 ⑥＝①＋②＋ ③＋④－⑤
国営造成施設	3,117,429	10,473,976	－	6,037,133	2,142,104	17,486,434
県営造成施設	1,131,742	－	－	4,858,958	779,144	5,211,556
その他造成施設	116,220	－	－	1,986,426	225,637	1,877,009
合 計	4,365,391	10,473,976	－	12,882,517	3,146,885	24,574,999

※各造成施設の詳細については「鎚川二期地区の事業の効用に関する詳細」を参照

(3) 年総効果額、総便益額の総括

(単位：千円)

効果項目	区 分	年総効果 (便益) 額	総便益額	効果の要因
食料の安定供給の確保に関する効果				
作物生産効果		996,908	21,676,111	用水施設の整備を実施した場合と実施しなかった場合での作物生産量が増減する効果
品質向上効果		319,716	7,068,459	用水施設の整備を実施した場合と実施しなかった場合での生産物の価格が維持、向上する効果
営農経費節減効果		38,563	852,573	用水施設の整備を実施した場合と実施しなかった場合での営農経費が増減する効果
維持管理費節減効果		△61,449	△1,415,119	用水施設の整備を実施した場合と実施しなかった場合での施設の維持管理費が増減する効果
農村の振興に関する効果				
地域用水効果		3,603	79,659	用水施設の整備を実施した場合と実施しなかった場合での地域用水を利用する経費が節減する効果
その他の効果				
災害時の復旧対策費軽減効果		4,034	49,279	耐震整備を実施した場合と実施しなかった場合での大規模地震の発生に伴う被害が軽減する効果
国産農産物安定供給効果		120,793	2,517,006	用水施設の整備により農業生産性の向上や営農条件等の改善が図られ、国産農産物の安定供給に寄与する効果
合 計		1,422,168	30,827,968	

※総便益の算定の詳細については「鑓川二期地区の事業の効用に関する詳細」を参照

2 年効果額の算定方法

(1) 作物生産効果

○効果の考え方

事業を実施した場合（事業ありせば）と実施しなかった場合（事業なかりせば）の作物生産量の比較により年効果額を算定した。

○対象作物

鎭川二期地区の事業の効用に関する詳細のとおり

○年効果額算定式

$$\text{年効果額} = \text{単収増加年効果額}^{\ast 1} + \text{作付増減年効果額}^{\ast 2}$$

$$\ast 1 \quad \text{単収増加年効果額} = \text{作付面積} \times (\text{事業ありせば単収} - \text{事業なかりせば単収}) \times \text{単価} \times \text{単収増加の純益率}$$

$$\ast 2 \quad \text{作付増減年効果額} = (\text{事業ありせば作付面積} - \text{事業なかりせば作付面積}) \times \text{単収} \times \text{単価} \times \text{作付増減の純益率}$$

○年効果額の算定

(単位：千円)

区 分	作付面積 (ha)		増加粗収益額	年効果額
	現況	計画		
新設整備	812	905	348,343	56,728
更新整備	1,238	1,238	1,089,724	940,180
合 計			1,438,067	996,908

※作物生産効果における作物毎の詳細については「鎭川二期地区の事業の効用に関する詳細」を参照

- ・作付面積：各作物の作付面積は以下のとおり

「現況作付面積」・関係市町の作付実績に基づき決定した。

「計画作付面積」・新設整備では、県、関係市町の農業振興計画や関係者の意向を踏まえ決定した。

・更新整備では、現況施設のもとで作物生産量が維持される面積であり、現況＝計画とした。

- ・単収：増加粗収益額の算定に用いる各作物の単収については以下のとおり

「事業なかりせば単収」・新設整備では、現況単収であり、農林水産統計等による最近5か年の平均単収により算定した。

・更新整備では、用水機能の喪失時の単収であり、現況単収に効果要因別の失われる増収率分を減じて算定した。

「事業ありせば単収」・新設整備では計画単収であり、現況単収に効果要因別の増収率を考慮して算定した。

・更新整備では現況単収であり、農林水産統計等による最近5か年の平均単収により算定した。

「効果算定対象単収」・事業ありせば単収と事業なかりせば単収の差である。

(作付増においては、地域の計画単収、作付減においては地域の現況単収)

収である。)

- ・生産物単価：農林水産統計等による最近5か年の販売価格に消費者物価指数を反映した価格を用いた。
- ・純益率：「土地改良事業の費用対効果分析に必要な諸係数について」による標準値等を用いた。

(2) 品質向上効果

○効果の考え方

事業を実施した場合(事業ありせば)と実施しなかった場合(事業なかりせば)の生産物価格の比較により年効果額を算定した。

○対象作物

鎗川二期地区の事業の効用に関する詳細のとおり

○年効果額算定式

年効果額 = (事業ありせば作物単価－事業なかりせば作物単価) × 効果発生量

○年効果額の算定

(単位：千円)

区分	効果発生要因		年効果額
	単価向上	商品化率向上	
新設整備	—	—	—
更新整備	319,716	—	319,716
合計	319,716	—	319,716

※品質向上効果における作物毎の詳細については「鎗川二期地区の事業の効用に関する詳細」を参照

- ・効果対象数量：作物生産効果における作付面積、単収から算定された生産量
- ・生産物単価：「現況単価」は農林水産統計等による最近5か年の販売価格に消費者物価指数を反映した価格を用いた。
「事業なかりせば単価」は、「現況単価」に畑地かんがい導入地区の試験データを用いて算出した畑地かんがい品質向上率を考慮し決定した。

(3) 営農経費節減効果

○効果の考え方

事業を実施した場合(事業ありせば)と実施しなかった場合(事業なかりせば)の労働費、機械経費、その他の生産資材費について比較し、それらの営農経費の増減から年効果額を算定した。

○対象作物

鎗川二期地区の事業の効用に関する詳細のとおり

○年効果額算定式

年効果額 ＝ （事業なかりせば単位面積当たり営農経費 － 事業ありせば単位面積当たり営農経費） × 効果発生面積

○年効果額の算定

（単位：千円）

区分	事業なかりせば①	事業ありせば②	年効果額 ③＝①－②
新設整備	現況営農経費	計画営農経費	－
更新整備	事業なかりせば営農経費	現況営農経費	38,563
合 計			38,563

※営農経費節減効果における作物毎の営農経費の詳細については「鐺川二期地区の事業の効用に関する詳細」を参照

- ・ 現況営農経費：地域の現在の営農経費であり、群馬県の農業経営指標に基づき算定した。
- ・ 計画営農経費：本事業による営農経費の節減は見込めないことから、「計画営農経費＝現況営農経費」とした。
- ・ 事業なかりせば営農経費：地域の水利施設の機能が失われた場合に想定される水管理作業に係る経費を考慮し算定した。

（４）維持管理費節減効果

○効果の考え方

事業を実施した場合（事業ありせば）と実施しなかった場合（事業なかりせば）を比較し、施設の維持管理費の増減をもって年効果額を算定した。

○対象施設

総費用に計上した当該事業（関連事業）及び受益地内で一体的に効用を発揮している全ての土地改良施設

○年効果額算定式

年効果額 ＝ 事業なかりせば維持管理費 － 事業ありせば維持管理費

○年効果額の算定

（単位：千円）

区分	新設	現況維持管理費①	事業ありせば維持管理費②	年効果額 ③＝①－②
	更新	事業なかりせば維持管理費①	現況維持管理費②	
新設整備		74,038	68,567	5,471
更新整備		7,118	74,038	△66,920
合 計				△61,449

- ・事業なかりせば維持管理費：現況施設の維持管理費を基に、施設の機能を失った場合に想定される安全管理等に最低限必要な維持管理費を算定した。
- ・事業ありせば維持管理費：現況施設の維持管理費を基に、本事業の実施により見込まれる維持管理費の増減を考慮し算定した。
- ・現況維持管理費：現況施設の維持管理費に基づき算定した。

(5) 地域用水効果

○効果の考え方

事業を実施した場合（事業ありせば）と実施しなかった場合（事業なかりせば）を比較し、地域用水を利用する経費の増減により年効果額を算定した。

○対象施設 用水路

○年効果額算定式

$$\text{年効果額} = \text{事業なかりせば想定される地域用水の利用経費} - \text{事業ありせば想定される地域用水の利用経費}$$

○年効果額の算定

1) 防火用水効果

$$\text{年効果額} = (\text{事業ありせば地域集落等の防火水槽等の設置の計画節減数} \\ \text{又は事業なかりせば地域集落等の防火水槽等の設置の想定増加数} \\ \times 1 \text{ 箇所当たりの建設費}) \times \text{還元率}$$

(単位：千円)

区 分	事業なかりせば 想定増加数（箇所） ①	1 箇所当たり 建設費 ②	還元率 ③	年効果額 ④＝①×②×③
更新整備	11	5,667	0.0578	3,603

- ・事業なかりせば想定増加数：現在、消防水利施設に位置付けられている土地改良施設を消防施設に代替えた場合の施設数を算定した。
- ・1 箇所当たり建設費：近傍地区の防火水槽の建設費を基に算定した。
- ・還元率：施設が有している総効果額を耐用年数期間における年効果額に換算するための係数

(6) その他の効果(災害時の復旧対策費軽減効果)

○効果の考え方

事業を実施した場合（事業ありせば）と実施しなかった場合（事業なかりせば）を比較し、大規模地震の発生に伴う被害が防止又は軽減される年効果額を算定した。

○対象資産

南牧頭首工、下仁田頭首工、南牧導水路、南 1 号幹線水路、南 1 号幹線水路、丹生貯水池

○年効果額算定式

$$\text{年効果額} = \text{事業なかりせば想定される復旧対策費用の軽減に係る総効果額} \times \text{還元率}$$

○年効果額の算定

(単位：千円)

区分	総効果額 ①	割引率	効果算定期間 (年)	還元率 ②	年効果額 ③=①×②
新設整備	89,256	0.04	55	0.0452	4,034

- ・総効果額：復旧対策費に地震発生確率を乗じた割引後の年別効果額の総計値
- ・還元率：総効果額を効果算定期間における年効果額に換算するための係数

(7) その他の効果(国産農産物安定供給効果)

○効果の考え方

国産農産物の安定供給に対して国民が感じる安心感の効果であるため、一般国民に対してWTP (Willingness To Pay：支払意思額)を尋ねることで、その価値を直接的に評価する手法であるCVM (Contingent Valuation Method：仮想市場法)により年効果額を算定した。

○対象作物

作物生産効果算定作物のうち、食料生産に係るもの

○年効果額算定式

$$\begin{aligned} \text{年効果額} &= \text{年増加粗収益額} \times \text{単位食料生産額当たり効果額(原単位)} \\ &+ \text{年増加供給熱量} \times \text{単位供給熱量当たり効果額(原単位)} \end{aligned}$$

○年効果額の算定

(単位：千円)

区 分	増加粗収益額 ①	増加供給熱量 (千 kcal) ②	単位食料生産 額当たり効果 額(円/千 円) ③	単位供給熱量 当たり効果額 (円/千 kcal) ④	当該土地改良 事業における 効果額 ⑤=①×③+ ②×④
新設整備	348,343	692,516	49	9.9	23,925
更新整備	1,089,724	4,391,066	49	9.9	96,868
合 計	1,438,067	5,083,582			120,793

増加粗収益額、増加供給熱量：作物生産効果の算定過程で整理した結果を用いて、事業ありせばと事業なかりせばにおける増加粗収益額及び増加供給熱量を整理した。

単位食料生産額当たり効果額、単位供給熱量当たり効果額：一般国民に対し国産農産物の安定供給についてWTPを尋ねるCVMにより、年効果額の算定に用いる単位食料生産額当たり効果額(原単位)は49円/千円、単位供給熱量当たり効果額(原単位)は、9.9円/千kcalとした。

3 評価に使用した資料

【共通】

- ・農林水産省農村振興局整備部(監修) [改訂版] 「新たな土地改良の効果算定マニュアル」 大成出版社 (平成 27 年 9 月 5 日第 2 版第 1 刷)
- ・土地改良事業の費用対効果分析マニュアルの制定について (平成 19 年 3 月 28 日付け 18 農振第 1597 号農林水産省農村振興局企画部長通知 (最終改正: 令和 7 年 4 月 2 日))
- ・「国産農産物安定供給効果」について (平成 27 年 3 月 27 日付け 26 農振第 2072 号農林水産省農村振興局整備部長通知 (令和 5 年 4 月 3 日一部改正))
- ・土地改良事業の費用対効果分析に必要な諸係数について (平成 19 年 3 月 28 日付け 18 農振第 1598 号農林水産省農村振興局企画部長通知 (令和 7 年 4 月 1 日一部改正))
- ・土地改良事業の費用対効果分析に必要な諸係数等について (令和 7 年 4 月 1 日付け農林水産省農村振興局整備部土地改良企画課課長補佐 (事業効果班) 事務連絡)
- ・土地改良事業の感度分析について (平成 31 年 4 月 1 日付け 30 農振第 3976 号農林水産省農村振興局整備部長通知 (最終改正: 令和 6 年 4 月 1 日))

【費用】

- ・当該事業費及び関連事業費に係る一般に公表されていない諸元については、関東農政局利根川水系土地改良調査管理事務所調べ

【便益】

- ・農林水産省大臣官房統計部「令和元年～令和 5 年作物統計」
- ・効果算定に必要な各種諸元については、関東農政局利根川水系土地改良調査管理事務所調べ

鎚川二期地区の事業の効用に関する詳細

1 (2) 総費用の総括－1

(単位：千円)

区分	施設名 (又は工種)	資産価額 (事業着工時点) ①	当該事業による 費用 ②	関連事業による 費用 ③	再整備費 ④	資産価額 (評価期間終了時点) ⑤	総費用 ⑥=①+②+③ +④-⑤
国 営 造 成 施 設	南牧頭首工	5,195	486,801	-	383,203	61,075	814,124
	下仁田頭首工	120,844	748,192	-	426,211	87,861	1,207,386
	大塩貯水池	761,475	229,270	-	107,092	58,086	1,039,751
	竹沼貯水池	1,458,671	243,557	-	122,847	107,474	1,717,601
	丹生貯水池	108,417	3,914,480	-	369,991	346,145	4,046,743
	南牧導水路	50,259	1,194,420	-	472,291	197,132	1,519,838
	南1号幹線水路	110,964	1,327,078	-	1,344,232	485,403	2,296,871
	南2号幹線水路	343,762	1,277,193	-	1,986,157	662,167	2,944,945
	甘楽幹線水路	157,842	943,869	-	621,951	114,548	1,609,114
	水管理施設	-	109,116	-	203,158	22,213	290,061
	計	3,117,429	10,473,976	-	6,037,133	2,142,104	17,486,434
県 営 造 成 施 設	馬山幹線	4,233	-	-	46,694	5,465	45,462
	富岡南部幹線	11,363	-	-	115,804	13,657	113,510
	富岡北部幹線	71,142	-	-	982,687	165,001	888,828
	大塩幹線	5,205	-	-	69,260	11,652	62,813
	善慶寺平幹線	12,755	-	-	131,691	22,499	121,947
	上野平幹線	4,798	-	-	50,269	8,580	46,487
	白倉西部幹線	3,290	-	-	27,938	4,843	26,385
	白倉東部幹線	2,851	-	-	34,458	5,829	31,480
	天引北部幹線	4,222	-	-	54,027	9,109	49,140
	安坪幹線	10,864	-	-	83,367	14,579	79,652
	多胡幹線	16,790	-	-	161,758	27,771	150,777
	多比良幹線	13,588	-	-	122,022	21,060	114,550
	深沢幹線	4,078	-	-	52,513	8,851	47,740
	竹沼東幹線1号線	6,433	-	-	84,120	14,166	76,387
	竹沼東幹線2号線	5,436	-	-	71,137	11,979	64,594
	竹沼東幹線3号線	2,780	-	-	36,350	6,121	33,009
	竹沼西幹線	13,383	-	-	174,960	29,463	158,880
	甘楽用水幹線	21,910	-	-	233,726	39,844	215,792
	雄川用水地区用水路(かんがい排水事業)	130,840	-	-	355,169	57,064	428,945
	小幡地区用水路(水環境整備事業)	134,943	-	-	232,514	37,273	330,184
	小幡Ⅱ期地区用水路(地域用水環境整備事業)	177,743	-	-	298,039	43,214	432,568
	曾木地区用水路(ため池等整備事業)	76,354	-	-	135,546	14,938	196,962
	小幡地区用水路(地域用水環境整備事業)	261,107	-	-	77,176	18,198	320,085
	甘楽多野用水新堀地区用水路(基盤整備促進事業)	16,908	-	-	16,722	2,553	31,077

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

鎗川二期地区の事業の効用に関する詳細

1 (2) 総費用の総括ー2

(単位：千円)

区分	施設名 (又は工種)	資産価額 (事業着工時点) ①	当該事業による 費用 ②	関連事業による 費用 ③	再整備費 ④	資産価額 (評価期間終了時点) ⑤	総費用 ⑥=①+②+③ +④-⑤
県 営 造 成 施 設	竹沼地区用水路(ほ場整備事業)	7,200	-	-	359,653	58,123	308,730
	甘楽北部地区用水路(ほ場整備事業)	66,226	-	-	453,607	80,180	439,653
	長根台地区用水路(畑地帯総合整備事業)	24,544	-	-	41,916	3,323	63,137
	丹生地区用水路(畑地帯総合整備事業)	20,185	-	-	28,950	3,196	45,939
	丹生地区用水路(ため池等整備事業)	571	-	-	88,315	15,292	73,594
	上野地区用水路(第1次農業構造改善事業)	0	-	-	76,742	8,145	68,597
	善慶寺地区用水路(第1次農業構造改善事業)	0	-	-	110,406	11,718	98,688
	天引北部地区用水路(第1次農業構造改善事業)	0	-	-	29,648	3,147	26,501
	馬山地区用水路(第1次農業構造改善事業)	0	-	-	21,774	2,311	19,463
	計	1,131,742	-	-	4,858,958	779,144	5,211,556
そ の 他 造 成 施 設	瀧の入地区用水路(ため池等整備事業)	18,464	-	-	66,877	11,732	73,609
	田篠福島地区用水路(基盤整備促進事業)	43,097	-	-	117,193	13,269	147,021
	原地区用水路(土地改良総合整備事業)	41	-	-	1,531	249	1,323
	高瀬東部1地区用水路(土地改良総合整備事業)	31	-	-	2,240	360	1,911
	高瀬東部2地区用水路(土地改良総合整備事業)	449	-	-	17,472	2,836	15,085
	岡本(1)地区用水路(ほ場整備事業)	1,591	-	-	92,123	14,858	78,856
	岡本(2)地区用水路(ほ場整備事業)	941	-	-	32,158	5,233	27,866
	片山地区用水路(土地改良総合整備事業)	309	-	-	2,554	444	2,419
	蕨地区用水路(土地改良総合整備事業)	41	-	-	26,304	4,192	22,153
	向平地区用水路(土地改良総合整備事業)	2,370	-	-	16,369	2,891	15,848
	多胡地区用水路(土地改良総合整備事業)	1,182	-	-	16,574	2,781	14,975
	横瀬地区用水路(土地改良総合整備事業)	197	-	-	12,348	1,989	10,556
	三ツ木地区用水路(土地改良総合整備事業)	1,538	-	-	7,600	1,274	7,864
	池地区用水路(農業基盤整備促進事業)	415	-	-	1,171	180	1,406
	宇田・一ノ宮地区用水路(農業基盤整備促進事業)	37,243	-	-	24,712	5,413	56,542
	末端用水路	8,311	-	-	271,020	44,146	235,185
	ため池群	0	-	-	968,920	100,905	868,015
	小幡堰	0	-	-	61,852	2,577	59,275
	大口堰	0	-	-	61,852	2,577	59,275
	山下堰	0	-	-	61,852	2,577	59,275
	上河原堰	0	-	-	61,852	2,577	59,275
	一番堰	0	-	-	61,852	2,577	59,275
	計	116,220	-	-	1,986,426	225,637	1,877,009
合 計		4,365,391	10,473,976	-	12,882,517	3,146,885	24,574,999

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

鏡川二期地区の事業の効用に関する詳細

1 (3) 総便益額算出表-1

評価 期間	年 度	割引 率（1 + 割引率） ^t	経 過 年 (t)	作物生産効果					品質向上効果					営農経費節減効果							
				更新分に 係る効果 年効果額	新設及び機能向上分 に係る効果			計	更新分に 係る効果 年効果額	新設及び機能向上分 に係る効果			計	更新分に 係る効果 年効果額	新設及び機能向上分 に係る効果			計			
				(千円) ②	(千円) ③	効果発 生割合 (%) ④	年発生 効果額 (千円) ⑤=③×④	(千円) ⑥=②+⑤	同 左 割引後 (千円) ⑦=⑥/①	(千円) ②	(千円) ③	効果発 生割合 (%) ④	年発生 効果額 (千円) ⑤=③×④	(千円) ⑥=②+⑤	同 左 割引後 (千円) ⑦=⑥/①	(千円) ②	(千円) ③	効果発 生割合 (%) ④	年発生 効果額 (千円) ⑤=③×④	(千円) ⑥=②+⑤	同 左 割引後 (千円) ⑦=⑥/①
0	R8	1.0000	0																		
1	R9	1.0400	1	940,180	56,728	0.0	-	940,180	904,019	319,716	-	-	-	319,716	307,419	38,563	-	-	-	38,563	37,080
2	R10	1.0816	2	940,180	56,728	2.8	1,588	941,768	870,717	319,716	-	-	-	319,716	295,595	38,563	-	-	-	38,563	35,654
3	R11	1.1249	3	940,180	56,728	5.6	3,177	943,357	838,614	319,716	-	-	-	319,716	284,217	38,563	-	-	-	38,563	34,281
4	R12	1.1699	4	940,180	56,728	10.8	6,127	946,307	808,879	319,716	-	-	-	319,716	273,285	38,563	-	-	-	38,563	32,963
5	R13	1.2167	5	940,180	56,728	18.7	10,608	950,788	781,448	319,716	-	-	-	319,716	262,773	38,563	-	-	-	38,563	31,695
6	R14	1.2653	6	940,180	56,728	27.0	15,317	955,497	755,155	319,716	-	-	-	319,716	252,680	38,563	-	-	-	38,563	30,477
7	R15	1.3159	7	940,180	56,728	34.5	19,571	959,751	729,349	319,716	-	-	-	319,716	242,964	38,563	-	-	-	38,563	29,305
8	R16	1.3686	8	940,180	56,728	44.4	25,187	965,367	705,368	319,716	-	-	-	319,716	233,608	38,563	-	-	-	38,563	28,177
9	R17	1.4233	9	940,180	56,728	55.7	31,597	971,777	682,763	319,716	-	-	-	319,716	224,630	38,563	-	-	-	38,563	27,094
10	R18	1.4802	10	940,180	56,728	66.9	37,951	978,131	660,810	319,716	-	-	-	319,716	215,995	38,563	-	-	-	38,563	26,053
11	R19	1.5395	11	940,180	56,728	78.3	44,418	984,598	639,557	319,716	-	-	-	319,716	207,675	38,563	-	-	-	38,563	25,049
12	R20	1.6010	12	940,180	56,728	87.8	49,807	989,987	618,355	319,716	-	-	-	319,716	199,698	38,563	-	-	-	38,563	24,087
13	R21	1.6651	13	940,180	56,728	94.0	53,324	993,504	596,663	319,716	-	-	-	319,716	192,010	38,563	-	-	-	38,563	23,160
14	R22	1.7317	14	940,180	56,728	97.1	55,083	995,263	574,732	319,716	-	-	-	319,716	184,626	38,563	-	-	-	38,563	22,269
15	R23	1.8009	15	940,180	56,728	99.6	56,501	996,681	553,435	319,716	-	-	-	319,716	177,531	38,563	-	-	-	38,563	21,413
16	R24	1.8730	16	940,180	56,728	100.0	56,728	996,908	532,252	319,716	-	-	-	319,716	170,697	38,563	-	-	-	38,563	20,589
17	R25	1.9479	17	940,180	56,728	100.0	56,728	996,908	511,786	319,716	-	-	-	319,716	164,134	38,563	-	-	-	38,563	19,797
18	R26	2.0258	18	940,180	56,728	100.0	56,728	996,908	492,106	319,716	-	-	-	319,716	157,822	38,563	-	-	-	38,563	19,036
19	R27	2.1068	19	940,180	56,728	100.0	56,728	996,908	473,186	319,716	-	-	-	319,716	151,754	38,563	-	-	-	38,563	18,304
20	R28	2.1911	20	940,180	56,728	100.0	56,728	996,908	454,981	319,716	-	-	-	319,716	145,916	38,563	-	-	-	38,563	17,600
21	R29	2.2788	21	940,180	56,728	100.0	56,728	996,908	437,471	319,716	-	-	-	319,716	140,300	38,563	-	-	-	38,563	16,923
22	R30	2.3699	22	940,180	56,728	100.0	56,728	996,908	420,654	319,716	-	-	-	319,716	134,907	38,563	-	-	-	38,563	16,272
23	R31	2.4647	23	940,180	56,728	100.0	56,728	996,908	404,474	319,716	-	-	-	319,716	129,718	38,563	-	-	-	38,563	15,646
24	R32	2.5633	24	940,180	56,728	100.0	56,728	996,908	388,916	319,716	-	-	-	319,716	124,728	38,563	-	-	-	38,563	15,044
25	R33	2.6658	25	940,180	56,728	100.0	56,728	996,908	373,962	319,716	-	-	-	319,716	119,932	38,563	-	-	-	38,563	14,466
26	R34	2.7725	26	940,180	56,728	100.0	56,728	996,908	359,570	319,716	-	-	-	319,716	115,317	38,563	-	-	-	38,563	13,909
27	R35	2.8834	27	940,180	56,728	100.0	56,728	996,908	345,740	319,716	-	-	-	319,716	110,882	38,563	-	-	-	38,563	13,374
28	R36	2.9987	28	940,180	56,728	100.0	56,728	996,908	332,447	319,716	-	-	-	319,716	106,618	38,563	-	-	-	38,563	12,860
29	R37	3.1187	29	940,180	56,728	100.0	56,728	996,908	319,655	319,716	-	-	-	319,716	102,516	38,563	-	-	-	38,563	12,365
30	R38	3.2434	30	940,180	56,728	100.0	56,728	996,908	307,365	319,716	-	-	-	319,716	98,574	38,563	-	-	-	38,563	11,890
31	R39	3.3731	31	940,180	56,728	100.0	56,728	996,908	295,547	319,716	-	-	-	319,716	94,784	38,563	-	-	-	38,563	11,433
32	R40	3.5081	32	940,180	56,728	100.0	56,728	996,908	284,173	319,716	-	-	-	319,716	91,137	38,563	-	-	-	38,563	10,993
33	R41	3.6484	33	940,180	56,728	100.0	56,728	996,908	273,245	319,716	-	-	-	319,716	87,632	38,563	-	-	-	38,563	10,570
34	R42	3.7943	34	940,180	56,728	100.0	56,728	996,908	262,738	319,716	-	-	-	319,716	84,262	38,563	-	-	-	38,563	10,163
35	R43	3.9461	35	940,180	56,728	100.0	56,728	996,908	252,631	319,716	-	-	-	319,716	81,021	38,563	-	-	-	38,563	9,772
36	R44	4.1039	36	940,180	56,728	100.0	56,728	996,908	242,917	319,716	-	-	-	319,716	77,905	38,563	-	-	-	38,563	9,397
37	R45	4.2681	37	940,180	56,728	100.0	56,728	996,908	233,572	319,716	-	-	-	319,716	74,908	38,563	-	-	-	38,563	9,035
38	R46	4.4388	38	940,180	56,728	100.0	56,728	996,908	224,590	319,716	-	-	-	319,716	72,028	38,563	-	-	-	38,563	8,688
39	R47	4.6164	39	940,180	56,728	100.0	56,728	996,908	215,949	319,716	-	-	-	319,716	69,257	38,563	-	-	-	38,563	8,353
40	R48	4.8010	40	940,180	56,728	100.0	56,728	996,908	207,646	319,716	-	-	-	319,716	66,594	38,563	-	-	-	38,563	8,032
41	R49	4.9931	41	940,180	56,728	100.0	56,728	996,908	199,657	319,716	-	-	-	319,716	64,032	38,563	-	-	-	38,563	7,723
42	R50	5.1928	42	940,180	56,728	100.0	56,728	996,908	191,979	319,716	-	-	-	319,716	61,569	38,563	-	-	-	38,563	7,426
43	R51	5.4005	43	940,180	56,728	100.0	56,728	996,908	184,596	319,716	-	-	-	319,716	59,201	38,563	-	-	-	38,563	7,141
44	R52	5.6165	44	940,180	56,728	100.0	56,728	996,908	177,496	319,716	-	-	-	319,716	56,924	38,563	-	-	-	38,563	6,866
45	R53	5.8412	45	940,180	56,728	100.0	56,728	996,908	170,668	319,716	-	-	-	319,716	54,735	38,563	-	-	-	38,563	6,602
46	R54	6.0748	46	940,180	56,728	100.0	56,728	996,908	164,105	319,716	-	-	-	319,716	52,630	38,563	-	-	-	38,563	6,348
47	R55	6.3178	47	940,180	56,728	100.0	56,728	996,908	157,794	319,716	-	-	-	319,716	50,606	38,563	-	-	-	38,563	6,104
48	R56	6.5705	48	940,180	56,728	100.0	56,728	996,908	151,725	319,716	-	-	-	319,716	48,659	38,563	-	-	-	38,563	5,869
49	R57	6.8333	49	940,180	56,728	100.0	56,728	996,908	145,890	319,716	-	-	-	319,716	46,788	38,563	-	-	-	38,563	

鍋川二期地区の事業の効用に関する詳細

1 (3) 総便益額算出表-2

評価 期間	年 度	割引 率(1 +割引 率) ^t	経 過 年 (t)	維持管理費節減効果							地域用水効果							災害時の復旧対策費軽減効果						
				更新分に 係る効果		新設及び機能向上分 に係る効果			計		更新分に 係る効果		新設及び機能向上分 に係る効果			計		更新分に 係る効果		新設及び機能向上分 に係る効果			計	
				年効果額 (千円) (2)	年効果額 (千円) (3)	効果発 生割合 (%) (4)	年発生 効果額 (千円) ⑤=③×④	年効果額 (千円) ⑥=②+⑤	同 左 割引後 (千円) ⑦=⑥/①	年効果額 (千円) (2)	年効果額 (千円) (3)	効果発 生割合 (%) (4)	年発生 効果額 (千円) ⑤=③×④	年効果額 (千円) ⑥=②+⑤	同 左 割引後 (千円) ⑦=⑥/①	年効果額 (千円) (2)	年効果額 (千円) (3)	効果発 生割合 (%) (4)	年発生 効果額 (千円) ⑤=③×④	年効果額 (千円) ⑥=②+⑤	同 左 割引後 (千円) ⑦=⑥/①			
0	R8	1.0000	0																					
1	R9	1.0400	1	△ 66,920	5,471	0.0	-	△ 66,920	△ 64,346	3,603	-	-	-	3,603	3,464	-	4,034	0.0	-	-	-			
2	R10	1.0816	2	△ 66,920	5,471	0.0	-	△ 66,920	△ 61,871	3,603	-	-	-	3,603	3,331	-	4,034	0.0	-	-	-			
3	R11	1.1249	3	△ 66,920	5,471	0.0	-	△ 66,920	△ 59,490	3,603	-	-	-	3,603	3,203	-	4,034	0.0	-	-	-			
4	R12	1.1699	4	△ 66,920	5,471	0.0	-	△ 66,920	△ 57,201	3,603	-	-	-	3,603	3,080	-	4,034	0.0	-	-	-			
5	R13	1.2167	5	△ 66,920	5,471	0.0	-	△ 66,920	△ 55,001	3,603	-	-	-	3,603	2,961	-	4,034	0.0	-	-	-			
6	R14	1.2653	6	△ 66,920	5,471	0.0	-	△ 66,920	△ 52,889	3,603	-	-	-	3,603	2,848	-	4,034	0.0	-	-	-			
7	R15	1.3159	7	△ 66,920	5,471	0.0	-	△ 66,920	△ 50,855	3,603	-	-	-	3,603	2,738	-	4,034	0.6	24	24	18			
8	R16	1.3686	8	△ 66,920	5,471	0.0	-	△ 66,920	△ 48,897	3,603	-	-	-	3,603	2,633	-	4,034	16.8	678	678	495			
9	R17	1.4233	9	△ 66,920	5,471	0.0	-	△ 66,920	△ 47,017	3,603	-	-	-	3,603	2,531	-	4,034	23.5	948	948	666			
10	R18	1.4802	10	△ 66,920	5,471	0.0	-	△ 66,920	△ 45,210	3,603	-	-	-	3,603	2,434	-	4,034	23.5	948	948	640			
11	R19	1.5395	11	△ 66,920	5,471	0.0	-	△ 66,920	△ 43,469	3,603	-	-	-	3,603	2,340	-	4,034	24.6	992	992	644			
12	R20	1.6010	12	△ 66,920	5,471	0.0	-	△ 66,920	△ 41,799	3,603	-	-	-	3,603	2,250	-	4,034	24.6	992	992	620			
13	R21	1.6651	13	△ 66,920	5,471	0.0	-	△ 66,920	△ 40,190	3,603	-	-	-	3,603	2,164	-	4,034	26.6	1,073	1,073	644			
14	R22	1.7317	14	△ 66,920	5,471	26.1	1,428	△ 65,492	△ 37,819	3,603	-	-	-	3,603	2,081	-	4,034	26.6	1,073	1,073	620			
15	R23	1.8009	15	△ 66,920	5,471	113.0	6,182	△ 60,738	△ 33,726	3,603	-	-	-	3,603	2,001	-	4,034	26.6	1,073	1,073	596			
16	R24	1.8730	16	△ 66,920	5,471	100.0	5,471	△ 61,449	△ 32,808	3,603	-	-	-	3,603	1,924	-	4,034	100.0	4,034	4,034	2,154			
17	R25	1.9479	17	△ 66,920	5,471	100.0	5,471	△ 61,449	△ 31,546	3,603	-	-	-	3,603	1,850	-	4,034	100.0	4,034	4,034	2,071			
18	R26	2.0258	18	△ 66,920	5,471	100.0	5,471	△ 61,449	△ 30,333	3,603	-	-	-	3,603	1,779	-	4,034	100.0	4,034	4,034	1,991			
19	R27	2.1068	19	△ 66,920	5,471	100.0	5,471	△ 61,449	△ 29,167	3,603	-	-	-	3,603	1,710	-	4,034	100.0	4,034	4,034	1,915			
20	R28	2.1911	20	△ 66,920	5,471	100.0	5,471	△ 61,449	△ 28,045	3,603	-	-	-	3,603	1,644	-	4,034	100.0	4,034	4,034	1,841			
21	R29	2.2788	21	△ 66,920	5,471	100.0	5,471	△ 61,449	△ 26,966	3,603	-	-	-	3,603	1,581	-	4,034	100.0	4,034	4,034	1,770			
22	R30	2.3699	22	△ 66,920	5,471	100.0	5,471	△ 61,449	△ 25,929	3,603	-	-	-	3,603	1,520	-	4,034	100.0	4,034	4,034	1,702			
23	R31	2.4647	23	△ 66,920	5,471	100.0	5,471	△ 61,449	△ 24,932	3,603	-	-	-	3,603	1,462	-	4,034	100.0	4,034	4,034	1,637			
24	R32	2.5633	24	△ 66,920	5,471	100.0	5,471	△ 61,449	△ 23,973	3,603	-	-	-	3,603	1,406	-	4,034	100.0	4,034	4,034	1,574			
25	R33	2.6658	25	△ 66,920	5,471	100.0	5,471	△ 61,449	△ 23,051	3,603	-	-	-	3,603	1,352	-	4,034	100.0	4,034	4,034	1,513			
26	R34	2.7725	26	△ 66,920	5,471	100.0	5,471	△ 61,449	△ 22,164	3,603	-	-	-	3,603	1,300	-	4,034	100.0	4,034	4,034	1,455			
27	R35	2.8834	27	△ 66,920	5,471	100.0	5,471	△ 61,449	△ 21,311	3,603	-	-	-	3,603	1,250	-	4,034	100.0	4,034	4,034	1,399			
28	R36	2.9987	28	△ 66,920	5,471	100.0	5,471	△ 61,449	△ 20,492	3,603	-	-	-	3,603	1,202	-	4,034	100.0	4,034	4,034	1,345			
29	R37	3.1187	29	△ 66,920	5,471	100.0	5,471	△ 61,449	△ 19,703	3,603	-	-	-	3,603	1,155	-	4,034	100.0	4,034	4,034	1,293			
30	R38	3.2434	30	△ 66,920	5,471	100.0	5,471	△ 61,449	△ 18,946	3,603	-	-	-	3,603	1,111	-	4,034	100.0	4,034	4,034	1,244			
31	R39	3.3731	31	△ 66,920	5,471	100.0	5,471	△ 61,449	△ 18,217	3,603	-	-	-	3,603	1,068	-	4,034	100.0	4,034	4,034	1,196			
32	R40	3.5081	32	△ 66,920	5,471	100.0	5,471	△ 61,449	△ 17,516	3,603	-	-	-	3,603	1,027	-	4,034	100.0	4,034	4,034	1,150			
33	R41	3.6484	33	△ 66,920	5,471	100.0	5,471	△ 61,449	△ 16,843	3,603	-	-	-	3,603	988	-	4,034	100.0	4,034	4,034	1,106			
34	R42	3.7943	34	△ 66,920	5,471	100.0	5,471	△ 61,449	△ 16,195	3,603	-	-	-	3,603	950	-	4,034	100.0	4,034	4,034	1,063			
35	R43	3.9461	35	△ 66,920	5,471	100.0	5,471	△ 61,449	△ 15,572	3,603	-	-	-	3,603	913	-	4,034	100.0	4,034	4,034	1,022			
36	R44	4.1039	36	△ 66,920	5,471	100.0	5,471	△ 61,449	△ 14,973	3,603	-	-	-	3,603	878	-	4,034	100.0	4,034	4,034	983			
37	R45	4.2681	37	△ 66,920	5,471	100.0	5,471	△ 61,449	△ 14,397	3,603	-	-	-	3,603	844	-	4,034	100.0	4,034	4,034	945			
38	R46	4.4388	38	△ 66,920	5,471	100.0	5,471	△ 61,449	△ 13,844	3,603	-	-	-	3,603	812	-	4,034	100.0	4,034	4,034	909			
39	R47	4.6164	39	△ 66,920	5,471	100.0	5,471	△ 61,449	△ 13,311	3,603	-	-	-	3,603	780	-	4,034	100.0	4,034	4,034	874			
40	R48	4.8010	40	△ 66,920	5,471	100.0	5,471	△ 61,449	△ 12,799	3,603	-	-	-	3,603	750	-	4,034	100.0	4,034	4,034	840			
41	R49	4.9931	41	△ 66,920	5,471	100.0	5,471	△ 61,449	△ 12,307	3,603	-	-	-	3,603	722	-	4,034	100.0	4,034	4,034	808			
42	R50	5.1928	42	△ 66,920	5,471	100.0	5,471	△ 61,449	△ 11,834	3,603	-	-	-	3,603	694	-	4,034	100.0	4,034	4,034	777			
43	R51	5.4005	43	△ 66,920	5,471	100.0	5,471	△ 61,449	△ 11,378	3,603	-	-	-	3,603	667	-	4,034	100.0	4,034	4,034	747			
44	R52	5.6165	44	△ 66,920	5,471	100.0	5,471	△ 61,449	△ 10,941	3,603	-	-	-	3,603	642	-	4,034	100.0	4,034	4,034	718			
45	R53	5.8412	45	△ 66,920	5,471	100.0	5,471	△ 61,449	△ 10,520	3,603	-	-	-	3,603	617	-	4,034	100.0	4,034	4,034	691			
46	R54	6.0748	46	△ 66,920	5,471	100.0	5,471	△ 61,449	△ 10,115	3,603	-	-	-	3,603	593	-	4,034	100.0	4,034	4,034	664			
47	R55	6.3178	47	△ 66,920	5,471	100.0	5,471	△ 61,449	△ 9,726	3,603	-	-	-	3,603	570	-	4,034	100.0	4,034	4,034	639			
48	R56	6.5705	48	△ 66,920	5,471	100.0	5,471	△ 61,449	△ 9,352	3,603	-	-	-	3,603	548	-	4,034	100.0	4,034	4,034	614			
49	R57	6.8333	49	△ 66,920	5,471	100.0	5,471	△ 61,449	△ 8,993	3,603	-	-	-	3,603	527	-	4,034	100.0	4,034	4,034	590			
50	R58	7.1067	50	△ 66,920	5,471	100.0	5,471	△ 61,449	△ 8,647	3,603	-	-	-	3,603	507	-	4,034	100.0	4,034	4,034	568			
51	R59	7.3910	51	△ 66,920	5,471	100.0	5,471	△ 61,449	△ 8,314	3,603	-	-	-	3,603	487	-	4,034	100.0	4,034	4,034	546			
52	R60	7.6866	52	△ 66,920	5,471	100.0	5,471	△ 61,449	△ 7,994	3,603	-	-	-	3,603	469	-	4,034	100.0	4,034	4,034	525			
53	R61	7.9941	53	△ 66,920	5,471	100.0	5,471	△ 61,449	△ 7,687	3,603	-	-	-	3,603	451	-	4,034	100.0	4,034	4,034	505			
54	R62	8.3138	54	△ 66,920	5,471	100.0	5,471	△ 61,449	△ 7,391	3,603	-	-	-	3,603	433	-	4,034	100.0	4,034	4,034	485			
55	R63	8.6464	55	△ 66,920	5,471	100.0	5,471	△ 61,449	△ 7,107	3,603	-	-	-	3,603	417	-	4,034	100.0	4,034	4,034	467			
合計 (総便益額)																								

※経過年は評価年からの年数

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

鎗川二期地区の事業の効用に関する詳細
 1 (3) 総便益額算出表－3

評価 期間	年 度	割引 率(1 +割引 率) ^t ①	経 過 年 (^t)	国産農産物安定供給効果											割引後 効果額 合計 (千円)	備考
				更新分に 係る効果 年効果額 (千円) ②	新設及び機能向上分 に係る効果			計								
					年効果額 (千円) ③	効果発 生割合 (%) ④	年発生 効果額 (千円) ⑤=③×④	年効果額 (千円) ⑥=②+⑤	同 左 割引後 (千円) ⑦=⑥/①							
0	R8	1.0000	0												評価年	
1	R9	1.0400	1	96,868	23,925	0.0	-	96,868	93,142					1,280,778		
2	R10	1.0816	2	96,868	23,925	2.8	670	97,538	90,179					1,233,605		
3	R11	1.1249	3	96,868	23,925	5.6	1,340	98,208	87,304					1,188,129		
4	R12	1.1699	4	96,868	23,925	10.8	2,584	99,452	85,009					1,146,015		
5	R13	1.2167	5	96,868	23,925	18.7	4,474	101,342	83,293					1,107,169		
6	R14	1.2653	6	96,868	23,925	27.0	6,460	103,328	81,663					1,069,934		
7	R15	1.3159	7	96,868	23,925	34.5	8,254	105,122	79,886					1,033,405		
8	R16	1.3686	8	96,868	23,925	44.4	10,623	107,491	78,541					999,925		
9	R17	1.4233	9	96,868	23,925	55.7	13,326	110,194	77,421					968,088		
10	R18	1.4802	10	96,868	23,925	66.9	16,006	112,874	76,256					936,978		
11	R19	1.5395	11	96,868	23,925	78.3	18,733	115,601	75,090					906,886		
12	R20	1.6010	12	96,868	23,925	87.8	21,006	117,874	73,625					876,836		
13	R21	1.6651	13	96,868	23,925	94.0	22,490	119,358	71,682					846,133		
14	R22	1.7317	14	96,868	23,925	97.1	23,231	120,099	69,353					815,862		
15	R23	1.8009	15	96,868	23,925	99.6	23,829	120,697	67,020					788,270		
16	R24	1.8730	16	96,868	23,925	100.0	23,925	120,793	64,492					759,300		
17	R25	1.9479	17	96,868	23,925	100.0	23,925	120,793	62,012					730,104		
18	R26	2.0258	18	96,868	23,925	100.0	23,925	120,793	59,627					702,028		
19	R27	2.1068	19	96,868	23,925	100.0	23,925	120,793	57,335					675,037		
20	R28	2.1911	20	96,868	23,925	100.0	23,925	120,793	55,129					649,066		
21	R29	2.2788	21	96,868	23,925	100.0	23,925	120,793	53,007					624,086		
22	R30	2.3699	22	96,868	23,925	100.0	23,925	120,793	50,970					600,096		
23	R31	2.4647	23	96,868	23,925	100.0	23,925	120,793	49,009					577,014		
24	R32	2.5633	24	96,868	23,925	100.0	23,925	120,793	47,124					554,819		
25	R33	2.6658	25	96,868	23,925	100.0	23,925	120,793	45,312					533,486		
26	R34	2.7725	26	96,868	23,925	100.0	23,925	120,793	43,568					512,955		
27	R35	2.8834	27	96,868	23,925	100.0	23,925	120,793	41,893	各効果における「同左割引後」の合計				493,227		
28	R36	2.9987	28	96,868	23,925	100.0	23,925	120,793	40,282						474,262	
29	R37	3.1187	29	96,868	23,925	100.0	23,925	120,793	38,732					456,013		
30	R38	3.2434	30	96,868	23,925	100.0	23,925	120,793	37,243					438,481		
31	R39	3.3731	31	96,868	23,925	100.0	23,925	120,793	35,811					421,622		
32	R40	3.5081	32	96,868	23,925	100.0	23,925	120,793	34,433					405,397		
33	R41	3.6484	33	96,868	23,925	100.0	23,925	120,793	33,108					389,806		
34	R42	3.7943	34	96,868	23,925	100.0	23,925	120,793	31,835					374,816		
35	R43	3.9461	35	96,868	23,925	100.0	23,925	120,793	30,611					360,398		
36	R44	4.1039	36	96,868	23,925	100.0	23,925	120,793	29,434					346,541		
37	R45	4.2681	37	96,868	23,925	100.0	23,925	120,793	28,301					333,208		
38	R46	4.4388	38	96,868	23,925	100.0	23,925	120,793	27,213					320,396		
39	R47	4.6164	39	96,868	23,925	100.0	23,925	120,793	26,166					308,068		
40	R48	4.8010	40	96,868	23,925	100.0	23,925	120,793	25,160					296,223		
41	R49	4.9931	41	96,868	23,925	100.0	23,925	120,793	24,192					284,827		
42	R50	5.1928	42	96,868	23,925	100.0	23,925	120,793	23,262					273,873		
43	R51	5.4005	43	96,868	23,925	100.0	23,925	120,793	22,367					263,341		
44	R52	5.6165	44	96,868	23,925	100.0	23,925	120,793	21,507					253,212		
45	R53	5.8412	45	96,868	23,925	100.0	23,925	120,793	20,679					243,472		
46	R54	6.0748	46	96,868	23,925	100.0	23,925	120,793	19,884					234,109		
47	R55	6.3178	47	96,868	23,925	100.0	23,925	120,793	19,119					225,106		
48	R56	6.5705	48	96,868	23,925	100.0	23,925	120,793	18,384					216,447		
49	R57	6.8333	49	96,868	23,925	100.0	23,925	120,793	17,677					208,122		
50	R58	7.1067	50	96,868	23,925	100.0	23,925	120,793	16,997					200,116		
51	R59	7.3910	51	96,868	23,925	100.0	23,925	120,793	16,343					192,418		
52	R60	7.6866	52	96,868	23,925	100.0	23,925	120,793	15,715					185,020		
53	R61	7.9941	53	96,868	23,925	100.0	23,925	120,793	15,110					177,902		
54	R62	8.3138	54	96,868	23,925	100.0	23,925	120,793	14,529					171,060		
55	R63	8.6464	55	96,868	23,925	100.0	23,925	120,793	13,970					164,481		
合計 (総便益額)									2,517,006					30,827,968		

※経過年は評価年からの年数
 ※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

満川二期地区の事業の効用に関する詳細

2 (1) 作物生産効果－1

作物名	新設・更新	作付面積			効果要因	単 収				生産増減量 ③＝ ①×② ÷100	生産物単価 ④	増加粗収益額 ⑤＝ ③×④	純益率 ⑥	年効果額 ⑦＝ ⑤×⑥
		現況	計画	効果発生面積 ①		事業 なかりせ ば 単収	事業 ありせば 単収	増収率	効果算定 対象 単収 ②					
主食用米	新設	ha 363	ha 358	ha △ 5	作付減	kg/10a －	kg/10a －	% －	kg/10a 473	t △ 23.7	千円/t －	千円 －	% －	千円 －
					小 計	－	－	－	－	△ 23.7	235	△ 5,570	－	0
	更新	391	391	391	水管理改良	199	473	138	274	1,071.3	－	－	－	－
					小 計	－	－	－	－	1,071.3	235	251,756	89	224,063
					主食用米計	－	－	－	－	1,047.6	－	246,186	－	224,063
稲発酵粗飼料用稲	新設	85	87	2	作付増	－	－	－	2,800	56.0	－	－	－	－
					小 計	－	－	－	－	56.0	18	1,008	－	0
	更新	92	92	92	湿潤かんがい	2,333	2,800	20	467	429.6	－	－	－	－
					小 計	－	－	－	－	429.6	18	7,733	83	6,418
					稲発酵粗飼料用稲計	－	－	－	－	485.6	－	8,741	－	6,418
なす	新設	21	28	7	作付増	－	－	－	6,202	434.1	－	－	－	－
					小 計	－	－	－	－	434.1	383	166,260	17	28,264
	更新	22	22	22	湿潤かんがい	5,393	6,202	15	809	178.0	－	－	－	－
				22	田畑輪換	5,393	6,202	15	809	178.0				
					小 計	－	－	－	－	356.0	383	136,348	91	124,077
					なす計	－	－	－	－	790.1	－	302,608	－	152,341

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

増収率は、「新たな土地改良の効果算定マニュアル」を基に整理した。

鍋川二期地区の事業の効用に関する詳細

2 (1) 作物生産効果－2

作物名	新設・更新	作付面積			効果要因	単 収				生産増減量 ③＝ ①×② ÷100	生産物単価 ④	増加粗収益額 ⑤＝ ③×④	純益率 ⑥	年効果額 ⑦＝ ⑤×⑥
		現況	計画	効果発生面積 ①		事業 なかりせ ば 単収	事業 ありせば 単収	増収率	効果算定 対象 単収 ②					
秋冬ねぎ	新設	ha 41	ha 68	ha 27	作付増	kg/10a －	kg/10a －	% －	kg/10a 1,393	t 376.1	千円/t －	千円 －	% －	千円 －
					小 計	－	－	－	－	376.1	305	114,711	16	18,354
	更新	44	44	44	湿潤かんがい	1,233	1,393	13	160	70.4	－	－	－	－
				44	田畑輪換	1,211	1,393	15	182	80.1				
					小 計	－	－	－	－	150.5	305	45,903	91	41,772
					秋冬ねぎ計	－	－	－	－	526.6	－	160,614	－	60,126
こんにゃくいも	新設	12	13	1	作付増	－	－	－	1,629	16.3	－	－	－	－
					小 計	－	－	－	－	16.3	155	2,527	16	404
	更新	13	13	13	湿潤かんがい	1,417	1,629	15	212	27.6	－	－	－	－
				13	田畑輪換	1,417	1,629	15	212	27.6				
					小 計	－	－	－	－	55.2	155	8,556	83	7,101
					こんにゃくいも計	－	－	－	－	71.5	－	11,083	－	7,505
青刈りとうもろこし	新設	22	26	4	作付増	－	－	－	5,127	205.1	－	－	－	－
					小 計	－	－	－	－	205.1	(32)	6,563	10	656
	更新	24	24	24	湿潤かんがい	4,273	5,127	20	854	205.0	－	－	－	－
				24	田畑輪換	4,458	5,127	15	669	160.6				
					小 計	－	－	－	－	365.6	(32)	11,699	17	1,989
					青刈りとうもろこし計	－	－	－	－	570.7	－	18,262	－	2,645

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

増収率は、「新たな土地改良の効果算定マニュアル」を基に整理した。

「生産物単価」欄の（ ）は生乳換算値。青刈りとうもろこしは3.9kgで生乳1kgとして換算

鶴川二期地区の事業の効用に関する詳細

2 (1) 作物生産効果－3

作物名	新設・更新	作付面積			効果要因	単 収				生産増減量 ③＝ ①×② ÷100	生産物単価 ④	増加粗収益額 ⑤＝ ③×④	純益率 ⑥	年効果額 ⑦＝ ⑤×⑥
		現況	計画	効果発生面積 ①		事業なかりせば単収	事業ありせば単収	増収率	効果算定対象単収 ②					
きゅうり	更新	ha 9	ha 9	ha 9	湿潤かんがい	kg/10a 13,375	kg/10a 15,381	% 15	kg/10a 2,006	t 180.5	千円/t -	千円 -	% -	千円 -
					小 計	-	-	-	-	180.5	308	55,594	91	50,591
					きゅうり計	-	-	-	-	180.5	-	55,594	-	50,591
トマト	更新	2	2	2	湿潤かんがい	9,758	11,222	15	1,464	29.3	-	-	-	-
					小 計	-	-	-	-	29.3	289	8,468	91	7,706
					トマト計	-	-	-	-	29.3	-	8,468	-	7,706
いちご	更新	7	7	7	湿潤かんがい	2,448	2,815	15	367	25.7	-	-	-	-
					小 計	-	-	-	-	25.7	1,542	39,629	91	36,062
					いちご計	-	-	-	-	25.7	-	39,629	-	36,062
にら	更新	9	9	9	湿潤かんがい	1,521	1,719	13	198	17.8	-	-	-	-
					小 計	-	-	-	-	17.8	615	10,947	91	9,962
					にら計	-	-	-	-	17.8	-	10,947	-	9,962
小麦	新設	115	161	46	作付増	-	-	-	375	172.5	-	-	-	-
					小 計	-	-	-	-	172.5	40	6,900	-	0
	更新	123	123	123	田畑輪換	326	375	15	49	60.3	-	-	-	-
					小 計	-	-	-	-	60.3	40	2,412	84	2,026
					小麦計	-	-	-	-	232.8	-	9,312	-	2,026

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

増収率は、「新たな土地改良の効果算定マニュアル」を基に整理した。

鶴川二期地区の事業の効用に関する詳細

2 (1) 作物生産効果－4

作物名	新設・更新	作付面積			効果要因	単 収				生産増減量 ③＝ ①×② ÷100	生産物単価 ④	増加粗収益額 ⑤＝ ③×④	純益率 ⑥	年効果額 ⑦＝ ⑤×⑥
		現況	計画	効果発生面積 ①		事業 なかりせ ば 単収	事業 ありせば 単収	増収率	効果算定 対象 単収 ②					
たまねぎ	新設	ha 13	ha 24	ha 11	作付増	kg/10a －	kg/10a －	% －	kg/10a 5,131	t 564.4	千円/t －	千円 －	% －	千円 －
					小 計	－	－	－	－	564.4	96	54,182	16	8,669
	更新	14	14	14	湿潤かんがい	4,541	5,131	13	590	82.6	－	－	－	－
					田畑輪換	4,462	5,131	15	669	93.7				
					小 計	－	－	－	－	176.3	96	16,925	91	15,402
					たまねぎ計	－	－	－	－	740.7	－	71,107	－	24,071
イタリアンライグラス	更新	11	11	11	湿潤かんがい	3,406	4,087	20	681	74.9	－	－	－	－
					田畑輪換	3,554	4,087	15	533	58.6				
					小 計	－	－	－	－	133.5	(39)	5,207	17	885
					イタリアンライグラス計	－	－	－	－	133.5	－	5,207	－	885
水田計	新設	672	765									346,581		56,347
	更新	761	761									601,177		528,054
なす	更新	33	33	33	湿潤かんがい	5,393	6,202	15	809	267.0	－	－	－	－
					小 計	－	－	－	－	267.0	383	102,261	91	93,058
					なす計	－	－	－	－	267.0	－	102,261	－	93,058
秋冬ねぎ	更新	64	64	64	湿潤かんがい	1,233	1,393	13	160	102.4	－	－	－	－
					小 計	－	－	－	－	102.4	305	31,232	91	28,421
					秋冬ねぎ計	－	－	－	－	102.4	－	31,232	－	28,421

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

増収率は、「新たな土地改良の効果算定マニュアル」を基に整理した。

「生産物単価」欄の()は生乳換算値。イタリアンライグラスは3.2kgで生乳1kgとして換算

鶴川二期地区の事業の効用に関する詳細

2 (1) 作物生産効果－5

作物名	新設・更新	作付面積			効果要因	単 収				生産増減量 ③＝ ①×② ÷100	生産物単価 ④	増加粗収益額 ⑤＝ ③×④	純益率 ⑥	年効果額 ⑦＝ ⑤×⑥
		現況	計画	効果発生面積 ①		事業 なかりせ ば 単収	事業 ありせば 単収	増収率	効果算定 対象 単収 ②					
かんしょ	更新	ha 20	ha 20	ha 20	湿潤かんがい	kg/10a 1,443	kg/10a 1,659	% 15	kg/10a 216	t 43.2	千円/t -	千円 -	% -	千円 -
					小 計	-	-	-	-	43.2	134	5,789	92	5,326
					かんしょ計	-	-	-	-	43.2	-	5,789	-	5,326
こんにゃくいも	更新	96	96	96	湿潤かんがい	1,253	1,629	30	376	361.0	-	-	-	-
					小 計	-	-	-	-	361.0	155	55,955	83	46,443
					こんにゃくいも計	-	-	-	-	361.0	-	55,955	-	46,443
青刈りとうもろこし	新設	116	115	△ 1	作付減	-	-	-	5,127	△ 51.3	-	-	-	-
					小 計	-	-	-	-	△ 51.3	(32)	△ 1,642	10	△ 164
	更新	136	136	136	湿潤かんがい	4,273	5,127	20	854	1,161.4	-	-	-	-
					小 計	-	-	-	-	1,161.4	(32)	37,165	17	6,318
					青刈りとうもろこし計	-	-	-	-	1,110.1	-	35,523	-	6,154
きゅうり	更新	20	20	20	湿潤かんがい	13,375	15,381	15	2,006	401.2	-	-	-	-
					小 計	-	-	-	-	401.2	308	123,570	91	112,449
					きゅうり計	-	-	-	-	401.2	-	123,570	-	112,449
トマト	更新	10	10	10	湿潤かんがい	9,758	11,222	15	1,464	146.4	-	-	-	-
					小 計	-	-	-	-	146.4	289	42,310	91	38,502
					トマト計	-	-	-	-	146.4	-	42,310	-	38,502

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

増収率は、「新たな土地改良の効果算定マニュアル」を基に整理した。

「生産物単価」欄の（ ）は生乳換算値。青刈りとうもろこしは3.9kgで生乳1kgとして換算

鶴川二期地区の事業の効用に関する詳細

2 (1) 作物生産効果－6

作物名	新設・更新	作付面積			効果要因	単 収				生産増減量 ③＝ ①×② ÷100	生産物単価 ④	増加粗収益額 ⑤＝ ③×④	純益率 ⑥	年効果額 ⑦＝ ⑤×⑥
		現況	計画	効果発生面積 ①		事業 なかりせ ば 単収	事業 ありせば 単収	増収率	効果算定 対象 単収 ②					
いちご	更新	ha 7	ha 7	ha 7	湿潤かんがい	kg/10a 2,448	kg/10a 2,815	% 15	kg/10a 367	t 25.7	千円/t -	千円 -	% -	千円 -
					小 計	-	-	-	-	25.7	1,542	39,629	91	36,062
					いちご計	-	-	-	-	25.7	-	39,629	-	36,062
ほうれんそう	新設	24	25	1	作付増	-	-	-	1,011	10.1	-	-	-	-
					小 計	-	-	-	-	10.1	337	3,404	16	545
	更新	28	28	28	湿潤かんがい	895	1,011	13	116	32.5	-	-	-	-
					小 計	-	-	-	-	32.5	337	10,953	91	9,967
					ほうれんそう計	-	-	-	-	42.6	-	14,357	-	10,512
夏ねぎ	更新	21	21	21	湿潤かんがい	1,233	1,393	13	160	33.6	-	-	-	-
					小 計	-	-	-	-	33.6	283	9,509	91	8,653
					夏ねぎ計	-	-	-	-	33.6	-	9,509	-	8,653
たまねぎ	更新	22	22	22	湿潤かんがい	4,541	5,131	13	590	129.8	-	-	-	-
					小 計	-	-	-	-	129.8	96	12,461	91	11,340
					たまねぎ計	-	-	-	-	129.8	-	12,461	-	11,340
普通畑計	新設	140	140									1,762		381
	更新	457	457									470,834		396,539
キウイフルーツ	更新	20	20	20	湿潤かんがい	1,061	1,220	15	159	31.8	-	-	-	-
					小 計	-	-	-	-	31.8	557	17,713	88	15,587
					キウイフルーツ計	-	-	-	-	31.8	-	17,713	-	15,587
樹園地計	更新	20	20									17,713		15,587

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

増収率は、「新たな土地改良の効果算定マニュアル」を基に整理した。

満川二期地区の事業の効用に関する詳細
 2 (1) 作物生産効果－7

作物名	新設・更新	作付面積			効果要因	単 収				生産増減量 ③＝ ①×② ÷100	生産物 単価 ④	増加粗 収益額 ⑤＝ ③×④	純 益率 ⑥	年効果額 ⑦＝ ⑤×⑥
		現況	計画	効果 発生 面積 ①		事業 なかりせ ば 単収	事業 ありせば 単収	増収率	効果算定 対象 単収 ②					
新設		ha 812	ha 905	ha /	/	kg/10a /	kg/10a /	% /	kg/10a /	t /	千円/ t /	千円 348,343	% /	千円 56,728
更新		1,238	1,238	/	/	/	/	/	/	/	/	1,089,724	/	940,180
合計		/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	1,438,067	/	996,908

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

鎚川二期地区の事業の効用に関する詳細
 2 (2) 品質向上効果

作物名	効果要因	効果対象数量		生産物単価			単価向上額		年効果額		
		更新	新設	事業なかりせば	現況	事業ありせば	現況－事業なかりせば	事業ありせば－現況	現況－事業なかりせば	事業ありせば－現況	計
		①	②	③	④	⑤	⑥=④-③	⑦=⑤-④	⑧=①×⑥	⑨=②×⑦	⑩=⑧+⑨
主食用米	湿潤かんがい	t 778	t -	千円/t 180	千円/t 235	千円/t 235	千円/t 55	千円/t -	千円 42,790	千円 -	千円 42,790
なす	湿潤かんがい	1,186	-	317	383	383	66	-	78,276	-	78,276
秋冬ねぎ	湿潤かんがい	543	-	272	305	305	33	-	17,919	-	17,919
トマト	湿潤かんがい	195	-	283	289	289	6	-	1,170	-	1,170
いちご	湿潤かんがい	171	-	1,497	1,542	1,542	45	-	7,695	-	7,695
水田計									147,850	-	147,850
なす	湿潤かんがい	1,780	-	317	383	383	66	-	117,480	-	117,480
秋冬ねぎ	湿潤かんがい	789	-	272	305	305	33	-	26,037	-	26,037
トマト	湿潤かんがい	976	-	283	289	289	6	-	5,856	-	5,856
いちご	湿潤かんがい	171	-	1,497	1,542	1,542	45	-	7,695	-	7,695
ほうれんそう	湿潤かんがい	251	-	309	337	337	28	-	7,028	-	7,028
夏ねぎ	湿潤かんがい	259	-	253	283	283	30	-	7,770	-	7,770
普通畑計									171,866	-	171,866
新設										-	-
更新									319,716		319,716
合計											319,716

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

鎭川二期地区の事業の効用に関する詳細
2 (3) 営農経費節減効果－1

作物名	ha当たり営農経費				ha当たり 経費 ⑤＝ (①-②) ＋ (③-④)	効果発生 面積 ⑥	年効果額 ⑦＝⑤×⑥
	新設		更新				
	現況営農経費 ①	事業ありせば (計画) 営農経費 ②	事業なかりせば 営農経費 ③	事業ありせば (現況) 営農経費 ④			
	円	円	円	円	円	ha	千円
主食用米（用水改良）	-	-	164,528	194,586	△ 30,058	391	△ 11,753
稲発酵粗飼料用稲（用水改良）	-	-	153,454	183,512	△ 30,058	92	△ 2,765
なす（用水改良）	-	-	13,707,784	13,335,715	372,069	22	8,186
秋冬ねぎ（用水改良）	-	-	3,671,691	3,500,095	171,596	44	7,550
こんにゃくいも（用水改良）	-	-	1,531,310	1,478,339	52,971	13	689
青刈りとうもろこし（用水改良）	-	-	566,432	513,461	52,971	24	1,271
きゅうり（用水改良）	-	-	42,871,693	43,827,023	△ 955,330	9	△ 8,598
トマト（用水改良）	-	-	29,984,901	29,505,682	479,219	2	958
いちご（用水改良）	-	-	23,805,707	23,540,811	264,896	7	1,854
にら（用水改良）	-	-	19,254,342	19,023,044	231,298	9	2,082
たまねぎ（用水改良）	-	-	2,784,222	2,632,546	151,676	14	2,123
イタリアンライグラス（用水改良）	-	-	74,354	100,615	△ 26,261	11	△ 289
水田計							1,308
なす（用水改良）	-	-	13,707,784	13,335,715	372,069	33	12,278
秋冬ねぎ（用水改良）	-	-	3,671,691	3,500,095	171,596	64	10,982
かんしょ（用水改良）	-	-	1,729,094	1,735,434	△ 6,340	20	△ 127
こんにゃくいも（用水改良）	-	-	1,531,310	1,478,339	52,971	96	5,085

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

鎚川二期地区の事業の効用に関する詳細
2 (3) 営農経費節減効果－2

作物名	ha当たり営農経費				ha当たり 経費 ⑤＝ (①-②) ＋ (③-④)	効果発生 面積 ⑥	年効果額 ⑦＝⑤×⑥
	新設		更新				
	現況営農経費 ①	事業ありせば (計画) 営農経費 ②	事業なかりせば 営農経費 ③	事業ありせば (現況) 営農経費 ④			
	円	円	円	円	円	ha	千円
青刈りとうもろこし（用水改良）	-	-	566,432	513,461	52,971	136	7,204
きゅうり（用水改良）	-	-	42,871,693	43,827,023	△ 955,330	20	△ 19,107
トマト（用水改良）	-	-	29,984,901	29,505,682	479,219	10	4,792
いちご（用水改良）	-	-	23,805,707	23,540,811	264,896	7	1,854
ほうれんそう（用水改良）	-	-	4,929,463	4,866,755	62,708	28	1,756
夏ねぎ（用水改良）	-	-	4,144,693	3,904,048	240,645	21	5,054
たまねぎ（用水改良）	-	-	2,784,222	2,632,546	151,676	22	3,337
普通畑計							33,108
キウイフルーツ（用水改良）	-	-	4,852,539	4,645,168	207,371	20	4,147
樹園地計							4,147
新設							-
更新							38,563
合計							38,563

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

■効果要因は以下のとおりである。

- ・主食用米、稲発酵粗飼料用稲、なす、秋冬ねぎ、かんしょ、こんにゃくいも、青刈りとうもろこし、きゅうり、トマト、いちご、にら、ほうれんそう、夏ねぎ、たまねぎ、キウイフルーツ
(用水改良 更新：事業ありせば→なかりせば)
- ・用水施設の機能が喪失した場合を想定し、用水管理にかかる経費が減少。防除用水を自宅より運搬する経費が増加。

令和9年度新規地区採択チェックリスト

(1)国営かんがい排水事業

(局名:関東農政局)(地区名: 釜川二期)

3. 特定監視項目

1. 地質状況
地質状況に基づいた施設計画としている。
過去の地質調査の確認及び施設周辺において地質調査を行っており、地質状況に基づいた施設設計となっている。

2. 受益面積
最近年の面積を把握している。
本事業の受益面積は、前歴事業である国営釜川土地改良事業における受益範囲を基に、関係土地改良区の土地原簿から一定地域を確認し、土地登記簿により令和6年4月時点で積み上げている。

氷見地区の事業の効用に関する説明資料

1 総費用総便益比の算定

(1) 総費用総便益比の総括

(単位：千円)

区 分		算定式	数 値		
総費用（現在価値化）		①＝②＋③	18, 150, 583		
当該事業による費用		②	9, 117, 084		
関連事業による費用、資産価額、再整備費		③	9, 033, 499		
評価期間（当該事業の工事期間＋40 年）		④	52 年		
社会的割引率			4%		
総便益額（現在価値化）		⑤	35, 508, 273		
総費用総便益比		⑥＝⑤÷①	1. 95		
感度分析結果	総費用（＋10％～△10％）		1. 83～2. 09		
	総便益（△10％～＋10％）		1. 94～1. 97		
	社会的割引率		4%	2%	1%
			1. 95	2. 36	2. 65

(2) 総費用の総括

(単位：千円)

区分	資産価額 （事業着工 時点） ①	当該事業に よる費用 ②	関連事業に よる費用 ③	再整備費 ④	資産価額 （評価期間 終了時点） ⑤	総費用 ⑥＝①＋②＋ ③＋④－⑤
国営造成施設	591, 447	9, 117, 084	—	3, 196, 403	453, 933	12, 451, 001
県営造成施設	1, 062, 335	—	—	3, 172, 506	372, 223	3, 862, 618
その他造成施設	—	—	—	2, 055, 078	218, 114	1, 836, 964
合 計	1, 653, 782	9, 117, 084	—	8, 423, 987	1, 044, 270	18, 150, 583

※各造成施設の詳細については「氷見地区の事業の効用に関する詳細」を参照

(3) 年総効果額、総便益額の総括

(単位：千円)

効果項目	区 分	年総効果 （便益）額	総便益額	効果の要因
食料の安定供給の確保に関する効果				
作物生産効果		95, 298	2, 059, 108	排水施設の整備を実施した場合と実施しなかった場合での作物生産量が増減する効果
営農経費節減効果		50, 265	1, 093, 140	排水施設の整備を実施した場合と実施しなかった場合での営農経費が増減する効果
維持管理費節減効果		△29, 578	△730, 793	排水施設の整備を実施した場合と実施しなかった場合での施設の維持管理費が増減する効果
農業の持続的発展に関する効果				

災害防止効果（農業関係資産）	882,008	19,156,656	排水施設の整備を実施した場合と実施しなかった場合での災害による農業関係資産に係る被害額が軽減する効果
農村の振興に関する効果			
災害防止効果（一般資産）	617,179	13,417,497	排水施設の整備を実施した場合と実施しなかった場合での災害による一般資産に係る被害額が軽減する効果
その他の効果			
災害時の復旧対策費軽減効果	5,043	72,177	耐震整備を実施した場合と実施しなかった場合での大規模地震の発生に伴う被害が軽減する効果
国産農産物安定供給効果	21,052	440,488	排水施設の整備により農業生産性の向上や営農条件等の改善が図られ、国産農産物の安定供給に寄与する効果
合 計	1,641,267	35,508,273	

総便益の算定の詳細については「氷見地区の事業の効用に関する詳細」を参照

2 年効果額の算定方法

（１）作物生産効果

○効果の考え方

事業を実施した場合（事業ありせば）と実施しなかった場合（事業なかりせば）の作物生産量の比較により年効果額を算定した。

○対象作物

氷見地区の事業の効用に関する詳細のとおり

○年効果額算定式

$$\text{年効果額} = \text{単収増加年効果額}^{\ast 1} + \text{作付増減年効果額}^{\ast 2}$$

$$\ast 1 \quad \text{単収増加年効果額} = \text{作付面積} \times (\text{事業ありせば単収} - \text{事業なかりせば単収}) \times \text{単価} \times \text{単収増加の純益率}$$

$$\ast 2 \quad \text{作付増減年効果額} = (\text{事業ありせば作付面積} - \text{事業なかりせば作付面積}) \times \text{単収} \times \text{単価} \times \text{作付増減の純益率}$$

○年効果額の算定

（単位：千円）

区 分	作付面積（ha）		増加粗収益額	年効果額
	現況	計画		
新設整備	76	105	21,780	3,033
更新整備	530	530	103,895	92,265
合 計			125,675	95,298

※作物生産効果における作物毎の詳細については「氷見地区の事業の効用に関する詳細」を参照

- ・作付面積：各作物の作付面積は以下のとおり
「現況作付面積」・関係市の作付実績に基づき決定した。
「計画作付面積」・新設整備では、県、関係市の農業振興計画や関係者の意向を踏まえ決定した。
・更新整備では、現況施設のもとで作物生産量が維持される面積であり、現況＝計画とした。
- ・単収：増加粗収益額の算定に用いる各作物の単収については以下のとおり
「事業なかりせば単収」・更新整備では、排水機能の喪失時の単収であり、現況単収に効果要因別の失われる増収率分を減じて算定した。
「事業ありせば単収」・新設整備では、作付面積の増減による効果のため、現況単収であり、農林水産統計等による最近5か年の平均単収により算定した。
・更新整備では、現況単収であり、農林水産統計等による最近5か年の平均単収により算定した。
「効果算定対象単収」・事業ありせば単収と事業なかりせば単収の差である。
(作付増においては、地域の計画単収、作付減においては地域の現況単収、水害防止については施設整備による被害防止量である。)
- ・生産物単価：関係JA聞き取り等による最近5か年の販売価格に消費者物価指数を反映した価格を用いた。
- ・純益率：「土地改良事業の費用対効果分析に必要な諸係数について」による標準値等を用いた。

(2) 営農経費節減効果

○効果の考え方

事業を実施した場合(事業ありせば)と実施しなかった場合(事業なかりせば)の労働費、機械経費、その他の生産資材費について比較し、それらの営農経費の増減から年効果額を算定した。

○対象作物

氷見地区の事業の効用に関する詳細のとおり

○年効果額算定式

年効果額 = (事業なかりせば単位面積当たり営農経費 - 事業ありせば単位面積当たり営農経費) × 効果発生面積

○年効果額の算定

(単位：千円)

区分	事業なかりせば①	事業ありせば②	年効果額 ③＝①－②
新設整備	現況営農経費	計画営農経費	—
更新整備	事業なかりせば営農経費	現況営農経費	50,265
合 計			50,265

※営農経費節減効果における作物毎の営農経費の詳細については「氷見地区の事業の効用に関する詳細」を参照

- ・現況営農経費：地域の現在の営農経費であり、近傍地区の農業経営指標等に基づき算定した。
- ・計画営農経費：本事業による営農経費の節減は見込めないことから、「計画営農経費＝現況営農経費」とした。
- ・事業なかりせば営農経費：地域の水利施設の機能が失われた場合に想定される水管理作業に係る経費を考慮し算定した。

（３）維持管理費節減効果

○効果の考え方

事業を実施した場合（事業ありせば）と実施しなかった場合（事業なかりせば）を比較し、施設の維持管理費の増減をもって年効果額を算定した。

○対象施設

総費用に計上した、当該事業（関連事業）及び受益地内で一体的に効用を発揮している全ての土地改良施設等

○年効果額算定式

年効果額 ＝ 事業なかりせば維持管理費 － 事業ありせば維持管理費

○年効果額の算定

（単位：千円）

区分	新設	現況維持管理費①	事業ありせば維持管理費②	年効果額 ③＝①－②
	更新	事業なかりせば維持管理費①	現況維持管理費②	
新設整備		91,115	71,282	19,833
更新整備		41,704	91,115	△49,411
合 計				△29,578

- ・事業なかりせば維持管理費：現況施設の維持管理費を基に、施設の機能を失った場合に想定される安全管理等に最低限必要な維持管理費を算定した。
- ・事業ありせば維持管理費：現況施設の維持管理費を基に、本事業の実施により見込まれる維持管理費の増減を考慮し算定した。
- ・現況維持管理費：現況施設の維持管理費に基づき算定した。

（４）災害防止効果

○効果の考え方

事業を実施した場合（事業ありせば）と実施しなかった場合（事業なかりせば）を比較し、災害（洪水等）の発生に伴う農作物等の被害が防止又は軽減される年効果額を算定した。

○対象資産

農作物、農地、農業用施設、農漁家、一般資産

○年効果額算定式

年効果額 ＝ 事業なかりせば年被害（想定）額 － 事業ありせば年被害（想定）額

○年効果額の算定

(単位：千円)

項 目	事業なかりせば年被害額 ①	現況年被害額 ②	事業ありせば年被害額 ③	年効果額 (更新整備) ④=①-②	年効果額 (新設整備) ⑤=②-③	年効果額 (合計) ⑥=④+⑤
農業関係資産	882,297	7,131	289	875,166	6,842	882,008
農作物被害	4,921	297	66	4,624	231	4,855
農地被害	314,375	2,415	—	311,960	2,415	314,375
農業用施設被害	528,142	4,131	—	524,011	4,131	528,142
農漁家被害	34,859	288	223	34,571	65	34,636
一般資産	619,905	3,999	2,726	615,906	1,273	617,179
一般資産被害	619,905	3,999	2,726	615,906	1,273	617,179
新設整備					8,115	8,115
更新整備				1,491,072		1,491,072
合 計						1,499,187

- ・事業なかりせば年被害額：事業を実施した場合に被害の防止又は軽減が図られる区域における資産を対象に湛水シミュレーションにより事業なかりせば想定される年被害額を推定した。
- ・現況年被害額：事業を実施した場合に被害の防止又は軽減が図られる区域における資産を対象に湛水シミュレーションにより現況で想定される年被害額を推定した。
- ・事業ありせば年被害額：事業を実施した場合に被害の防止又は軽減が図られる区域における資産を対象に湛水シミュレーションにより事業ありせば想定される年被害額を推定した。

(5) その他の効果(災害時の復旧対策費軽減効果)

○効果の考え方

事業を実施した場合（事業ありせば）と実施しなかった場合（事業なかりせば）を比較し、大規模地震の発生に伴う被害が防止又は軽減される年効果額を算定した。

○対象資産

農業用施設

○年効果額算定式

年効果額 = 事業なかりせば想定される復旧対策費用の軽減に係る総効果額 × 還元率

○年効果額の算定

(単位：千円)

区分	総効果額 ①	割引率	効果算定期間 (年)	還元率 ②	年効果額 ③=①×②
新設整備	109,639	0.04	52	0.0460	5,043

- ・総効果額：復旧対策費に地震発生確率を乗じた割引後の年別効果額の総計値
- ・還元率：総効果額を効果算定期間における年効果額に換算するための係数

（６）その他の効果（国産農産物安定供給効果）

○効果の考え方

国産農産物の安定供給に対して国民が感じる安心感の効果であるため、一般国民に対してWTP（Willingness To Pay：支払意思額）を尋ねることで、その価値を直接的に評価する手法であるCVM（Contingent Valuation Method：仮想市場法）により年効果額を算定した。

○対象作物

作物生産効果算定作物のうち、食料生産に係るもの

○年効果額算定式

$$\text{年効果額} = \text{年増加粗収益額} \times \text{単位食料生産額当たり効果額（原単位）} \\ + \text{年増加供給熱量} \times \text{単位供給熱量当たり効果額（原単位）}$$

○年効果額の算定

（単位：千円）

区 分	増加粗収益額 ①	増加供給熱量 （千 kcal） ②	単位食料生産 額当たり効果 額（円／千円） ③	単位供給熱量 当たり効果額 （円／千 kcal） ④	当該土地改良 事業における 効果額 ⑤＝①×③＋ ②×④
新設整備	21,780	288,963	49	9.9	3,928
更新整備	103,895	1,215,436	49	9.9	17,124
合 計	125,675	1,504,399			21,052

増加粗収益額、増加供給熱量：作物生産効果の算定過程で整理した結果を用いて、事業ありせばと事業なかりせばにおける増加粗収益額及び増加供給熱量を整理した。

単位食料生産額当たり効果額、単位供給熱量当たり効果額：一般国民に対し国産農産物の安定供給についてWTPを尋ねるCVMにより、年効果額の算定に用いる単位食料生産額当たり効果額（原単位）は49円／千円、単位供給熱量当たり効果額（原単位）は9.9円／千kcalとした。

3 評価に使用した資料

【共通】

- ・農林水産省農村振興局整備部(監修) [改訂版] 「新たな土地改良の効果算定マニュアル」 大成出版社 (平成 27 年 9 月 5 日第 2 版第 1 刷)
- ・土地改良事業の費用対効果分析マニュアルの制定について (平成 19 年 3 月 28 日付け 18 農振第 1597 号農林水産省農村振興局企画部長通知 (最終改正: 令和 6 年 4 月 1 日))
- ・「国産農産物安定供給効果」について (平成 27 年 3 月 27 日付け 26 農振第 2072 号農林水産省農村振興局整備部長通知 (令和 5 年 4 月 3 日一部改正))
- ・土地改良事業の費用対効果分析における参考資料等について (令和 5 年 9 月 13 日付け農林水産省農村振興局整備部関係課関係班連名事務連絡)
- ・土地改良事業の費用対効果分析に必要な諸係数について (平成 19 年 3 月 28 日付け 18 農振第 1598 号農林水産省農村振興局企画部長通知 (令和 7 年 4 月 1 日一部改正))
- ・土地改良事業の費用対効果分析に必要な諸係数等について (令和 7 年 4 月 1 日付け農林水産省農村振興局整備部土地改良企画課課長補佐 (事業効果班) 事務連絡)
- ・土地改良事業の感度分析について (平成 31 年 4 月 1 日付け 30 農振第 3976 号農林水産省農村振興局整備部長通知 (最終改正: 令和 6 年 4 月 1 日))

【費用】

- ・当該事業費及び関連事業費に係る一般に公表されていない諸元については、北陸農政局西北陸土地改良調査管理事務所調べ

【便益】

- ・農林水産省大臣官房統計部 (令和元～令和 6 年) 「作物統計」
- ・総務省統計局「令和 3 年 経済センサス活動調査」、「平成 26 年 経済センサス活動調査」
- ・国土交通省「建設着工統計調査」 (令和元～令和 5 年度版)
- ・国土交通省水管理・国土保全局「治水経済調査マニュアル(案)」 (令和 6 年 4 月)
- ・国土交通省水管理・国土保全局河川計画課「治水経済調査マニュアル(案)各種資産評価単価及びデフレーター」 (令和 6 年 6 月改正)
- ・効果算定に必要な各種諸元については、北陸農政局西北陸土地改良調査管理事務所調べ

氷見地区の事業の効用に関する詳細

1 (2) 総費用の総括

(単位：千円)

区分	施設名 (又は工種)	資産価額 (事業着工時点) ①	当該事業による 費用 ②	関連事業による 費用 ③	再整備費 ④	資産価額 (評価期間終了時点) ⑤	総費用 ⑥=①+②+③ +④-⑤
国営造成施設	十二町潟排水機場	591,447	9,117,084	-	3,196,403	453,933	12,451,001
	計	591,447	9,117,084	-	3,196,403	453,933	12,451,001
県営造成施設	仏生寺川右岸副水路	0	-	-	2,276,640	241,629	2,035,011
	県営 末端排水路 (栗原地区)	363,666	-	-	372,498	28,736	707,428
	県営 末端排水路 (大浦地区)	525,908	-	-	448,593	98,262	876,239
	県営 末端排水路 (下田子・上泉地区)	172,761	-	-	74,775	3,596	243,940
	計	1,062,335	-	-	3,172,506	372,223	3,862,618
その他造成施設	団体営 末端排水路 (下十二町(北部)地区)	0	-	-	121,912	12,939	108,973
	団体営 末端排水路 (西朴木地区)	0	-	-	60,958	6,470	54,488
	団体営 末端排水路 (坂津地区)	0	-	-	17,415	1,848	15,567
	団体営 末端排水路 (城東北部地区)	0	-	-	169,806	18,022	151,784
	団体営 末端排水路 (城東南部地区)	0	-	-	352,670	37,430	315,240
	団体営 末端排水路 (十二町地区)	0	-	-	195,927	20,794	175,133
	団体営 末端排水路 (川崎地区)	0	-	-	65,311	6,932	58,379
	団体営 末端排水路 (川尻地区)	0	-	-	130,617	13,863	116,754
	団体営 末端排水路 (海津地区)	0	-	-	30,480	3,235	27,245
	団体営 末端排水路 (布施地区)	0	-	-	226,407	24,029	202,378
	団体営 末端排水路 (窪地区)	0	-	-	74,018	7,856	66,162
	団体営 末端排水路 (園地区)	0	-	-	113,203	12,015	101,188
	団体営 末端排水路 (堀田地区)	0	-	-	130,619	13,863	116,756
	団体営 末端排水路 (柳田地区)	0	-	-	104,496	11,091	93,405
	団体営 末端排水路 (田子地区)	0	-	-	69,664	7,394	62,270
	その他末端排水路	0	-	-	191,575	20,333	171,242
	計	0	-	-	2,055,078	218,114	1,836,964
合 計		1,653,782	9,117,084	-	8,423,987	1,044,270	18,150,583

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

水見地区地区の事業の効用に関する詳細

1 (3) 総便益額算出表-1

評価 期間	年 度	割引 率(1 +割引 率) ①	経 過 年 (t)	作物生産効果							営農経費節減効果							維持管理費節減効果																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
				更新分に 係る効果		新設及び機能向上分 に係る効果			計	更新分に 係る効果		新設及び機能向上分 に係る効果			計	更新分に 係る効果		新設及び機能向上分 に係る効果			計																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
				年効果額 (千円)	年効果額 (千円)	効果発 生割合 (%)	年発生 効果額 (千円)	年効果額 (千円)		同 左 割引後 (千円)	年効果額 (千円)	年効果額 (千円)	効果発 生割合 (%)	年発生 効果額 (千円)		年効果額 (千円)	同 左 割引後 (千円)	年効果額 (千円)	年効果額 (千円)	効果発 生割合 (%)		年発生 効果額 (千円)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
				(千円) ②	(千円) ③	(%) ④	(千円) ⑤=③×④	(千円) ⑥=②+⑤		(千円) ⑦=⑥/①	(千円) ⑧=②+⑤	(千円) ⑨=③×④	(千円) ⑩=②+⑤	(千円) ⑪=③/①		(千円) ⑫=③×④	(千円) ⑬=⑩+⑫	(千円) ⑭=⑬+⑪	(千円) ⑮=⑫/①	(千円) ⑯=⑬+⑮		(千円) ⑰=⑮+⑭	(千円) ⑱=⑮/①																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	R8	1.0000	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											

※経過年は評価年からの年数

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

氷見地区地区の事業の効用に関する詳細
1 (3) 総便益額算出表－2

評価 期間	年 度	割引 率(1 +割引 率) ^t ①	経 過 年 (t)	災害防止効果（農業関係資産）							災害防止効果（一般資産）							災害時の復旧対策費軽減効果						
				更新分に 係る効果		新設及び機能向上分 に係る効果			計		更新分に 係る効果		新設及び機能向上分 に係る効果			計		更新分に 係る効果		新設及び機能向上分 に係る効果			計	
				年効果額 (千円)	年効果額 (千円)	効果発 生割合 (%)	年発生 効果額 (千円)	年効果額 (千円)	同 左 割引後 (千円)	⑦=⑥/①	年効果額 (千円)	年効果額 (千円)	効果発 生割合 (%)	年発生 効果額 (千円)	年効果額 (千円)	同 左 割引後 (千円)	⑦=⑥/①	年効果額 (千円)	年効果額 (千円)	効果発 生割合 (%)	年発生 効果額 (千円)	年効果額 (千円)	同 左 割引後 (千円)	⑦=⑥/①
				②	③	④	⑤=③×④	⑥=②+⑤	⑦=⑥/①	②	③	④	⑤=③×④	⑥=②+⑤	⑦=⑥/①	②	③	④	⑤=③×④	⑥=②+⑤	⑦=⑥/①			
	R8	1.0000	0																					
1	R9	1.0400	1	875,166	6,842	-	-	875,166	841,506	615,906	1,273	-	-	615,906	592,217	-	5,043	-	-	-	-	-		
2	R10	1.0816	2	875,166	6,842	-	-	875,166	809,140	615,906	1,273	-	-	615,906	569,440	-	5,043	-	-	-	-	-		
3	R11	1.1249	3	875,166	6,842	-	-	875,166	777,994	615,906	1,273	-	-	615,906	547,521	-	5,043	-	-	-	-	-		
4	R12	1.1699	4	875,166	6,842	-	-	875,166	748,069	615,906	1,273	-	-	615,906	526,460	-	5,043	-	-	-	-	-		
5	R13	1.2167	5	875,166	6,842	100.0	6,842	882,008	724,918	615,906	1,273	100.0	1,273	617,179	507,257	-	5,043	-	-	-	-	-		
6	R14	1.2653	6	875,166	6,842	100.0	6,842	882,008	697,074	615,906	1,273	100.0	1,273	617,179	487,773	-	5,043	-	-	-	-	-		
7	R15	1.3159	7	875,166	6,842	100.0	6,842	882,008	670,270	615,906	1,273	100.0	1,273	617,179	469,017	-	5,043	-	-	-	-	-		
8	R16	1.3686	8	875,166	6,842	100.0	6,842	882,008	644,460	615,906	1,273	100.0	1,273	617,179	450,956	-	5,043	-	-	-	-	-		
9	R17	1.4233	9	875,166	6,842	100.0	6,842	882,008	619,692	615,906	1,273	100.0	1,273	617,179	433,625	-	5,043	-	-	-	-	-		
10	R18	1.4802	10	875,166	6,842	100.0	6,842	882,008	595,871	615,906	1,273	100.0	1,273	617,179	416,956	-	5,043	100.0	5,043	5,043	3,407	-		
11	R19	1.5395	11	875,166	6,842	100.0	6,842	882,008	572,918	615,906	1,273	100.0	1,273	617,179	400,896	-	5,043	100.0	5,043	5,043	3,276	-		
12	R20	1.6010	12	875,166	6,842	100.0	6,842	882,008	550,911	615,906	1,273	100.0	1,273	617,179	385,496	-	5,043	100.0	5,043	5,043	3,150	-		
13	R21	1.6651	13	875,166	6,842	100.0	6,842	882,008	529,703	615,906	1,273	100.0	1,273	617,179	370,656	-	5,043	100.0	5,043	5,043	3,029	-		
14	R22	1.7317	14	875,166	6,842	100.0	6,842	882,008	509,331	615,906	1,273	100.0	1,273	617,179	356,401	-	5,043	100.0	5,043	5,043	2,912	-		
15	R23	1.8009	15	875,166	6,842	100.0	6,842	882,008	489,760	615,906	1,273	100.0	1,273	617,179	342,706	-	5,043	100.0	5,043	5,043	2,800	-		
16	R24	1.8730	16	875,166	6,842	100.0	6,842	882,008	470,907	615,906	1,273	100.0	1,273	617,179	329,514	-	5,043	100.0	5,043	5,043	2,692	-		
17	R25	1.9479	17	875,166	6,842	100.0	6,842	882,008	452,799	615,906	1,273	100.0	1,273	617,179	316,843	-	5,043	100.0	5,043	5,043	2,589	-		
18	R26	2.0258	18	875,166	6,842	100.0	6,842	882,008	435,388	615,906	1,273	100.0	1,273	617,179	304,659	-	5,043	100.0	5,043	5,043	2,489	-		
19	R27	2.1068	19	875,166	6,842	100.0	6,842	882,008	418,648	615,906	1,273	100.0	1,273	617,179	292,946	-	5,043	100.0	5,043	5,043	2,394	-		
20	R28	2.1911	20	875,166	6,842	100.0	6,842	882,008	402,541	615,906	1,273	100.0	1,273	617,179	281,675	-	5,043	100.0	5,043	5,043	2,302	-		
21	R29	2.2788	21	875,166	6,842	100.0	6,842	882,008	387,049	615,906	1,273	100.0	1,273	617,179	270,835	-	5,043	100.0	5,043	5,043	2,213	-		
22	R30	2.3699	22	875,166	6,842	100.0	6,842	882,008	372,171	615,906	1,273	100.0	1,273	617,179	260,424	-	5,043	100.0	5,043	5,043	2,128	-		
23	R31	2.4647	23	875,166	6,842	100.0	6,842	882,008	357,856	615,906	1,273	100.0	1,273	617,179	250,407	-	5,043	100.0	5,043	5,043	2,046	-		
24	R32	2.5633	24	875,166	6,842	100.0	6,842	882,008	344,091	615,906	1,273	100.0	1,273	617,179	240,775	-	5,043	100.0	5,043	5,043	1,967	-		
25	R33	2.6658	25	875,166	6,842	100.0	6,842	882,008	330,861	615,906	1,273	100.0	1,273	617,179	231,517	-	5,043	100.0	5,043	5,043	1,892	-		
26	R34	2.7725	26	875,166	6,842	100.0	6,842	882,008	318,127	615,906	1,273	100.0	1,273	617,179	222,607	-	5,043	100.0	5,043	5,043	1,819	-		
27	R35	2.8834	27	875,166	6,842	100.0	6,842	882,008	305,892	615,906	1,273	100.0	1,273	617,179	214,046	-	5,043	100.0	5,043	5,043	1,749	-		
28	R36	2.9987	28	875,166	6,842	100.0	6,842	882,008	294,130	615,906	1,273	100.0	1,273	617,179	205,816	-	5,043	100.0	5,043	5,043	1,682	-		
29	R37	3.1187	29	875,166	6,842	100.0	6,842	882,008	282,813	615,906	1,273	100.0	1,273	617,179	197,896	-	5,043	100.0	5,043	5,043	1,617	-		
30	R38	3.2434	30	875,166	6,842	100.0	6,842	882,008	271,939	615,906	1,273	100.0	1,273	617,179	190,288	-	5,043	100.0	5,043	5,043	1,555	-		
31	R39	3.3731	31	875,166	6,842	100.0	6,842	882,008	261,483	615,906	1,273	100.0	1,273	617,179	182,971	-	5,043	100.0	5,043	5,043	1,495	-		
32	R40	3.5081	32	875,166	6,842	100.0	6,842	882,008	251,420	615,906	1,273	100.0	1,273	617,179	175,930	-	5,043	100.0	5,043	5,043	1,438	-		
33	R41	3.6484	33	875,166	6,842	100.0	6,842	882,008	241,752	615,906	1,273	100.0	1,273	617,179	169,164	-	5,043	100.0	5,043	5,043	1,382	-		
34	R42	3.7943	34	875,166	6,842	100.0	6,842	882,008	232,456	615,906	1,273	100.0	1,273	617,179	162,660	-	5,043	100.0	5,043	5,043	1,329	-		
35	R43	3.9461	35	875,166	6,842	100.0	6,842	882,008	223,514	615,906	1,273	100.0	1,273	617,179	156,402	-	5,043	100.0	5,043	5,043	1,278	-		
36	R44	4.1039	36	875,166	6,842	100.0	6,842	882,008	214,919	615,906	1,273	100.0	1,273	617,179	150,388	-	5,043	100.0	5,043	5,043	1,229	-		
37	R45	4.2681	37	875,166	6,842	100.0	6,842	882,008	206,651	615,906	1,273	100.0	1,273	617,179	144,603	-	5,043	100.0	5,043	5,043	1,182	-		
38	R46	4.4388	38	875,166	6,842	100.0	6,842	882,008	198,704	615,906	1,273	100.0	1,273	617,179	139,042	-	5,043	100.0	5,043	5,043	1,136	-		
39	R47	4.6164	39	875,166	6,842	100.0	6,842	882,008	191,060	615,906	1,273	100.0	1,273	617,179	133,693	-	5,043	100.0	5,043	5,043	1,092	-		
40	R48	4.8010	40	875,166	6,842	100.0	6,842	882,008	183,713	615,906	1,273	100.0	1,273	617,179	128,552	-	5,043	100.0	5,043	5,043	1,050	-		
41	R49	4.9931	41	875,166	6,842	100.0	6,842	882,008	176,645	615,906	1,273	100.0	1,273	617,179	123,606	-	5,043	100.0	5,043	5,043	1,010	-		
42	R50	5.1928	42	875,166	6,842	100.0	6,842	882,008	169,852	615,906	1,273	100.0	1,273	617,179	118,853	-	5,043	100.0	5,043	5,043	971	-		
43	R51	5.4005	43	875,166	6,842	100.0	6,842	882,008	163,320	615,906	1,273	100.0	1,273	617,179	114,282	-	5,043	100.0	5,043	5,043	934	-		
44	R52	5.6165	44	87																				

氷見地区地区の事業の効用に関する詳細

1 (3) 総便益額算出表-3

評価 期間	年 度	割引 率(1 +割引 率) ①	経 過 年 (t)	国産農産物安定供給効果														割引後 効果額 合計 (千円)	備 考
				更新分 に係る効果 年効果額 (千円) ②	新設及び機能向上分 に係る効果			計											
					年効果額 (千円) ③	効果発 生割合 (%) ④	年発生 効果額 (千円) ⑤=③×④	年効果額 (千円) ⑥=②+⑤	同 左 割引後 (千円) ⑦=⑥/①										
	R8	1.0000	0															評価年	
1	R9	1.0400	1	17,124	3,928	-	-	17,124	16,465								1,539,725		
2	R10	1.0816	2	17,124	3,928	1.5	59	17,183	15,887								1,480,877		
3	R11	1.1249	3	17,124	3,928	4.8	189	17,313	15,391								1,424,662		
4	R12	1.1699	4	17,124	3,928	13.2	518	17,642	15,080								1,371,785		
5	R13	1.2167	5	17,124	3,928	43.2	1,697	18,821	15,469								1,332,297		
6	R14	1.2653	6	17,124	3,928	59.6	2,341	19,465	15,384								1,284,596		
7	R15	1.3159	7	17,124	3,928	81.7	3,209	20,333	15,452								1,239,701		
8	R16	1.3686	8	17,124	3,928	96.7	3,798	20,922	15,287								1,194,899		
9	R17	1.4233	9	17,124	3,928	99.4	3,904	21,028	14,774								1,149,485		
10	R18	1.4802	10	17,124	3,928	100.0	3,928	21,052	14,222								1,108,814		
11	R19	1.5395	11	17,124	3,928	100.0	3,928	21,052	13,675								1,066,104		
12	R20	1.6010	12	17,124	3,928	100.0	3,928	21,052	13,149								1,025,151		
13	R21	1.6651	13	17,124	3,928	100.0	3,928	21,052	12,643								985,688		
14	R22	1.7317	14	17,124	3,928	100.0	3,928	21,052	12,157								947,778		
15	R23	1.8009	15	17,124	3,928	100.0	3,928	21,052	11,690								911,360		
16	R24	1.8730	16	17,124	3,928	100.0	3,928	21,052	11,240								876,278		
17	R25	1.9479	17	17,124	3,928	100.0	3,928	21,052	10,808								842,582		
18	R26	2.0258	18	17,124	3,928	100.0	3,928	21,052	10,392								810,181		
19	R27	2.1068	19	17,124	3,928	100.0	3,928	21,052	9,992								779,033		
20	R28	2.1911	20	17,124	3,928	100.0	3,928	21,052	9,608								749,061		
21	R29	2.2788	21	17,124	3,928	100.0	3,928	21,052	9,238								720,232		
22	R30	2.3699	22	17,124	3,928	100.0	3,928	21,052	8,883								692,547		
23	R31	2.4647	23	17,124	3,928	100.0	3,928	21,052	8,541								665,908		
24	R32	2.5633	24	17,124	3,928	100.0	3,928	21,052	8,213								640,294		
25	R33	2.6658	25	17,124	3,928	100.0	3,928	21,052	7,897								615,676		
26	R34	2.7725	26	17,124	3,928	100.0	3,928	21,052	7,593								591,981		
27	R35	2.8834	27	17,124	3,928	100.0	3,928	21,052	7,301								569,214		
28	R36	2.9987	28	17,124	3,928	100.0	3,928	21,052	7,020								547,326		
29	R37	3.1187	29	17,124	3,928	100.0	3,928	21,052	6,750								526,266		
30	R38	3.2434	30	17,124	3,928	100.0	3,928	21,052	6,491								506,034		
31	R39	3.3731	31	17,124	3,928	100.0	3,928	21,052	6,241								486,575		
32	R40	3.5081	32	17,124	3,928	100.0	3,928	21,052	6,001								467,851		
33	R41	3.6484	33	17,124	3,928	100.0	3,928	21,052	5,770								449,858		
34	R42	3.7943	34	17,124	3,928	100.0	3,928	21,052	5,548								432,562		
35	R43	3.9461	35	17,124	3,928	100.0	3,928	21,052	5,335								415,921		
36	R44	4.1039	36	17,124	3,928	100.0	3,928	21,052	5,130								399,928		
37	R45	4.2681	37	17,124	3,928	100.0	3,928	21,052	4,932								384,543		
38	R46	4.4388	38	17,124	3,928	100.0	3,928	21,052	4,743								369,754		
39	R47	4.6164	39	17,124	3,928	100.0	3,928	21,052	4,560								355,529		
40	R48	4.8010	40	17,124	3,928	100.0	3,928	21,052	4,385								341,859		
41	R49	4.9931	41	17,124	3,928	100.0	3,928	21,052	4,216								328,706		
42	R50	5.1928	42	17,124	3,928	100.0	3,928	21,052	4,054								316,066		
43	R51	5.4005	43	17,124	3,928	100.0	3,928	21,052	3,898								303,910		
44	R52	5.6165	44	17,124	3,928	100.0	3,928	21,052	3,748								292,224		
45	R53	5.8412	45	17,124	3,928	100.0	3,928	21,052	3,604								280,981		
46	R54	6.0748	46	17,124	3,928	100.0	3,928	21,052	3,465								270,175		
47	R55	6.3178	47	17,124	3,928	100.0	3,928	21,052	3,332								259,784		
48	R56	6.5705	48	17,124	3,928	100.0	3,928	21,052	3,204								249,794		
49	R57	6.8333	49	17,124	3,928	100.0	3,928	21,052	3,081								240,186		
50	R58	7.1067	50	17,124	3,928	100.0	3,928	21,052	2,962								230,947		
51	R59	7.3910	51	17,124	3,928	100.0	3,928	21,052	2,848								222,062		
52	R60	7.6866	52	17,124	3,928	100.0	3,928	21,052	2,739								213,523		
合計 (総便益額)									440,488									35,508,273	

※経過年は評価年からの年数

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

氷見地区の事業の効用に関する詳細

2 (1) 作物生産効果－1

作物名	新設・更新	作付面積			効果要因	単 収				生産増減量 ③＝ ①×② ÷100	生産物 単価 ④	増加粗 収益 ⑤＝ ③×④	純 益 率 ⑥	年効果額 ⑦＝ ⑤×⑥
		現況	計画	効果 発生 面積 ①		事業 なかりせ 単収	事業 ありせば 単収	増収率	効果算定 対象 単収 ②					
主食用米	更新	ha 441	ha 441	ha 399 42 441	単収増 (乾田化-1)	kg/10a 453	kg/10a 480	% 6	kg/10a 27	t 107.7	千円/ t -	千円 -	% -	千円 -
					単収増 (乾田化-2)	466	480	3	14	5.9	-	-	-	-
					単収増 (水害防止)	419	480	-	61	269.0	-	-	-	-
					小 計	-	-	-	-	382.6	250	95,650	89	85,129
					主食用米計	-	-	-	-	382.6	-	95,650	-	85,129
米粉用米	新設	4	19	15	作付増	-	-	-	526	78.9	-	-	-	-
					小 計	-	-	-	-	78.9	55	4,340	-	-
	更新	4	4	4 4	単収増 (乾田化-1)	496	526	6	30	1.2	-	-	-	-
					単収増 (水害防止)	428	526	-	98	3.9	-	-	-	-
					小 計	-	-	-	-	5.1	55	281	86	242
					米粉用米計	-	-	-	-	84.0	-	4,621	-	242
飼料用米	新設	28	20	△ 8	作付減	-	-	-	526	△ 42.1	-	-	-	-
					小 計	-	-	-	-	△ 42.1	21	△ 884	-	-
	更新	30	30	27 3 30	単収増 (乾田化-1)	496	526	6	30	8.1	-	-	-	-
					単収増 (乾田化-2)	511	526	3	15	0.5	-	-	-	-
					単収増 (水害防止)	464	526	-	62	18.6	-	-	-	-
					小 計	-	-	-	-	27.2	21	571	28	160
					飼料用米計	-	-	-	-	△ 14.9	-	△ 313	-	160

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

増収率は、「新たな土地改良の効果算定マニュアル」等を基に整理した。

氷見地区の事業の効用に関する詳細

2 (1) 作物生産効果－2

作物名	新設・更新	作付面積			効果要因	単 収				生産増減量 ③＝ ①×② ÷100	生産物 単価 ④	増加粗 収益 ⑤＝ ③×④	純 益 率 ⑥	年効果額 ⑦＝ ⑤×⑥
		現況	計画	効果 発生 面積 ①		事業 なかりせ 単収	事業 ありせば 単収	増収率	効果算定 対象 単収 ②					
WCS用稲	新設	ha 10	ha 17	ha 7	作付増	kg/10a －	kg/10a －	% －	kg/10a 1,232	t 86.2	千円/ t	千円	% －	千円 －
					小 計	－	－	－	－	86.2	4	345	－	－
	更新	11	11	10	単収増 (乾田化-1)	1,162	1,232	6	70	7.0	－	－	－	－
				1	単収増 (乾田化-2)	1,196	1,232	3	36	0.4	－	－	－	－
				11	単収増 (水害防止)	1,065	1,232	－	167	18.4	－	－	－	－
					小 計	－	－	－	－	25.8	4	103	－	－
					WCS用稲計	－	－	－	－	112.0	－	448	－	－
大麦	新設	23	29	6	作付増	－	－	－	346	20.8	－	－	－	－
					小 計	－	－	－	－	20.8	33	686	9	62
	更新	24	24	24	単収増 (田畑輪換)	301	346	15	45	10.8	－	－	90	－
				24	単収増 (水害防止)	291	346	－	55	13.2	－	－	90	－
					小 計	－	－	－	－	24.0	33	792	90	713
					大麦計	－	－	－	－	44.8	－	1,478	－	775
ハトムギ	新設	8	13	5	作付増	－	－	－	250	12.5	－	－	－	－
					小 計	－	－	－	－	12.5	513	6,413	9	577
	更新	8	8	8	単収増 (田畑輪換)	217	250	15	33	2.6	－	－	－	－
				8	単収増 (水害防止)	217	250	－	33	2.6	－	－	－	－
					小 計	－	－	－	－	5.2	513	2,668	90	2,401
					ハトムギ計	－	－	－	－	17.7	－	9,081	－	2,978

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

増収率は、「新たな土地改良の効果算定マニュアル」等を基に整理した。

氷見地区の事業の効用に関する詳細

2 (1) 作物生産効果－3

作物名	新設・更新	作付面積			効果要因	単 収				生産増減量 ③＝ ①×② ÷100	生産物 単価 ④	増加粗 収益 ⑤＝ ③×④	純 益率 ⑥	年効果額 ⑦＝ ⑤×⑥
		現況	計画	効果 発生 面積 ①		事業 なかりせ 単収	事業 ありせば 単収	増収率	効果算定 対象 単収 ②					
マコモタケ	更新	ha 9	ha 9	ha 9	単収増 (水害防止)	kg/10a 376	kg/10a 450	% －	kg/10a 74	t 6.7	千円/ t	千円	%	千円
					小 計	－	－	－	－	6.7	500	3,350	95	3,183
					マコモタケ計	－	－	－	－	6.7	－	3,350	－	3,183
ぶどう	新設	3	7	4	作付増	－	－	－	680	27.2	－	－	－	－
					小 計	－	－	－	－	27.2	400	10,880	22	2,394
	更新	3	3	3	単収増 (水害防止)	640	680	－	40	1.2	－	－	－	－
					小 計	－	－	－	－	1.2	400	480	91	437
					ぶどう計	－	－	－	－	28.4	－	11,360	－	2,831
水田計	新設	76	105									21,780		3,033
	更新	530	530									103,895		92,265
新設		76	105									21,780		3,033
更新		530	530									103,895		92,265
合計												125,675		95,298

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

増収率は、「新たな土地改良の効果算定マニュアル」を基に整理した。

氷見地区地区の事業の効用に関する詳細
2 (2) 営農経費節減効果－1

作物名	ha当たり営農経費				ha当たり 経費 ⑤= (①-②) + (③-④)	効果発生 面積 ⑥	年効果額 ⑦=⑤×⑥
	新設		更新				
	現況営農経費 ①	事業ありせば (計画) 営農経費 ②	事業なかりせば 営農経費 ③	事業ありせば (現況) 営農経費 ④			
	円	円	円	円	円	ha	千円
水稻（排水改良） （湿田→乾田）	—	—	823,672	712,101	111,571	430	47,976
水稻（排水改良） （湿田→半湿田）	—	—	823,672	784,699	38,973	45	1,754
WSC用稲（排水改良） （湿田→乾田）	—	—	444,347	387,262	57,085	10	571
WSC用稲（排水改良） （湿田→半湿田）	—	—	444,347	426,622	17,725	1	18
大麦（排水改良）	—	—	426,395	453,585	△ 27,190	24	△ 653
ハトムギ（排水改良）	—	—	426,395	453,585	△ 27,190	8	△ 218
マコモタケ（排水改良）	—	—	4,169,925	4,091,060	78,865	9	710
ぶどう（排水改良）	—	—	610,343	574,720	35,623	3	107
水田計							50,265
新設							—
更新							50,265
合計							50,265

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

■効果要因は以下のとおり。

- ・水稻（排水改良、更新：事業ありせば→なかりせば）
ほ場の土壌条件が変化により農業機械の作業効率が低下し、経費が増加。
- ・WSC用稲（排水改良、更新：事業ありせば→なかりせば）
ほ場の土壌条件が変化により農業機械の作業効率が低下し、経費が増加。
- ・大麦（排水改良、更新：事業ありせば→なかりせば）
排水施設の機能が喪失した場合を想定し、排水管理にかかる経費が減少。また、ほ場の土壌条件が変化により農業機械の作業効率が低下し、経費が増加。
- ・ハトムギ（排水改良、更新：事業ありせば→なかりせば）
排水施設の機能が喪失した場合を想定し、排水管理にかかる経費が減少。また、ほ場の土壌条件が変化により農業機械の作業効率が低下し、経費が増加。
- ・マコモタケ（排水改良、更新：事業ありせば→なかりせば）
ほ場の土壌条件が変化により農業機械の作業効率が低下し、経費が増加。
- ・ぶどう（排水改良、更新：事業ありせば→なかりせば）
ほ場の土壌条件が変化により農業機械の作業効率が低下し、経費が増加。

令和9年度新規地区採択チェックリスト

(1)国営かんがい排水事業

(局名:北陸農政局)(地区名:氷見^{ひみ})

3. 特定監視項目

1. 地質状況
地質状況に基づいた施設計画としている。
過去の地質調査結果の確認及び増設ポンプ設備設置予定箇所等において地質調査を行っており、地質状況に基づいた施設設計となっている。

2. 受益面積
最近年の面積を把握している。
本事業の受益面積は、前歴事業である国営氷見土地改良事業における受益範囲を基に、氷見市土地改良区からの土地原簿から一定地域を確認し、土地登記簿により令和6年7月時点で受益面積を積み上げている。

天竜川下流二期地区の事業の効用に関する説明資料

1 総費用総便益比の算定

(1) 総費用総便益比の総括

(単位：千円)

区 分		算定式	数 値		
総費用（現在価値化）		①＝②＋③	100,570,279		
当該事業による費用		②	37,599,552		
関連事業による費用、資産価額、再整備費		③	62,970,727		
評価期間（当該事業の工事期間＋40年）		④	59年		
社会的割引率			4%		
総便益額（現在価値化）		⑤	120,939,318		
総費用総便益比		⑥＝⑤÷①	1.20		
感度分析結果	総費用（＋10％～△10％）		1.15～1.25		
	総便益（△10％～＋10％）		1.08～1.31		
	社会的割引率		4%	2%	1%
			1.20	1.39	1.53

(2) 総費用の総括

(単位：千円)

区分	資産価額 （事業着工 時点） ①	当該事業に よる費用 ②	関連事業に よる費用 ③	再整備費 ④	資産価額 （評価期間 終了時点） ⑤	総費用 ⑥＝①＋②＋ ③＋④－⑤
国営造成施設	7,489,304	36,322,717	－	10,597,582	4,536,490	49,873,113
県営造成施設	11,333,131	1,276,835	－	39,706,065	4,627,988	47,688,043
その他造成施設	12,649	－	－	3,353,719	357,245	3,009,123
合 計	18,835,084	37,599,552	－	53,657,366	9,521,723	100,570,279

※各造成施設の詳細については「天竜川下流二期地区の事業の効用に関する詳細」を参照

(3) 年総効果額、総便益額の総括

(単位：千円)

効果項目 \ 区 分	年総効果 （便益）額	総便益額	効果の要因
食料の安定供給の確保に関する効果			
作物生産効果	4,495,138	100,491,455	用水施設の整備を実施した場合と実施しなかった場合での作物生産量が 増減する効果
品質向上効果	394,982	8,898,304	用水施設の整備を実施した場合と実施しなかった場合での生産物の価格 が維持、向上する効果
営農経費節減効果	△40,553	△913,596	用水施設の整備を実施した場合と実施しなかった場合での営農経費が 増減する効果

維持管理費節減効果	△207, 431	△5, 719, 502	用水施設の整備を実施した場合と実施しなかった場合での施設の維持管理費が増減する効果
農村の振興に関する効果			
地域用水効果	19, 159	431, 623	用水施設の整備を実施した場合と実施しなかった場合での地域用水を利用する経費が節減する効果
その他の効果			
災害時の復旧対策費軽減効果	171, 659	3, 038, 827	耐震整備を実施した場合と実施しなかった場合での大規模地震の発生に伴う被害が軽減する効果
国産農産物安定供給効果	660, 562	14, 712, 207	用水施設の整備により農業生産性の向上や営農条件等の改善が図られ、国産農産物の安定供給に寄与する効果
合 計	5, 493, 516	120, 939, 318	

※総便益の算定の詳細については「天竜川下流二期地区の事業の効用に関する詳細」を参照

2 年効果額の算定方法

(1) 作物生産効果

○効果の考え方

事業を実施した場合（事業ありせば）と実施しなかった場合（事業なかりせば）の作物生産量の比較により年効果額を算定した。

○対象作物

天竜川下流二期地区の事業の効用に関する詳細のとおり

○年効果額算定式

$$\text{年効果額} = \text{単収増加年効果額}^{\ast 1} + \text{作付増減年効果額}^{\ast 2}$$

$$\ast 1 \quad \text{単収増加年効果額} = \text{作付面積} \times (\text{事業ありせば単収} - \text{事業なかりせば単収}) \times \text{単価} \times \text{単収増加の純益率}$$

$$\ast 2 \quad \text{作付増減年効果額} = (\text{事業ありせば作付面積} - \text{事業なかりせば作付面積}) \times \text{単収} \times \text{単価} \times \text{作付増減の純益率}$$

○年効果額の算定

(単位：千円)

区 分	作付面積 (ha)		増加粗収益額	年効果額
	現況	計画		
新設整備	6, 651	6, 677	493, 322	100, 850
更新整備	7, 504	7, 504	4, 940, 914	4, 394, 288
合 計			5, 434, 236	4, 495, 138

※作物生産効果における作物毎の詳細については「天竜川下流二期地区の事業の効用に関する詳細」を参照

- ・作付面積：各作物の作付面積は以下のとおり
「現況作付面積」・関係市町の作付実績に基づき決定した。
「計画作付面積」・新設整備では、県、関係市町の農業振興計画や関係者の意向を踏まえ決定した。
・更新整備では、現況施設のもとで作物生産量が維持される面積であり、現況＝計画とした。
- ・単収：増加粗収益額の算定に用いる各作物の単収については以下のとおり
「事業なかりせば単収」・新設整備では、現況単収であり、農林水産統計等による最近5か年の平均単収により算定した。
・更新整備では、用水機能の喪失時の単収であり、現況単収に効果要因別の失われる増収率分を減じて算定した。
「事業ありせば単収」・新設整備では、作物増減による効果のため現況単収であり、農林水産統計等による最近5か年の平均単収により算定した。
・更新整備では現況単収であり、農林水産統計等による最近5か年の平均単収により算定した。
「効果算定対象単収」・事業ありせば単収と事業なかりせば単収の差である。
(作付増においては、地域の計画単収、作付減においては地域の現況単収である。)
- ・生産物単価：関係JAからの聞き取り等による最近5か年の販売価格に消費者物価指数を反映した価格を用いた。
- ・純益率：「土地改良事業の費用対効果分析に必要な諸係数について」による標準値等を用いた。

(2) 品質向上効果

○効果の考え方

事業を実施した場合（事業ありせば）と実施しなかった場合（事業なかりせば）の生産物価格の比較により年効果額を算定した。

○対象作物

天竜川下流二期地区の事業の効用に関する詳細のとおり

○年効果額算定式

年効果額 ＝ （事業ありせば作物単価－事業なかりせば作物単価） × 効果発生量

○年効果額の算定

(単位：千円)

区分	効果発生要因		年効果額
	単価向上	商品化率向上	
新設整備	－	－	－
更新整備	394,982	－	394,982
合計	394,982	－	394,982

※品質向上効果における作物毎の詳細については「天竜川下流二期地区の事業の効用に関する詳細」を参照。

- ・効果対象数量：作物生産効果における作付面積、単収から算定された生産量。

- ・生産物単価：「現況単価」は関係 JA からの聞き取り等による最近 5 か年の販売価格に消費者物価指数を反映した価格を用いた。なお、本事業による農産物の品質の向上は見込めないことから「現況単価」＝「事業ありせば単価」とした。
「事業なかりせば単価」は、「現況単価」に畑地かんがい導入地区の試験データを用いて算出した畑地かんがい品質向上率を考慮し決定した。

(3) 営農経費節減効果

○効果の考え方

事業を実施した場合(事業ありせば)と実施しなかった場合(事業なかりせば)の労働費、機械経費、その他の生産資材費について比較し、それらの営農経費の増減から年効果額を算定した。

○対象作物

天竜川下流二期地区の事業の効用に関する詳細のとおり

○年効果額算定式

年効果額 ＝ (事業なかりせば単位面積当たり営農経費 － 事業ありせば単位面積当たり営農経費) × 効果発生面積

○年効果額の算定

(単位：千円)

区分	事業なかりせば①	事業ありせば②	年効果額 ③＝①－②
新設整備	現況営農経費	計画営農経費	－
更新整備	事業なかりせば営農経費	現況営農経費	△40,553
合 計			△40,553

※営農経費節減効果における作物毎の営農経費の詳細については「天竜川下流二期地区の事業の効用に関する詳細」を参照

- ・現況営農経費：地域の現在の営農経費であり、静岡県農業経営指標等に基づき算定した。
- ・計画営農経費：本事業による営農経費の節減は見込めないことから、「計画営農経費＝現況営農経費」とした。
- ・事業なかりせば営農経費：地域の水利施設の機能が失われた場合に想定される水管理作業に係る経費を考慮し算定した。

(4) 維持管理費節減効果

○効果の考え方

事業を実施した場合(事業ありせば)と実施しなかった場合(事業なかりせば)を比較し、施設の維持管理費の増減をもって年効果額を算定した。

○対象施設

総費用に計上した、当該事業で整備される施設及び受益地内で一体的に効用を発揮している全ての土地改良施設

○年効果額算定式

年効果額 ＝ 事業なかりせば維持管理費 － 事業ありせば維持管理費

○年効果額の算定

(単位：千円)

区分	新設	現況維持管理費①	事業ありせば維持管理費②	年効果額 ③＝①－②
	更新	事業なかりせば維持管理費①	現況維持管理費②	
新設整備		565,706	429,834	135,872
更新整備		222,403	565,706	△343,303
合 計				△207,431

- ・事業なかりせば維持管理費：現況施設の維持管理費を基に、施設の機能を失った場合に想定される安全管理等に最低限必要な維持管理費を算定した。
- ・事業ありせば維持管理費：現況施設の維持管理費を基に、本事業の実施により見込まれる維持管理費の増減を考慮し算定した。
- ・現況維持管理費：現況施設の維持管理費に基づき算定した。

(５) 地域用水効果

○効果の考え方

事業を実施した場合（事業ありせば）と実施しなかった場合（事業なかりせば）を比較し、地域用水を利用する経費の増減により年効果額を算定した。

○対象施設 用水路

○年効果額算定式

$$\begin{aligned} \text{年効果額} &= \text{事業なかりせば想定される地域用水の利用経費} \\ &\quad - \text{事業ありせば想定される地域用水の利用経費} \end{aligned}$$

○年効果額の算定

1) 防火用水効果

$$\begin{aligned} \text{年効果額} &= (\text{事業ありせば地域集落等の防火水槽等の設置の計画節減数} \\ &\quad \text{又は事業なかりせば地域集落等の防火水槽等の設置の想定増加数} \\ &\quad \times 1 \text{ 箇所当たりの建設費}) \times \text{還元率} \end{aligned}$$

(単位：千円)

区 分	事業なかりせば 想定増加数（箇所） ①	1 箇所当たり 建設費 ②	還元率 ③	年効果額 ④＝①×②×③
更新整備	38	8,723	0.0578	19,159

- ・事業なかりせば想定増加数：現在、消防水利施設に位置付けられている土地改良施設を消防施設に代替えた場合の施設数を算定した。
- ・1 箇所当たり建設費：近傍地区の防火水槽の建設費を基に算定した。
- ・還元率：施設が有している総効果額を耐用年数期間における年効果額に換算するための係数。

（６）その他の効果（災害時の復旧対策費軽減効果）

○効果の考え方

事業を実施した場合（事業ありせば）と実施しなかった場合（事業なかりせば）を比較し、大規模地震の発生に伴う被害が防止又は軽減される年効果額を算定した。

○対象資産

農業用施設

○年効果額算定式

年効果額 ＝ 事業なかりせば想定される復旧対策費用の軽減に係る総効果額 × 還元率

○年効果額の算定

（単位：千円）

区分	総効果額 ①	割引率	効果算定期間 (年)	還元率 ②	年効果額 ③＝①×②
新設整備	3,866,188	0.04	59	0.0444	171,659

- ・総効果額：復旧対策費に地震発生確率を乗じた割引後の年別効果額の総計値
- ・還元率：総効果額を効果算定期間における年効果額に換算するための係数

（７）その他の効果（国産農産物安定供給効果）

○効果の考え方

国産農産物の安定供給に対して国民が感じる安心感の効果であるため、一般国民に対してWTP（Willingness To Pay：支払意思額）を尋ねることで、その価値を直接的に評価する手法であるCVM（Contingent Valuation Method：仮想市場法）により年効果額を算定した。

○対象作物

作物生産効果算定作物のうち、食料生産に係るもの

○年効果額算定式

年効果額 ＝ 年増加粗収益額 × 単位食料生産額当たり効果額
 ＋ 年増加供給熱量 × 単位供給熱量当たり効果額（原単位）

○年効果額の算定

（単位：千円）

区 分	増加粗収益額 ①	増加供給熱量 (千 kcal) ②	単位食料生産 額当たり効果 額 (円/千円) ③	単位供給熱量 当たり効果額 (円/千 kcal) ④	当該土地改良 事業における 年効果額 ⑤＝①×③＋ ②×④
新設整備	493,322	△222,797	49	9.9	21,967
更新整備	4,337,647	43,035,416	49	9.9	638,595
合 計	4,830,969	42,812,619			660,562

増加粗収益額、増加供給熱量：作物生産効果の算定過程で整理した結果を用いて、事業ありせばと事業なかりせばにおける増加粗収益額及び増加供給熱量を整理した。

単位食料生産額当たり効果額、単位供給熱量当たり効果額：一般国民に対し国産農産物の安定供給についてWTPを尋ねるCVMにより、年効果額の算定に用いる単位食料生産額当たり効果額（原単位）は 49 円/千円、単位供給熱量当たり効果額（原単位）は 9.9 円/千 kcal とした。

3 評価に使用した資料

【共通】

- ・農林水産省農村振興局整備部(監修) [改訂版] 「新たな土地改良の効果算定マニュアル」 大成出版社（平成 27 年 9 月 5 日第 2 版第 1 刷）
- ・土地改良事業の費用対効果分析マニュアルの制定について（平成19年 3 月28日付け18農振第1597号農林水産省農村振興局企画部長通知（最終改正：令和 7 年 4 月 2 日））
- ・「国産農産物安定供給効果」について（平成 27 年 3 月 27 日付け 26農振第2072号農林水産省農村振興局整備部長通知（令和 5 年 4 月 3 日一部改正））
- ・土地改良事業の費用対効果分析に必要な諸係数について（平成19年 3 月28日付け 18農振第1598号農林水産省農村振興局企画部長通知（令和 7 年 4 月 1 日一部改正））
- ・土地改良事業の費用対効果分析に必要な諸係数等について（令和 7 年 4 月 1 日付け農林水産省農村振興局整備部土地改良企画課課長補佐（事業効果班）事務連絡）
- ・土地改良事業の感度分析について（平成 31 年 4 月 1 日付け 30農振第3976号農林水産省農村振興局整備部長通知（最終改正：令和 6 年 4 月 1 日））

【費用】

- ・当該事業費及び関連事業費に係る一般に公表されていない諸元については、関東農政局西関東土地改良調査管理事務所調べ

【便益】

- ・農林水産省大臣官房統計部「令和元年～令和 5 年作物統計」
- ・効果算定に必要な各種諸元については、関東農政局西関東土地改良調査管理事務所調べ

天竜川下流二期地区の事業の効用に関する詳細
1 (2) 総費用の総括－1

(単位：千円)

区 分	施 設 名 (又は工種)	資産価額 (事業着工時 点) ①	当該事業による 費用 ②	関連事業による 費用 ③	再整備費 ④	資産価額 (評価期間終了 時点) ⑤	総費用 ⑥＝①＋②＋③ ＋④－⑤
国 営 造 成 施 設	船明ダム	3,174,817	－	－	2,526,104	547,555	5,153,366
	船明ダム[耐震]	－	107,449	－	－	3,341	104,108
	船明取水工	0	803,755	－	243,746	24,068	1,023,433
	左岸導水路	739,113	1,579,435	－	198,518	142,066	2,375,000
	社山幹線水路	57,177	6,782,858	－	912,992	816,998	6,936,029
	寺谷幹線水路	108,999	2,823,810	－	471,944	247,678	3,157,075
	高木幹線水路	16,195	－	－	306,261	54,459	267,997
	豊沢管路	11,657	512,082	－	137,957	29,182	632,514
	磐田原管路	96,071	987,704	－	266,199	77,754	1,272,220
	向笠御厨幹線水路	3,829	1,005,895	－	164,018	104,582	1,069,160
	浅羽管路	78,555	222,429	－	60,057	26,952	334,089
	右岸導水路	515,396	1,072,032	－	－	4,263	1,583,165
	浜名導水路	0	396,930	－	72,990	43,249	426,671
	新浜名幹線水路	1,211,684	15,819,165	－	2,939,266	1,788,947	18,181,168
	磐田原揚水機場	40,549	416,046	－	229,743	52,604	633,734
	豊沢揚水機場	10,210	292,072	－	149,796	32,194	419,884
	中央水管理施設	0	295,063	－	456,385	43,199	708,249
	新浜名幹線水路調整池	0	1,243,305	－	251,415	129,056	1,365,664
	新浜名揚水機場	20,396	97,751	－	－	191	117,956
	新橋揚水機場	17,028	345,320	－	256,823	64,901	554,270
	浅羽揚水機場	1,387,628	700,301	－	787,695	205,214	2,670,410
	浅羽揚水機場調整池	0	819,315	－	165,673	98,037	886,951
	計	7,489,304	36,322,717	－	10,597,582	4,536,490	49,873,113

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

天竜川下流二期地区の事業の効用に関する詳細
1 (2) 総費用の総括－2

(単位：千円)

区 分	施 設 名 (又は工種)	資産価額 (事業着工時 点) ①	当該事業による 費用 ②	関連事業による 費用 ③	再整備費 ④	資産価額 (評価期間終了 時点) ⑤	総費用 ⑥＝①＋②＋③ ＋④－⑤
県 営 造 成 施 設	寺谷用水土地改良区水管理施設	41,389	317,260	－	570,244	65,371	863,522
	磐田用水東部改良区水管理施設	41,389	250,776	－	465,399	51,994	705,570
	浜松土地改良区水管理施設	925,775	708,799	－	1,246,847	144,778	2,736,643
	豊田川用水路	0	－	－	34,861	3,700	31,161
	安間川用水路	20,315	－	－	53,854	9,283	64,886
	豊西用水路	21,198	－	－	101,151	17,436	104,913
	東部用水路	25,330	－	－	120,865	20,835	125,360
	下飯田用水路	104,238	－	－	414,492	71,450	447,280
	五島揚水機場	96,497	－	－	461,829	42,170	516,156
	浜名中央用水路	0	－	－	1,979,976	210,143	1,769,833
	浜名西部用水路	480,506	－	－	1,273,782	219,575	1,534,713
	浜名用水路	15,235	－	－	249,970	44,656	220,549
	新津1～5号用水路	0	－	－	716,676	76,064	640,612
	広瀬用水	6,938	－	－	23,647	4,076	26,509
	高木用水	420,049	－	－	1,113,516	191,948	1,341,617
	掛塚用水	66,513	－	－	317,380	54,710	329,183
	前野用水	156,701	－	－	415,401	71,607	500,495
	尼ヶ崎西用水	48,446	－	－	231,169	39,849	239,766
	尼ヶ崎東用水	72,533	－	－	288,419	49,718	311,234
	一色用水	111,861	－	－	381,257	65,721	427,397
	大原用水	0	－	－	136,394	14,476	121,918
	竜洋揚水機場	1,304	－	－	29,115	2,658	27,761
	宮之一色ポンプ場	132,401	－	－	179,720	22,001	290,120
	宮之一色パイプライン	608,305	－	－	566,626	65,672	1,109,259
	ぼう僧東ポンプ場	107,576	－	－	146,023	17,876	235,723
	ぼう僧東パイプライン	409,674	－	－	381,604	44,228	747,050

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

天竜川下流二期地区の事業の効用に関する詳細
1 (2) 総費用の総括ー3

(単位：千円)

区 分	施 設 名 (又は工種)	資産価額 (事業着工時 点) ①	当該事業による 費用 ②	関連事業による 費用 ③	再整備費 ④	資産価額 (評価期間終了 時点) ⑤	総費用 ⑥=①+②+③ +④-⑤
県 営 造 成 施 設	ぼう偕西ポンプ場	214, 114	-	-	290, 638	35, 578	469, 174
	ぼう偕西パイプライン	686, 929	-	-	639, 863	74, 160	1, 252, 632
	前野・草崎ポンプ場	191, 355	-	-	259, 741	31, 796	419, 300
	前野・草崎パイプライン	827, 629	-	-	770, 922	89, 350	1, 509, 201
	尼ヶ崎南ポンプ場	225, 494	-	-	306, 083	37, 469	494, 108
	尼ヶ崎南パイプライン	802, 797	-	-	747, 791	86, 669	1, 463, 919
	小島ポンプ場	87, 921	-	-	119, 342	14, 609	192, 654
	小島パイプライン	384, 847	-	-	358, 478	41, 548	701, 777
	福田大原ポンプ場	75, 509	-	-	102, 496	12, 547	165, 458
	福田大原パイプライン	384, 847	-	-	358, 478	41, 548	701, 777
	塩新田分水用水	8, 280	-	-	7, 712	894	15, 098
	一色補給2号用水	0	-	-	71, 427	7, 581	63, 846
	広瀬パイプライン	1, 291, 329	-	-	1, 389, 977	147, 524	2, 533, 782
	岩田パイプライン	1, 154, 130	-	-	1, 242, 297	131, 850	2, 264, 577
	大和田用水線	0	-	-	51, 116	8, 811	42, 305
	小島用水線上流部	0	-	-	31, 406	5, 414	25, 992
	磐田原畑かん機場	316, 311	-	-	1, 412, 884	129, 013	1, 600, 182
	福田用水	177, 006	-	-	703, 844	121, 329	759, 521
	豊和機場	48, 815	-	-	297, 338	27, 150	319, 003
	今井田原用水	117, 174	-	-	559, 114	96, 380	579, 908
	浅名用水	0	-	-	335, 864	35, 647	300, 217
	浅羽用水	0	-	-	1, 945, 367	77, 508	1, 867, 859
	一宮揚水機場	22, 148	-	-	148, 395	13, 551	156, 992
	浅名揚水機場	27, 379	-	-	131, 032	11, 964	146, 447
	山梨揚水機場	17, 453	-	-	116, 921	10, 675	123, 699

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

天竜川下流二期地区の事業の効用に関する詳細
1 (2) 総費用の総括－4

(単位：千円)

区 分	施 設 名 (又は工種)	資産価額 (事業着工時 点) ①	当該事業による 費用 ②	関連事業による 費用 ③	再整備費 ④	資産価額 (評価期間終了 時点) ⑤	総費用 ⑥＝①＋②＋③ ＋④－⑤
県 営 造 成 施 設	春岡揚水機場	18,224	－	－	38,472	4,267	52,429
	県営畑かん(豊笠)機場	173,063	－	－	773,037	70,587	875,513
	県営導水路(豊笠)	0	－	－	1,229,347	130,475	1,098,872
	尼ヶ崎西線	18,037	－	－	23,297	2,473	38,861
	本郷用水線	0	－	－	42,665	4,528	38,137
	池田用水線	0	－	－	152,260	26,247	126,013
	大原用水線	0	－	－	291,181	50,194	240,987
	大之郷用水線	0	－	－	41,032	7,073	33,959
	永源寺用水線	0	－	－	111,902	19,290	92,612
	長池用水線	0	－	－	28,797	4,964	23,833
	深見用水路	0	－	－	66,795	11,514	55,281
	徳光東用水路	0	－	－	67,257	11,594	55,663
	田原用水路	0	－	－	118,877	20,492	98,385
	久能用水路	0	－	－	64,180	11,063	53,117
	山科用水路	0	－	－	44,496	7,670	36,826
	豊和用水路	0	－	－	42,364	7,303	35,061
	浅羽用水路	0	－	－	30,009	5,173	24,836
	浅羽西部用水路	0	－	－	23,209	4,001	19,208
	福田東部用水路	0	－	－	85,212	14,689	70,523
	福田西部用水路	0	－	－	79,981	13,787	66,194
	福田中島用水路	0	－	－	75,762	13,060	62,702
	国営浜名導水路地区末端施設	486	－	－	128,930	13,734	115,682
	浜名導水路工区外地区末端施設	663	－	－	280,571	29,846	251,388
	浜名西部用水路地区末端施設	2,849	－	－	878,149	93,494	787,504
	半田ポンプ受益地区末端施設	26	－	－	7,230	770	6,486

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

天竜川下流二期地区の事業の効用に関する詳細
1 (2) 総費用の総括－5

(単位：千円)

区 分	施 設 名 (又は工種)	資産価額 (事業着工時 点) ①	当該事業による 費用 ②	関連事業による 費用 ③	再整備費 ④	資産価額 (評価期間終了 時点) ⑤	総費用 ⑥＝①＋②＋③ ＋④－⑤
県 営 造 成 施 設	曳馬ポンプ受益地区末端施設	28	－	－	7,393	788	6,633
	浜名中央用水路地区末端施設	1,571	－	－	415,849	44,297	373,123
	国営新浜名幹線地区末端施設	2,557	－	－	676,761	72,090	607,228
	国営新浜名幹線西南部地区末端施設	562	－	－	149,095	15,882	133,775
	新浜名幹線工区外地区末端施設	114	－	－	56,770	6,037	50,847
	茄子ポンプ受益地区末端施設	44	－	－	11,508	1,226	10,326
	安間川用水路地区末端施設	1,372	－	－	362,664	38,632	325,404
	羽鳥用水路地区末端施設	1,397	－	－	370,478	39,464	332,411
	豊田川用水路地区末端施設	1,647	－	－	436,026	46,446	391,227
	東部用水路地区末端施設	1,509	－	－	451,024	48,024	404,509
	下飯田用水路地区末端施設	4,191	－	－	1,261,952	134,367	1,131,776
	新津用水路地区末端施設	1,485	－	－	504,441	53,691	452,235
	磐田原県営パイプライン	0	－	－	2,302,431	244,366	2,058,065
	県営豊笠畑かんパイプライン	1,644	－	－	435,366	46,376	390,634
	県ほ 三川1期地区(用水路)	1,334	－	－	262,844	28,034	236,144
	県ほ 三川2期地区(用水路)	2,530	－	－	665,230	70,864	596,896
	県ほ 山梨地区(用水路)	886	－	－	183,338	19,549	164,675
	県ほ 浅羽地区(用水路)	8,281	－	－	1,711,777	182,529	1,537,529
	県土地総 春岡地区(用水路)	95,095	－	－	140,954	15,013	221,036
	県土地総 福田豊浜地区(用水路)	1,053	－	－	168,907	18,035	151,925
	県土地総 笠原地区(用水路)	16,843	－	－	107,502	11,430	112,915
	計	11,333,131	1,276,835	－	39,706,065	4,627,988	47,688,043

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

天竜川下流二期地区の事業の効用に関する詳細
1 (2) 総費用の総括－6

(単位：千円)

区 分	施 設 名 (又は工種)	資産価額 (事業着工時 点)	当該事業による 費用	関連事業による 費用	再整備費	資産価額 (評価期間終了 時点)	総費用 ⑥＝①＋②＋③ ＋④－⑤
		①	②	③	④	⑤	
造 成 施 設 そ の 他	社山用水地区末端施設	926	－	－	245,692	26,171	220,447
	今井田原用水地区末端施設	1,537	－	－	407,139	43,369	365,307
	山科用水地区末端施設	37	－	－	9,547	1,017	8,567
	久能用水地区末端施設	109	－	－	28,487	3,035	25,561
	徳光用水地区末端施設	411	－	－	109,817	11,698	98,530
	向笠・大見・福田用水地区末端施設	1,990	－	－	529,047	56,354	474,683
	福田中島用水地区末端施設	281	－	－	74,351	7,920	66,712
	福田五十子用水地区末端施設	525	－	－	139,716	14,883	125,358
	福田高島用水地区末端施設	445	－	－	117,644	12,532	105,557
	豊和用水地区末端施設	197	－	－	52,586	5,601	47,182
	浅名用水地区末端施設	496	－	－	131,431	14,000	117,927
	掛塚用水地区末端施設	434	－	－	114,575	12,205	102,804
	高木用水上流地区末端施設	455	－	－	120,039	12,787	107,707
	高木用水下流地区末端施設	488	－	－	129,192	13,762	115,918
	尼ヶ崎西用水地区末端施設	369	－	－	97,921	10,431	87,859
	尼ヶ崎東用水地区末端施設	246	－	－	65,403	6,967	58,682
	一色用水地区末端施設	707	－	－	187,476	19,970	168,213
	大原用水地区末端施設	1,468	－	－	389,005	41,438	349,035
	寺谷用水地区末端施設	795	－	－	210,620	22,436	188,979
	前野用水地区末端施設	492	－	－	130,564	13,908	117,148
	左岸導水地区末端施設	60	－	－	15,630	1,665	14,025
	下野部パイプライン地区末端施設	181	－	－	47,837	5,096	42,922
	計	12,649	－	－	3,353,719	357,245	3,009,123
合計		18,835,084	37,599,552	－	53,657,366	9,521,723	100,570,279

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

天竜川下流二期地区の事業の効用に関する詳細

1 (3) 総便益額算出表-1

評価期間	年度	割引率(1+割引率) ¹	経過年(t)	作物生産効果							品質向上効果							営農経費節減効果						
				更新分に係る効果		新設及び機能向上に係る効果		計			更新分に係る効果		新設及び機能向上に係る効果		計			更新分に係る効果		新設及び機能向上に係る効果		計		
				年効果額	年効果額	効果発生割合(%)	年効果額(千円)	同左割引後(千円)	年効果額	年効果額	効果発生割合(%)	年効果額	年効果額	効果発生割合(%)	年効果額(千円)	同左割引後(千円)	年効果額	年効果額	効果発生割合(%)	年効果額	年効果額	効果発生割合(%)	年効果額(千円)	同左割引後(千円)
				(千円) (2)	(千円) (3)	(%) (4)	(千円) (5)=3×(4)	(千円) (6)=2+(5)	(千円) (7)=(6)÷(1)	(千円) (2)	(千円) (3)	(%) (4)	(千円) (5)=3×(4)	(千円) (6)=2+(5)	(千円) (7)=(6)÷(1)	(千円) (2)	(千円) (3)	(%) (4)	(千円) (5)=3×(4)	(千円) (6)=2+(5)	(千円) (7)=(6)÷(1)			
R. 8	1.0000	0																						
1	R. 9	1.0400	1	4,394,288	100,850	-	-	4,394,288	4,225,277	394,982	-	-	-	394,982	379,790	△ 40,553	-	-	-	△ 40,553	△ 38,993			
2	R. 10	1.0816	2	4,394,288	100,850	0.6	605	4,394,893	4,063,326	394,982	-	-	-	394,982	365,183	△ 40,553	-	-	-	△ 40,553	△ 37,494			
3	R. 11	1.1249	3	4,394,288	100,850	2.7	2,723	4,397,011	3,908,802	394,982	-	-	-	394,982	351,126	△ 40,553	-	-	-	△ 40,553	△ 36,050			
4	R. 12	1.1699	4	4,394,288	100,850	9.4	9,480	4,403,768	3,764,226	394,982	-	-	-	394,982	337,620	△ 40,553	-	-	-	△ 40,553	△ 34,664			
5	R. 13	1.2167	5	4,394,288	100,850	18.2	18,355	4,412,643	3,626,731	394,982	-	-	-	394,982	324,634	△ 40,553	-	-	-	△ 40,553	△ 33,330			
6	R. 14	1.2653	6	4,394,288	100,850	24.9	25,112	4,419,400	3,492,769	394,982	-	-	-	394,982	312,165	△ 40,553	-	-	-	△ 40,553	△ 32,050			
7	R. 15	1.3159	7	4,394,288	100,850	29.7	29,952	4,424,240	3,362,140	394,982	-	-	-	394,982	300,161	△ 40,553	-	-	-	△ 40,553	△ 30,818			
8	R. 16	1.3686	8	4,394,288	100,850	34.1	34,390	4,428,678	3,235,918	394,982	-	-	-	394,982	288,603	△ 40,553	-	-	-	△ 40,553	△ 29,631			
9	R. 17	1.4233	9	4,394,288	100,850	40.8	41,147	4,435,435	3,116,304	394,982	-	-	-	394,982	277,511	△ 40,553	-	-	-	△ 40,553	△ 28,492			
10	R. 18	1.4802	10	4,394,288	100,850	47.6	48,005	4,442,293	3,001,144	394,982	-	-	-	394,982	266,844	△ 40,553	-	-	-	△ 40,553	△ 27,397			
11	R. 19	1.5395	11	4,394,288	100,850	55.8	56,274	4,450,562	2,890,914	394,982	-	-	-	394,982	256,565	△ 40,553	-	-	-	△ 40,553	△ 26,342			
12	R. 20	1.6010	12	4,394,288	100,850	63.0	63,536	4,457,824	2,784,400	394,982	-	-	-	394,982	246,710	△ 40,553	-	-	-	△ 40,553	△ 25,330			
13	R. 21	1.6651	13	4,394,288	100,850	69.1	69,687	4,463,975	2,680,905	394,982	-	-	-	394,982	237,212	△ 40,553	-	-	-	△ 40,553	△ 24,355			
14	R. 22	1.7317	14	4,394,288	100,850	75.5	76,142	4,470,430	2,581,527	394,982	-	-	-	394,982	228,089	△ 40,553	-	-	-	△ 40,553	△ 23,418			
15	R. 23	1.8009	15	4,394,288	100,850	80.1	80,781	4,475,069	2,484,907	394,982	-	-	-	394,982	219,325	△ 40,553	-	-	-	△ 40,553	△ 22,518			
16	R. 24	1.8730	16	4,394,288	100,850	85.0	85,723	4,480,011	2,391,891	394,982	-	-	-	394,982	210,882	△ 40,553	-	-	-	△ 40,553	△ 21,651			
17	R. 25	1.9479	17	4,394,288	100,850	89.1	89,857	4,484,145	2,302,041	394,982	-	-	-	394,982	202,773	△ 40,553	-	-	-	△ 40,553	△ 20,819			
18	R. 26	2.0258	18	4,394,288	100,850	93.6	94,396	4,488,684	2,215,759	394,982	-	-	-	394,982	194,976	△ 40,553	-	-	-	△ 40,553	△ 20,018			
19	R. 27	2.1068	19	4,394,288	100,850	98.6	99,438	4,493,726	2,132,963	394,982	-	-	-	394,982	187,480	△ 40,553	-	-	-	△ 40,553	△ 19,249			
20	R. 28	2.1911	20	4,394,288	100,850	100.0	100,850	4,495,138	2,051,544	394,982	-	-	-	394,982	180,267	△ 40,553	-	-	-	△ 40,553	△ 18,508			
21	R. 29	2.2788	21	4,394,288	100,850	100.0	100,850	4,495,138	1,972,590	394,982	-	-	-	394,982	173,329	△ 40,553	-	-	-	△ 40,553	△ 17,796			
22	R. 30	2.3699	22	4,394,288	100,850	100.0	100,850	4,495,138	1,896,763	394,982	-	-	-	394,982	166,666	△ 40,553	-	-	-	△ 40,553	△ 17,112			
23	R. 31	2.4647	23	4,394,288	100,850	100.0	100,850	4,495,138	1,823,807	394,982	-	-	-	394,982	160,256	△ 40,553	-	-	-	△ 40,553	△ 16,454			
24	R. 32	2.5633	24	4,394,288	100,850	100.0	100,850	4,495,138	1,753,653	394,982	-	-	-	394,982	154,091	△ 40,553	-	-	-	△ 40,553	△ 15,821			
25	R. 33	2.6658	25	4,394,288	100,850	100.0	100,850	4,495,138	1,686,225	394,982	-	-	-	394,982	148,166	△ 40,553	-	-	-	△ 40,553	△ 15,212			
26	R. 34	2.7725	26	4,394,288	100,850	100.0	100,850	4,495,138	1,621,330	394,982	-	-	-	394,982	142,464	△ 40,553	-	-	-	△ 40,553	△ 14,627			
27	R. 35	2.8834	27	4,394,288	100,850	100.0	100,850	4,495,138	1,558,971	394,982	-	-	-	394,982	136,985	△ 40,553	-	-	-	△ 40,553	△ 14,064			
28	R. 36	2.9987	28	4,394,288	100,850	100.0	100,850	4,495,138	1,499,029	394,982	-	-	-	394,982	131,718	△ 40,553	-	-	-	△ 40,553	△ 13,524			
29	R. 37	3.1187	29	4,394,288	100,850	100.0	100,850	4,495,138	1,441,350	394,982	-	-	-	394,982	126,650	△ 40,553	-	-	-	△ 40,553	△ 13,003			
30	R. 38	3.2434	30	4,394,288	100,850	100.0	100,850	4,495,138	1,385,934	394,982	-	-	-	394,982	121,780	△ 40,553	-	-	-	△ 40,553	△ 12,503			
31	R. 39	3.3731	31	4,394,288	100,850	100.0	100,850	4,495,138	1,332,643	394,982	-	-	-	394,982	117,098	△ 40,553	-	-	-	△ 40,553	△ 12,022			
32	R. 40	3.5081	32	4,394,288	100,850	100.0	100,850	4,495,138	1,281,360	394,982	-	-	-	394,982	112,591	△ 40,553	-	-	-	△ 40,553	△ 11,560			
33	R. 41	3.6484	33	4,394,288	100,850	100.0	100,850	4,495,138	1,232,085	394,982	-	-	-	394,982	108,262	△ 40,553	-	-	-	△ 40,553	△ 11,115			
34	R. 42	3.7943	34	4,394,288	100,850	100.0	100,850	4,495,138	1,184,708	394,982	-	-	-	394,982	104,099	△ 40,553	-	-	-	△ 40,553	△ 10,688			
35	R. 43	3.9461	35	4,394,288	100,850	100.0	100,850	4,495,138	1,139,134	394,982	-	-	-	394,982	100,094	△ 40,553	-	-	-	△ 40,553	△ 10,277			
36	R. 44	4.1039	36	4,394,288	100,850	100.0	100,850	4,495,138	1,095,333	394,982	-	-	-	394,982	96,246	△ 40,553	-	-	-	△ 40,553	△ 9,882			
37	R. 45	4.2681	37	4,394,288	100,850	100.0	100,850	4,495,138	1,053,194	394,982	-	-	-	394,982	92,543	△ 40,553	-	-	-	△ 40,553	△ 9,501			
38	R. 46	4.4388	38	4,394,288	100,850	100.0	100,850	4,495,138	1,012,692	394,982	-	-	-	394,982	88,984	△ 40,553	-	-	-	△ 40,553	△ 9,136			
39	R. 47	4.6164	39	4,394,288	100,850	100.0	100,850	4,495,138	973,732	394,982	-	-	-	394,982	85,561	△ 40,553	-	-	-	△ 40,553	△ 8,785			
40	R. 48	4.8010	40	4,394,288	100,850	100.0	100,850	4,495,138	936,292	394,982	-	-	-	394,982	82,271	△ 40,553	-	-	-	△ 40,553	△ 8,447			
41	R. 49	4.9931	41	4,394,288	100,850	100.0	100,850	4,495,138	900,270	394,982	-	-	-	394,982	79,106	△ 40,553	-	-	-	△ 40,553	△ 8,122			
42	R. 50	5.1928	42	4,394,288	100,850	100.0	100,850	4,495,138	865,648	394,982	-	-	-	394,982	76,063	△ 40,553	-	-	-	△ 40,553	△ 7,809			
43	R. 51	5.4005	43	4,394,288	100,850	100.0	100,850	4,495,138	832,356	394,982	-	-	-	394,982	73,138	△ 40,553	-	-	-	△ 40,553	△ 7,509			
44	R. 52	5.6165	44	4,394,288	100,850	100.0	100,850	4,495,138	800,345	394,982	-	-	-	394,982	70,325	△ 40,553	-	-	-	△ 40,553	△ 7,220			
45	R. 53	5.8412	45	4,394,288	100,850	100.0	100,850	4,495,138	769,557	394,982	-	-	-	394,982	67,620	△ 40,553	-	-	-	△ 40,553	△ 6,943			
46	R. 54	6.0748	46	4,394,288	100,850	100.0	1																	

1 (3) 総便益額算出表-2

※経過年は評価年からの年数

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合があります。

天竜川下流二期地区の事業の効用に関する詳細

1 (3) 総便益額算出表-3

評価期間	年度	割引率(1+割引率) ¹	経過年 (t)	国産農産物安定供給効果							割引後 効果額 合計 (千円)	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
				更新分に 係る効果 年効果額	新設及び機能向上分 に係る効果			計																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
					年効果額 (千円) (2)	年効果額 (千円) (3)	効果発生割合 (%) (4)	年発生 効果額 (千円) ⑤=③×④	年効果額 (千円) ⑥=②+⑤	同 左 割引後 (千円) ⑦=⑥/①																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	R. 8	1.0000	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										

※経過年は評価年からの年数

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

天竜川下流二期地区の事業の効用に関する詳細

2 (1) 作物生産効果－1

作物名	新設・更新	作付面積			効果要因	単 収				生産増減量 ③＝ ①×② ÷100	生産物 単価 ④	増加粗 収益額 ⑤＝ ③×④	純 益 率 ⑥	年効果額 ⑦＝ ⑤×⑥
		現況	計画	効果発生面積 ①		事業 なかりせば 単収	事業 ありせば 単収	増収率	効果算定 対象 単収 ②					
水稲	新設	ha 3,889	ha 3,788	ha △ 101	作付減	kg・本/10a －	kg・本/10a －	% －	kg・本/10a 507	t・千本 △512.1	千円/t・千本 255	千円 △130,586	% －	千円 －
					小 計	－	－	－	－	△512.1	－	△130,586	－	－
	更新	4,472	4,472	4,472	単収増 (水管理改良)	213	507	138	294	13,147.7	255	3,352,664	89	2,983,871
					小 計	－	－	－	－	13,147.7	－	3,352,664	－	2,983,871
					水稲計	－	－	－	－	12,635.6	－	3,222,078	－	2,983,871
飼料用米	新設	577	577		(－)	－	－	－	－	－	－	－	－	－
					小 計	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	更新	664	664	664	単収増 (水管理改良)	239	570	138	331	2,197.8	9	19,780	28	5,538
					小 計	－	－	－	－	2,197.8	－	19,780	－	5,538
					飼料用米計	－	－	－	－	2,197.8	－	19,780	－	5,538
加工用米	新設	27	30	3	作付増	－	－	－	507	15.2	154	2,341	－	－
					小 計	－	－	－	－	15.2	－	2,341	－	－
	更新	31	31	31	単収増 (水管理改良)	213	507	138	294	91.1	154	14,029	86	12,065
					小 計	－	－	－	－	91.1	－	14,029	－	12,065
					加工用米計	－	－	－	－	106.3	－	16,370	－	12,065
小麦	新設	314	398	84	作付増	－	－	－	265	222.6	13	2,894	－	－
					小 計	－	－	－	－	222.6	－	2,894	－	－
	更新	361	361	361	単収増 (田畑輪換)	230	265	15	35	126.4	13	1,643	84	1,380
					小 計	－	－	－	－	126.4	－	1,643	－	1,380
					小麦計	－	－	－	－	349.0	－	4,537	－	1,380

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

増収率は、「新たな土地改良の効果算定マニュアル」、近傍地区における試験研究結果を基に整理した。

天竜川下流二期地区の事業の効用に関する詳細

2 (1) 作物生産効果－2

作物名	新設・更新	作付面積			効果要因	単 収				生産増減量 ③＝ ①×② ÷100	生産物 単価 ④	増加粗 収益額 ⑤＝ ③×④	純 益 率 ⑥	年効果額 ⑦＝ ⑤×⑥
		現況	計画	効果発生面積 ①		事業 なかりせば 単収	事業 ありせば 単収	増収率	効果算定 対象 単収 ②					
大豆	新設	ha 77	ha 149	ha 72	作付増	kg・本/10a －	kg・本/10a －	% －	kg・本/10a 75	t・千本 54.0	千円/t・千本 91	千円 4,914	% －	千円 －
					小 計	－	－	－	－	54.0	－	4,914	－	－
	更新	88	88	88 88	単収増									
					(田畑輪換)	65	75	15	10	8.8	91	801	88	705
					(湿潤かんがい)	69	75	8	6	5.3	91	482	88	424
					小 計	－	－	－	－	14.1	－	1,283	－	1,129
スイートコーン	新設	37	67	30	作付増	－	－	－	968	290.4	530	153,912	17	26,165
					小 計	－	－	－	－	290.4	－	153,912	－	26,165
	更新	43	43	43 43	単収増									
					(田畑輪換)	842	968	15	126	54.2	530	28,726	91	26,141
					(湿潤かんがい)	842	968	15	126	54.2	530	28,726	91	26,141
					小 計	－	－	－	－	108.4	－	57,452	－	52,282
ねぎ	新設	74	133	59	作付増	－	－	－	1,749	1,031.9	283	292,028	16	46,724
					小 計	－	－	－	－	1,031.9	－	292,028	－	46,724
	更新	85	85	85 85	単収増									
					(田畑輪換)	1,521	1,749	15	228	193.8	283	54,845	91	49,909
					(湿潤かんがい)	1,548	1,749	13	201	170.9	283	48,365	91	44,012
					小 計	－	－	－	－	364.7	－	103,210	－	93,921
さといも	新設	20	23	3	作付増	－	－	－	1,438	43.1	592	25,515	12	3,062
					小 計	－	－	－	－	43.1	－	25,515	－	3,062
	更新	23	23	23 23	単収増									
					(田畑輪換)	1,250	1,438	15	188	43.2	592	25,574	90	23,017
					(湿潤かんがい)	1,106	1,438	30	332	76.4	592	45,229	90	40,706
					小 計	－	－	－	－	119.6	－	70,803	－	63,723
					さといも計	－	－	－	－	162.7	－	96,318	－	66,785

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

増収率は、「新たな土地改良の効果算定マニュアル」、近傍地区における試験研究結果を基に整理した。

天竜川下流二期地区の事業の効用に関する詳細

2 (1) 作物生産効果－3

作物名	新設・更新	作付面積			効果要因	単 収				生産増減量 ③＝ ①×② ÷100	生産物 単価 ④	増加粗 収益額 ⑤＝ ③×④	純 益 率 ⑥	年効果額 ⑦＝ ⑤×⑥
		現況	計画	効果発生面積 ①		事業 なかりせば 単収	事業 ありせば 単収	増収率	効果算定 対象 単収 ②					
かんしょ	新設	ha 17	ha 20	ha 3	作付増	kg・本/10a －	kg・本/10a －	% －	kg・本/10a 1,765	t・千本 53.0	千円/t・千本 268	千円 14,204	% 31	千円 4,403
					小 計	－	－	－	－	53.0	－	14,204	－	4,403
	更新	19	19	19 19	単収増									
					(田畑輪換)	1,535	1,765	15	230	43.7	268	11,712	92	10,775
					(湿潤かんがい)	1,535	1,765	15	230	43.7	268	11,712	92	10,775
					小 計	－	－	－	－	87.4	－	23,424	－	21,550
レタス	新設	59	72	13	作付増	－	－	－	2,716	353.1	151	53,318	16	8,531
					小 計	－	－	－	－	353.1	－	53,318	－	8,531
	更新	68	68	68 68	単収増									
					(田畑輪換)	2,362	2,716	15	354	240.7	151	36,346	91	33,075
					(湿潤かんがい)	2,404	2,716	13	312	212.2	151	32,042	91	29,158
					小 計	－	－	－	－	452.9	－	68,388	－	62,233
たまねぎ	新設	19	33	14	作付増	－	－	－	4,327	605.8	194	117,525	16	18,804
					小 計	－	－	－	－	605.8	－	117,525	－	18,804
	更新	22	22	22 22	単収増									
					(田畑輪換)	3,763	4,327	15	564	124.1	194	24,075	91	21,908
					(湿潤かんがい)	3,829	4,327	13	498	109.6	194	21,262	91	19,348
					小 計	－	－	－	－	233.7	－	45,337	－	41,256
自己保全管理等	新設	154	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	更新	177	177	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
水田計	新設	5,264	5,290									536,065		107,689
	更新	6,053	6,053									3,758,013		3,338,948

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

増収率は、「新たな土地改良の効果算定マニュアル」、近傍地区における試験研究結果を基に整理した。

天竜川下流二期地区の事業の効用に関する詳細

2 (1) 作物生産効果－4

作物名	新設・更新	作付面積			効果要因	単 収				生産増減量 ③＝ ①×② ÷100	生産物 単価 ④	増加粗 収益額 ⑤＝ ③×④	純 益 率 ⑥	年効果額 ⑦＝ ⑤×⑥
		現況	計画	効果発生面積 ①		事業 なかりせば 単収	事業 ありせば 単収	増収率	効果算定 対象 単収 ②					
ねぎ	新設	ha 24	ha 24	ha	(-)	kg・本/10a -	kg・本/10a -	% -	kg・本/10a -	t・千本 -	千円/t・千本 -	千円 -	% -	千円 -
					小 計	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	更新	25	25	25	単収増 (湿潤かんがい)	1,548	1,749	13	201	50.3	283	14,235	91	12,954
					小 計	-	-	-	-	50.3	-	14,235	-	12,954
					ねぎ計	-	-	-	-	50.3	-	14,235	-	12,954
さといも	新設	61	61		(-)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
					小 計	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	更新	63	63	63	単収増 (湿潤かんがい)	1,106	1,438	30	332	209.2	592	123,846	90	111,461
					小 計	-	-	-	-	209.2	-	123,846	-	111,461
					さといも計	-	-	-	-	209.2	-	123,846	-	111,461
かんしょ	新設	146	146		(-)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
					小 計	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	更新	150	150	150	単収増 (湿潤かんがい)	1,535	1,765	15	230	345.0	268	92,460	92	85,063
					小 計	-	-	-	-	345.0	-	92,460	-	85,063
					かんしょ計	-	-	-	-	345.0	-	92,460	-	85,063
キャベツ	新設	84	85	1	作付増	-	-	-	3,947	39.5	127	5,017	16	803
					小 計	-	-	-	-	39.5	-	5,017	-	803
	更新	87	87	87	単収増 (湿潤かんがい)	3,493	3,947	13	454	395.0	127	50,165	91	45,650
					小 計	-	-	-	-	395.0	-	50,165	-	45,650
					キャベツ計	-	-	-	-	434.5	-	55,182	-	46,453

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

増収率は、「新たな土地改良の効果算定マニュアル」、近傍地区における試験研究結果を基に整理した。

天竜川下流二期地区の事業の効用に関する詳細

2 (1) 作物生産効果－5

作物名	新設・更新	作付面積			効果要因	単 収				生産増減量 ③＝ ①×② ÷100	生産物 単価 ④	増加粗 収益額 ⑤＝ ③×④	純 益 率 ⑥	年効果額 ⑦＝ ⑤×⑥
		現況	計画	効果発生面積 ①		事業 なかりせば 単収	事業 ありせば 単収	増収率	効果算定 対象 単収 ②					
ブロッコリー	新設	ha 94	ha 95	ha 1	作付増	kg・本/10a －	kg・本/10a －	% －	kg・本/10a 1,132	t・千本 11.3	千円/t・千本 223	千円 2,520	% 16	千円 403
					小 計	－	－	－	－	11.3	－	2,520	－	403
	更新	97	97	97	単収増 (湿潤かんがい)	1,002	1,132	13	130	126.1	223	28,120	91	25,589
					小 計	－	－	－	－	126.1	－	28,120	－	25,589
					ブロッコリー計	－	－	－	－	137.4	－	30,640	－	25,992
たまねぎ	新設	110	111	1	作付増	－	－	－	4,327	43.3	194	8,400	16	1,344
					小 計	－	－	－	－	43.3	－	8,400	－	1,344
	更新	113	113	113	単収増 (湿潤かんがい)	3,829	4,327	13	498	562.7	194	109,164	91	99,339
					小 計	－	－	－	－	562.7	－	109,164	－	99,339
					たまねぎ計	－	－	－	－	606.0	－	117,564	－	100,683
エシャレット	新設	25	22	△3	作付減	－	－	－	1,500	△45.0	1,304	△58,680	16	△9,389
					小 計	－	－	－	－	△45.0	－	△58,680	－	△9,389
	更新	26	26	26	単収増 (湿潤かんがい)	1,327	1,500	13	173	45.0	1,304	58,680	91	53,399
					小 計	－	－	－	－	45.0	－	58,680	－	53,399
					エシャレット計	－	－	－	－	－	－	－	－	44,010
普通畑計	新設	544	544									△42,743		△6,839
	更新	561	561									476,670		433,455
マキ	新設	47	47		(－)	－	－	－	－	－	－	－	－	－
					小 計	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	更新	50	50	50	単収増 (湿潤かんがい)	8,613	11,111	29	2,498	1,249.0	483	603,267	88	530,875
					小 計	－	－	－	－	1,249.0	－	603,267	－	530,875
					マキ計	－	－	－	－	1,249.0	－	603,267	－	530,875

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

増収率は、「新たな土地改良の効果算定マニュアル」、近傍地区における試験研究結果を基に整理した。

天竜川下流二期地区の事業の効用に関する詳細

2 (1) 作物生産効果－6

作物名	新設・更新	作付面積			効果要因	単 収				生産増減量 ③＝ ①×② ÷100	生産物 単価 ④	増加粗 収益額 ⑤＝ ③×④	純 益 率 ⑥	年効果額 ⑦＝ ⑤×⑥
		現況	計画	効果 発生 面積 ①		事業 なかりせば 単収	事業 ありせば 単収	増収率	効果算定 対象 単収 ②					
かき	新設	ha 32	ha 32	ha	(-)	kg・本/10a -	kg・本/10a -	% -	kg・本/10a -	t・千本 -	千円/t・千本 -	千円 -	% -	千円 -
					小 計	-	-	-	-	-	-	-	-	-
					単収増 (湿潤かんがい)	762	876	15	114	38.8	345	13,386	91	12,181
	更新	34	34	34	小 計	-	-	-	-	38.8	-	13,386	-	12,181
					かき計	-	-	-	-	38.8	-	13,386	-	12,181
茶(一番茶)	新設	764	764		(-)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
					小 計	-	-	-	-	-	-	-	-	-
					単収増 (湿潤かんがい)	331	374	13	43	346.6	223	77,292	88	68,017
	更新	806	806	806	小 計	-	-	-	-	346.6	-	77,292	-	68,017
					茶(一番茶)計	-	-	-	-	346.6	-	77,292	-	68,017
茶(二番茶)	新設	415	415		(-)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
					小 計	-	-	-	-	-	-	-	-	-
					単収増 (湿潤かんがい)	423	478	13	55	240.9	51	12,286	88	10,812
	更新	438	438	438	小 計	-	-	-	-	240.9	-	12,286	-	10,812
					茶(二番茶)計	-	-	-	-	240.9	-	12,286	-	10,812
樹園地計	新設	843	843									-		-
	更新	890	890									706,231		621,885
新設		6,651	6,677									493,322		100,850
更新		7,504	7,504									4,940,914		4,394,288
合計												5,434,236		4,495,138

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

増収率は、「新たな土地改良の効果算定マニュアル」、近傍地区における試験研究結果を基に整理した。

茶(二番茶)の作付面積は計に含まない。

天竜川下流二期天竜川下流二期地区の事業の効用に関する詳細
2 (2) 品質向上効果

作物名	効果要因	効果対象数量		生産物単価			単価向上額		年効果額		
		更新	新設	事業なかりせば	現況	事業ありせば	現況－事業なかりせば	事業ありせば－現況	現況－事業なかりせば	事業ありせば－現況	計
		①	②	③	④	⑤	⑥=④-③	⑦=⑤-④	⑧=①×⑥	⑨=②×⑦	⑩=⑧+⑨
スイートコーン	湿潤かんがい	t 362	t -	千円/t 491	千円/t 530	千円/t 530	千円/t 39	千円/t -	千円 14,118	千円 -	千円 14,118
ねぎ	湿潤かんがい	1,316	-	240	283	283	43	-	56,588	-	56,588
さといも	湿潤かんがい	254	-	470	592	592	122	-	30,988	-	30,988
かんしょ	湿潤かんがい	292	-	258	268	268	10	-	2,920	-	2,920
レタス	湿潤かんがい	1,635	-	134	151	151	17	-	27,795	-	27,795
水田計									132,409	-	132,409
ねぎ	湿潤かんがい	387	-	240	283	283	43	-	16,641	-	16,641
さといも	湿潤かんがい	697	-	470	592	592	122	-	85,034	-	85,034
かんしょ	湿潤かんがい	2,303	-	258	268	268	10	-	23,030	-	23,030
キャベツ	湿潤かんがい	3,039	-	114	127	127	13	-	39,507	-	39,507
普通畑計									164,212	-	164,212
茶（一番茶）	湿潤かんがい	2,668	-	191	223	223	32	-	85,376	-	85,376
茶（二番茶）	湿潤かんがい	1,855	-	44	51	51	7	-	12,985	-	12,985
樹園地計									98,361	-	98,361
新設										-	-
更新									394,982		394,982
合計											394,982

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

天竜川下流二期地区の事業の効用に関する詳細
 2 (3) 営農経費節減効果-1

作物名	ha当たり営農経費				ha当たり 経費 ⑤= (①-②) + (③-④)	効果発生 面積 ⑥	年効果額 ⑦=⑤×⑥
	新設		更新				
	現況営農経費 ①	計画ありせば (計画) 営農経費 ②	事業なかりせば 営農経費 ③	事業ありせば (現況) 営農経費 ④			
	円	円	円	円	円	ha	千円
水稻 (用水改良)	-	-	106,189	128,296	△ 22,107	4,503	△ 99,548
飼料用米 (用水改良)	-	-	96,617	117,015	△ 20,398	664	△ 13,544
大豆 (用水改良)	-	-	105,728	95,792	9,936	88	874
スイートコーン (用水改良)	-	-	1,828,379	1,873,760	△ 45,381	43	△ 1,951
ねぎ (用水改良)	-	-	1,918,274	1,957,314	△ 39,040	85	△ 3,318
さといも (用水改良)	-	-	5,436,972	5,475,968	△ 38,996	23	△ 897
かんしょ (用水改良)	-	-	2,230,103	2,265,720	△ 35,617	19	△ 677
小麦 (用水改良)	-	-	120,236	112,809	7,427	361	2,681
レタス (用水改良)	-	-	3,669,530	3,754,786	△ 85,256	68	△ 5,797
たまねぎ (用水改良)	-	-	4,341,229	4,349,800	△ 8,571	22	△ 189
水田計						5,876	△ 122,366

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

■効果要因は以下のとおり。

- ・水稻、飼料用米、大豆、スイートコーン、ねぎ、さといも、かんしょ、レタス、たまねぎ（用水改良、更新：事業ありせば→なかりせば）
 用水施設の機能が喪失した場合を想定し、用水管理にかかる経費が減少。防除用水を自宅より運搬する経費が増加。
- ・小麦（用水改良、更新：事業ありせば→なかりせば）
 防除用水を自宅より運搬する経費が増加。

天竜川下流二期地区の事業の効用に関する詳細
2 (3) 営農経費節減効果-2

作物名	ha当たり営農経費				ha当たり 経費 ⑤= (①-②) + (③-④)	効果発生 面積 ⑥	年効果額 ⑦=⑤×⑥
	新設		更新				
	現況営農経費 ①	計画ありせば (計画) 営農経費 ②	事業なかりせば 営農経費 ③	事業ありせば (現況) 営農経費 ④			
ねぎ (用水改良)	-	-	1,993,562	1,960,947	32,615	25	815
さといも (用水改良)	-	-	5,596,061	5,600,248	△ 4,187	63	△ 264
かんしょ (用水改良)	-	-	2,415,086	2,380,440	34,646	150	5,197
キャベツ (用水改良)	-	-	1,952,003	1,873,760	78,243	87	6,807
ブロッコリー (用水改良)	-	-	2,953,402	2,887,120	66,282	97	6,429
たまねぎ (用水改良)	-	-	4,604,252	4,502,760	101,492	113	11,469
エシャレット (用水改良)	-	-	22,057,762	22,043,448	14,314	26	372
普通畑計						561	△ 97,527
マキ (用水改良)	-	-	18,150,770	18,200,328	△ 49,558	50	△ 2,478
かき (用水改良)	-	-	2,341,829	2,294,782	47,047	34	1,600
茶 (用水改良)	-	-	1,138,894	1,074,544	64,350	806	51,866
樹園地計						890	△ 15,714
新設							-
更新							△ 40,553
合計							△ 40,553

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

■効果要因は以下のとおり。

- ・ねぎ、さといも、かんしょ、キャベツ、ブロッコリー、たまねぎ、エシャレット（用水改良、更新：事業ありせば→なかりせば）
用水施設の機能が喪失した場合を想定し、用水管理にかかる経費が減少。防除用水及び土壌消毒用水を自宅より運搬する経費が増加。
- ・マキ、かき、茶（用水改良、更新：事業ありせば→なかりせば）
用水施設の機能が喪失した場合を想定し、用水管理にかかる経費が減少。防除用水を自宅より運搬する経費が増加。
- ・茶の営農経費は、一番茶のみを収穫した場合と一番茶に続いて二番茶を収穫した場合とで用水管理にかかる経費に差はないため、一番茶と二番茶を合わせて「茶」と整理した

令和9年度新規地区採択チェックリスト

(1)国営かんがい排水事業

(局名:関東農政局)(地区名:天竜川下流二期^{てんりゅうがわかりゅう に き})

3. 特定監視項目

1. 地質状況
地質状況に基づいた施設計画としている。
過去の地質調査の確認及び施設周辺において地質調査を行っており、地質状況に基づいた施設設計となっている。

2. 受益面積
最近年の面積を把握している。
本事業の受益面積は、前歴事業である国営天竜川下流土地改良事業における受益範囲を基に、関係土地改良区の土地原簿から一定地域を確認し、土地登記簿により令和6年8月時点で積み上げている。

南紀用水二期地区の事業の効用に関する説明資料

1 総費用総便益比の算定

(1) 総費用総便益比の総括

(単位：千円)

区 分	算定式	数 値
総費用（現在価値化）	①＝②＋③	38,620,127
当該事業による費用	②	11,805,124
関連事業による費用、資産価額、再整備費	③	26,815,003
評価期間（当該事業の工事期間＋40年）	④	49年
社会的割引率		4%
総便益額（現在価値化）	⑤	49,888,558
総費用総便益比	⑥＝⑤÷①	1.29

(2) 総費用の総括

(単位：千円)

区分	資産価額 (事業着工 時点) ①	当該事業に よる費用 ②	関連事業に よる費用 ③	再整備費 ④	資産価額 (評価期間 終了時点) ⑤	総費用 ⑥＝①＋②＋ ③＋④－⑤
国営造成施設	15,680,463	11,805,124	—	7,650,526	4,418,519	30,717,594
県営造成施設	4,344,910	—	1,453,526	2,308,573	204,476	7,902,533
その他造成施設	—	—	—	—	—	—
合 計	20,025,373	11,805,124	1,453,526	9,959,099	4,622,995	38,620,127

※各造成施設の詳細については「南紀用水二期地区の事業の効用に関する詳細」を参照

(3) 年総効果額、総便益額の総括

(単位：千円)

効果項目	区 分	年総効果 (便益)額	総便益額	効果の要因
食料の安定供給の確保に関する効果				
作物生産効果		1,151,178	24,390,780	用水施設の整備を実施した場合と実施しなかった場合での作物生産量が増減する効果
品質向上効果		401,284	8,484,596	用水施設の整備を実施した場合と実施しなかった場合での生産物の価格が維持、向上する効果
営農経費節減効果		642,641	13,714,871	用水施設の整備を実施した場合と実施しなかった場合での営農経費が増減する効果
維持管理費節減効果		△25,158	△545,052	用水施設の整備を実施した場合と実施しなかった場合での施設の維持管理費が増減する効果
農業の持続的発展に関する効果				
農業労働環境改善効果		77,833	1,647,674	用水施設の整備を実施した場合と実施しなかった場合での農作業環境が変化し、営農に係る労働が質的に改善する効果
農村の振興に関する効果				
地域用水効果		30,679	654,734	用水施設の整備を実施した場合と実施しなかった場合での地域用水を利用する経費が増減する効果
その他の効果				
洪水調節機能効果 (農業用ダム)		4,726	99,402	農業用ダムにおいて洪水調節機能の維持・向上のための施設を整備することにより、運用過程において流域全体における一部の洪水流量をカットする機能により、洪水被害が防止又は軽減される効果
国産農産物安定供給効果		68,040	1,441,553	用水施設の整備により農業生産性の向上や営農条件等の改善が図られ、国産農産物の安定供給に寄与する効果
合 計		2,351,223	49,888,558	

※総便益の算定の詳細については「南紀用水二期地区の事業の効用に関する詳細」を参照

2 年効果額の算定方法

(1) 作物生産効果

○効果の考え方

事業を実施した場合（事業ありせば）と実施しなかった場合（事業なかりせば）の作物生産量の比較により年効果額を算定した。

○対象作物

南紀用水二期地区の事業の効用に関する詳細のとおり

○年効果額算定式

年効果額 = 単収増加年効果額

単収増加年効果額 = 作付面積 × (事業ありせば単収 - 事業なかりせば単収)
× 単価 × 単収増加の純益率

○年効果額の算定

(単位：千円)

区分	作付面積 (ha)		増加粗収益額	年効果額
	現況	計画		
新設整備	47	47	42,446	39,050
更新整備	1,379	1,379	1,214,964	1,112,128
合計			1,257,410	1,151,178

※作物生産効果における作物ごとの詳細については「南紀用水二期地区の事業の効用に関する詳細」を参照

- ・作付面積：各作物の作付面積は以下のとおり
「現況作付面積」・関係市町の作付実績に基づき決定した。
「計画作付面積」・新設整備では、県、関係市町等の農業振興計画等や関係者の意向を踏まえた上で、現況＝計画とした。
・更新整備では、現況施設の下で作物生産量が維持される面積であり、現況＝計画とした。
- ・単収：増加粗収益額の算定に用いる各作物の単収については以下のとおり
「事業なかりせば単収」・新設整備では、現況単収であり、農林水産統計等による最近5か年の平均単収により算定した。
・更新整備では、用水機能の喪失時の単収であり、現況単収に効果要因別の失われる増収率分を減じて算定した。
「事業ありせば単収」・新設整備では計画単収であり、現況単収に効果要因別の増収率を考慮して算定した。
・更新整備では現況単収であり、農林水産統計等による最近5か年の平均単収により算定した。
- 「効果算定対象単収」・事業ありせば単収と事業なかりせば単収の差である。
- ・生産物単価：関係JA等聞き取り単価の最近5か年平均に消費者物価指数を反映した価格を用いた。
- ・純益率：「土地改良事業の費用対効果分析に必要な諸係数について」による標準値等を用いた。

（２）品質向上効果

○効果の考え方

事業を実施した場合（事業ありせば）と実施しなかった場合（事業なかりせば）の生産物価格の比較により年効果額を算定した。

○対象作物

南紀用水二期地区の事業の効用に関する詳細のとおり

○年効果額算定式

年効果額 ＝（事業ありせば作物単価－事業なかりせば作物単価）× 効果発生量

○年効果額の算定

（単位：千円）

区分	効果発生要因		年効果額
	単価向上	商品化率向上	
新設整備	17,512	－	17,512
更新整備	383,772	－	383,772
合計	401,284	－	401,284

※品質向上効果における作物ごとの詳細については「南紀用水二期地区の事業の効用に関する詳細」を参照

- ・効果対象数量：作物生産効果における作付面積、単収から算定された生産量
- ・生産物単価：「現況単価」は、新設整備にあつては当該地域等の営農実証試験結果を基に算定した価格、更新整備にあつては関係ＪＡ等聞き取り単価の最近５か年平均に消費者物価指数を反映した価格を用いた。
「事業ありせば単価」は、関係ＪＡ等聞き取り単価の最近５か年平均に消費者物価指数を反映した価格を用いた。
「事業なかりせば単価」は、当該地域等の営農実証試験結果を基に算定した。

（３）営農経費節減効果

○効果の考え方

事業を実施した場合（事業ありせば）と実施しなかった場合（事業なかりせば）の労働費、機械経費、その他の生産資材費について比較し、それらの営農経費の増減から年効果額を算定した。

○対象作物

南紀用水二期地区の事業の効用に関する詳細のとおり

○年効果額算定式

年効果額 ＝（事業なかりせば単位面積当たり営農経費－事業ありせば単位面積当たり営農経費）× 効果発生面積

○年効果額の算定

(単位：千円)

区分	事業なかりせば①	事業ありせば②	年効果額 ③＝①－②
新設整備	現況営農経費	計画営農経費	－
更新整備	事業なかりせば営農経費	現況営農経費	642,641
合計			642,641

※営農経費節減効果における作物ごとの詳細については「南紀用水二期地区の事業の効用に関する詳細」を参照

- ・各作物のha当たり営農経費は以下のとおり。
- ・現況営農経費：地域の現在の営農経費であり、和歌山県の農業経営モデル指標等に基づき算定した。
- ・計画営農経費：現況営農経費と同じとした。
- ・事業なかりせば営農経費：地域の水利施設の機能が失われた場合に想定される水管理作業に係る経費を考慮し算定した。

(4) 維持管理費節減効果

○効果の考え方

事業を実施した場合（事業ありせば）と実施しなかった場合（事業なかりせば）を比較し、施設の維持管理費の増減をもって年効果額を算定した。

○対象施設

総費用に計上した、当該事業（関連事業）及び受益地内で一体的に効用を発揮している全ての土地改良施設

○年効果額算定式

年効果額 ＝ 事業なかりせば維持管理費 － 事業ありせば維持管理費

○年効果額の算定

(単位：千円)

区分	新設	現況維持管理費①	事業ありせば維持管理費②	年効果額 ③＝①－②
	更新	事業なかりせば維持管理費①	現況維持管理費②	
新設整備		52,787	50,662	2,125
更新整備		25,504	52,787	△27,283
計				△25,158

- ・事業なかりせば維持管理費：現況施設の維持管理費を基に、施設の機能を失った場合に想定される安全管理等に最低限必要な維持管理費を算定した。
- ・事業ありせば維持管理費：現況施設の維持管理費を基に、本事業の実施により見込まれる維持管理費の増減を考慮し算定した。
- ・現況維持管理費：現況施設の維持管理費に基づき算定した。

(5) 農業労働環境改善効果

○効果の考え方

事業を実施した場合（事業ありせば）と事業を実施しなかった場合（事業なかりせば）に、農作業環境が変化し、営農に係る労働が質的に改善される効果であり、受益者にWTP (Willingness To Pay: 支払意思額) を尋ねることで、その価値を直接的に評価する手法であるCVM (Contingent Valuation Method: 仮想市場法) により効果を算定した。

○対象工種

畑地かんがい

○年効果額算定式

年効果額 = 労働改善に対する支払意思額 × 受益面積

○年効果額の算定

(単位：千円)

区分	労働改善に関するWTP (円/10a/年) ①	受益面積 (ha) ②	年効果額 ③=①×②
新設整備	6,287	47	2,955
更新整備	6,287	1,191	74,878
合計			77,833

(6) 地域用水効果

○効果の考え方

事業を実施した場合（事業ありせば）と実施しなかった場合（事業なかりせば）を比較し、地域用水を利用する経費の増減により年効果額を算定した。

○対象施設

畑かん施設（給水栓、防除基地、貯水槽）

○年効果額算定式

年効果額 = 事業なかりせば想定される地域用水の利用経費
－ 事業ありせば想定される地域用水の利用経費

○年効果額の算定

1) 防火用水効果

年効果額 = (事業ありせば地域集落等の防火水槽等の設置の計画節減数
又は事業なかりせば地域集落等の防火水槽等の設置の想定増加数
× 1か所当たりの建設費) × 還元率

(単位：千円)

区分	事業なかりせば 想定増加数（か所） ①	1か所当たり 建設費 ②	還元率 ③	年効果額 ④=①×②×③
更新整備	63	8,425	0.0578	30,679

- ・ 事業なかりせば想定増加数：現在、消防水利施設に位置付けられている土地改良施設を消防施設に代替えた場合の施設数を算定した。
- ・ 1か所当たり建設費：近傍地区の防火水槽の建設費を基に算定した。
- ・ 還元率：施設が有している総効果額を耐用年数期間における年効果額に換算するための係数

(7) その他の効果（洪水調節機能効果（農業用ダム））

○効果の考え方

事業を実施した場合（事業ありせば）と実施しなかった場合（事業なかりせば）を比較し、農業用ダムにおいて洪水調節可能容量が確保されることにより洪水被害が防止又は軽減される年効果額を算定した。

○対象施設

当該事業により整備した農業用ダム

○年効果額算定式

$$\text{年効果額} = (\text{事業ありせば洪水調節可能容量} - \text{事業なかりせば洪水調節可能容量}) \\ \times \text{洪水調節単価} \times \text{還元率}$$

○年効果額の算定

(単位：千円)

区分	洪水調節可能容量 (千m3)			洪水調節単価 (円/m3) ③	還元率 ④	年効果額 ⑤ = (① - ②) × ③ × ④
	新設	事業ありせば ①	現況 ②			
	更新	現況 ①	事業なかりせば ②			
新設整備		7	—	1,256	0.0418	368
更新整備		83	—	1,256	0.0418	4,358
合計						4,726

- ・洪水調節可能容量：農業用ダムのかんがいに係る用途のうちの流域における洪水被害を防止又は軽減するための容量
- ・洪水調節単価：近傍治水ダム等の建設費と洪水調節容量により算定
- ・還元率：施設が有している総効果額を耐用年数期間における年効果額に換算するための係数

(8) その他の効果 (国産農産物安定供給効果)

○効果の考え方

国産農産物の安定供給に対して国民が感じる安心感の効果であるため、一般国民に対してWTP (Willingness To Pay：支払意思額) を尋ねることで、その価値を直接的に評価する手法であるCVM (Contingent Valuation Method：仮想市場法) により年効果額を算定した。

○対象作物

作物生産効果算定作物のうち、食料生産に係るもの

○年効果額算定式

$$\text{年効果額} = \text{年増加粗収益額} \times \text{単位食料生産額当たり効果額 (原単位)} \\ + \text{年増加供給熱量} \times \text{単位供給熱量当たり効果額 (原単位)}$$

○年効果額の算定

区 分	増加 粗収益額 (千円) ①	増加 供給熱量 (千 cal) ②	単位食料生産額 当たり効果額 (円/千円) ③	単位供給熱量 当たり効果額 (円/千 kcal) ④	当該土地改良事業 における年効果額 (千円) ⑤ = ① × ③ + ② × ④
新設整備	42,446	24,299	49	9.9	2,320
更新整備	1,164,924	872,621	49	9.9	65,720
合 計	1,207,370	896,920			68,040

増加粗収益額、増加供給熱量：作物生産効果の算定過程で整理した結果を用いて、事業ありせばと事業なかりせばにおける増加粗収益額及び増加供給熱量を整理した。

単位食料生産額当たり効果額、単位供給熱量当たり効果額：一般国民に対し国産農産物の安定供給についてWTPを尋ねるCVMにより、年効果額の算定に用いる単位食料生産額当たり効果額 (原単位) は49円/千円、単位供給熱量当たり効果額 (原単位) は9.9円/千kcalとした。

3 評価に使用した資料

【共通】

- ・農林水産省農村振興局整備部（監修）〔改訂版〕「新たな土地改良の効果算定マニュアル」大成出版社（平成27年9月5日第2版第1刷発行）
- ・土地改良事業の費用対効果分析マニュアルの制定について（平成19年3月28日付け18農振第1597号農林水産省農村振興局企画部長通知（最終改正：令和7年4月2日））
- ・「国産農産物安定供給効果」について（平成27年3月27日付け26農振第2072号農林水産省農村振興局整備部長通知（令和5年4月3日一部改正））
- ・土地改良事業の費用対効果分析における参考資料等について（令和4年4月11日付け農林水産省農村振興局整備部関係課関係班連名事務連絡）
- ・土地改良事業の費用対効果分析に必要な諸係数について（平成19年3月28日付け18農振第1598号農林水産省農村振興局企画部長通知（令和7年4月1日一部改正））
- ・土地改良事業の費用対効果分析に必要な諸係数等について（令和7年4月1日付け農林水産省農村振興局整備部土地改良企画課課長補佐（事業効果班）事務連絡）

【費用】

- ・当該事業費及び関連事業費に係る一般に公表されていない諸元については、近畿農政局南近畿土地改良調査管理事務所調べ

【便益】

- ・効果算定に必要な各種諸元については、近畿農政局南近畿土地改良調査管理事務所調べ

南紀用水二期地区の事業の効用に関する詳細

1 (2) 総費用の総括

(単位：千円)

区分	施設名 (又は工種)	資産価額 (事業着工時点) ①	当該事業による 費用 ②	関連事業による 費用 ③	再整備費 ④	資産価額 (評価期間終了時点) ⑤	総費用 ⑥=①+②+③ +④-⑤
国営造成施設	島ノ瀬ダム	10,294,685	3,669,957	—	2,471,538	2,522,447	13,913,733
	辺川頭首工	167,544	68,581	—	96,169	13,755	318,539
	南部幹線水路	2,726,616	159,182	—	163,402	59,803	2,989,397
	岩代支線水路	759,825	1,291,272	—	772,280	525,047	2,298,330
	東本庄支線水路	352,556	421,810	—	201,819	140,674	835,511
	熊岡支線水路	241,745	55,239	—	123,382	111,987	308,379
	芳養支線水路	438,588	148,120	—	297,051	216,229	667,530
	岩代揚水機場	136,043	1,467,902	—	845,087	188,970	2,260,062
	東本庄揚水機場	209,200	1,005,902	—	493,969	178,597	1,530,474
	芳養・熊岡揚水機場	67,987	1,383,892	—	833,676	186,067	2,099,488
	芳養第2段揚水機場	35,842	695,795	—	425,841	103,572	1,053,906
	水管理施設	249,832	1,437,472	—	926,312	171,371	2,442,245
	計	15,680,463	11,805,124	—	7,650,526	4,418,519	30,717,594
県営造成施設	県営かん排南部川右岸	1,304,923	—	—	646,630	45,514	1,906,039
	県営かん排南部川左岸	1,494,762	—	—	515,200	37,297	1,972,665
	県営かん排南部川左岸二期	1,308,289	—	—	474,445	42,533	1,740,201
	小水力発電設備	53,451	—	—	216,720	27,117	243,054
	県営日向地区	114,783	—	823,977	79,173	38,964	978,969
	県営東山地区	68,702	—	629,549	376,405	13,051	1,061,605
	計	4,344,910	—	1,453,526	2,308,573	204,476	7,902,533
合 計		20,025,373	11,805,124	1,453,526	9,959,099	4,622,995	38,620,127

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

南紀用水二期地区の事業の効用に関する詳細

1 (3) 総便益額算出表-1

評価 期間	年 度	割引率 (1＋ 割引率) ^t ①	経 過 年 (t)	作物生産効果						品質向上効果						営農経費節減効果					
				更新分 に係る効果 年効果額 (千円) ②	新設及び機能向上分 に係る効果			計		更新分 に係る効果 年効果額 (千円) ②	新設及び機能向上分 に係る効果			計		更新分 に係る効果 年効果額 (千円) ②	新設及び機能向上分 に係る効果			計	
					年効果額 (千円) ③	効果発 生割合 (%) ④	年発生 効果額 (千円) ⑤＝③×④	年効果額 (千円) ⑥＝②＋⑤	同 左 割引後 (千円) ⑦＝⑥/①		年効果額 (千円) ③	効果発 生割合 (%) ④	年発生 効果額 (千円) ⑤＝③×④	年効果額 (千円) ⑥＝②＋⑤	同 左 割引後 (千円) ⑦＝⑥/①		年効果額 (千円) ③	効果発 生割合 (%) ④	年発生 効果額 (千円) ⑤＝③×④	年効果額 (千円) ⑥＝②＋⑤	同 左 割引後 (千円) ⑦＝⑥/①
	R8	1.0000	0																		
1	R9	1.0400	1	1,112,128	39,050	20.7	8,083	1,120,211	1,077,126	383,772	17,512	20.7	3,625	387,397	372,497	642,641	—	—	—	642,641	617,924
2	R10	1.0816	2	1,112,128	39,050	30.6	11,949	1,124,077	1,039,272	383,772	17,512	30.6	5,359	389,131	359,773	642,641	—	—	—	642,641	594,158
3	R11	1.1249	3	1,112,128	39,050	34.9	13,628	1,125,756	1,000,761	383,772	17,512	34.9	6,112	389,884	346,594	642,641	—	—	—	642,641	571,287
4	R12	1.1699	4	1,112,128	39,050	39.3	15,347	1,127,475	963,736	383,772	17,512	39.3	6,882	390,654	333,921	642,641	—	—	—	642,641	549,313
5	R13	1.2167	5	1,112,128	39,050	45.3	17,690	1,129,818	928,592	383,772	17,512	45.3	7,933	391,705	321,940	642,641	—	—	—	642,641	528,184
6	R14	1.2653	6	1,112,128	39,050	51.4	20,072	1,132,200	894,808	383,772	17,512	51.4	9,001	392,773	310,419	642,641	—	—	—	642,641	507,896
7	R15	1.3159	7	1,112,128	39,050	57.5	22,454	1,134,582	862,210	383,772	17,512	57.5	10,069	393,841	299,294	642,641	—	—	—	642,641	488,366
8	R16	1.3686	8	1,112,128	39,050	63.6	24,836	1,136,964	830,750	383,772	17,512	63.6	11,138	394,910	288,550	642,641	—	—	—	642,641	469,561
9	R17	1.4233	9	1,112,128	39,050	69.6	27,179	1,139,307	800,469	383,772	17,512	69.6	12,188	395,960	278,199	642,641	—	—	—	642,641	451,515
10	R18	1.4802	10	1,112,128	39,050	75.7	29,561	1,141,689	771,307	383,772	17,512	75.7	13,257	397,029	268,227	642,641	—	—	—	642,641	434,158
11	R19	1.5395	11	1,112,128	39,050	81.8	31,943	1,144,071	743,145	383,772	17,512	81.8	14,325	398,097	258,589	642,641	—	—	—	642,641	417,435
12	R20	1.6010	12	1,112,128	39,050	87.9	34,325	1,146,453	716,086	383,772	17,512	87.9	15,393	399,165	249,322	642,641	—	—	—	642,641	401,400
13	R21	1.6651	13	1,112,128	39,050	93.9	36,668	1,148,796	689,926	383,772	17,512	93.9	16,444	400,216	240,356	642,641	—	—	—	642,641	385,947
14	R22	1.7317	14	1,112,128	39,050	100.0	39,050	1,151,178	664,768	383,772	17,512	100.0	17,512	401,284	231,728	642,641	—	—	—	642,641	371,104
15	R23	1.8009	15	1,112,128	39,050	100.0	39,050	1,151,178	639,224	383,772	17,512	100.0	17,512	401,284	222,824	642,641	—	—	—	642,641	356,844
16	R24	1.8730	16	1,112,128	39,050	100.0	39,050	1,151,178	614,617	383,772	17,512	100.0	17,512	401,284	214,247	642,641	—	—	—	642,641	343,108
17	R25	1.9479	17	1,112,128	39,050	100.0	39,050	1,151,178	590,984	383,772	17,512	100.0	17,512	401,284	206,009	642,641	—	—	—	642,641	329,915
18	R26	2.0258	18	1,112,128	39,050	100.0	39,050	1,151,178	568,258	383,772	17,512	100.0	17,512	401,284	198,087	642,641	—	—	—	642,641	317,228
19	R27	2.1068	19	1,112,128	39,050	100.0	39,050	1,151,178	546,411	383,772	17,512	100.0	17,512	401,284	190,471	642,641	—	—	—	642,641	305,032
20	R28	2.1911	20	1,112,128	39,050	100.0	39,050	1,151,178	525,388	383,772	17,512	100.0	17,512	401,284	183,143	642,641	—	—	—	642,641	293,296
21	R29	2.2788	21	1,112,128	39,050	100.0	39,050	1,151,178	505,169	383,772	17,512	100.0	17,512	401,284	176,094	642,641	—	—	—	642,641	282,009
22	R30	2.3699	22	1,112,128	39,050	100.0	39,050	1,151,178	485,750	383,772	17,512	100.0	17,512	401,284	169,325	642,641	—	—	—	642,641	271,168
23	R31	2.4647	23	1,112,128	39,050	100.0	39,050	1,151,178	467,066	383,772	17,512	100.0	17,512	401,284	162,813	642,641	—	—	—	642,641	260,738
24	R32	2.5633	24	1,112,128	39,050	100.0	39,050	1,151,178	449,100	383,772	17,512	100.0	17,512	401,284	156,550	642,641	—	—	—	642,641	250,708
25	R33	2.6658	25	1,112,128	39,050	100.0	39,050	1,151,178	431,832	383,772	17,512	100.0	17,512	401,284	150,530	642,641	—	—	—	642,641	241,069
26	R34	2.7725	26	1,112,128	39,050	100.0	39,050	1,151,178	415,213	383,772	17,512	100.0	17,512	401,284	144,737	642,641	—	—	—	642,641	231,791
27	R35	2.8834	27	1,112,128	39,050	100.0	39,050	1,151,178	399,243	383,772	17,512	100.0	17,512	401,284	139,170	642,641	—	—	—	642,641	222,876
28	R36	2.9987	28	1,112,128	39,050	100.0	39,050	1,151,178	383,892	383,772	17,512	100.0	17,512	401,284	133,819	642,641	—	—	—	642,641	214,307
29	R37	3.1187	29	1,112,128	39,050	100.0	39,050	1,151,178	369,121	383,772	17,512	100.0	17,512	401,284	128,670	642,641	—	—	—	642,641	206,061
30	R38	3.2434	30	1,112,128	39,050	100.0	39,050	1,151,178	354,929	383,772	17,512	100.0	17,512	401,284	123,723	642,641	—	—	—	642,641	198,138
31	R39	3.3731	31	1,112,128	39,050	100.0	39,050	1,151,178	341,282	383,772	17,512	100.0	17,512	401,284	118,966	642,641	—	—	—	642,641	190,519
32	R40	3.5081	32	1,112,128	39,050	100.0	39,050	1,151,178	328,149	383,772	17,512	100.0	17,512	401,284	114,388	642,641	—	—	—	642,641	183,188
33	R41	3.6484	33	1,112,128	39,050	100.0	39,050	1,151,178	315,530	383,772	17,512	100.0	17,512	401,284	109,989	642,641	—	—	—	642,641	176,143
34	R42	3.7943	34	1,112,128	39,050	100.0	39,050	1,151,178	303,397	383,772	17,512	100.0	17,512	401,284	105,760	642,641	—	—	—	642,641	169,370
35	R43	3.9461	35	1,112,128	39,050	100.0	39,050	1,151,178	291,726	383,772	17,512	100.0	17,512	401,284	101,691	642,641	—	—	—	642,641	162,855
36	R44	4.1039	36	1,112,128	39,050	100.0	39,050	1,151,178	280,508	383,772	17,512	100.0	17,512	401,284	97,781	642,641	—	—	—	642,641	156,593
37	R45	4.2681	37	1,112,128	39,050	100.0	39,050	1,151,178	269,717	383,772	17,512	100.0	17,512	401,284	94,019	642,641	—	—	—	642,641	150,568
38	R46	4.4388	38	1,112,128	39,050	100.0	39,050	1,151,178	259,344	383,772	17,512	100.0	17,512	401,284	90,404	642,641	—	—	—	642,641	144,778
39	R47	4.6164	39	1,112,128	39,050	100.0	39,050	1,151,178	249,367	383,772	17,512	100.0	17,512	401,284	86,926	642,641	—	—	—	642,641	139,208
40	R48	4.8010	40	1,112,128	39,050	100.0	39,050	1,151,178	239,779	383,772	17,512	100.0	17,512	401,284	83,583	642,641	—	—	—	642,641	133,856
41	R49	4.9931	41	1,112,128	39,050	100.0	39,050	1,151,178	230,554	383,772	17,512	100.0	17,512	401,284	80,368	642,641	—	—	—	642,641	128,706
42	R50	5.1928	42	1,112,128	39,050	100.0	39,050	1,151,178	221,687	383,772	17,512	100.0	17,512	401,284	77,277	642,641	—	—	—	642,641	123,756
43	R51	5.4005	43	1,112,128	39,050	100.0	39,050	1,151,178	213,161	383,772	17,512	100.0	17,512	401,284	74,305	642,641	—	—	—	642,641	118,997
44	R52	5.6165	44	1,112,128																	

南紀用水二期地区の事業の効用に関する詳細

1 (3) 総便益額算出表-2

評価 期間	年 度	割引率 (1+割引率) ^t ①	経 過 年 (t)	維持管理費節減効果（既受益地区）							維持管理費節減効果（新規編入地区）							農業労働環境改善効果						
				更新分に 係る効果 年効果額 (千円) ②	新設及び機能向上分 に係る効果			計		更新分に 係る効果 年効果額 (千円) ②	新設及び機能向上分 に係る効果			計		更新分に 係る効果 年効果額 (千円) ②	新設及び機能向上分 に係る効果			計				
					年効果額 (千円) ③	効果発生割合 (%) ④	年発生効果額 (千円) ⑤=③×④	年効果額 (千円) ③	同 左 割引後 (千円) ⑦=⑥/①		年効果額 (千円) ③	効果発生割合 (%) ④	年発生効果額 (千円) ⑤=③×④	年効果額 (千円) ③	同 左 割引後 (千円) ⑦=⑥/①		年効果額 (千円) ③	効果発生割合 (%) ④	年発生効果額 (千円) ⑤=③×④	年効果額 (千円) ③	同 左 割引後 (千円) ⑦=⑥/①			
	R8	1.0000	0																					
1	R9	1.0400	1	△27,106	3,290	—	—	△27,106	△26,063	△177	△1,165	20.7	△241	△418	△402	74,878	2,955	20.7	612	75,490	72,587			
2	R10	1.0816	2	△27,106	3,290	8.3	273	△26,833	△24,809	△177	△1,165	30.6	△356	△533	△493	74,878	2,955	30.6	904	75,782	70,065			
3	R11	1.1249	3	△27,106	3,290	16.8	553	△26,553	△23,605	△177	△1,165	34.9	△407	△584	△519	74,878	2,955	34.9	1,031	75,909	67,481			
4	R12	1.1699	4	△27,106	3,290	30.8	1,013	△26,093	△22,304	△177	△1,165	39.3	△458	△635	△543	74,878	2,955	39.3	1,161	76,039	64,996			
5	R13	1.2167	5	△27,106	3,290	48.8	1,606	△25,500	△20,958	△177	△1,165	45.3	△528	△705	△579	74,878	2,955	45.3	1,339	76,217	62,642			
6	R14	1.2653	6	△27,106	3,290	64.5	2,122	△24,984	△19,746	△177	△1,165	51.4	△599	△776	△613	74,878	2,955	51.4	1,519	76,397	60,379			
7	R15	1.3159	7	△27,106	3,290	79.7	2,622	△24,484	△18,606	△177	△1,165	57.5	△670	△847	△644	74,878	2,955	57.5	1,699	76,577	58,194			
8	R16	1.3686	8	△27,106	3,290	90.7	2,984	△24,122	△17,625	△177	△1,165	63.6	△741	△918	△671	74,878	2,955	63.6	1,879	76,757	56,084			
9	R17	1.4233	9	△27,106	3,290	97.5	3,208	△23,898	△16,791	△177	△1,165	69.6	△811	△988	△694	74,878	2,955	69.6	2,057	76,935	54,054			
10	R18	1.4802	10	△27,106	3,290	100.0	3,290	△23,816	△16,090	△177	△1,165	75.7	△882	△1,059	△715	74,878	2,955	75.7	2,237	77,115	52,098			
11	R19	1.5395	11	△27,106	3,290	100.0	3,290	△23,816	△15,470	△177	△1,165	81.8	△953	△1,130	△734	74,878	2,955	81.8	2,417	77,295	50,208			
12	R20	1.6010	12	△27,106	3,290	100.0	3,290	△23,816	△14,876	△177	△1,165	87.9	△1,024	△1,201	△750	74,878	2,955	87.9	2,597	77,475	48,392			
13	R21	1.6651	13	△27,106	3,290	100.0	3,290	△23,816	△14,303	△177	△1,165	93.9	△1,094	△1,271	△763	74,878	2,955	93.9	2,775	77,653	46,636			
14	R22	1.7317	14	△27,106	3,290	100.0	3,290	△23,816	△13,753	△177	△1,165	100.0	△1,165	△1,342	△775	74,878	2,955	100.0	2,955	77,833	44,946			
15	R23	1.8009	15	△27,106	3,290	100.0	3,290	△23,816	△13,224	△177	△1,165	100.0	△1,165	△1,342	△745	74,878	2,955	100.0	2,955	77,833	43,219			
16	R24	1.8730	16	△27,106	3,290	100.0	3,290	△23,816	△12,715	△177	△1,165	100.0	△1,165	△1,342	△716	74,878	2,955	100.0	2,955	77,833	41,555			
17	R25	1.9479	17	△27,106	3,290	100.0	3,290	△23,816	△12,227	△177	△1,165	100.0	△1,165	△1,342	△689	74,878	2,955	100.0	2,955	77,833	39,957			
18	R26	2.0258	18	△27,106	3,290	100.0	3,290	△23,816	△11,756	△177	△1,165	100.0	△1,165	△1,342	△662	74,878	2,955	100.0	2,955	77,833	38,421			
19	R27	2.1068	19	△27,106	3,290	100.0	3,290	△23,816	△11,304	△177	△1,165	100.0	△1,165	△1,342	△637	74,878	2,955	100.0	2,955	77,833	36,944			
20	R28	2.1911	20	△27,106	3,290	100.0	3,290	△23,816	△10,869	△177	△1,165	100.0	△1,165	△1,342	△612	74,878	2,955	100.0	2,955	77,833	35,522			
21	R29	2.2788	21	△27,106	3,290	100.0	3,290	△23,816	△10,451	△177	△1,165	100.0	△1,165	△1,342	△589	74,878	2,955	100.0	2,955	77,833	34,155			
22	R30	2.3699	22	△27,106	3,290	100.0	3,290	△23,816	△10,049	△177	△1,165	100.0	△1,165	△1,342	△566	74,878	2,955	100.0	2,955	77,833	32,842			
23	R31	2.4647	23	△27,106	3,290	100.0	3,290	△23,816	△9,663	△177	△1,165	100.0	△1,165	△1,342	△544	74,878	2,955	100.0	2,955	77,833	31,579			
24	R32	2.5633	24	△27,106	3,290	100.0	3,290	△23,816	△9,291	△177	△1,165	100.0	△1,165	△1,342	△524	74,878	2,955	100.0	2,955	77,833	30,364			
25	R33	2.6658	25	△27,106	3,290	100.0	3,290	△23,816	△8,934	△177	△1,165	100.0	△1,165	△1,342	△503	74,878	2,955	100.0	2,955	77,833	29,197			
26	R34	2.7725	26	△27,106	3,290	100.0	3,290	△23,816	△8,590	△177	△1,165	100.0	△1,165	△1,342	△484	74,878	2,955	100.0	2,955	77,833	28,073			
27	R35	2.8834	27	△27,106	3,290	100.0	3,290	△23,816	△8,260	△177	△1,165	100.0	△1,165	△1,342	△465	74,878	2,955	100.0	2,955	77,833	26,993			
28	R36	2.9987	28	△27,106	3,290	100.0	3,290	△23,816	△7,942	△177	△1,165	100.0	△1,165	△1,342	△448	74,878	2,955	100.0	2,955	77,833	25,956			
29	R37	3.1187	29	△27,106	3,290	100.0	3,290	△23,816	△7,637	△177	△1,165	100.0	△1,165	△1,342	△430	74,878	2,955	100.0	2,955	77,833	24,957			
30	R38	3.2434	30	△27,106	3,290	100.0	3,290	△23,816	△7,343	△177	△1,165	100.0	△1,165	△1,342	△414	74,878	2,955	100.0	2,955	77,833	23,997			
31	R39	3.3731	31	△27,106	3,290	100.0	3,290	△23,816	△7,061	△177	△1,165	100.0	△1,165	△1,342	△398	74,878	2,955	100.0	2,955	77,833	23,075			
32	R40	3.5081	32	△27,106	3,290	100.0	3,290	△23,816	△6,789	△177	△1,165	100.0	△1,165	△1,342	△383	74,878	2,955	100.0	2,955	77,833	22,187			
33	R41	3.6484	33	△27,106	3,290	100.0	3,290	△23,816	△6,528	△177	△1,165	100.0	△1,165	△1,342	△368	74,878	2,955	100.0	2,955	77,833	21,333			
34	R42	3.7943	34	△27,106	3,290	100.0	3,290	△23,816	△6,277	△177	△1,165	100.0	△1,165	△1,342	△354	74,878	2,955	100.0	2,955	77,833	20,513			
35	R43	3.9461	35	△27,106	3,290	100.0	3,290	△23,816	△6,035	△177	△1,165	100.0	△1,165	△1,342	△340	74,878	2,955	100.0	2,955	77,833	19,724			
36	R44	4.1039	36	△27,106	3,290	100.0	3,290	△23,816	△5,803	△177	△1,165	100.0	△1,165	△1,342	△327	74,878	2,955	100.0	2,955	77,833	18,966			
37	R45	4.2681	37	△27,106	3,290	100.0	3,290	△23,816	△5,580	△177	△1,165	100.0	△1,165	△1,342	△314	74,878	2,955	100.0	2,955	77,833	18,236			
38	R46	4.4388	38	△27,106	3,290	100.0	3,290	△23,816	△5,365	△177	△1,165	100.0	△1,165	△1,342	△302	74,878	2,955	100.0	2,955	77,833	17,535			
39	R47	4.6164	39	△27,106	3,290	100.0	3,290	△23,816	△5,159	△177	△1,165	100.0	△1,165	△1,342	△291	74,878	2,955	100.0	2,955	77,833	16,860			
40	R48	4.8010	40	△27,106	3,290	100.0	3,290	△23,816	△4,961	△177	△1,165	100.0	△1,165	△1,342	△280	74,878	2,955	100.0	2,955	77,833	16,212			
41	R49	4.9931	41	△27,106	3,290	100.0	3,290	△23,816	△4,770	△177	△1,165	100.0	△1,165	△1,342	△269	74,878	2,955	100.0	2,955	77,833	15,588			
42	R50	5.1928	42	△27,106	3,290	100.0	3,290	△23,816	△4,586	△177	△1,165	100.0	△1,165	△1,342	△258	74,878	2,955	100.0	2,955	77,833	14,989			
43	R51	5.4005	43	△27,106	3,290	100.0	3,290	△23,816	△4,410	△177	△1,165	100.0	△1,165	△1,342	△248	74,878	2,955	100.0	2,955	77,833	14,412			
44	R52	5.6165	44	△27,106	3,290	100.0	3,290	△23,816	△4,240	△177	△1,165	100.0	△1,165	△1,342	△239	74,878	2,955	100.0	2,955	77,833	13,858			
45	R53	5.8412	45	△27,106	3,290	100.0	3,290	△23,816	△4,077	△177	△1,165	100.0	△1,165											

南紀用水二期地区の事業の効用に関する詳細

1 (3) 総便益額算出表-3

評価 期間	年 度	割引率 (1+割引率) ^t	経過 年 (t)	地域用水効果							洪水調節機能効果（農業用ダム）							国産農産物安定供給効果						
				更新分に 係る効果 年効果額	新設及び機能向上分 に係る効果			計		更新分に 係る効果 年効果額	新設及び機能向上分 に係る効果			計		更新分に 係る効果 年効果額	新設及び機能向上分 に係る効果			計				
					年効果額 (千円)	効果発生割合 (%)	年発生 効果額 (千円)	年効果額 (千円)	同 左 割引後 (千円)		年効果額 (千円)	効果発生割合 (%)	年発生 効果額 (千円)	年効果額 (千円)	同 左 割引後 (千円)		年効果額 (千円)	効果発生割合 (%)	年発生 効果額 (千円)	年効果額 (千円)	同 左 割引後 (千円)			
①	②	③	④	⑤=③×④	⑥=②+⑤	⑦=⑥/①	②	③	④	⑤=③×④	⑥=②+⑤	⑦=⑥/①	②	③	④	⑤=③×④	⑥=②+⑤	⑦=⑥/①						
	R8	1.0000	0		—	—	—	30,679	29,499	4,358	368	—	—	4,358	4,190	65,720	2,320	20.7	480	66,200	63,654			
1	R9	1.0400	1	30,679	—	—	—	30,679	28,364	4,358	368	12.5	46	4,404	4,072	65,720	2,320	30.6	710	66,430	61,418			
2	R10	1.0816	2	30,679	—	—	—	30,679	27,273	4,358	368	25.0	92	4,450	3,956	65,720	2,320	34.9	810	66,530	59,143			
3	R11	1.1249	3	30,679	—	—	—	30,679	26,224	4,358	368	37.5	138	4,496	3,843	65,720	2,320	39.3	912	66,632	56,955			
4	R12	1.1699	4	30,679	—	—	—	30,679	25,215	4,358	368	50.0	184	4,542	3,733	65,720	2,320	45.3	1,051	66,771	54,879			
5	R13	1.2167	5	30,679	—	—	—	30,679	24,246	4,358	368	62.5	230	4,588	3,626	65,720	2,320	51.4	1,192	66,912	52,882			
6	R14	1.2653	6	30,679	—	—	—	30,679	23,314	4,358	368	75.0	276	4,634	3,522	65,720	2,320	57.5	1,334	67,054	50,957			
7	R15	1.3159	7	30,679	—	—	—	30,679	22,416	4,358	368	87.5	322	4,680	3,420	65,720	2,320	63.6	1,476	67,196	49,098			
8	R16	1.3686	8	30,679	—	—	—	30,679	21,555	4,358	368	100.0	368	4,726	3,320	65,720	2,320	69.6	1,615	67,335	47,309			
9	R17	1.4233	9	30,679	—	—	—	30,679	20,726	4,358	368	100.0	368	4,726	3,193	65,720	2,320	75.7	1,756	67,476	45,586			
10	R18	1.4802	10	30,679	—	—	—	30,679	19,928	4,358	368	100.0	368	4,726	3,070	65,720	2,320	81.8	1,898	67,618	43,922			
11	R19	1.5395	11	30,679	—	—	—	30,679	19,162	4,358	368	100.0	368	4,726	2,952	65,720	2,320	87.9	2,039	67,759	42,323			
12	R20	1.6010	12	30,679	—	—	—	30,679	18,425	4,358	368	100.0	368	4,726	2,838	65,720	2,320	93.9	2,178	67,898	40,777			
13	R21	1.6651	13	30,679	—	—	—	30,679	17,716	4,358	368	100.0	368	4,726	2,729	65,720	2,320	100.0	2,320	68,040	39,291			
14	R22	1.7317	14	30,679	—	—	—	30,679	17,035	4,358	368	100.0	368	4,726	2,624	65,720	2,320	100.0	2,320	68,040	37,781			
15	R23	1.8009	15	30,679	—	—	—	30,679	16,380	4,358	368	100.0	368	4,726	2,523	65,720	2,320	100.0	2,320	68,040	36,327			
16	R24	1.8730	16	30,679	—	—	—	30,679	15,750	4,358	368	100.0	368	4,726	2,426	65,720	2,320	100.0	2,320	68,040	34,930			
17	R25	1.9479	17	30,679	—	—	—	30,679	15,144	4,358	368	100.0	368	4,726	2,333	65,720	2,320	100.0	2,320	68,040	33,587			
18	R26	2.0258	18	30,679	—	—	—	30,679	14,562	4,358	368	100.0	368	4,726	2,243	65,720	2,320	100.0	2,320	68,040	32,295			
19	R27	2.1068	19	30,679	—	—	—	30,679	14,002	4,358	368	100.0	368	4,726	2,157	65,720	2,320	100.0	2,320	68,040	31,053			
20	R28	2.1911	20	30,679	—	—	—	30,679	13,463	4,358	368	100.0	368	4,726	2,074	65,720	2,320	100.0	2,320	68,040	29,858			
21	R29	2.2788	21	30,679	—	—	—	30,679	12,945	4,358	368	100.0	368	4,726	1,994	65,720	2,320	100.0	2,320	68,040	28,710			
22	R30	2.3699	22	30,679	—	—	—	30,679	12,447	4,358	368	100.0	368	4,726	1,917	65,720	2,320	100.0	2,320	68,040	27,606			
23	R31	2.4647	23	30,679	—	—	—	30,679	11,969	4,358	368	100.0	368	4,726	1,844	65,720	2,320	100.0	2,320	68,040	26,544			
24	R32	2.5633	24	30,679	—	—	—	30,679	11,508	4,358	368	100.0	368	4,726	1,773	65,720	2,320	100.0	2,320	68,040	25,523			
25	R33	2.6658	25	30,679	—	—	—	30,679	11,065	4,358	368	100.0	368	4,726	1,705	65,720	2,320	100.0	2,320	68,040	24,541			
26	R34	2.7725	26	30,679	—	—	—	30,679	10,640	4,358	368	100.0	368	4,726	1,639	65,720	2,320	100.0	2,320	68,040	23,597			
27	R35	2.8834	27	30,679	—	—	—	30,679	10,231	4,358	368	100.0	368	4,726	1,576	65,720	2,320	100.0	2,320	68,040	22,690			
28	R36	2.9987	28	30,679	—	—	—	30,679	9,837	4,358	368	100.0	368	4,726	1,515	65,720	2,320	100.0	2,320	68,040	21,817			
29	R37	3.1187	29	30,679	—	—	—	30,679	9,459	4,358	368	100.0	368	4,726	1,457	65,720	2,320	100.0	2,320	68,040	20,978			
30	R38	3.2434	30	30,679	—	—	—	30,679	9,095	4,358	368	100.0	368	4,726	1,401	65,720	2,320	100.0	2,320	68,040	20,171			
31	R39	3.3731	31	30,679	—	—	—	30,679	8,745	4,358	368	100.0	368	4,726	1,347	65,720	2,320	100.0	2,320	68,040	19,395			
32	R40	3.5081	32	30,679	—	—	—	30,679	8,409	4,358	368	100.0	368	4,726	1,295	65,720	2,320	100.0	2,320	68,040	18,649			
33	R41	3.6484	33	30,679	—	—	—	30,679	8,086	4,358	368	100.0	368	4,726	1,246	65,720	2,320	100.0	2,320	68,040	17,932			
34	R42	3.7943	34	30,679	—	—	—	30,679	7,775	4,358	368	100.0	368	4,726	1,198	65,720	2,320	100.0	2,320	68,040	17,242			
35	R43	3.9461	35	30,679	—	—	—	30,679	7,476	4,358	368	100.0	368	4,726	1,152	65,720	2,320	100.0	2,320	68,040	16,579			
36	R44	4.1039	36	30,679	—	—	—	30,679	7,188	4,358	368	100.0	368	4,726	1,107	65,720	2,320	100.0	2,320	68,040	15,942			
37	R45	4.2681	37	30,679	—	—	—	30,679	6,912	4,358	368	100.0	368	4,726	1,065	65,720	2,320	100.0	2,320	68,040	15,328			
38	R46	4.4388	38	30,679	—	—	—	30,679	6,646	4,358	368	100.0	368	4,726	1,024	65,720	2,320	100.0	2,320	68,040	14,739			
39	R47	4.6164	39	30,679	—	—	—	30,679	6,390	4,358	368	100.0	368	4,726	984	65,720	2,320	100.0	2,320	68,040	14,172			
40	R48	4.8010	40	30,679	—	—	—	30,679	6,144	4,358	368	100.0	368	4,726	947	65,720	2,320	100.0	2,320	68,040	13,627			
41	R49	4.9931	41	30,679	—	—	—	30,679	5,908	4,358	368	100.0	368	4,726	910	65,720	2,320	100.0	2,320	68,040	13,103			
42	R50	5.1928	42	30,679	—	—	—	30,679	5,681	4,358	368	100.0	368	4,726	875	65,720	2,320	100.0	2,320	68,040	12,599			
43	R51	5.4005	43	30,679	—	—	—	30,679	5,462	4,358	368	100.0	368	4,726	841	65,720	2,320	100.0	2,320	68,040	12,114			
44	R52	5.6165	44	30,679	—	—	—	30,679	5,252	4,358	368	100.0	368	4,726	809	65,720	2,320	100.0	2,320	68,040	11,648			
45	R53	5.8412	45	30,679	—	—	—	30,679	5,050	4,358	368	100.0	368	4,726	778	65,720	2,320	100.0	2,320	68,040	11,200			
46	R54	6.0748	46	30,679	—	—	—	30,679	4,856	4,358	368	100.0	368	4,726	748	65,720	2,320	100.0	2,320	68,040	10,770			
47	R55	6.3178	47	30,679	—	—	—	30,679	4,669	4,358	368	100.0	368	4,726	719	65,720	2,320	100.0	2,320	68,040	10,355			
48	R56	6.5705	48	30,679	—	—	—	30,679	4,490	4,358	368	100.0	368	4,726	692	65,720	2,320	100.0	2,320	68,040	9,957			
49	R57	6.8333	49	30,679	—	—	—	30,679																
合計（総便益額）								654,734						99,402							1,441,553			

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

南紀用水二期地区の事業の効用に関する詳細

1 (3) 総便益額算出表-4

評価期間	年度	割引率 (1 + 割引率) ^t ①	経過年 (t)		割引後 効果額 合計 (千円)	備考
	R8	1.0000	0		—	評価年
1	R9	1.0400	1		2,211,012	
2	R10	1.0816	2		2,131,820	
3	R11	1.1249	3		2,052,371	
4	R12	1.1699	4		1,976,141	
5	R13	1.2167	5		1,903,648	
6	R14	1.2653	6		1,833,897	
7	R15	1.3159	7		1,766,607	
8	R16	1.3686	8		1,701,583	
9	R17	1.4233	9		1,638,936	
10	R18	1.4802	10		1,578,490	
11	R19	1.5395	11		1,520,093	
12	R20	1.6010	12		1,464,011	
13	R21	1.6651	13		1,409,839	
14	R22	1.7317	14		1,357,754	
15	R23	1.8009	15		1,305,582	
16	R24	1.8730	16		1,255,326	
17	R25	1.9479	17		1,207,055	
18	R26	2.0258	18		1,160,640	
19	R27	2.1068	19		1,116,017	
20	R28	2.1911	20		1,073,080	
21	R29	2.2788	21		1,031,782	
22	R30	2.3699	22		992,119	
23	R31	2.4647	23		953,959	
24	R32	2.5633	24		917,264	
25	R33	2.6658	25	各効果における「同左割引後」の合計	881,995	
26	R34	2.7725	26		848,051	
27	R35	2.8834	27		815,433	
28	R36	2.9987	28		784,081	
29	R37	3.1187	29		753,911	
30	R38	3.2434	30		724,924	
31	R39	3.3731	31		697,050	
32	R40	3.5081	32		670,227	
33	R41	3.6484	33		644,452	
34	R42	3.7943	34		619,673	
35	R43	3.9461	35		595,836	
36	R44	4.1039	36		572,925	
37	R45	4.2681	37		550,883	
38	R46	4.4388	38		529,699	
39	R47	4.6164	39		509,320	
40	R48	4.8010	40		489,735	
41	R49	4.9931	41		470,895	
42	R50	5.1928	42		452,786	
43	R51	5.4005	43		435,372	
44	R52	5.6165	44		418,627	
45	R53	5.8412	45		402,524	
46	R54	6.0748	46		387,045	
47	R55	6.3178	47		372,159	
48	R56	6.5705	48		357,845	
49	R57	6.8333	49		344,084	
合計 (総便益額)					49,888,558	

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

2 (1) 作物生産効果-1

作物名	新設・更新	作付面積			効果要因	単 収				生産増減量 ③＝①×② ÷100	生産物 単価 ④	増加粗 収益額 ⑤＝③×④	純 益 率 ⑥	年効果額 ⑦＝⑤×⑥
		現況	計画	効果発生 面積 ①		事業 なかりせば 単収	事業 ありせば 単収	増 収 率	効果算定 対象 単収 ②					
うすいえんどう (露地)	更新	ha 11	ha 11	ha 11	単収増 (湿潤かんがい)	kg/10a 884	kg/10a 1,017	% 15	kg/10a 133	t 14.6	千円/ t —	千円 —	% —	千円 —
					小計	—	—	—	—	14.6	641	9,359	91	8,517
					うすいえんどう(露地)計	—	—	—	—	14.6	—	9,359	—	8,517
うすいえんどう (施設)	更新	4	4	4	単収増 (湿潤かんがい)	1,560	1,794	15	234	9.4	—	—	—	—
					小計	—	—	—	—	9.4	759	7,135	91	6,493
					うすいえんどう(施設)計	—	—	—	—	9.4	—	7,135	—	6,493
スターチス	更新	5	5	5	単収増 (湿潤かんがい)	本/10a 63,299	本/10a 95,582		本/10a 32,283	千本 1,614.2	円/本 —	—	—	—
					小計	—	—	—	—	1,614.2	31	50,040	88	44,035
					スターチス計	—	—	—	—	1,614.2	—	50,040	—	44,035
普通畑計	更新	20	20									66,534		59,045
青うめ	更新	328	328	328	単収増 (湿潤かんがい)	1,197	1,376	15	179	587.1	—	—	—	—
					小計	—	—	—	—	587.1	419	245,995	91	223,855
					青うめ計	—	—	—	—	587.1	—	245,995	—	223,855
加工うめ	新設	47	47	47	単収増 (湿潤かんがい)	736	846	15	110	51.7	—	—	—	—
					小計	—	—	—	—	51.7	821	42,446	92	39,050
	更新	842	842	842	単収増 (湿潤かんがい)	736	846	15	110	926.2	—	—	—	—
					小計	—	—	—	—	926.2	865	801,163	92	737,070
									加工うめ計	—	—	—	—	977.9

南紀用水二期地区の事業の効用に関する詳細

2 (1) 作物生産効果－2

作物名	新設・更新	作付面積			効果要因	単 収				生産増減量 ③＝①×② ÷100	生産物単価 ④	増加粗収益額 ⑤＝③×④	純益率 ⑥	年効果額 ⑦＝⑤×⑥
		現況	計画	効果発生面積 ①		事業 なかりせば 単収	事業 ありせば 単収	増収率	効果算定 対象 単収 ②					
温州みかん	更新	169	169	169	単収増 (湿潤かんがい)	1,807	2,078	15	271	458.0	—	—	—	—
					小計	—	—	—	—	458.0	206	94,348	91	85,857
					温州みかん計	—	—	—	—	458.0	—	94,348	—	85,857
ポンカン	更新	10	10	10	単収増 (湿潤かんがい)	1,034	1,189	15	155	15.5	—	—	—	—
					小計	—	—	—	—	15.5	222	3,441	91	3,131
					ポンカン計	—	—	—	—	15.5	—	3,441	—	3,131
不知火	更新	10	10	10	単収増 (湿潤かんがい)	903	1,038	15	135	13.5	—	—	—	—
					小計	—	—	—	—	13.5	258	3,483	91	3,170
					不知火計	—	—	—	—	13.5	—	3,483	—	3,170
樹園地計	新設	47	47									42,446		39,050
	更新	1,359	1,359									1,148,430		1,053,083
新設		47	47									42,446		39,050
更新		1,379	1,379									1,214,964		1,112,128
合計												1,257,410		1,151,178

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

増収率は、「新たな土地改良の効果算定マニュアル」、近傍地区における試験研究結果、統計データ等を基に整理した。

南紀用水二期地区の事業の効用に関する詳細
 2 (2) 品質向上効果

作物名	効果要因	効果対象数量		生産物単価			単価向上額		年効果額		
		更新 ①	新設 ②	事業なかりせば ③	現況 ④	事業ありせば ⑤	現況－事業なかりせば ⑥=④-③	事業ありせば－現況 ⑦=⑤-④	現況－事業なかりせば ⑧=①×⑥	事業ありせば－現況 ⑨=②×⑦	計 ⑩=⑧+⑨
スターチス	湿潤かんがい	千本 3,165	千本 —	円/本 28	円/本 31	円/本 31	円/本 3	円/本 —	千円 9,495	千円 —	千円 9,495
普通畑計									9,495	—	9,495
青うめ	湿潤かんがい	t 3,926	t —	千円/t 409	千円/t 419	千円/t 419	千円/t 10	千円/t —	39,260	—	39,260
加工うめ	湿潤かんがい	6,197	—	821	865	865	44	—	272,668	—	272,668
加工うめ	湿潤かんがい	—	398	821	821	865	—	44	—	17,512	17,512
温州みかん	湿潤かんがい	3,054	—	187	206	206	19	—	58,026	—	58,026
ポンカン	湿潤かんがい	103	—	201	222	222	21	—	2,163	—	2,163
不知火	湿潤かんがい	90	—	234	258	258	24	—	2,160	—	2,160
樹園地計									374,277	17,512	391,789
新設										17,512	17,512
更新									383,772		383,772
合計											401,284

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

南紀用水二期地区の事業の効用に関する詳細

2 (3) 営農経費節減効果－ 1

作物名	ha当たり営農経費				ha当たり 経費 ⑤= (①-②) + (③-④)	効果発生 面積 ⑥	年効果額 ⑦=⑤×⑥
	新設		更新				
	現況営農経費 ①	事業ありせば (計画) 営農経費 ②	事業なかりせば 営農経費 ③	事業ありせば (現況) 営農経費 ④			
うすいえんどう (露地) (用水改良)	円 —	円 —	円 3,850,216	円 3,299,180	円 551,036	ha 11	千円 6,061
うすいえんどう (施設) (用水改良)	—	—	6,360,990	5,945,280	415,710	4	1,663
スターチス (用水改良)	—	—	9,533,075	10,280,380	△747,305	5	△3,737
普通畑計							3,987
青うめ (給水栓) (用水改良)	—	—	1,300,135	1,255,494	44,641	41	1,830
青うめ (スプリンクラー) (用水改良)	—	—	1,300,135	839,199	460,936	287	132,289
加工うめ (給水栓) (用水改良)	—	—	1,344,471	1,267,147	77,324	104	8,042
加工うめ (スプリンクラー) (用水改良)	—	—	1,344,471	807,986	536,485	738	395,926
温州みかん (給水栓) (用水改良)	—	—	2,250,776	2,095,727	155,049	21	3,256
温州みかん (スプリンクラー) (用水改良)	—	—	2,250,776	1,653,529	597,247	148	88,393
ポンカン (給水栓) (用水改良)	—	—	2,268,495	2,162,472	106,023	1	106
ポンカン (スプリンクラー) (用水改良)	—	—	2,268,495	1,784,798	483,697	9	4,353

南紀用水二期地区の事業の効用に関する詳細
2 (3) 営農経費節減効果－2

作物名	ha当たり営農経費				ha当たり 経費 ⑤= (①-②) + (③-④)	効果発生 面積 ⑥	年効果額 ⑦=⑤×⑥
	新設		更新				
	現況営農経費 ①	事業ありせば (計画) 営農経費 ②	事業なかりせば 営農経費 ③	事業ありせば (現況) 営農経費 ④			
不知火（給水栓） （用水改良）	—	—	2,640,075	2,534,052	106,023	1	106
不知火（スプリンクラー） （用水改良）	—	—	2,640,075	2,156,378	483,697	9	4,353
樹園地計							638,654
新設							—
更新							642,641
合計							642,641

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

■効果要因は以下のとおり。

- ・うすいえんどう (露地)、うすいえんどう (施設)、スターチス、青うめ (給水栓)、青うめ (スプリンクラー)、加工うめ (給水栓)、加工うめ (スプリンクラー)、温州みかん (給水栓)、温州みかん (スプリンクラー)、ポンカン (給水栓)、ポンカン (スプリンクラー)、不知火 (給水栓)、不知火 (スプリンクラー) (用水改良、更新：事業ありせば→なかりせば)
- 用水施設の機能が喪失した場合を想定し、用水管理にかかる経費が減少。防除用水を自宅より運搬する経費が増加。

令和9年度新規地区採択チェックリスト

(1) 国営かんがい排水事業

(局名：近畿農政局) (地区名：南紀用水二期^{なんきようすい に き})

3 特定監視項目

1 地質状況
地質状況に基づいた施設計画としている。
地質状況を把握するための必要な調査を行い、仮設等を見込んだ施設計画としている。

2 受益面積
最近年の面積を把握している。
本事業の受益面積は、国営南紀用水土地改良事業（昭和48年度～平成7年度）の受益範囲、新規編入地区の日向団地及び東山団地の受益範囲を基に一定地域を特定し、新規編入地区は土地登記簿、更新地区は土地改良区の土地原簿から令和6年4月時点で積み上げている。

上場二期地区の事業の効用に関する説明資料

1 総費用総便益比の算定

(1) 総費用総便益比の総括

(単位：千円)

区 分	算定式	数 値
総費用（現在価値化）	①＝②＋③	101,933,272
当該事業による費用	②	16,120,904
関連事業による費用、資産価額、再整備費	③	85,812,368
評価期間（当該事業の工事期間＋40年）	④	50年
社会的割引率		4%
総便益額（現在価値化）	⑤	128,907,833
総費用総便益比	⑥＝⑤÷①	1.26

(2) 総費用の総括

(単位：千円)

区分	資産価額 （事業着工 時点） ①	当該事業に よる費用 ②	関連事業に よる費用 ③	再整備費 ④	資産価額 （評価期間 終了時点） ⑤	総費用 ⑥＝①＋②＋ ③＋④－⑤
国営造成施設	39,019,802	16,120,904	－	37,623,889	7,773,023	84,991,572
県営造成施設	64,894	－	－	15,316,284	1,661,232	13,719,946
その他造成施設	840,274	－	－	2,734,248	352,768	3,221,754
合 計	39,924,970	16,120,904	－	55,674,421	9,787,023	101,933,272

※各造成施設の詳細については「上場二期地区の事業の効用に関する詳細」を参照

(3) 年総効果額、総便益額の総括

(単位：千円)

効果項目	区 分	年総効果 （便益）額	総便益額	効果の要因
食料の安定供給の確保に関する効果				
作物生産効果		4,550,858	93,068,454	用水施設の整備を実施した場合と実施しなかった場合での作物生産量が増減する効果
品質向上効果		1,616,173	34,718,837	用水施設の整備を実施した場合と実施しなかった場合での生産物の価格が維持、向上する効果
営農経費節減効果		131,275	2,820,066	用水施設の整備を実施した場合と実施しなかった場合での営農経費が増減する効果
維持管理費節減効果		△561,593	△12,590,327	用水施設の整備を実施した場合と実施しなかった場合での施設の維持管理費が増減する効果
農村の振興に関する効果				
地域用水効果		22,365	480,449	用水施設の整備を実施した場合と実施しなかった場合での地域用水を利用する経費が節減する効果

その他の効果			
洪水調節機能効果（農業用ダム）	50,116	1,076,600	農業用ダムにおいて洪水調節機能の維持・向上のための施設を整備することにより、運用過程において流域全体における一部の洪水流量をカットする機能により、洪水被害が防止又は軽減される効果
国産農産物安定供給効果	475,997	9,333,754	用水施設の整備により農業生産性の向上や営農条件等の改善が図られ、国産農産物の安定供給に寄与する効果
合 計	6,285,191	128,907,833	

※総便益の算定の詳細については「上場二期地区の事業の効用に関する詳細」を参照

2 年効果額の算定方法

（１）作物生産効果

○効果の考え方

事業を実施した場合（事業ありせば）と実施しなかった場合（事業なかりせば）の作物生産量の比較により年効果額を算定した。

○対象作物

上場二期地区の事業の効用に関する詳細のとおり

○年効果額算定式

$$\text{年効果額} = \text{単収増加年効果額}^{\ast 1} + \text{作付増減年効果額}^{\ast 2}$$

$$\ast 1 \quad \text{単収増加年効果額} = \text{作付面積} \times (\text{事業ありせば単収} - \text{事業なかりせば単収}) \times \text{単価} \times \text{単収増加の純益率}$$

$$\ast 2 \quad \text{作付増減年効果額} = (\text{事業ありせば作付面積} - \text{事業なかりせば作付面積}) \times \text{単収} \times \text{単価} \times \text{作付増減の純益率}$$

○年効果額の算定

（単位：千円）

区 分	作付面積（ha）		増加粗収益額	年効果額
	現況	計画		
新設整備	3,004	3,424	3,188,498	977,879
更新整備	3,024	3,024	3,992,177	3,572,979
合 計			7,180,675	4,550,858

※作物生産効果における作物毎の詳細については「上場二期地区の事業の効用に関する詳細」を参照

・作付面積：各作物の作付面積は以下のとおり

「現況作付面積」・受益地の作付実績に基づき決定した。

「計画作付面積」・県、関係市町の農業振興計画等や関係者の意向を踏まえ決定した。

- ・単収：増加粗収益額の算定に用いる各作物の単収については以下のとおり
「事業なかりせば単収」・用水機能の喪失時の単収であり、現況単収に効果要因別の失われる増収率分を減じて算定した。
- 「事業ありせば単収」・現況単収であり、作物統計等による最近5か年の平均単収により算定した。
- 「効果算定対象単収」・事業ありせば単収と事業なかりせば単収の差である。
(作付増においては、地域の計画単収、作付減においては地域の現況単収である。)
- ・生産物単価：農業物価統計等による最近5か年の販売価格に消費者物価指数を反映した価格を用いた。
- ・純益率：「土地改良事業の費用対効果分析に必要な諸係数について」による標準値等を用いた。

(2) 品質向上効果

○効果の考え方

事業を実施した場合(事業ありせば)と実施しなかった場合(事業なかりせば)の生産物価格の比較により年効果額を算定した。

○対象作物

上場二期地区の事業の効用に関する詳細のとおり

○年効果額算定式

年効果額 = (事業ありせば作物単価 - 事業なかりせば作物単価) × 効果発生量

○年効果額の算定

(単位：千円)

区分	効果発生要因		年効果額
	単価向上	商品化率向上	
新設整備	—	—	—
更新整備	1,616,173	—	1,616,173
合計	1,616,173	—	1,616,173

※品質向上効果における作物毎の詳細については「上場二期地区の事業の効用に関する詳細」を参照

- ・効果対象数量：作物生産効果における作付面積、単収から算定された生産量。
- ・生産物単価：「現況単価」は農業物価統計等による最近5か年の販売価格に消費者物価指数を反映した価格を用いた。なお、本事業による農産物の品質の向上は見込めないことから「現況単価」＝「事業ありせば単価」とした。
「事業なかりせば単価」は、「現況単価」に畑地かんがい導入地区の試験データ等を用いて算出した畑地かんがい品質向上率を考慮し決定した。

(3) 営農経費節減効果

○効果の考え方

事業を実施した場合(事業ありせば)と実施しなかった場合(事業なかりせば)の労働費、機械経費、その他の生産資材費について比較し、それらの営農経費の増減から年効果額を算定した。

○対象作物

上場二期地区の事業の効用に関する詳細のとおり

○年効果額算定式

年効果額 = (事業なかりせば単位面積当たり営農経費 - 事業ありせば単位面積当たり営農経費) × 効果発生面積

○年効果額の算定

(単位：千円)

区分	事業なかりせば①	事業ありせば②	年効果額 ③=①-②
新設整備	現況営農経費	計画営農経費	—
更新整備	事業なかりせば営農経費	現況営農経費	131,275
合 計			131,275

※営農経費節減効果における作物毎の営農経費の詳細については「上場二期地区の事業の効用に関する詳細」を参照

・各作物のha当たり営農経費は以下のとおり

- ・現況営農経費 : 地域の現在の営農経費であり、佐賀県の資料等を基に地域の農業関係機関に確認し算定した。
- ・事業なかりせば営農経費 : 地域の水利施設の機能が失われた場合に想定される水管理作業に係る経費を考慮し算定した。

(4) 維持管理費節減効果

○効果の考え方

事業を実施した場合(事業ありせば)と実施しなかった場合(事業なかりせば)を比較し、施設の維持管理費の増減をもって年効果額を算定した。

○対象施設

総費用に計上した、当該事業及び受益地内で一体的に効用を発揮している全ての土地改良施設

○年効果額算定式

年効果額 = 事業なかりせば維持管理費 - 事業ありせば維持管理費

○年効果額の算定

(単位：千円)

区分	新設	現況維持管理費①	事業ありせば維持管理費②	年効果額 ③=①-②
	更新	事業なかりせば維持管理費①	現況維持管理費②	
新設整備		701,659	592,049	109,610
更新整備		30,456	701,659	△671,203

合 計			△561, 593
-----	--	--	-----------

- ・事業なかりせば維持管理費：現況施設の維持管理費を基に、施設の機能を失った場合に想定される安全管理等に最低限必要な維持管理費を算定した。
- ・事業ありせば維持管理費：現況施設の維持管理費を基に、本事業の実施により見込まれる維持管理費の増減を考慮し算定した。
- ・現況維持管理費：現況施設の維持管理費に基づき算定した。

(5) 地域用水効果

○効果の考え方

事業を実施した場合（事業ありせば）と実施しなかった場合（事業なかりせば）を比較し、地域用水を利用する経費の増減により年効果額を算定した。

○対象施設 用水路

○年効果額算定式

$$\text{年効果額} = \text{事業なかりせば想定される地域用水の利用経費} - \text{事業ありせば想定される地域用水の利用経費}$$

○年効果額の算定

1) 防火用水効果

$$\begin{aligned} \text{年効果額} &= (\text{事業ありせば地域集落等の防火水槽の設置の計画節減数} \\ &\quad \text{又は事業なかりせば地域集落等の防火水槽の設置の想定増加数} \\ &\quad \times 1\text{か所当たりの建設費}) \times \text{還元率} \end{aligned}$$

(単位：千円)

区 分	事業なかりせば 想定増加数 (箇所) ①	1か所当たり 建設費 ②	還元率 ③	年効果額 ④=①×②×③
更新整備	51	7, 587	0. 0578	22, 365

- ・事業なかりせば想定増加数：現在、消防水利施設に位置付けられている土地改良施設を消防施設に代替えた場合の施設数を算定した。
- ・1か所当たり建設費：近傍地区の防火水槽の建設費を基に算定した。
- ・還元率：施設が有している総効果額を耐用年数期間における年効果額に換算するための係数。

(6) その他の効果(洪水調節機能効果(農業用ダム))

○効果の考え方

事業を実施した場合（事業ありせば）と実施しなかった場合（事業なかりせば）を比較し、農業用ダムにおいて洪水調節可能容量が確保されることにより洪水被害が防止又は軽減される年効果額を算定した。

○対象施設

当該事業により整備した農業用ダム

○年効果額算定式

$$\text{年効果額} = (\text{事業ありせば洪水調節可能容量} - \text{事業なかりせば洪水調節可能容量}) \times \text{洪水調節単価} \times \text{還元率}$$

○年効果額の算定

(単位：千円)

区分	洪水調節可能容量 (千m ³)			洪水調節 単価 (円/m ³) ③	還元率 ④	年効果額 ⑤ = (① - ②) × ③ × ④
	新設	事業 ありせば①	現況②			
	更新	現況①	事業なかり せば②			
新設整備		—	—	—	—	—
更新整備		358	0	3,349	0.0418	50,116
合 計						50,116

- ・洪水調節可能容量：農業用ダムのかんがいに係る用途のうちの流域における洪水被害を防止又は軽減するための容量
- ・洪水調節単価：近傍治水ダム等の建設費と洪水調節容量により算定
- ・還元率：施設が有している総効果額を耐用年数期間における年効果額に換算するための係数

(7) その他の効果(国産農産物安定供給効果)

○効果の考え方

国産農産物の安定供給に対して国民が感じる安心感の効果であるため、一般国民に対してWTP (Willingness To Pay：支払意思額) を尋ねることで、その価値を直接的に評価する手法であるCVM (Contingent Valuation Method：仮想市場法) により年効果額を算定した。

○対象作物

作物生産効果算定作物のうち、食料生産に係るもの

○年効果額算定式

$$\text{年効果額} = \text{年増加粗収益額} \times \text{単位食料生産額当たり効果額 (原単位)} + \text{年増加供給熱量} \times \text{単位供給熱量当たり効果額 (原単位)}$$

○年効果額の算定

(単位：千円)

区 分	増加粗収益額 ①	増加供給熱量 (千kcal) ②	単位食料生産 額当たり効果 額 (円/千円) ③	単位供給熱量 当たり効果額 (円/千kcal) ④	当該土地改良 事業における 年効果額 ⑤ = ① × ③ + ② × ④
新設整備	3,268,598	2,586,930	49	9.9	185,772

更新整備	3,894,348	10,040,588	49	9.9	290,225
合 計	7,162,946	12,627,518			475,997

増加粗収益額、増加供給熱量：作物生産効果の算定過程で整理した結果を用いて、事業ありせばと事業なかりせばにおける増加粗収益額及び増加供給熱量を整理した。

単位食料生産額当たり効果額、単位供給熱量当たり効果額：一般国民に対し国産農産物の安定供給についてWTPを尋ねるCVMにより、年効果額の算定に用いる単位食料生産額当たり効果額（原単位）は49円/千円、単位供給熱量当たり効果額（原単位）は9.9円/千kcalとした。

3 評価に使用した資料

【共通】

- ・農林水産省農村振興局整備部（監修）〔改訂版〕「新たな土地改良の効果算定マニュアル」大成出版社（平成27年9月5日第2版第1刷）
- ・土地改良事業の費用対効果分析マニュアルの制定について（平成19年3月28日付け18農振第1597号農林水産省農村振興局企画部長通知（最終改正：令和7年4月2日））
- ・「国産農産物安定供給効果」について（平成27年3月27日付け26農振第2072号農林水産省農村振興局整備部長通知（令和5年4月3日一部改正））
- ・土地改良事業の費用対効果分析における参考資料等について（令和4年4月11日付け農林水産省農村振興局整備部関係課関係班連名事務連絡）
- ・土地改良事業の費用対効果分析に必要な諸係数について（平成19年3月28日付け18農振第1598号農林水産省農村振興局企画部長通知（令和7年4月1日一部改正））
- ・土地改良事業の費用対効果分析に必要な諸係数等について（令和7年4月1日付け農林水産省農村振興局整備部土地改良企画課課長補佐（事業効果班）事務連絡）

【費用】

- ・当該事業費に係る一般に公表されていない諸元については、九州農政局北部九州土地改良調査管理事務所調べ

【便益】

- ・農林水産省大臣官房統計部（令和1～5年）「作物統計調査」農林水産省
- ・農林水産省大臣官房統計部（令和1～5年）「農業物価統計」農林水産省
- ・効果算定に必要な各種諸元については、九州農政局北部九州土地改良調査管理事務所調べ

上場二期地区の事業の効用に関する詳細

1 (2) 総費用の総括 - 1

(単位：千円)

区分	施設名 (又は工種)	資産価額 (事業着工時点) ①	当該事業による 費用 ②	関連事業による 費用 ③	再整備費 ④	資産価額 (評価期間終了時点) ⑤	総費用 ⑥=①+②+③ +④-⑤
国 営 造 成 施 設	打上ダム	2,586,776	611,865	-	1,237,827	536,311	3,900,157
	後川内ダム	5,598,098	277,864	-	3,078,523	1,433,618	7,520,867
	上倉ダム	2,510,258	129,598	-	919,385	575,559	2,983,682
	赤坂ダム	4,155,087	127,949	-	1,842,156	1,002,760	5,122,432
	藤ノ平ダム	22,096,689	859,339	-	7,969,273	1,098,983	29,826,318
	藤ノ平揚水機場	69,748	891,023	-	365,905	93,239	1,233,437
	花ノ木揚水機場	47,914	464,567	-	321,226	80,241	753,466
	打上揚水機場	54,493	926,097	-	599,000	101,755	1,477,835
	新成淵・赤坂揚水機場	34,544	572,862	-	360,935	67,168	901,173
	十連溜揚水機場	5,894	305,991	-	196,180	52,217	455,848
	見借・新直配揚水機場	16,483	278,943	-	173,876	43,192	426,110
	八折栄揚水機場	14,088	285,274	-	179,952	44,536	434,778
	野高山揚水機場	21,412	226,375	-	146,258	42,331	351,714
	松浦川揚水機場	218,084	3,358,635	-	2,089,963	464,558	5,202,124
	新杉谷揚水機場	7,582	261,289	-	165,615	48,374	386,112
	松浦川幹線用水路	34,730	265,467	-	153,923	27,867	426,253
	後川内幹線用水路	1,300	203,579	-	182,342	26,168	361,053
	花ノ木幹線用水路	307,146	151,763	-	1,411,306	162,190	1,708,025
	納所幹線用水路	5,182	41,554	-	45,367	8,332	83,771
	呼子幹線用水路	454	301,709	-	734,733	96,646	940,250
	朝月幹線用水路	5,346	540,795	-	291,615	68,166	769,590
	呼子連絡線用水路	1,703	34,094	-	393,466	44,121	385,142
	加部島幹線用水路	12,947	38,114	-	88,626	11,200	128,487
	枝去木幹線用水路	17,635	1,655,852	-	793,127	172,911	2,293,703
	見借幹線用水路	608	19,125	-	12,978	2,108	30,603
	十連溜幹線用水路	506	-	-	115,123	11,797	103,832
	石室幹線用水路	1,478	-	-	244,259	23,371	222,366
	名護屋幹線用水路	8,012	164,720	-	1,225,730	136,155	1,262,307
	上倉幹線用水路	24,370	252,903	-	196,025	46,075	427,223
	赤坂ダム幹線用水路	278	18,447	-	18,103	2,545	34,283
	赤坂幹線用水路	78	-	-	32,185	3,385	28,878

上場二期地区の事業の効用に関する詳細

1 (2) 総費用の総括－2

(単位：千円)

区分	施設名 (又は工種)	資産価額 (事業着工時点) ①	当該事業による 費用 ②	関連事業による 費用 ③	再整備費 ④	資産価額 (評価期間終了時点) ⑤	総費用 ⑥＝①＋②＋③ ＋④－⑤
国 営 造 成 施 設	八折栄幹線用水路	1,334	23,474	－	37,454	4,243	58,019
	玄海幹線用水路	16,160	－	－	14,971	677	30,454
	湯野尾幹線用水路	103,906	3,414	－	521,113	52,375	576,058
	野高山幹線用水路	18,716	－	－	105,565	9,834	114,447
	新成淵幹線用水路	9,419	28,638	－	1,078,248	114,006	1,002,299
	新直配幹線用水路	650	5,496	－	1,686	470	7,362
	名護屋連絡線用水路	91,778	－	－	421,342	42,638	470,482
	中里幹線用水路	2,091	13,242	－	188,290	20,762	182,861
	F P 2号幹線配水路	757	45,795	－	81,460	12,376	115,636
	F P 3号幹線配水路	263	－	－	94,515	8,989	85,789
	F P 4号幹線配水路	2,450	－	－	441,645	44,180	399,915
	F P 5号幹線配水路	943	－	－	201,235	18,550	183,628
	F P 6号幹線配水路	202	－	－	65,824	6,341	59,685
	F P 7号幹線配水路	2,326	68,216	－	722,718	82,664	710,596
	F P 10号幹線配水路	21,145	－	－	136,064	11,875	145,334
	F P 12号幹線用水路	33,140	20,923	－	6,417	2,543	57,937
	F P 15号幹線配水路	1,080	－	－	540,993	53,342	488,731
	F P 25号幹線用水路	260	18,318	－	5,618	2,143	22,053
	松浦川幹線調整水槽	1,800	4,412	－	6,586	558	12,240
	F P 2号	13,182	80,055	－	46,422	8,806	130,853
	F P 3号	13,476	32,334	－	18,598	3,518	60,890
	F P 4号	12,635	65,469	－	34,927	6,387	106,644
	F P 5号	13,442	24,176	－	13,630	2,643	48,605
	F P 6号	21,938	56,424	－	30,451	6,940	101,873
	F P 7号	33,303	96,063	－	56,090	10,220	175,236
	F P 9号	11,672	37,970	－	23,343	4,489	68,496
	F P 10号	15,121	23,728	－	14,359	2,846	50,362
	F P 11号	23,841	33,161	－	19,003	4,415	71,590
	F P 12号	36,671	39,869	－	23,446	5,384	94,602
	F P 14号	10,525	71,111	－	33,397	7,527	107,506
	F P 15号	20,614	68,525	－	34,590	7,516	116,213
	F P 16号	14,199	41,618	－	21,521	5,252	72,086
	F P 17号	17,564	37,420	－	18,781	4,698	69,067
	F P 18号	17,808	66,530	－	28,632	7,699	105,271
	F P 19号	47,594	45,311	－	18,399	6,057	105,247

上場二期地区の事業の効用に関する詳細

1 (2) 総費用の総括－3

(単位：千円)

区分	施設名 (又は工種)	資産価額 (事業着工時点) ①	当該事業による 費用 ②	関連事業による 費用 ③	再整備費 ④	資産価額 (評価期間終了時点) ⑤	総費用 ⑥＝①＋②＋③ ＋④－⑤
国 営 造 成 施 設	F P 20号	14,084	84,416	－	36,101	10,215	124,386
	F P 21号	11,042	27,988	－	14,569	4,744	48,855
	F P 22号	37,416	38,208	－	21,162	5,902	90,884
	F P 23号	12,246	36,247	－	20,027	5,283	63,237
	F P 24号	12,113	31,578	－	15,949	4,951	54,689
	F P 25号	22,394	59,020	－	32,729	8,802	105,341
	F P 26号	17,415	82,851	－	43,170	11,417	132,019
	F P 27号	13,052	32,794	－	15,477	4,567	56,756
	F P 28号	17,009	－	－	36,765	2,182	51,592
	吐水槽11	4,995	－	－	83,557	3,487	85,065
	吐水槽12	6,308	60,974	－	22,596	7,175	82,703
	吐水槽13	2,132	－	－	96,920	4,020	95,032
	県F P 1号	5,556	16,050	－	8,986	2,534	28,058
	県F P 4号	5,446	－	－	22,152	1,203	26,395
	県F P 10号	7,788	16,802	－	10,578	2,626	32,542
	水管理システム	72,529	1,316,491	－	1,970,058	254,484	3,104,594
	F P 2号掛畑かん (支線水路)	1,133	－	－	20,718	1,016	20,835
	F P 3号掛畑かん (支線水路)	560	－	－	175,174	18,674	157,060
	F P 4号掛畑かん (支線水路)	148	－	－	19,095	805	18,438
	F P 5号掛畑かん (支線水路)	105	－	－	142,064	15,093	127,076
	F P 6号掛畑かん (支線水路)	69	－	－	92,243	9,800	82,512
	F P 7号掛畑かん (支線水路)	175	－	－	9,849	430	9,594
	F P 9号掛畑かん (支線水路)	19,938	－	－	4,723	196	24,465
	F P 10号掛畑かん (支線水路)	64,971	－	－	8,038	361	72,648
	F P 12号掛畑かん (支線水路)	83,350	－	－	10,986	491	93,845
	F P 14号掛畑かん (支線水路)	50	－	－	2,813	123	2,740
	F P 15号掛畑かん (支線水路)	24	－	－	31,471	3,344	28,151
	F P 16号掛畑かん (支線水路)	166	－	－	8,038	354	7,850
	F P 17号掛畑かん (支線水路)	109	－	－	5,377	236	5,250
	F P 18号掛畑かん (支線水路)	140	－	－	195,698	20,791	175,047
	F P 19号掛畑かん (支線水路)	4	－	－	131,743	13,983	117,764
	F P 20号掛畑かん (支線水路)	0	－	－	231,234	24,541	206,693
	F P 21号掛畑かん (支線水路)	0	－	－	9,849	404	9,445
	F P 22号掛畑かん (支線水路)	22	－	－	201,853	21,427	180,448
	F P 23号掛畑かん (支線水路)	92	－	－	7,537	323	7,306

上場二期地区の事業の効用に関する詳細

1 (2) 総費用の総括 - 4

(単位：千円)

区分	施設名 (又は工種)	資産価額 (事業着工時点) ①	当該事業による 費用 ②	関連事業による 費用 ③	再整備費 ④	資産価額 (評価期間終了時点) ⑤	総費用 ⑥=①+②+③ +④-⑤
国 営 造 成 施 設	F P 24号掛畑かん (支線水路)	5	-	-	3,667	151	3,521
	F P 25号掛畑かん (支線水路)	125	-	-	26,347	1,099	25,373
	F P 26号掛畑かん (支線水路)	11	-	-	280,344	29,755	250,600
	F P 27号掛畑かん (支線水路)	159	-	-	8,274	363	8,070
	F P 28号掛畑かん (支線水路)	23,327	-	-	106,854	11,352	118,829
	県 F P 1号畑かん (支線水路)	199	-	-	205,769	21,868	184,100
	県 F P 4号畑かん (支線水路)	110	-	-	58,000	6,172	51,938
	県 F P 10号畑かん (支線水路)	0	-	-	8,274	339	7,935
	11吐水槽畑かん (支線水路)	0	-	-	5,372	570	4,802
	22号FP加圧機場	6,767	-	-	366,315	16,275	356,807
	後川内加圧機場	11,468	-	-	329,616	18,069	323,015
	打上1号加圧機場	2,018	-	-	41,733	2,225	41,526
	打上2号加圧機場	2,021	-	-	47,741	2,634	47,128
	打上3号加圧機場	2,020	-	-	42,739	2,275	42,484
	23号FP加圧機場	2,023	-	-	119,431	6,689	114,765
	八床61団地加圧機場	1,511	-	-	59,838	3,260	58,089
	八床62団地加圧機場	1,529	-	-	49,990	2,502	49,017
	八床63団地加圧機場	1,545	-	-	55,428	2,978	53,995
	菖蒲39団地加圧機場	1,511	-	-	56,210	2,350	55,371
	菖蒲44団地加圧機場	1,564	-	-	61,190	2,429	60,325
	加倉49団地加圧機場	1,966	-	-	60,844	3,554	59,256
	加倉57団地加圧機場	1,968	-	-	55,419	3,320	54,067
	岩野47団地加圧機場	1,977	-	-	60,668	2,504	60,141
	湊9-1団地加圧機場	1,631	-	-	55,800	2,451	54,980
	鳩川9-2団地加圧機場	1,631	-	-	57,107	3,319	55,419
	切木44団地加圧機場	2,400	-	-	23,896	1,312	24,984
	唐の川24団地加圧機場	1,268	-	-	37,077	1,868	36,477
	中浦6団地加圧機場	1,275	-	-	56,933	3,265	54,943
	中浦36団地加圧機場	1,259	-	-	43,895	2,323	42,831
	轟木19団地加圧機場	2,392	-	-	45,869	2,456	45,805
	新木場20団地加圧機場	1,288	-	-	56,106	3,530	53,864
	入野46団地加圧機場	1,258	-	-	42,082	2,269	41,071
	新木場17団地加圧機場	1,999	-	-	55,635	3,125	54,509
	値賀1・2団地加圧機場	1,261	-	-	39,017	1,794	38,484
	値賀7団地加圧機場	2,394	-	-	33,160	1,696	33,858

上場二期地区の事業の効用に関する詳細

1 (2) 総費用の総括－5

(単位：千円)

区分	施設名 (又は工種)	資産価額 (事業着工時点) ①	当該事業による 費用 ②	関連事業による 費用 ③	再整備費 ④	資産価額 (評価期間終了時点) ⑤	総費用 ⑥=①+②+③ +④-⑤
国 営 造 成 施 設	野元75団地加圧機場	1,261	-	-	40,573	2,178	39,656
	枝去木50・13団地加圧機場	1,279	-	-	46,641	2,493	45,427
	名場越18・19団地加圧機場	1,252	-	-	55,983	2,425	54,810
	石室36団地加圧機場	1,264	-	-	44,901	2,173	43,992
	石室69団地加圧機場	1,260	-	-	72,030	2,687	70,603
	万賀里川25・55団地加圧機場	1,769	-	-	99,472	5,431	95,810
	万賀里川42団地加圧機場	1,254	-	-	45,169	1,727	44,696
	菅牟田36団地加圧機場	1,541	-	-	61,556	3,311	59,786
	菅牟田37団地加圧機場	1,533	-	-	49,310	1,631	49,212
	計	39,019,802	16,120,904	-	37,623,889	7,773,023	84,991,572
県 営 造 成 施 設	支線水路(上場)	0	-	-	3,161,413	338,144	2,823,269
	支線水路(上場Ⅱ期)	30,423	-	-	3,541,578	391,118	3,180,883
	支線水路(上場Ⅲ期)	34,471	-	-	4,321,033	462,253	3,893,251
	支線水路(上場Ⅳ期)	0	-	-	4,292,260	469,717	3,822,543
	計	64,894	-	-	15,316,284	1,661,232	13,719,946
そ の 他 造 成 施 設	中里下ため池	0	-	-	4,351	453	3,898
	中里上ため池	34,238	-	-	-	193	34,045
	塩鶴ため池	11,828	-	-	18,875	4,091	26,612
	赤木ため池	20,393	-	-	25,459	6,565	39,287
	横竹ため池	21,958	-	-	7,867	5,455	24,370
	竹後ため池	2,564	-	-	637	605	2,596
	丸渚ため池	14,087	-	-	15,054	4,352	24,789
	筒江ため池	4,691	-	-	-	26	4,665
	今倉ため池	24,364	-	-	15,713	6,712	33,365
	城のかげため池	3,846	-	-	-	11	3,835
	風呂尾呂ため池	11,515	-	-	13,291	3,630	21,176
	仮立(堤田)ため池	0	-	-	27,410	2,854	24,556
	今村ため池	0	-	-	189,585	19,744	169,841
	平尾ため池	49,624	-	-	-	778	48,846
	甲頭ため池	0	-	-	29,476	3,070	26,406
	日の出ため池	100,643	-	-	-	1,578	99,065

上場二期地区の事業の効用に関する詳細

1 (2) 総費用の総括－6

(単位：千円)

区分	施設名 (又は工種)	資産価額 (事業着工時点) ①	当該事業による 費用 ②	関連事業による 費用 ③	再整備費 ④	資産価額 (評価期間終了時点) ⑤	総費用 ⑥=①+②+③ +④-⑤
その他造成施設	小加倉第1耕地ため池	0	-	-	29,368	3,058	26,310
	石田上ため池	50,584	-	-	-	1,234	49,350
	石田下ため池	62,342	-	-	-	351	61,991
	諸浦ため池	16,193	-	-	-	327	15,866
	田代ため池	0	-	-	15,228	1,586	13,642
	轟木ため池	29,167	-	-	-	164	29,003
	大鳥ため池	19,188	-	-	5,376	4,600	19,964
	牟形三枚上ため池	0	-	-	1,305	136	1,169
	牟形三枚中ため池	0	-	-	2,175	227	1,948
	牟形三枚下ため池	0	-	-	870	91	779
	山ノ神ため池	0	-	-	44,051	4,588	39,463
	於呂ため池	0	-	-	10,551	1,099	9,452
	犬頭ため池	13,788	-	-	6,801	3,611	16,978
	高尾(肥前町)ため池	0	-	-	2,828	295	2,533
	瓜ヶ坂ため池	54,700	-	-	23,698	14,008	64,390
	大浦大ため池	0	-	-	51,448	5,358	46,090
	田代田ため池	0	-	-	44,051	4,588	39,463
	名目草古ため池	0	-	-	9,572	997	8,575
	湯野尾上ため池	27,848	-	-	-	789	27,059
	湯野尾下ため池	0	-	-	11,421	1,189	10,232
	仁田野尾大ため池	0	-	-	48,511	5,052	43,459
	黒仁田ため池	0	-	-	19,578	2,039	17,539
	次木ため池	0	-	-	13,596	1,416	12,180
	朝月ため池	0	-	-	18,824	2,090	16,734
	十連ため池	0	-	-	5,547	578	4,969
	堀切ため池	78,933	-	-	-	1,762	77,171
	平野谷上ため池	1,029	-	-	475	266	1,238
	平野谷下ため池	0	-	-	1,849	193	1,656
	中野ため池	0	-	-	16,424	1,710	14,714
	長葉山ため池	0	-	-	14,684	1,529	13,155
	上葉下ため池	0	-	-	6,526	680	5,846
	上葉上ため池	0	-	-	3,698	385	3,313
	馬部ため池	0	-	-	25,413	2,821	22,592

上場二期地区の事業の効用に関する詳細

1 (2) 総費用の総括ー7

(単位：千円)

区分	施設名 (又は工種)	資産価額 (事業着工時点) ①	当該事業による 費用 ②	関連事業による 費用 ③	再整備費 ④	資産価額 (評価期間終了時点) ⑤	総費用 ⑥=①+②+③ +④-⑤
その他造成施設	大猿口ため池	36,747	-	-	9,694	8,739	37,702
	笹尾ため池	0	-	-	19,347	2,148	17,199
	日ノ出松ため池	105,285	-	-	-	3,735	101,550
	新ため池	0	-	-	6,091	634	5,457
	黒龍ため池	1,377	-	-	1,718	443	2,652
	杉谷ため池	4,440	-	-	1,406	1,083	4,763
	岩野ため池	6,769	-	-	33,256	3,692	36,333
	沢龍下ため池	15,305	-	-	75,193	8,348	82,150
	高尾(唐津市)ため池	0	-	-	1,849	193	1,656
	太田第一ため池	15,954	-	-	5,371	3,927	17,398
	下千田ため池	0	-	-	13,379	1,393	11,986
	野中井堰	0	-	-	13,504	1,433	12,071
	野中(向)井堰	0	-	-	27,010	2,867	24,143
	原田井堰	0	-	-	206,254	21,890	184,364
	原内井堰	0	-	-	15,960	1,694	14,266
	前田井堰	0	-	-	23,326	2,476	20,850
	清水井堰	0	-	-	25,782	2,736	23,046
	城遠井堰	0	-	-	71,206	7,557	63,649
	宿の内井堰	0	-	-	40,514	4,300	36,214
	向イデ井堰	0	-	-	72,435	7,688	64,747
	辻の後井堰	0	-	-	136,275	14,463	121,812
	石崎井堰	0	-	-	63,840	6,776	57,064
	広田井堰	0	-	-	189,066	20,066	169,000
	総原井堰	0	-	-	331,479	35,181	296,298
	大坪井堰	0	-	-	82,256	8,730	73,526
	田枝井堰	0	-	-	29,465	3,127	26,338
	原部田井堰	0	-	-	17,187	1,824	15,363
	丸尾井堰	0	-	-	76,118	8,079	68,039
	梅淵井堰	0	-	-	81,029	8,600	72,429
	中場石井堰	0	-	-	201,343	21,369	179,974
	大川井堰	0	-	-	81,029	8,600	72,429
	見借・後川内末端水路	874	-	-	280	43	1,111
	計	840,274	-	-	2,734,248	352,768	3,221,754
	合 計	39,924,970	16,120,904	-	55,674,421	9,787,023	101,933,272

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

上場二期地区の事業の効用に関する詳細

1 (3) 総便益額算出表-1

評価 期間	年度	割引率 (1+割引率) ^t	経過 年 (t)	作物生産効果					品質向上効果					営農経費節減効果								
				更新分に 係る効果		新設及び機能向上分 に係る効果		計	更新分に 係る効果		新設及び機能向上分 に係る効果		計	更新分に 係る効果		新設及び機能向上分 に係る効果		計				
				年効果額 (千円)	年効果額 (千円)	効果発生割合 (%)	年効果額 (千円)		年効果額 (千円)	効果発生割合 (%)	年効果額 (千円)	年効果額 (千円)		効果発生割合 (%)	年効果額 (千円)	年効果額 (千円)	効果発生割合 (%)		年効果額 (千円)	年効果額 (千円)	効果発生割合 (%)	
				②	③	④	⑤=③×④	⑥=②+⑤	⑦=⑥/①	②	③	④	⑤=③×④	⑥=②+⑤	⑦=⑥/①	②	③	④	⑤=③×④	⑥=②+⑤	⑦=⑥/①	
	R8	1.0000	0																			
1	R9	1.0400	1	3,572,979	977,879	-	-	3,572,979	3,435,557	1,616,173	-	-	-	1,616,173	1,554,013	131,275	-	-	-	131,275	126,226	
2	R10	1.0816	2	3,572,979	977,879	3.0	29,336	3,602,315	3,330,543	1,616,173	-	3.0	-	1,616,173	1,494,243	131,275	-	3.0	-	131,275	121,371	
3	R11	1.1249	3	3,572,979	977,879	8.0	78,230	3,651,209	3,245,808	1,616,173	-	8.0	-	1,616,173	1,436,726	131,275	-	8.0	-	131,275	116,699	
4	R12	1.1699	4	3,572,979	977,879	21.0	205,355	3,778,334	3,229,621	1,616,173	-	21.0	-	1,616,173	1,381,463	131,275	-	21.0	-	131,275	112,210	
5	R13	1.2167	5	3,572,979	977,879	35.0	342,258	3,915,237	3,217,915	1,616,173	-	35.0	-	1,616,173	1,328,325	131,275	-	35.0	-	131,275	107,894	
6	R14	1.2653	6	3,572,979	977,879	49.0	479,161	4,052,140	3,202,513	1,616,173	-	49.0	-	1,616,173	1,277,304	131,275	-	49.0	-	131,275	103,750	
7	R15	1.3159	7	3,572,979	977,879	64.0	625,843	4,198,822	3,190,837	1,616,173	-	64.0	-	1,616,173	1,228,188	131,275	-	64.0	-	131,275	99,761	
8	R16	1.3686	8	3,572,979	977,879	78.0	762,746	4,335,725	3,168,000	1,616,173	-	78.0	-	1,616,173	1,180,895	131,275	-	78.0	-	131,275	95,919	
9	R17	1.4233	9	3,572,979	977,879	91.0	889,870	4,462,849	3,135,565	1,616,173	-	91.0	-	1,616,173	1,135,511	131,275	-	91.0	-	131,275	92,233	
10	R18	1.4802	10	3,572,979	977,879	98.0	958,321	4,531,300	3,061,276	1,616,173	-	98.0	-	1,616,173	1,091,861	131,275	-	98.0	-	131,275	88,687	
11	R19	1.5395	11	3,572,979	977,879	100.0	977,879	4,550,858	2,956,062	1,616,173	-	100.0	-	1,616,173	1,049,804	131,275	-	100.0	-	131,275	85,271	
12	R20	1.6010	12	3,572,979	977,879	100.0	977,879	4,550,858	2,842,510	1,616,173	-	100.0	-	1,616,173	1,009,477	131,275	-	100.0	-	131,275	81,996	
13	R21	1.6651	13	3,572,979	977,879	100.0	977,879	4,550,858	2,733,084	1,616,173	-	100.0	-	1,616,173	970,616	131,275	-	100.0	-	131,275	78,839	
14	R22	1.7317	14	3,572,979	977,879	100.0	977,879	4,550,858	2,627,971	1,616,173	-	100.0	-	1,616,173	933,287	131,275	-	100.0	-	131,275	75,807	
15	R23	1.8009	15	3,572,979	977,879	100.0	977,879	4,550,858	2,526,991	1,616,173	-	100.0	-	1,616,173	897,425	131,275	-	100.0	-	131,275	72,894	
16	R24	1.8730	16	3,572,979	977,879	100.0	977,879	4,550,858	2,429,716	1,616,173	-	100.0	-	1,616,173	862,879	131,275	-	100.0	-	131,275	70,088	
17	R25	1.9479	17	3,572,979	977,879	100.0	977,879	4,550,858	2,336,289	1,616,173	-	100.0	-	1,616,173	829,700	131,275	-	100.0	-	131,275	67,393	
18	R26	2.0258	18	3,572,979	977,879	100.0	977,879	4,550,858	2,246,450	1,616,173	-	100.0	-	1,616,173	797,795	131,275	-	100.0	-	131,275	64,802	
19	R27	2.1068	19	3,572,979	977,879	100.0	977,879	4,550,858	2,160,081	1,616,173	-	100.0	-	1,616,173	767,122	131,275	-	100.0	-	131,275	62,310	
20	R28	2.1911	20	3,572,979	977,879	100.0	977,879	4,550,858	2,076,974	1,616,173	-	100.0	-	1,616,173	737,608	131,275	-	100.0	-	131,275	59,913	
21	R29	2.2788	21	3,572,979	977,879	100.0	977,879	4,550,858	1,997,041	1,616,173	-	100.0	-	1,616,173	709,221	131,275	-	100.0	-	131,275	57,607	
22	R30	2.3699	22	3,572,979	977,879	100.0	977,879	4,550,858	1,920,274	1,616,173	-	100.0	-	1,616,173	681,958	131,275	-	100.0	-	131,275	55,393	
23	R31	2.4647	23	3,572,979	977,879	100.0	977,879	4,550,858	1,846,415	1,616,173	-	100.0	-	1,616,173	655,728	131,275	-	100.0	-	131,275	53,262	
24	R32	2.5633	24	3,572,979	977,879	100.0	977,879	4,550,858	1,775,390	1,616,173	-	100.0	-	1,616,173	630,505	131,275	-	100.0	-	131,275	51,213	
25	R33	2.6658	25	3,572,979	977,879	100.0	977,879	4,550,858	1,707,127	1,616,173	-	100.0	-	1,616,173	606,262	131,275	-	100.0	-	131,275	49,244	
26	R34	2.7725	26	3,572,979	977,879	100.0	977,879	4,550,858	1,641,428	1,616,173	-	100.0	-	1,616,173	582,930	131,275	-	100.0	-	131,275	47,349	
27	R35	2.8834	27	3,572,979	977,879	100.0	977,879	4,550,858	1,578,296	1,616,173	-	100.0	-	1,616,173	560,509	131,275	-	100.0	-	131,275	45,528	
28	R36	2.9987	28	3,572,979	977,879	100.0	977,879	4,550,858	1,517,610	1,616,173	-	100.0	-	1,616,173	538,958	131,275	-	100.0	-	131,275	43,777	
29	R37	3.1187	29	3,572,979	977,879	100.0	977,879	4,550,858	1,459,216	1,616,173	-	100.0	-	1,616,173	518,220	131,275	-	100.0	-	131,275	42,093	
30	R38	3.2434	30	3,572,979	977,879	100.0	977,879	4,550,858	1,403,113	1,616,173	-	100.0	-	1,616,173	498,296	131,275	-	100.0	-	131,275	40,475	
31	R39	3.3731	31	3,572,979	977,879	100.0	977,879	4,550,858	1,349,162	1,616,173	-	100.0	-	1,616,173	479,136	131,275	-	100.0	-	131,275	38,918	
32	R40	3.5081	32	3,572,979	977,879	100.0	977,879	4,550,858	1,297,243	1,616,173	-	100.0	-	1,616,173	460,698	131,275	-	100.0	-	131,275	37,421	
33	R41	3.6484	33	3,572,979	977,879	100.0	977,879	4,550,858	1,247,357	1,616,173	-	100.0	-	1,616,173	442,981	131,275	-	100.0	-	131,275	35,982	
34	R42	3.7943	34	3,572,979	977,879	100.0	977,879	4,550,858	1,199,393	1,616,173	-	100.0	-	1,616,173	425,948	131,275	-	100.0	-	131,275	34,598	
35	R43	3.9461	35	3,572,979	977,879	100.0	977,879	4,550,858	1,153,255	1,616,173	-	100.0	-	1,616,173	409,562	131,275	-	100.0	-	131,275	33,267	
36	R44	4.1039	36	3,572,979	977,879	100.0	977,879	4,550,858	1,108,911	1,616,173	-	100.0	-	1,616,173	393,814	131,275	-	100.0	-	131,275	31,988	
37	R45	4.2681	37	3,572,979	977,879	100.0	977,879	4,550,858	1,066,249	1,616,173	-	100.0	-	1,616,173	378,663	131,275	-	100.0	-	131,275	30,757	
38	R46	4.4388	38	3,572,979	977,879	100.0	977,879	4,550,858	1,025,245	1,616,173	-	100.0	-	1,616,173	364,101	131,275	-	100.0	-	131,275	29,574	
39	R47	4.6164	39	3,572,979	977,879	100.0	977,879	4,550,858	985,802	1,616,173	-	100.0	-	1,616,173	350,094	131,275	-	100.0	-	131,275	28,437	
40	R48	4.8010	40	3,572,979	977,879	100.0	977,879	4,550,858	947,898	1,616,173	-	100.0	-	1,616,173	336,633	131,275	-	100.0	-	131,275	27,343	
41	R49	4.9931	41	3,572,979	977,879	100.0	977,879	4,550,858	911,429	1,616,173	-	100.0	-	1,616,173	323,681	131,275	-	100.0	-	131,275	26,291	
42	R50	5.1928	42	3,572,979	977,879	100.0	977,879	4,550,858	876,378	1,616,173	-	100.0	-	1,616,173	311,233	131,275	-	100.0	-	131,275	25,280	
43	R51	5.4005	43	3,572,979	977,879	100.0	977,879	4,550,858	842,673	1,616,173	-	100.0</										

上場二期地区の事業の効用に関する詳細

1 (3) 総便益額算出表－2

評価 期間	年度	割引率 (1 + 割引率) ^t	経過 年 (t)	維持管理費節減効果							地域用水効果							洪水調節機能効果							
				更新分に 係る効果		新設及び機能向上分 に係る効果			計		更新分に 係る効果		新設及び機能向上分 に係る効果			計		更新分に 係る効果		新設及び機能向上分 に係る効果			計		
				年効果額 (千円)	年効果額 (千円)	効果発生割合 (%)	年発生効果額 (千円)	年効果額 (千円)	同 左 割引後 (千円)	年効果額 (千円)	年効果額 (千円)	効果発生割合 (%)	年発生効果額 (千円)	年効果額 (千円)	同 左 割引後 (千円)	年効果額 (千円)	年効果額 (千円)	効果発生割合 (%)	年発生効果額 (千円)	年効果額 (千円)	同 左 割引後 (千円)	年効果額 (千円)	年効果額 (千円)	効果発生割合 (%)	年発生効果額 (千円)
				②	③	④	⑤=③×④	⑥=②+⑤	⑦=⑥/①	②	③	④	⑤=③×④	⑥=②+⑤	⑦=⑥/①	②	③	④	⑤=③×④	⑥=②+⑤	⑦=⑥/①	②	③	④	⑤=③×④
	R8	1.0000	0																						
1	R9	1.0400	1	△ 671,203	109,610	-	-	△ 671,203	△ 645,388	22,365	-	-	-	22,365	21,505	50,116	-	-	-	-	50,116	48,188			
2	R10	1.0816	2	△ 671,203	109,610	3.0	3,288	△ 667,915	△ 617,525	22,365	-	3.0	-	22,365	20,678	50,116	-	3.0	-	-	50,116	46,335			
3	R11	1.1249	3	△ 671,203	109,610	8.0	8,769	△ 662,434	△ 588,883	22,365	-	8.0	-	22,365	19,882	50,116	-	8.0	-	-	50,116	44,552			
4	R12	1.1699	4	△ 671,203	109,610	21.0	23,018	△ 648,185	△ 554,052	22,365	-	21.0	-	22,365	19,117	50,116	-	21.0	-	-	50,116	42,838			
5	R13	1.2167	5	△ 671,203	109,610	35.0	38,364	△ 632,839	△ 520,127	22,365	-	35.0	-	22,365	18,382	50,116	-	35.0	-	-	50,116	41,190			
6	R14	1.2653	6	△ 671,203	109,610	49.0	53,709	△ 617,494	△ 488,022	22,365	-	49.0	-	22,365	17,676	50,116	-	49.0	-	-	50,116	39,608			
7	R15	1.3159	7	△ 671,203	109,610	64.0	70,150	△ 601,053	△ 456,762	22,365	-	64.0	-	22,365	16,996	50,116	-	64.0	-	-	50,116	38,085			
8	R16	1.3686	8	△ 671,203	109,610	78.0	85,496	△ 585,707	△ 427,961	22,365	-	78.0	-	22,365	16,342	50,116	-	78.0	-	-	50,116	36,618			
9	R17	1.4233	9	△ 671,203	109,610	91.0	99,745	△ 571,458	△ 401,502	22,365	-	91.0	-	22,365	15,713	50,116	-	91.0	-	-	50,116	35,211			
10	R18	1.4802	10	△ 671,203	109,610	98.0	107,418	△ 563,785	△ 380,884	22,365	-	98.0	-	22,365	15,109	50,116	-	98.0	-	-	50,116	33,858			
11	R19	1.5395	11	△ 671,203	109,610	100.0	109,610	△ 561,593	△ 364,789	22,365	-	100.0	-	22,365	14,527	50,116	-	100.0	-	-	50,116	32,553			
12	R20	1.6010	12	△ 671,203	109,610	100.0	109,610	△ 561,593	△ 350,776	22,365	-	100.0	-	22,365	13,969	50,116	-	100.0	-	-	50,116	31,303			
13	R21	1.6651	13	△ 671,203	109,610	100.0	109,610	△ 561,593	△ 337,273	22,365	-	100.0	-	22,365	13,432	50,116	-	100.0	-	-	50,116	30,098			
14	R22	1.7317	14	△ 671,203	109,610	100.0	109,610	△ 561,593	△ 324,302	22,365	-	100.0	-	22,365	12,915	50,116	-	100.0	-	-	50,116	28,940			
15	R23	1.8009	15	△ 671,203	109,610	100.0	109,610	△ 561,593	△ 311,840	22,365	-	100.0	-	22,365	12,419	50,116	-	100.0	-	-	50,116	27,828			
16	R24	1.8730	16	△ 671,203	109,610	100.0	109,610	△ 561,593	△ 299,836	22,365	-	100.0	-	22,365	11,941	50,116	-	100.0	-	-	50,116	26,757			
17	R25	1.9479	17	△ 671,203	109,610	100.0	109,610	△ 561,593	△ 288,307	22,365	-	100.0	-	22,365	11,482	50,116	-	100.0	-	-	50,116	25,728			
18	R26	2.0258	18	△ 671,203	109,610	100.0	109,610	△ 561,593	△ 277,220	22,365	-	100.0	-	22,365	11,040	50,116	-	100.0	-	-	50,116	24,739			
19	R27	2.1068	19	△ 671,203	109,610	100.0	109,610	△ 561,593	△ 266,562	22,365	-	100.0	-	22,365	10,616	50,116	-	100.0	-	-	50,116	23,788			
20	R28	2.1911	20	△ 671,203	109,610	100.0	109,610	△ 561,593	△ 256,306	22,365	-	100.0	-	22,365	10,207	50,116	-	100.0	-	-	50,116	22,873			
21	R29	2.2788	21	△ 671,203	109,610	100.0	109,610	△ 561,593	△ 246,442	22,365	-	100.0	-	22,365	9,814	50,116	-	100.0	-	-	50,116	21,992			
22	R30	2.3699	22	△ 671,203	109,610	100.0	109,610	△ 561,593	△ 236,969	22,365	-	100.0	-	22,365	9,437	50,116	-	100.0	-	-	50,116	21,147			
23	R31	2.4647	23	△ 671,203	109,610	100.0	109,610	△ 561,593	△ 227,855	22,365	-	100.0	-	22,365	9,074	50,116	-	100.0	-	-	50,116	20,334			
24	R32	2.5633	24	△ 671,203	109,610	100.0	109,610	△ 561,593	△ 219,090	22,365	-	100.0	-	22,365	8,725	50,116	-	100.0	-	-	50,116	19,551			
25	R33	2.6658	25	△ 671,203	109,610	100.0	109,610	△ 561,593	△ 210,666	22,365	-	100.0	-	22,365	8,390	50,116	-	100.0	-	-	50,116	18,800			
26	R34	2.7725	26	△ 671,203	109,610	100.0	109,610	△ 561,593	△ 202,558	22,365	-	100.0	-	22,365	8,067	50,116	-	100.0	-	-	50,116	18,076			
27	R35	2.8834	27	△ 671,203	109,610	100.0	109,610	△ 561,593	△ 194,768	22,365	-	100.0	-	22,365	7,756	50,116	-	100.0	-	-	50,116	17,381			
28	R36	2.9987	28	△ 671,203	109,610	100.0	109,610	△ 561,593	△ 187,279	22,365	-	100.0	-	22,365	7,458	50,116	-	100.0	-	-	50,116	16,713			
29	R37	3.1187	29	△ 671,203	109,610	100.0	109,610	△ 561,593	△ 180,073	22,365	-	100.0	-	22,365	7,171	50,116	-	100.0	-	-	50,116	16,070			
30	R38	3.2434	30	△ 671,203	109,610	100.0	109,610	△ 561,593	△ 173,149	22,365	-	100.0	-	22,365	6,896	50,116	-	100.0	-	-	50,116	15,452			
31	R39	3.3731	31	△ 671,203	109,610	100.0	109,610	△ 561,593	△ 166,492	22,365	-	100.0	-	22,365	6,630	50,116	-	100.0	-	-	50,116	14,858			
32	R40	3.5081	32	△ 671,203	109,610	100.0	109,610	△ 561,593	△ 160,085	22,365	-	100.0	-	22,365	6,375	50,116	-	100.0	-	-	50,116	14,286			
33	R41	3.6484	33	△ 671,203	109,610	100.0	109,610	△ 561,593	△ 153,929	22,365	-	100.0	-	22,365	6,130	50,116	-	100.0	-	-	50,116	13,736			
34	R42	3.7943	34	△ 671,203	109,610	100.0	109,610	△ 561,593	△ 148,010	22,365	-	100.0	-	22,365	5,894	50,116	-	100.0	-	-	50,116	13,208			
35	R43	3.9461	35	△ 671,203	109,610	100.0	109,610	△ 561,593	△ 142,316	22,365	-	100.0	-	22,365	5,668	50,116	-	100.0	-	-	50,116	12,700			
36	R44	4.1039	36	△ 671,203	109,610	100.0	109,610	△ 561,593	△ 136,844	22,365	-	100.0	-	22,365	5,450	50,116	-	100.0	-	-	50,116	12,212			
37	R45	4.2681	37	△ 671,203	109,610	100.0	109,610	△ 561,593	△ 131,579	22,365	-	100.0	-	22,365	5,240	50,116	-	100.0	-	-	50,116	11,742			
38	R46	4.4388	38	△ 671,203	109,610	100.0	109,610	△ 561,593	△ 126,519	22,365	-	100.0	-	22,365	5,039	50,116	-	100.0	-	-	50,116	11,290			
39	R47	4.6164	39	△ 671,203	109,610	100.0	109,610	△ 561,593	△ 121,652	22,365	-	100.0	-	22,365	4,845	50,116	-	100.0	-	-	50,116	10,856			
40	R48	4.8010	40	△ 671,203	109,610	100.0	109,610	△ 561,593	△ 116,974	22,365	-	100.0	-	22,365	4,658	50,116	-	100.0	-	-	50,116	10,439			
41	R49	4.9931	41	△ 671,203	109,610	100.0	109,610	△ 561,593	△ 112,474	22,365	-	100.0	-	22,365	4,479	50,116	-	100.0	-	-	50,116	10,037			
42	R50																								

上場二期地区の事業の効用に関する詳細

1 (3) 総便益額算出表－3

評価 期 間	年 度	割引率 (1 + 割引 率) ^t ①	経過 年 (t)	国産農産物安定供給効果								割引後 効果額 合計 (千円)	備考			
				更新分に 係る効果 年効果額 (千円) ②	新設及び機能向上分 に係る効果		計									
					年効果額 (千円) ③	効果発生割合 (%) ④	年発生 効果額 (千円) ⑤=③×④	年効果額 (千円) ⑥=②+⑤	同 左 割引後 (千円) ⑦=⑥/①							
	R8	1.0000	0												評価年	
1	R9	1.0400	1	290,225	185,772	-	-	290,225	279,063					4,819,164		
2	R10	1.0816	2	290,225	185,772	3.0	5,573	295,798	273,482					4,669,127		
3	R11	1.1249	3	290,225	185,772	8.0	14,862	305,087	271,213					4,545,997		
4	R12	1.1699	4	290,225	185,772	21.0	39,012	329,237	281,423					4,512,620		
5	R13	1.2167	5	290,225	185,772	35.0	65,020	355,245	291,974					4,485,553		
6	R14	1.2653	6	290,225	185,772	49.0	91,028	381,253	301,314					4,454,143		
7	R15	1.3159	7	290,225	185,772	64.0	118,894	409,119	310,904					4,428,009		
8	R16	1.3686	8	290,225	185,772	78.0	144,902	435,127	317,936					4,387,749		
9	R17	1.4233	9	290,225	185,772	91.0	169,053	459,278	322,685					4,335,416		
10	R18	1.4802	10	290,225	185,772	98.0	182,057	472,282	319,066					4,228,973		
11	R19	1.5395	11	290,225	185,772	100.0	185,772	475,997	309,189					4,082,617		
12	R20	1.6010	12	290,225	185,772	100.0	185,772	475,997	297,312					3,925,791		
13	R21	1.6651	13	290,225	185,772	100.0	185,772	475,997	285,867					3,774,663		
14	R22	1.7317	14	290,225	185,772	100.0	185,772	475,997	274,873					3,629,491		
15	R23	1.8009	15	290,225	185,772	100.0	185,772	475,997	264,311					3,490,028		
16	R24	1.8730	16	290,225	185,772	100.0	185,772	475,997	254,136					3,355,681		
17	R25	1.9479	17	290,225	185,772	100.0	185,772	475,997	244,364					3,226,649		
18	R26	2.0258	18	290,225	185,772	100.0	185,772	475,997	234,967					3,102,573		
19	R27	2.1068	19	290,225	185,772	100.0	185,772	475,997	225,934					2,983,289		
20	R28	2.1911	20	290,225	185,772	100.0	185,772	475,997	217,241					2,868,510		
21	R29	2.2788	21	290,225	185,772	100.0	185,772	475,997	208,881					2,758,114		
22	R30	2.3699	22	290,225	185,772	100.0	185,772	475,997	200,851					2,652,091		
23	R31	2.4647	23	290,225	185,772	100.0	185,772	475,997	193,126					2,550,084		
24	R32	2.5633	24	290,225	185,772	100.0	185,772	475,997	185,697					2,451,991		
25	R33	2.6658	25	290,225	185,772	100.0	185,772	475,997	178,557	各効果における「同左割引後」の合計				2,357,714		
26	R34	2.7725	26	290,225	185,772	100.0	185,772	475,997	171,685						2,266,977	
27	R35	2.8834	27	290,225	185,772	100.0	185,772	475,997	165,082						2,179,784	
28	R36	2.9987	28	290,225	185,772	100.0	185,772	475,997	158,734						2,095,971	
29	R37	3.1187	29	290,225	185,772	100.0	185,772	475,997	152,627						2,015,324	
30	R38	3.2434	30	290,225	185,772	100.0	185,772	475,997	146,759						1,937,842	
31	R39	3.3731	31	290,225	185,772	100.0	185,772	475,997	141,116						1,863,328	
32	R40	3.5081	32	290,225	185,772	100.0	185,772	475,997	135,685						1,791,623	
33	R41	3.6484	33	290,225	185,772	100.0	185,772	475,997	130,467						1,722,724	
34	R42	3.7943	34	290,225	185,772	100.0	185,772	475,997	125,451						1,656,482	
35	R43	3.9461	35	290,225	185,772	100.0	185,772	475,997	120,625					1,592,761		
36	R44	4.1039	36	290,225	185,772	100.0	185,772	475,997	115,987					1,531,518		
37	R45	4.2681	37	290,225	185,772	100.0	185,772	475,997	111,524					1,472,596		
38	R46	4.4388	38	290,225	185,772	100.0	185,772	475,997	107,236					1,415,966		
39	R47	4.6164	39	290,225	185,772	100.0	185,772	475,997	103,110					1,361,492		
40	R48	4.8010	40	290,225	185,772	100.0	185,772	475,997	99,145					1,309,142		
41	R49	4.9931	41	290,225	185,772	100.0	185,772	475,997	95,331					1,258,774		
42	R50	5.1928	42	290,225	185,772	100.0	185,772	475,997	91,665					1,210,366		
43	R51	5.4005	43	290,225	185,772	100.0	185,772	475,997	88,139					1,163,816		
44	R52	5.6165	44	290,225	185,772	100.0	185,772	475,997	84,750					1,119,058		
45	R53	5.8412	45	290,225	185,772	100.0	185,772	475,997	81,490					1,076,011		
46	R54	6.0748	46	290,225	185,772	100.0	185,772	475,997	78,356					1,034,634		
47	R55	6.3178	47	290,225	185,772	100.0	185,772	475,997	75,342					994,839		
48	R56	6.5705	48	290,225	185,772	100.0	185,772	475,997	72,445					956,577		
49	R57	6.8333	49	290,225	185,772	100.0	185,772	475,997	69,658					919,787		
50	R58	7.1067	50	290,225	185,772	100.0	185,772	475,997	66,979					884,404		
合計（総便益額）									9,333,754					128,907,833		

※経過年は評価年からの年数

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

上場二期地区の事業の効用に関する詳細

2 (1) 作物生産効果－1

作物名	新設・更新	作付面積			効果要因	単 収				生産増減量 ③＝ ①×② ÷100	生産物単価 ④	増加粗収益額 ⑤＝ ③×④	純益率 ⑥	年効果額 ⑦＝ ⑤×⑥
		現況	計画	効果発生面積 ①		事業 なかりせば 単収	事業 ありせば 単収	増収率	効果算定 対象 単収 ②					
水稻(早期)	新設	ha 919	ha 864	ha △ 55	作付減	kg/10a －	kg/10a －	% －	kg/10a 449	t △ 247.0	千円/ t －	千円 －	% －	千円 －
					小 計	－	－	－	－	△ 247.0	258	△ 63,726	－	－
	更新	925	925	925	単収増 (水管理改良)	189	449	138	260	2,405.0	－	－	－	－
					小 計	－	－	－	－	2,405.0	258	620,490	89	552,236
					水稻(早期)計	－	－	－	－	2,158.0	－	556,764	－	552,236
水稻(普通期)	新設	102	96	△ 6	作付減	－	－	－	449	△ 26.9	－	－	－	－
					小 計	－	－	－	－	△ 26.9	258	△ 6,940	－	－
	更新	103	103	103	単収増 (水管理改良)	189	449	138	260	267.8	－	－	－	－
					小 計	－	－	－	－	267.8	258	69,092	89	61,492
					水稻(普通期)計	－	－	－	－	240.9	－	62,152	－	61,492
稲発酵粗飼料用稲	新設	111	143	32	作付増	－	－	－	2,885	923.2	－	－	－	－
					小 計	－	－	－	－	923.2	30	27,696	10	2,770
	更新	112	112	112	単収増 (水管理改良)	2,404	2,885	20	481	538.7	－	－	－	－
					小 計	－	－	－	－	538.7	30	16,161	17	2,747
					稲発酵粗飼料用稲計	－	－	－	－	1,461.9	－	43,857	－	5,517
キャベツ(夏植)	新設	4	7	3	作付増	－	－	－	3,047	91.4	－	－	－	－
					小 計	－	－	－	－	91.4	72	6,581	16	1,053
	更新	4	4	4	単収増 (湿润かんがい)	2,696	3,047	13	351	14.0	－	－	－	－
					小 計	－	－	－	－	14.0	72	1,008	91	917
					キャベツ(夏植)計	－	－	－	－	105.4	－	7,589	－	1,970

上場二期地区の事業の効用に関する詳細

2 (1) 作物生産効果－2

作物名	新設・更新	作付面積			効果要因	単 収				生産増減量 ③＝ ①×② ÷100	生産物単価 ④	増加粗収益額 ⑤＝ ③×④	純益率 ⑥	年効果額 ⑦＝ ⑤×⑥
		現況	計画	効果発生面積 ①		事業 なかりせば 単収	事業 ありせば 単収	増収率	効果算定 対象 単収 ②					
かんしょ	新設	ha 7	ha 11	ha 4	作付増	kg/10a －	kg/10a －	% －	kg/10a 1,908	t 76.3	千円/ t －	千円 －	% －	千円 －
					小 計	－	－	－	－	76.3	275	20,983	31	6,505
	更新	7	7	7	単収増 (湿潤かんがい)	1,659	1,908	15	249	17.4	－	－	－	－
					単収増 (田畑輪換)	1,659	1,908	15	249	17.4	－	－	－	－
					小 計	－	－	－	－	34.8	275	9,570	92	8,804
					かんしょ計	－	－	－	－	111.1	－	30,553	－	15,309
ばれいしょ(冬植)	新設	6	10	4	作付増	－	－	－	2,023	80.9	－	－	－	－
					小 計	－	－	－	－	80.9	170	13,753	31	4,263
	更新	6	6	6	単収増 (湿潤かんがい)	1,631	2,023	24	392	23.5	－	－	－	－
					小 計	－	－	－	－	23.5	170	3,995	92	3,675
					ばれいしょ(冬植)計	－	－	－	－	104.4	－	17,748	－	7,938
かぼちゃ	新設	3	3	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
					小 計	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	更新	3	3	3	単収増 (湿潤かんがい)	970	1,115	15	145	4.4	－	－	－	－
					単収増 (田畑輪換)	970	1,115	15	145	4.4	－	－	－	－
					小 計	－	－	－	－	8.8	268	2,358	91	2,146
					かぼちゃ計	－	－	－	－	8.8	－	2,358	－	2,146
いちご(施設)	新設	32	38	6	作付増	－	－	－	4,858	291.5	－	－	－	－
					小 計	－	－	－	－	291.5	1,307	380,991	38	144,777
	更新	32	32	32	単収増 (湿潤かんがい)	4,188	4,858	16	670	214.4	－	－	－	－
					小 計	－	－	－	－	214.4	1,307	280,221	93	260,606
					いちご(施設)計	－	－	－	－	505.9	－	661,212	－	405,383

上場二期地区の事業の効用に関する詳細

2 (1) 作物生産効果－3

作物名	新設・更新	作付面積			効果要因	単 収				生産増減量 ③＝ ①×② ÷100	生産物単価 ④	増加粗収益額 ⑤＝ ③×④	純益率 ⑥	年効果額 ⑦＝ ⑤×⑥
		現況	計画	効果発生面積 ①		事業 なかりせば 単収	事業 ありせば 単収	増収率	効果算定 対象 単収 ②					
葉たばこ	新設	ha 12	ha 11	ha △ 1	作付減	kg/10a －	kg/10a －	% －	kg/10a 250	t △ 2.5	千円/ t －	千円 －	% －	千円 －
					小 計	－	－	－	－	△ 2.5	2,136	△ 5,340	16	△ 854
	更新	12	12	12	単収増 (湿潤かんがい)	231	250	8	19	2.3	－	－	－	－
					小 計	－	－	－	－	2.3	2,136	4,913	91	4,471
					葉たばこ計	－	－	－	－	△ 0.2	－	△ 427	－	3,617
ソルゴー	新設	17	166	149	作付増	－	－	－	3,224	4,803.8	－	－	－	－
					小 計	－	－	－	－	4,803.8	26	124,899	10	12,490
	更新	17	17	17	単収増 (湿潤かんがい)	2,687	3,224	20	537	91.3	－	－	－	－
					単収増 (田畑輪換)	2,803	3,224	15	421	71.6	－	－	－	－
					小 計	－	－	－	－	162.9	26	4,235	17	720
					ソルゴー計	－	－	－	－	4,966.7	－	129,134	－	13,210
二条大麦	新設	73	80	7	作付増	－	－	－	341	23.9	－	－	－	－
					小 計	－	－	－	－	23.9	39	932	9	84
	更新	73	73	73	単収増 (田畑輪換)	297	341	15	44	32.1	－	－	－	－
					小 計	－	－	－	－	32.1	39	1,252	90	1,127
					二条大麦計	－	－	－	－	56.0	－	2,184	－	1,211

上場二期地区の事業の効用に関する詳細
2 (1) 作物生産効果ー4

作物名	新設・更新	作付面積			効果要因	単 収				生産増減量 ③= ①×② ÷100	生産物単価 ④	増加粗収益額 ⑤= ③×④	純益率 ⑥	年効果額 ⑦= ⑤×⑥
		現況	計画	効果発生面積 ①		事業 なかりせば 単収	事業 ありせば 単収	増収率	効果算定 対象 単収 ②					
たまねぎ	新設	ha 89	ha 141	ha 52	作付増	kg/10a -	kg/10a -	% -	kg/10a 5,167	t 2,686.8	千円/ t -	千円 -	% -	千円 -
					小 計	-	-	-	-	2,686.8	104	279,427	16	44,708
	更新	90	90	90	単収増 (湿潤かんがい)	4,573	5,167	13	594	534.6	-	-	-	-
					単収増 (田畑輪換)	4,493	5,167	15	674	606.6	-	-	-	-
					小 計	-	-	-	-	1,141.2	104	118,685	91	108,003
					たまねぎ計	-	-	-	-	3,828.0	-	398,112	-	152,711
キャベツ(秋植)	新設	10	7	△ 3	作付減	-	-	-	3,047	△ 91.4	-	-	-	-
					小 計	-	-	-	-	△ 91.4	80	△ 7,312	16	△ 1,170
	更新	10	10	10	単収増 (湿潤かんがい)	2,696	3,047	13	351	35.1	-	-	-	-
					小 計	-	-	-	-	35.1	80	2,808	91	2,555
					キャベツ(秋植)計	-	-	-	-	△ 56.3	-	△ 4,504	-	1,385
ばれいしょ(秋植)	新設	10	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
					小 計	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	更新	10	10	10	単収増 (湿潤かんがい)	1,631	2,023	24	392	39.2	-	-	-	-
					小 計	-	-	-	-	39.2	170	6,664	92	6,131
イタリアンライグラス	新設	240	166	△ 74	ばれいしょ(秋植)計	-	-	-	-	39.2	-	6,664	-	6,131
					作付減	-	-	-	3,537	△ 2,617.4	-	-	-	-
	更新	241	241	241	小 計	-	-	-	-	△ 2,617.4	24	△ 62,818	10	△ 6,282
					単収増 (湿潤かんがい)	2,948	3,537	20	589	1,419.5	-	-	-	-
					単収増 (田畑輪換)	3,076	3,537	15	461	1,111.0	-	-	-	-
					小 計	-	-	-	-	2,530.5	24	60,732	17	10,324
水田計	新設	1,635	1,753		イタリアンライグラス計	-	-	-	-	△ 86.9	-	△ 2,086	-	4,042
	更新	1,645	1,645									709,126		208,344
												1,202,184		1,025,954

上場二期地区の事業の効用に関する詳細

2 (1) 作物生産効果－5

作物名	新設・更新	作付面積			効果要因	単 収				生産増減量 ③＝ ①×② ÷100	生産物単価 ④	増加粗収益額 ⑤＝ ③×④	純益率 ⑥	年効果額 ⑦＝ ⑤×⑥
		現況	計画	効果発生面積 ①		事業 なかりせば 単収	事業 ありせば 単収	増収率	効果算定 対象 単収 ②					
キャベツ(夏植)	新設	ha 17	ha 48	ha 31	作付増	kg/10a -	kg/10a -	% -	kg/10a 3,047	t 944.6	千円/t -	千円 -	% -	千円 -
					小 計	-	-	-	-	944.6	72	68,011	16	10,882
	更新	17	17	17	単収増 (湿潤かんがい)	2,696	3,047	13	351	59.7	-	-	-	-
					小 計	-	-	-	-	59.7	72	4,298	91	3,911
					キャベツ(夏植)計	-	-	-	-	1,004.3	-	72,309	-	14,793
かんしょ	新設	98	144	46	作付増	-	-	-	1,908	877.7	-	-	-	-
					小 計	-	-	-	-	877.7	275	241,368	31	74,824
	更新	99	99	99	単収増 (湿潤かんがい)	1,659	1,908	15	249	246.5	-	-	-	-
					小 計	-	-	-	-	246.5	275	67,788	92	62,365
					かんしょ計	-	-	-	-	1,124.2	-	309,156	-	137,189
ばれいしょ(冬植)	新設	8	34	26	作付増	-	-	-	2,023	526.0	-	-	-	-
					小 計	-	-	-	-	526.0	170	89,420	31	27,720
	更新	8	8	8	単収増 (湿潤かんがい)	1,631	2,023	24	392	31.4	-	-	-	-
					小 計	-	-	-	-	31.4	170	5,338	92	4,911
					ばれいしょ(冬植)計	-	-	-	-	557.4	-	94,758	-	32,631
かぼちゃ	新設	18	21	3	作付増	-	-	-	1,115	33.5	-	-	-	-
					小 計	-	-	-	-	33.5	268	8,978	17	1,526
	更新	18	18	18	単収増 (湿潤かんがい)	970	1,115	15	145	26.1	-	-	-	-
					小 計	-	-	-	-	26.1	268	6,995	91	6,365
					かぼちゃ計	-	-	-	-	59.6	-	15,973	-	7,891

上場二期地区の事業の効用に関する詳細

2 (1) 作物生産効果－6

作物名	新設・更新	作付面積			効果要因	単 収				生産増減量 ③＝ ①×② ÷100	生産物単価 ④	増加粗収益額 ⑤＝ ③×④	純益率 ⑥	年効果額 ⑦＝ ⑤×⑥
		現況	計画	効果発生面積 ①		事業 なかりせば 単収	事業 ありせば 単収	増収率	効果算定 対象 単収 ②					
いちご(施設)	新設	ha 117	ha 141	ha 24	作付増	kg/10a －	kg/10a －	% －	kg/10a 4,858	t 1,165.9	千円/t －	千円 －	% －	千円 －
					小 計	－	－	－	－	1,165.9	1,307	1,523,831	38	579,056
	更新	118	118	118	単収増 (湿潤かんがい)	4,188	4,858	16	670	790.6	－	－	－	－
					小 計	－	－	－	－	790.6	1,307	1,033,314	93	960,982
					いちご(施設)計	－	－	－	－	1,956.5	－	2,557,145	－	1,540,038
葉たばこ	新設	227	213	△ 14	作付減	－	－	－	250	△ 35.0	－	－	－	－
					小 計	－	－	－	－	△ 35.0	2,136	△ 74,760	16	△ 11,962
	更新	229	229	229	単収増 (湿潤かんがい)	231	250	8	19	43.5	－	－	－	－
					小 計	－	－	－	－	43.5	2,136	92,916	91	84,554
					葉たばこ計	－	－	－	－	8.5	－	18,156	－	72,592
ソルゴー	新設	163	240	77	作付増	－	－	－	3,224	2,482.5	－	－	－	－
					小 計	－	－	－	－	2,482.5	26	64,545	10	6,455
	更新	164	164	164	単収増 (湿潤かんがい)	2,687	3,224	20	537	880.7	－	－	－	－
					小 計	－	－	－	－	880.7	26	22,898	17	3,893
					ソルゴー計	－	－	－	－	3,363.2	－	87,443	－	10,348
二条大麦	新設	5	6	1	作付増	－	－	－	341	3.4	－	－	－	－
					小 計	－	－	－	－	3.4	39	133	9	12
	更新	5	5	5	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
					小 計	－	－	－	－	－	－	－	－	－
					二条大麦計	－	－	－	－	3.4	－	133	－	12

上場二期地区の事業の効用に関する詳細

2 (1) 作物生産効果ー7

作物名	新設・更新	作付面積			効果要因	単 収				生産増減量 ③= ①×② ÷100	生産物 単価 ④	増加粗 収益額 ⑤= ③×④	純 益率 ⑥	年効果額 ⑦= ⑤×⑥
		現況	計画	効果 発生 面積 ①		事業 なかりせば 単収	事業 ありせば 単収	増収率	効果算定 対象 単収 ②					
たまねぎ	新設	ha 211	ha 332	ha 121	作付増	kg/10a -	kg/10a -	% -	kg/10a 5,167	t 6,252.1	千円/ t -	千円 -	% -	千円 -
					小 計	-	-	-	-	6,252.1	104	650,218	16	104,035
	更新	212	212	212	単収増 (湿潤かんがい)	4,573	5,167	13	594	1,259.3	-	-	-	-
					小 計	-	-	-	-	1,259.3	104	130,967	91	119,180
					たまねぎ計	-	-	-	-	7,511.4	-	781,185	-	223,215
キャベツ(秋植)	新設	78	48	△ 30	作付減	-	-	-	3,047	△ 914.1	-	-	-	-
					小 計	-	-	-	-	△ 914.1	80	△ 73,128	16	△ 11,700
	更新	79	79	79	単収増 (湿潤かんがい)	2,696	3,047	13	351	277.3	-	-	-	-
					小 計	-	-	-	-	277.3	80	22,184	91	20,187
					キャベツ(秋植)計	-	-	-	-	△ 636.8	-	△ 50,944	-	8,487
ばれいしょ(秋植)	新設	47	34	△ 13	作付減	-	-	-	2,023	△ 263.0	-	-	-	-
					小 計	-	-	-	-	△ 263.0	170	△ 44,710	31	△ 13,860
	更新	47	47	47	単収増 (湿潤かんがい)	1,631	2,023	24	392	184.2	-	-	-	-
					小 計	-	-	-	-	184.2	170	31,314	92	28,809
					ばれいしょ(秋植)計	-	-	-	-	△ 78.8	-	△ 13,396	-	14,949
イタリアンライグラス	新設	210	240	30	作付増	-	-	-	3,537	1,061.1	-	-	-	-
					小 計	-	-	-	-	1,061.1	24	25,466	10	2,547
	更新	211	211	211	単収増 (湿潤かんがい)	2,948	3,537	20	589	1,242.8	-	-	-	-
					小 計	-	-	-	-	1,242.8	24	29,827	17	5,071
					イタリアンライグラス計	-	-	-	-	2,303.9	-	55,293	-	7,618
普通畑計	新設	1,199	1,501									2,479,372		769,535
	更新	1,207	1,207									1,447,839		1,300,228

上場二期地区の事業の効用に関する詳細

2 (1) 作物生産効果－8

作物名	新設・更新	作付面積			効果要因	単 収				生産増減量 ③＝ ①×② ÷100	生産物単価 ④	増加粗収益額 ⑤＝ ③×④	純益率 ⑥	年効果額 ⑦＝ ⑤×⑥
		現況	計画	効果発生面積 ①		事業 なかりせば 単収	事業 ありせば 単収	増収率	効果算定 対象 単収 ②					
茶	新設	ha 39	ha 39	ha -	-	kg/10a -	kg/10a -	% -	kg/10a -	t -	千円/ t -	千円 -	% -	千円 -
					小 計	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	更新	39	39	39	単収増 (湿潤かんがい)	268	303	13	35	13.7	-	-	-	-
					小 計	-	-	-	-	13.7	1,146	15,700	88	13,816
					茶計	-	-	-	-	13.7	-	15,700	-	13,816
みかん(露地)	新設	46	46	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
					小 計	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	更新	47	47	47	単収増 (湿潤かんがい)	2,656	3,054	15	398	187.1	-	-	-	-
					小 計	-	-	-	-	187.1	166	31,059	91	28,264
					みかん(露地)計	-	-	-	-	187.1	-	31,059	-	28,264
みかん(施設)	新設	85	85	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
					小 計	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	更新	86	86	86	単収増 (湿潤かんがい)	3,867	5,684	47	1,817	1,562.6	-	-	-	-
					小 計	-	-	-	-	1,562.6	829	1,295,395	93	1,204,717
					みかん(施設)計	-	-	-	-	1,562.6	-	1,295,395	-	1,204,717
樹園地計	新設	170	170									-		-
	更新	172	172									1,342,154		1,246,797
新設		3,004	3,424									3,188,498		977,879
更新		3,024	3,024									3,992,177		3,572,979
合計												7,180,675		4,550,858

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

増収率は、「新たな土地改良の効果算定マニュアル」、近傍地区における試験研究結果、農家聞き取り結果を基に整理した。

飼料作物の生産物単価は、販売牛換算値。(稲発酵粗飼料用稲は23,736kg、ソルゴーは27,238kg、イタリアンライグラスは29,670kgで子牛1頭の販売価格として評価)

上場二期地区の事業の効用に関する詳細
2 (2) 品質向上効果

作物名	効果要因	効果対象数量		生産物単価			単価向上額		年効果額		
		更新	新設	事業なかりせば	現況	事業ありせば	現況－事業なかりせば	事業ありせば－現況	現況－事業なかりせば	事業ありせば－現況	計
		①	②	③	④	⑤	⑥=④-③	⑦=⑤-④	⑧=①×⑥	⑨=②×⑦	⑩=⑧+⑨
キャベツ(夏植)	湿潤かんがい	t 108	t -	千円/t 63	千円/t 72	千円/t 72	千円/t 9	千円/t -	千円 972	千円 -	千円 972
かんしょ	湿潤かんがい	99	-	264	275	275	11	-	1,089	-	1,089
ばれいしょ(冬植)	湿潤かんがい	98	-	169	170	170	1	-	98	-	98
かぼちゃ	湿潤かんがい	25	-	218	268	268	50	-	1,250	-	1,250
いちご(施設)	湿潤かんがい	1,340	-	1,117	1,307	1,307	190	-	254,600	-	254,600
葉たばこ	湿潤かんがい	28	-	1,890	2,136	2,136	246	-	6,888	-	6,888
キャベツ(秋植)	湿潤かんがい	270	-	70	80	80	10	-	2,700	-	2,700
ばれいしょ(秋植)	湿潤かんがい	163	-	169	170	170	1	-	163	-	163
水田計									267,760	-	267,760
キャベツ(夏植)	湿潤かんがい	458	-	63	72	72	9	-	4,122	-	4,122
かんしょ	湿潤かんがい	1,642	-	264	275	275	11	-	18,062	-	18,062
ばれいしょ(冬植)	湿潤かんがい	130	-	169	170	170	1	-	130	-	130
かぼちゃ	湿潤かんがい	175	-	218	268	268	50	-	8,750	-	8,750
いちご(施設)	湿潤かんがい	4,942	-	1,117	1,307	1,307	190	-	938,980	-	938,980
葉たばこ	湿潤かんがい	529	-	1,890	2,136	2,136	246	-	130,134	-	130,134
キャベツ(秋植)	湿潤かんがい	2,130	-	70	80	80	10	-	21,300	-	21,300
ばれいしょ(秋植)	湿潤かんがい	767	-	169	170	170	1	-	767	-	767
普通畑計									1,122,245	-	1,122,245
みかん(施設)	湿潤かんがい	3,326	-	761	829	829	68	-	226,168	-	226,168
樹園地計									226,168	-	226,168
新設										-	-
更新									1,616,173		1,616,173
合計											1,616,173

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

上場二期地区の事業の効用に関する詳細

2 (3) 営農経費節減効果-1

作物名	ha当たり営農経費				ha当たり 経費 ⑤= (①-②) + (③-④)	効果発生 面積 ⑥	年効果額 ⑦=⑤×⑥
	新設		更新				
	現況営農経費 ①	事業ありせば (計画) 営農経費 ②	事業なかりせば 営農経費 ③	事業ありせば (現況) 営農経費 ④			
	円	円	円	円	円	ha	千円
水稲(早期) (用水改良)	-	-	275,130	347,020	△ 71,890	925	△ 66,498
水稲(普通期) (用水改良)	-	-	275,130	347,020	△ 71,890	103	△ 7,405
稲発酵用粗飼料稲 (用水改良)	-	-	953,587	966,938	△ 13,351	112	△ 1,495
キャベツ(夏植) (用水改良)	-	-	2,366,974	2,084,335	282,639	21	5,935
かんしょ (用水改良)	-	-	1,271,338	1,175,012	96,326	106	10,211
ばれいしょ(冬植) (用水改良)	-	-	953,492	930,306	23,185	14	325
かぼちゃ (用水改良)	-	-	2,784,647	2,691,776	92,871	21	1,950
いちご(施設) (用水改良)	-	-	30,447,597	29,987,902	459,695	150	68,954
葉たばこ (用水改良)	-	-	2,325,857	2,297,933	27,924	241	6,730
ソルゴー (用水改良)	-	-	945,567	955,837	△ 10,270	181	△ 1,859
二条大麦 (用水改良)	-	-	463,134	445,095	18,039	78	1,407
たまねぎ (用水改良)	-	-	1,295,706	1,251,677	44,029	302	13,297
キャベツ(秋植) (用水改良)	-	-	2,502,774	2,220,135	282,639	89	25,155
ばれいしょ(秋植) (用水改良)	-	-	836,471	795,145	41,326	57	2,356
イタリアンライグラス (用水改良)	-	-	945,571	955,841	△ 10,270	452	△ 4,642
茶 (用水改良)	-	-	1,904,443	1,664,544	239,899	39	9,356
みかん(露地) (用水改良)	-	-	3,886,917	3,127,809	759,108	47	35,678

上場二期地区の事業の効用に関する詳細

2 (3) 営農経費節減効果-2

作物名	ha当たり営農経費				ha当たり 経費 ⑤= (①-②) + (③-④)	効果発生 面積 ⑥	年効果額 ⑦=⑤×⑥
	新設		更新				
	現況営農経費 ①	事業ありせば (計画) 営農経費 ②	事業なかりせば 営農経費 ③	事業ありせば (現況) 営農経費 ④			
	円	円	円	円	円	ha	千円
みかん(施設) (用水改良)	-	-	11,373,205	11,003,207	369,998	86	31,820
新設							-
更新							131,275
合計							131,275

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

■効果要因は以下のとおり。

- ・ 水稻(早期)、水稻(普通期)、稲発酵用粗飼料稲、ソルゴー、イタリアライグラス(用水改良、更新：事業ありせば→なかりせば)
用水施設の機能が喪失した場合を想定し、用水管理にかかる経費が減少。
- ・ キャベツ(夏植)、かんしょ、ばれいしょ(冬植)、かぼちゃ、いちご(施設)、葉たばこ、たまねぎ、キャベツ(秋植)、ばれいしょ(秋植)、茶、
みかん(露地)、みかん(施設)(用水改良、更新：事業ありせば→なかりせば)
用水施設の機能が喪失した場合を想定し、用水管理にかかる経費が減少。防除用水を自宅より運搬する経費が増加。
- ・ 二条大麦(用水改良、更新：事業ありせば→なかりせば)
用水施設の機能が喪失した場合を想定し、防除用水を自宅より運搬する経費が増加。

令和9年度新規地区採択チェックリスト

(1)国営かんがい排水事業

(局名:九州農政局)(地区名:上場二期^{うわばにき})

3 特定監視項目

1. 地質状況
地質状況に基づいた施設計画としている。
該当なし
2. 受益面積
最近年の面積を把握している。
本事業の受益面積は、前歴事業である国営上場土地改良事業及び国営上場（二期）土地改良事業の用水受益範囲を基に、土地改良区の土地原簿、土地登記簿、農地台帳等により、令和6年4月時点の面積を積み上げて整理している。

駅館川二期地区の事業の効用に関する説明資料

1 総費用総便益比の算定

(1) 総費用総便益比の総括

(単位：千円)

区 分	算定式	数 値
総費用（現在価値化）	= +	87,926,231
当該事業による費用		26,973,020
関連事業による費用、資産価額、再整備費		60,953,211
評価期間（当該事業の工事期間 + 40 年）		56 年
社会的割引率		4%
総便益額（現在価値化）		103,492,304
総費用総便益比	= ÷	1.17
感度分析結果	総費用(+ 10% ~ 10%)	1.13 ~ 1.21
	総便益(10% ~ + 10%)	1.07 ~ 1.28
	社会的割引率	4% 2% 1%
		1.17 1.47 1.71

(2) 総費用の総括

(単位：千円)

区分	資産価額 (事業着工 時点)	当該事業に よる費用	関連事業に よる費用	再整備費	資産価額 (評価期間 終了時点)	総費用 = + + + -
国営造成施設	11,543,940	26,973,020	-	15,571,374	3,367,261	50,721,073
県営造成施設	1,067,750	-	30,028,769	3,626,838	1,831,772	32,891,585
その他造成施設	-	-	-	4,656,071	342,498	4,313,573
合 計	12,611,690	26,973,020	30,028,769	23,854,283	5,541,531	87,926,231

各造成施設の詳細については「駅館川二期地区の事業の効用に関する詳細」を参照

(3) 年総効果額、総便益額の総括

(単位：千円)

効果項目	区 分	年総効果 (便益)額	総便益額	効果の要因
食料の安定供給の確保に関する効果				
作物生産効果		3,749,384	79,505,793	用水施設の整備及び区画整理を実施した場合と実施しなかった場合での作物生産量が増減する効果
品質向上効果		371,389	8,252,178	用水施設の整備を実施した場合と実施しなかった場合での生産物の価格が維持される効果
営農経費節減効果		10,556	1,559,824	用水施設の整備及び区画整理を実施した場合と実施しなかった場合での営農経費が増減する効果

効果項目	区 分	年総効果 (便益)額	総便益額	効果の要因
維持管理費節減効果		89,375	2,560,343	用水施設の整備及び区画整理を実施した場合と実施しなかった場合での施設の維持管理費が増減する効果
農村の振興に関する効果				
地域用水効果		9,947	221,020	用水施設の整備を実施した場合と実施しなかった場合での地域用水を利用する経費が節減する効果
一般交通等経費節減効果		5,130	113,983	用水附帯施設の整備を実施した場合と実施しなかった場合での一般交通や林業交通の走行経費が増減する効果
地籍確定効果		157	3,337	区画整理を実施した場合と実施しなかった場合での国土調査に要する経費が節減する効果
多面的機能の発揮に関する効果				
都市・農村交流促進効果		257,104	5,712,791	用水施設の整備を実施した場合と実施しなかった場合での観光資源としての利活用が増減する効果
その他の効果				
災害時の復旧対策費軽減効果		9,313	124,185	耐震整備を実施した場合と実施しなかった場合での大規模地震の発生に伴う被害が軽減する効果
洪水調節機能効果（農業用ダム）		15,541	345,315	農業用ダムにおいて洪水調節機能の維持・向上のための施設を整備することにより、運用過程において流域全体における一部の洪水流量をカットする機能により、洪水被害が防止又は軽減される効果
国産農産物安定供給効果		653,500	13,333,869	用水施設の整備及び区画整理により農業生産性の向上や営農条件等の改善が図られ、国産農産物の安定供給に寄与する効果
合 計		4,992,646	103,492,304	

総便益の算定の詳細については「駅館川二期地区の事業の効用に関する詳細」を参照

2 年効果額の算定方法

（１）作物生産効果

○効果の考え方

事業を実施した場合（事業ありせば）と実施しなかった場合（事業なかりせば）の作物生産量の比較により年効果額を算定した。

○対象作物

駅館川二期地区の事業の効用に関する詳細のとおり

○年効果額算定式

$$\text{年効果額} = \text{単収増加年効果額}^1 + \text{作付増減年効果額}^2$$

$$1 \quad \text{単収増加年効果額} = \text{作付面積} \times (\text{事業ありせば単収} - \text{事業なかりせば単収}) \times \text{単価} \times \text{単収増加の純益率}$$

$$2 \quad \text{作付増減年効果額} = (\text{事業ありせば作付面積} - \text{事業なかりせば作付面積}) \times \text{単収} \times \text{単価} \times \text{作付増減の純益率}$$

○年効果額の算定

(単位：千円)

区 分	作付面積 (ha)		増加粗収益額	年効果額
	現況	計画		
新設整備	6,475	7,193	2,450,967	466,892
更新整備	7,479	7,479	3,850,816	3,282,492
合 計			6,301,783	3,749,384

作物生産効果における作物毎の詳細については「駅館川二期地区の事業の効用に関する詳細」を参照

- ・作付面積 : 各作物の作付面積は以下のとおり
- 「現況作付面積」・関係市の作付実績に基づき決定した。
- 「計画作付面積」・新設整備では、県、関係市等の農業振興計画や関係者の意向を踏まえ決定した。
- ・更新整備では、現況施設のもとで作物生産量が維持される面積であり、現況＝計画とした。
- ・単収：増加粗収益額の算定に用いる各作物の単収については以下のとおり
- 「事業なかりせば単収」・新設整備では、現況単収であり、農林水産統計等による最近5か年の平均単収により算定した。
- ・更新整備では、用水機能の喪失時の単収であり、現況単収に効果要因別の失われる増収率分を減じて算定した。
- 「事業ありせば単収」・新設整備では計画単収であり、現況単収に効果要因別の増収率を考慮して算定した。
- ・更新整備では現況単収であり、農林水産統計等による最近5か年の平均単収により算定した。
- 「効果算定対象単収」・事業ありせば単収と事業なかりせば単収の差である。
(作付増においては、地域の計画単収、作付減においては地域の現況単収である。)
- ・生産物単価 : 農林水産統計等による最近5か年の販売価格に消費者物価指数を反映した価格を用いた。
- ・純益率 : 「土地改良事業の費用対効果分析に必要な諸係数について」による標準値等を用いた。

(2) 品質向上効果

○効果の考え方

事業を実施した場合（事業ありせば）と実施しなかった場合（事業なかりせば）の生産物価格の比較により年効果額を算定した。

○対象作物

駅館川二期地区の事業の効用に関する詳細のとおり

○年効果額算定式

年効果額 = （事業ありせば作物単価 - 事業なかりせば作物単価） × 効果発生量

○年効果額の算定

（単位：千円）

区分	効果発生要因		年効果額
	単価向上	商品化率向上	
新設整備	-	-	-
更新整備	371,389	-	371,389
合計	371,389	-	371,389

品質向上効果における作物毎の詳細については「駅館川二期地区の事業の効用に関する詳細」を参照。

- ・効果対象数量：作物生産効果における作付面積、単収から算定された生産量。
- ・生産物単価：「現況単価」は農林水産統計等による最近5か年の販売価格に消費者物価指数を反映した価格を用いた。なお、本事業による農産物の品質の向上は見込めないことから「現況単価」＝「事業ありせば単価」とした。
「事業なかりせば単価」は、「現況単価」に畑地かんがい導入地区の試験データを用いて算出した畑地かんがい品質向上率を考慮し決定した。

(3) 営農経費節減効果

○効果の考え方

事業を実施した場合（事業ありせば）と実施しなかった場合（事業なかりせば）の労働費、機械経費、その他の生産資材費について比較し、それらの営農経費の増減から年効果額を算定した。

○対象作物

駅館川二期地区の事業の効用に関する詳細のとおり

○年効果額算定式

年効果額 = （事業なかりせば単位面積当たり営農経費 - 事業ありせば単位面積当たり営農経費） × 効果発生面積

○年効果額の算定

(単位：千円)

区分	事業なかりせば	事業ありせば	年効果額 = -
新設整備	現況営農経費	計画営農経費	220,200
更新整備	事業なかりせば営農経費	現況営農経費	209,644
合 計			10,556

営農経費節減効果における作物毎の営農経費の詳細については「駅館川二期地区の事業の効用に関する詳細」を参照

- ・現況営農経費：地域の現在の営農経費であり、大分県の農業経営指標等に基づき算定した。
- ・計画営農経費：想定される事業により増減した地域の営農経費であり、大分県の農業経営指標等を基に、地域の農業関係機関、普及指導センターの指導方針を反映し算定した。
- ・事業なかりせば営農経費：地域の水利施設の機能が失われた場合に想定される水管理作業に係る経費、防除に係る用水運搬の経費等を考慮し算定した。

(4) 維持管理費節減効果

○効果の考え方

事業を実施した場合(事業ありせば)と実施しなかった場合(事業なかりせば)を比較し、施設の維持管理費の増減をもって年効果額を算定した。

○対象施設

総費用に計上した、当該事業(関連事業)及び受益地内で一体的に効用を発揮している全ての土地改良施設

○年効果額算定式

年効果額 = 事業なかりせば維持管理費 - 事業ありせば維持管理費

○年効果額の算定

(単位：千円)

区分	新設	現況維持管理費	事業ありせば維持管理費	年効果額 = -
	更新	事業なかりせば維持管理費	現況維持管理費	
新設整備		234,618	164,020	70,598
更新整備		74,645	234,618	159,973
合 計				89,375

- ・事業なかりせば維持管理費 : 現況施設の維持管理費を基に、施設の機能を失った場合に想定される安全管理等に最低限必要な維持管理費を算定した。
- ・事業ありせば維持管理費 : 現況施設の維持管理費を基に、本事業の実施により見込まれる維持管理費の増減を考慮し算定した。
- ・現況維持管理費 : 現況施設の維持管理費に基づき算定した。

(5) 地域用水効果

○効果の考え方

事業を実施した場合（事業ありせば）と実施しなかった場合（事業なかりせば）を比較し、地域用水を利用する経費の増減により年効果額を算定した。

○対象施設

用水路、ため池

○年効果額算定式

$$\text{年効果額} = \text{事業なかりせば想定される地域用水の利用経費} - \text{事業ありせば想定される地域用水の利用経費}$$

○年効果額の算定

1) 防火用水効果

$$\begin{aligned} \text{年効果額} = & (\text{事業ありせば地域集落等の防火水槽等の設置の計画節減数} \\ & \text{又は事業なかりせば地域集落等の防火水槽等の設置の想定増加数} \\ & \times 1 \text{ か所当たりの建設費}) \times \text{還元率} \end{aligned}$$

(単位 : 千円)

区 分	事業なかりせば 想定増加数 (箇所)	1 か所当たり 建設費	還元率	年効果額 = × ×
更新整備	23	7,482	0.0578	9,947

- ・事業なかりせば想定増加数 : 現在、消防水利施設に位置付けられている土地改良施設を消防施設に代替えた場合の施設数を算定した。
- ・1 か所当たり建設費 : 近傍地区の防火水槽の建設費を基に算定した。
- ・還元率 : 施設が有している総効果額を耐用年数期間における年効果額に換算するための係数。

(6) 一般交通経費等節減効果

○効果の考え方

事業を実施した場合（事業ありせば）と実施しなかった場合（事業なかりせば）を比較し、一般交通や林業交通に係る走行経費の増減をもって年効果額を算定した。

○対象

日出生ダム及び寒水頭首工の管理用道路

○年効果額算定式

年効果額 = 事業なかりせば想定される交通経費 - 事業ありせば想定される交通経費

○年効果額の算定

(単位：千円)

区 分	事業なかりせば走行経費	事業ありせば走行経費	年効果額 = -
更新整備	5,720	590	5,130

- ・事業なかりせば交通経費 : 整備した管理用道路の機能が喪失した状態において想定される一般交通や林業交通に係る走行経費を算定した。
- ・事業ありせば交通経費 : 管理用道路の整備後における一般交通や林業交通に係る走行経費を算定した。

(7) 地籍確定効果

○効果の考え方

事業を実施した場合（事業ありせば）と実施しなかった場合（事業なかりせば）を比較し、土地を国土調査する場合に要する経費の差をもって年効果額を算定した。

○対象

区画整理（関連事業）のうち国土調査未実施区域

○年効果額算定式

年効果額 = (事業なかりせば国土調査費 - 事業ありせば国土調査費) × 還元率

○年効果額の算定

(単位：千円)

区 分	事業なかりせば 国土調査費	事業ありせば 国土調査費	還元率	年効果額 = (-) ×
新設整備	3,863	4	0.0408	157

- ・事業なかりせば国土調査費 : 現況国土調査費（近傍地区における国土調査費）
- ・事業ありせば国土調査費 : 計画国土調査費（国土調査法第 19 条第 5 項の申請に要する費用相当額）
- ・還元率 : 施設等が有している総効果額を耐用年数期間（基本的に 100 年とする）に換算するための係数

(8) 都市・農村交流促進効果

○効果の考え方

地域住民への憩いの場や観光資源として利活用できる効果であり、市場で扱われていない価値であるため、利用者に旅行費用や訪問回数を尋ねることで、その価値を直接的に評価する手法である T C M (Travel Cost Method: トラベルコスト法) により効果を算定した。

○対象施設

日指ダムに隣接する大分農業文化公園

○年効果額算定式

$$\text{年効果額} = \text{TCMによる効果額} \times (\text{農業用施設等相当事業費の資本還元額} / \text{都市・農村交流施設の資本還元額})$$

○年効果額の算定

(単位：千円)

区 分	土地改良施設名	TCM による効果額	都市・農村交流施設の資本還元額 = +	農業用施設等相当事業費の資本還元額	その他事業の資本還元額	当該土地改良事業における効果額 = × (/)
更新整備	日指ダム	676,589	1,073,471	407,414	666,057	257,104

小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

(9) その他の効果(災害時の復旧対策費軽減効果)

○効果の考え方

事業を実施した場合（事業ありせば）と実施しなかった場合（事業なかりせば）を比較し、大規模地震の発生に伴う被害が防止又は軽減される年効果額を算定した。

○対象資産

日出生ダム、日指ダム

○年効果額算定式

$$\text{年効果額} = \text{事業なかりせば想定される復旧対策費用の軽減に係る総効果額} \times \text{還元率}$$

○年効果額の算定

(単位：千円)

区分	総効果額	割引率	効果算定期間 (年)	還元率	年効果額 = ×
新設整備	206,964	0.04	56	0.045	9,313

- ・総効果額：復旧対策費に地震発生確率を乗じた割引後の年別効果額の総計値
- ・還元率：総効果額を効果算定期間における年効果額に換算するための係数

(10) その他の効果(洪水調節機能効果(農業用ダム))

○効果の考え方

事業を実施した場合（事業ありせば）と実施しなかった場合（事業なかりせば）を比較し、農業用ダムにおいて洪水調節可能容量が確保されることにより洪水被害が防止又は軽減される年効果額を算定した。

○対象施設

日出生ダム、日指ダム

○年効果額算定式

$$\text{年効果額} = (\text{事業ありせば洪水調節可能容量} - \text{事業なかりせば洪水調節可能容量}) \\ \times \text{洪水調節単価} \times \text{還元率}$$

○年効果額の算定

(単位：千円)

区分	洪水調節可能容量(千 m^3)			洪水調節 単価 (円/ m^3)	還元率	年効果額 = (-) × ×
	新設	事業 ありせば	現況			
	更新	現況	事業なかり せば			
新設整備		-	-	-	-	-
更新整備		325	-	1,144	0.0418	15,541
合 計						15,541

- ・洪水調節可能容量 : 農業用ダムのかんがいに係る用途のうち、流域における洪水被害を防止又は軽減するための容量
- ・洪水調節単価 : 近傍治水ダム等の建設費と洪水調節容量により算定
- ・還元率 : 施設が有している総効果額を耐用年数期間における年効果額に換算するための係数

(11) その他の効果(国産農産物安定供給効果)

○効果の考え方

国産農産物の安定供給に対して国民が感じる安心感の効果であるため、一般国民に対してWTP(Willingness To Pay: 支払意思額)を尋ねることで、その価値を直接的に評価する手法であるCVM(Contingent Valuation Method: 仮想市場法)により年効果額を算定した。

○対象作物

作物生産効果算定作物のうち、食料生産に係るもの

○年効果額算定式

$$\text{年効果額} = \text{年増加粗収益額} \times \text{単位食料生産額当たり効果額(原単位)} \\ + \text{年増加供給熱量} \times \text{単位供給熱量当たり効果額(原単位)}$$

○年効果額の算定

(単位：千円)

区 分	増加粗収益額	増加供給熱量 (千 kcal)	単位食料生産 額当たり効果 額(円/千円)	単位供給熱量 当たり効果額 (円/千 kcal)	当該土地改良 事業における 年効果額 = × + ×
新設整備	2,450,967	2,579,419	49	9.9	145,634
更新整備	3,850,816	32,240,033	49	9.9	507,866
合 計	6,301,783	34,819,452			653,500

増加粗収益額、増加供給熱量：作物生産効果の算定過程で整理した結果を用いて、事業ありせばと事業なかりせばにおける増加粗収益額及び増加供給熱量を整理した。

単位食料生産額当たり効果額、単位供給熱量当たり効果額：一般国民に対し国産農産物の安定供給についてWTPを尋ねるCVMにより、年効果額の算定に用いる単位食料生産額当たり効果額(原単位)は49円/千円、単位供給熱量当たり効果額(原単位)は9.9円/千kcalとした。

3. 評価に使用した資料

【共通】

- ・農林水産省農村振興局整備部(監修) [改訂版] 「新たな土地改良の効果算定マニュアル」大成出版社(平成27年9月5日第2版第1刷)
- ・土地改良事業の費用対効果分析マニュアルの制定について(平成19年3月28日付け18農振第1597号農林水産省農村振興局企画部長通知(最終改正：令和7年4月2日))
- ・「国産農産物安定供給効果」について(平成27年3月27日付け26農振第2072号農林水産省農村振興局整備部長通知(令和5年4月3日一部改正))
- ・土地改良事業の費用対効果分析における参考資料等について(令和4年4月11日付け農林水産省農村振興局整備部関係課関係班連名事務連絡)
- ・土地改良事業の費用対効果分析に必要な諸係数について(平成19年3月28日付け18農振第1598号農林水産省農村振興局企画部長通知(令和7年4月1日一部改正))
- ・土地改良事業の費用対効果分析に必要な諸係数等について(令和7年4月1日付け農林水産省農村振興局整備部土地改良企画課課長補佐(事業効果班)事務連絡)
- ・土地改良事業の感度分析について(平成31年4月1日付け30農振第3976号農林水産省農村振興局整備部長通知(最終改正：令和6年4月1日))

【費用】

- ・当該事業費及び関連事業費に係る一般に公表されていない諸元については、九州農政局北部九州土地改良調査管理事務所調べ

【便益】

- ・農林水産省大臣官房統計部(令和1～5年)「作物統計調査」農林水産省
- ・農林水産省大臣官房統計部(令和1～5年)「農業物価統計」農林水産省
- ・効果算定に必要な各種諸元については、九州農政局北部九州土地改良調査管理事務所調べ

駅館川二期地区の事業の効用に関する詳細
1(2) 総費用の総括 - 1

(単位：千円)

区分	施設名 (又は工種)	資産価額 (事業着工時点)	当該事業による 費用	関連事業による 費用	再整備費	資産価額 (評価期間終了時点)	総費用 = + + + -
国 営 造 成 施 設	日出生ダム	1,709,547	4,746,147	-	1,141,983	304,023	7,293,654
	日指ダム	1,511,420	2,019,117	-	115,317	175,830	3,470,024
	西椎屋頭首工	7,205	188,141	-	33,249	28,781	199,814
	山ノ口1号頭首工	16,478	94,513	-	25,313	2,492	133,812
	山ノ口2号頭首工	18,505	160,404	-	30,167	5,730	203,346
	寒水頭首工	24,062	373,240	-	68,142	24,155	441,289
	宇佐西部頭首工	7,779	217,884	-	19,571	7,077	238,157
	平田頭首工	34,864	484,068	-	107,743	34,537	592,138
	広瀬頭首工	46,015	389,228	-	43,133	21,250	457,126
	山中部導水路	14,087	3,362,606	-	1,395,456	486,148	4,286,001
	宇佐西部幹線用水路	12,344	3,363,907	-	938,288	231,369	4,083,170
	広瀬幹線用水路	5,840	4,383,093	-	807,881	537,174	4,659,640
	寄藻幹線用水路	5,902	490,492	-	166,698	48,543	614,549
	平田幹線用水路	192	5,028,726	-	300,715	335,302	4,994,331
	辛江幹線用水路	9,528	224,000	-	46,875	25,671	254,732
	水管理施設	0	1,447,454	-	662,683	96,299	2,013,838
	平山：用水路工	21,705	-	-	6,958	335	28,328
	中山1：用水路工	103,979	-	-	33,335	1,605	135,709
	中山2：用水路工	40,471	-	-	12,974	625	52,820
	有徳原1：用水路工	10,498	-	-	5,944	1,401	15,041
	有徳原2：用水路工	10,704	-	-	6,061	1,428	15,337
	下毛1：用水路工	34,072	-	-	10,924	526	44,470
	下毛2：用水路工	21,295	-	-	6,827	329	27,793
	釜ノ口1：用水路工	34,438	-	-	11,041	532	44,947
	釜ノ口2：用水路工	26,202	-	-	9,037	314	34,925
	釜ノ口3：用水路工	55,043	-	-	17,647	850	71,840
	板場1：用水路工	43,253	-	-	24,489	5,772	61,970
	板場2：用水路工	5,740	-	-	3,251	766	8,225
	板場3：用水路工	47,237	-	-	15,143	729	61,651
	板場4：用水路工	56,507	-	-	19,489	677	75,319
	尾立1：用水路工	38,145	-	-	21,581	5,090	54,636
	尾立2：用水路工	82,234	-	-	28,361	986	109,609
	且尾1：用水路工	38,311	-	-	15,346	166	53,491
	塔尾1：用水路工	71,242	-	-	26,467	590	97,119
	塔尾2：用水路工	40,200	-	-	22,752	5,364	57,588
	矢津：用水路工	22,280	-	-	8,926	96	31,110

駅館川二期地区の事業の効用に関する詳細

1(2) 総費用の総括 - 2

(単位：千円)

区分	施設名 (又は工種)	資産価額 (事業着工時点)	当該事業による 費用	関連事業による 費用	再整備費	資産価額 (評価期間終了時点)	総費用		
							=	+	+
								+	-
国営造成施設	大見尾：用水路工	96,947	-	-	36,020	802			132,165
	古川：用水路工	54,409	-	-	20,213	451			74,171
	日出生ダム施設	1,081,803	-	-	2,578,592	328,815			3,331,580
	平山幹線水路	1,427,077	-	-	777,139	65,104			2,139,112
	有徳原幹線水路	1,782,666	-	-	1,162,757	90,047			2,855,376
	松本1号幹線水路	278,704	-	-	327,645	33,779			572,570
	松本2号幹線水路	33,868	-	-	205,084	23,453			215,499
	板場幹線水路	673,314	-	-	685,502	78,177			1,280,639
	上ノ原幹線水路	1,528,491	-	-	1,261,019	110,623			2,678,887
	古川幹線水路	359,337	-	-	380,506	39,034			700,809
	大黒原池	0	-	-	88,933	10,075			78,858
	塚木池	0	-	-	67,173	6,997			60,176
	大崩池	0	-	-	71,123	7,450			63,673
	平山大池	0	-	-	72,281	7,649			64,632
	山中池	0	-	-	71,967	7,502			64,465
	中山池	0	-	-	78,515	8,400			70,115
	有徳原池	0	-	-	74,398	7,811			66,587
	長浄寺池	0	-	-	67,052	7,031			60,021
	恒松池	0	-	-	73,920	7,729			66,191
	古城ノ池	0	-	-	69,883	7,363			62,520
	大平池	0	-	-	73,996	7,718			66,278
	松本大池	0	-	-	91,483	10,141			81,342
	白砂川池	0	-	-	75,573	7,893			67,680
	板場A池	0	-	-	75,081	7,929			67,152
	イヤリ池	0	-	-	75,196	7,874			67,322
	深迫池	0	-	-	62,540	6,572			55,968
	板場B池	0	-	-	74,314	7,797			66,517
	大池	0	-	-	77,703	8,381			69,322
	新畑池	0	-	-	81,408	8,899			72,509
	黒岩池	0	-	-	78,143	8,433			69,710
	仁想池	0	-	-	70,604	7,360			63,244
	木原池	0	-	-	65,942	6,894			59,048
	五十手池	0	-	-	69,690	7,273			62,417
	悪田神池	0	-	-	71,387	7,495			63,892
	長迫池	0	-	-	77,450	8,314			69,136
	水ヶ原池	0	-	-	71,375	7,434			63,941
	計	11,543,940	26,973,020	-	15,571,374	3,367,261			50,721,073

駅館川二期地区の事業の効用に関する詳細

1 (2) 総費用の総括 - 3

(単位 : 千円)

区 分	施 設 名 (又は工種)	資産価額 (事業着工時点)	当該事業による 費用	関連事業による 費用	再整備費	資産価額 (評価期間終了時点)	総費用		
							=	+	+
							+	-	+
県 営 造 成 施 設	桂掛線	14,935	-	394,486	114,082	18,515			504,988
	小倉線	2,584	-	-	60,983	6,771			56,796
	庄線	6,061	-	-	143,588	15,941			133,708
	宇佐西部線	82,271	-	813,211	222,713	93,357			1,024,838
	南宇佐線	3,780	-	340,076	95,439	19,150			420,145
	金屋線	17,567	-	786,118	217,504	43,450			977,739
	西大堀線	11,985	-	588,863	167,978	38,190			730,636
	下矢部線	21,349	-	219,442	62,957	22,664			281,084
	寄藻線	115,271	-	2,086,069	525,624	338,576			2,388,388
	八幡 1 号線	3,007	-	358,152	104,860	21,043			444,976
	糸口線	3,544	-	203,680	58,370	11,935			253,659
	下高 1 号線	1,917	-	193,133	55,146	17,206			232,990
	高家線	1,581	-	194,952	57,845	28,632			225,746
	天津線	5,287	-	527,282	144,678	91,956			585,291
	江島線	2,841	-	187,004	55,646	35,510			209,981
	辛島線	11,490	-	336,868	100,673	64,682			384,349
	八幡 2 号線	721	-	115,415	33,319	9,334			140,121
	下高 2 号線	786	-	167,919	48,348	23,869			193,184
	小菊線	-	-	308,139	88,607	15,421			381,325
	平田線	-	-	501,911	141,787	31,542			612,156
	県営中山間地域総合整備事業地区水路工	52,771	-	-	76,738	9,087			120,422
	ほ場整備地区内末端用水路	708,002	-	-	-	30,058			677,944
	整地工、暗渠、用水路等 (宮熊地区)	-	-	429,401	17,695	19,501			427,595
	整地工、暗渠、用水路等 (伏田地区)	-	-	552,707	28,314	12,858			568,163
	整地工、暗渠、用水路等 (松崎地区)	-	-	913,958	48,265	25,974			936,249
	整地工、暗渠、用水路等 (和間地区)	-	-	1,029,110	54,300	29,221			1,054,189
	整地工、暗渠、用水路等 (山本地区)	-	-	334,405	18,101	9,740			342,766
	整地工、暗渠、用水路等 (大塚地区)	-	-	334,405	18,101	9,740			342,766
	整地工、暗渠、用水路等 (四日市地区)	-	-	217,228	8,849	9,751			216,326
	整地工、暗渠、用水路等 (矢部地区)	-	-	635,617	34,804	20,077			650,344
	整地工、暗渠、用水路等 (長洲・金屋地区)	-	-	951,485	50,204	31,011			970,678
	整地工、暗渠、用水路等 (佐々礼地区)	-	-	937,960	50,197	25,178			962,979
	整地工、暗渠、用水路等 (北宇佐地区)	-	-	511,936	27,890	17,228			522,598
	整地工、暗渠、用水路等 (乙女・尾永井地区)	-	-	1,195,782	61,886	43,734			1,213,934
	整地工、暗渠、用水路等 (荒木・森山地区)	-	-	1,435,858	53,888	63,643			1,426,103
	整地工、暗渠、用水路等 (木部・清水地区)	-	-	1,245,865	64,465	48,674			1,261,656
	整地工、暗渠、用水路等 (今仁・赤尾地区)	-	-	969,061	49,587	37,438			981,210

駅館川二期地区の事業の効用に関する詳細

1 (2) 総費用の総括 - 4

(単位 : 千円)

区 分	施 設 名 (又は工種)	資産価額 (事業着工時点)	当該事業による 費用	関連事業による 費用	再整備費	資産価額 (評価期間終了時点)	総費用		
							=	+	+
							+	-	
	整地工、暗渠、用水路等 (高家地区)	-	-	361,782	19,837	14,975			366,644
	整地工、暗渠、用水路等 (下高・上高家地区)	-	-	1,499,136	76,289	61,494			1,513,931
	整地工、暗渠、用水路等 (庄地区)	-	-	895,955	45,846	39,428			902,373
	整地工、暗渠、用水路等 (時枝地区)	-	-	733,324	28,361	33,495			728,190
	整地工、暗渠、用水路等 (駅館地区)	-	-	1,332,723	51,044	48,820			1,334,947
	整地工、暗渠、用水路等 (柳ヶ浦地区)	-	-	782,048	41,263	35,486			787,825
	整地工、暗渠、用水路等 (橋津・日足地区)	-	-	538,862	29,342	25,233			542,971
	整地工、暗渠、用水路等 (立石・両戒地区)	-	-	667,833	35,268	32,339			670,762
	整地工、暗渠、用水路等 (青森地区)	-	-	321,624	17,634	16,170			323,088
	整地工、暗渠、用水路等 (拝田地区)	-	-	285,919	11,799	13,000			284,718
	整地工、暗渠、用水路等 (元重地区)	-	-	429,401	17,695	19,501			427,595
	整地工、暗渠、用水路等 (山下地区)	-	-	139,563	5,673	6,698			138,538
	整地工、暗渠、用水路等 (敷田地区)	-	-	163,268	8,819	8,084			164,003
	整地工、暗渠、用水路等 (川部地区)	-	-	285,919	11,799	13,000			284,718
	整地工、暗渠、用水路等 (高森地区)	-	-	274,927	11,346	13,398			272,875
	整地工、暗渠、用水路等 (城井地区)	-	-	733,324	28,361	33,495			728,190
	整地工、暗渠、用水路等 (猿渡地区)	-	-	139,563	5,673	6,698			138,538
	整地工、暗渠、用水路等 (畑田地区)	-	-	217,228	8,849	9,751			216,326
	整地工、暗渠、用水路等 (小向野地区)	-	-	208,872	8,509	10,050			207,331
	計	1,067,750	-	30,028,769	3,626,838	1,831,772			32,891,585
そ の 他	井堰	0	-	-	1,803,647	75,137			1,728,510
	その他地区内ため池	0	-	-	2,852,424	267,361			2,585,063
	計	0	-	-	4,656,071	342,498			4,313,573
合 計		12,611,690	26,973,020	30,028,769	23,854,283	5,541,531			87,926,231

小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

駅館川二期地区の事業の効用に関する詳細
1(3) 総便益額算出表 - 1

評価 期間	年 度	割引率(1+割引率) ¹⁾	経過 過年 (1)	作物生産効果					品質向上効果					営農経費節減効果																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
				更新分に 係る効果 年効果額		新設及び機能向上分 に係る効果		計	更新分に 係る効果 年効果額		新設及び機能向上分 に係る効果		計	更新分に 係る効果 年効果額		新設及び機能向上分 に係る効果		計																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
				(千円)	年効果額 (千円)	効果発生割合 (%)	年発生効果額 (千円) = ×		(千円)	同 左 割引後 (千円) = /	(千円)	年効果額 (千円)		効果発生割合 (%)	年発生効果額 (千円) = ×	(千円)	同 左 割引後 (千円) = /		(千円)	年効果額 (千円)	効果発生割合 (%)	年発生効果額 (千円) = ×	(千円)	同 左 割引後 (千円) = /																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	R8	1.0000	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											</

駅館川二期地区の事業の効用に関する詳細
1 (3) 総便益額算出表 - 2

評価 期間	年 度	割引 率(1 +割引 率) ¹	経 過 年 (1)	維 持 管 理 費 節 減 効 果						地 域 用 水 効 果						一般交通等経費節減効果					
				更新分に 係る効果 年効果額		新設及び機能向上分 に係る効果		計		更新分に 係る効果 年効果額		新設及び機能向上分 に係る効果		計		更新分に 係る効果 年効果額		新設及び機能向上分 に係る効果		計	
				(千円)	(千円)	効果発 生割合 (%)	年発生 効果額 (千円) = x	年効果額 (千円) = +	同 左 割引後 (千円) = /	(千円)	(千円)	効果発 生割合 (%)	年発生 効果額 (千円) = x	年効果額 (千円) = +	同 左 割引後 (千円) = /	(千円)	(千円)	効果発 生割合 (%)	年発生 効果額 (千円) = x	年効果額 (千円) = +	同 左 割引後 (千円) = /
	R8	1.0000	0																		
1	R9	1.0400	1	159,973	70,598	-	-	159,973	153,820	9,947	-	-	-	9,947	9,564	5,130	-	-	-	5,130	4,933
2	R10	1.0816	2	159,973	70,598	1.3	918	159,055	147,055	9,947	-	-	-	9,947	9,197	5,130	-	-	-	5,130	4,743
3	R11	1.1249	3	159,973	70,598	3.5	2,471	157,502	140,014	9,947	-	-	-	9,947	8,843	5,130	-	-	-	5,130	4,560
4	R12	1.1699	4	159,973	70,598	7.3	5,154	154,819	132,335	9,947	-	-	-	9,947	8,502	5,130	-	-	-	5,130	4,385
5	R13	1.2167	5	159,973	70,598	13.0	9,178	150,795	123,938	9,947	-	-	-	9,947	8,175	5,130	-	-	-	5,130	4,216
6	R14	1.2653	6	159,973	70,598	19.8	13,978	145,995	115,384	9,947	-	-	-	9,947	7,861	5,130	-	-	-	5,130	4,054
7	R15	1.3159	7	159,973	70,598	28.4	20,050	139,923	106,333	9,947	-	-	-	9,947	7,559	5,130	-	-	-	5,130	3,898
8	R16	1.3686	8	159,973	70,598	33.6	23,721	136,252	99,556	9,947	-	-	-	9,947	7,268	5,130	-	-	-	5,130	3,748
9	R17	1.4233	9	159,973	70,598	39.9	28,169	131,804	92,605	9,947	-	-	-	9,947	6,989	5,130	-	-	-	5,130	3,604
10	R18	1.4802	10	159,973	70,598	43.4	30,640	129,333	87,375	9,947	-	-	-	9,947	6,720	5,130	-	-	-	5,130	3,466
11	R19	1.5395	11	159,973	70,598	48.5	34,240	125,733	81,671	9,947	-	-	-	9,947	6,461	5,130	-	-	-	5,130	3,332
12	R20	1.6010	12	159,973	70,598	53.8	37,982	121,991	76,197	9,947	-	-	-	9,947	6,213	5,130	-	-	-	5,130	3,204
13	R21	1.6651	13	159,973	70,598	59.6	42,076	117,897	70,805	9,947	-	-	-	9,947	5,974	5,130	-	-	-	5,130	3,081
14	R22	1.7317	14	159,973	70,598	71.8	50,689	109,284	63,108	9,947	-	-	-	9,947	5,744	5,130	-	-	-	5,130	2,962
15	R23	1.8009	15	159,973	70,598	78.0	55,066	104,907	58,253	9,947	-	-	-	9,947	5,523	5,130	-	-	-	5,130	2,849
16	R24	1.8730	16	159,973	70,598	83.0	58,596	101,377	54,125	9,947	-	-	-	9,947	5,311	5,130	-	-	-	5,130	2,739
17	R25	1.9479	17	159,973	70,598	85.9	60,644	99,329	50,993	9,947	-	-	-	9,947	5,107	5,130	-	-	-	5,130	2,634
18	R26	2.0258	18	159,973	70,598	89.4	63,115	96,858	47,812	9,947	-	-	-	9,947	4,910	5,130	-	-	-	5,130	2,532
19	R27	2.1068	19	159,973	70,598	91.3	64,456	95,517	45,337	9,947	-	-	-	9,947	4,721	5,130	-	-	-	5,130	2,435
20	R28	2.1911	20	159,973	70,598	95.1	67,139	92,834	42,369	9,947	-	-	-	9,947	4,540	5,130	-	-	-	5,130	2,341
21	R29	2.2788	21	159,973	70,598	100.0	70,598	89,375	39,220	9,947	-	-	-	9,947	4,365	5,130	-	-	-	5,130	2,251
22	R30	2.3699	22	159,973	70,598	100.0	70,598	89,375	37,713	9,947	-	-	-	9,947	4,197	5,130	-	-	-	5,130	2,165
23	R31	2.4647	23	159,973	70,598	100.0	70,598	89,375	36,262	9,947	-	-	-	9,947	4,036	5,130	-	-	-	5,130	2,081
24	R32	2.5633	24	159,973	70,598	100.0	70,598	89,375	34,867	9,947	-	-	-	9,947	3,881	5,130	-	-	-	5,130	2,001
25	R33	2.6658	25	159,973	70,598	100.0	70,598	89,375	33,527	9,947	-	-	-	9,947	3,731	5,130	-	-	-	5,130	1,924
26	R34	2.7725	26	159,973	70,598	100.0	70,598	89,375	32,236	9,947	-	-	-	9,947	3,588	5,130	-	-	-	5,130	1,850
27	R35	2.8834	27	159,973	70,598	100.0	70,598	89,375	30,996	9,947	-	-	-	9,947	3,450	5,130	-	-	-	5,130	1,779
28	R36	2.9987	28	159,973	70,598	100.0	70,598	89,375	29,805	9,947	-	-	-	9,947	3,317	5,130	-	-	-	5,130	1,711
29	R37	3.1187	29	159,973	70,598	100.0	70,598	89,375	28,658	9,947	-	-	-	9,947	3,189	5,130	-	-	-	5,130	1,645
30	R38	3.2434	30	159,973	70,598	100.0	70,598	89,375	27,556	9,947	-	-	-	9,947	3,067	5,130	-	-	-	5,130	1,582
31	R39	3.3731	31	159,973	70,598	100.0	70,598	89,375	26,496	9,947	-	-	-	9,947	2,949	5,130	-	-	-	5,130	1,521
32	R40	3.5081	32	159,973	70,598	100.0	70,598	89,375	25,477	9,947	-	-	-	9,947	2,835	5,130	-	-	-	5,130	1,462
33	R41	3.6484	33	159,973	70,598	100.0	70,598	89,375	24,497	9,947	-	-	-	9,947	2,726	5,130	-	-	-	5,130	1,406
34	R42	3.7943	34	159,973	70,598	100.0	70,598	89,375	23,555	9,947	-	-	-	9,947	2,622	5,130	-	-	-	5,130	1,352
35	R43	3.9461	35	159,973	70,598	100.0	70,598	89,375	22,649	9,947	-	-	-	9,947	2,521	5,130	-	-	-	5,130	1,300
36	R44	4.1039	36	159,973	70,598	100.0	70,598	89,375	21,778	9,947	-	-	-	9,947	2,424	5,130	-	-	-	5,130	1,250
37	R45	4.2681	37	159,973	70,598	100.0	70,598	89,375	20,940	9,947	-	-	-	9,947	2,331	5,130	-	-	-	5,130	1,202
38	R46	4.4388	38	159,973	70,598	100.0	70,598	89,375	20,135	9,947	-	-	-	9,947	2,241	5,130	-	-	-	5,130	1,156
39	R47	4.6164	39	159,973	70,598	100.0	70,598	89,375	19,360	9,947	-	-	-	9,947	2,155	5,130	-	-	-	5,130	1,111
40	R48	4.8010	40	159,973	70,598	100.0	70,598	89,375	18,616	9,947	-	-	-	9,947	2,072	5,130	-	-	-	5,130	1,069
41	R49	4.9931	41	159,973	70,598	100.0	70,598	89,375	17,900	9,947	-	-	-	9,947	1,992	5,130	-	-	-	5,130	1,027
42	R50	5.1928	42	159,973	70,598	100.0	70,598	89,375	17,211	9,947	-	-	-	9,947	1,916	5,130	-	-	-	5,130	988
43	R51	5.4005	43	159,973	70,598	100.0	70,598	89,375	16,549	9,947	-	-	-	9,947	1,842	5,130	-	-	-	5,130	950
44	R52	5.6165	44	159,973	70,598	100.0	70,598	89,375	15,913	9,947	-	-	-	9,947	1,771	5,130	-	-	-	5,130	913
45	R53	5.8412	45	159,973	70,598	100.0	70,598	89,375	15,301	9,947	-	-	-	9,947	1,703	5,130	-	-	-	5,130	878
46	R54	6.0748	46	159,973	70,598	100.0	70,598	89,375	14,712	9,947	-	-	-	9,947	1,637	5,130	-	-	-	5,130	844
47	R55	6.3178	47	159,973	70,598	100.0	70,598	89,375	14,147	9,947	-	-	-	9,947	1,574	5,130	-	-	-	5,130	812
48	R56	6.5705	48	159,973	70,598	100.0	70,598	89,375	13,602	9,947	-	-	-	9,947	1,514	5,130	-	-	-	5,130	781
49	R57	6.8333	49	159,973	70,598	100.0	70,598	89,375	13,079	9,947	-	-	-	9,947	1,456	5,130	-	-	-	5,130	751
50	R58	7.1067	50	159,973	70,598	100.0	70,598	89,375	12,576	9,947	-	-	-	9,947	1,400	5,130	-	-	-	5,130	722
51	R59	7.3910	51	159,973	70,598	100.0	70,598	89,375	12,092	9,947	-	-	-	9,947	1,346	5,130	-	-	-	5,130	694
52	R60	7.6866	52	159,973	70,598	100.0	70,598	89,375	11,627	9,947	-	-	-	9,947	1,294	5,130	-	-	-	5,130	667
53	R61	7.9941	53	159,973	70,598	100.0	70,598	89,375	11,180	9,947	-	-	-	9,947	1,244	5,130	-	-	-	5,130	642
54	R62	8.3138	54	159,973	70,598	100.0	70,598	89,375	10,750	9,947	-	-	-	9,947	1,196	5,130	-	-	-	5,130	617
55	R63	8.6464	55	159,973	70,598	100.0	70,598	89,375	10,337	9,947	-	-	-	9,947	1,150	5,130	-	-	-	5,130	593
56	R64	8.9922	56	159,973	70,598	100.0	70,598	89,375	9,939	9,947	-	-	-	9,947	1,106	5,130	-	-	-	5,130	570
合計(総便益額)									2,560,343						221,020						113,983

経過年は評価年からの年数

小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

駅館川二期地区の事業の効用に関する詳細

1(3) 総便益額算出表 - 3

評価 期間	年度	割引率(1+割引率) ¹	経過年 (t)	地 籍 確 定 効 果				都市・農村交流促進効果				大規模地震対策の効果(災害時の復旧対策費軽減効果)									
				更新分に 係る効果		新設及び機能向上分 に係る効果		計		更新分に 係る効果		新設及び機能向上分 に係る効果		計		更新分に 係る効果		新設及び機能向上分 に係る効果		計	
				年効果額	年効果額	効果発生割合(%)	年発生効果額(千円) = x	年効果額(千円) = +	同 左 割引後(千円) = /	年効果額(千円)	年効果額(千円)	効果発生割合(%)	年発生効果額(千円) = x	年効果額(千円) = +	同 左 割引後(千円) = /	年効果額(千円)	年効果額(千円)	効果発生割合(%)	年発生効果額(千円) = x	年効果額(千円) = +	同 左 割引後(千円) = /
				(千円)	(千円)	(%)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(%)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(%)	(千円)	(千円)
1	R8	1.0000	0	-	157	-	-	-	257,104	-	-	-	257,104	247,215	-	9,313	-	-	-	-	
2	R9	1.0400	1	-	157	100.0	157	157	145	257,104	-	-	-	257,104	237,707	-	9,313	-	-	-	
3	R10	1.0816	2	-	157	100.0	157	157	140	257,104	-	-	-	257,104	228,557	-	9,313	-	-	-	
4	R11	1.1249	3	-	157	100.0	157	157	134	257,104	-	-	-	257,104	219,766	-	9,313	-	-	-	
5	R12	1.1699	4	-	157	100.0	157	157	129	257,104	-	-	-	257,104	211,313	-	9,313	-	-	-	
6	R13	1.2167	5	-	157	100.0	157	157	124	257,104	-	-	-	257,104	203,196	-	9,313	-	-	-	
7	R14	1.2653	6	-	157	100.0	157	157	119	257,104	-	-	-	257,104	195,383	-	9,313	23.2	2,161	2,161	
8	R15	1.3159	7	-	157	100.0	157	157	115	257,104	-	-	-	257,104	187,859	-	9,313	23.2	2,161	2,161	
9	R16	1.3686	8	-	157	100.0	157	157	110	257,104	-	-	-	257,104	180,639	-	9,313	23.2	2,161	2,161	
10	R17	1.4233	9	-	157	100.0	157	157	106	257,104	-	-	-	257,104	173,695	-	9,313	23.2	2,161	2,161	
11	R18	1.4802	10	-	157	100.0	157	157	102	257,104	-	-	-	257,104	167,005	-	9,313	23.2	2,161	2,161	
12	R19	1.5395	11	-	157	100.0	157	157	98	257,104	-	-	-	257,104	160,590	-	9,313	23.2	2,161	2,161	
13	R20	1.6010	12	-	157	100.0	157	157	94	257,104	-	-	-	257,104	154,408	-	9,313	23.2	2,161	2,161	
14	R21	1.6651	13	-	157	100.0	157	157	91	257,104	-	-	-	257,104	148,469	-	9,313	100.0	9,313	9,313	
15	R22	1.7317	14	-	157	100.0	157	157	87	257,104	-	-	-	257,104	142,764	-	9,313	100.0	9,313	9,313	
16	R23	1.8009	15	-	157	100.0	157	157	84	257,104	-	-	-	257,104	137,269	-	9,313	100.0	9,313	9,313	
17	R24	1.8730	16	-	157	100.0	157	157	81	257,104	-	-	-	257,104	131,990	-	9,313	100.0	9,313	9,313	
18	R25	1.9479	17	-	157	100.0	157	157	78	257,104	-	-	-	257,104	126,915	-	9,313	100.0	9,313	9,313	
19	R26	2.0258	18	-	157	100.0	157	157	75	257,104	-	-	-	257,104	122,035	-	9,313	100.0	9,313	9,313	
20	R27	2.1068	19	-	157	100.0	157	157	72	257,104	-	-	-	257,104	117,340	-	9,313	100.0	9,313	9,313	
21	R28	2.1911	20	-	157	100.0	157	157	69	257,104	-	-	-	257,104	112,824	-	9,313	100.0	9,313	9,313	
22	R29	2.2788	21	-	157	100.0	157	157	66	257,104	-	-	-	257,104	108,487	-	9,313	100.0	9,313	9,313	
23	R30	2.3699	22	-	157	100.0	157	157	64	257,104	-	-	-	257,104	104,315	-	9,313	100.0	9,313	9,313	
24	R31	2.4647	23	-	157	100.0	157	157	61	257,104	-	-	-	257,104	100,302	-	9,313	100.0	9,313	9,313	
25	R32	2.5633	24	-	157	100.0	157	157	59	257,104	-	-	-	257,104	96,445	-	9,313	100.0	9,313	9,313	
26	R33	2.6658	25	-	157	100.0	157	157	57	257,104	-	-	-	257,104	92,734	-	9,313	100.0	9,313	9,313	
27	R34	2.7725	26	-	157	100.0	157	157	54	257,104	-	-	-	257,104	89,167	-	9,313	100.0	9,313	9,313	
28	R35	2.8834	27	-	157	100.0	157	157	52	257,104	-	-	-	257,104	85,738	-	9,313	100.0	9,313	9,313	
29	R36	2.9987	28	-	157	100.0	157	157	50	257,104	-	-	-	257,104	82,439	-	9,313	100.0	9,313	9,313	
30	R37	3.1187	29	-	157	100.0	157	157	48	257,104	-	-	-	257,104	79,270	-	9,313	100.0	9,313	9,313	
31	R38	3.2434	30	-	157	100.0	157	157	47	257,104	-	-	-	257,104	76,222	-	9,313	100.0	9,313	9,313	
32	R39	3.3731	31	-	157	100.0	157	157	45	257,104	-	-	-	257,104	73,289	-	9,313	100.0	9,313	9,313	
33	R40	3.5081	32	-	157	100.0	157	157	43	257,104	-	-	-	257,104	70,470	-	9,313	100.0	9,313	9,313	
34	R41	3.6484	33	-	157	100.0	157	157	41	257,104	-	-	-	257,104	67,761	-	9,313	100.0	9,313	9,313	
35	R42	3.7943	34	-	157	100.0	157	157	40	257,104	-	-	-	257,104	65,154	-	9,313	100.0	9,313	9,313	
36	R43	3.9461	35	-	157	100.0	157	157	38	257,104	-	-	-	257,104	62,649	-	9,313	100.0	9,313	9,313	
37	R44	4.1039	36	-	157	100.0	157	157	37	257,104	-	-	-	257,104	60,239	-	9,313	100.0	9,313	9,313	
38	R45	4.2681	37	-	157	100.0	157	157	35	257,104	-	-	-	257,104	57,922	-	9,313	100.0	9,313	9,313	
39	R46	4.4388	38	-	157	100.0	157	157	34	257,104	-	-	-	257,104	55,694	-	9,313	100.0	9,313	9,313	
40	R47	4.6164	39	-	157	100.0	157	157	33	257,104	-	-	-	257,104	53,552	-	9,313	100.0	9,313	9,313	
41	R48	4.8010	40	-	157	100.0	157	157	31	257,104	-	-	-	257,104	51,492	-	9,313	100.0	9,313	9,313	
42	R49	4.9931	41	-	157	100.0	157	157	30	257,104	-	-	-	257,104	49,512	-	9,313	100.0	9,313	9,313	
43	R50	5.1928	42	-	157	100.0	157	157	29	257,104	-	-	-	257,104	47,607	-	9,313	100.0	9,313	9,313	
44	R51	5.4005	43	-	157	100.0	157	157	28	257,104	-	-	-	257,104	45,777	-	9,313	100.0	9,313	9,313	
45	R52	5.6165	44	-	157	100.0	157	157	27	257,104	-	-	-	257,104	44,016	-	9,313	100.0	9,313	9,313	
46	R53	5.8412	45	-	157	100.0	157	157	26	257,104	-	-	-	257,104	42,323	-	9,313	100.0	9,313	9,313	
47	R54	6.0748	46	-	157	100.0	157	157	25	257,104	-	-	-	257,104	40,695	-	9,313	100.0	9,313	9,313	
48	R55	6.3178	47	-	157	100.0	157	157	24	257,104	-	-	-	257,104	39,130	-	9,313	100.0	9,313	9,313	
49	R56	6.5705	48	-	157	100.0	157	157	23	257,104	-	-	-	257,104	37,625	-	9,313	100.0	9,313	9,313	
50	R57	6.8333	49	-	157	100.0	157	157	22	257,104	-	-	-	257,104	36,178	-	9,313	100.0	9,313	9,313	
51	R58	7.1067	50	-	157	100.0	157	157	21	257,104	-	-	-	257,104	34,786	-	9,313	100.0	9,313	9,313	
52	R59	7.3910	51	-	157	100.0	157	157	20	257,104	-	-	-	257,104	33,448	-	9,313	100.0	9,313	9,313	
53	R60	7.6866	52	-	157	100.0	157	157	20	257,104	-	-	-	257,104	32,162	-	9,313	100.0	9,313	9,313	
54	R61	7.9941	53	-	157	100.0	157	157	19	257,104	-	-	-	257,104	30,925	-	9,313	100.0	9,313	9,313	
55	R62	8.3138	54	-	157	100.0	157	157	18	257,104	-	-	-	257,104	29,735	-	9,313	100.0	9,313	9,313	
56	R63	8.6464	55	-	157	100.0	157	157	17	257,104	-	-	-	257,104	28,592	-	9,313	100.0	9,313	9,313	
合計(総便益額)									3,337					5,712,791						124,185	

経過年は評価年からの年数

小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

駅館川二期地区の事業の効用に関する詳細
1(3) 総便益額算出表 - 4

評価 期間	年 度	割引 率(1 +割引 率) ¹	経 過 年 (1)	洪水調節機能効果					国産農産物安定供給効果					割引後 効果額 合計 (千円)	備考				
				更新分に 係る効果 年効果額		新設及び機能向上分 に係る効果			計		更新分に 係る効果 年効果額		新設及び機能向上分 に係る効果			計			
				年効果額 (千円)	効果発 生割合 (%)	年発生 効果額 (千円) = ×	年効果額 (千円) = +	同 左 割引後 (千円) = /	年効果額 (千円)	効果発 生割合 (%)	年発生 効果額 (千円) = ×	年効果額 (千円) = +	同 左 割引後 (千円) = /						
	R8	1.0000	0												評価年				
1	R9	1.0400	1	15,541	-	-	-	15,541	14,943	507,866	145,634	-	-	507,866		488,333			
2	R10	1.0816	2	15,541	-	-	-	15,541	14,369	507,866	145,634	1.2	1,748	509,614		471,167			
3	R11	1.1249	3	15,541	-	-	-	15,541	13,815	507,866	145,634	3.3	4,806	512,672		455,749			
4	R12	1.1699	4	15,541	-	-	-	15,541	13,284	507,866	145,634	6.9	10,049	517,915		442,700			
5	R13	1.2167	5	15,541	-	-	-	15,541	12,773	507,866	145,634	12.3	17,913	525,779		432,135			
6	R14	1.2653	6	15,541	-	-	-	15,541	12,282	507,866	145,634	19.8	28,836	536,702		424,170			
7	R15	1.3159	7	15,541	-	-	-	15,541	11,810	507,866	145,634	28.4	41,360	549,226		417,377			
8	R16	1.3686	8	15,541	-	-	-	15,541	11,355	507,866	145,634	33.6	48,933	556,799		406,838			
9	R17	1.4233	9	15,541	-	-	-	15,541	10,919	507,866	145,634	39.9	58,108	565,974		397,649			
10	R18	1.4802	10	15,541	-	-	-	15,541	10,499	507,866	145,634	43.4	63,205	571,071		385,807			
11	R19	1.5395	11	15,541	-	-	-	15,541	10,095	507,866	145,634	48.5	70,632	578,498		375,770			
12	R20	1.6010	12	15,541	-	-	-	15,541	9,707	507,866	145,634	53.8	78,351	586,217		366,157			
13	R21	1.6651	13	15,541	-	-	-	15,541	9,333	507,866	145,634	59.6	86,798	594,664		357,134			
14	R22	1.7317	14	15,541	-	-	-	15,541	8,974	507,866	145,634	71.8	104,565	612,431		353,659			
15	R23	1.8009	15	15,541	-	-	-	15,541	8,630	507,866	145,634	78.0	113,595	621,461		345,084			
16	R24	1.8730	16	15,541	-	-	-	15,541	8,297	507,866	145,634	83.0	120,876	628,742		335,687			
17	R25	1.9479	17	15,541	-	-	-	15,541	7,978	507,866	145,634	85.9	125,100	632,966		324,948			
18	R26	2.0258	18	15,541	-	-	-	15,541	7,672	507,866	145,634	89.4	130,197	638,063		314,968			
19	R27	2.1068	19	15,541	-	-	-	15,541	7,377	507,866	145,634	91.3	132,964	640,830		304,172			
20	R28	2.1911	20	15,541	-	-	-	15,541	7,093	507,866	145,634	95.1	138,498	646,364		294,995			
21	R29	2.2788	21	15,541	-	-	-	15,541	6,820	507,866	145,634	100.0	145,634	653,500		286,774			
22	R30	2.3699	22	15,541	-	-	-	15,541	6,558	507,866	145,634	100.0	145,634	653,500		275,750			
23	R31	2.4647	23	15,541	-	-	-	15,541	6,305	507,866	145,634	100.0	145,634	653,500		265,144			
24	R32	2.5633	24	15,541	-	-	-	15,541	6,063	507,866	145,634	100.0	145,634	653,500		254,945			
25	R33	2.6658	25	15,541	-	-	-	15,541	5,830	507,866	145,634	100.0	145,634	653,500		245,142			
26	R34	2.7725	26	15,541	-	-	-	15,541	5,605	507,866	145,634	100.0	145,634	653,500		235,708			
27	R35	2.8834	27	15,541	-	-	-	15,541	5,390	507,866	145,634	100.0	145,634	653,500		226,642			
28	R36	2.9987	28	15,541	-	-	-	15,541	5,183	507,866	145,634	100.0	145,634	653,500		217,928			
29	R37	3.1187	29	15,541	-	-	-	15,541	4,983	507,866	145,634	100.0	145,634	653,500		209,542			
30	R38	3.2434	30	15,541	-	-	-	15,541	4,792	507,866	145,634	100.0	145,634	653,500		201,486			
31	R39	3.3731	31	15,541	-	-	-	15,541	4,607	507,866	145,634	100.0	145,634	653,500		193,739			
32	R40	3.5081	32	15,541	-	-	-	15,541	4,430	507,866	145,634	100.0	145,634	653,500		186,283			
33	R41	3.6484	33	15,541	-	-	-	15,541	4,260	507,866	145,634	100.0	145,634	653,500		179,120			
34	R42	3.7943	34	15,541	-	-	-	15,541	4,096	507,866	145,634	100.0	145,634	653,500		172,232			
35	R43	3.9461	35	15,541	-	-	-	15,541	3,938	507,866	145,634	100.0	145,634	653,500		165,607			
36	R44	4.1039	36	15,541	-	-	-	15,541	3,787	507,866	145,634	100.0	145,634	653,500		159,239			
37	R45	4.2681	37	15,541	-	-	-	15,541	3,641	507,866	145,634	100.0	145,634	653,500		153,113			
38	R46	4.4388	38	15,541	-	-	-	15,541	3,501	507,866	145,634	100.0	145,634	653,500		147,224			
39	R47	4.6164	39	15,541	-	-	-	15,541	3,366	507,866	145,634	100.0	145,634	653,500		141,561			
40	R48	4.8010	40	15,541	-	-	-	15,541	3,237	507,866	145,634	100.0	145,634	653,500		136,117			
41	R49	4.9931	41	15,541	-	-	-	15,541	3,112	507,866	145,634	100.0	145,634	653,500		130,881			
42	R50	5.1928	42	15,541	-	-	-	15,541	2,993	507,866	145,634	100.0	145,634	653,500		125,847			
43	R51	5.4005	43	15,541	-	-	-	15,541	2,878	507,866	145,634	100.0	145,634	653,500		121,007			
44	R52	5.6165	44	15,541	-	-	-	15,541	2,767	507,866	145,634	100.0	145,634	653,500		116,354			
45	R53	5.8412	45	15,541	-	-	-	15,541	2,661	507,866	145,634	100.0	145,634	653,500		111,878			
46	R54	6.0748	46	15,541	-	-	-	15,541	2,558	507,866	145,634	100.0	145,634	653,500		107,576			
47	R55	6.3178	47	15,541	-	-	-	15,541	2,460	507,866	145,634	100.0	145,634	653,500		103,438			
48	R56	6.5705	48	15,541	-	-	-	15,541	2,365	507,866	145,634	100.0	145,634	653,500		99,460			
49	R57	6.8333	49	15,541	-	-	-	15,541	2,274	507,866	145,634	100.0	145,634	653,500		95,635			
50	R58	7.1067	50	15,541	-	-	-	15,541	2,187	507,866	145,634	100.0	145,634	653,500		91,955			
51	R59	7.3910	51	15,541	-	-	-	15,541	2,103	507,866	145,634	100.0	145,634	653,500		88,418			
52	R60	7.6866	52	15,541	-	-	-	15,541	2,022	507,866	145,634	100.0	145,634	653,500		85,018			
53	R61	7.9941	53	15,541	-	-	-	15,541	1,944	507,866	145,634	100.0	145,634	653,500		81,748			
54	R62	8.3138	54	15,541	-	-	-	15,541	1,869	507,866	145,634	100.0	145,634	653,500		78,604			
55	R63	8.6464	55	15,541	-	-	-	15,541	1,797	507,866	145,634	100.0	145,634	653,500		75,581			
56	R64	8.9922	56	15,541	-	-	-	15,541	1,728	507,866	145,634	100.0	145,634	653,500		72,674			
合計(総便益額)								345,315						13,333,869		103,492,304			

経過年は評価年からの年数

小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

駅館川二期地区の事業の効用に関する詳細
2 (1) 作物生産効果 - 1

作物名	新設・更新	作付面積			効果要因	事業 なかりせば 単収	事業 ありせば 単収	増収率	効果算定 対象 単収	生産 増減量 = × ÷ 100	生産物 単価	増加粗 収益額 = ×	純 益 率	年効果額 = ×
		現況	計画	効果 発生 面積										
主食用水稻	新設	ha 2,191	ha 1,904	ha 18	乾田化	kg/10a 512	kg/10a 543	% 6	kg/10a 31	t 5.6	千円 / t -	千円 -	% -	千円 -
					小 計	-	-	-	-	5.6	241	1,350	89	1,202
				287	作付減	-	-	-	512	1,469.4	-	-	-	-
					小 計	-	-	-	-	1,469.4	241	354,125	-	-
	更新	2,515	2,515	2,515	水管理改良	123	512	316	389	9,783.4	-	-	-	-
					小 計	-	-	-	-	9,783.4	241	2,357,799	89	2,098,441
					水稻計	-	-	-	-	8,319.6	-	2,005,024	-	2,099,643
飼料用米	新設	611	566	6	乾田化	525	557	6	32	1.9	-	-	-	-
					小 計	-	-	-	-	1.9	50	95	28	27
				45	作付減	-	-	-	525	236.3	-	-	-	-
					小 計	-	-	-	-	236.3	50	11,815	-	-
	更新	638	638	638	水管理改良	126	525	317	399	2,545.6	-	-	-	-
					小 計	-	-	-	-	2,545.6	50	127,280	28	35,638
					飼料用米計	-	-	-	-	2,311.2	-	115,560	-	35,665
稲発酵粗飼料用稲	新設	521	577	56	作付増	-	-	-	1,483	830.5	-	-	-	-
					小 計	-	-	-	-	830.5	21	17,441	10	1,744
	更新	576	576	576	水管理改良	1,236	1,483	20	247	1,422.7	-	-	-	-
					小 計	-	-	-	-	1,422.7	21	29,877	17	5,079
					稲発酵粗飼料用稲計	-	-	-	-	2,253.2	-	47,318	-	6,823
大豆	新設	535	597	6	乾田化	87	107	23	20	1.2	-	-	-	-
					小 計	-	-	-	-	1.2	150	180	88	158
				62	作付増	-	-	-	87	53.9	-	-	-	-
					小 計	-	-	-	-	53.9	150	8,085	-	-
	更新	570	570	570	湿潤かんがい	81	87	8	6	34.2	-	-	-	-
				570	田畑輪換	76	87	15	11	62.7	-	-	-	-
					小 計	-	-	-	-	96.9	150	14,535	88	12,791
	新設				大豆計	-	-	-	-	152.0	-	22,800	-	12,949
かんしょ	新設	11	24	13	作付増	-	-	-	2,302	299.3	-	-	-	-
					小 計	-	-	-	-	299.3	275	82,308	31	25,515
	更新	12	12	12	湿潤かんがい	2,002	2,302	15	300	36.0	-	-	-	-
					小 計	-	-	-	-	36.0	275	9,900	92	9,108
					かんしょ計	-	-	-	-	335.3	-	92,208	-	34,623

駅館川二期地区の事業の効用に関する詳細
2 (1) 作物生産効果 - 2

作物名	新設・更新	作付面積			効果要因	事業 なかりせば 単収	事業 ありせば 単収	増収率	効果算定 対象 単収	生産 増減量 = × ÷ 100	生産物 単価	増加粗 収益額 = ×	純 益 率	年効果額 = ×
		現況	計画	効果 発生 面積										
えだまめ(黒大豆)	新設	10	181	171	作付増	-	-	-	521	890.9	-	-	-	-
					小 計	-	-	-	-	890.9	588	523,849	17	89,054
	更新	10	10	10	湿潤かんがい	482	521	8	39	3.9	-	-	-	-
				10	田畑輪換	453	521	15	68	6.8	-	-	-	-
					小 計	-	-	-	-	10.7	588	6,292	91	5,726
					えだまめ(黒大豆)計	-	-	-	-	901.6	-	530,141	-	94,780
白ねぎ	新設	71	168	97	作付増	-	-	-	1,723	1,671.3	-	-	-	-
					小 計	-	-	-	-	1,671.3	337	563,228	16	90,116
	更新	74	74	74	湿潤かんがい	1,525	1,723	13	198	146.5	-	-	-	-
					小 計	-	-	-	-	146.5	337	49,371	91	44,928
					白ねぎ計	-	-	-	-	1,817.8	-	612,599	-	135,044
ソルゴー	新設	19	22	3	作付増	-	-	-	5,034	151.0	-	-	-	-
					小 計	-	-	-	-	151.0	47	7,097	10	710
	更新	20	20	20	湿潤かんがい	4,195	5,034	20	839	167.8	-	-	-	-
				20	田畑輪換	4,377	5,034	15	657	131.4	-	-	-	-
					小 計	-	-	-	-	299.2	47	14,062	17	2,391
					ソルゴー計	-	-	-	-	450.2	-	21,159	-	3,101
いちご(施設)	新設	5	12	7	作付増	-	-	-	3,181	222.7	-	-	-	-
					小 計	-	-	-	-	222.7	1,390	309,553	22	68,102
	更新	5	5	5	湿潤かんがい	2,766	3,181	15	415	20.8	-	-	-	-
					小 計	-	-	-	-	20.8	1,390	28,912	91	26,310
					いちご(施設)計	-	-	-	-	243.5	-	338,465	-	94,412
小ねぎ(施設)	新設	24	49	25	作付増	-	-	-	3,895	973.8	-	-	-	-
					小 計	-	-	-	-	973.8	633	616,415	16	98,626
	更新	25	25	25	湿潤かんがい	3,447	3,895	13	448	112.0	-	-	-	-
					小 計	-	-	-	-	112.0	633	70,896	91	64,515
					小ねぎ(施設)計	-	-	-	-	1,085.8	-	687,311	-	163,141
二条大麦	新設	2,245	2,764	24	乾田化	340	459	35	119	28.6	-	-	-	-
					小 計	-	-	-	-	28.6	143	4,090	90	3,681
				519	作付増	-	-	-	341	1,769.8	-	-	-	-
					小 計	-	-	-	-	1,769.8	143	253,081	9	22,777
	更新	2,364	2,364	2,364	田畑輪換	296	340	15	44	1,040.2	-	-	-	-
					小 計	-	-	-	-	1,040.2	143	148,749	90	133,874
					二条大麦計	-	-	-	-	2,838.6	-	405,920	-	160,332

駅館川二期地区の事業の効用に関する詳細
2 (1) 作物生産効果 - 3

作物名	新設・更新	作付面積		効果発生面積	効果要因	事業 なかりせば 単収	事業 ありせば 単収	増収率	効果算定 対象 単収	生産 増減量 = × ÷ 100	生産物 単価	増加粗 収益額 = ×	純 益 率	年効果額 = ×
		現況	計画											
たまねぎ	新設	5	38	33	作付増	-	-	-	4,624	1,525.9	-	-	-	-
					小 計	-	-	-	-	1,525.9	101	154,116	16	24,659
	更新	5	5	5	湿潤かんがい	4,092	4,624	13	532	26.6	-	-	-	-
				5	田畑輪換	4,021	4,624	15	603	30.2	-	-	-	-
					小 計	-	-	-	-	56.8	101	5,737	91	5,221
					たまねぎ計	-	-	-	-	1,582.7	-	159,853	-	29,880
にんにく	新設	6	32	26	作付増	-	-	-	539	140.1	-	-	-	-
					小 計	-	-	-	-	140.1	1,534	214,913	16	34,386
	更新	6	6	6	湿潤かんがい	477	539	13	62	3.7	-	-	-	-
					小 計	-	-	-	-	3.7	1,534	5,676	91	5,165
					にんにく計	-	-	-	-	143.8	-	220,589	-	39,551
イタリアンライグラス	新設	145	183	1	乾田化	4,314	5,263	22	949	9.5	-	-	-	-
					小 計	-	-	-	-	9.5	37	352	17	60
				38	作付増	-	-	-	4,321	1,642.0	-	-	-	-
					小 計	-	-	-	-	1,642.0	37	60,754	10	6,075
	更新	170	170	170	湿潤かんがい	3,595	4,314	20	719	1,222.3	-	-	-	-
				170	田畑輪換	3,751	4,314	15	563	957.1	-	-	-	-
					小 計	-	-	-	-	2,179.4	37	80,638	17	13,708
					イタリアンライグラス計	-	-	-	-	3,821.4	-	141,744	-	19,843
水田計	新設	6,399	7,117									2,450,967		466,892
	更新	6,990	6,990									2,949,724		2,462,895
きゅうり	更新	34	34	34	湿潤かんがい	1,839	2,115	15	276	93.8	-	-	-	-
					小 計	-	-	-	-	93.8	277	25,983	91	23,645
					きゅうり計	-	-	-	-	93.8	-	25,983	-	23,645
さといも	更新	17	17	17	湿潤かんがい	756	983	30	227	38.6	-	-	-	-
					小 計	-	-	-	-	38.6	324	12,506	92	11,506
					さといも計	-	-	-	-	38.6	-	12,506	-	11,506

駅館川二期地区の事業の効用に関する詳細
2 (1) 作物生産効果 - 4

作物名	新設・更新	作付面積			効果要因	事業 なかりせば 単収	事業 ありせば 単収	増収率	効果算定 対象 単収	生産 増減量 = × ÷ 100	生産物 単価	増加粗 収益額 = ×	純 益 率	年効果額 = ×
		現況	計画	効果 発生 面積										
たまねぎ	更新	20	20	20	湿潤かんがい	4,092	4,624	13	532	106.4	-	-	-	-
					小 計	-	-	-	-	106.4	101	10,746	91	9,779
					たまねぎ計	-	-	-	-	106.4	-	10,746	-	9,779
白ねぎ	更新	7	7	7	湿潤かんがい	1,525	1,723	13	198	13.9	-	-	-	-
					小 計	-	-	-	-	13.9	337	4,684	91	4,262
					白ねぎ計	-	-	-	-	13.9	-	4,684	-	4,262
小ねぎ (施設)	更新	15	15	15	湿潤かんがい	3,447	3,895	13	448	67.2	-	-	-	-
					小 計	-	-	-	-	67.2	633	42,538	91	38,710
					小ねぎ計	-	-	-	-	67.2	-	42,538	-	38,710
普通畑計	新設	0	0									-		-
	更新	93	93									96,457		87,902
ぶどう(一部被覆)	新設	35	35	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
					小 計	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	更新	138	138	138	湿潤かんがい	1,167	1,342	15	175	241.5	-	-	-	-
					小 計	-	-	-	-	241.5	1,838	443,877	91	403,928
					ぶどう(一部被覆)計	-	-	-	-	241.5	-	443,877	-	403,928
醸造用ぶどう	新設	8	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
					小 計	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	更新	53	53	53	湿潤かんがい	848	975	15	127	67.3	-	-	-	-
					小 計	-	-	-	-	67.3	396	26,651	91	24,252
					醸造用ぶどう計	-	-	-	-	67.3	-	26,651	-	24,252
かぼす	新設	20	20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
					小 計	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	更新	78	78	78	湿潤かんがい	1,114	1,281	15	167	130.3	-	-	-	-
					小 計	-	-	-	-	130.3	302	39,351	91	35,809
					かぼす計	-	-	-	-	130.3	-	39,351	-	35,809

駅館川二期地区の事業の効用に関する詳細
2 (1) 作物生産効果 - 5

作物名	新設・更新	作付面積			効果要因	事業 なかりせば 単収	事業 ありせば 単収	増収率	効果算定 対象 単収	生産 増減量 = × ÷ 100	生産物 単価	増加粗 収益額 = ×	純 益 率	年効果額 = ×
		現況	計画	効果 発生 面積										
茶	更新	35	35	35	湿潤かんがい	304	344	13	40	14.0	-	-	-	-
					小 計	-	-	-	-	14.0	1,243	17,402	88	15,314
					茶計	-	-	-	-	14.0	-	17,402	-	15,314
ぶどう(施設)	新設	13	13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
					小 計	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	更新	92	92	92	湿潤かんがい	1,097	1,261	15	164	150.9	-	-	-	-
					小 計	-	-	-	-	150.9	1,838	277,354	91	252,392
					ぶどう(施設)計	-	-	-	-	150.9	-	277,354	-	252,392
樹園地計	新設	76	76									-		-
	更新	396	396									804,635		731,695
新設		6,475	7,193									2,450,967		466,892
更新		7,479	7,479									3,850,816		3,282,492
合計												6,301,783		3,749,384

小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

増収率は、「新たな土地改良の効果算定マニュアル」、近傍地区における試験研究結果、統計データ等を基に整理した。

生産物単価のうち飼料料米、イタリアンライグラスは、販売牛換算値。(飼料用米は13,914kg、イタリアンライグラスは18,759kgで子牛1頭の販売価格として評価)

駅館川二期地区の事業の効用に関する詳細

2 (2) 品質向上効果 - 1

作物名	効果要因	効果対象数量		生産物単価			単価向上額		年効果額		
		更新	新設	事業なかりせば	現況	事業ありせば	現況 - 事業なかりせば	事業ありせば - 現況	現況 - 事業なかりせば	事業ありせば - 現況	計
		t	t	千円/t	千円/t	千円/t	千円/t	千円/t	千円	千円	千円
主食用水稻	湿潤かんがい	3,093	-	236	241	241	5	-	15,465	-	15,465
かんしょ	湿潤かんがい	240	-	267	275	275	8	-	1,920	-	1,920
白ねぎ	湿潤かんがい	1,129	-	291	337	337	46	-	51,934	-	51,934
水田計		4,462	-	794	853	853	59	-	69,319	-	69,319
さといも	湿潤かんがい	129	-	292	324	324	32	-	4,128	-	4,128
白ねぎ	湿潤かんがい	107	-	291	337	337	46	-	4,922	-	4,922
畑計		236	-	583	661	661	78	-	9,050	-	9,050
ぶどう(一部被覆)	湿潤かんがい	1,610	-	1,656	1,838	1,838	182	-	293,020	-	293,020
樹園地計		1,610	-	1,656	1,838	1,838	182	-	293,020	-	293,020
新設										-	-
更新									371,389		371,389
合計											371,389

小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

駅館川二期地区の事業の効用に関する詳細

2 (3) 営農経費節減効果 - 1

作物名	ha当たり営農経費				ha当たり 経費 = (-) + (-)	効果発生 面積	年効果額 = ×
	新設		更新				
	現況営農経費	事業ありせば (計画) 営農経費	事業なかりせば 営農経費	事業ありせば (現況) 営農経費			
	円	円	円	円	円	ha	千円
主食用水稻 乾田中区画 (組織経営体)	753,329	601,782	-	-	151,547	229	34,704
主食用水稻 乾田中区画 (個別経営体)	736,024	632,335	-	-	103,689	276	28,618
主食用水稻 湿田中区画 (組織経営体)	1,043,225	601,782	-	-	441,443	8	3,532
主食用水稻 湿田中区画 (個別経営体)	1,025,919	632,335	-	-	393,584	10	3,936
主食用水稻 中区画 (組織経営体)	-	-	786,194	814,181	27,987	1,066	29,834
主食用水稻 中区画 (個別経営体)	-	-	768,888	796,875	27,987	1,449	40,553
飼料用米 乾田中区画 (組織経営体)	739,644	578,191	-	-	161,453	9	1,453
飼料用米 乾田中区画 (個別経営体)	715,170	601,541	-	-	113,629	162	18,408
飼料用米 湿田中区画 (個別経営体)	911,806	601,541	-	-	310,265	6	1,862
飼料用米 中区画 (組織経営体)	-	-	753,987	795,568	41,581	38	1,580
飼料用米 中区画 (個別経営体)	-	-	729,514	771,095	41,581	600	24,949
稲発酵粗飼料用稲 乾田中区画 (組織経営体)	470,776	367,463	-	-	103,313	115	11,881
稲発酵粗飼料用稲 乾田中区画 (個別経営体)	455,007	401,589	-	-	53,418	20	1,068
稲発酵粗飼料用稲 湿田中区画 (組織経営体)	667,219	367,463	-	-	299,756	4	1,199
稲発酵粗飼料用稲 湿田中区画 (個別経営体)	651,450	401,589	-	-	249,861	1	250
稲発酵粗飼料用稲 中区画 (組織経営体)	-	-	461,383	498,130	36,747	492	18,080
稲発酵粗飼料用稲 中区画 (個別経営体)	-	-	445,614	482,361	36,747	84	3,087

駅館川二期地区の事業の効用に関する詳細

2 (3) 営農経費節減効果 - 2

作物名	ha当たり営農経費				ha当たり 経費 = (-) + (-)	効果発生 面積	年効果額 = ×
	新設		更新				
	現況営農経費	事業ありせば (計画) 営農経費	事業なかりせば 営農経費	事業ありせば (現況) 営農経費			
大豆 乾田中区画 (組織経営体)	526,178	454,924	-	-	71,254	50	3,563
大豆 乾田中区画 (個別経営体)	524,438	477,830	-	-	46,608	127	5,919
大豆 湿田中区画 (組織経営体)	726,107	454,924	-	-	271,183	2	542
大豆 湿田中区画 (個別経営体)	724,366	477,830	-	-	246,536	4	986
大豆 中区画 (組織経営体)	-	-	519,856	548,562	28,706	162	4,650
大豆 中区画 (個別経営体)	-	-	518,115	546,821	28,706	408	11,712
かんしょ 乾田中区画 (個別経営体)	1,954,290	1,910,399	-	-	43,891	4	176
かんしょ 中区画 (組織経営体)	-	-	1,952,497	1,985,071	32,574	1	33
かんしょ 中区画 (個別経営体)	-	-	1,940,618	1,973,192	32,574	11	358
えだまめ (黒大豆) 乾田中区画 (組織経営体)	1,799,168	1,479,202	-	-	319,966	50	15,998
えだまめ (黒大豆) 湿田中区画 (組織経営体)	2,113,859	1,479,202	-	-	634,657	2	1,269
えだまめ (黒大豆) 中区画 (組織経営体)	-	-	1,681,129	1,834,380	153,251	10	1,533
白ねぎ 乾田中区画 (組織経営体)	5,947,102	5,465,630	-	-	481,472	40	19,259
白ねぎ 乾田中区画 (個別経営体)	4,123,379	3,853,155	-	-	270,224	7	1,892
白ねぎ 湿田中区画 (組織経営体)	7,193,533	5,465,630	-	-	1,727,903	2	3,456
白ねぎ 中区画 (組織経営体)	-	-	6,085,632	6,085,017	615	70	43
白ねぎ 中区画 (個別経営体)	-	-	4,204,329	4,263,911	59,582	11	655
ソルゴー 乾田中区画 (組織経営体)	970,358	794,876	-	-	175,482	3	526

駅館川二期地区の事業の効用に関する詳細

2 (3) 営農経費節減効果 - 3

作物名	ha当たり営農経費				ha当たり 経費 = (-) + (-)	効果発生 面積	年効果額 = ×
	新設		更新				
	現況営農経費	事業ありせば (計画) 営農経費	事業なかりせば 営農経費	事業ありせば (現況) 営農経費			
ソルゴー 中区画 (組織経営体)	-	-	963,371	986,579	23,208	19	441
ソルゴー 中区画 (個別経営体)	-	-	959,787	982,995	23,208	1	23
いちご (施設) 乾田中区画 (組織経営体)	12,733,638	12,464,278	-	-	269,360	2	539
いちご (施設) 中区画 (組織経営体)	-	-	12,463,272	12,742,123	278,851	4	1,115
いちご (施設) 中区画 (個別経営体)	-	-	12,472,333	12,742,123	269,790	1	270
小ねぎ (施設) 乾田中区画 (組織経営体)	6,874,323	5,778,879	-	-	1,095,444	11	12,050
小ねぎ (施設) 乾田中区画 (個別経営体)	6,857,018	6,316,909	-	-	540,109	3	1,620
小ねぎ (施設) 湿田中区画 (組織経営体)	9,644,632	5,778,879	-	-	3,865,753	1	3,866
小ねぎ (施設) 中区画 (組織経営体)	-	-	6,502,420	6,898,981	396,561	32	12,690
小ねぎ (施設) 中区画 (個別経営体)	-	-	6,485,114	6,881,675	396,561	8	3,172
二条大麦 乾田中区画 (組織経営体)	336,179	296,704	-	-	39,475	249	9,829
二条大麦 乾田中区画 (個別経営体)	319,623	289,258	-	-	30,365	564	17,126
二条大麦 湿田中区画 (組織経営体)	496,720	296,704	-	-	200,016	9	1,800
二条大麦 湿田中区画 (個別経営体)	479,592	289,258	-	-	190,334	20	3,807
二条大麦 中区画 (組織経営体)	-	-	350,671	344,565	6,106	702	4,286
二条大麦 中区画 (個別経営体)	-	-	330,961	324,855	6,106	1,662	10,148
たまねぎ 乾田中区画 (個別経営体)	2,762,635	2,645,810	-	-	116,825	9	1,051
たまねぎ 中区画 (組織経営体)	-	-	2,955,057	2,989,219	34,162	1	34

駅館川二期地区の事業の効用に関する詳細

2 (3) 営農経費節減効果 - 4

作物名	ha当たり営農経費				ha当たり 経費 = (-) + (-)	効果発生 面積	年効果額 = ×
	新設		更新				
	現況営農経費	事業ありせば (計画) 営農経費	事業なかりせば 営農経費	事業ありせば (現況) 営農経費			
たまねぎ 中区画 (個別経営体)	-	-	2,751,422	2,785,584	34,162	24	820
にんにく 乾田中区画 (組織経営体)	2,585,273	2,311,446	-	-	273,827	5	1,369
にんにく 乾田中区画 (個別経営体)	1,933,202	1,883,916	-	-	49,286	1	49
にんにく 中区画 (組織経営体)	-	-	2,576,495	2,609,211	32,716	5	164
にんにく 中区画 (個別経営体)	-	-	1,909,552	1,942,268	32,716	1	33
イタリアンライグラス 乾田中区画 (組織経営体)	891,892	717,383	-	-	174,509	23	4,014
イタリアンライグラス 乾田中区画 (個別経営体)	891,892	871,374	-	-	20,518	24	492
イタリアンライグラス 湿田中区画 (組織経営体)	1,856,894	717,383	-	-	1,139,511	1	1,140
イタリアンライグラス 湿田中区画 (個別経営体)	1,822,163	871,374	-	-	950,789	1	951
イタリアンライグラス 中区画 (組織経営体)	-	-	873,528	908,340	34,812	81	2,820
イタリアンライグラス 中区画 (個別経営体)	-	-	873,528	908,340	34,812	89	3,098
水田計							72,973
きゅうり 個別経営体	-	-	5,940,144	6,273,019	332,875	34	11,318
さといも 個別経営体	-	-	1,983,914	2,066,473	82,559	17	1,404
普通畑計							12,722
醸造用ぶどう 組織経営体	-	-	3,127,652	3,292,367	164,715	53	8,730
ぶどう(施設) 組織経営体	-	-	10,029,839	10,194,554	164,715	11	1,812
ぶどう(施設) 個別経営体	-	-	5,262,898	5,427,613	164,715	81	13,342

駅館川二期地区の事業の効用に関する詳細

2 (3) 営農経費節減効果 - 5

作物名	ha当たり営農経費				ha当たり 経費 = (-) + (-)	効果発生 面積	年効果額 = ×
	新設		更新				
	現況営農経費	事業ありせば (計画) 営農経費	事業なかりせば 営農経費	事業ありせば (現況) 営農経費			
ぶどう(一部被覆) 組織経営体	-	-	9,814,799	9,979,514	164,715	138	22,731
かぼす 個別経営体	-	-	3,728,131	3,719,539	8,592	78	670
茶 組織経営体	-	-	1,530,458	1,637,592	107,134	35	3,750
樹園地計							49,695
新設							220,200
更新							209,644
合計							10,556

小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

■効果要因は以下のとおり。

- ・主食用水稻、飼料用米、稲発酵粗飼料用稲、大豆、かんしょ、えだまめ(黒大豆)、白ねぎ、ソルゴー、いちご(施設)、小ねぎ(施設)、二条大麦、たまねぎ、にんにく、イタリアンライグラス(区画整理、新設：事業なかりせば→ありせば)
区画整理の実施に伴い農業機械の作業効率が向上し、経費が節減。
- ・主食用水稻、大豆、かんしょ、えだまめ(黒大豆)、白ねぎ、いちご(施設)、小ねぎ(施設)、たまねぎ、にんにく、きゅうり、さといも、醸造用ぶどう、ぶどう(施設)、ぶどう(一部被覆)、かぼす、茶(用水改良、更新：事業ありせば→なかりせば)
用水施設の機能が喪失した場合を想定し、用水管理にかかる経費が減少。防除にかかる用水を運搬する経費が増加。
- ・飼料用米、稲発酵粗飼料用稲、ソルゴー、イタリアンライグラス(用水改良、更新：事業ありせば→なかりせば)
用水施設の機能が喪失した場合を想定し、用水管理にかかる経費が減少。
- ・二条大麦(用水改良、更新：事業ありせば→なかりせば)
防除にかかる用水を運搬する経費が増加。

令和9年度新規地区採択チェックリスト

(1) 国営かんがい排水事業

(局名:九州農政局)(地区名^{やっかんがわにき}駅館川二期)

3 特定監視項目

1 . 地質状況
地質状況に基づいた施設計画としている。
前歴事業である国営駅館川土地改良事業において地質調査のうえ設計・施工された既存施設の改修・補強であることから地質状況に基づいた施設計画としている。また、新設施設についても近傍の地質調査による地質状況に基づいた施設計画としている。
2 . 受益面積
最近年の面積を把握している。
本事業の受益面積は、前歴事業の用水受益範囲を基に、土地改良区の土地原簿、土地登記簿、農地台帳等により、令和6年4月時点の面積を積み上げて整理している。

吉田川流域地区の事業の効用に関する説明資料

1 総費用総便益比の算定

(1) 総費用総便益比の総括

(単位：千円)

区 分		算定式	数 値		
総費用（現在価値化）		①＝②＋③	77,735,151		
当該事業による費用		②	43,562,459		
関連事業による費用、資産価額、再整備費		③	34,172,692		
評価期間（当該事業の工事期間＋40年）		④	60年		
社会的割引率			4%		
総便益額（現在価値化）		⑤	315,463,327		
総費用総便益比		⑥＝⑤÷①	4.05		
感度分析結果	総費用（＋10％～△10％）		3.80～4.35		
	総便益（△10％～＋10％）		4.03～4.08		
	社会的割引率		4%	2%	1%
			4.05	4.81	5.37

(2) 総費用の総括

(単位：千円)

区分	資産価額 （事業着工 時点） ①	当該事業に よる費用 ②	関連事業に よる費用 ③	再整備費 ④	資産価額 （評価期間 終了時点） ⑤	総費用 ⑥＝①＋②＋ ③＋④－⑤
国営造成施設	2,970,187	43,562,459	－	12,733,899	3,577,208	55,689,337
県営造成施設	4,662,141	－	2,034,588	18,513,616	3,164,531	22,045,814
合 計	7,632,328	43,562,459	2,034,588	31,247,515	6,741,739	77,735,151

※各造成施設の詳細については「吉田川流域地区の事業の効用に関する詳細」を参照

(3) 年総効果額、総便益額の総括

(単位：千円)

効果項目	区 分	年総効果 （便益）額	総便益額	効果の要因
食料の安定供給の確保に関する効果				
作物生産効果		782,028	15,549,376	排水施設の整備を実施した場合と実施しなかった場合での作物生産量が増減する効果
営農経費節減効果		467,965	10,586,975	排水施設の整備を実施した場合と実施しなかった場合での営農経費が増減する効果
維持管理費節減効果		△107,722	△2,401,871	排水施設の整備を実施した場合と実施しなかった場合での施設の維持管理費が増減する効果
農業の持続的発展に関する効果				
災害防止効果（農業関係資産）		10,101,903	192,394,247	排水施設の整備を実施した場合と実施しなかった場合での災害による農業資産に係る被害額が軽減する効果
農村の振興に関する効果				

効果項目	区 分	年総効果 (便益)額	総便益額	効果の要因
災害防止効果（一般資産）		2,662,931	60,111,547	排水施設の整備を実施した場合と実施しなかった場合での災害による一般資産に係る被害額が軽減する効果
多面的機能の発揮に関する効果				
災害防止効果（公共資産）		1,596,045	36,027,279	排水施設の整備を実施した場合と実施しなかった場合での災害による公共資産に係る被害額が軽減する効果
その他の効果				
国産農産物安定供給効果		158,930	3,195,774	排水施設の整備により農業生産性の向上や営農条件等の改善が図られ、国産農産物の安定供給に寄与する効果
合 計		15,662,080	315,463,327	

総便益の算定の詳細については「吉田川流域の事業の効用に関する詳細」を参照

2 年効果額の算定方法

（１）作物生産効果

○効果の考え方

事業を実施した場合（事業ありせば）と実施しなかった場合（事業なかりせば）の作物生産量の比較により年効果額を算定した。

○対象作物

吉田川流域地区の事業の効用に関する詳細のとおり

○年効果額算定式

$$\text{年効果額} = \text{単収増加年効果額}^{*1} + \text{作付増減年効果額}^{*2}$$

$$*1 \quad \text{単収増加年効果額} = \text{作付面積} \times (\text{事業ありせば単収} - \text{事業なかりせば単収}) \times \text{単価} \times \text{単収増加の純益率}$$

$$*2 \quad \text{作付増減年効果額} = (\text{事業ありせば作付面積} - \text{事業なかりせば作付面積}) \times \text{単収} \times \text{単価} \times \text{作付増減の純益率}$$

○年効果額の算定

(単位：千円)

区 分	作付面積 (ha)		増加粗収益額	年効果額
	現況	計画		
新設整備	4,548	4,574	381,091	207,907
更新整備	4,548	4,548	650,673	574,121
合 計			1,031,764	782,028

※作物生産効果における作物毎の詳細については「吉田川流域地区の事業の効用に関する詳細」を

参照

- ・作付面積：各作物の作付面積は以下のとおり
「現況作付面積」・関係市町の作付実績に基づき決定した。
「計画作付面積」・新設整備では、県、関係市町の農業振興計画や関係者の意向を踏まえ決定した。
・更新整備では、現況施設のもとで作物生産量が維持される面積であり、現況＝計画とした。
- ・単収：増加粗収益額の算定に用いる各作物の単収については以下のとおり
「事業なかりせば単収」・新設整備では、現況単収であり、農林水産統計等による最近5か年の平均単収により算定した。
・更新整備では、排水機能の喪失時の単収であり、現況単収に効果要因別の失われる増収率分を減じて算定した。
「事業ありせば単収」・新設整備では、計画単収であり、現況単収に効果要因別の増収率を考慮して算定した。
・更新整備では現況単収であり、農林水産統計等による最近5か年の平均単収により算定した。
「効果算定対象単収」・事業ありせば単収と事業なかりせば単収の差である。
(作付増においては地域の計画単収、作付減においては地域の現況単収、水害防止については施設整備による被害防止量である。)
- ・生産物単価：農林水産統計等による最近5か年の販売価格に消費者物価指数を反映した価格を用いた。
- ・純益率：「土地改良事業の費用対効果分析に必要な諸係数について」による標準値等を用いた。

(2) 営農経費節減効果

○効果の考え方

事業を実施した場合(事業ありせば)と実施しなかった場合(事業なかりせば)の労働費、機械経費、その他の生産資材費について比較し、それらの営農経費の増減から年効果額を算定した。

○対象作物

吉田川流域地区の事業の効用に関する詳細のとおり

○年効果額算定式

年効果額 = (事業なかりせば単位面積当たり営農経費 - 事業ありせば単位面積当たり営農経費) × 効果発生面積

○年効果額の算定

(単位：千円)

区分	事業なかりせば①	事業ありせば②	年効果額 ③＝①－②
新設整備	現況営農経費	計画営農経費	－
更新整備	事業なかりせば営農経費	現況営農経費	467,965

合 計			467,965
-----	--	--	---------

※営農経費節減効果における作物毎の営農経費の詳細については「吉田川流域地区の事業の効用に関する詳細」を参照

- ・各作物の ha 当たり営農経費は以下のとおり
 - ・現況営農経費：地域の現在の営農経費であり、宮城県の農業経営指標等に基づき算定した。
 - ・事業なかりせば営農経費：地域の水利施設の機能が失われた場合に想定される水管理作業等に係る経費を考慮し算定した。

(3) 維持管理費節減効果

○効果の考え方

事業を実施した場合(事業ありせば)と実施しなかった場合(事業なかりせば)を比較し、施設の維持管理費の増減をもって年効果額を算定した。

○対象施設

総費用に計上した、当該事業（関連事業）及び受益地内で一体的に効用を発揮している全ての土地改良施設

○年効果額算定式

年効果額 = 事業なかりせば維持管理費 - 事業ありせば維持管理費

○年効果額の算定

(単位：千円)

区分	新設	現況維持管理費①	事業ありせば維持管理費②	年効果額 ③＝①－②
	更新	事業なかりせば維持管理費①	現況維持管理費②	
新設整備		184,398	177,929	6,469
更新整備		70,207	184,398	△114,191
合 計				△107,722

- ・事業なかりせば維持管理費：現況施設の維持管理費を基に、施設の機能を失った場合に想定される安全管理等に最低限必要な維持管理費を算定した。
- ・事業ありせば維持管理費：現況施設の維持管理費を基に、本事業の実施により見込まれる維持管理費の増減を考慮し算定した。
- ・現況維持管理費：現況施設の維持管理費に基づき算定した。

(4) 災害防止効果

○効果の考え方

事業を実施した場合（事業ありせば）と実施しなかった場合（事業なかりせば）を比較し、災害（洪水等）の発生に伴う農作物等の被害が防止又は軽減される年効果額を算定した。

○対象資産

農作物、農地、農業用施設、農漁家、一般資産、公共土木施設

○年効果額算定式

年効果額 = 事業なかりせば年被害（想定）額 - 事業ありせば年被害（想定）額

○年効果額の算定

（単位：千円）

項 目	事業なかりせば年被害額 ①	現況年被害額 ②	事業ありせば年被害額 ③	年効果額 （更新整備） ④＝①－②	年効果額 （新設整備） ⑤＝②－③	年効果額 （合 計） ⑥＝④＋⑤
農業関係資産	10,896,807	4,301,975	794,904	6,594,832	3,507,071	10,101,903
農作物被害	24,278	12,572	6,611	11,706	5,961	17,667
農地被害	3,810,384	1,506,974	276,507	2,303,410	1,230,467	3,533,877
農業用施設被害	7,029,140	2,779,963	510,083	4,249,177	2,269,880	6,519,057
農漁家被害	33,005	2,466	1,703	30,539	763	31,302
一般資産	2,865,234	215,217	202,303	2,650,017	12,914	2,662,931
一般資産被害	2,865,234	215,217	202,303	2,650,017	12,914	2,662,931
公共資産	1,712,963	124,752	116,918	1,588,211	7,834	1,596,045
公共土木施設被害	1,712,963	124,752	116,918	1,588,211	7,834	1,596,045
新設整備					3,527,819	3,527,819
更新整備				10,833,060		10,833,060
合 計						14,360,879

- ・事業なかりせば年被害額：事業を実施した場合に被害の防止又は軽減が図られる区域における資産を対象に湛水シミュレーションにより事業なかりせば想定される年被害額を推定した。
- ・現況年被害額：事業を実施した場合に被害の防止又は軽減が図られる区域における資産を対象に湛水シミュレーションにより現況で想定される年被害額を推定した。
- ・事業ありせば年被害額：事業を実施した場合に被害の防止又は軽減が図られる区域における資産を対象に湛水シミュレーションにより事業ありせば想定される年被害額を推定した。

（５）その他の効果（国産農産物安定供給効果）

○効果の考え方

国産農産物の安定供給に対して国民が感じる安心感の効果であるため、一般国民に対してWTP（Willingness To Pay：支払意思額）を尋ねることで、その価値を直接的に評価する手法であるCVM（Contingent Valuation Method：仮想市場法）により年効果額を算定した。

○対象作物

作物生産効果算定作物のうち、食料生産に係るもの

○年効果額算定式

年効果額 = 年増加粗収益額 × 単位食料生産額当たり効果額
+ 年増加供給熱量 × 単位供給熱量当たり効果額（原単位）

○年効果額の算定

(単位：千円)

区 分	増加粗収益額 ①	増加供給熱量 (千 kcal) ②	単位食料生産 額当たり効果 額 (円/千円) ③	単位供給熱量 当たり効果額 (円/千 kcal) ④	当該土地改良 事業における 年効果額 ⑤=①×③ +②×④
新設整備	381,091	2,031,806	49	9.9	38,788
更新整備	650,673	8,915,049	49	9.9	120,142
合 計	1,031,764	10,946,855			158,930

増加粗収益額 : 作物生産効果の算定過程で整理した作物生産量を基に、事業ありせば増加粗収益額及び事業なかりせば増加粗収益額を整理した。

増加供給熱量 : 作物生産効果の算定過程で整理した作物生産量を基に、事業ありせば増加供給熱量及び事業なかりせば増加供給熱量を整理した。

単位食料生産額当たり効果額 : 年効果額の算定に用いる単位食料生産額当たり効果額は一般国民に対し国産農産物の安定供給についてWTPを尋ねるCVMにより、49 円/千円 (原単位) とした。

単位供給熱量当たり効果額 : 年効果額の算定に用いる単位供給熱量当たり効果額は一般国民に対し国産農産物の安定供給についてWTPを尋ねるCVMにより、9.9 円/千 kcal (原単位) とした。

3 評価に使用した資料

【共通】

- ・農林水産省農村振興局整備部(監修) [改訂版] 「新たな土地改良の効果算定マニュアル」 大成出版社 (平成 27 年 9 月 5 日第 2 版第 1 刷)
- ・「土地改良事業の費用対効果分析マニュアルの制定について」 (平成 19 年 3 月 28 日付け 18 農振第 1597 号農林水産省農村振興局企画部長通知 (最終改正：令和 7 年 4 月 2 日))
- ・「国産農産物安定供給効果」について (平成 27 年 3 月 27 日付け 26 農振第 2072 号農林水産省農村振興局整備部長通知 (令和 5 年 4 月 3 日一部改正))
- ・土地改良事業の費用対効果分析における参考資料等について (令和 5 年 9 月 13 日付け農林水産省農村振興局整備部関係課関係班連名事務連絡)
- ・土地改良事業の費用対効果分析に必要な諸係数について (平成 19 年 3 月 28 日付け 18 農振第 1598 号農林水産省農村振興局企画部長通知 (令和 7 年 4 月 1 日一部改正))
- ・土地改良事業の費用対効果分析に必要な諸係数等について (令和 7 年 4 月 1 日付け農林水産省農村振興局整備部土地改良企画課課長補佐 (事業効果班) 事務連絡)
- ・土地改良事業の感度分析について (平成 31 年 4 月 1 日付け 30 農振第 3976 号農林水産省農村振興局整備部長通知 (最終改正：令和 6 年 4 月 1 日))

【費用】

- ・当該事業費及び関連事業費に係る一般に公表されていない諸元については、東北農政局北上土地改良調査管理事務所調べ

【便益】

- ・農林水産省大臣官房統計部 (令和元～5 年) 「作物統計」
- ・効果算定に必要な各種諸元については、東北農政局北上土地改良調査管理事務所調べ

吉田川流域地区の事業の効用に関する詳細

1 (2) 総費用の総括－1

(単位：千円)

区分	施設名 (又は工種)	資産価額 (事業着工時点) ①	当該事業による 費用 ②	関連事業による 費用 ③	再整備費 ④	資産価額 (評価期間終了 時点) ⑤	総費用 ⑥＝①＋②＋③ ＋④－⑤
国 営 造 成 施 設	中下・浅井統合排水機場(土木構造物)	－	1,721,824	－	204,189	83,193	1,842,820
	中下・浅井統合排水機場(上屋)	－	487,849	－	47,551	28,686	506,714
	中下・浅井統合排水機場(ホﾟﾝﾌﾟ)	－	1,377,455	－	521,268	34,670	1,864,053
	若針排水機場(土木構造物)	0	1,175,650	－	181,089	91,885	1,264,854
	若針排水機場(上屋)	3,552	162,533	－	20,577	15,052	171,610
	若針排水機場(ホﾟﾝﾌﾟ)	0	1,370,688	－	673,746	71,470	1,972,964
	山王江排水機場(土木構造物)	146,698	670,863	－	130,137	130,137	817,561
	山王江排水機場(上屋)	18,330	75,923	－	－	1,636	92,617
	山王江排水機場(ホﾟﾝﾌﾟ)	0	497,859	－	308,189	96,577	709,471
	前蒲・藤ノ巻統合排水機場(土木構造物)	－	1,308,756	－	140,432	115,786	1,333,402
	前蒲・藤ノ巻統合排水機場(上屋)	－	411,516	－	－	1,841	409,675
	前蒲・藤ノ巻統合排水機場(ホﾟﾝﾌﾟ)	－	1,652,807	－	565,945	134,399	2,084,353
	幡谷排水機場(土木構造物)	395,472	457,429	－	88,496	77,759	863,638
	幡谷排水機場(上屋)	45,769	63,241	－	－	758	108,252
	幡谷排水機場(ホﾟﾝﾌﾟ)	120,413	533,314	－	329,252	85,889	897,090
	不来内排水機場(土木構造物)	0	717,262	－	138,965	70,410	785,817
	不来内排水機場(上屋)	0	99,159	－	15,791	11,537	103,413
	不来内排水機場(ホﾟﾝﾌﾟ)	0	836,256	－	517,026	54,728	1,298,554
	品井沼排水機場(土木構造物)	0	2,042,634	－	329,527	207,188	2,164,973
	品井沼排水機場(上屋)	7,082	231,170	－	30,653	27,148	241,757
	品井沼排水機場(ホﾟﾝﾌﾟ)	7,390	1,515,872	－	780,381	121,236	2,182,407
	志田谷地排水機場(土木構造物)	166,116	662,779	－	129,155	86,762	871,288
	志田谷地排水機場(上屋)	43,481	174,236	－	27,907	26,237	219,387
	志田谷地排水機場(ホﾟﾝﾌﾟ)	0	871,177	－	541,742	93,918	1,319,001
	前川排水機場(土木構造物)	1,044,383	2,743,463	－	414,486	341,028	3,861,304
	前川排水機場(上屋)	78,295	310,486	－	－	1,874	386,907
	前川排水機場(ホﾟﾝﾌﾟ)	310,305	2,035,964	－	981,577	232,573	3,095,273
	羽生排水機場(土木構造物)	0	794,824	－	125,327	47,144	873,007
	羽生排水機場(上屋)	0	233,772	－	30,297	17,059	247,010
	羽生排水機場(ホﾟﾝﾌﾟ)	0	1,893,554	－	952,777	51,967	2,794,364

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

吉田川流域地区の事業の効用に関する詳細

1 (2) 総費用の総括－2

(単位：千円)

区 分	施 設 名 (又は工種)	資産価額 (事業着工時点) ①	当該事業による 費用 ②	関連事業による 費用 ③	再整備費 ④	資産価額 (評価期間終了 時点) ⑤	総費用 ⑥＝①＋②＋③ ＋④－⑤
国 営 造 成 施 設	後谷地・中村統合排水機場(土木構造物)	－	1,941,496	－	240,781	131,581	2,050,696
	後谷地・中村統合排水機場(上屋)	－	622,164	－	63,420	49,544	636,040
	後谷地・中村統合排水機場(ホソフ)	－	1,848,832	－	731,697	89,054	2,491,475
	三ヶ内排水機場(土木構造物)	0	1,224,514	－	197,321	68,722	1,353,113
	三ヶ内排水機場(上屋)	0	127,249	－	16,854	8,881	135,222
	三ヶ内排水機場(ホソフ)	0	734,290	－	377,595	16,571	1,095,314
	桧和田排水機場(土木構造物)	0	1,280,988	－	223,192	113,239	1,390,941
	桧和田排水機場(上屋)	0	191,227	－	27,385	20,031	198,581
	桧和田排水機場(ホソフ)	0	831,722	－	462,439	49,049	1,245,112
	西川排水機場(土木構造物)	86,744	393,823	－	76,167	47,752	508,982
	西川排水機場(上屋)	23,371	89,935	－	14,297	12,631	114,972
	西川排水機場(ホソフ)	0	462,930	－	285,711	44,225	704,416
	大平排水機場(土木構造物)	117,788	934,126	－	136,695	112,666	1,075,943
	大平排水機場(上屋)	34,813	264,671	－	－	1,603	297,881
	大平排水機場(ホソフ)	0	747,302	－	348,968	82,841	1,013,429
	水管理施設	－	490,372	－	776,905	98,159	1,169,118
	中下機械排水路①	0	953,597	－	148,481	49,472	1,052,606
	志田谷地排水路①	248,700	928,137	－	139,230	81,388	1,234,679
	前蒲排水路①	0	112,818	－	18,294	10,677	120,435
	後谷地排水路①	0	557,443	－	96,787	39,236	614,994
	中村連絡水路	－	396,851	－	67,768	32,370	432,249
	滑川サイフォン	－	433,724	－	57,430	48,047	443,107
	鶴田第1サイフォン	71,485	863,933	－	－	8,922	926,496
	計	2,970,187	43,562,459	－	12,733,899	3,577,208	55,689,337

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

吉田川流域地区の事業の効用に関する詳細

1 (2) 総費用の総括－3

(単位：千円)

区分	施設名 (又は工種)	資産価額 (事業着工時点) ①	当該事業による 費用 ②	関連事業による 費用 ③	再整備費 ④	資産価額 (評価期間終了 時点) ⑤	総費用 ⑥＝①＋②＋③ ＋④－⑤
県 営 造 成 施 設	弥勒堂排水機場(土木構造物)	7,438	-	389,956	60,132	60,221	397,305
	弥勒堂排水機場(上屋)	7,365	-	197,948	-	3,437	201,876
	弥勒堂排水機場(ホヅ)	0	-	401,828	197,734	62,055	537,507
	中下機械排水路②	0	-	356,807	55,558	21,626	390,739
	藤ノ巻連絡水路	-	-	592,710	94,202	62,909	624,003
	後谷地排水路②	0	-	95,339	16,553	6,711	105,181
	中下排水機場(土木構造物)	0	-	-	-	-	0
	中下排水機場(上屋)	0	-	-	-	-	0
	中下排水機場(ホヅ)	0	-	-	-	-	0
	浅井排水機場(土木構造物)	60,175	-	-	-	-	60,175
	浅井排水機場(上屋)	23,230	-	-	-	-	23,230
	浅井排水機場(ホヅ)	0	-	-	-	-	0
	前蒲排水機場(土木構造物)	0	-	-	-	-	0
	前蒲排水機場(上屋)	1,777	-	-	-	-	1,777
	前蒲排水機場(ホヅ)	0	-	-	-	-	0
	藤巻排水機場(土木構造物)	0	-	-	-	-	0
	藤巻排水機場(上屋)	2,433	-	-	-	-	2,433
	藤巻排水機場(ホヅ)	0	-	-	-	-	0
	後谷地排水機場(土木構造物)	0	-	-	-	-	0
	後谷地排水機場(上屋)	545	-	-	-	-	545
	後谷地排水機場(ホヅ)	0	-	-	-	-	0
	中村排水機場(土木構造物)	0	-	-	-	-	0
	中村排水機場(上屋)	0	-	-	-	-	0
	中村排水機場(ホヅ)	0	-	-	-	-	0
	大塚川排水路	0	-	-	805,670	138,883	666,787
	浅井機械排水路	35,701	-	-	116,997	20,168	132,530
	矢上幹線排水路	41,699	-	-	86,963	14,991	113,671
	大手排水路	0	-	-	45,069	7,769	37,300
	丸塚排水路	0	-	-	-	-	0
	上下堤2号排水路	0	-	-	140,310	5,227	135,083

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

吉田川流域地区の事業の効用に関する詳細

1 (2) 総費用の総括－4

(単位：千円)

区分	施設名 (又は工種)	資産価額 (事業着工時点) ①	当該事業による 費用 ②	関連事業による 費用 ③	再整備費 ④	資産価額 (評価期間終了 時点) ⑤	総費用 ⑥＝①＋②＋③ ＋④－⑤
県 営 造 成 施 設	山王江排水路	0	-	-	205,503	35,425	170,078
	山王江機械排水路	0	-	-	1,794,817	309,395	1,485,422
	西沢排水路	2,014	-	-	6,601	1,138	7,477
	三ツ屋排水路	21,868	-	-	100,334	17,296	104,906
	深河排水路	11,544	-	-	52,967	9,131	55,380
	巳待田排水路	95,660	-	-	313,497	54,041	355,116
	大沢排水路	0	-	-	271,717	46,839	224,878
	福芦団地 東側排水路	0	-	-	16,567	2,856	13,711
	倉田前排水路	0	-	-	18,497	3,189	15,308
	横山排水路	0	-	-	43,248	7,455	35,793
	木間塚銭神排水路	0	-	-	15,366	2,649	12,717
	北排水路	325,631	-	-	149,778	9,991	465,418
	山王江排水路	0	-	-	1,200,989	207,029	993,960
	低地排水路	0	-	-	1,747,157	301,179	1,445,978
	導水路	0	-	-	158,188	27,269	130,919
	砂子沢川	0	-	-	252,844	43,586	209,258
	前川機械排水路	0	-	-	130,247	22,452	107,795
	志田谷地排水路②	248,700	-	-	947,709	109,276	1,087,133
	不来内排水路	0	-	-	1,119,371	192,960	926,411
	前川承水路	514,370	-	-	493,169	13,184	994,355
	前蒲排水路②	0	-	-	153,199	14,828	138,371
	下竹谷排水路	0	-	-	266,719	45,978	220,741
	上竹谷排水路	0	-	-	96,365	16,612	79,753
	西沢排水	0	-	-	10,180	379	9,801
	導水路	39,898	-	-	31,834	359	71,373
	検行排水路	94,366	-	-	82,033	444	175,955
	中通排水路	0	-	-	62,074	2,313	59,761
	山根排水路	0	-	-	129,886	22,390	107,496
	前川排水路	0	-	-	435,219	75,024	360,195
	小橋排水路	0	-	-	508,020	87,574	420,446

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

吉田川流域地区の事業の効用に関する詳細

1 (2) 総費用の総括－5

(単位：千円)

区分	施設名 (又は工種)	資産価額 (事業着工時点) ①	当該事業による 費用 ②	関連事業による 費用 ③	再整備費 ④	資産価額 (評価期間終了 時点) ⑤	総費用 ⑥＝①＋②＋③ ＋④－⑤
県 営 造 成 施 設	銭神用水路	548,397	-	-	165,178	23,235	690,340
	落合幹線排水路1号	0	-	-	130,509	114,099	16,410
	落合幹線排水路2号	0	-	-	1,766,568	304,525	1,462,043
	落合幹線排水路3号	0	-	-	282,802	48,750	234,052
	西川幹線排水路	0	-	-	1,350,399	232,785	1,117,614
	内ノ浦第1サイフォン	0	-	-	14,657	611	14,046
	内ノ浦第2サイフォン	0	-	-	15,448	644	14,804
	砂子沢サイフォン	0	-	-	15,133	630	14,503
	深谷川サイフォン	0	-	-	16,060	669	15,391
	山王江サイフォン	0	-	-	22,726	947	21,779
	大迫川サイフォン	0	-	-	32,727	1,363	31,364
	小迫サイフォン	0	-	-	26,995	1,125	25,870
	砂崎サイフォン	0	-	-	64,071	2,669	61,402
	高城川サイフォン	0	-	-	56,059	2,335	53,724
	穴川サイフォン	0	-	-	28,406	1,183	27,223
	小橋サイフォン	0	-	-	85,552	3,564	81,988
	立石排水樋管	0	-	-	21,793	3,757	18,036
	浅井排水樋管	6,823	-	-	31,306	5,397	32,732
	若針排水樋管	0	-	-	51,985	8,961	43,024
	前蒲排水樋管	0	-	-	-	-	0
	竹谷排水樋管	0	-	-	-	-	0
	弥勒堂排水樋管	0	-	-	38,167	6,579	31,588
	検行樋管	0	-	-	31,982	5,513	26,469
	富田樋管	0	-	-	35,491	6,118	29,373
	山王江排水樋管	8,566	-	-	98,261	16,938	89,889
	品井沼排水樋管	0	-	-	58,908	10,155	48,753
	志田谷地排水樋管	43,399	-	-	199,118	34,324	208,193
	中筒排水樋管	0	-	-	68,028	11,727	56,301
	丸山排水樋管	24,392	-	-	-	-	24,392
	中村排水樋管	39,930	-	-	57,251	9,869	87,312

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

吉田川流域地区の事業の効用に関する詳細

1 (2) 総費用の総括－6

(単位：千円)

区分	施設名 (又は工種)	資産価額 (事業着工時点) ①	当該事業による 費用 ②	関連事業による 費用 ③	再整備費 ④	資産価額 (評価期間終了 時点) ⑤	総費用 ⑥＝①＋②＋③ ＋④－⑤
県 営 造 成 施 設	前川樋管	0	-	-	80,765	13,922	66,843
	新前川樋管	0	-	-	52,877	9,115	43,762
	三ヶ内排水樋管	0	-	-	54,047	9,317	44,730
	桧和田排水樋管	0	-	-	56,997	9,825	47,172
	鷹の巣第1樋管	0	-	-	18,658	3,216	15,442
	鷹の巣第2樋管	0	-	-	17,223	2,969	14,254
	鷹の巣第3樋管	0	-	-	47,224	8,141	39,083
	西川左岸排水樋管	0	-	-	112,052	19,316	92,736
	排水樋門(西川地区)	0	-	-	-	-	0
	山王江排水樋門	0	-	-	102,946	10,926	92,020
	大館下1樋管	0	-	-	20,895	3,602	17,293
	大館下2樋管	0	-	-	27,404	4,724	22,680
	洩花樋管	0	-	-	30,274	5,219	25,055
	台前樋管	0	-	-	30,208	5,207	25,001
	樋渡樋管	0	-	-	17,723	3,055	14,668
	東表沢樋管	0	-	-	21,320	3,675	17,645
	関川樋管	0	-	-	16,107	2,777	13,330
	江合樋管	0	-	-	13,688	2,360	11,328
	志田谷地自然排水	0	-	-	12,857	2,216	10,641
	杉ヶ崎ゲート	0	-	-	72,594	12,514	60,080
	小川ゲート	0	-	-	20,694	3,567	17,127
	川頭第1	0	-	-	16,769	2,891	13,878
	川頭第2	0	-	-	12,882	2,221	10,661
	山王江自然排水	0	-	-	103,338	17,814	85,524
	菖蒲田排水	0	-	-	31,001	5,344	25,657
	下鶴田排水	0	-	-	35,434	6,108	29,326
	鳴子樋管	0	-	-	18,732	3,229	15,503
	堰場樋管	0	-	-	22,762	3,924	18,838
	出石排水樋管	0	-	-	8,453	1,457	6,996
	中通排水樋管	0	-	-	9,066	1,563	7,503

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

吉田川流域地区の事業の効用に関する詳細

1 (2) 総費用の総括－7

(単位：千円)

区 分	施 設 名 (又は工種)	資産価額 (事業着工時点) ①	当該事業による 費用 ②	関連事業による 費用 ③	再整備費 ④	資産価額 (評価期間終了 時点) ⑤	総費用 ⑥=①+②+③ +④-⑤
県 営 造 成 施 設	不来内樋管	0	-	-	68,355	11,783	56,572
	幡谷樋管	0	-	-	55,714	9,604	46,110
	前川承水路溢流堰	0	-	-	35,276	6,081	29,195
	前川樋管	0	-	-	70,418	12,139	58,279
	野蒜地区(排水路)	107,149	-	-	-	-	107,149
	鹿島台東部地区(排水路)	674,008	-	-	-	-	674,008
	勿龍地区(排水路)	194,414	-	-	-	-	194,414
	松島東部地区(排水路)	319,112	-	-	-	-	319,112
	土手外地区(排水路)	52,213	-	-	-	-	52,213
	内ノ浦地区(排水路)	81,218	-	-	-	-	81,218
	鶴田川地区(排水路)	0	-	-	-	-	0
	広長地区(排水路)	239,808	-	-	-	-	239,808
	下志田地区(排水路)	244,356	-	-	-	-	244,356
	上志田地区(排水路)	0	-	-	-	-	0
	美賀野間地区(排水路)	0	-	-	-	-	0
	大松沢地区(排水路)	304,688	-	-	-	-	304,688
	前川地区(排水路)	0	-	-	-	-	0
	大郷東部地区(排水路)	0	-	-	-	-	0
	大郷西部地区(排水路)	0	-	-	-	-	0
	落合地区(排水路)	0	-	-	-	-	0
	西川地区(排水路)	191,325	-	-	-	-	191,325
	大和東部地区(排水路)	47,929	-	-	-	-	47,929
	計	4,662,141	-	2,034,588	18,513,616	3,164,531	22,045,814
	合 計	7,632,328	43,562,459	2,034,588	31,247,515	6,741,739	77,735,151

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

吉田川流域地区の事業の効用に関する詳細
1 (3) 総便益額算出表-1

評価 期間	年度	割引 率(1 +割引 率) ^t	経 過 年 (t)	作物生産効果							営農経費節減効果							維持管理費節減効果						
				更新分に 係る効果 年効果額	新設及び機能向上分 に係る効果			計	更新分に 係る効果 年効果額	新設及び機能向上分 に係る効果			計	更新分に 係る効果 年効果額	新設及び機能向上分 に係る効果			計						
					年効果額	効果発生 割合 (%)	年発生 効果額 (千円) ⑤=③×④			年効果額	効果発生 割合 (%)	年発生 効果額 (千円) ⑤=③×④			年効果額	効果発生 割合 (%)	年発生 効果額 (千円) ⑤=③×④		年効果額	効果発生 割合 (%)	年発生 効果額 (千円) ⑤=③×④			
																						(千円) (2)	(千円) (3)	(千円) (4)
				(千円) (2)	(千円) (3)	(千円) (4)	(千円) ⑤=③×④	(千円) ⑥=②+⑤	(千円) ⑦=⑥/①	(千円) (2)	(千円) (3)	(千円) (4)	(千円) ⑤=③×④	(千円) ⑥=②+⑤	(千円) ⑦=⑥/①	(千円) (2)	(千円) (3)	(千円) (4)	(千円) ⑤=③×④	(千円) ⑥=②+⑤	(千円) ⑦=⑥/①			
1	R9	1.0000	0																					
2	R10	1.0816	2	574.121	207.907	-	-	574.121	552.039	467.965	-	-	467.965	449.966	△ 114.191	6.469	-	-	△ 114.191	△ 109.799				
3	R11	1.1249	3	574.121	207.907	-	-	574.121	530.807	467.965	-	-	467.965	432.660	△ 114.191	6.469	-	-	△ 114.191	△ 105.576				
4	R12	1.1699	4	574.121	207.907	-	-	574.121	510.375	467.965	-	-	467.965	416.006	△ 114.191	6.469	-	-	△ 114.191	△ 101.512				
5	R13	1.2167	5	574.121	207.907	-	-	574.121	490.744	467.965	-	-	467.965	400.004	△ 114.191	6.469	-	-	△ 114.191	△ 97.607				
6	R14	1.2653	6	574.121	207.907	2.6	5.406	579.527	458.015	467.965	-	-	467.965	384.618	△ 114.191	6.469	3.4	220	△ 113.971	△ 93.672				
7	R15	1.3159	7	574.121	207.907	5.7	11.851	585.972	445.301	467.965	-	-	467.965	369.845	△ 114.191	6.469	34.5	2.232	△ 111.959	△ 88.484				
8	R16	1.3686	8	574.121	207.907	10.0	20.791	594.912	434.687	467.965	-	-	467.965	355.624	△ 114.191	6.469	35.5	2.297	△ 111.894	△ 85.032				
9	R17	1.4233	9	574.121	207.907	10.0	20.791	594.912	417.981	467.965	-	-	467.965	341.930	△ 114.191	6.469	76.1	4.923	△ 109.268	△ 79.839				
10	R18	1.4802	10	574.121	207.907	10.0	20.791	594.912	401.913	467.965	-	-	467.965	328.789	△ 114.191	6.469	73.4	4.748	△ 109.443	△ 76.894				
11	R19	1.5395	11	574.121	207.907	24.8	51.561	625.682	406.419	467.965	-	-	467.965	316.150	△ 114.191	6.469	73.4	4.748	△ 109.443	△ 73.938				
12	R20	1.6010	12	574.121	207.907	24.8	51.561	625.682	390.807	467.965	-	-	467.965	303.972	△ 114.191	6.469	210.0	13.585	△ 100.606	△ 65.350				
13	R21	1.6651	13	574.121	207.907	31.0	64.451	638.572	383.504	467.965	-	-	467.965	292.295	△ 114.191	6.469	233.7	15.118	△ 99.073	△ 61.882				
14	R22	1.7317	14	574.121	207.907	50.4	104.785	678.906	392.046	467.965	-	-	467.965	281.043	△ 114.191	6.469	231.2	14.957	△ 99.234	△ 59.596				
15	R23	1.8009	15	574.121	207.907	62.6	130.150	704.271	391.066	467.965	-	-	467.965	270.234	△ 114.191	6.469	277.0	17.919	△ 96.272	△ 55.594				
16	R24	1.8730	16	574.121	207.907	62.6	130.150	704.271	376.012	467.965	-	-	467.965	259.851	△ 114.191	6.469	323.2	20.908	△ 93.283	△ 51.798				
17	R25	1.9479	17	574.121	207.907	62.6	130.150	704.271	361.554	467.965	-	-	467.965	249.848	△ 114.191	6.469	323.2	20.908	△ 93.283	△ 49.804				
18	R26	2.0258	18	574.121	207.907	82.7	171.939	746.060	368.279	467.965	-	-	467.965	240.241	△ 114.191	6.469	323.2	20.908	△ 93.283	△ 47.889				
19	R27	2.1068	19	574.121	207.907	86.4	179.632	753.753	357.772	467.965	-	-	467.965	231.003	△ 114.191	6.469	415.6	26.886	△ 87.305	△ 43.097				
20	R28	2.1911	20	574.121	207.907	86.4	179.632	753.753	344.007	467.965	-	-	467.965	222.121	△ 114.191	6.469	413.1	26.724	△ 87.467	△ 41.517				
21	R29	2.2788	21	574.121	207.907	100.0	207.907	782.028	343.175	467.965	-	-	467.965	213.575	△ 114.191	6.469	413.1	26.724	△ 87.467	△ 39.919				
22	R30	2.3699	22	574.121	207.907	100.0	207.907	782.028	329.984	467.965	-	-	467.965	205.356	△ 114.191	6.469	100.0	6.469	△ 107.722	△ 47.271				
23	R31	2.4647	23	574.121	207.907	100.0	207.907	782.028	317.291	467.965	-	-	467.965	197.462	△ 114.191	6.469	100.0	6.469	△ 107.722	△ 45.454				
24	R32	2.5633	24	574.121	207.907	100.0	207.907	782.028	305.086	467.965	-	-	467.965	189.867	△ 114.191	6.469	100.0	6.469	△ 107.722	△ 43.706				
25	R33	2.6658	25	574.121	207.907	100.0	207.907	782.028	293.356	467.965	-	-	467.965	182.563	△ 114.191	6.469	100.0	6.469	△ 107.722	△ 42.025				
26	R34	2.7725	26	574.121	207.907	100.0	207.907	782.028	282.066	467.965	-	-	467.965	175.544	△ 114.191	6.469	100.0	6.469	△ 107.722	△ 40.409				
27	R35	2.8834	27	574.121	207.907	100.0	207.907	782.028	271.217	467.965	-	-	467.965	168.788	△ 114.191	6.469	100.0	6.469	△ 107.722	△ 38.854				
28	R36	2.9987	28	574.121	207.907	100.0	207.907	782.028	260.789	467.965	-	-	467.965	162.296	△ 114.191	6.469	100.0	6.469	△ 107.722	△ 37.359				
29	R37	3.1187	29	574.121	207.907	100.0	207.907	782.028	250.754	467.965	-	-	467.965	156.056	△ 114.191	6.469	100.0	6.469	△ 107.722	△ 35.923				
30	R38	3.2434	30	574.121	207.907	100.0	207.907	782.028	241.114	467.965	-	-	467.965	150.051	△ 114.191	6.469	100.0	6.469	△ 107.722	△ 34.541				
31	R39	3.3731	31	574.121	207.907	100.0	207.907	782.028	231.843	467.965	-	-	467.965	144.282	△ 114.191	6.469	100.0	6.469	△ 107.722	△ 33.213				
32	R40	3.5081	32	574.121	207.907	100.0	207.907	782.028	222.921	467.965	-	-	467.965	142.282	△ 114.191	6.469	100.0	6.469	△ 107.722	△ 32.323				
33	R41	3.6484	33	574.121	207.907	100.0	207.907	782.028	214.348	467.965	-	-	467.965	140.282	△ 114.191	6.469	100.0	6.469	△ 107.722	△ 31.433				
34	R42	3.7943	34	574.121	207.907	100.0	207.907	782.028	206.106	467.965	-	-	467.965	138.734	△ 114.191	6.469	100.0	6.469	△ 107.722	△ 30.543				
35	R43	3.9461	35	574.121	207.907	100.0	207.907	782.028	198.177	467.965	-	-	467.965	136.734	△ 114.191	6.469	100.0	6.469	△ 107.722	△ 29.653				
36	R44	4.1039	36	574.121	207.907	100.0	207.907	782.028	190.557	467.965	-	-	467.965	134.734	△ 114.191	6.469	100.0	6.469	△ 107.722	△ 28.763				
37	R45	4.2681	37	574.121	207.907	100.0	207.907	782.028	183.226	467.965	-	-	467.965	132.734	△ 114.191	6.469	100.0	6.469	△ 107.722	△ 27.873				
38	R46	4.4388	38	574.121	207.907	100.0	207.907	782.028	176.180	467.965	-	-	467.965	130.734	△ 114.191	6.469	100.0	6.469	△ 107.722	△ 26.983				
39	R47	4.6164	39	574.121	207.907	100.0	207.907	782.028	169.402	467.965	-	-	467.965	128.734	△ 114.191	6.469	100.0	6.469	△ 107.722	△ 26.093				
40	R48	4.8010	40	574.121	207.907	100.0	207.907	782.028	162.889	467.965	-	-	467.965	126.734	△ 114.191	6.469	100.0	6.469	△ 107.722	△ 25.203				
41	R49	4.9931	41	574.121	207.907	100.0	207.907	782.028	156.622	467.965	-	-	467.965	124.734	△ 114.191	6.469	100.0	6.469	△ 107.722	△ 24.313				
42	R50	5.1928	42	574.121	207.907	100.0	207.907	782.028	150.599	467.965	-	-	467.965	122.734	△ 114.191	6.469	100.0	6.469	△ 107.722	△ 23.423				
43	R51	5.4005	43	574.121	207.907	100.0	207.907	782.028	144.807	467.965	-	-	467.965	120.734	△ 114.191	6.469	100.0	6.469	△ 107.722	△ 22.533				
44	R52	5.6165	44	574.121	207.907	100.0	207.907	782.028	139.238	467.965	-	-	467.965	118.734	△ 114.191	6.469	100.0	6.469	△ 107.722	△ 21.643				
45	R53	5.8412	45	574.121	207.907	100.0	207.907	782.028	133.881	467.965	-	-	467.965	116.734	△ 114.191	6.469	100.0							

吉田川流域地区の事業の効用に関する詳細
1 (3) 総便益額算出表-2

評価 期間	年 度	割引 率(1 +割引率) ^t ①	経 過 年 (t)	災害防止効果 (農業関係資産)										災害防止効果 (一般資産)										災害防止効果 (公共土木資産)									
				更新分に 係る効果 年効果額			新設及び機能向上分 に係る効果			計				更新分に 係る効果 年効果額			新設及び機能向上分 に係る効果			計				更新分に 係る効果 年効果額			新設及び機能向上分 に係る効果			計			
				年効果額 (千円) (2)	年効果額 (千円) (3)	効果発生 割合 (%) (4)	年発生 効果額 (千円) (5)=(3)×(4)	年効果額 (千円) (6)=(2)+(5)	同 左 割引後 (千円) (7)=(6)/①	年効果額 (千円) (2)	年効果額 (千円) (3)	効果発生 割合 (%) (4)	年発生 効果額 (千円) (5)=(3)×(4)	年効果額 (千円) (6)=(2)+(5)	同 左 割引後 (千円) (7)=(6)/①	年効果額 (千円) (2)	年効果額 (千円) (3)	効果発生 割合 (%) (4)	年発生 効果額 (千円) (5)=(3)×(4)	年効果額 (千円) (6)=(2)+(5)	同 左 割引後 (千円) (7)=(6)/①	年効果額 (千円) (2)	年効果額 (千円) (3)	効果発生 割合 (%) (4)	年発生 効果額 (千円) (5)=(3)×(4)	年効果額 (千円) (6)=(2)+(5)	同 左 割引後 (千円) (7)=(6)/①						
1	R8	1.0000	0																														
1	R9	1.0400	1	6,594,832	3,507,071	—	—	6,594,832	6,341,185	2,650,017	12,914	—	—	2,650,017	2,548,093	1,588,211	7,834	—	—	1,588,211	1,527,126												
2	R10	1.0816	2	6,594,832	3,507,071	—	—	6,594,832	6,097,293	2,650,017	12,914	—	—	2,650,017	2,450,090	1,588,211	7,834	—	—	1,588,211	1,468,390												
3	R11	1.1249	3	6,594,832	3,507,071	—	—	6,594,832	5,862,594	2,650,017	12,914	—	—	2,650,017	2,355,780	1,588,211	7,834	—	—	1,588,211	1,411,869												
4	R12	1.1699	4	6,594,832	3,507,071	—	—	6,594,832	5,637,090	2,650,017	12,914	—	—	2,650,017	2,265,165	1,588,211	7,834	—	—	1,588,211	1,357,561												
5	R13	1.2167	5	6,594,832	3,507,071	—	—	6,594,832	5,420,261	2,650,017	12,914	—	—	2,650,017	2,178,036	1,588,211	7,834	—	—	1,588,211	1,305,343												
6	R14	1.2653	6	6,594,832	3,507,071	2.6	91,184	6,686,016	5,284,135	2,650,017	12,914	2.6	336	2,650,353	2,094,644	1,588,211	7,834	2.6	204	1,588,415	1,255,366												
7	R15	1.3159	7	6,594,832	3,507,071	5.7	199,903	6,794,735	5,163,565	2,650,017	12,914	5.7	736	2,650,753	2,014,403	1,588,211	7,834	5.7	447	1,588,658	1,207,279												
8	R16	1.3686	8	6,594,832	3,507,071	10.0	350,707	6,945,539	5,074,923	2,650,017	12,914	10.0	1,291	2,651,308	1,937,241	1,588,211	7,834	10.0	783	1,588,994	1,161,036												
9	R17	1.4233	9	6,594,832	3,507,071	10.0	350,707	6,945,539	4,879,884	2,650,017	12,914	10.0	1,291	2,651,308	1,862,789	1,588,211	7,834	10.0	783	1,588,994	1,116,415												
10	R18	1.4802	10	6,594,832	3,507,071	10.0	350,707	6,945,539	4,692,298	2,650,017	12,914	10.0	1,291	2,651,308	1,791,182	1,588,211	7,834	10.0	783	1,588,994	1,073,500												
11	R19	1.5395	11	6,594,832	3,507,071	24.8	869,754	7,464,586	4,848,708	2,650,017	12,914	24.8	3,203	2,653,220	1,723,430	1,588,211	7,834	24.8	1,943	1,590,154	1,032,903												
12	R20	1.6010	12	6,594,832	3,507,071	24.8	869,754	7,464,586	4,662,452	2,650,017	12,914	24.8	3,203	2,653,220	1,657,227	1,588,211	7,834	24.8	1,943	1,590,154	993,225												
13	R21	1.6651	13	6,594,832	3,507,071	31.0	1,087,192	7,682,024	4,613,551	2,650,017	12,914	31.0	4,003	2,654,020	1,593,910	1,588,211	7,834	31.0	2,429	1,590,640	955,282												
14	R22	1.7317	14	6,594,832	3,507,071	50.4	1,767,564	8,362,396	4,829,010	2,650,017	12,914	50.4	6,509	2,656,526	1,534,057	1,588,211	7,834	50.4	3,948	1,592,159	919,420												
15	R23	1.8009	15	6,594,832	3,507,071	62.6	2,195,426	8,790,258	4,881,036	2,650,017	12,914	62.6	8,084	2,658,101	1,475,985	1,588,211	7,834	62.6	4,904	1,593,115	884,622												
16	R24	1.8730	16	6,594,832	3,507,071	62.6	2,195,426	8,790,258	4,693,144	2,650,017	12,914	62.6	8,084	2,658,101	1,419,168	1,588,211	7,834	62.6	4,904	1,593,115	850,569												
17	R25	1.9479	17	6,594,832	3,507,071	62.6	2,195,426	8,790,258	4,512,684	2,650,017	12,914	62.6	8,084	2,658,101	1,364,598	1,588,211	7,834	62.6	4,904	1,593,115	817,863												
18	R26	2.0258	18	6,594,832	3,507,071	82.7	2,900,348	9,495,180	4,687,126	2,650,017	12,914	82.7	10,680	2,660,697	1,313,406	1,588,211	7,834	82.7	6,479	1,594,690	787,190												
19	R27	2.1068	19	6,594,832	3,507,071	86.4	3,030,109	9,624,941	4,568,512	2,650,017	12,914	86.4	11,158	2,661,175	1,263,136	1,588,211	7,834	86.4	6,769	1,594,980	757,063												
20	R28	2.1911	20	6,594,832	3,507,071	86.4	3,030,109	9,624,941	4,392,744	2,650,017	12,914	86.4	11,158	2,661,175	1,214,538	1,588,211	7,834	86.4	6,769	1,594,980	727,936												
21	R29	2.2788	21	6,594,832	3,507,071	100.0	3,507,071	10,101,903	4,432,992	2,650,017	12,914	100.0	12,914	2,662,931	1,168,567	1,588,211	7,834	100.0	7,834	1,596,045	700,388												
22	R30	2.3699	22	6,594,832	3,507,071	100.0	3,507,071	10,101,903	4,262,586	2,650,017	12,914	100.0	12,914	2,662,931	1,123,647	1,588,211	7,834	100.0	7,834	1,596,045	673,465												
23	R31	2.4647	23	6,594,832	3,507,071	100.0	3,507,071	10,101,903	4,098,634	2,650,017	12,914	100.0	12,914	2,662,931	1,080,428	1,588,211	7,834	100.0	7,834	1,596,045	647,562												
24	R32	2.5633	24	6,594,832	3,507,071	100.0	3,507,071	10,101,903	3,940,976	2,650,017	12,914	100.0	12,914	2,662,931	1,038,868	1,588,211	7,834	100.0	7,834	1,596,045	622,652												
25	R33	2.6658	25	6,594,832	3,507,071	100.0	3,507,071	10,101,903	3,789,445	2,650,017	12,914	100.0	12,914	2,662,931	998,924	1,588,211	7,834	100.0	7,834	1,596,045	598,711												
26	R34	2.7725	26	6,594,832	3,507,071	100.0	3,507,071	10,101,903	3,643,608	2,650,017	12,914	100.0	12,914	2,662,931	960,480	1,588,211	7,834	100.0	7,834	1,596,045	575,670												
27	R35	2.8834	27	6,594,832	3,507,071	100.0	3,507,071	10,101,903	3,503,469	2,650,017	12,914	100.0	12,914	2,662,931	923,539	1,588,211	7,834	100.0	7,834	1,596,045	553,529												
28	R36	2.9987	28	6,594,832	3,507,071	100.0	3,507,071	10,101,903	3,368,761	2,650,017	12,914	100.0	12,914	2,662,931	888,028	1,588,211	7,834	100.0	7,834	1,596,045	532,246												
29	R37	3.1187	29	6,594,832	3,507,071	100.0	3,507,071	10,101,903	3,239,139	2,650,017	12,914	100.0	12,914	2,662,931	853,859	1,588,211	7,834	100.0	7,834	1,596,045	511,766												
30	R38	3.2434	30	6,594,832	3,507,071	100.0	3,507,071	10,101,903	3,114,603	2,650,017	12,914	100.0	12,914	2,662,931	821,031	1,588,211	7,834	100.0	7,834	1,596,045	492,090												
31	R39	3.3731	31	6,594,832	3,507,071	100.0	3,507,071	10,101,903	2,994,842	2,650,017	12,914	100.0	12,914	2,662,931	789,461	1,588,211	7,834	100.0	7,834	1,596,045	473,169												
32	R40	3.5081	32	6,594,832	3,507,071	100.0	3,507,071	10,101,903	2,879,594	2,650,017	12,914	100.0	12,914	2,662,931	759,081	1,588,211	7,834	100.0	7,834	1,596,045	454,960												
33	R41	3.6484	33	6,594,832	3,507,071	100.0	3,507,071	10,101,903	2,768,858	2,650,017	12,914	100.0	12,914	2,662,931	729,890	1,588,211	7,834	100.0	7,834	1,596,045	437,464												
34	R42	3.7943	34	6,594,832	3,507,071	100.0	3,507,071	10,101,903	2,662,389	2,650,017	12,914	100.0	12,914	2,662,931	701,824	1,588,211	7,834	100.0	7,834	1,596,045	420,643												
35	R43	3.9461	35	6,594,832	3,507,071	100.0	3,507,071	10,101,903	2,559,971	2,650,017	12,914	100.0	12,914	2,662,931	674,826	1,588,211	7,834	100.0	7,834	1,596,045	404,461												
36	R44	4.1039	36	6,594,832	3,507,071	100.0	3,507,071	10,101,903	2,461,537	2,650,017	12,914	100.0	12,914	2,662,931	648,878	1,588,211	7,834	100.0	7,834	1,596,045	388,909												
37	R45	4.2681	37	6,594,832	3,507,071	100.0	3,507,071	10,101,903	2,366,838	2,650,017	12,914	100.0	12,914	2,662,931	623,915	1,588,211	7,834	100.0	7,834	1,596,045	373,947												
38	R46	4.4388	38	6,594,832	3,507,071	100.0	3,507,071	10,101,903	2,275,818	2,650,017	12,914	100.0	12,914	2,662,931	599,921	1,588,211	7,834	100.0	7,834	1,596,045	359,567												
39	R47	4.6164	39	6,594,832	3,507,071	100.0	3,507,071	10,101,903	2,188,264	2,65																							

吉田川流域地区の事業の効用に関する詳細
1 (3) 総便益額算出表－3

評価 期間	年 度	割引 率(1 +割引 率) ¹	経 過 年 (t)	国産農産物安定供給効果							割引後 効果額 合計 (千円)	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
				更新分に 係る効果 年効果額 (千円) ②	新設及び機能向上分 に係る効果			計																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
					年効果額 (千円) ③	効果発 生割合 (%) ④	年発生 効果額 (千円) ⑤=③×④	年効果額 (千円) ⑥=②+⑤	同 左 割引後 (千円) ⑦=⑥/①																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	R8	1.0000	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		

※経過年は評価年からの年数

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

吉田川流域地区の事業の効用に関する詳細
2 (1) 作物生産効果－ 1

作物名	新設・更新	作付面積			効果要因	単 収				生産増減量 ③＝ ①×② ÷100	生産物単価 ④	増加粗収益額 ⑤＝ ③×④	純益率 ⑥	年効果額 ⑦＝ ⑤×⑥
		現況	計画	効果発生面積 ①		事業 なかりせば 単収	事業 ありせば 単収	増収率	効果算定 対象 単収 ②					
主食用米	新設	ha 2,323	ha 2,228	ha 2,436	単収増 (水害防止)	kg/10a 553	kg/10a 584	% －	kg/10a 31	t 755.2	千円/t －	千円 －	% －	千円 －
		<216>	<208>		小 計	－	－	－	－	755.2	205	154,816	89	137,786
				△ 95	作付減	－	－	－	553	△ 525.4	－	－	－	－
					小 計	－	－	－	－	△ 525.4	205	△ 107,707	－	－
	更新	2,323	2,323	2,539	単収増 (水害防止)	483	553	－	70	1,777.3	－	－	－	－
		<216>	<216>	2,539	単収増 (水管理改良)	542	553	2	11	279.3	－	－	－	－
				1,330	単収増 (乾田化Ⅰ)	522	553	6	31	412.3	－	－	－	－
				432	単収増 (乾田化Ⅱ)	537	553	3	16	69.1	－	－	－	－
					小 計	－	－	－	－	2,538.0	205	520,290	89	463,058
					主食用米計	－	－	－	－	2,767.8	－	567,399	－	600,844
飼料用米	新設	498	451	493	単収増 (水害防止)	553	584	－	31	152.8	－	－	－	－
		<48>	<42>		小 計	－	－	－	－	152.8	18	2,750	28	770
				△ 47	作付減	－	－	－	553	△ 259.9	－	－	－	－
					小 計	－	－	－	－	△ 259.9	18	△ 4,678	－	－
	更新	498	498	546	単収増 (水害防止)	483	553	－	70	382.2	－	－	－	－
		<48>	<48>	546	単収増 (水管理改良)	542	553	2	11	60.1	－	－	－	－
				283	単収増 (乾田化Ⅰ)	522	553	6	31	87.7	－	－	－	－
				92	単収増 (乾田化Ⅱ)	537	553	3	16	14.7	－	－	－	－
					小 計	－	－	－	－	544.7	18	9,805	28	2,745
					飼料用米計	－	－	－	－	437.6	－	7,877	－	3,515

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。
増収率は、「新たな土地改良の効果算定マニュアル」、近傍地区における試験研究結果、統計データ等を基に整理した。
水害防止の単収については、湛水シミュレーションに基づき整理した。

吉田川流域地区の事業の効用に関する詳細
2 (1) 作物生産効果－2

作物名	新設・更新	作付面積			効果要因	単 収				生産 増減量 ③= ①×② ÷100	生産物 単価 ④	増加粗 収益額 ⑤= ③×④	純 益 率 ⑥	年効果額 ⑦= ⑤×⑥
		現況	計画	効果 発生 面積 ①		事業 なかりせば 単収	事業 ありせば 単収	増収率	効果算定 対象 単収 ②					
そば	新設	ha 79 <7>	ha 102 <9>	ha 23	作付増	kg/10a －	kg/10a －	% －	kg/10a 24	t 5.5	千円/ t －	千円 －	% －	千円 －
					小 計	－	－	－	－	5.5	249	1,370	－	－
					単収増 (田畑輪換)	21	24	15	3	2.6	－	－	－	－
	更新	79 <7>	79 <7>	86	小 計	－	－	－	－	2.6	249	647	84	543
					そば(表)計	－	－	－	－	8.1	－	2,017	－	543
大豆	新設	617 <58>	729 <68>	675	単収増 (水害防止)	160	167	－	7	47.3	－	－	－	－
					小 計	－	－	－	－	47.3	158	7,473	88	6,576
				112	作付増	－	－	－	167	187.0	－	－	－	－
					小 計	－	－	－	－	187.0	158	29,546	－	－
	更新	617 <58>	617 <58>	675	単収増 (水害防止)	147	160	－	13	87.8	－	－	－	－
					単収増 (田畑輪換)	139	160	15	21	141.8	－	－	－	－
					小 計	－	－	－	－	229.6	158	36,277	88	31,924
					大豆計	－	－	－	－	463.9	－	73,296	－	38,500
ねぎ	新設	59 <5>	110 <10>	64	単収増 (水害防止)	1,691	1,788	－	97	62.1	－	－	－	－
					小 計	－	－	－	－	62.1	226	14,035	91	12,772
				51	作付増	－	－	－	1,788	911.9	－	－	－	－
					小 計	－	－	－	－	911.9	226	206,089	16	32,974
	更新	59 <5>	59 <5>	64	単収増 (水害防止)	1,573	1,691	－	118	75.5	－	－	－	－
					単収増 (田畑輪換)	1,470	1,691	15	221	141.4	－	－	－	－
					小 計	－	－	－	－	216.9	226	49,019	91	44,607
					ねぎ計	－	－	－	－	1,190.9	－	269,143	－	90,353

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。
増収率は、「新たな土地改良の効果算定マニュアル」、近傍地区における試験研究結果、統計データ等を基に整理した。
水害防止の単収については、湛水シミュレーションに基づき整理した。

吉田川流域地区の事業の効用に関する詳細
2 (1) 作物生産効果－3

作物名	新設・更新	作付面積			効果要因	単 収				生産 増減量 ③= ①×② ÷100	生産物 単価 ④	増加粗 収益額 ⑤= ③×④	純 益 率 ⑥	年効果額 ⑦= ⑤×⑥
		現況	計画	効果 発生 面積 ①		事業 なかりせば 単収	事業 ありせば 単収	増収率	効果算定 対象 単収 ②					
えだまめ	新設	ha 48 〈4〉	ha 77 〈7〉	ha 52	単収増 (水害防止)	kg/10a 422	kg/10a 443	% －	kg/10a 21	t 10.9	千円/t －	千円 －	% －	千円 －
					小 計	－	－	－	－	10.9	498	5,428	91	4,939
				29	作付増	－	－	－	443	128.5	－	－	－	－
					小 計	－	－	－	－	128.5	498	63,993	17	10,879
	更新	48 〈4〉	48 〈4〉	52	単収増 (水害防止)	393	422	－	29	15.1	－	－	－	－
				52	単収増 (田畑輪換)	367	422	15	55	28.6	－	－	－	－
					小 計	－	－	－	－	43.7	498	21,763	91	19,804
					えだまめ計	－	－	－	－	183.1	－	91,184	－	35,622
イタアライグマ	新設	44 〈4〉	50 〈5〉	6	作付増	－	－	－	2,258	135.5	－	－	－	－
					小 計	－	－	－	－	135.5	21	2,846	10	285
	更新	44 〈4〉	44 〈4〉	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
					小 計	－	－	－	－	－	21	－	17	－
自己保全管理					牧草計	－	－	－	－	135.5	－	2,846	－	285
	新設	79 〈7〉	0 〈0〉	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
					小 計	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	更新	79 〈7〉	79 〈7〉	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
					小 計	－	－	－	－	－	－	－	－	－
					自己保全管理計	－	－	－	－	－	－	－	－	－

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。
増収率は、「新たな土地改良の効果算定マニュアル」、近傍地区における試験研究結果、統計データ等を基に整理した。
水害防止の単収については、湛水シミュレーションに基づき整理した。

吉田川流域地区の事業の効用に関する詳細
2 (1) 作物生産効果－ 4

作物名	新設・更新	作付面積			効果要因	単 収				生産増減量 ③＝ ①×② ÷100	生産物単価 ④	増加粗収益額 ⑤＝ ③×④	純益率 ⑥	年効果額 ⑦＝ ⑤×⑥
		現況	計画	効果発生面積 ①		事業 なかりせば 単収	事業 ありせば 単収	増収率	効果算定 対象 単収 ②					
小麦（裏）	新設	ha 156 <15>	ha 180 <17>	ha 24	作付増	kg/10a －	kg/10a －	% －	kg/10a 408	t 97.9	千円/ t －	千円 －	% －	千円 －
					小 計	－	－	－	－	97.9	42	4,112	－	－
	更新	156 <15>	156 <15>	171	単収増 (田畑輪換)	355	408	15	53	90.6	－	－	－	－
					小 計	－	－	－	－	90.6	42	3,805	84	3,196
					小麦（裏）計	－	－	－	－	188.5	－	7,917	－	3,196
水田計	新設	3,903 <364>	3,927 <366>					－				380,073		206,981
								－						
	更新	3,903 <364>	3,903 <364>					－				641,606		565,877
								－						
そば	新設	4 <10>	4 <10>	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
					小 計	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	更新	4 <10>	4 <10>	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
					小 計	－	－	－	－	－	－	－	－	－
					そば計	－	－	－	－	－	－	－	－	－
大豆	新設	12 <36>	12 <36>	48	単収増 (水害防止)	160	160	－	0	－	－	－	－	－
					小 計	－	－	－	－	－	158	0	88	0
	更新	12 <36>	12 <36>	48	単収増 (水害防止)	157	160	－	3	1.4	－	－	－	－
					小 計	－	－	－	－	1.4	158	221	88	194
					大豆計	－	－	－	－	1.4	－	221	－	194
ねぎ	新設	30 <87>	30 <87>	117	単収増 (水害防止)	1,691	1,693	－	2	2.3	－	－	－	－
					小 計	－	－	－	－	2.3	226	520	91	473
	更新	30 <87>	30 <87>	117	単収増 (水害防止)	1,669	1,691	－	22	25.7	－	－	－	－
					小 計	－	－	－	－	25.7	226	5,808	91	5,285
					ねぎ計	－	－	－	－	28.0	－	6,328	－	5,758

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。
増収率は、「新たな土地改良の効果算定マニュアル」、近傍地区における試験研究結果、統計データ等を基に整理した。
水害防止の単収については、湛水シミュレーションに基づき整理した。

吉田川流域地区の事業の効用に関する詳細
2 (1) 作物生産効果－5

作物名	新設・更新	作付面積			効果要因	単 収				生産 増減量 ③= ①×② ÷100	生産物 単価 ④	増加粗 収益額 ⑤= ③×④	純 益 率 ⑥	年効果額 ⑦= ⑤×⑥
		現況	計画	効果 発生 面積 ①		事業 なかりせば 単収	事業 ありせば 単収	増収率	効果算定 対象 単収 ②					
えだまめ	新設	ha 26 <76>	ha 26 <76>	ha 102	単収増 (水害防止)	kg/10a 422	kg/10a 423	% -	kg/10a 1	t 1.0	千円/ t -	千円 -	% -	千円 -
					小 計	-	-	-	-	1.0	498	498	91	453
	更新	26 <76>	26 <76>	102	単収増 (水害防止)	416	422	-	6	6.1	-	-	-	-
					小 計	-	-	-	-	6.1	498	3,038	91	2,765
					えだまめ計	-	-	-	-	7.1	-	3,536	-	3,218
普通畑計	新設	72 <209>	72 <209>									1,018		926
	更新	72 <209>	72 <209>									9,067		8,244
新設		3,975 <573>	3,999 <575>									381,091		207,907
更新		3,975 <573>	3,975 <573>									650,673		574,121
合計												1,031,764		782,028

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。
増収率は、「新たな土地改良の効果算定マニュアル」、近傍地区における試験研究結果、統計データ等を基に整理した。
水害防止の単収については、湛水シミュレーションに基づき整理した。

吉田川流域地区の事業の効用に関する詳細
2 (2) 営農経費節減効果－1

作物名	ha当たり営農経費				ha当たり 経費 ⑤= (①-②) + (③-④)	効果発生 面積 ⑥	年効果額 ⑦=⑤×⑥
	新設		更新				
	現況営農経費 ①	事業ありせば (計画) 営農経費 ②	事業なかりせば 営農経費 ③	事業ありせば (現況) 営農経費 ④			
主食用米 (排水改良)	円 —	円 —	円 679,593	円 685,521	円 △ 5,928	ha 2,539	千円 △ 15,051
飼料用米 (排水改良)	—	—	679,593	685,521	△ 5,928	546	△ 3,237
主食用米 (乾田→湿田)	—	—	895,622	685,521	210,101	1,330	279,434
飼料用米 (乾田→湿田)	—	—	895,622	685,521	210,101	283	59,459
そば (乾田→湿田)	—	—	305,047	259,430	45,617	45	2,053
大豆 (乾田→湿田)	—	—	518,605	396,573	122,032	354	43,199
ねぎ (乾田→湿田)	—	—	4,715,002	3,796,721	918,281	34	31,222
えだまめ (乾田→湿田)	—	—	1,585,761	1,251,814	333,947	28	9,351
イタリアライグラス (乾田→湿田)	—	—	469,448	323,245	146,203	26	3,801

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

吉田川流域地区の事業の効用に関する詳細
2 (2) 営農経費節減効果－2

作物名	ha当たり営農経費				ha当たり 経費 ⑤= (①-②) + (③-④)	効果発生 面積 ⑥	年効果額 ⑦=⑤×⑥
	新設		更新				
	現況営農経費 ①	事業ありせば (計画) 営農経費 ②	事業なかりせば 営農経費 ③	事業ありせば (現況) 営農経費 ④			
主食用米 (乾田→半湿田)	円 —	円 —	円 773,917	円 685,521	円 88,396	ha 432	千円 38,187
飼料用米 (乾田→半湿田)	—	—	773,917	685,521	88,396	92	8,132
そば (乾田→半湿田)	—	—	277,653	259,430	18,223	15	273
大豆 (乾田→半湿田)	—	—	441,674	396,573	45,101	115	5,187
ねぎ (乾田→半湿田)	—	—	4,176,257	3,796,721	379,536	11	4,175
えだまめ (乾田→半湿田)	—	—	1,392,045	1,251,814	140,231	9	1,262
イタリアンライグラス (乾田→半湿田)	—	—	387,999	323,245	64,754	8	518
水田計							467,965
新設							—
更新							467,965
合計							467,965

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

■効果要因は以下のとおり。

【水田】

- ・主食用米、飼料用米（排水改良：排水施設の機能が喪失した場合を想定し、排水管理にかかる経費の減少。
乾田→湿田、乾田→半湿田：ほ場の乾田化効果の喪失により農業機械の作業効率が低下し、経費が増加。）
- ・その他の作物（乾田→湿田、乾田→半湿田：ほ場の乾田化効果の喪失により農業機械の作業効率が低下し、経費が増加。）

令和9年度新規採択チェックリスト

(4) 国営総合農地防災事業

3 特定監視項目

(局名：東北農政局) (地区名：吉田川流域地区)

1 地質状況
・地質状況に基づいた施設計画としている。
新設・更新する排水機場及び排水樋管の基礎形式は、既設構造物の地質状況及び地質調査結果から、確認できた岩盤を支持層として、直接基礎及び杭基礎による施設計画としている。

稲舟地区の事業の効用に関する説明資料

1 総費用総便益比の算定

(1) 総費用総便益比の総括

(単位：千円)

区 分	算定式	数 値
総費用（現在価値化）	①＝②＋③	6,414,990
当該事業による費用	②	4,294,201
関連事業による費用、資産価額、再整備費	③	2,120,789
評価期間（当該事業の工事期間＋50年）	④	53年
社会的割引率		4%
総便益額（現在価値化）	⑤	16,882,485
総費用総便益比	⑥＝⑤÷①	2.63
感度分析結果	総費用（＋10％～△10％）	2.46～2.82
	総便益（△10％～＋10％）	2.36～2.89

(2) 総費用の総括

(単位：千円)

区分	資産価額 （事業着工 時点） ①	当該事業に よる費用 ②	関連事業に よる費用 ③	再整備費 ④	資産価額 （評価期間 終了時点） ⑤	総費用 ⑥＝①＋②＋ ③＋④－⑤
国営施設 （当該事業）	－	4,294,201	－	607,918	560,676	4,341,443
その他	1,816,547	－	－	485,221	228,221	2,073,547
合 計	1,816,547	4,294,201	－	1,093,139	788,897	6,414,990

※各造成施設の詳細については「稲舟地区の事業の効用に関する詳細」を参照

(3) 年総効果額、総便益額の総括

(単位：千円)

効果項目	区 分	年総効果 （便益）額	総便益額	効果の要因
直接的な被害軽減効果				
農業資産被害軽減効果		33,324	726,704	地すべり対策を実施した場合と実施しなかった場合での農業資産（農用地、農業用施設等）の被害を軽減する効果
農作物の被害軽減効果		490	10,718	地すべり対策を実施した場合と実施しなかった場合での農作物の被害を軽減する効果
一般資産被害軽減効果		161,929	3,473,484	地すべり対策を実施した場合と実施しなかった場合での一般資産（家屋等）の被害を軽減する効果
公共施設等被害軽減効果		608,442	12,671,579	地すべり対策を実施した場合と実施しなかった場合での道路・公共施設等の被害を軽減する効果
合 計		804,185	16,882,485	

※総便益の算定の詳細については「稲舟地区の事業の効用に関する詳細」を参照

2 年効果額の算定方法

(1) 農業資産被害軽減効果

○効果の考え方

事業を実施した場合（事業ありせば）と実施しなかった場合（事業なかりせば）による地すべり防止区域及び区域外被害想定地域（直接被害区域）の農業資産の被害額を比較して算定した。

なお、本効果は、評価期間（工期+50年）において、1回発生する地すべりによる被害を想定し、当該被害額に評価期間に対応した還元率を乗じて年効果額を算定した。

○対象施設等

農用地、水路、農道

○年効果額算定式

【農地】

年効果額 = (事業なかりせば被害面積 - 事業ありせば被害面積) × 単価（資産評価額）× 還元率

【農業用施設】

年効果額 = (事業なかりせば被害数量 - 事業ありせば被害数量) × 単価（資産評価額）× 還元率

○年効果額の算定

(単位：千円)

区 分	事業なかりせば被害額 ①	事業ありせば被害額 ②	還元率 ③	年効果額 ④ = (① - ②) × ③
新設整備	25,842	0	0.0457	1,181
更新整備	703,348	0	0.0457	32,143
合 計				33,324

- ・事業なかりせば被害額（①）：地すべり防止区域及び区域外被害想定地域（直接被害区域）に存在している農地及び水路・農道等を基に単価（復旧費用）を算定した。
- ・事業ありせば被害額（②）：地すべり対策の実施により、被害は0とした。
- ・還元率（③）：施設が有している総効果額を評価期間における年効果額に換算するための係数。

(2) 農作物の被害軽減効果

○効果の考え方

事業を実施した場合（事業ありせば）と実施しなかった場合（事業なかりせば）による地すべり防止区域及び区域外被害想定地域（直接被害区域）の農作物の被害額を比較して算定した。

なお、本効果は、評価期間（工期+50年）において、1回発生する地すべりによる被害を想定し、当該被害額に評価期間に対応した還元率を乗じて年効果額を算定した。

○対象作物

水稻

○年効果額算定式

年効果額 = (事業なかりせば被害数量 - 事業ありせば被害数量) × 農作物価格 × 還元率

○年効果額の算定

(単位：千円)

区 分	事業なかりせば被害額 ①	事業ありせば被害額 ②	還元率 ③	年効果額 ④ = (①-②) × ③
新設整備	—	—	—	—
更新整備	10,728	0	0.0457	490
合 計				490

- ・事業なかりせば被害額 (①) : 地すべり防止区域及び区域外被害想定地域 (直接被害区域) に存在している農地において生産される農作物の被害額を算定した。
- ・事業ありせば被害額 (②) : 地すべり対策の実施により、被害は0とした。
- ・還元率 (③) : 施設が有している総効果額を評価期間における年効果額に換算するための係数。

(3) 一般資産被害軽減効果

○効果の考え方

事業を実施した場合 (事業ありせば) と実施しなかった場合 (事業なかりせば) の移動土塊による地すべり防止区域及び区域外被害想定地域 (直接被害区域) の一般資産 (家屋等) の被害額を比較して算定した。

なお、本効果は、評価期間 (工期+50 年) において、1 回発生する地すべりによる被害を想定し、当該被害額に評価期間に対応した還元率を乗じて年効果額を算定した。

○対象資産

家屋、家庭用品、事業所償却・在庫資産、農漁家償却・在庫資産、納屋

○年効果額算定式

年効果額 = (事業なかりせば被害数量 - 事業ありせば被害数量) × 単価 (資産評価額) × 還元率

○年効果額の算定

(単位：千円)

区 分	事業なかりせば被害額 ①	事業ありせば被害額 ②	還元率 ③	年効果額 ④ = (①-②) × ③
新設整備	810,066	0	0.0457	37,020
更新整備	2,733,239	0	0.0457	124,909
合 計				161,929

- ・事業なかりせば被害額 (①) : 地すべり防止区域及び区域外被害想定地域 (直接被害区域) に存在している一般資産を基に単価 (資産評価額) を算定した。
- ・事業ありせば被害額 (②) : 地すべり対策の実施により、被害は0とした。
- ・還元率 (③) : 施設が有している総効果額を評価期間における年効果額に換算するための係数。

(4) 公共施設等被害軽減効果

○効果の考え方

事業を実施した場合（事業ありせば）と実施しなかった場合（事業なかりせば）の移動土塊による地すべり防止区域及び区域外被害想定地域（直接被害区域）の公共施設等の被害額を比較して算定した。

なお、本効果は、評価期間（工期＋50 年）において、1 回発生する地すべりによる被害を想定し、当該被害額に評価期間に対応した還元率を乗じて年効果額を算定した。

○対象施設

国道、市道、野球場、体育館、神社、催事場

○年効果額算定式

年効果額 ＝（事業なかりせば被害数量－事業ありせば被害数量）×単価（資産評価額）×還元率

○年効果額の算定

（単位：千円）

区 分	事業なかりせば被害額 ①	事業ありせば被害額 ②	還元率 ③	年効果額 ④＝（①－②）×③
新設整備	7,547,790	0	0.0457	344,934
更新整備	5,766,039	0	0.0457	263,508
合 計				608,442

- ・事業なかりせば被害額（①）：地すべり防止区域及び区域外被害想定地域（直接被害区域）に存在している公共施設を基に単価（資産評価額）を算定した。
- ・事業ありせば被害額（②）：地すべり対策の実施により、被害は0とした。
- ・還元率（③）：施設が有している総効果額を評価期間における年効果額に換算するための係数。

3 評価に使用した資料

【共通】

- ・農林水産省農村振興局整備部防災課「地すべり対策事業の費用対効果分析に当たってのマニュアル（案）」（令和2年4月）
- ・農林水産省農村振興局整備部（監修）〔改訂版〕「新たな土地改良の効果算定マニュアル」大成出版社（平成27年9月5日第2版第1刷）
- ・土地改良事業の費用対効果分析マニュアルの制定について（平成19年3月28日付け18農振第1597号農林水産省農村振興局企画部長通知（最終改正：令和7年4月2日））
- ・土地改良事業の費用対効果分析に必要な諸係数について（平成19年3月28日付け18農振第1598号農林水産省農村振興局企画部長通知（令和8年3月31日一部改正））
- ・土地改良事業の費用対効果分析に必要な諸係数等について（令和8年3月31日付け農林水産省農村振興局整備部土地改良企画課課長補佐（事業効果班）事務連絡）

【費用】

- ・当該事業費に係る一般に公表されていない諸元については、北陸農政局防災課調べ

【便益】

- ・総務省住宅・土地統計調査（令和5年）
- ・国土交通省水管理・国土保全局河川計画課「治水経済調査マニュアル（案）令和7年7月

- ・国土交通省水管理・国土保全局河川計画課「治水経済調査マニュアル（案）各種資産評価単価及びデフレーター（令和7年6月改正）」
- ・国土交通省建築着工統計調査（令和6年）
- ・国土交通省水管理・国土保全局砂防部「地すべり対策事業の費用便益分析マニュアル（案）（令和8年2月）」
- ・農林水産省大臣官房統計部「作物統計」（令和2年～令和6年）
- ・効果算定に必要な各種諸元については、北陸農政局防災課調べ

稲舟地区の事業の効用に関する詳細

1 (2) 総費用の総括

(単位：千円)

区 分		施 設 名 (又は工種)	資産価額 (事業着工時点) ①	当該事業による 費用 ②	関連事業による 費用 ③	再整備費 ④	資産価額 (評価期間終了時点) ⑤	総費用 ⑥=①+②+③ +④-⑤
国 営 造 成 施 設	直轄地すべり対策事業 「稲舟地区」	水抜きボーリング工	-	318,705	-	42,895	42,895	318,705
		集水井工	-	296,957	-	37,671	37,671	296,957
		アンカー工	-	2,263,349	-	296,976	296,976	2,263,349
		法面工	-	991,077	-	125,723	125,723	991,077
		付帯工 (押え盛土工、擁壁工等)	-	424,113	-	57,411	57,411	424,113
		小 計	-	4,294,201	-	560,676	560,676	4,294,201
	維持管理費	維持管理費	-	-	-	47,242	-	47,242
		小 計	-	-	-	47,242	-	47,242
	計		-	4,294,201	-	607,918	560,676	4,341,443
そ の 他	県営地すべり対策事業 「稲舟地区」	水抜きボーリング工	0	-	-	75,051	9,258	65,793
		集水井工	0	-	-	40,149	4,953	35,196
		付帯工 (押え盛土工、擁壁工等)	0	-	-	133,652	16,487	117,165
		小 計	0	-	-	248,852	30,698	218,154
	県営地すべり対策事業 「輪島東部地区」	水抜きボーリング工	7,100	-	-	-	-	7,100
		集水井工	194,249	-	-	-	-	194,249
		小 計	201,349	-	-	-	-	201,349
	特定災害復旧事業 「稲舟地区」	水抜きボーリング工	143,299	-	-	20,970	17,524	146,745
		集水井工	325,744	-	-	47,670	39,835	333,579
		アンカー工	1,068,792	-	-	156,408	130,703	1,094,497
		付帯工 (押え盛土工、擁壁工等)	77,363	-	-	11,321	9,461	79,223
		小 計	1,615,198	-	-	236,369	197,523	1,654,044
	計		1,816,547	-	-	485,221	228,221	2,073,547
	合 計		1,816,547	4,294,201	-	1,093,139	788,897	6,414,990

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

稲舟地区の事業の効用に関する詳細
1 (3) 総便益額算出表－1

評価 期間	年 度	割引 率(1 +割 引率) ^t ①	経過 年 (t)	農業資産被害軽減効果							農作物の被害軽減効果							一般資産被害軽減効果						
				更新分に 係る効果	新設及び機能向上分 に係る効果				計		更新分に 係る効果	新設及び機能向上分 に係る効果				計		更新分に 係る効果	新設及び機能向上分 に係る効果				計	
				年効果額 (千円)	年効果額 (千円)	効果発 生割合 (%)	年発生 効果額 (千円)	年効果額 (千円)	同 左 割引後 (千円)	⑦=⑥/①	年効果額 (千円)	年効果額 (千円)	効果発 生割合 (%)	年発生 効果額 (千円)	年効果額 (千円)	同 左 割引後 (千円)	⑦=⑥/①	年効果額 (千円)	年効果額 (千円)	効果発 生割合 (%)	年発生 効果額 (千円)	年効果額 (千円)	同 左 割引後 (千円)	⑦=⑥/①
				②	③	④	⑤=③×④	⑥=②+⑤	⑦=⑥/①	②	③	④	⑤=③×④	⑥=②+⑤	⑦=⑥/①	②	③	④	⑤=③×④	⑥=②+⑤	⑦=⑥/①			
	R8	1.0000	0																					
1	R9	1.0400	1	32,143	1,181	0.0	0	32,143	30,907	490	—	—	—	490	471	124,909	37,020	0.0	0	124,909	120,105			
2	R10	1.0816	2	32,143	1,181	33.6	397	32,540	30,085	490	—	—	—	490	453	124,909	37,020	33.6	12,439	137,348	126,986			
3	R11	1.1249	3	32,143	1,181	69.6	822	32,965	29,305	490	—	—	—	490	436	124,909	37,020	69.6	25,766	150,675	133,945			
4	R12	1.1699	4	32,143	1,181	100.0	1,181	33,324	28,484	490	—	—	—	490	419	124,909	37,020	100.0	37,020	161,929	138,413			
5	R13	1.2167	5	32,143	1,181	100.0	1,181	33,324	27,389	490	—	—	—	490	403	124,909	37,020	100.0	37,020	161,929	133,089			
6	R14	1.2653	6	32,143	1,181	100.0	1,181	33,324	26,337	490	—	—	—	490	387	124,909	37,020	100.0	37,020	161,929	127,977			
7	R15	1.3159	7	32,143	1,181	100.0	1,181	33,324	25,324	490	—	—	—	490	372	124,909	37,020	100.0	37,020	161,929	123,056			
8	R16	1.3686	8	32,143	1,181	100.0	1,181	33,324	24,349	490	—	—	—	490	358	124,909	37,020	100.0	37,020	161,929	118,317			
9	R17	1.4233	9	32,143	1,181	100.0	1,181	33,324	23,413	490	—	—	—	490	344	124,909	37,020	100.0	37,020	161,929	113,770			
10	R18	1.4802	10	32,143	1,181	100.0	1,181	33,324	22,513	490	—	—	—	490	331	124,909	37,020	100.0	37,020	161,929	109,397			
11	R19	1.5395	11	32,143	1,181	100.0	1,181	33,324	21,646	490	—	—	—	490	318	124,909	37,020	100.0	37,020	161,929	105,183			
12	R20	1.6010	12	32,143	1,181	100.0	1,181	33,324	20,814	490	—	—	—	490	306	124,909	37,020	100.0	37,020	161,929	101,142			
13	R21	1.6651	13	32,143	1,181	100.0	1,181	33,324	20,013	490	—	—	—	490	294	124,909	37,020	100.0	37,020	161,929	97,249			
14	R22	1.7317	14	32,143	1,181	100.0	1,181	33,324	19,244	490	—	—	—	490	283	124,909	37,020	100.0	37,020	161,929	93,509			
15	R23	1.8009	15	32,143	1,181	100.0	1,181	33,324	18,504	490	—	—	—	490	272	124,909	37,020	100.0	37,020	161,929	89,916			
16	R24	1.8730	16	32,143	1,181	100.0	1,181	33,324	17,792	490	—	—	—	490	262	124,909	37,020	100.0	37,020	161,929	86,454			
17	R25	1.9479	17	32,143	1,181	100.0	1,181	33,324	17,108	490	—	—	—	490	252	124,909	37,020	100.0	37,020	161,929	83,130			
18	R26	2.0258	18	32,143	1,181	100.0	1,181	33,324	16,450	490	—	—	—	490	242	124,909	37,020	100.0	37,020	161,929	79,933			
19	R27	2.1068	19	32,143	1,181	100.0	1,181	33,324	15,817	490	—	—	—	490	233	124,909	37,020	100.0	37,020	161,929	76,860			
20	R28	2.1911	20	32,143	1,181	100.0	1,181	33,324	15,209	490	—	—	—	490	224	124,909	37,020	100.0	37,020	161,929	73,903			
21	R29	2.2788	21	32,143	1,181	100.0	1,181	33,324	14,623	490	—	—	—	490	215	124,909	37,020	100.0	37,020	161,929	71,059			
22	R30	2.3699	22	32,143	1,181	100.0	1,181	33,324	14,061	490	—	—	—	490	207	124,909	37,020	100.0	37,020	161,929	68,327			
23	R31	2.4647	23	32,143	1,181	100.0	1,181	33,324	13,521	490	—	—	—	490	199	124,909	37,020	100.0	37,020	161,929	65,699			
24	R32	2.5633	24	32,143	1,181	100.0	1,181	33,324	13,000	490	—	—	—	490	191	124,909	37,020	100.0	37,020	161,929	63,172			
25	R33	2.6658	25	32,143	1,181	100.0	1,181	33,324	12,501	490	—	—	—	490	184	124,909	37,020	100.0	37,020	161,929	60,743			
26	R34	2.7725	26	32,143	1,181	100.0	1,181	33,324	12,019	490	—	—	—	490	177	124,909	37,020	100.0	37,020	161,929	58,405			
27	R35	2.8834	27	32,143	1,181	100.0	1,181	33,324	11,557	490	—	—	—	490	170	124,909	37,020	100.0	37,020	161,929	56,159			
28	R36	2.9987	28	32,143	1,181	100.0	1,181	33,324	11,113	490	—	—	—	490	163	124,909	37,020	100.0	37,020	161,929	54,000			
29	R37	3.1187	29	32,143	1,181	100.0	1,181	33,324	10,685	490	—	—	—	490	157	124,909	37,020	100.0	37,020	161,929	51,922			
30	R38	3.2434	30	32,143	1,181	100.0	1,181	33,324	10,274	490	—	—	—	490	151	124,909	37,020	100.0	37,020	161,929	49,926			
31	R39	3.3731	31	32,143	1,181	100.0	1,181	33,324	9,879	490	—	—	—	490	145	124,909	37,020	100.0	37,020	161,929	48,006			
32	R40	3.5081	32	32,143	1,181	100.0	1,181	33,324	9,499	490	—	—	—	490	140	124,909	37,020	100.0	37,020	161,929	46,159			
33	R41	3.6484	33	32,143	1,181	100.0	1,181	33,324	9,134	490	—	—	—	490	134	124,909	37,020	100.0	37,020	161,929	44,384			
34	R42	3.7943	34	32,143	1,181	100.0	1,181	33,324	8,783	490	—	—	—	490	129	124,909	37,020	100.0	37,020	161,929	42,677			
35	R43	3.9461	35	32,143	1,181	100.0	1,181	33,324	8,445	490	—	—	—	490	124	124,909	37,020	100.0	37,020	161,929	41,035			
36	R44	4.1039	36	32,143	1,181	100.0	1,181	33,324	8,120	490	—	—	—	490	119	124,909	37,020	100.0	37,020	161,929	39,457			
37	R45	4.2681	37	32,143	1,181	100.0	1,181	33,324	7,808	490	—	—	—	490	115	124,909	37,020	100.0	37,020	161,929	37,939			
38	R46	4.4388	38	32,143	1,181	100.0	1,181	33,324	7,507	490	—	—	—	490	110	124,909	37,020	100.0	37,020	161,929	36,480			
39	R47	4.6164	39	32,143	1,181	100.0	1,181	33,324	7,219	490	—	—	—	490	106	124,909	37,020	100.0	37,020	161,929	35,077			
40	R48	4.8010	40	32,143	1,181	100.0	1,181	33,324	6,941	490	—	—	—	490	102	124,909	37,020	100.0	37,020	161,929	33,728			
41	R49	4.9931	41	32,143	1,181	100.0	1,181	33,324	6,674	490	—	—	—	490	98	124,909	37,020	100.0	37,020	161,929	32,431			
42	R50	5.1928	42	32,143	1,181	100.0	1,181	33,324	6,417	490	—	—	—	490	94	124,909	37,020	100.0	37,020	161,929	31,183			
43	R51	5.4005	43	32,143	1,181	100.0	1,181	33,324	6,171	490	—	—	—	490	91	124,909	37,020	100.0	37,020	161,929	29,984			
44	R52	5.6165	44	32,143	1,181	100.0	1,181	33,324	5,933	490	—	—	—	490	87	124,909								

稲舟地区の事業の効用に関する詳細

1 (3) 総便益額算出表-2

評価 期間	年度	割引率 (1+割引率) ^t ①	経過年 (t)	公共施設等被害軽減効果						割引後 効果額 合計 (千円)	備考
				更新分に 係る効果 年効果額 (千円) ②	新設及び機能向上分 に係る効果			計			
					年効果額 (千円) ③	効果発生 割合 (%) ④	年発生 効果額 (千円) ⑤=③×④	年効果額 (千円) ⑥=②+⑤	同 左 割引後 (千円) ⑦=⑥/①		
	R8	1.0000	0								評価年
1	R9	1.0400	1	263,508	344,934	0.0	0	263,508	253,373	404,856	
2	R10	1.0816	2	263,508	344,934	33.6	115,898	379,406	350,782	508,306	
3	R11	1.1249	3	263,508	344,934	69.6	240,074	503,582	447,668	611,354	
4	R12	1.1699	4	263,508	344,934	100.0	344,934	608,442	520,080	687,396	
5	R13	1.2167	5	263,508	344,934	100.0	344,934	608,442	500,076	660,957	
6	R14	1.2653	6	263,508	344,934	100.0	344,934	608,442	480,868	635,569	
7	R15	1.3159	7	263,508	344,934	100.0	344,934	608,442	462,377	611,129	
8	R16	1.3686	8	263,508	344,934	100.0	344,934	608,442	444,573	587,597	
9	R17	1.4233	9	263,508	344,934	100.0	344,934	608,442	427,487	565,014	
10	R18	1.4802	10	263,508	344,934	100.0	344,934	608,442	411,054	543,295	
11	R19	1.5395	11	263,508	344,934	100.0	344,934	608,442	395,221	522,368	
12	R20	1.6010	12	263,508	344,934	100.0	344,934	608,442	380,039	502,301	
13	R21	1.6651	13	263,508	344,934	100.0	344,934	608,442	365,409	482,965	
14	R22	1.7317	14	263,508	344,934	100.0	344,934	608,442	351,355	464,391	
15	R23	1.8009	15	263,508	344,934	100.0	344,934	608,442	337,854	446,546	
16	R24	1.8730	16	263,508	344,934	100.0	344,934	608,442	324,849	429,357	
17	R25	1.9479	17	263,508	344,934	100.0	344,934	608,442	312,358	412,848	
18	R26	2.0258	18	263,508	344,934	100.0	344,934	608,442	300,347	396,972	
19	R27	2.1068	19	263,508	344,934	100.0	344,934	608,442	288,799	381,709	
20	R28	2.1911	20	263,508	344,934	100.0	344,934	608,442	277,688	367,024	
21	R29	2.2788	21	263,508	344,934	100.0	344,934	608,442	267,001	352,898	
22	R30	2.3699	22	263,508	344,934	100.0	344,934	608,442	256,737	339,332	
23	R31	2.4647	23	263,508	344,934	100.0	344,934	608,442	246,862	326,281	
24	R32	2.5633	24	263,508	344,934	100.0	344,934	608,442	237,367	313,730	
25	R33	2.6658	25	263,508	344,934	100.0	344,934	608,442	228,240	301,668	
26	R34	2.7725	26	263,508	344,934	100.0	344,934	608,442	219,456	290,057	
27	R35	2.8834	27	263,508	344,934	100.0	344,934	608,442	211,015	278,901	各効果における「同左割引後」の合計
28	R36	2.9987	28	263,508	344,934	100.0	344,934	608,442	202,902	268,178	
29	R37	3.1187	29	263,508	344,934	100.0	344,934	608,442	195,095	257,859	
30	R38	3.2434	30	263,508	344,934	100.0	344,934	608,442	187,594	247,945	
31	R39	3.3731	31	263,508	344,934	100.0	344,934	608,442	180,381	238,411	
32	R40	3.5081	32	263,508	344,934	100.0	344,934	608,442	173,439	229,237	
33	R41	3.6484	33	263,508	344,934	100.0	344,934	608,442	166,770	220,422	
34	R42	3.7943	34	263,508	344,934	100.0	344,934	608,442	160,357	211,946	
35	R43	3.9461	35	263,508	344,934	100.0	344,934	608,442	154,188	203,792	
36	R44	4.1039	36	263,508	344,934	100.0	344,934	608,442	148,259	195,955	
37	R45	4.2681	37	263,508	344,934	100.0	344,934	608,442	142,556	188,418	
38	R46	4.4388	38	263,508	344,934	100.0	344,934	608,442	137,074	181,171	
39	R47	4.6164	39	263,508	344,934	100.0	344,934	608,442	131,800	174,202	
40	R48	4.8010	40	263,508	344,934	100.0	344,934	608,442	126,732	167,503	
41	R49	4.9931	41	263,508	344,934	100.0	344,934	608,442	121,857	161,060	
42	R50	5.1928	42	263,508	344,934	100.0	344,934	608,442	117,170	154,864	
43	R51	5.4005	43	263,508	344,934	100.0	344,934	608,442	112,664	148,910	
44	R52	5.6165	44	263,508	344,934	100.0	344,934	608,442	108,331	143,182	
45	R53	5.8412	45	263,508	344,934	100.0	344,934	608,442	104,164	137,675	
46	R54	6.0748	46	263,508	344,934	100.0	344,934	608,442	100,158	132,381	
47	R55	6.3178	47	263,508	344,934	100.0	344,934	608,442	96,306	127,290	
48	R56	6.5705	48	263,508	344,934	100.0	344,934	608,442	92,602	122,394	
49	R57	6.8333	49	263,508	344,934	100.0	344,934	608,442	89,041	117,687	
50	R58	7.1067	50	263,508	344,934	100.0	344,934	608,442	85,615	113,158	
51	R59	7.3910	51	263,508	344,934	100.0	344,934	608,442	82,322	108,806	
52	R60	7.6866	52	263,508	344,934	100.0	344,934	608,442	79,156	104,621	
53	R61	7.9941	53	263,508	344,934	100.0	344,934	608,442	76,111	100,597	
合計（総便益額）								12,671,579		16,882,485	

※経過年は評価年からの年数

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

愛知用水地区の事業の効用に関する説明資料

1 総費用総便益比の算定

(1) 総費用総便益比の総括

(単位：千円)

区 分		算定式	数 値		
総費用（現在価値化）		①＝②＋③	224,037,194		
当該事業による費用		②	23,024,735		
関連事業による費用、資産価額、再整備費		③	201,012,459		
評価期間（当該事業の工事期間＋40年）		④	58年		
社会的割引率			4%		
総便益額（現在価値化）		⑤	261,574,876		
総費用総便益比		⑥＝⑤÷①	1.16		
感度分析結果	総費用（＋10％～△10％）		1.14～1.19		
	総便益（△10％～＋10％）		1.07～1.27		
	社会的割引率		4%	2%	1%
			1.16	1.58	1.96

(2) 総費用の総括

(単位：千円)

区分	資産価額 （事業着工 時点） ①	当該事業に よる費用 ②	関連事業に よる費用 ③	再整備費 ④	資産価額 （評価期間 終了時点） ⑤	総費用 ⑥＝①＋②＋ ③＋④－⑤
水資源機構営 造成施設	118,642,646	22,417,244	—	93,674,433	15,122,775	219,611,548
国営造成施設	316,415	285,685	—	186,898	25,364	763,634
県営造成施設	2,458,116	321,806	—	210,531	63,910	2,926,543
団体営造成施設	76,945	—	—	—	5,300	71,645
その他造成施設	663,824	—	—	—	—	663,824
合 計	122,157,946	23,024,735	—	94,071,862	15,217,349	224,037,194

※各造成施設の詳細については「愛知用水地区の事業の効用に関する詳細」を参照

(3) 年総効果額、総便益額の総括

(単位：千円)

効果項目	区 分	年総効果 (便益)額	総便益額	効果の要因
食料の安定供給の確保に関する効果				
作物生産効果		8,641,229	193,595,573	用水施設の整備を実施した場合と実施しなかった場合での作物生産量が増減する効果
品質向上効果		1,372,275	30,779,455	用水施設の整備を実施した場合と実施しなかった場合での生産物の価格が維持、向上する効果
営農経費節減効果		△ 180,091	△4,039,354	用水施設の整備を実施した場合と実施しなかった場合での営農経費が増減する効果
維持管理費節減効果		△ 349,214	△16,860,573	用水施設の整備を実施した場合と実施しなかった場合での施設の維持管理費が増減する効果
多面的機能の発揮に関する効果				
景観・環境保全効果		241,187	5,409,709	用水施設の整備にあたり、周辺の景観へ配慮した設計・構造を合わせもった施設として整備されることで発揮する効果
その他の効果				
災害時の復旧対策費軽減効果		674,305	9,468,969	耐震整備を実施した場合と実施しなかった場合での大規模地震の発生に伴う被害が軽減する効果
洪水調節機能効果（農業用ダム）		600,005	13,457,818	農業用ダムにおいて洪水調節機能の維持・向上のための施設を整備することにより、運用過程において流域全体における一部の洪水流量をカットする機能により、洪水被害が防止又は軽減される効果
国産農産物安定供給効果		1,329,049	29,763,279	用水施設の整備により農業生産性の向上や営農条件等の改善が図られ、国産農産物の安定供給に寄与する効果
合 計		12,328,745	261,574,876	

※総便益の算定の詳細については「愛知用水地区の事業の効用に関する詳細」を参照

2 年効果額の算定方法

(1) 作物生産効果

○効果の考え方

事業を実施した場合（事業ありせば）と実施しなかった場合（事業なかりせば）の作物生産量の比較により年効果額を算定した。

○対象作物

愛知用水地区の事業の効用に関する詳細のとおり

○年効果額算定式

$$\text{年効果額} = \text{単収増加年効果額}^{\ast 1} + \text{作付増減年効果額}^{\ast 2}$$

$$\ast 1 \quad \text{単収増加年効果額} = \text{作付面積} \times (\text{事業ありせば単収} - \text{事業なかりせば単収}) \times \text{単価} \times \text{単収増加の純益率}$$

$$\ast 2 \quad \text{作付増減年効果額} = (\text{事業ありせば作付面積} - \text{事業なかりせば作付面積}) \times \text{単収} \times \text{単価} \times \text{作付増減の純益率}$$

○年効果額の算定

(単位：千円)

区 分	作付面積 (ha)		増加粗収益額	年効果額
	現況	計画		
新設整備	10,996	11,051	124,379	26,585
更新整備	12,218	12,218	9,854,786	8,614,644
合 計			9,979,165	8,641,229

※作物生産効果における作物毎の詳細については「愛知用水地区の事業の効用に関する詳細」を参照

- ・作付面積：各作物の作付面積は以下のとおり

「現況作付面積」・関係市町の作付実績に基づき決定した。

「計画作付面積」・新設整備では、県、関係市町の農業振興計画や関係者の意向を踏まえ決定した。

・更新整備では、現況施設のもとで作物生産量が維持される面積であり、現況＝計画とした。

- ・単収：増加粗収益額の算定に用いる各作物の単収については以下のとおり

「事業なかりせば単収」・新設整備では、現況単収であり、農林水産統計等による最近5か年の平均単収により算定した。

・更新整備では、用水機能の喪失時の単収であり、現況単収に効果要因別の失われる増収率分を減じて算定した。

「事業ありせば単収」・新設整備では作付面積の増減による効果のため現況単収であり、農林水産統計等による最近5か年の平均単収により算定した。

・更新整備では現況単収であり、農林水産統計等による最近5か年の平均単収により算定した。

「効果算定対象単収」・事業ありせば単収と事業なかりせば単収の差である。

- ・生産物単価：農林水産統計等による最近５か年の販売価格に消費者物価指数を反映した価格を用いた。
- ・純益率：「土地改良事業の費用対効果分析に必要な諸係数について」による標準値等を用いた。

(2) 品質向上効果

○効果の考え方

事業を実施した場合（事業ありせば）と実施しなかった場合（事業なかりせば）の生産物価格の比較により年効果額を算定した。

○対象作物

愛知用水地区の事業の効用に関する詳細のとおり

○年効果額算定式

年効果額 ＝ （事業ありせば作物単価－事業なかりせば作物単価） × 効果発生量

○年効果額の算定

（単位：千円）

区分	効果発生要因		年効果額
	単価向上	商品化率向上	
新設整備	—	—	—
更新整備	1,372,275	—	1,372,275
合計	1,372,275	—	1,372,275

※品質向上効果における作物毎の詳細については「愛知用水地区の事業の効用に関する詳細」を参照。

- ・効果対象数量：作物生産効果における作付面積、単収から算定された生産量。
- ・生産物単価：「現況単価」は農林水産統計等による最近5か年の販売価格に消費者物価指数を反映した価格を用いた。なお、本事業による農産物の品質の向上は見込めないことから「現況単価」＝「事業ありせば単価」とした。
「事業なかりせば単価」は、「現況単価」に畑地かんがい導入地区の試験データを用いて算出した畑地かんがい品質向上率を考慮し決定した。

(3) 営農経費節減効果

○効果の考え方

事業を実施した場合(事業ありせば)と実施しなかった場合(事業なかりせば)の労働費、機械経費、その他の生産資材費について比較し、それらの営農経費の増減から年効果額を算定した。

○対象作物

愛知用水地区の事業の効用に関する詳細のとおり

○年効果額算定式

年効果額 = (事業なかりせば単位面積当り営農経費 - 事業ありせば単位面積当り営農経費) × 効果発生面積

○年効果額の算定

(単位: 千円)

区分	事業なかりせば①	事業ありせば②	年効果額 ③=①-②
新設整備	現況営農経費	計画営農経費	—
更新整備	事業なかりせば営農経費	現況営農経費	△ 180, 091
合 計			△ 180, 091

※営農経費節減効果における作物毎の営農経費の詳細については「愛知用水地区の事業の効用に関する詳細」を参照

- ・現況営農経費：地域の現在の営農経費であり、愛知県の農業経営指標等に基づき算定した。
- ・事業なかりせば営農経費：地域の水利施設の機能が失われた場合に想定される水管理作業に係る経費を考慮し算定した。

(4) 維持管理費節減効果

○効果の考え方

事業を実施した場合(事業ありせば)と実施しなかった場合(事業なかりせば)を比較し、施設の維持管理費の増減をもって年効果額を算定した。

○対象施設

総費用に計上した、当該事業（関連事業）及び受益地内で一体的に効用を発揮している全ての土地改良施設等

○年効果額算定式

年効果額 = 事業なかりせば維持管理費 - 事業ありせば維持管理費

○年効果額の算定

(単位：千円)

区分	新設	現況維持管理費①	事業ありせば維持管理費②	年効果額 ③＝①－②
	更新	事業なかりせば維持管理費①	現況維持管理費②	
新設整備		1,451,367	374,947	1,076,420
更新整備		25,733	1,451,367	△1,425,634
合 計				△349,214

- ・事業なかりせば維持管理費：現況施設の維持管理費を基に、施設の機能を失った場合に想定される安全管理等に最低限必要な維持管理費を算定した。
- ・事業ありせば維持管理費：現況施設の維持管理費を基に、本事業の実施により見込まれる維持管理費の増減を考慮し算定した。
- ・現況維持管理費：現況施設の維持管理費に基づき算定した。

(5) 景観・環境保全効果

○効果の考え方

景観や自然環境が保全、創造される効果であり、市場で扱われていない価値であるため、地域住民等にWTP（Willingness To Pay：支払意思額）を尋ねることで、その価値を直接的に評価する手法であるCVM（Contingent Valuation Method：仮想市場法）により効果を算定した。

○対象施設

景観保全施設、環境保全施設

○年効果額算定式

年効果額 = 一戸当たりの支払意思額×受益範囲世帯数 × {C1 / (C1 + C2)}

ただし、

C1：景観・環境保全施設の資本還元額のうち当該土地改良事業分

C2：景観・環境保全施設の資本還元額のうちその他事業分

○年効果額の算定

(単位：千円)

区 分	土地改良 施設名	CVM による 効果額 ①	景観・環境保 全施設の資本 還元額 ②=③+④			当該土地改良事業 における効果額 ⑤=①×(③/②)
			当該土地改良 事業の資本 還元額 ③	その他事業の 資本還元額 ④		
更新整備	東郷調整池 (愛知池)	241,187	39,173	39,173	—	241,187

(6) その他の効果(災害時の復旧対策費軽減効果)

○効果の考え方

事業を実施した場合（事業ありせば）と実施しなかった場合（事業なかりせば）を比較し、大規模地震の発生に伴う被害が防止又は軽減される年効果額を算定した。

○対象資産

農業用施設

○年効果額算定式

年効果額 = 事業なかりせば想定される復旧対策費用の軽減に係る総効果額 × 還元率

○年効果額の算定

(単位：千円)

区分	総効果額 ①	割引率	効果算定期間 (年)	還元率 ②	年効果額 ③=①×②
新設整備	15,118,955	0.04	58	0.0446	674,305

- ・総効果額：復旧対策費に地震発生確率を乗じた割引後の年別効果額の総計値
- ・還元率：総効果額を効果算定期間における年効果額に換算するための係数

(7) その他の効果(洪水調節機能効果(農業用ダム))

○効果の考え方

事業を実施した場合(事業ありせば)と実施しなかった場合(事業なかりせば)を比較し、農業用ダムにおいて洪水調節可能容量が確保されることにより洪水被害が防止又は軽減される年効果額を算定した。

○対象施設

当初事業により整備した農業用ダム(牧尾ダム)

○年効果額算定式

年効果額 = (事業ありせば洪水調節可能容量 - 事業なかりせば洪水調節可能容量)
× 洪水調節単価 × 還元率

○年効果額の算定

(単位：千円)

区分	洪水調節可能容量 (千m ³)			洪水調節 単価 (円/m ³) ③	還元率 ④	年効果額 ⑤ = (① - ②) × ③ × ④
	新設	事業 ありせば①	現況②			
	更新	現況①	事業なかり せば②			
新設整備		—	—	—	—	—
更新整備		9,172	0	1,565	0.0418	600,005
合 計						600,005

- ・ 洪水調節可能容量：農業用ダムのかんがいに係る用途のうちの流域における洪水被害を防止又は軽減するための容量
- ・ 洪水調節単価：近傍治水ダム等の建設費と洪水調節容量により算定
- ・ 還元率：施設が有している総効果額を耐用年数期間における年効果額に換算するための係数

(8) その他の効果(国産農産物安定供給効果)

○効果の考え方

国産農産物の安定供給に対して国民が感じる安心感の効果であるため、一般国民に対してWTP (Willingness To Pay: 支払意思額) を尋ねることで、その価値を直接的に評価する手法であるCVM (Contingent Valuation Method: 仮想市場法) により年効果額を算定した。

○対象作物

作物生産効果算定作物のうち、食料生産に係るもの

○年効果額算定式

$$\begin{aligned} \text{年効果額} &= \text{年増加粗収益額} \times \text{単位食料生産額当たり効果額 (原単位)} \\ &+ \text{年増加供給熱量} \times \text{単位供給熱量当たり効果額 (原単位)} \end{aligned}$$

○年効果額の算定

(単位: 千円)

区 分	増加粗収益額 ①	増加供給熱量 (千 kcal) ②	単位食料生産 額当たり効果 額 (円/千円) ③	単位供給熱量 当たり効果額 (円/千 kcal) ④	当該土地改良 事業における 年効果額 ⑤=①×③+ ②×④
新設整備	124,379	△ 53,902	49	9.9	5,561
更新整備	8,729,629	90,478,359	49	9.9	1,323,488
合 計	8,854,008	90,424,457			1,329,049

増加粗収益額、増加供給熱量: 作物生産効果の算定過程で整理した結果を用いて、事業ありせばと事業なかりせばにおける増加粗収益額及び増加供給熱量を整理した。

単位食料生産額当たり効果額、単位供給熱量当たり効果額: 一般国民に対し国産農産物の安定供給についてWTPを尋ねるCVMにより、年効果額の算定に用いる単位食料生産額当たり効果額(原単位)は49円/千円、単位供給熱量当たり効果額(原単位)は9.9円/千kcalとした。

3 評価に使用した資料

【共通】

- ・農林水産省農村振興局整備部(監修) [改訂版] 「新たな土地改良の効果算定マニュアル」 大成出版社 (平成 27 年 9 月 5 日第 2 版第 1 刷)
- ・土地改良事業の費用対効果分析マニュアルの制定について (平成 19 年 3 月 28 日付け 18 農振第 1597 号農林水産省農村振興局企画部長通知 (最終改正: 令和 7 年 4 月 2 日))
- ・「国産農産物安定供給効果」について (平成 27 年 3 月 27 日付け 26 農振第 2072 号農林水産省農村振興局整備部長通知 (令和 5 年 4 月 3 日一部改正))
- ・土地改良事業の費用対効果分析における参考資料等について (令和 4 年 4 月 11 日付け農林水産省農村振興局整備部関係課関係班連名事務連絡)
- ・土地改良事業の費用対効果分析に必要な諸係数について (平成 19 年 3 月 28 日付け 18 農振第 1598 号農林水産省農村振興局企画部長通知 (令和 8 年 3 月 31 日一部改正))
- ・土地改良事業の費用対効果分析に必要な諸係数等について (令和 8 年 3 月 31 日付け農林水産省農村振興局整備部土地改良企画課課長補佐 (事業効果班) 事務連絡)
- ・土地改良事業の感度分析について (平成 31 年 4 月 1 日付け 30 農振第 3976 号農林水産省農村振興局整備部長通知 (最終改正: 令和 6 年 4 月 1 日))

【費用】

- ・当該事業費に係る一般に公表されていない諸元については、水資源機構愛知用水総合管理所調べ

【便益】

- ・東海農政局統計部 (令和 2 ～令和 6 年) 「第 67～71 次東海農林水産統計年報」 農林水産統計協会
- ・農林水産省大臣官房統計部 (確報: 令和 2 ～令和 6 年度、概数: 令和 7 年) 「農業物価統計」 農林水産省
- ・効果算定に必要な各種諸元については、水資源機構愛知用水総合管理所調べ

愛知用水地区の事業の効用に関する詳細

1 (2) 総費用の総括

(単位：千円)

区分	施設名 (又は工種)	資産価額 (事業着工時 点)	当該事業による 費用	関連事業による 費用	再整備費	資産価額 (評価期間終了 時点)	総費用 ⑥=①+②+③ +④-⑤
		①	②	③	④	⑤	
水 資 源 機 構 営 造 施 設	牧尾ダム	33,562,340	-	-	36,688,050	4,618,534	65,631,856
	松野ダム	2,001,163	-	-	-	348,608	1,652,555
	東郷調整池(愛知池)	4,036,400	-	-	3,576,490	683,639	6,929,251
	三好池	1,334,125	-	-	1,436,315	232,408	2,538,032
	前山池	4,444,688	-	-	-	30,751	4,413,937
	幹線水路(美浜調整池含む)	36,602,033	4,955,489	-	2,822,988	1,579,440	42,801,070
	可児導水路(顔戸頭首工含む)	1,272,890	-	-	1,005,521	39,530	2,238,881
	入鹿支線水路	3,186,112	276,302	-	3,410,874	415,684	6,457,604
	味岡支線水路	190,430	-	-	196,428	68,883	317,975
	篠岡支線水路	590,613	-	-	875,478	70,292	1,395,799
	出川支線水路	35,657	-	-	231,747	15,968	251,436
	東谷山支線水路	28,915	-	-	15,738	6,721	37,932
	東谷山第2支線水路	41,976	-	-	81,182	9,657	113,501
	上志段味支線水路	11,625	-	-	6,366	1,789	16,202
	守山支線水路	446,935	-	-	906,827	98,529	1,255,233
	三郷支線水路	435	-	-	1,732	154	2,013
	瀬戸川支線水路	7,099	-	-	50,948	7,415	50,632
	本地ヶ原支線水路	41,813	-	-	303,733	47,320	298,226
	立石支線水路	80,838	-	-	47,864	7,360	121,342
	井戸ヶ根支線水路	37,244	-	-	16,719	1,385	52,578
	権代支線水路	151,381	-	-	13,347	3,907	160,821
	根の上支線水路	365	-	-	1,948	210	2,103
	長久手支線水路	40,291	-	-	2,757	2,414	40,634
	岩崎川第1支線水路	45,024	-	-	48,451	1,649	91,826
	岩崎川第2支線水路	147,562	-	-	195,368	5,676	337,254
	新池支線水路	637	-	-	1,692	471	1,858
	機織池支線水路	114,012	-	-	73,655	3,710	183,957
	北山支線水路	100,310	-	-	42,233	10,372	132,171
	天白川支線水路	67,800	-	-	12,313	3,492	76,621
	三好支線水路	4,027,212	-	-	4,916,943	616,242	8,327,913
	日東支線水路	1,568,164	1,511,079	-	2,292,103	382,515	4,988,831

愛知用水地区の事業の効用に関する詳細

1 (2) 総費用の総括

(単位：千円)

区分	施設名 (又は工種)	資産価額 (事業着工時 点)	当該事業による 費用	関連事業による 費用	再整備費	資産価額 (評価期間終了 時点)	総費用 ⑥=①+②+③ +④-⑤
		①	②	③	④	⑤	
水資源機構 営造成施設	若王子支線水路	206,149	-	-	115,589	24,635	297,103
	勅使池支線水路	173,335	-	-	97,647	18,767	252,215
	諸ノ木支線水路	1,250,436	-	-	464,357	367,012	1,347,781
	大府支線水路	783,973	1,109,418	-	1,174,494	191,479	2,876,406
	末広支線水路	28,474	-	-	32,691	6,039	55,126
	木根支線水路	9,201	-	-	4,949	1,055	13,095
	上野支線水路	3,436	-	-	372	122	3,686
	名和(準)支線水路	5,273	-	-	3,335	543	8,065
	長草支線水路	153,068	-	-	99,527	21,042	231,553
	荒尾支線水路	52,142	-	-	35,070	18,129	69,083
	上桐ノ木支線水路	13,999	-	-	8,061	1,385	20,675
	平手支線水路	105,057	-	-	131,690	24,665	212,082
	富田・江端支線水路	147,894	-	-	190,244	12,543	325,595
	正官田第1支線水路	913	-	-	6,339	508	6,744
	長峰支線水路	72,721	-	-	82,390	5,452	149,659
	加木屋支線水路	16,858	-	-	43,942	5,910	54,890
	山脇支線水路	933	-	-	1,580	423	2,090
	惣左工門支線水路	47,077	-	-	18,239	3,774	61,542
	米田第2支線水路	304,061	-	-	202,171	38,339	467,893
	太田川第2支線水路	116,125	-	-	99,204	8,617	206,712
	島田支線水路	435	-	-	-	46	389
	東浦支線水路	3,905,396	3,143,068	-	6,168,138	1,171,692	12,044,910
	横須賀支線水路	423,932	-	-	304,880	33,858	694,954
	八幡第1支線水路	52,511	-	-	177,319	9,674	220,156
	七曲支線水路	5,750	-	-	2,333	472	7,611
	八幡第2支線水路	82,269	-	-	122,329	12,420	192,178
	亥新田支線水路	159,987	-	-	75,023	15,801	219,209
	白沢支線水路	224,035	-	-	128,700	19,502	333,233
	加世端支線水路	56,289	-	-	37,993	7,995	86,287
	岡田支線水路	39,419	-	-	961,143	48,233	952,329
	旭支線水路	556,488	-	-	662,907	105,101	1,114,294

愛知用水地区の事業の効用に関する詳細

1 (2) 総費用の総括

(単位：千円)

区分	施設名 (又は工種)	資産価額 (事業着工時点) ①	当該事業による 費用 ②	関連事業による 費用 ③	再整備費 ④	資産価額 (評価期間終了 時点) ⑤	総費用 ⑥=①+②+③ +④-⑤
水資源 機構 营造 施設	住吉支線水路	1,579,183	-	-	1,974,705	222,941	3,330,947
	金沢支線水路	347,626	-	-	442,065	69,037	720,654
	植大支線水路	504,260	-	-	280,915	46,940	738,235
	烏田支線水路	9,406	-	-	11,196	1,109	19,493
	久米支線水路	107,036	-	-	32,715	8,835	130,916
	半田支線水路	1,820,580	-	-	1,568,446	217,771	3,171,255
	小倉支線水路	9,672	-	-	14,724	2,765	21,631
	前山川支線水路	6,522	-	-	336	239	6,619
	金山支線水路	120,416	431,156	-	627,733	75,348	1,103,957
	椎池支線水路	4,375	-	-	4,013	804	7,584
	成岩支線水路	274,741	-	-	655,910	33,230	897,421
	池田支線水路	1,035	-	-	907	184	1,758
	大流支線水路	2,427	-	-	3,596	123	5,900
	樽水支線水路	143,527	-	-	172,361	33,605	282,283
	板山支線水路	361,346	-	-	276,154	44,385	593,115
	西阿野支線水路	270,534	-	-	114,080	16,229	368,385
	三ツ池支線水路	253	-	-	292	49	496
	古場支線水路	185,244	-	-	172,820	25,432	332,632
	菖蒲池支線水路	38,694	-	-	69	2,297	36,466
	鍋山支線水路	326,051	-	-	223,652	48,492	501,211
	小鈴谷・原田支線水路	254,502	-	-	214,968	28,662	440,808
	大脇支線水路	331,785	-	-	149,559	35,088	446,256
	札方支線水路	10,905	-	-	31,077	5,786	36,196
	若松谷支線水路	37,620	-	-	2,000	3,371	36,249
	檜原支線水路	237,233	-	-	1,555,038	235,240	1,557,031
	富貴支線水路	610,939	-	-	410,571	216,143	805,367
	布土支線水路	387,891	-	-	226,526	18,501	595,916
	鵜の池支線水路	26	-	-	185	45	166

愛知用水地区の事業の効用に関する詳細

1 (2) 総費用の総括

(単位：千円)

区分	施設名 (又は工種)	資産価額 (事業着工時点)	当該事業による 費用	関連事業による 費用	再整備費	資産価額 (評価期間終了 時点)	総費用 ⑥=①+②+③ +④-⑤
		①	②	③	④	⑤	
水資源 機構 营造 施設	平井支線水路	154,623	-	-	88,665	19,349	223,939
	吉田支線水路	370,467	-	-	200,890	33,822	537,535
	上野間支線水路	173,512	-	-	32,923	10,309	196,126
	管刈支線水路	25,389	-	-	24,115	4,819	44,685
	中山支線水路	150,906	-	-	147,607	29,566	268,947
	河和支線水路	275,488	-	-	236,485	46,238	465,735
	内扇支線水路	214,109	-	-	317,988	56,682	475,415
	小田支線水路	22,491	-	-	20,705	4,551	38,645
	青山支線水路	1,819	-	-	41,830	636	43,013
	亀ヶ坪支線水路	6,113	-	-	5,709	1,134	10,688
	野間内海支線水路	445,178	-	-	468,065	100,029	813,214
	小坂支線水路	2,315	-	-	465	123	2,657
	西谷支線水路	309,418	-	-	342,411	51,856	599,973
	細田支線水路	1,795	-	-	1,159	251	2,703
	豊丘支線水路	436,905	-	-	558,599	92,641	902,863
	師崎支線水路	1,888,607	18,155	-	1,704,686	204,103	3,407,345
	権代揚水機場	70,318	-	-	154,881	12,051	213,148
	東浦揚水機場	236,998	-	-	863,314	99,492	1,000,820
	白沢揚水機場	98,976	66,846	-	133,202	11,530	287,494
	植大揚水機場	167,316	398,520	-	460,382	48,081	978,137
	半田揚水機場	389,022	-	-	827,667	78,825	1,137,864
	板山揚水機場	151,364	59,684	-	178,221	13,172	376,097
	西阿野・一丁田揚水機場	136,438	76,143	-	172,631	14,397	370,815
	古場揚水機場	22,543	357,374	-	426,968	67,112	739,773
	鍋山揚水機場	275,316	364,230	-	496,317	58,676	1,077,187
	小鈴谷・原田揚水機場	146,691	505,822	-	464,767	64,341	1,052,939
	大脇揚水機場	126,130	339,156	-	338,219	36,971	766,534
	平井揚水機場	164,729	-	-	229,268	16,888	377,109
	上野間(十二谷)揚水機場	83,965	-	-	158,805	11,328	231,442
	河和揚水機場	75,484	-	-	124,963	10,447	190,000

愛知用水地区の事業の効用に関する詳細

1 (2) 総費用の総括

(単位：千円)

区分	施設名 (又は工種)	資産価額 (事業着工時 点)	当該事業による 費用	関連事業による 費用	再整備費	資産価額 (評価期間終了 時点)	総費用 ⑥=①+②+③ +④-⑤
		①	②	③	④	⑤	
水資源 機構 営 造 施 設	野間内海揚水機場	169,488	151,290	-	216,017	26,305	510,490
	西谷(鈴ヶ谷)揚水機場	148,115	159,001	-	232,899	23,274	516,741
	美浜揚水機場	503,064	-	-	794,781	64,446	1,233,399
	三東揚水機場	0	277,760	-	181,708	16,645	442,823
	福谷揚水機場	0	241,474	-	157,975	41,192	358,257
	阿弥陀堂揚水機場	0	229,660	-	150,461	38,907	341,214
	卯坂揚水機場	0	232,614	-	152,181	32,611	352,184
	孫八谷揚水機場	0	320,530	-	209,693	25,393	504,830
	金色揚水機場	0	335,163	-	219,265	26,552	527,876
	伝蔵池揚水機場	0	245,529	-	160,628	45,980	360,177
	布土揚水機場	0	335,142	-	219,254	23,208	531,188
	吉田揚水機場	0	205,518	-	134,457	7,300	332,675
	横須賀揚水機場	0	220,347	-	144,153	11,286	353,214
	樽水揚水機場	0	217,228	-	142,113	40,680	318,661
	中山揚水機場	0	307,393	-	201,101	21,287	487,207
	旭揚水機場	0	216,466	-	141,616	30,348	327,734
	吹込揚水機場	0	202,143	-	132,241	31,314	303,070
	草木揚水機場	0	487,709	-	319,078	21,018	785,769
	金沢揚水機場	0	211,092	-	138,102	29,594	319,600
	亥新田揚水機場	0	173,000	-	113,177	26,800	259,377
	矢高揚水機場	0	248,487	-	162,563	12,727	398,323
	植大揚水機場	0	357,661	-	233,984	18,319	573,326
	支線水路(地上権更新)	-	3,429,595	-	-	425,560	3,004,035
	計	118,642,646	22,417,244	-	93,674,433	15,122,775	219,611,548
国営 造 施 設	国営農地開発 南知多地区	316,415	-	-	-	5,581	310,834
	山海揚水機場	-	285,685	-	186,898	19,783	452,800
	計	316,415	285,685	-	186,898	25,364	763,634

愛知用水地区の事業の効用に関する詳細

1 (2) 総費用の総括

(単位：千円)

区分	施設名 (又は工種)	資産価額 (事業着工時 点)	当該事業による 費用	関連事業による 費用	再整備費	資産価額 (評価期間終了 時点)	総費用 ⑥=①+②+③ +④-⑤
		①	②	③	④	⑤	
県営造成施設	県営かん排 東浦地区	0	-	-	-	-	-
	県営ほ場整備 犬山地区	470	-	-	-	50	420
	県営ほ場整備 楽田地区	13,309	-	-	-	1,423	11,886
	県営ほ場整備 篠岡地区	5,955	-	-	-	637	5,318
	県営ほ場整備 東浦地区	1,176	-	-	-	126	1,050
	県営ほ場整備 板山地区	4,992	-	-	-	534	4,458
	県営ほ場整備 八幡地区	5,614	-	-	-	600	5,014
	県営ほ場整備 大興寺地区	80,234	-	-	-	1,489	78,745
	県営ほ場整備 鬼崎地区	16,214	-	-	-	1,734	14,480
	県営ほ場整備 美浜地区	6,725	-	-	-	719	6,006
	県営ほ場整備 美浜西部地区	5,407	-	-	-	578	4,829
	県営ほ場整備 武豊南部地区	6,331	-	-	-	677	5,654
	県営ほ場整備 美浜北部地区	6,272	-	-	-	671	5,601
	県営ほ場整備 美浜南部地区	25,113	-	-	-	901	24,212
	県営ほ場整備 南知多地区	1,087	-	-	-	116	971
	県営ほ場整備 阿久比中部地区	8,310	-	-	-	134	8,176
	県営ほ場整備 阿久比南部地区	29,296	-	-	-	1,372	27,924
	県営ほ場整備 岡田地区	83,411	-	-	-	787	82,624
	県営ほ場整備 東浦二期地区	0	-	-	-	-	-
	県営土地総 日進北部地区	158,189	-	-	-	194	157,995
	県営土地総 日進東部地区	104,724	-	-	-	-	104,724
	県営土地総 日進西部地区	369	-	-	-	39	330
	県営土地総 大脇北崎地区	3,193	-	-	-	341	2,852
	県営土地総 逢妻地区	2,563	-	-	-	274	2,289
	県営土地総 豊田西部地区	30,514	-	-	-	500	30,014
	〃 豊田西部揚水機場	0	201,402	-	131,758	31,200	301,960
	県営土地総 豊明東部地区	102,750	-	-	-	-	102,750
	県営土地総 豊明中部地区	139,651	-	-	-	-	139,651
	県営畑総 三好南部地区	0	-	-	-	-	-
	県営畑総 三好北部地区	104,328	-	-	-	2,059	102,269
	県営農地開発 武豊北部地区	10,199	-	-	-	1,090	9,109

愛知用水地区の事業の効用に関する詳細

1 (2) 総費用の総括

(単位：千円)

区分	施設名 (又は工種)	資産価額 (事業着工時点) ①	当該事業による 費用 ②	関連事業による 費用 ③	再整備費 ④	資産価額 (評価期間終了 時点) ⑤	総費用 ⑥=①+②+③ +④-⑤
県営造成施設	県営農地開発 小鈴谷地区	115,865	-	-	-	1,029	114,836
	県営農基総パイロット 常滑地区	0	-	-	-	-	-
	// 北池揚水機場	0	120,404	-	78,773	5,189	193,988
	県営農基総パイロット 常滑二期地区	23,647	-	-	-	2,529	21,118
	県営水質障害対策 大原池地区	114,717	-	-	-	921	113,796
	県営水質保全対策 富貴地区	95,935	-	-	-	415	95,520
	県営水質保全対策 入鹿下用水地区	814	-	-	-	87	727
	県営公害防除特別 犬山地区	173,560	-	-	-	5,200	168,360
	県営農村振興総合 佐布里地区	977,182	-	-	-	295	976,887
	県営農村活性化住環境 みはま地区	0	-	-	-	-	-
	計	2,458,116	321,806	-	210,531	63,910	2,926,543
団体営	団体営かん排 高雄東部地区	0	-	-	-	-	-
	団体営かん排 稲葉地区	0	-	-	-	-	-
	団体営ほ場 下市場地区	0	-	-	-	-	-
	団体営ほ場 明知下地区	1,337	-	-	-	143	1,194
	団体営ほ場 北崎地区	0	-	-	-	-	-
	団体営ほ場 旭地区	0	-	-	-	-	-
	団体営ほ場 粕谷地区	0	-	-	-	-	-
	団体営土地総 米ヶ廻間地区	0	-	-	-	-	-
	団体営土地総 和合地区	6,044	-	-	-	-	6,044
	団体営土地総 傍示本地区	0	-	-	-	-	-
	団体営土地総 福田地区	4,009	-	-	-	429	3,580
	団体営土地総 大田地区	19,750	-	-	-	2,111	17,639
	団体営土地総 大田第二地区	6,906	-	-	-	738	6,168
	団体営土地総 野口第一地区	0	-	-	-	-	-
	団体営土地総 傍示本第2地区	0	-	-	-	-	-
	団体営土地総 裕福寺地区	0	-	-	-	-	-
	団体営土地総 部田地区	0	-	-	-	-	-
	団体営土地総 裕福寺南部地区	17,574	-	-	-	1,879	15,695
	団体営土地総 八和田山地区	0	-	-	-	-	-
	団体営土地総 打越地区	0	-	-	-	-	-

愛知用水地区の事業の効用に関する詳細

1 (2) 総費用の総括

(単位：千円)

区分	施設名 (又は工種)	資産価額 (事業着工時 点) ①	当該事業による 費用 ②	関連事業による 費用 ③	再整備費 ④	資産価額 (評価期間終了 時点) ⑤	総費用 ⑥=①+②+③ +④-⑤
団体 営	団体営土地総 義父新田地区	0	-	-	-	-	-
	団体営土地総 上野地区	11,424	-	-	-	-	11,424
	団体営基盤整 泉田西部地区	0	-	-	-	-	-
	団体営モデル 長久手地区	0	-	-	-	-	-
	団体営モデル 三好地区	9,901	-	-	-	-	9,901
	団体営モデル 大府西部地区	0	-	-	-	-	-
	団体営農基総 坂下地区	0	-	-	-	-	-
	団体営新農構 板山地区	0	-	-	-	-	-
	団体営新農構 武豊北部地区	0	-	-	-	-	-
	団体営新農構 原田地区	0	-	-	-	-	-
	計	76,945	-	-	-	5,300	71,645
そ の 他	非補助かん排 東栄地区	0	-	-	-	-	-
	非補助ほ場整備 切山地区	0	-	-	-	-	-
	非補助ほ場整備 新池・下鏡田地区	0	-	-	-	-	-
	非補助ほ場整備 小錆地区	49,275	-	-	-	-	49,275
	非補助ほ場整備 向田地区	0	-	-	-	-	-
	非補助ほ場整備 彦洲第一地区	0	-	-	-	-	-
	非補助ほ場整備 彦洲第二地区	0	-	-	-	-	-
	非補助ほ場整備 池田地区	0	-	-	-	-	-
	非補助ほ場整備 池田第二地区	0	-	-	-	-	-
	非補助ほ場整備 池田第三地区	0	-	-	-	-	-
	非補助ほ場整備 吉田第一地区	0	-	-	-	-	-
	非補助ほ場整備 吉田第二地区	0	-	-	-	-	-
	非補助ほ場整備 吉田第三地区	0	-	-	-	-	-
	非補助ほ場整備 丸根第二地区	14,483	-	-	-	-	14,483
	非補助ほ場整備 下原地区	0	-	-	-	-	-
	非補助ほ場整備 追分第二地区	0	-	-	-	-	-
	非補助ほ場整備 内田面地区	0	-	-	-	-	-
	非補助ほ場整備 井戸場地区	0	-	-	-	-	-
	非補助ほ場整備 四郎平池地区	0	-	-	-	-	-

愛知用水地区の事業の効用に関する詳細

1 (2) 総費用の総括

(単位：千円)

区分	施設名 (又は工種)	資産価額 (事業着工時 点)	当該事業による 費用	関連事業による 費用	再整備費	資産価額 (評価期間終了 時点)	総費用 ⑥=①+②+③ +④-⑤
		①	②	③	④	⑤	
その他	非補助ほ場整備 大山地区	0	-	-	-	-	-
	非補助ほ場整備 木の山第八地区	0	-	-	-	-	-
	非補助ほ場整備 上の山地区	0	-	-	-	-	-
	非補助ほ場整備 大高田地区	0	-	-	-	-	-
	非補助ほ場整備 摩耶・坪釜地区	6,655	-	-	-	-	6,655
	非補助ほ場整備 永見地区	7,070	-	-	-	-	7,070
	非補助ほ場整備 三丁地区	0	-	-	-	-	-
	非補助ほ場整備 名和第一地区	0	-	-	-	-	-
	非補助ほ場整備 平子地区	0	-	-	-	-	-
	非補助ほ場整備 加木屋第七地区	0	-	-	-	-	-
	非補助ほ場整備 加木屋第八地区	50,158	-	-	-	-	50,158
	非補助ほ場整備 本田・高横須賀地区	0	-	-	-	-	-
	非補助ほ場整備 加木屋第六地区	0	-	-	-	-	-
	非補助ほ場整備 草木第一地区	0	-	-	-	-	-
	非補助ほ場整備 草木第四地区	0	-	-	-	-	-
	非補助ほ場整備 草木第二地区	0	-	-	-	-	-
	非補助ほ場整備 草木第三地区	0	-	-	-	-	-
	非補助ほ場整備 福住地区	0	-	-	-	-	-
	非補助ほ場整備 三ツ池地区	0	-	-	-	-	-
	非補助ほ場整備 東阿原地区	0	-	-	-	-	-
	非補助ほ場整備 半月地区	0	-	-	-	-	-
	非補助ほ場整備 南橋田地区	0	-	-	-	-	-
	非補助ほ場整備 内福寺地区	0	-	-	-	-	-
	非補助ほ場整備 小坂地区	37,834	-	-	-	-	37,834
	非補助ほ場整備 浜新田地区	5,468	-	-	-	-	5,468
	非補助ほ場整備 福住南池地区	6,216	-	-	-	-	6,216
	非補助ほ場整備 平井地区	486,665	-	-	-	-	486,665
	計	663,824	-	-	-	-	663,824
合 計		122,157,946	23,024,735	-	94,071,862	15,217,349	224,037,194

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

愛知用水地区の事業の効用に関する詳細

1 (3) 総便益額算出表-1

評価 期間	年度	割引率 (1＋ 割引率) ¹	経過 年 (t)	作物生産効果							品質向上効果							営農経費節減効果							
				更新分に 係る効果	新設及び機能向上分 に係る効果			計			更新分に 係る効果	新設及び機能向上分 に係る効果			計			更新分に 係る効果	新設及び機能向上分 に係る効果			計			
				年効果額	年効果額	効果発 生割合 (%)	年発生 効果額 (千円)	年効果額 (千円)	同 左 割引後 (千円)	年効果額 (千円)	年効果額	効果発 生割合 (%)	年発生 効果額 (千円)	年効果額 (千円)	同 左 割引後 (千円)	年効果額 (千円)	年効果額	効果発 生割合 (%)	年発生 効果額 (千円)	年効果額 (千円)	同 左 割引後 (千円)	年効果額 (千円)	年効果額	効果発 生割合 (%)	年発生 効果額 (千円)
				(千円) (2)	(千円) (3)	(4)	(5)＝(3)×(4)	(千円) (6)＝(2)＋(5)	(千円) (7)＝(6)/(1)	(千円) (2)	(千円) (3)	(4)	(5)＝(3)×(4)	(千円) (6)＝(2)＋(5)	(千円) (7)＝(6)/(1)	(千円) (2)	(千円) (3)	(4)	(5)＝(3)×(4)	(千円) (6)＝(2)＋(5)	(千円) (7)＝(6)/(1)	(千円) (2)	(千円) (3)	(4)	(5)＝(3)×(4)
1	R8	1.0000	0																						
	R9	1.0400	1	8,614,644	26,585	0.0	0	8,614,644	8,283,312	1,372,275	-	-	-	1,372,275	1,319,495	△ 180,091	-	-	-	-	△ 180,091	△ 173,164			
2	R10	1.0816	2	8,614,644	26,585	0.8	213	8,614,857	7,964,920	1,372,275	-	-	-	1,372,275	1,268,745	△ 180,091	-	-	-	-	△ 180,091	△ 166,504			
3	R11	1.1249	3	8,614,644	26,585	2.0	532	8,615,176	7,658,615	1,372,275	-	-	-	1,372,275	1,219,908	△ 180,091	-	-	-	-	△ 180,091	△ 160,095			
4	R12	1.1699	4	8,614,644	26,585	4.2	1,117	8,615,761	7,364,528	1,372,275	-	-	-	1,372,275	1,172,985	△ 180,091	-	-	-	-	△ 180,091	△ 153,937			
5	R13	1.2167	5	8,614,644	26,585	8.4	2,233	8,616,877	7,082,171	1,372,275	-	-	-	1,372,275	1,127,866	△ 180,091	-	-	-	-	△ 180,091	△ 148,016			
6	R14	1.2653	6	8,614,644	26,585	14.2	3,775	8,618,419	6,811,364	1,372,275	-	-	-	1,372,275	1,084,545	△ 180,091	-	-	-	-	△ 180,091	△ 142,331			
7	R15	1.3159	7	8,614,644	26,585	20.0	5,317	8,619,961	6,550,620	1,372,275	-	-	-	1,372,275	1,042,841	△ 180,091	-	-	-	-	△ 180,091	△ 136,858			
8	R16	1.3686	8	8,614,644	26,585	24.8	6,593	8,621,237	6,299,311	1,372,275	-	-	-	1,372,275	1,002,685	△ 180,091	-	-	-	-	△ 180,091	△ 131,588			
9	R17	1.4233	9	8,614,644	26,585	30.6	8,135	8,622,779	6,058,300	1,372,275	-	-	-	1,372,275	964,150	△ 180,091	-	-	-	-	△ 180,091	△ 126,531			
10	R18	1.4802	10	8,614,644	26,585	36.2	9,624	8,624,268	5,826,421	1,372,275	-	-	-	1,372,275	927,088	△ 180,091	-	-	-	-	△ 180,091	△ 121,667			
11	R19	1.5395	11	8,614,644	26,585	43.6	11,591	8,626,235	5,603,271	1,372,275	-	-	-	1,372,275	891,377	△ 180,091	-	-	-	-	△ 180,091	△ 116,980			
12	R20	1.6010	12	8,614,644	26,585	53.1	14,117	8,628,761	5,389,607	1,372,275	-	-	-	1,372,275	857,136	△ 180,091	-	-	-	-	△ 180,091	△ 112,487			
13	R21	1.6651	13	8,614,644	26,585	62.2	16,536	8,631,180	5,183,581	1,372,275	-	-	-	1,372,275	824,140	△ 180,091	-	-	-	-	△ 180,091	△ 108,156			
14	R22	1.7317	14	8,614,644	26,585	70.9	18,849	8,633,493	4,985,559	1,372,275	-	-	-	1,372,275	792,444	△ 180,091	-	-	-	-	△ 180,091	△ 103,997			
15	R23	1.8009	15	8,614,644	26,585	77.8	20,683	8,635,327	4,795,006	1,372,275	-	-	-	1,372,275	761,994	△ 180,091	-	-	-	-	△ 180,091	△ 100,001			
16	R24	1.8730	16	8,614,644	26,585	84.9	22,571	8,637,215	4,611,434	1,372,275	-	-	-	1,372,275	732,662	△ 180,091	-	-	-	-	△ 180,091	△ 96,151			
17	R25	1.9479	17	8,614,644	26,585	91.8	24,405	8,639,049	4,435,058	1,372,275	-	-	-	1,372,275	704,489	△ 180,091	-	-	-	-	△ 180,091	△ 92,454			
18	R26	2.0258	18	8,614,644	26,585	97.8	26,000	8,640,644	4,265,300	1,372,275	-	-	-	1,372,275	677,399	△ 180,091	-	-	-	-	△ 180,091	△ 88,899			
19	R27	2.1068	19	8,614,644	26,585	100.0	26,585	8,641,229	4,101,590	1,372,275	-	-	-	1,372,275	651,355	△ 180,091	-	-	-	-	△ 180,091	△ 85,481			
20	R28	2.1911	20	8,614,644	26,585	100.0	26,585	8,641,229	3,943,786	1,372,275	-	-	-	1,372,275	626,295	△ 180,091	-	-	-	-	△ 180,091	△ 82,192			
21	R29	2.2788	21	8,614,644	26,585	100.0	26,585	8,641,229	3,792,009	1,372,275	-	-	-	1,372,275	602,192	△ 180,091	-	-	-	-	△ 180,091	△ 79,029			
22	R30	2.3699	22	8,614,644	26,585	100.0	26,585	8,641,229	3,646,242	1,372,275	-	-	-	1,372,275	579,043	△ 180,091	-	-	-	-	△ 180,091	△ 75,991			
23	R31	2.4647	23	8,614,644	26,585	100.0	26,585	8,641,229	3,505,996	1,372,275	-	-	-	1,372,275	556,772	△ 180,091	-	-	-	-	△ 180,091	△ 73,068			
24	R32	2.5633	24	8,614,644	26,585	100.0	26,585	8,641,229	3,371,134	1,372,275	-	-	-	1,372,275	535,355	△ 180,091	-	-	-	-	△ 180,091	△ 70,257			
25	R33	2.6658	25	8,614,644	26,585	100.0	26,585	8,641,229	3,241,514	1,372,275	-	-	-	1,372,275	514,770	△ 180,091	-	-	-	-	△ 180,091	△ 67,556			
26	R34	2.7725	26	8,614,644	26,585	100.0	26,585	8,641,229	3,116,764	1,372,275	-	-	-	1,372,275	494,959	△ 180,091	-	-	-	-	△ 180,091	△ 64,956			
27	R35	2.8834	27	8,614,644	26,585	100.0	26,585	8,641,229	2,996,889	1,372,275	-	-	-	1,372,275	475,923	△ 180,091	-	-	-	-	△ 180,091	△ 62,458			
28	R36	2.9987	28	8,614,644	26,585	100.0	26,585	8,641,229	2,881,658	1,372,275	-	-	-	1,372,275	457,623	△ 180,091	-	-	-	-	△ 180,091	△ 60,056			
29	R37	3.1187	29	8,614,644	26,585	100.0	26,585	8,641,229	2,770,779	1,372,275	-	-	-	1,372,275	440,015	△ 180,091	-	-	-	-	△ 180,091	△ 57,746			
30	R38	3.2434	30	8,614,644	26,585	100.0	26,585	8,641,229	2,664,250	1,372,275	-	-	-	1,372,275	423,098	△ 180,091	-	-	-	-	△ 180,091	△ 55,525			
31	R39	3.3731	31	8,614,644	26,585	100.0	26,585	8,641,229	2,561,806	1,372,275	-	-	-	1,372,275	406,829	△ 180,091	-	-	-	-	△ 180,091	△ 53,390			
32	R40	3.5081	32	8,614,644	26,585	100.0	26,585	8,641,229	2,463,222	1,372,275	-	-	-	1,372,275	391,173	△ 180,091	-	-	-	-	△ 180,091	△ 51,336			
33	R41	3.6484	33	8,614,644	26,585	100.0	26,585	8,641,229	2,368,498	1,372,275	-	-	-	1,372,275	376,131	△ 180,091	-	-	-	-	△ 180,091	△ 49,362			
34	R42	3.7943	34	8,614,644	26,585	100.0	26,585	8,641,229	2,277,424	1,372,275	-	-	-	1,372,275	361,668	△ 180,091	-	-	-	-	△ 180,091	△ 47,464			
35	R43	3.9461	35	8,614,644	26,585	100.0	26,585	8,641,229	2,189,815	1,372,275	-	-	-	1,372,275	347,755	△ 180,091	-	-	-	-	△ 180,091	△ 45,638			
36	R44	4.1039	36	8,614,644	26,585	100.0	26,585	8,641,229	2,105,614	1,372,275	-	-	-	1,372,275	334,383	△ 180,091	-	-	-	-	△ 180,091	△ 43,883			
37	R45	4.2681	37	8,614,644	26,585	100.0	26,585	8,641,229	2,024,608	1,372,275	-	-	-	1,372,275	321,519	△ 180,091	-	-	-	-	△ 180,091	△ 42,195			
38	R46	4.4388	38	8,614,644	26,585	100.0	26,585	8,641,229	1,946,749	1,372,275	-	-	-	1,372,275	309,155	△ 180,091	-	-	-	-	△ 180,091	△ 40,572			
39	R47	4.6164	39	8,614,644	26,585	100.0	26,585	8,641,229	1,871,854	1,372,275	-	-	-	1,372,275	297,261	△ 180,091	-	-	-	-	△ 180,091	△ 39,011			
40	R48	4.8010	40	8,614,644	26,585	100.0	26,585	8,641,229	1,799,881	1,372,275	-	-	-	1,372,275	285,831	△ 180,091	-	-	-	-	△ 180,091	△ 37,511			
41	R49	4.9931	41	8,614,644	26,585	100.0	26,585	8,641,229	1,730,634	1,372,275	-	-	-	1,372,275	274,834	△ 180,091	-	-	-	-	△ 180,091	△ 36,068			
42																									

愛知用水地区の事業の効用に関する詳細
2 (3) 総便益額算出表-2

評価 期間	年度	割引率 (1+割引率) ^t	経過 年 (t)	維持管理費節減効果							景観・環境保全効果							災害時の復旧対策費軽減効果							
				更新分に 係る効果		新設及び機能向上分 に係る効果		計			更新分に 係る効果		新設及び機能向上分 に係る効果		計			更新分に 係る効果		新設及び機能向上分 に係る効果		計			
				年効果額	年効果額	効果発生割合 (%)	年発生効果額 (千円)	年効果額	同 左 割引後 (千円)	年効果額	年効果額	効果発生割合 (%)	年発生効果額 (千円)	年効果額	同 左 割引後 (千円)	年効果額	年効果額	効果発生割合 (%)	年発生効果額 (千円)	年効果額	同 左 割引後 (千円)	年効果額	年効果額	効果発生割合 (%)	年発生効果額 (千円)
				(千円)	(千円)	(%)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(%)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(%)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)
				(2)	(3)	(4)	⑤=③×④	⑥=②+⑤	⑦=⑥/①	(2)	(3)	(4)	⑤=③×④	⑥=②+⑤	⑦=⑥/①	(2)	(3)	(4)	⑤=③×④	⑥=②+⑤	⑦=⑥/①	(2)	(3)	(4)	⑤=③×④
R8	1.0000	0																							
1	R9	1.0400	1	△ 1,425,634	1,076,420	0.0	0	△ 1,425,634	△ 1,370,802	241,187	-	-	-	241,187	231,911	-	674,305	0.0	0	0	0	0	0	0	
2	R10	1.0816	2	△ 1,425,634	1,076,420	0.8	8,611	△ 1,417,023	△ 1,310,117	241,187	-	-	-	241,187	222,991	-	674,305	0.8	5,394	5,394	4,987	4,987	4,987	4,987	
3	R11	1.1249	3	△ 1,425,634	1,076,420	2.0	21,528	△ 1,404,106	△ 1,248,205	241,187	-	-	-	241,187	214,408	-	674,305	2.0	13,486	13,486	11,989	11,989	11,989	11,989	
4	R12	1.1699	4	△ 1,425,634	1,076,420	4.2	45,210	△ 1,380,424	△ 1,179,950	241,187	-	-	-	241,187	206,160	-	674,305	4.2	28,321	28,321	24,208	24,208	24,208	24,208	
5	R13	1.2167	5	△ 1,425,634	1,076,420	8.4	90,419	△ 1,335,215	△ 1,097,407	241,187	-	-	-	241,187	198,230	-	674,305	8.4	56,642	56,642	46,554	46,554	46,554	46,554	
6	R14	1.2653	6	△ 1,425,634	1,076,420	14.2	152,852	△ 1,272,782	△ 1,005,913	241,187	-	-	-	241,187	190,616	-	674,305	14.2	95,751	95,751	75,675	75,675	75,675	75,675	
7	R15	1.3159	7	△ 1,425,634	1,076,420	20.0	215,284	△ 1,210,350	△ 919,788	241,187	-	-	-	241,187	183,287	-	674,305	20.0	134,861	134,861	102,486	102,486	102,486	102,486	
8	R16	1.3686	8	△ 1,425,634	1,076,420	24.8	266,952	△ 1,158,682	△ 846,618	241,187	-	-	-	241,187	176,229	-	674,305	24.8	167,228	167,228	122,189	122,189	122,189	122,189	
9	R17	1.4233	9	△ 1,425,634	1,076,420	30.6	329,385	△ 1,096,249	△ 770,216	241,187	-	-	-	241,187	169,456	-	674,305	30.6	206,337	206,337	144,971	144,971	144,971	144,971	
10	R18	1.4802	10	△ 1,425,634	1,076,420	36.2	389,664	△ 1,035,970	△ 699,885	241,187	-	-	-	241,187	162,942	-	674,305	36.2	244,098	244,098	164,909	164,909	164,909	164,909	
11	R19	1.5395	11	△ 1,425,634	1,076,420	43.6	469,319	△ 956,315	△ 621,185	241,187	-	-	-	241,187	156,666	-	674,305	43.6	293,997	293,997	190,969	190,969	190,969	190,969	
12	R20	1.6010	12	△ 1,425,634	1,076,420	53.1	571,579	△ 854,055	△ 533,451	241,187	-	-	-	241,187	150,648	-	674,305	53.1	358,056	358,056	223,645	223,645	223,645	223,645	
13	R21	1.6651	13	△ 1,425,634	1,076,420	62.2	669,533	△ 756,101	△ 454,087	241,187	-	-	-	241,187	144,848	-	674,305	62.2	419,418	419,418	251,888	251,888	251,888	251,888	
14	R22	1.7317	14	△ 1,425,634	1,076,420	70.9	763,182	△ 662,452	△ 382,544	241,187	-	-	-	241,187	139,278	-	674,305	70.9	478,082	478,082	276,077	276,077	276,077	276,077	
15	R23	1.8009	15	△ 1,425,634	1,076,420	77.8	837,455	△ 588,179	△ 326,603	241,187	-	-	-	241,187	133,926	-	674,305	77.8	524,609	524,609	291,304	291,304	291,304	291,304	
16	R24	1.8730	16	△ 1,425,634	1,076,420	84.9	913,881	△ 511,753	△ 273,226	241,187	-	-	-	241,187	128,770	-	674,305	84.9	572,485	572,485	305,651	305,651	305,651	305,651	
17	R25	1.9479	17	△ 1,425,634	1,076,420	91.8	988,154	△ 437,480	△ 224,590	241,187	-	-	-	241,187	123,819	-	674,305	91.8	619,012	619,012	317,784	317,784	317,784	317,784	
18	R26	2.0258	18	△ 1,425,634	1,076,420	97.8	1,052,739	△ 372,895	△ 184,073	241,187	-	-	-	241,187	119,058	-	674,305	97.8	659,470	659,470	325,536	325,536	325,536	325,536	
19	R27	2.1068	19	△ 1,425,634	1,076,420	100.0	1,076,420	△ 349,214	△ 165,755	241,187	-	-	-	241,187	114,480	-	674,305	100.0	674,305	674,305	320,061	320,061	320,061	320,061	
20	R28	2.1911	20	△ 1,425,634	1,076,420	100.0	1,076,420	△ 349,214	△ 159,378	241,187	-	-	-	241,187	110,076	-	674,305	100.0	674,305	674,305	307,747	307,747	307,747	307,747	
21	R29	2.2788	21	△ 1,425,634	1,076,420	100.0	1,076,420	△ 349,214	△ 153,245	241,187	-	-	-	241,187	105,839	-	674,305	100.0	674,305	674,305	295,904	295,904	295,904	295,904	
22	R30	2.3699	22	△ 1,425,634	1,076,420	100.0	1,076,420	△ 349,214	△ 147,354	241,187	-	-	-	241,187	101,771	-	674,305	100.0	674,305	674,305	284,529	284,529	284,529	284,529	
23	R31	2.4647	23	△ 1,425,634	1,076,420	100.0	1,076,420	△ 349,214	△ 141,686	241,187	-	-	-	241,187	97,857	-	674,305	100.0	674,305	674,305	273,585	273,585	273,585	273,585	
24	R32	2.5633	24	△ 1,425,634	1,076,420	100.0	1,076,420	△ 349,214	△ 136,236	241,187	-	-	-	241,187	94,092	-	674,305	100.0	674,305	674,305	263,061	263,061	263,061	263,061	
25	R33	2.6658	25	△ 1,425,634	1,076,420	100.0	1,076,420	△ 349,214	△ 130,998	241,187	-	-	-	241,187	90,475	-	674,305	100.0	674,305	674,305	252,947	252,947	252,947	252,947	
26	R34	2.7725	26	△ 1,425,634	1,076,420	100.0	1,076,420	△ 349,214	△ 125,956	241,187	-	-	-	241,187	86,993	-	674,305	100.0	674,305	674,305	243,212	243,212	243,212	243,212	
27	R35	2.8834	27	△ 1,425,634	1,076,420	100.0	1,076,420	△ 349,214	△ 121,112	241,187	-	-	-	241,187	83,647	-	674,305	100.0	674,305	674,305	233,858	233,858	233,858	233,858	
28	R36	2.9987	28	△ 1,425,634	1,076,420	100.0	1,076,420	△ 349,214	△ 116,455	241,187	-	-	-	241,187	80,431	-	674,305	100.0	674,305	674,305	224,866	224,866	224,866	224,866	
29	R37	3.1187	29	△ 1,425,634	1,076,420	100.0	1,076,420	△ 349,214	△ 111,974	241,187	-	-	-	241,187	77,336	-	674,305	100.0	674,305	674,305	216,213	216,213	216,213	216,213	
30	R38	3.2434	30	△ 1,425,634	1,076,420	100.0	1,076,420	△ 349,214	△ 107,669	241,187	-	-	-	241,187	74,362	-	674,305	100.0	674,305	674,305	207,901	207,901	207,901	207,901	
31	R39	3.3731	31	△ 1,425,634	1,076,420	100.0	1,076,420	△ 349,214	△ 103,529	241,187	-	-	-	241,187	71,503	-	674,305	100.0	674,305	674,305	199,907	199,907	199,907	199,907	
32	R40	3.5081	32	△ 1,425,634	1,076,420	100.0	1,076,420	△ 349,214	△ 99,545	241,187	-	-	-	241,187	68,751	-	674,305	100.0	674,305	674,305	192,214	192,214	192,214	192,214	
33	R41	3.6484	33	△ 1,425,634	1,076,420	100.0	1,076,420	△ 349,214	△ 95,717	241,187	-	-	-	241,187	66,108	-	674,305	100.0	674,305	674,305	184,822	184,822	184,822	184,822	
34	R42	3.7943	34	△ 1,425,634	1,076,420	100.0	1,076,420	△ 349,214	△ 92,036	241,187	-	-	-	241,187	63,566	-	674,305	100.0	674,305	674,305	177,715	177,715	177,715	177,715	
35	R43	3.9461	35	△ 1,425,634	1,076,420	100.0	1,076,420	△ 349,214	△ 88,496	241,187	-	-	-	241,187	61,120	-	674,305	100.0	674,305	674,305	170,879	170,879	170,879	170,879	
36	R44	4.1039	36	△ 1,425,634	1,076,420	100.0	1,076,420	△ 349,214	△ 85,093	241,187	-	-	-	241,187	58,770	-	674,305	100.0	674,305	674,305	164,308	164,308	164,308	164,308	
37	R45	4.2681	37	△ 1,425,634	1,076,420	100.0	1,076,420	△ 349,214	△ 81,819	241,187	-	-	-	241,187	56,509	-	674,305	100.0	674,305	674,305	157,987	157,987	157,987	157,987	
38	R46	4.4388	38	△ 1,425,634	1																				

愛知用水地区の事業の効用に関する詳細
2 (3) 総便益額算出表-3

評価 期間	年度	割引率 (1+割引率) ¹	経過 年 (t)	洪水調節機能効果 (農業用ダム)							国産農産物安定供給効果							割引後 効果額 合計 (千円)	備考							
				更新分に 係る効果 年効果額 (千円) (2)	新設及び機能向上分 に係る効果			計		更新分に 係る効果 年効果額 (千円) (2)	新設及び機能向上分 に係る効果			計												
					年効果額 (千円) (3)	効果発生 割合 (%) (4)	年発生 効果額 (千円) ⑤=③×④	年効果額 (千円) (5)=③+⑤	同 左 割引後 (千円) (7)=⑥/①		年効果額 (千円) (3)	効果発生 割合 (%) (4)	年発生 効果額 (千円) ⑤=③×④	年効果額 (千円) (6)=③+⑤	同 左 割引後 (千円) (7)=⑥/①											
	R8	1.0000	0																							
1	R9	1.0400	1	600.005	-	-	-	600.005	576.928	1,323.488	5.561	0.0	0	1,323.488	1,272.585			10,140,265	評価年							
2	R10	1.0816	2	600.005	-	-	-	600.005	554.738	1,323.488	5.561	0.8	44	1,323.532	1,223.680			9,763,440								
3	R11	1.1249	3	600.005	-	-	-	600.005	533.385	1,323.488	5.561	2.0	111	1,323.599	1,176.637			9,406,642								
4	R12	1.1699	4	600.005	-	-	-	600.005	512.869	1,323.488	5.561	4.2	234	1,323.722	1,131.483			9,078,346								
5	R13	1.2167	5	600.005	-	-	-	600.005	493.141	1,323.488	5.561	8.4	467	1,323.955	1,088.152			8,790,691								
6	R14	1.2653	6	600.005	-	-	-	600.005	474.200	1,323.488	5.561	14.2	790	1,324.278	1,046.612			8,534,768								
7	R15	1.3159	7	600.005	-	-	-	600.005	455.965	1,323.488	5.561	20.0	1,112	1,324.600	1,006.611			8,285,164								
8	R16	1.3686	8	600.005	-	-	-	600.005	438.408	1,323.488	5.561	24.8	1,379	1,324.867	968.045			8,028,661								
9	R17	1.4233	9	600.005	-	-	-	600.005	421.559	1,323.488	5.561	30.6	1,702	1,325.190	931.069			7,792,758								
10	R18	1.4802	10	600.005	-	-	-	600.005	405.354	1,323.488	5.561	36.2	2,013	1,325.501	895.488			7,560,650								
11	R19	1.5395	11	600.005	-	-	-	600.005	389.740	1,323.488	5.561	43.6	2,425	1,325.913	861.262			7,355,120								
12	R20	1.6010	12	600.005	-	-	-	600.005	374.769	1,323.488	5.561	53.1	2,953	1,326.441	828.508			7,178,375								
13	R21	1.6651	13	600.005	-	-	-	600.005	360.342	1,323.488	5.561	62.2	3,459	1,326.947	796.917			6,999,473								
14	R22	1.7317	14	600.005	-	-	-	600.005	346.483	1,323.488	5.561	70.9	3,943	1,327.431	766.548			6,819,848								
15	R23	1.8009	15	600.005	-	-	-	600.005	333.170	1,323.488	5.561	77.8	4,326	1,327.814	737.306			6,626,102								
16	R24	1.8730	16	600.005	-	-	-	600.005	320.344	1,323.488	5.561	84.9	4,721	1,328.209	709.135			6,438,619								
17	R25	1.9479	17	600.005	-	-	-	600.005	308.027	1,323.488	5.561	91.8	5,105	1,328.593	682.064			6,254,197								
18	R26	2.0258	18	600.005	-	-	-	600.005	296.182	1,323.488	5.561	97.8	5,439	1,328.927	656.001			6,066,504								
19	R27	2.1068	19	600.005	-	-	-	600.005	284.794	1,323.488	5.561	100.0	5,561	1,329.049	630.838			5,851,882								
20	R28	2.1911	20	600.005	-	-	-	600.005	273.837	1,323.488	5.561	100.0	5,561	1,329.049	606.567			5,626,738								
21	R29	2.2788	21	600.005	-	-	-	600.005	263.299	1,323.488	5.561	100.0	5,561	1,329.049	583.223			5,410,192								
22	R30	2.3699	22	600.005	-	-	-	600.005	253.177	1,323.488	5.561	100.0	5,561	1,329.049	560.804			5,202,221								
23	R31	2.4647	23	600.005	-	-	-	600.005	243.439	1,323.488	5.561	100.0	5,561	1,329.049	539.234			5,002,129								
24	R32	2.5633	24	600.005	-	-	-	600.005	234.075	1,323.488	5.561	100.0	5,561	1,329.049	518.491			4,809,715								
25	R33	2.6658	25	600.005	-	-	-	600.005	225.075	1,323.488	5.561	100.0	5,561	1,329.049	498.555			4,624,782								
26	R34	2.7725	26	600.005	-	-	-	600.005	216.413	1,323.488	5.561	100.0	5,561	1,329.049	479.368			4,446,797								
27	R35	2.8834	27	600.005	-	-	-	600.005	208.089	1,323.488	5.561	100.0	5,561	1,329.049	460.931			4,275,767								
28	R36	2.9987	28	600.005	-	-	-	600.005	200.088	1,323.488	5.561	100.0	5,561	1,329.049	443.208			4,111,363								
29	R37	3.1187	29	600.005	-	-	-	600.005	192.389	1,323.488	5.561	100.0	5,561	1,329.049	426.155			3,953,167								
30	R38	3.2434	30	600.005	-	-	-	600.005	184.993	1,323.488	5.561	100.0	5,561	1,329.049	409.770		各効果における「同左割引後」の合計	3,801,180								
31	R39	3.3731	31	600.005	-	-	-	600.005	177.879	1,323.488	5.561	100.0	5,561	1,329.049	394.014			3,655,019								
32	R40	3.5081	32	600.005	-	-	-	600.005	171.034	1,323.488	5.561	100.0	5,561	1,329.049	378.852			3,514,365								
33	R41	3.6484	33	600.005	-	-	-	600.005	164.457	1,323.488	5.561	100.0	5,561	1,329.049	364.283			3,379,220								
34	R42	3.7943	34	600.005	-	-	-	600.005	158.133	1,323.488	5.561	100.0	5,561	1,329.049	350.275			3,249,281								
35	R43	3.9461	35	600.005	-	-	-	600.005	152.050	1,323.488	5.561	100.0	5,561	1,329.049	336.801			3,124,286								
36	R44	4.1039	36	600.005	-	-	-	600.005	146.204	1,323.488	5.561	100.0	5,561	1,329.049	323.850			3,004,153								
37	R45	4.2681	37	600.005	-	-	-	600.005	140.579	1,323.488	5.561	100.0	5,561	1,329.049	311.391			2,888,579								
38	R46	4.4388	38	600.005	-	-	-	600.005	135.173	1,323.488	5.561	100.0	5,561	1,329.049	299.416			2,777,496								
39	R47	4.6164	39	600.005	-	-	-	600.005	129.972	1,323.488	5.561	100.0	5,561	1,329.049	287.897			2,670,640								
40	R48	4.8010	40	600.005	-	-	-	600.005	124.975	1,323.488	5.561	100.0	5,561	1,329.049	276.828			2,567,954								
41	R49	4.9931	41	600.005	-	-	-	600.005	120.167	1,323.488	5.561	100.0	5,561	1,329.049	266.177			2,469,156								
42	R50	5.1928	42	600.005	-	-	-	600.005	115.546	1,323.488	5.561	100.0	5,561	1,329.049	255.941			2,374,200								
43	R51	5.4005	43	600.005	-	-	-	600.005	111.102	1,323.488	5.561	100.0	5,561	1,329.049	246.097			2,282,889								
44	R52	5.6165	44	600.005	-	-	-	600.005	106.829	1,323.488	5.561	100.0	5,561	1,329.049	236.633			2,195,094								
45	R53	5.8412	45	600.005	-	-	-	600.005	102.719	1,323.488	5.561	100.0	5,561	1,329.049	227.530			2,110,652								
46	R54	6.0748	46	600.005	-	-	-	600.005	98.770	1,323.488	5.561	100.0	5,561	1,329.049	218.781			2,029,489								
47	R55	6.3178	47	600.005	-	-	-	600.005	94.971	1,323.488	5.561	100.0	5,561	1,329.049	210.366			1,951,431								
48	R56	6.5705	48	600.005	-	-	-	600.005	91.318	1,323.488	5.561	100.0	5,561	1,329.049	202.275			1,876,378								
49	R57	6.8333	49	600.005	-	-	-	600.005	87.806	1,323.488	5.561	100.0	5,561	1,329.049	194.496			1,804,215								
50	R58	7.1067	50	600.005	-	-	-	600.005	84.428	1,323.488	5.561	100.0	5,561	1,329.049	187.014			1,734,806								
51	R59	7.3910	51	600.005	-	-	-	600.005	81.180	1,323.488	5.561	100.0	5,561	1,329.049	179.820			1,668,076								
52	R60	7.6866	52	600.005	-	-	-	600.005	78.059	1,323.488	5.561	100.0	5,561	1,329.049	172.905			1,603,929								
53	R61	7.9941	53	600.005	-	-	-	600.005	75.056	1,323.488	5.561	100.0	5,561	1,329.049	166.254			1,542,231								
54	R62	8.3138	54	600.005	-	-	-	600.005	72.170	1,323.488	5.561	100.0	5,561	1,329.049	159.861			1,482,926								
55	R63	8.6464	55	600.005	-	-	-	600.005	69.394	1,323.488	5.561	100.0	5,561	1,329.049	153.711			1,425,883								
56	R64	8.9922	56	600.005	-	-	-	600.005	66.725	1,323.488	5.561	100.0	5,561	1,329.049	147.800			1,371,049								
57	R65	9.3519	57	600.005	-	-	-	600.005	64.159	1,323.488	5.561	100.0	5,561	1,329.049	142.115			1,318,316								
58	R66	9.7260	588																							

※経過年は評価年からの年数

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

愛知用水地区の事業の効用に関する詳細

2 (1) 作物生産効果－1

作物名	新設・更新	作付面積			効果要因	単 収				生産増減量 ③＝ ①×② ÷100 t	生産物 単価 ④ 千円/ t	増加粗 収益額 ⑤＝ ③×④ 千円	純 益 率 ⑥ %	年効果額 ⑦＝ ⑤×⑥ 千円
		現況 ha	計画 ha	効果発生 面積 ① ha		事業 なかりせば 単収 kg/10a	事業 ありせば 単収 kg/10a	増収率 %	効果算定 対象 単収 ② kg/10a					
水稻	新設	4,829	4,772	△57	作付減	－	－	－	495	△ 282.2	239	△ 67,446	－	－
					小 計	－	－	－	－	－	－	△ 67,446	－	－
	更新	5,420	5,420	5,420	水管理改良	40	495	1,138	455	24,661.0	239	5,893,979	89	5,245,641
					小 計	－	－	－	－	－	－	5,893,979	－	5,245,641
飼料用米	新設	308	306	△2	作付減	－	－	－	495	△ 9.9	14	△ 139	－	－
					小 計	－	－	－	－	－	－	△ 139	－	－
	更新	346	346	346	水管理改良	40	495	1,138	455	1,574.3	14	22,040	28	6,171
					小 計	－	－	－	－	－	－	22,040	－	6,171
小麦	新設	284	312	28	作付増	－	－	－	501	140.3	45	6,314	－	－
					小 計	－	－	－	－	－	－	6,314	－	－
	更新	319	319	319	湿润かんがい	501	501	－	0	－	45	－	84	－
					小 計	－	－	－	－	－	－	－	－	－
大豆	新設	268	300	32	作付増	－	－	－	75	24.0	146	3,504	－	－
					小 計	－	－	－	－	－	－	3,504	－	－
	更新	301	301	301	湿润かんがい	69	75	8	6	18.1	146	2,643	88	2,326
					小 計	－	－	－	－	－	－	2,643	－	2,326
かんしょ	新設	12	12	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
					小 計	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	更新	13	13	13	湿润かんがい	1,210	1,392	15	182	23.7	295	6,992	92	6,433
					小 計	－	－	－	－	－	－	6,992	－	6,433
ソルゴー	新設	63	62	△1	かんしょ計	－	－	－	－	－	－	6,992	－	6,433
					作付減	－	－	－	2,593	△ 25.9	28	△ 725	10	△ 73
	更新	71	71	71	小 計	－	－	－	－	－	－	△ 725	－	△ 73
					湿润かんがい	2,161	2,593	20	432	306.7	28	8,588	17	1,460
牧草	新設	111	111	－	小 計	－	－	－	－	－	－	8,588	－	1,460
					かんしょ計	－	－	－	－	－	－	7,863	－	1,387
	更新	125	125	125	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
					湿润かんがい	2,805	3,366	20	561	701.3	28	19,636	17	3,338
牧草	新設	111	111	－	小 計	－	－	－	－	－	－	19,636	－	3,338
					牧草計	－	－	－	－	－	－	19,636	－	3,338
	更新	125	125	125	－	－	－	－	－	－	－	19,636	－	3,338
					牧草計	－	－	－	－	－	－	19,636	－	3,338

愛知用水地区の事業の効用に関する詳細

2 (1) 作物生産効果－2

作物名	新設・更新	作付面積			効果要因	単 収				生産増減量 ③＝ ①×② ÷100 t	生産物 単価 ④ 千円/ t	増加粗 収益額 ⑤＝ ③×④ 千円	純 益 率 ⑥ %	年効果額 ⑦＝ ⑤×⑥ 千円
		現況 ha	計画 ha	効果 発生 面積 ① ha		事業 なかりせば 単収 kg/10a	事業 ありせば 単収 kg/10a	増収率 %	効果算定 対象 単収 ② kg/10a					
秋冬はくさい	新設	9	11	2	作付増	－	－	－	4,471	89.4	58	5,185	16	830
					小 計	－	－	－	－	－	－	5,185	－	830
	更新	10	10	10	湿潤かんがい	3,957	4,471	13	514	51.4	58	2,981	91	2,713
					小 計	－	－	－	－	－	－	2,981	－	2,713
					秋冬はくさい計	－	－	－	－	－	－	8,166	－	3,543
秋冬だいこん	新設	5	6	1	作付増	－	－	－	3,695	37.0	88	3,256	12	391
					小 計	－	－	－	－	－	－	3,256	－	391
	更新	6	6	6	湿潤かんがい	3,213	3,695	15	482	28.9	88	2,543	90	2,289
					小 計	－	－	－	－	－	－	2,543	－	2,289
					秋冬だいこん計	－	－	－	－	－	－	5,799	－	2,680
冬キャベツ	新設	61	61	－	小 計	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	更新	67	67	67	湿潤かんがい	3,318	3,749	13	431	288.8	94	27,147	91	24,704
					小 計	－	－	－	－	－	－	27,147	－	24,704
					冬キャベツ計	－	－	－	－	－	－	27,147	－	24,704
ほうれんそう	新設	27	27	－	小 計	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	更新	30	30	30	湿潤かんがい	976	1,103	13	127	38.1	551	20,993	91	19,104
					小 計	－	－	－	－	－	－	20,993	－	19,104
					ほうれんそう計	－	－	－	－	－	－	20,993	－	19,104
ブロッコリー	新設	33	34	1	作付増	－	－	－	1,219	12.2	349	4,258	16	681
					小 計	－	－	－	－	－	－	4,258	－	681
	更新	36	36	36	湿潤かんがい	1,079	1,219	13	140	50.4	349	17,590	91	16,007
					小 計	－	－	－	－	－	－	17,590	－	16,007
					ブロッコリー計	－	－	－	－	－	－	21,848	－	16,688
水田計	新設	6,010	6,014									△ 45,793		1,829
	更新	6,744	6,744									6,025,132		5,330,186
たまねぎ	新設	871	871	－	小 計	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	更新	957	957	957	湿潤かんがい	4,609	5,208	13	599	5,732.4	145	831,198	91	756,390
					小 計	－	－	－	－	－	－	831,198	－	756,390
					たまねぎ計	－	－	－	－	－	－	831,198	－	756,390
かんしょ	新設	66	66	－	小 計	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	更新	72	72	72	湿潤かんがい	1,210	1,392	15	182	131.0	295	38,645	92	35,553
					小 計	－	－	－	－	－	－	38,645	－	35,553
					かんしょ計	－	－	－	－	－	－	38,645	－	35,553

愛知用水地区の事業の効用に関する詳細

2 (1) 作物生産効果－3

作物名	新設・更新	作付面積			効果要因	単 収				生産増減量 ③＝ ①×② ÷100 t	生産物 単価 ④ 千円/ t	増加粗 収益額 ⑤＝ ③×④ 千円	純 益 率 ⑥ %	年効果額 ⑦＝ ⑤×⑥ 千円
		現況 ha	計画 ha	効果 発生 面積 ① ha		事業 なかりせば 単収 kg/10a	事業 ありせば 単収 kg/10a	増収率 %	効果算定 対象 単収 ② kg/10a					
ソルゴー	新設	536	536	—	小 計	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	更新	589	589	589	湿潤かんがい	2,161	2,593	20	432	2,544.5	28	71,246	17	12,112
					小 計	—	—	—	—	—	—	71,246	—	12,112
					ソルゴー計	—	—	—	—	—	—	71,246	—	12,112
牧草	新設	972	972	—	小 計	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	更新	1,068	1,068	1,068	湿潤かんがい	2,805	3,366	20	561	5,991.5	28	167,762	17	28,520
					小 計	—	—	—	—	—	—	167,762	—	28,520
					牧草計	—	—	—	—	—	—	167,762	—	28,520
春キャベツ	新設	51	51	—	小 計	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	更新	56	56	56	湿潤かんがい	2,481	2,803	13	322	180.3	90	16,227	91	14,767
					小 計	—	—	—	—	—	—	16,227	—	14,767
					春キャベツ計	—	—	—	—	—	—	16,227	—	14,767
えだまめ	新設	18	18	—	小 計	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	更新	20	20	20	湿潤かんがい	487	526	8	39	7.8	805	6,279	91	5,714
					小 計	—	—	—	—	—	—	6,279	—	5,714
					えだまめ計	—	—	—	—	—	—	6,279	—	5,714
秋冬さといも	新設	36	36	—	小 計	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	更新	39	39	39	湿潤かんがい	1,022	1,329	30	307	119.7	367	43,930	90	39,537
					小 計	—	—	—	—	—	—	43,930	—	39,537
					秋冬さといも計	—	—	—	—	—	—	43,930	—	39,537
メロン	新設	44	44	—	小 計	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	更新	48	48	48	湿潤かんがい	944	1,086	15	142	68.2	435	29,667	91	26,997
					小 計	—	—	—	—	—	—	29,667	—	26,997
					メロン計	—	—	—	—	—	—	29,667	—	26,997
スイートコーン	新設	318	318	—	小 計	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	更新	349	349	349	湿潤かんがい	838	964	15	126	439.7	278	122,237	91	111,236
					小 計	—	—	—	—	—	—	122,237	—	111,236
					スイートコーン計	—	—	—	—	—	—	122,237	—	111,236
すいか	新設	61	61	—	小 計	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	更新	67	67	67	湿潤かんがい	2,201	2,531	15	330	221.1	250	55,275	91	50,300
					小 計	—	—	—	—	—	—	55,275	—	50,300
					すいか計	—	—	—	—	—	—	55,275	—	50,300

愛知用水地区の事業の効用に関する詳細

2 (1) 作物生産効果－4

作物名	新設・更新	作付面積			効果要因	単 収				生産増減量 ③＝ ①×② ÷100	生産物 単価 ④ 千円/ t	増加粗 収益額 ⑤＝ ③×④ 千円	純 益 率 ⑥ %	年効果額 ⑦＝ ⑤×⑥ 千円
		現況 ha	計画 ha	効果発生 面積 ① ha		事業 なかりせば 単収 kg/10a	事業 ありせば 単収 kg/10a	増収率 %	効果算定 対象 単収 ② kg/10a					
秋冬はくさい	新設	95	115	20	作付増	－	－	－	4,471	894.2	58	51,864	16	8,298
					小 計					－	－	51,864	－	8,298
	更新	104	104	104	湿潤かんがい	3,957	4,471	13	514	534.6	58	31,007	91	28,216
					小 計	－	－	－	－	－	－	31,007	－	28,216
					秋冬はくさい計	－	－	－	－	－	－	82,871	－	36,514
秋冬だいこん	新設	238	257	19	作付増	－	－	－	3,695	702.1	88	61,785	12	7,414
					小 計					－	－	61,785	－	7,414
	更新	261	261	261	湿潤かんがい	3,213	3,695	15	482	1,258.0	88	110,704	90	99,634
					小 計	－	－	－	－	－	－	110,704	－	99,634
					秋冬だいこん計	－	－	－	－	－	－	172,489	－	107,048
冬キャベツ	新設	793	793	－	作付減	－	－	－	3,749	0.0	94	0	16	0
					小 計					－	－	0	－	0
	更新	871	871	871	湿潤かんがい	3,318	3,749	13	431	3,754.0	94	352,876	91	321,117
					小 計	－	－	－	－	－	－	352,876	－	321,117
					冬キャベツ計	－	－	－	－	－	－	352,876	－	321,117
ほうれんそう	新設	10	13	3	作付増	－	－	－	1,103	33.1	551	18,238	16	2,918
					小 計					－	－	18,238	－	2,918
	更新	11	11	11	湿潤かんがい	976	1,103	13	127	14.0	551	7,714	91	7,020
					小 計	－	－	－	－	－	－	7,714	－	7,020
					ほうれんそう計	－	－	－	－	－	－	25,952	－	9,938
ブロッコリー	新設	263	272	9	作付増	－	－	－	1,219	109.7	349	38,285	16	6,126
					小 計					－	－	38,285	－	6,126
	更新	289	289	289	湿潤かんがい	1,079	1,219	13	140	404.6	349	141,205	91	128,497
					小 計	－	－	－	－	－	－	141,205	－	128,497
					ブロッコリー計	－	－	－	－	－	－	179,490	－	134,623
普通畑計	新設	4,372	4,423									170,172		24,756
	更新	4,801	4,801									2,025,972		1,665,610
夏秋トマト	新設	12	12	－	小 計	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	更新	13	13	13	湿潤かんがい	2,696	3,100	15	404	52.5	418	21,945	91	19,970
					小 計	－	－	－	－	－	－	21,945	－	19,970
					夏秋トマト計	－	－	－	－	－	－	21,945	－	19,970
冬春トマト	新設	2	2	－	小 計	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	更新	2	2	2	湿潤かんがい	6,252	7,190	15	938	18.8	292	5,490	91	4,996
					小 計	－	－	－	－	－	－	5,490	－	4,996
					冬春トマト計	－	－	－	－	－	－	5,490	－	4,996

愛知用水地区の事業の効用に関する詳細

2 (1) 作物生産効果－5

作物名	新設・更新	作付面積			効果要因	単 収				生産増減量 ③＝ ①×② ÷100 t	生産物 単価 ④ 千円/ t	増加粗 収益額 ⑤＝ ③×④ 千円	純 益 率 ⑥ %	年効果額 ⑦＝ ⑤×⑥ 千円
		現況 ha	計画 ha	効果発生 面積 ① ha		事業 なかりせば 単収 kg/10a	事業 ありせば 単収 kg/10a	増収率 %	効果算定 対象 単収 ② kg/10a					
いちご	新設	110	110	—	小 計	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	更新	121	121	121	湿潤かんがい	1,621	1,864	15	243	294.0	1,480	435,120	91	395,959
					小 計	—	—	—	—	—	—	435,120	—	395,959
					いちご計	—	—	—	—	—	—	435,120	—	395,959
輪ぎく（切り花類）	新設	155	155	—	小 計	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	更新	170	170	170	湿潤かんがい	29,366	33,771	15	4,405	7,488.5	72	539,172	89	479,863
					小 計	—	—	—	—	—	—	539,172	—	479,863
					輪ぎく（切り花類）計	—	—	—	—	—	—	539,172	—	479,863
観葉植物（鉢もの類）	新設	128	128	—	小 計	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	更新	140	140	140	湿潤かんがい	19,513	22,440	15	2,927	4,097.8	143	585,985	89	521,527
					小 計	—	—	—	—	—	—	585,985	—	521,527
					観葉植物（鉢もの類）計	—	—	—	—	—	—	585,985	—	521,527
施設畑計	新設	407	407									0		0
	更新	446	446									1,587,712		1,422,315
みかん	新設	171	171	—	小 計	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	更新	187	187	187	湿潤かんがい	1,652	1,900	15	248	463.8	374	173,461	91	157,850
					小 計	—	—	—	—	—	—	173,461	—	157,850
					みかん計	—	—	—	—	—	—	173,461	—	157,850
ぶどう	新設	36	36	—	小 計	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	更新	40	40	40	湿潤かんがい	722	830	15	108	43.2	984	42,509	91	38,683
					小 計	—	—	—	—	—	—	42,509	—	38,683
					ぶどう計	—	—	—	—	—	—	42,509	—	38,683
樹園地計	新設	207	207									0		0
	更新	227	227									215,970		196,533
新設		10,996	11,051									124,379		26,585
更新		12,218	12,218									9,854,786		8,614,644
合計												9,979,165		8,641,229

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

増収率は、「新たな土地改良の効果算定マニュアル」、統計データ等を基に整理した。

※牧草及びソルゴーは4.44kgで生乳1kgとして換算

愛知用水地区の事業の効用に関する詳細
2 (2) 品質向上効果

作物名	効果要因	効果対象数量		生産物単価			単価向上額		年効果額		
		更新	新設	事業なかりせば	現況	事業ありせば	現況－事業なかりせば	事業ありせば－現況	現況－事業なかりせば	事業ありせば－現況	計
		①	②	③	④	⑤	⑥=④-③	⑦=⑤-④	⑧=①×⑥	⑨=②×⑦	⑩=⑧+⑨
水稻	水管理改良	t 2,168	t 26,829	千円/t 89	千円/t 239	千円/t 239	千円/t 150	千円/t -	千円 325,200	千円 -	千円 325,200
かんしょ	湿潤かんがい	157	181	285	295	295	10	-	1,570	-	1,570
秋冬はくさい	湿潤かんがい	396	447	55	58	58	3	-	1,188	-	1,188
秋冬だいこん	湿潤かんがい	193	222	76	88	88	12	-	2,316	-	2,316
冬キャベツ	湿潤かんがい	2,223	2,512	84	94	94	10	-	22,230	-	22,230
ほうれんそう	湿潤かんがい	293	331	508	551	551	43	-	12,599	-	12,599
水田計									365,103	-	365,103
かんしょ	湿潤かんがい	871	1,002	285	295	295	10	-	8,710	-	8,710
春キャベツ	湿潤かんがい	1,389	1,570	80	90	90	10	-	13,890	-	13,890
秋冬さといも	湿潤かんがい	399	518	331	367	367	36	-	14,364	-	14,364
スイートコーン	湿潤かんがい	3,295	3,364	259	278	278	19	-	62,605	-	62,605
すいか	湿潤かんがい	1,475	1,696	247	250	250	3	-	4,425	-	4,425
秋冬はくさい	湿潤かんがい	4,115	4,650	55	58	58	3	-	12,345	-	12,345
秋冬だいこん	湿潤かんがい	8,386	9,644	76	88	88	12	-	100,632	-	100,632
冬キャベツ	湿潤かんがい	28,900	32,654	84	94	94	10	-	289,000	-	289,000
ほうれんそう	湿潤かんがい	107	121	508	551	551	43	-	4,601	-	4,601
夏秋トマト	湿潤かんがい	350	403	408	418	418	10	-	3,500	-	3,500

愛知用水地区の事業の効用に関する詳細
2 (2) 品質向上効果

作物名	効果要因	効果対象数量		生産物単価			単価向上額		年効果額		
		更新	新設	事業なかりせば	現況	事業ありせば	現況－事業なかりせば	事業ありせば－現況	現況－事業なかりせば	事業ありせば－現況	計
		①	②	③	④	⑤	⑥=④-③	⑦=⑤-④	⑧=①×⑥	⑨=②×⑦	⑩=⑧+⑨
冬春トマト	湿潤かんがい	t 125	t 144	千円/t 285	千円/t 292	千円/t 292	千円/t 7	千円/t -	千円 875	千円 -	千円 875
いちご	湿潤かんがい	1,961	2,255	1,445	1,480	1,480	35	-	68,635	-	68,635
輪ぎく	湿潤かんがい	49,922	57,411	65	72	72	7	-	349,454	-	349,454
普通畑計									933,036	-	933,036
みかん	湿潤かんがい	3,089	3,553	350	374	374	24	-	74,136	-	74,136
樹園地計									74,136	-	74,136
新設										-	-
更新									1,372,275		1,372,275
合計											1,372,275

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

愛知用水地区の事業の効用に関する詳細
2 (3) 営農経費節減効果

作物名	ha当たり営農経費				ha当たり 経費 ⑤= (①-②) + (③-④)	効果発生 面積 ⑥	年効果額 ⑦=⑤×⑥
	新設		更新				
	現況営農経費 ①	事業ありせば (計画) 営農経費 ②	事業なかりせば 営農経費 ③	事業ありせば (現況) 営農経費 ④			
	円	円	円	円	円	ha	千円
水稻	—	—	1,237,197	1,258,354	△ 21,157	5,766	△ 121,991
小麦	—	—	808,763	824,688	△ 15,925	319	△ 5,080
大豆	—	—	1,621,738	1,653,816	△ 32,078	301	△ 9,655
たまねぎ	—	—	2,442,440	2,440,620	1,820	957	1,742
かんしょ	—	—	2,817,136	2,812,813	4,323	85	367
ソルゴー	—	—	867,913	894,075	△ 26,162	660	△ 17,267
牧草	—	—	768,950	814,450	△ 45,500	1,193	△ 54,282
春キャベツ	—	—	3,179,768	3,179,768	0	56	0
えだまめ	—	—	4,481,295	4,474,698	6,597	20	132
メロン	—	—	6,011,350	6,011,350	0	48	0
スイートコーン	—	—	2,521,838	2,559,375	△ 37,537	349	△ 13,100
秋冬さといも	—	—	2,982,526	2,911,546	70,980	39	2,768
すいか	—	—	6,011,350	6,011,350	0	67	0
みかん	—	—	5,099,549	3,890,250	1,209,299	187	226,139
ぶどう	—	—	3,738,318	3,753,750	△ 15,432	40	△ 617

愛知用水地区の事業の効用に関する詳細
2 (3) 営農経費節減効果

作物名	ha当たり営農経費				ha当たり 経費 ⑤= (①-②) + (③-④)	効果発生 面積 ⑥	年効果額 ⑦=⑤×⑥
	新設		更新				
	現況営農経費 ①	事業ありせば (計画) 営農経費 ②	事業なかりせば 営農経費 ③	事業ありせば (現況) 営農経費 ④			
	円	円	円	円	円	ha	千円
夏秋トマト	—	—	21,703,500	22,795,500	△ 1,092,000	13	△ 14,196
冬春トマト	—	—	21,703,500	22,795,500	△ 1,092,000	2	△ 2,184
いちご	—	—	22,335,950	22,833,265	△ 497,315	121	△ 60,175
輪ぎく（切り花類）	—	—	29,006,250	29,279,250	△ 273,000	170	△ 46,410
観葉植物（鉢ものの類）	—	—	18,336,500	18,811,293	△ 474,793	140	△ 66,471
秋冬はくさい	—	—	3,203,657	3,256,665	△ 53,008	114	△ 6,043
秋冬だいこん	—	—	3,140,186	3,067,841	72,345	267	19,316
冬キャベツ	—	—	1,799,070	1,797,250	1,820	938	1,707
ほうれんそう	—	—	5,045,042	5,054,142	△ 9,100	41	△ 373
ブロッコリー	—	—	3,095,820	3,140,183	△ 44,363	325	△ 14,418
新設							—
更新							△ 180,091
合計							△ 180,091

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

■効果要因は以下のとおり。

・各作物(用水改良、更新：事業ありせば→なかりせば)

用水施設の機能が喪失した場合を想定し、用水管理にかかる経費が減少。防除用水を自宅より運搬する経費が増加。

令和 9 年度新規地区採択チェックリスト

(7) 独立行政法人水資源機構事業

(局名：独立行政法人水資源機構) (地区名：愛知用水地区^{あいちようすい})

3. 特定監視項目

1. 地質状況
・地質状況に基づいた施設計画としている。
当初事業や前歴事業において地質調査のうえ設計・施工された既存施設の改修・補強であることから、地質上の問題はない。
2. 受益面積
・最近年の面積を把握している。
本事業の受益範囲は、事業により益を受ける土地を対象とし、計画面積の設定は、入鹿用水土地改良区、愛知用水土地改良区が管理する賦課台帳の令和 7 年時点の賦課面積を積上げ整理している。